

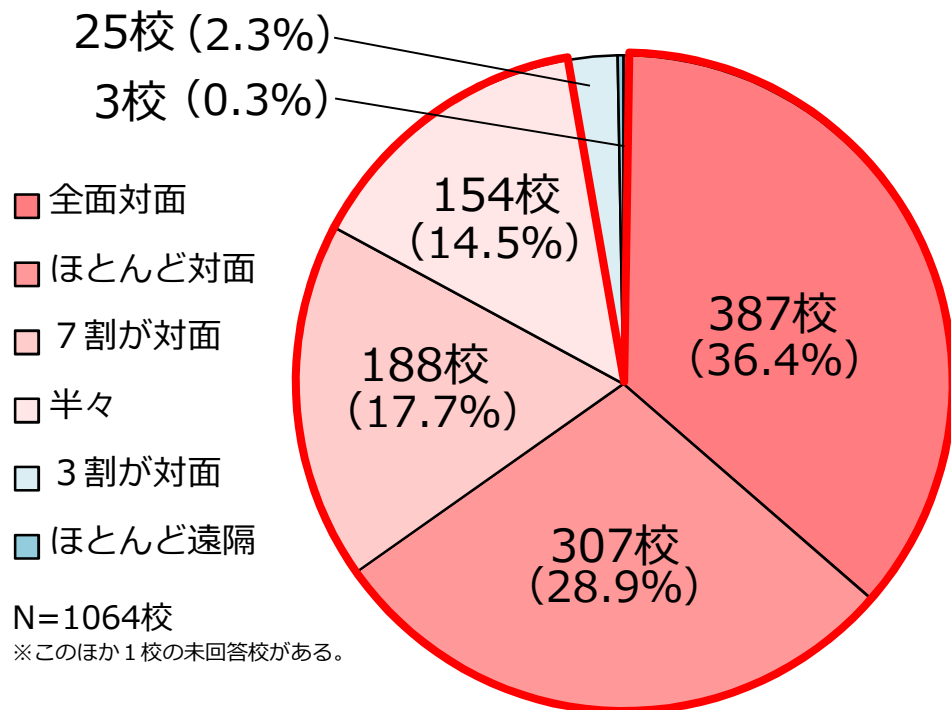
# 令和3年度前期の大学等における授業の実施方針等について

## (調査の概要)

- 調査対象：全国の国公立大学（短期大学を含む）及び高等専門学校
- 調査期間：令和3年3月19日～3月31日（**回答時点での令和3年度の方針**等について質問）
- 調査趣旨：各大学等の令和3年度前期の授業の実施方針等について調査し、全国の状況を把握するもの。

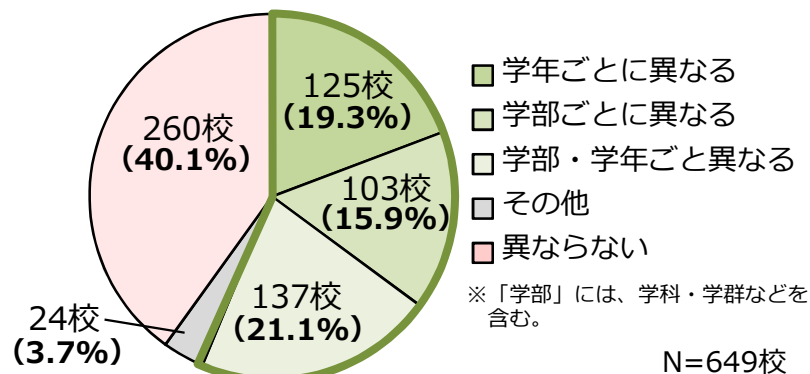
## 令和3年度前期における対面・遠隔授業の実施方針

- 半分以上を対面授業とする予定とした大学等**は、1064校中1036校（**約97.4%**）。  
他方、半分以上を対面授業とする併用校（649校）の中でも、**多くは学部・学年ごとに差異**。



- ※ **調査実施時に計画していた授業の方針であり、その後の感染状況等を踏まえて、実際の授業形態は異なるものとなっている場合がある。**
- ※ 昨年度の状況と比べると、半分以上を対面授業とする大学等の割合は、**約8割（昨年12月発表）であったところ、97.4%に増加している。**
- ※ 「全面对面」とは、感染対策を講じつつ、コロナ禍前と同じ範囲で対面授業を行っているものを指す。「ほとんど対面」は8割以上を対面授業としているもの、「ほとんど遠隔」は対面授業が2割以下の状況を指す。

- ・ 対面・遠隔授業を併用するが、全体の半分以上を対面授業で行う予定とする大学のうち、**約6割は、学部や学年によって授業形態に差**があると回答。
- ・ 詳細についての自由記述からは、**実技・実習系の授業が多い学部では対面授業が多いとする回答や、大人数の講義が多い低学年では遠隔授業が多い傾向にあるとする回答が複数見られたが、1年生などに対して優先的に対面授業を行うとする回答もあった。**

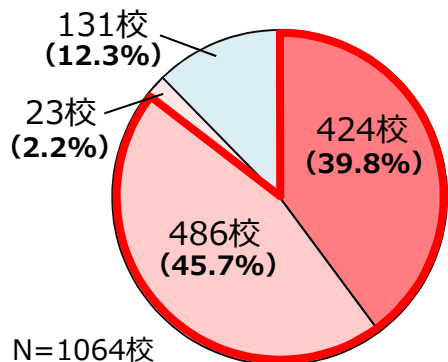


→ 極端にキャンパスに通う機会が少ない学部・学年が生じることのないよう、**特に低学年の学生への配慮を含めて、丁寧な対応を行うことが必要。**

# 大学等における令和3年度前期の授業実施方針等に関する調査（参考データ）

## 学生の理解・納得の状況

○自校の授業実施方針等について、学生のほぼ全員又は大多数が理解・納得していると回答する大学等は**全体の8割以上**。



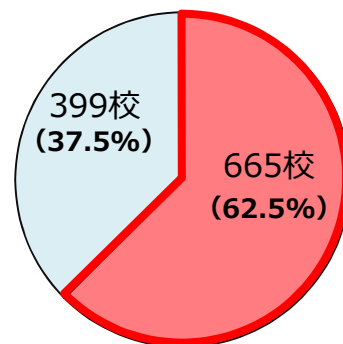
N=1064校

■ ほぼ全員理解 □ 大多数が理解  
□ 大多数とは言えない □ 把握していない

- ・ 回答の根拠を自由記述で尋ねたところ、例えば、学生に対して行ったアンケート調査の結果や、学生と教職員との意見交換の内容を踏まえて回答しているとの記載が多く見られた。
- ・ 今後の取組としては、コロナ禍の中でも学生が安心して学修に専念できるよう、学生への丁寧な説明を行うことや、学生の声を聞きとる機会を設定すること等の取組を進めたいとする回答も多数見られている。

## 施設の使用可否の状況

○学内施設の利用を全面的に可能とする方針の大学等は、**全体の約6割**。残りの約4割では、施設利用の一部を制限予定。



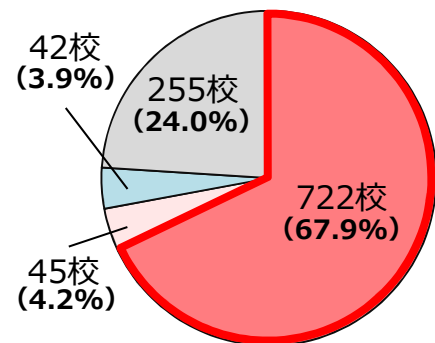
N=1064校

■ 全面利用可能 □ 一部利用制限

- ・ 施設の利用を制限している大学等では、図書館について、アクリル板の設置や換気の励行、座席の利用や書架の閲覧の制限、利用人数・時間を限定する措置等が講じられている。
- ・ 他方、図書館は重要な学びの拠点でもあることから、利用制限の代替措置として、例えば、図書の郵送貸出や電子的な方法による閲覧など、感染対策に配慮した形で機能を継続して発揮するための工夫がなされている。

## 運動部活動の状況

○**約7割の大学等**は感染対策を講じた上で運動部活動を全面的に実施する方針であり、一部・全部を禁止するのは約1割。



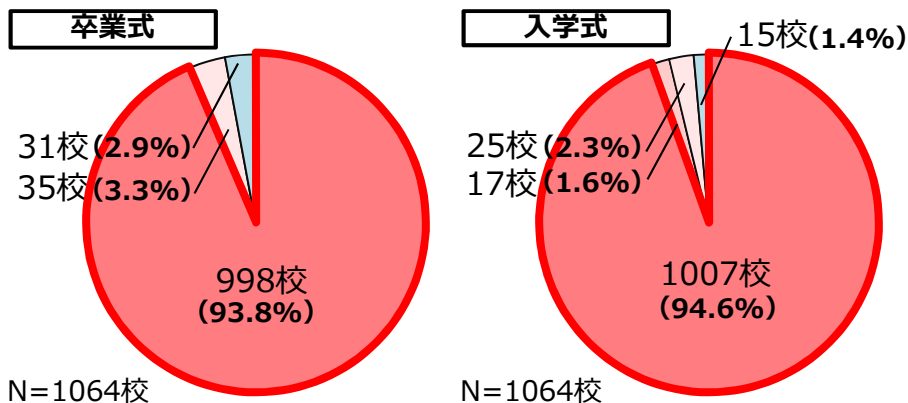
N=1064校

■ 全面实施 □ 一部禁止  
■ 全面禁止 □ その他

- ・ 多くの大学等においては、感染対策を講じながら運動部活動を通常どおりの範囲で実施する方針であるが、一部、感染対策を十分講じ切れない等の理由から、一部又は全部の活動を禁止することとしている大学等も見られる。
- ・ なお、「その他」のうちの多くは、学内に体育会や運動部活動がそもそも存在しない、との回答であった。

## 令和3年春の卒業式・入学式

○**ほとんどの大学等は、卒業式・入学式を実施**している。



N=1064校

■ 式典実施 □ 代替措置  
■ 実施せず

N=1064校

■ 式典実施 □ 延期して実施  
■ 代替措置 □ 実施せず

# 令和3年度前期の大学等における授業の実施方針に関する調査（各大学等の回答状況）

## 《記載上の留意事項等》

- ・調査対象：全国の大学及び高等専門学校（全1065校）を対象としているが、通信制課程のみを有する大学及び所属学生がいない大学は調査対象から除外している。
- ・調査時期：令和3年3月17日～3月31日（令和3年度における方針について調査を行ったものであり、すべて回答時点の方針である。このため、学期開始後の実際の状況とは異なる場合がある。）
- ・「所在地」は、「主要なキャンパスが所在する都道府県」として各大学等から回答があった都道府県を記載している。
- ・「授業形態」について「②併用」と回答している大学等に対しては、これに伴う追加的な質問を行っている。（授業形態を「①全面対面」とした大学等は、質問の対象としていないため、該当の欄は灰色にして示している）。
- ・多肢選択式にて回答を得ている項目は、選択肢の文言を便宜的に省略している（調査票上の文言は事項に記載のとおり）。
- ・また、分量の関係上、回答一覧を3つに区分して掲載している。掲載順及び該当ページについては下記のとおり。

① 授業の実施方針・考え方等について	……	1頁	～	56頁
② 実施している工夫の内容・学生の理解等の状況について	……	57頁	～	105頁
③ 施設・部活動・式典の取扱いについて	……	106頁	～	140頁

## 《各選択肢の調査票上の文言》

### ・授業実施方針

- ① 感染対策を講じつつ、コロナ禍以前と同様の範囲で面接授業を実施する予定。
- ② 面接授業と遠隔授業を併用して授業を実施する予定。
- ③ 面接授業は実施せず、遠隔授業を実施する予定。

### ・考えの変化

- ① コロナ禍の中で遠隔授業の取組が広がった一方、学生がキャンパスに通学して学ぶ機会や、対面での交流機会の重要性を強く認識するようになった。
- ② 現下の感染状況や学内施設のキャパシティ等を考慮すると、基本的な考え方に大きな変化はない。
- ③ 現下の感染状況や今後の展望等を考えると、今後は、遠隔授業を広く展開していくことが適切であると強く認識するようになった。
- ④ その他

### ・併用割合

- ① ほとんど（8割以上）の授業を面接授業で行う予定である。
- ② 7割程度を面接授業で行い、残りを遠隔授業とする予定である。
- ③ 面接授業と遠隔授業は、おおむね半々で行う予定である。
- ④ 3割程度を面接授業で行い、残りを遠隔授業とする予定である。
- ⑤ ほとんど遠隔授業を行う予定である（面接授業は2割以下の予定）。

### ・学部・学年ごとの差

- ① 学部等ごとに面接授業と遠隔授業の比率の差があり、全体の実施比率に対して面接授業の実施割合が高い又は低い学部等がある。
- ② 学年ごとに面接授業と遠隔授業の比率が異なる実態があり、面接授業の実施割合が高い又は低い学年がある。
- ③ 学部等ごと、学年ごとのいずれについても、面接授業と遠隔授業の比率が様々であり、面接授業の実施割合が高い又は低い学部等や学年がある。
- ④ その他
- ⑤ 全体の授業の実施比率と異なる学部等や学年はない。

### ・併用の考え方

- ① 面接授業を基本とするが、基礎疾患を持つなど感染症リスクが高い学生や、遠隔地に居住している学生、感染リスクを懸念する学生等に向けて、遠隔授業を実施する予定である。
- ② 実験・実習・実技など、特に対面による指導が不可欠と判断される授業について、十分な感染対策の上で面接授業を実施する予定である。
- ③ 多人数を対象とする授業については遠隔授業で実施し、それ以外については十分な感染対策の上で面接授業を実施する予定である。
- ④ 少人数での対話を中心とする演習（ゼミナール）等の授業について、十分な感染対策の上で面接授業を実施する予定である。
- ⑤ 講義等の座学の授業についても、学生を少人数グループに分けた上での交代制や、席配置の工夫等を講じて、面接授業を実施する予定である。
- ⑥ 面接授業の内容の同時中継や、収録によるオンデマンド配信など、一つの授業に対して面接・遠隔授業を同時に用いる予定である。

### 《各選択肢の調査票上の文言》（続き）

#### ・遠隔授業の向上方策

- ① 面接授業の内容の同時中継や、収録によるオンデマンド配信など、一つの授業に対して面接・遠隔授業を同時に用いることとしており、学生が教員等と直接に対面する機会も確保する。
- ② オンライン上で学生からの質問を受け付ける時間や機会を確保するなど、授業の双方向性を確保する。
- ③ ICT機器の使用手法等に関する研修の実施や、サポート・スタッフの配置等を通じて、円滑に遠隔授業が行われるよう配慮する。
- ④ より効果的な遠隔授業が実施できるよう、学生からの意見を受け付け、授業の在り方を改善していく仕組みを取り入れる。
- ⑤ その他

#### ・学生の理解を得る取組

- ① 遠隔授業を実施する理由や必要性等について、学生が十分に納得できるよう、丁寧な説明・情報提供に努める。
- ② 学生の不安を払しょくするため、遠隔授業であっても、面接授業による場合と遜色ない学修の質を確保している。
- ③ 学生の要望や意見を取り入れながら、学内における遠隔授業の留意点や工夫すべき事項について整理し、教員等に対して周知を行う。
- ④ その他

#### ・新入生等への配慮

- ① 新入生等の学生が面接授業を受ける機会を確保するため、優先的に面接授業を行う等の配慮を行う。
- ② 大学における学修に慣れていない新入生等に対して、コロナ禍における学びの際の工夫や留意点等について、継続的・定期的な周知・説明を行う。
- ③ 新入生等が、学内での人的交流を持てるよう、学生間又は教職員とのコミュニケーションの機会を設ける。
- ④ 新たな生活によるものなど新入生等の不安を軽減するため、学生支援に関する情報発信や、生活面に関する相談体制の強化を図る。
- ⑤ 情報通信機器等の貸し出しや学内施設の開放など、学生の通信環境の確保に向けた支援を行う。
- ⑥ その他

#### ・学生の理解・納得

- ① ほぼ全ての学生が、授業の形態等について理解・納得している。
- ② 大多数の学生は、授業の形態等について理解・納得している。
- ③ 大多数の学生の理解・納得が得られているとまでは言えない。
- ④ 学生の理解・納得の状況については把握していない。
- ⑤ 学生の理解・納得を得る必要があるとは考えていない。

#### ・施設の利用可否

- ① 学内の施設・設備の利用は全面的に可能とする予定。
- ② 学内の施設・設備について、一部利用を制限する予定。
- ③ 学内の施設・設備の利用を含め、キャンパスへの立ち入りを禁止する予定。

#### ・図書館の対応

- ① アクリル板の設置や換気の励行などによる感染対策を講じる。
- ② 利用人数の制限や、利用時間の短縮等を講じる。
- ③ 座席の利用制限や書架の閲覧制限など、機能の一部を限定する。
- ④ 最終学年のみ利用可能とするなど、学生の属性で利用可否を決める。
- ⑤ 事前許可制・申請制を採るなど、利用に当たっての手続を設ける。
- ⑥ 学内にあるすべての主要図書館について学生の利用を禁止する。
- ⑦ その他

#### ・運動部活動の対応

- ① 感染対策を講じつつ、すべての運動部の活動を実施する予定。
- ② 一部の運動部の活動を禁止する予定。
- ③ 全面的に運動部の活動を禁止する予定。
- ④ その他



**《各選択肢の調査票上の文言》（続き）**

・学生のメンタルケア

- ① 学内に、学生の相談に対応する相談窓口を整備している。
- ② 学生の悩みや不安に対し、必要に応じ、カウンセラーや医師等の専門家とも連携した対応を行っている。
- ③ 学内の相談窓口について、対面に限らない体制（電話、メール、ウェブ会議システム、SNS等）を整備している。
- ④ 学生生活に悩みや不安を抱える学生の把握のための取組（全学生対象の調査、新入生への調査、学生へのヒアリング等）を行っている。
- ⑤ 学生が孤独感や孤立感を感じないよう、学生が学生をサポートする取組（ピアサポート等）や学生が交流する取組（新入生交流会等）を行っている。
- ⑥ 就職活動に取り組む学生の不安を解消するため、相談体制の強化や情報発信の充実などの取組を講じている。
- ⑦ 望まない進路に進む卒業生に対する学校からの（例えば、卒業生向けのメールマガジンの配信や引き続きの求人情報の提供など）情報提供体制を構築している。
- ⑧ 上記に当てはまるもの以外の独自の取組や、悩みや不安を抱える学生の把握後の取組を実施している。
- ⑨ メンタルヘルス等に関する相談対応は現在一切行っていない。

・卒業式の実施有無

- ① 感染対策を講じつつ、卒業式を実施した。
- ② 卒業式としては実施しなかったが、卒業年次の学生に対して類似のイベントを実施するなど代替措置を講じた。
- ③ 卒業式や代替措置は実施しなかった。

・入学式の実施有無

- ① 感染対策を講じつつ、コロナ禍以前と同様の時期に入学式を実施することとしている。
- ② 実施時期を延期し、感染対策の上で入学式を実施することとしている。
- ③ 入学式の実施予定はないが、新入生等に対して類似のイベントを実施するなど代替措置を講じることとしている。
- ④ 入学式や代替措置を実施する予定はない。

・卒業・入学式の工夫

- ① 列席者の制限や、会場の分散化など開催方式の工夫を実施。
- ② 会場設営（列席者間の距離の確保、アクリル板の設置等）や式の運営（参加者の手洗い・マスク着用の徹底や換気の励行等）での感染対策を実施。
- ③ 令和3年度入学生に加え、令和2年度入学生も対象として入学式等を実施。
- ④ 飲食につながる謝恩会や、歓迎会等の会合を自粛するよう働きかけを実施。
- ⑤ その他

# 令和3年度前期の大学等における授業の実施方針に関する調査（①授業方針について）

No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
1	北海道大学	01.北海道	01.国立大学	②併用	②大きな変化なし	令和2年度においても、学生がキャンパスに通学して学ぶ機会や対面での交流機会の重要性は十分認識しつつ、地域の感染拡大状況や教室のキャパシティを考慮しながら可能な範囲で対面(面接)授業を取り入れて実施してきたところである。令和3年度についても同様、感染対策が十分講じられると判断する授業については、引き続き対面での実施を積極的に取り入れていく予定である。	③半々	本学では、学生の履修登録完了後(4月末)の確定した履修者数に基づき、教室の収容人数と感染対策に照らし、対面(面接)による実施又はオンライン(遠隔)による実施について判断することとしている。このため、現時点では対面(面接)授業の割合を回答することは困難である。したがって、令和2年度後期の実績を踏まえ、「③面接授業と遠隔授業は、おおむね半々」を暫定的に選択したものである。	③学部・学年ごとに差	上記2-5で回答したとおり、各授業の履修者数が確定した段階(4月末)で、教室の収容人数と感染対策に照らし対面(面接)授業の実施可否を判断するため、現時点では令和3年度前期の学部別や学年ごとの状況は未定である。なお、令和2年度の実績では、医療系など実習が中心の学部・学年、卒業研究のため実験等が不可欠な学部・学年、大人数の座学が中心の学部・学年等、部局の教育課程上の特性に応じてその態様は様々なため、学部ごとに異なる状況が生じていた。したがって、令和2年度後期の実績を踏まえ、「③学部等ごと、学年ごとのいずれについても、面接授業と遠隔授業の比率が様々」を暫定的に選択したものである。	①②③④⑤⑥⑦	
2	北海道教育大学	01.北海道	01.国立大学	②併用	①対面授業を拡大	教員養成大学のカリキュラム特性上、対面による実習や演習が多く、対面による教育機会の確保を重視したため。	②7割対面	・教室内外の環境整備や授業時間割の工夫等によって、感染防止対策を講じた上で、対面授業を実施することとした。なお、対面授業が困難と判断される科目については、遠隔授業(対面授業を含む)を実施することとした。 ・令和2年度後期の授業実施状況を勘案しながら、教員へ遠隔授業実施に係る調査を行い、それに基づき判断した。ただし、対面授業の参加を拒否する学生がいた場合、そうした学生に対する配慮をすることとし、「三つの密」の回避が物理的に困難な場合には遠隔授業とした。	①学部ごとに差	現在、北海道内各地における新型コロナウイルス感染症の拡大状況・対応については、差がある状況であり、一律の対応をとることが難しいため、各地の状況に応じ、キャンパスの判断に委ねている。	①②③④⑤⑥⑦	
3	室蘭工業大学	01.北海道	01.国立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度後期授業方針を検討した際は、学生授業評価アンケートの結果、遠隔授業を実施したことで履修がしやすい等の意見があった一方で面接授業を望む意見も多かったこと。また、教員への聞き取りの結果、遠隔授業に比べ面接授業の方が学生個々の反応が分かりやすく、よりきめ細かい指導が可能との意見があったこと、さらに市内の感染状況が比較的落ち着いたことなどがあり、面接授業を主としつつ遠隔授業を併用する方針を決定した。令和3年度前期においても上記の考え方から変更はないが、令和2年度に授業方針を検討した結果面接授業の重要性の認識は高まった。	②7割対面	3密回避のため受講者数80名を超える大規模授業については、大学から担当教員へ遠隔授業を実施するよう依頼している。また、時間割作成の際に授業の実施形態(面接・遠隔)について聞き取りしている。大規模授業・教員への聞き取りの内容を反映させた時間割を作成した結果、面接授業は7割程度となった。	②学年ごとに差	1・2年次生の面接授業と遠隔授業実施比率は面接・遠隔共に5割程度である。1・2年次生は教養教育・座学を主とする基礎的な専門教育が中心で同一クラス・大規模人数の授業が多くなっていることから、面接授業実施による感染リスクを考慮し、遠隔授業を多数の科目で実施している。対して、3・4年次生の実施比率は面接授業が9割ほどとなっており、3・4年次生については実習・実験科目が中心となっているため面接授業を多数の科目で実施している。	②③④⑤⑥⑦	
4	小樽商科大学	01.北海道	01.国立大学	②併用	④その他	コロナ禍の中で遠隔授業の取り組みが広がった一方、学生がキャンパスに通学して学ぶ機会や、対面での交流機会の重要性を強く認識するようになった。一方で、学生アンケートから遠隔授業の有用性も分かることと、小樽商科大学・帯広畜産大学・北見工業大学との令和4年度からの経営統合に向けて、単位互換等も広がっていることもあり、今後は遠隔授業を広く展開していくことの重要性を強く認識している。	④3割対面	以下のような前提事項から、遠隔手法による講義を基本としつつ、対面授業、ないしは、対面授業と遠隔授業(リアルタイム配信やオンデマンド型授業)のハイブリッド型の授業も取り入れていく実施方針を定めた。1.令和3年1月段階において、新型コロナウイルスの感染状況が全国的にも拡大の一途を辿っており、収束の見えないこと。2.新型コロナウイルスのワクチンの開発が進み、一部接種の開始が予定されているものの、医療従事者、基礎疾患のある方、高齢者などへの接種が優先されることから、学生を含めた本学関係者への接種可能時期が見通せないこと。3.令和2年度後期において、感染リスク回避を望む教員・学生の要望により、対面授業実施科目についても遠隔授業も取り入れる対応をしており、令和3年度についても同様の措置が必要であることが想定されること。4.大多数の学生が学内ネットワークに接続してオンライン授業を受講するための学内の環境整備を計画中であるが、工事の完了予定は令和3年度末(令和4年2月頃)であるため、令和3年度は令和2年度と同様のネットワーク環境で授業を実施する必要があり、多数の学生がオンライン授業を学内で一斉に受講することは難しいこと。5.「4」の学内ネットワークの状況を踏まえ、学生のオンライン授業の受講環境は自宅が主となることから、学生の通学に伴う移動時間を考慮すると、同日に時間割に基づいた遠隔授業と対面授業を混在させることは引き続き難しいこと。6.令和2年度と同様に、授業のみならず、空き時間、休憩時間及び通学時等の学生の行動においても三密を避ける必要があること。また、通学による感染リスクも考慮し、学生・教職員の安全を確保しながら授業運営を行いたいこと。7.新型コロナウイルスの感染状況に大きな変化があった場合には、学期の途中であっても、実施方針及び授業の実施形態について、柔軟に見直ししていく必要があること。	②学年ごとに差	対面授業の方が人とのコミュニケーションを行いやすいことから、1・2年次生は対面授業を求める声が多い傾向があり、遠隔授業の方が自身の時間を有効に活用しながら学びやすいことから、3・4年次生は遠隔授業を求める声が多い傾向にある。そのため、令和3年度前期の授業においては、令和2年度後期と同様に遠隔授業を中心としつつも、1・2年次生については対面授業を可能な範囲で併用実施方針を定めた。	②④⑤⑥	
5	帯広畜産大学	01.北海道	01.国立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度は、対面の再開よりも、感染防止や学生の不安を取り除くことを重要視してきた。しかし、コロナ対応を開始してから1年以上が経過し、対面による授業が少ないことや学生同士あるいは学生と教員との交流が少ないことによる影響も一部は受けられた。このことから、ポストコロナを見据え、感染防止を念頭におきつつも対面による授業を可能な限り再開していく方針とした。	②7割対面	まず1・2年次開講のすべての授業について、対面もしくは対面と遠隔のハイブリッドによる授業を再開し、その状況を産院しつつ、5月以降には3・4年次開講科目についても対面授業を再開する計画がある。しかし、語学教育等、免状を必要としマスクを外すことが望ましい授業や他大学との関係で対面再開が難しい授業などもあり、前期科目については、全体で7割程度の対面再開となる予定である。	②学年ごとに差	4月当初から全学年について対面授業を再開するのは、講義室等のキャパシティを考えると、非常に困難な状況にある。このため、コロナ禍後に入学した学年である、1次および2次の開講科目について、優先的に対面授業を再開する方針とした。3次・4年次開講科目については、その状況を確認した後に徐々に再開していくことを目指しているため、学年による差異が発生している。	①②⑥⑦	
6	北見工業大学	01.北海道	01.国立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生へのアンケート結果によりオンラインでの授業実施に肯定的な意見が寄せられた一方、実験や実習といった授業は対面で行った方が学生にとってメリットが大きいと感じたため。	④3割対面	実習・実験・演習・実技を中心に面接授業を実施することとし、座学の講義は遠隔授業とした。ただし、実習等の面接授業であっても、移病等により新型コロナウイルス感染症に感染した感染源化のリスクが高い教員においては遠隔授業を認めることとした。	③学部・学年ごとに差	学年または学科のカリキュラムによって、座学の講義と実習の割合が違うため。また、演習や実習であっても、プログラミングやCAD等遠隔での実施が可能な科目もあるため、学科・学年で比率が異なる。	①②④⑤⑥⑦	

No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
7	旭川医科大学	01.北海道	01.国立大学	②併用	②大きな変化なし	令和2年度は、成績不振により進級できない学生が多かったことが問題となった。原因は、感染症からコロナ禍により登校が制限され、教員-学生間、学生間で十分なコミュニケーションがとれず、繋がりが作れなかったことと考えている。教員間では、大学での学び方が身についていない学生が多いと感念している。このことを踏まえ、令和3年度は、1、2年生を全員登録させることを検討したが、広い教室を十分に確保することが難しくかつたことから、令和2年度同様、学生の半数を一週間交代で登録させる分散登録とした。	③半々	3密回避のため、一度に登録させる学生数は、教室の広さ、座席数を考慮して、収容人数の半分を標準としている。	②学年ごとに差	本学では授業形式により、以下のとおり方針を定めている。学科、学年の面接授業と遠隔授業の比率は、授業形式の比率により変わってくる。【医学科・看護学科とも共通】【講義】大部分の講義では、一度に登録する学生数を半数とする分散登録を実施する。残り半数は、教室から配信される授業を自宅で視聴。【実習・実習】多くの実習・演習では、一度に登録する学生数を半数以下とする分散登録を実施するが、感染対策上問題がなければ全員登録させる科目もある。【臨床実習・臨床看護学実習】基本は対面での実習を実施するが、感染状況によりオンライン実習に切り替える。	②⑥	
8	北海道公立大学法人札幌医科大学	01.北海道	02.公立大学	①全面対面	②大きな変化なし	現下の状況に応じた大学の行動指針に基づき関係委員会にて検討し授業の実施方針を検討している。						
9	公立はこだて未来大学	01.北海道	02.公立大学	②併用	①対面授業を拡大		③半々		②学年ごとに差		①②④⑤⑥	
10	創路公立大学	01.北海道	02.公立大学	②併用	①対面授業を拡大	対面授業の重要性を認識し、感染症対策を行ったうえで可能な限り対面での授業を実施する予定である。昨年は実施できなかった実習等については、感染症対策を行い規模を縮小し実施する予定となっている。また、学生同士の交流の場を設けてほしいとの声が多いことから、サークルの紹介等を積極的に行っていく予定である。	②7割対面	対面授業を基本として、履修登録者数と教室のキャパシティとを考慮し、教員が個々に授業方法について判断している。シラバスには、授業の実施方法の予定を記載しており、対面授業または遠隔授業との併用が大半を占めている状況である。（履修登録者数が確定後、教室のキャパシティの問題により遠隔授業に切り替える場合もある。）	②学年ごとに差	1年生向けの科目は、必修科目、選択必修科目が多いため履修が多い。そのため、遠隔授業になる科目が多い傾向にある。	①②③④⑤⑥⑦	
11	名寄市立大学	01.北海道	02.公立大学	②併用	②大きな変化なし	本学では感染者は出ていないが新年度により色んな地域からの移動もあり、感染対策を講じながら開講する。	②7割対面	2-2.の回答に準じる	③学部・学年ごとに差	学科・学年によって実習・演習も始まりこちらについては対面を実施しているため。	②③④	
12	札幌市立大学	01.北海道	02.公立大学	②併用	①対面授業を拡大		④3割対面	現時点での各科目の実施予定調書に基づく。	③学部・学年ごとに差	教育内容や科目の性質が異なるため。	②④⑤⑦	
13	公立千歳科学技術大学	01.北海道	02.公立大学	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面		③学部・学年ごとに差	1年次については、遠隔授業に慣れるまでは対面での講義実施を予定している。また、学科の分野により、遠隔授業の比率が異なっており、例えば情報系の学科については、遠隔授業の比率が高くなっている。	②③⑥⑦	
14	札幌大学	01.北海道	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	十分な感染対策を講じた授業における感染リスクは低い。感染対策や注意喚起を徹底し、学生の学習機会や交流機会を確保していくことが重要であると考えたため。	①ほぼ対面	演習科目、実技、実習科目、資格取得に関する科目については、科目の特性から対面授業を基本とし、その他の科目については教室収容率を基に実施方法を判断する。	⑤差はない	学年による実施比率に差はない。	②④	
15	札幌学院大学	01.北海道	03.私立大学	②併用	②大きな変化なし	現下の感染状況を踏まえ、一定程度対面授業を採用するものの遠隔授業を適切に組み合わせ併用方式が最適と考えられている。	③半々	現下の感染状況やワクチンの接種状況を踏まえると、大幅な面接授業の再開には踏み出せない。	⑤差はない		①②④	
16	函館大学	01.北海道	03.私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
17	藤女子大学	01.北海道	03.私立大学	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	以下の場合に限って遠隔授業を認めた。教員の健康上の理由で感染リスクが高い場合/非常勤講師の本務の方針で対面授業実施が難しい場合/感染拡大防止策をとることが難しい場合/学科が認める特別な理由がある場合	⑤差はない		①②④⑤	
18	北星学園大学	01.北海道	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	1年間経過後の遠隔授業のプラス面を効果的に交えて、キャンパス内での感染拡大防止を図りつつ、可能な限り学生同士や教職員と交流する対面授業の機会を確保した質の高い教育展開をしていくことが必要であると考えているため。	①ほぼ対面	この1年間の知見の蓄積から、コロナウイルスの危険性を正しく認識し、各自がマスク着用、手洗いや手指消毒を行うこと、教室でも社会的距離を確保して座席指定を行うなどの感染防止対策によって、学内での感染連鎖を回避できる事が分かってきたため。	⑤差はない		②③④⑤	
19	北海学園大学	01.北海道	03.私立大学	②併用	②大きな変化なし	令和2年度第1学期から、教育の質・大学の役割を考え、できる限り対面授業実施の方針をとってきている。教室のキャパシティなどの制約により遠隔授業を実施する際も、学生とのコミュニケーションの維持には一層配慮を重ねることとしている。	②7割対面	科目に割り当てられた教室の収容定員の3分の1(座席間距離1メートル以上)の人数を「感染症拡大予防対策人数」と定め、それ以内の履修者数の科目は原則面としていく。	①学部ごとに差	カリキュラムにより、多くの学生が学ぶ科目が講義型・大人数の多い学部と、少人数の科目(たとえば実習・実験、外国語など)が多い学部とに分かれるため。多人数科目の対面授業を教室収容定員の3分の1では実施できないが、少人数の場合は教室調整により多くの科目を対面授業で実施可能である。	①②③④⑦	
20	北海道科学大学	01.北海道	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	低学年次や国家試験を控えた最高学年次については優先的に対面授業を行う必要があると考えたため。	③半々	低学年次や国家試験を控えた最高学年次については優先的に対面授業を行う必要があるが、教室の収容定員の関係上、ソーシャルディスタンスを確保しながら全ての学年において対面授業を増やすことは難しいと判断したため。	③学部・学年ごとに差	全学部において1年次はキャンパスへ通学し学ぶ機会や、交友関係の形成において対面授業が必要と判断し対面授業比率が高くなっている。また、国家試験受験を控えている薬学部・保健医療学部の高学年次においては、教員からの直接の指導が必要であると判断し対面授業の比率が高くなっている。	②④⑤	
21	釧路大学	01.北海道	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大		③半々	講義科目は教室のキャパシティの関係で160名以下の科目に限定	③学部・学年ごとに差	実験、実習、演習並びに開講年次が1~2年次の科目や、資格及び国家試験に関わる科目を優先した結果	①②③④⑤⑥	
22	旭川大学	01.北海道	03.私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	やはり、対面授業が減少するとゼミ活動や実習等の中で学生たちがコミュニケーションが取れなくなりました。交流の機会を確保するために対面授業は必要だと認識する。						
23	北海道医療大学	01.北海道	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	・学生同士や教員との人間的な交流が非常に大切だと思った。遠隔授業では、細かな点まで指導が行き渡る心配な面があった。面接授業の効果が高いと見込める場合、感染症対策を講じた上での演習科目の実施や実習施設側の詳細な情報交換や実習前の感染対策に関する学内教育を徹底した上で臨地実習の再開準備を行っている。	①ほぼ対面	・学年にもよるが、実習科目は対面で行う必要性があり、かつ時間割の都合、通学する日に他の科目も組み入れているため。・感染レベル1、2では概ね面接授業の実施が可能。ただし低学年での実習はハイブリッド(1/2面接、1/2遠隔)で実施予定。感染レベル3ではハイブリッド(1/2面接、1/2遠隔)を実施。感染レベル4に対応した対応で、およそ7割程度で面接授業が実施可能と予想	③学部・学年ごとに差	・実習など、面接(対面)形式による授業実施を必要とする科目を配当している学部・学年については対面授業の割合が高くなっており、一方で講義型の科目が多い学部・学年においてはその割合が低くなっている。	①②④⑤⑥⑦	
24	北海道商科大学	01.北海道	03.私立大学	②併用	②大きな変化なし		②7割対面	2021年度前期講義科目の授業形態に関するアンケート調査による。	③学部・学年ごとに差	語学教育が多い1年次に面接授業が多い	①②③④⑥⑦	
25	星稜道都大学	01.北海道	03.私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	現状、新たな新型コロナウイルス感染症及び新型コロナウイルス感染症に該当する学生は出ていない。						
26	北海道情報大学	01.北海道	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生や保護者の意見、また、教育効果を考えると可能な限り面接授業を実施したいと考えているため。	③半々	学生が安心して大学生活を送ることを第一に考えつつ、教育効果も考えて判断した。	③学部・学年ごとに差	特に低学年については、大学生活に慣れていないため、面接授業の比率を高くしている。	①②④⑤⑦	
27	札幌国際大学	01.北海道	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大		②7割対面		⑤差はない		①②③④⑤⑥⑦	
28	北翔大学	01.北海道	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	学位授与式を分散して対面で行った際、久しぶりに会った友人との写真撮影等の様子を見て感じた。	②7割対面	全学共通科目 教養科目等については、人数が多い 感染防止を考慮して授業を行える広さの教室がある。	③学部・学年ごとに差	教育実習や資格関連実習については、学部学科において実習年次が違うため。	②③④⑤⑥	
29	北洋大学	01.北海道	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	部活動による活動や友人との交流について希望する学生の声があり、やはり対面でのキャンパスライフの重要性を改めて認識した。	①ほぼ対面	本学が立地する苫小牧市の感染状況、さらには北海道における感染状況を鑑み、本学においては面接授業をベースに進めることが可能と判断した。	⑤差はない	2-6-⑤の回答どおり、異なる学部等や学年はない。	①②⑤⑥⑦	
30	日本赤十字北海道看護大学	01.北海道	03.私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	令和2年度においても感染症対策を講じたうえで対面授業を基本に実施できており、令和3年度においても大きな変化はない。						

No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
31	北海道文教大学	01.北海道	03.私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	大学内を全て抗菌・抗ウイルスの施工を行い、キャンパス内で学生が安心して学べる環境を作っている。また、今まで通りの対策についても学生へ周知している。						
32	天使大学	01.北海道	03.私立大学	②併用	②大きな変化なし	新型コロナウイルス感染症拡大は、いまだ予断を許さない状況であるため、現時点では2020年度後期授業実施方針を踏襲し、基本的に対面授業と遠隔授業を併用して実施する。	④3割対面	1) 対面授業は、技術・演習科目、実験・実習科目、非常勤講師科目を優先して実施する。2) 看護学科、栄養学科の専門科目(講義科目)については当該科目の一部を対面授業とする。3) 教養教育科目については看護学科、栄養学科の専門科目を優先して時間割編成にするため遠隔授業を基本とする。4) 遠隔授業と対面授業を半日単位で編成する等、学生の登下校に配慮しながら原則昼食時間をはさまない時間割編成にする。5) 原則として全学年が少なくとも1週間に2回以上は対面授業で登校出来るよう配慮する。	⑤差はない	②④⑤⑥⑦		
33	稚内北星学園大学	01.北海道	03.私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
34	札幌大谷大学	01.北海道	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	感染について対策が必要があり、命を守ることを第一義として考えているため	③半々	教室のキャパシティや教育効果を合わせて一つ一つの科目について精査して決定した。	③学部・学年ごとに差	教育効果を考えたとき、実技や演習科目の多い学科は対面が多くなる傾向がある。逆にオンラインでも教育効果が変わらないものについてはオンライン授業が多くなっている。芸術学部面接授業の実施比率が高い。社会学部は講義系科目が多く面接授業の実施比率が低い。保育科は演習系科目が多く面接授業の実施比率が高い。	①②③④⑥	
35	札幌保健医療大学	01.北海道	03.私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
36	日本医療大学	01.北海道	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	実習や実験は、遠隔授業ではなかなか理解が進まないため	④3割対面	地域感染症状況を踏まえ、同地域内の他大学も考慮し判断したが、まだ模索中	③学部・学年ごとに差	医歯系の大学であり、学科によっては実習の遠隔授業がなまなかったり、学年により実習や講義の割合が変わるため。	②	
37	北海道千歳リハビリテーション大学	01.北海道	03.私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	学生の修学状況がつかみにくく、学力の向上が把握しにくい						
38	創路短期大学	01.北海道	03.私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	感染対策の習慣が定着してきた。成績評価からみた学修成果は対面より低い傾向が出た。学生生活支援はスタート時点から人的交流が重要と認識した。						
39	帯広大谷短期大学	01.北海道	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	コロナ対策に一定の知見が蓄わってきたことにより、通学の機会を提供する選択肢を持つことができた	②7割対面	感染予防対策を徹底し対面授業を行う上で、遠隔授業の曜日を各学科で設定することによって、学内に居る学生数を少なくするよう配慮する。	③学部・学年ごとに差	令和3年度前期の授業時間割は、学科によって演習、実験、実習等遠隔授業での実施が難しい科目の割合が異なるため実施比率の差が表れる。同様の理由により学年でも差異がある。	②③④⑤⑦	
40	光塩学園女子短期大学	01.北海道	03.私立大学	②併用	②大きな変化なし	基本的な感染予防対策は変わらないと判断したため。	①ほぼ対面	週1日をオンライン授業日とする。	⑤差はない		②⑤	
41	函館大谷短期大学	01.北海道	03.私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
42	函館短期大学	01.北海道	03.私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
43	拓殖大学北海道短期大学	01.北海道	03.私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	実習系の授業では対面でなければ成立しない科目もあり、対面授業がいかにか大切に振り返る機会となった。						
44	北海道武蔵女子短期大学	01.北海道	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	ゼミ教員を通じて全1年生に個別面談を行った結果、友人関係など大学に入った人間関係が築けないため悩んだ学生が多かったことが分かった。昨年後期は、感染状況が一時的に落ち着いた中で1か月半ほど対面を中心とした授業展開をできた時期があり、1年生はその間に友人関係などを構築でき、何とかここまで学修意欲等を継続できたのではないかと考える。	①ほぼ対面	原則として面接授業で行うものとしながら、履修者数が感染防止に配慮した教室収容人数を超え、なおかつ、受講者分散のためにコマ数を増やすことが難しい科目などを遠隔授業で実施する科目に指定して運用する。	①学部ごとに差	さほど差は大きくないが、学科の学生定員が多く講義科目の多い学科は若干遠隔授業の割合が高い。	①②③④⑤	
45	苫小牧工業高等専門学校	01.北海道	04.高等専門学校	①全面対面	②大きな変化なし	本校の目的及び学習目標等を達成するために、特に実験・実習など対面での学修の機会を確保することが重要であるため						
46	函館工業高等専門学校	01.北海道	04.高等専門学校	①全面対面	②大きな変化なし	令和元年度末から継続して十分に検討してきており、年度の変わり目(令和2年度から3年度)に方針の変更の必要性がなかった。						
47	創路工業高等専門学校	01.北海道	04.高等専門学校	①全面対面	①対面授業を拡大	・必要に応じて遠隔授業を実施することが有用であることを今年度は確認できた。・次年度は、対面授業が基本となるが、例えば、来日が遅れている留学生への遠隔授業、専任教員が不在の教科の遠隔授業、オンデマンドでの授業を希望する一部の科目で遠隔授業が実施される予定である。						
48	旭川工業高等専門学校	01.北海道	04.高等専門学校	①全面対面	①対面授業を拡大	遠隔授業で対応可能・困難な科目の特性が見えてきた。オンラインで修得可能な知識がある一方、対面でしか獲得できないスキルがあり、今後の授業設計等に活用したい。						
49	弘前大学	02.青森県	01.国立大学	①全面対面	②大きな変化なし	現在、近隣市町村において感染が広がっていないため基本的な考え方に大きな変化はない状況である。						
50	青森公立大学	02.青森県	02.公立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
51	青森県立保健大学	02.青森県	02.公立大学	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	所属教員については対面授業が主であるが、遠隔からの非常勤講師等については遠隔授業を行う場合がある。	⑤差はない		②④⑤	
52	青森大学	02.青森県	03.私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	遠隔授業の教育効果について、学生も教職員も一定数は評価しているが、面接授業の教育効果に勝るものがないという意見が大半だったため、コロナ罹患者がいない状況および緊急事態宣言地域でないことを鑑み、感染予防対策を講じた上で、面接授業を展開していきたいと考えている。春学期からは即座に遠隔授業も行える体制も取り運用することとしている。						
53	奥田学園大学	02.青森県	03.私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
54	弘前学院大学	02.青森県	03.私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	本学は、感染対策を講じて対面授業を実施している。なお、遠隔授業に対応できる措置も講じている。						
55	八戸工業大学	02.青森県	03.私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
56	八戸学院大学	02.青森県	03.私立大学	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面		⑤差はない		①②④⑦	
57	青森中央学院大学	02.青森県	03.私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
58	弘前医療福祉大学	02.青森県	03.私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	感染が拡大した場合に遠隔授業を展開できるよう情報基盤の整備を予定している。						
59	青森明の星短期大学	02.青森県	03.私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							

No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
60	青森中央短期大学	02.青森県	03.私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
61	八戸工業高等専門学校	02.青森県	04.高等専門学校	①全面対面	①対面授業を拡大							
62	岩手大学	03.岩手県	01.国立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	現在、岩手県において感染者数が少ないことに加え、学生が教員や友人たちと直接会って授業を受け、実際に体験・経験する大学教育を展開していくことこそが学生自身の大きな成長につながると思われているから						
63	岩手県立大学	03.岩手県	02.公立大学	①全面対面	②大きな変化なし	理由：現下の感染状況が変わらないため。状況：対面による授業を基本とする。						
64	岩手医科大学	03.岩手県	03.私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
65	富士大学	03.岩手県	03.私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
66	盛岡大学	03.岩手県	03.私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
67	岩手保健医療大学	03.岩手県	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	首都圏等在住の非常勤講師については、遠隔授業で対応予定	①ほぼ対面	首都圏等在住の非常勤講師については、遠隔授業で対応予定	⑤差はない		②④	
68	修紅短期大学	03.岩手県	03.私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
69	一関工業高等専門学校	03.岩手県	04.高等専門学校	①全面対面	①対面授業を拡大							
70	東北大学	04.宮城県	01.国立大学	②併用	②大きな変化なし		②7割対面	各授業科目で学修する内容・特性に合わせ、キャンパスで行う対面授業とオンライン授業を効果的に併用した授業を実施することとしています。なお、学部1・2学年で履修する全学教育科目は、対面での学習効果を重視した授業を実施する予定です。	③学部・学年ごとに差	医学部や歯学部など資格取得に対応するカリキュラムが実施される学部や、理系学部では、実験・実習が多くなる学年もあり、学部や学年等により多少の差異は生じています。	①②③④⑤⑥⑦	
71	宮城教育大学	04.宮城県	01.国立大学	②併用	②大きな変化なし	令和2年度後期の状況を踏まえ、同年度後期の授業方針で、令和3年度も引き続き授業実施予定であるため	②7割対面	感染防止に最大限に配慮して、基本的に対面を実施するが、感染防止が難しい授業についてはオンライン授業とするという方針に基づき判断した。	⑤差はない	該当なし	①②③④⑤⑥⑦	該当なし
72	宮城大学	04.宮城県	02.公立大学	①全面対面	②大きな変化なし	地域の感染状況の変化に対して迅速に対応できるように、令和2年度後期から、感染状況に応じた授業実施対応表をつくり、授業方式を判断しており、令和3年度（前期）の授業実施についても、同様の基準により実施方式を判断した。						
73	仙台大学	04.宮城県	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	本学は体育系大学という特性もあり、新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底したうえで、面接授業が望ましい実技科目は面接授業を行っている。但し、講義科目の中には対面授業ではなく遠隔授業を実施したほうが教育効果が高いと考えられる科目もあった。	③半々	面接授業は、原則として面接授業が望ましい実技・実習・演習・実験科目とし、講義科目については遠隔授業を基本として運用している。但し、学部長・教職支援センター長が面接授業を必要と認める講義科目については講義室やソーシャルディスタンスに配慮したうえで、教室で受講する人数制限を設け、面接授業を認めている。	④その他		②⑦	
74	東北学院大学	04.宮城県	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	大規模講義に対して遠隔授業を実施することの有効性は理解できるが、グループ学習やピアサポートなどにおける対面学習の必要性は浮き上がってきている。	③半々	受講生100人以上と100人以下で遠隔と対面の授業を予定し、学生の学内への立ち入りは原則制限しない。ただし、宮城県内での「緊急事態宣言」の中で、4月中は当面の間、原則、遠隔授業を行い、対面については、実験授業や少人数ゼミに限定させるを得ない。	①学部ごとに差	経済学部、経営学部、法学部では対面の割合が低く、文学部、工学部、教養学部では相対的に高くなる。それぞれ学問分野や学生数等によるものと考えられる。	②③④	
75	東北工業大学	04.宮城県	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度後期は、オンライン授業が7割で、正課外活動も制限が多かったため多くのクラブは活動を自粛していた。その結果、新入生のクラブ加入率は例年より4割程度減少したことを受け、令和3年度は感染症対策をしっかりと施した上で、1・2年生を中心にできる限り通学機会を確保したいと考えた。	②7割対面	令和2年度のオンライン授業実施結果を受け、オンライン授業の方が学生と高い教育効果が認められた授業についてはオンライン授業を継続する。一方で、実験・実習等、対面授業の方が教育効果が高いと思われる授業については対面を実施するが、教室の収容定員を1/2に設定するため、教室稼働率をもとに決定した。	②学年ごとに差	1・2年生については、教職員および学友との対面における交流機会の重要性に鑑み、7割程度を対面授業とし、3・4年生については実験・実習等の授業を中心に、5割程度を対面授業とする予定である。	①②③④⑤⑥⑦	
76	東北福祉大学	04.宮城県	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生アンケート等を検討し、対面での授業や交流機会の重要性を認識した。	②7割対面	原則、履修登録者数100名以下の授業科目を対面を実施することとしたため。	③学部・学年ごとに差	学部等の実施比率の差異は、定員数の違いと資格取得にかかわる実習科目等の比率の違いによる。また学年における実施比率の差異は、1・2年次に必修となる語学科目やスポーツ科目の有無が違いとなる。	①②③④⑤⑥⑦	
77	東北医科薬科大学	04.宮城県	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和3年度も当面新型コロナウイルス感染症の影響は基本と想定されるが、学生の修学目的達成及び人間形成を促すため、可能な限り、キャンパスでの交流を伴う学生生活を送る機会を十分に提供するよう努めることが必要と考えたため。	②7割対面	各学部・学科・学年の面接授業日数及び夏休期末までの授業実施日数について、入学定員数による加重平均を行ったうえで、比率を算出した。	③学部・学年ごとに差	本学の高学年（医学科・薬学科5～6年次）では、面接で行う必要がある医療機関における臨床実習（医学科）・実務実習（薬学科）や研究室での卒業研究がほとんどのため、必然的に面接授業の実施比率が高くなった。また、小教養・少人数での学生同士でのグループワーク・ディスカッションによる授業が中心であった医学科4年次は、3密による感染リスクが懸念されることから、遠隔授業に切り替えため、面接授業の比率が低くなった。	①②⑤⑥⑦	
78	東北生活文化大学	04.宮城県	03.私立大学	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	学生数が少ないため、授業の際の「密」を十分回避し得ると見込んだ。	⑤差はない		②④⑥	
79	宮城学院女子大学	04.宮城県	03.私立大学	②併用	②大きな変化なし		②7割対面	面接授業を主として、1校時は通学時の密を避けるために遠隔を中心にする。また100人以上の受講者の講義科目は遠隔で対応する方針。	④その他	音楽科では面接授業と遠隔授業を交互に実施する形態を授業の6割程度に予定している。	①②③④⑤⑥	
80	石巻専修大学	04.宮城県	03.私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
81	仙台白百合女子大学	04.宮城県	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面		⑤差はない		①②④⑤	
82	東北文化学園大学	04.宮城県	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度後期は、極力、対面での授業を実施した。	①ほぼ対面	極力、対面での授業を実施する。	①学部ごとに差	非常勤講師の遠隔授業への対応の違い。実習・演習科目の構成比	①②④⑥	
83	南翔学院大学	04.宮城県	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	前期は、ほぼ遠隔授業にて実施を余儀なくされたが、実験・実習の授業は6月下旬から後期授業開始前まで面接授業を行った。面接授業を希望する科目については感染拡大が落ち着いた時期を見計らい集中講義で対応した。4月のオリエンテーション等は全てオンラインや資料郵送を行い対応したが、特に新入生には、大学での基本的な事項を理解することが難しいまま、非対面授業となり、単位修得に影響が出たため特別措置を行うこととなった。後期は、学生や教員からアンケート調査を行い、面接授業を希望する声が多かったため、1日当たりの登校者を制限し、学年によって面接授業、遠隔授業の曜日を決め対応するために時間割も再編成した。対面授業と遠隔授業を交えた授業を行うことで、新入生も含めて落ち着いた様子が見られた。また、6月に新入生ガイダンスを対面で短時間実施したことにより、改めて基本事項の周知や、学生同士の融合を促すことにより、学生の表情からも、交流機会の必要性を認識した。	②7割対面	文部科学省の方針もあつたが、面接授業及び遠隔授業のメリット・デメリットを精査した。なるべく対面授業を行うことを前提として検討を行った。その中、遠隔授業で授業効果率及び教育効果が高まる授業もあるとの教員からの報告に基づく授業。多人数授業等についてはできるだけ遠隔授業で行う、という方針を基に授業計画を編成。かつ面接授業曜日と遠隔授業曜日を分けて時間割編成を行った結果、この比率となった。	③学部・学年ごとに差	学部等においては、本学の学類・学科構成が、人文社会系・教育系・栄養系となっており、講義・演習が主の学類・学科。実験・実習が多い学類・学科があるため、実施比率に差が生じている。また、学年においては、1・2年次の授業、学類基礎科目等が講義、演習が多く、また本学での方針でもなるべく面接授業を行うようになっているが、上位学年となる。様々な授業形態があり、その授業効果を検討しつつ対面授業・遠隔授業を実施するため、実施比率に差が生じている。	①②③④⑥	



No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
84	宮城誠真短期大学	04.宮城県	03.私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	特に変化なし						
85	聖和学園短期大学	04.宮城県	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生および教員に対してのアンケート結果より	②7割対面			①学部ごとに差	②⑥	
86	仙台青葉学院短期大学	04.宮城県	03.私立大学	②併用	②大きな変化なし		②7割対面	実習や演習科目など、対面授業を必要とする科目が多いため。	③学部・学年ごとに差	実習や演習科目の比率が学科や学年ごとに異なるため。	②④⑤⑦	
87	仙台赤井短期大学	04.宮城県	03.私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
88	仙台高等専門学校	04.宮城県	04.高等専門学校	②併用	②大きな変化なし		②7割対面	面接授業を基本とするが、感染防止として学校内で密な状況避けるとともに遠隔授業で効果が得られる場合、遠隔授業を取り入れている。	③学部・学年ごとに差	1年生、2年生の授業は面接授業の実施比率が高い。ロボティクスコースの授業は遠隔授業の実施比率が高い。	①②③④⑤⑥⑦	
89	秋田大学	05.秋田県	01.国立大学	②併用	②大きな変化なし	令和2年度後期の時点においても対面の重要性は認識しており、現在も変わらない。感染対策のため通常よりも座席間隔を広く取っており、全ての授業を対面で実施することは難しい。また、授業によっては遠隔の方が効果的である。	②7割対面		①学部ごとに差	教育文化学部は教職課程を有し、学校種・免許教科毎に授業が設定されるため科目が多岐にわたり少人数・多科目となることから、対面授業の割合が多くなっていると考えられる。	①②③④⑤⑥⑦	
90	秋田県立大学	05.秋田県	02.公立大学	②併用	①対面授業を拡大	政府・秋田県の方針を勘案した上での判断。非常勤講師等、感染拡大地域からの招聘は行わず、遠隔講義での実施とする。	①ほぼ対面	政府・秋田県の方針を勘案した本学BOP基準による。	⑤差はない		②④⑤	
91	国際教養大学	05.秋田県	02.公立大学	②併用	①対面授業を拡大	本学は全国各地からの学生が在籍する学修・居住一体型キャンパスという特殊な環境であることからクラスター感染のリスクを勘案し、R2年度は対面での授業はZoomを活用した遠隔授業で実施した。一方で、文科省の後期授業の実施方針調査の結果、本学の教育内容と類似している首都圏の大学や秋田県内大学の対面授業の開始状況を勘案しつつ、環境豊かなキャンパスでの少人数対面授業は本学の重要な特色であるため、ウィズコロナ・ニューノーマル下で感染予防対策を徹底しながら大学の通常化を目指すことの必要性を認識した。さらに、キャンパスで授業を受ける機会を失った今年度新入生や次年度入学する学生のアカデミック及び学生生活の支援に配慮し、2020年度と2021年度の新入生のキャンパス居住を決定し、一定の行動制限を課しながら、授業の履修を認めることとした。また県内在住の場合も通学を認めている。遠隔では実施が不可能な一部の実技科目については、完全面接（対面）式で実施するが、その他の授業は、面接と遠隔の同時併行型、または遠隔授業で行う形式で実施する。なお、面接授業については、①学内に居住を許可する学生は1～2年生であること、②健康面の理由等から、学生に対面が遠隔のどちらかを選択できるようにしていること、③教室定員を、ソーシャルディスタンスを保つために通常の半分以下にしているため、ローテーションを組んで教室入室を行う必要があること、の3つの理由から完全な対面授業だけでは成り立たない状況のため、本学では面接と遠隔の同時併行型を面接授業とほぼ同等と考えている。	④3割対面	本学は全国各地からの学生が在籍する学修・居住一体型キャンパスであるが、2021年度キャンパス居住入生を認められたのは、2020年度と2021年度の新入生、つまり1・2年生のみであり、また通学学生の履修を認めているものの、一定の行動制限を守って県内から通学する学生に限られるため、1・2年生対象の科目は遠隔授業を行うこととしたため、上級生向けの科目は遠隔授業の割合が高くなっている。さらに、健康上の理由等も配慮し、学生には対面か遠隔かの選択ができるようにしていること、また、本学では少人数制教育を実施しており教室収容定員が元々少数となっているため、社会的距離を保つための教室定員では限られた人数の学生しか収容できないことから、面接と遠隔を同時併行型で提供する形式の授業の割合が高くなっている。	②学年ごとに差	2-5で回答したとおりであるが、遠隔授業が6割、面接と遠隔の同時併行型の授業が3割程度となっている。キャンパス居住学生の2020及び2021年度に入学した1～2年目の学生が多く履修する授業は対面授業の割合が高く、対面および面接と遠隔の同時併行型の割合は8割強となっている。	①②③⑤⑥⑦	
92	秋田公立美術大学	05.秋田県	02.公立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度学生相談件数が前年度より増加しており、コロナ禍による交流機会減を訴える学生が一定数いたため。	②7割対面	概ね、演習系科目＝面接授業、座学＝遠隔授業としている。	⑤差はない		②④	
93	一ノ宮アジア大学	05.秋田県	03.私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	令和3年度も令和2年度同様、対面授業を実施していく						
94	秋田看護福祉大学	05.秋田県	03.私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
95	日本赤十字秋田看護大学	05.秋田県	03.私立大学	②併用	②大きな変化なし	令和2年度後期からの感染状況や社会情勢に基づく大学としての方針に大きな変化はない	②7割対面	秋田県の感染状況や方針等から大学の方針を定めており、基本は面接授業中心の方向性であるが、感染対策として講義室内の座席の間隔を確保した場合に講義室が不足することから、やむを得ず一部遠隔授業とした。	②学年ごとに差	講義室の不足から1・2年生は面接授業、3・4年生の講義授業はオンライン授業とした。	②④⑤⑥	
96	秋田栄養短期大学	05.秋田県	03.私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	令和3年度も令和2年度同様、対面授業を実施していく						
97	聖園学園短期大学	05.秋田県	03.私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
98	聖霊女子短期大学	05.秋田県	03.私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
99	日本赤十字秋田短期大学	05.秋田県	03.私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	令和2年度からの感染状況や社会情勢に基づく大学としての方針に大きな変化はない。						
100	秋田工業高等専門学校	05.秋田県	04.高等専門学校	①全面対面	②大きな変化なし	秋田県内の中学校、高校と同様に換気を徹底した面接授業を実施している。						
101	山形大学	06.山形県	01.国立大学	②併用	②大きな変化なし	本学では、令和2年度後期授業について、前半（10月～12月）と後半（1月～3月）にわけて感染防止対策を講じていることにした。前半は、キャンパスでの対面授業を通じて、学生がお互いに知り合い、教職員と直接交流することで、学びやつながりを深める期間とし、後半は、全面的にインフルエンザなどの感染症が流行する時期であること、年末年始で県をまたぐ大規模な人の移動があること、大学入学共通テストなどで多数の受験生がキャンパスに集まる機会があることなどから、感染拡大防止対策を強化するために、オンラインに切り替えが可能な授業は、できる限りオンラインで実施した。令和3年度前期授業は原則対面授業とするが、現下の感染状況から、いつでもオンラインに切り替えられるよう準備をしておき、基本的な考え方に大きな変化はない。	①ほぼ対面	令和3年度前期授業については、感染症対策を行った上で、原則「対面授業」で実施するが、教室の定員を試験定員とし、大人数の授業等、一部の授業についてはオンラインで実施することとした。	④その他	教室の収容定員を試験定員として授業を実施するため、1年次の基礎共通教育等の大人数で受講する講義については、遠隔授業となる比率が比較的高い。一方で、医学部や工学部等の授業においては、実験・実習・実技科目が多くなることから、面接授業となる比率が高くなっている。	①②③④⑤⑥	
102	山形県立保健医療大学	06.山形県	02.公立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
103	山形県立米沢栄養大学	06.山形県	02.公立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
104	山形県立米沢女子短期大学	06.山形県	02.公立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
105	東北芸術工科大学	06.山形県	03.私立大学	②併用	②大きな変化なし		②7割対面	原則として講義は遠隔授業、演習は面接授業としているが、本学は講義科目に比して演習科目の割合が高く、週あたり2～4日に、1日あたり2コマ以上の面接授業を実施しているため。	⑤差はない		②③④⑦	
106	東北文科大学	06.山形県	03.私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							



No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
107	東北公益文科大学	06. 山形県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	令和2年度秋学期開始時点で面接授業と遠隔授業を効果的に組み合わせ実施することとしており、感染拡大状況に大きな変化がないためこの方針を継続している。						
108	羽根学園短期大学	06. 山形県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
109	鶴岡工業高等専門学校	06. 山形県	04. 高等専門学校	①全面対面	①対面授業を拡大	高等専門学校という学校種の特徴として、15歳からの低学年が教育対象であり、特に低学年では学生同士の交流機会や教員との対面によるコミュニケーションが重要であると認識している。						
110	福島大学	07. 福島県	01. 国立大学	②併用	②大きな変化なし	本学では、令和2年度前期は全て遠隔授業を実施したが、後期は十分な感染防止対策をとったうえで基本的には面接授業で実施した。教室の座席間隔を見直し収容定員を縮小し、それを超える受講者数となる授業科目については遠隔授業で実施したが、その割合は全科目のうち5%程度であった。令和2年度後期の授業運営の経験から、令和3年度においても基本的には面接授業で実施する方針である。ただし、学生の感染状況を十分注視しつつ適時に遠隔授業へ切り替えや臨時休業等を判断する。	①ほぼ対面	④その他		教室収容数を超える大人数講義科目を多く開講する学類は相対的に遠隔授業比率が高い傾向にある。演習科目については基本的に演習用の教室を確保して講義科目に優先して面接授業を実施する。基本的には面接授業で実施する方針であり、遠隔授業科目は全科目の5%程度を想定されることから、令和3年度前期の授業運営に大きな問題は無いと考える。	②③④⑤	
111	福島県立医科大学	07. 福島県	02. 公立大学	②併用	②大きな変化なし	新型コロナウイルスの感染状況を見極めて、授業方針を定めることにしているため。	①ほぼ対面	学生の県外移動に対応するための健康観察期間を設けて、その間は教員に誘って遠隔授業で対応する方針である。	⑤差はない			②④⑤⑥
112	会津大学	07. 福島県	02. 公立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	2021年度については、人的交流の必要性や学生の心身への影響、教育効果なども踏まえ検討した結果、新型コロナウイルス感染症対策を十分講じた上で、原則として面接により授業を実施することといたしました。ただし、基礎疾患（糖尿病、心不全、呼吸器疾患（COPD等）等を有することにより遠隔での受講を希望する学生や、各国における日本への渡航制限や日本政府の次期対応により大学に滞留できない学生に対してのみか、遠隔での授業実施を検討します。なお、この場合でも、残りの履修学生に対しては、面接にて授業を実施する方針です。						
113	郡山女子大学	07. 福島県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	前期はオンラインを多用し、後期はほぼ面接。現時点でも正解を導き出すことは困難と思われる。可能な限り教育の質と安全についての両立に努めている。						
114	奥羽大学	07. 福島県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	全国的に緊急事態宣言が発出された令和2年5月に遠隔授業を実施した以外は、感染者を出さずに通年で対面授業を行うことができたことが理由で、基本的に考え方に大きな変化はありません。						
115	医療創生大学	07. 福島県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	本学における感染予防対策ならびに対面授業教室や履修状況を勘案し判断	③学部・学年ごとに差	医療系学部のため、実習や実験など、学年が高くなるにつれ対面を重視		①②③④⑤
116	東日本国際大学	07. 福島県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	本学は両学部共に令和2年度、春学期は全面遠隔授業で、秋学期は対面授業を中心に遠隔授業を併用するハイブリッド型授業で、それぞれ授業を実施した。その中で、遠隔授業の利点が明らかになると同時に、大学に違い、教室で学生同士、また教職員との交流を通じて、学生たちが様々な対人関係と対人スキルを身につけている状況が確認された。そのため今年度は、遠隔授業の利点を最大限生かしつつ、感染症対策に万全を期したうえで、積極的に対面授業を実施する方向性をとっている。	①ほぼ対面	本学の教室の定員状況および各授業の受講者数等を勘案し、感染症対策の観点から教室定員を原則通常の2分の1以下に設定したうえで、対面授業がどの程度実施可能かを検討した。その結果、2-4の回答にみられる状況となった。	⑤差はない		①②③④⑤⑥	
117	福島学院大学	07. 福島県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	様々な制約がある中で、教育の質の維持、学生のモチベーションの維持、学生の心のケアなど遠隔への対応に難しさを感じた。						
118	桜の聖母短期大学	07. 福島県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	短大立地地域（福島市）周辺の感染拡大状況が第3波時点でも落ち着いており、いつでも遠隔に切り替えられる準備をしながら、出来るだけ対面授業で最後まで授業を終えることができた。						
119	いわき短期大学	07. 福島県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
120	福島工業高等専門学校	07. 福島県	04. 高等専門学校	①全面対面	②大きな変化なし	令和2年度後期授業の実施についても、面接授業を基本として、地域の状況等を踏まえ効果的に遠隔授業を取り入れており、令和3年度についても同様の取扱いをもとに準備を進めている。						
121	茨城大学	08. 茨城県	01. 国立大学	②併用	④その他	これまで実施した各種調査において、充実したキャンパスライフを送ることができていないという学生の意見もあり、面接授業の実施や学生同士のコミュニケーション機会提供の重要性について再認識した。一方、オンラインの授業デザインやスキル向上に伴い、面接授業・オンライン授業それぞれの特長に応じた向き不向きに関する知見や、多数の授業が従前の面接授業と同等以上の教育効果を上げることができたとの調査結果も得られたことから、これまでに得られた知見を適切に活用することで、面接・オンラインを問わず教育の質を向上させるための継続的な改善が必要であることを認識した。	③半々	本学が従前より継続的に実施している学生の授業アンケートにおいて、授業の理解度、満足度、授業外学習時間、担当教員による授業手法の工夫などは、令和元年度よりも令和2年度前期期が、令和2年度前期期よりも後学期の方が向上がみられる。令和2年度は20回を超えるオンライン授業に関するFDや、後学期より導入したLearning Management Systemの活用事例紹介などを行っており、担当教員のスキル、授業デザイン及び教材の工夫なども要因と思われる。一方で、教員に対するアンケートでは、講義科目については前年度と比較して履修学生の到達度が上がったと認識しているが、特に演習・実験・実習科目においては、肯定的な意見が見られた。このような結果も踏まえ、感染症の収束が見えない現段階において、令和3年度の授業は、教室定員等に応じた感染防止に努めつつ、これまでの経験によって得られた教授法等の知見を授業内外に積極的に取り入れ、対面かオンラインか一律に決定するのではなく、学部や分野、授業形態の特性に応じ、高い教育効果が期待できる授業手法を開放学部等において適切に検討・実施することを決定した。この結果、5割程度の面接授業実施となった。また、授業内外において学生同士が対面で交流する機会を提供することは、コミュニケーション能力の向上や人間形成において重要であるとの認識から、特に新入生の授業については、感染症対策に留意しつつ、積極的に面接授業を実施する方針としている。なお、上記の方針は感染状況の推移に応じて随時見直すものとしていることから、自治体の警戒レベルの引き下げがあった場合には、より積極的な面接授業の実施を検討する。	③学部・学年ごとに差	初年次においては、基礎教育が中心となり、比較的大人数の講義科目が講義するため、感染拡大の観点からオンライン授業の比率が低い。しかし、対面によるコミュニケーション、学生同士の交流の重要性も考慮し、必修科目を含む演習授業及び実技系授業については、面接授業を基本としているため、5割程度が面接授業となっている。2年次以上については、学部や分野の特性に応じ、各学部で実施方法を決定している。面接授業の実施率は学部によって異なり、2割強から7割弱と差があるが、感染拡大防止や教育効果の観点から面接授業の一部にオンライン手法を取り入れた授業を含めると、7割5分以上の実施率となっている。	②③④⑦	

No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
122	筑波大学	08.茨城県	01.国立大学	②併用	②大きな変化なし	①のキャンパスに通学して学ぶ機会や対面での交流機会の重要性については、すでに令和2年度の後期の方針検討時には重要視していた。しかしながら、感染防止の観点から、どうしても教室定員等による制約は発生することとなり、その状況は令和3年度開始時点でも、第3波第4波、実質的な感染拡大などが間接視されている現状では緩めるわけにはいかず、大きくは変えられない。しかし制約がある中でも、今度の新入生と、対面の機会が著しく少なかった令和2年度の入学を対象とした授業については、なるべく対面実施を検討するように方針を出しているところ。	④3割対面	ソーシャルディスタンスを保つ教室定員を設定した結果、平均すると約35%の出席人数となること、令和2年度後期のある時点で学士課程科目について検証した結果、対面を実施していた科目はほぼ3分の1程度であったこと。	①学部ごとに差	実験や実習科目の多い学部（医学群、芸術専門群、体育専門群、生命環境学群）は比較的対面授業の実施率が高い傾向にあった。	①②③④⑤⑥⑦	
123	筑波技術大学	08.茨城県	01.国立大学	②併用	①対面授業を拡大	遠隔では対応が困難な実習や演習についてのみ面接授業とする令和2年度後期の方針から、令和3年度は、国や自治体の対応方針・要請等も踏まえて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じた上で、面接授業の実施を基本とする方針とした。	①ほぼ対面	令和3年度前期の授業については、面接授業を基本とするが、基礎疾患を持つなど感染リスクが高い学生や、感染リスクを懸念する学生等への配慮のため、面接授業と遠隔授業を併用することとし、学生を対象に実施した面接授業と遠隔授業の希望調査の結果から①と判断した。	⑤差はない		①②⑥	
124	茨城県立医療大学	08.茨城県	02.公立大学	②併用	①対面授業を拡大	特に新1・2年次生の対面交流機会の確保の重要性や本学で高い割合を占める演習・実験・実習科目の対面の重要性	①ほぼ対面	一定の広さの教室（履修者の2倍程度）が確保できる科目を面接授業とした	⑤差はない		①②③④⑤⑥⑦	
125	茨城キリスト教大学	08.茨城県	03.私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	コロナ禍の中で所在する県及び近隣都県の感染状況を考慮して適宜対応することにおいて変化なし						
126	常盤大学	08.茨城県	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生の学修機会の確保と感染対策の徹底の両立を図るとともに、例年と異なる環境の中でも、学生が安心して、また十分納得した形で学修できるように対応を講じることが重要であると考えている。	①ほぼ対面	大学の授業は、主に教室等において対面で授業を行うことを想定していることに鑑み、授業科目の区分等に応じて、優先順位を定めて判断した。具体的な内容は次のとおりである。 1. 面接授業を実施することを基本とする授業科目（1）学期に定める『授業の方法』が「演習」、「実験」、「実習」または「実技」のいずれかに該当する授業科目（2）学期に定める『授業の方法』が「講義」の授業科目のうち、「必修科目」または「資格取得に係る必修科目」のいずれかに該当する授業科目 ※ただし、学長が特別に認めた授業科目に限り、その一部または全部の授業において遠隔授業（オンライン授業）（以下単に「遠隔授業」）を実施する場合がある。 2. 遠隔授業を実施することを基本とする授業科目 上記1.（1）および（2）のいずれにも該当しない授業科目 ※ただし、学長が特別に認めた授業科目に限り、その一部または全部の授業において面接授業を実施する場合がある。	③学部・学年ごとに差	面接授業と遠隔授業の比率にも配慮しつつ、授業科目の区分等に応じて、優先順位を定めて判断しているため、教育課程の特性等との関係から、開設科目の授業の方法や配当年次等により差異が生じている。	②③④⑦	
127	つくば国際大学	08.茨城県	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	実習科目、専門科目の面接授業の必要性を再確認したため	③半々	医療系学部として、主に専門科目や実習科目を面接授業とし、一方で基礎科目や座学等については遠隔に扱っても面接と同等の効果が得られるものとし、リスク回避のため遠隔授業とした	②学年ごとに差	実習、専門科目が多い学年は面接比率が高くなる	②⑧	専門性が高く面接が好ましい授業は座学であっても十分な感染対策を行った上で面接授業とする予定である。
128	筑波学院大学	08.茨城県	03.私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	令和2年度後期は感染拡大を防ぐための対策を取り8割以上の授業を対面授業とした。具体的な対策としては、校舎の出入り口を1か所に限定し入構時の検温、密にならないよう教室の机・椅子を間引いての定員減、放課後に校舎内除菌消毒や学食の机及び飛沫感染対策用に設置したアクリル板などの拭き消毒などを実施した。その結果、クラスターの発生がなかったため、令和3年度は令和2年度後期と同様の感染対策を実施しつつコロナ禍以前と同様の面接授業を実施することとした。						
129	日本ウェルネススポーツ大学	08.茨城県	03.私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
130	茨城女子短期大学	08.茨城県	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面		⑤差はない		①②⑤	
131	つくば国際短期大学	08.茨城県	03.私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
132	常盤短期大学	08.茨城県	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生の学修機会の確保と感染対策の徹底の両立を図るとともに、例年と異なる環境の中でも、学生が安心して、また十分納得した形で学修できるように対応を講じることが重要であると考えている。	①ほぼ対面	大学の授業は、主に教室等において対面で授業を行うことを想定していることに鑑み、授業科目の区分等に応じて、優先順位を定めて判断した。具体的な内容は次のとおりである。 1. 面接授業を実施することを基本とする授業科目（1）学期に定める『授業の方法』が「演習」、「実験」、「実習」または「実技」のいずれかに該当する授業科目（2）学期に定める『授業の方法』が「講義」の授業科目のうち、「必修科目」または「資格取得に係る必修科目」のいずれかに該当する授業科目 ※ただし、学長が特別に認めた授業科目に限り、その一部または全部の授業において遠隔授業（オンライン授業）（以下単に「遠隔授業」）を実施する場合がある。 2. 遠隔授業を実施することを基本とする授業科目 上記1.（1）および（2）のいずれにも該当しない授業科目 ※ただし、学長が特別に認めた授業科目に限り、その一部または全部の授業において面接授業を実施する場合がある。	③学部・学年ごとに差	面接授業と遠隔授業の比率にも配慮しつつ、授業科目の区分等に応じて、優先順位を定めて判断しているため、教育課程の特性等との関係から、開設科目の授業の方法や配当年次等により差異が生じている。	②③④⑦	
133	茨城工業高等専門学校	08.茨城県	04.高等専門学校	①全面対面	②大きな変化なし	令和2年度後期から面接授業を開始しており、令和3年度前期も継続して面接授業を行い、感染が拡大した場合は、遠隔授業に切り替える方針としている。						
134	宇都宮大学	09.栃木県	01.国立大学	②併用	①対面授業を拡大	コロナ禍による学生アンケート結果等により検討	②7割対面	『新型コロナウイルス感染症対策のための宇都宮大学の対応方針』及び「令和3年度前期における授業の実施方針」による。	⑤差はない		①②④⑤⑥	
135	足利大学	09.栃木県	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	暫くは続くコロナ禍において、学内における3密の回避や感染症対策と、学生同士の交流や学修機会の確保を両立することが学生・教職員にとって大変意味のあることと認識したため。	③半々	面接、遠隔のハイブリッド型授業を運営することで学内の入構者数を通常の約半分にする計画を立てた。なお、実験・実習科目は面接授業で実施する。	②学年ごとに差	工学部については低学年において、多人数の講義や発声を伴う語学などの科目がある為、遠隔授業の割合が高くなっている。看護学部については1学年の総数が教定定員の約半分程度に収まる為、座学中心の1年生及び2年生は面接授業の割合が高くなっている。	②③④⑤⑥	
136	白鷲大学	09.栃木県	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	3密を防ぐため、利用する教室に限界があり、多人数科目を遠隔授業としているが、学生と教員、また学生同士のコミュニケーションをとる機会として面接授業を設け、大学に来る機会を作ることも重要であると認識した。	②7割対面	講義科目で多くの履修希望者がいる授業を遠隔とした。	①学部ごとに差	教育学部の科目が演習、実験、実技科目が多く設定されているため、面接授業が他学部と比較して若干多くなっている。	②③④⑦	
137	作新学院大学	09.栃木県	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	実習科目や学生間での学び合いが必要である	①ほぼ対面	面接授業を基本とするが、多人数の講義科目については、遠隔授業を併用する又は完全遠隔とせざるを得ない	①学部ごとに差	多人数の講義科目の割合が、学部によって異なるため	①③④	
138	国際医療福祉大学	09.栃木県	03.私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	今後の感染状況の見通しが不明であるため、現状を維持						

No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
139	宇都宮共和国	09. 栃木県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
140	文星芸術大学	09. 栃木県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
141	自治医科大学	09. 栃木県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面		②学年ごとに差		②④⑤⑦	
142	獨協医科大学	09. 栃木県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	特になし	①ほぼ対面	学年ごとに曜日を決め、半数程度が学内で対面できるよう決定した。	①学部ごとに差	第一学年は入学間もなく実習科目が多いため、面接授業の割合を多くした。第四学年についても実習の重要な時期のため面接授業の割合を多くした。	①②⑤	
143	佐野日本大学短期大学	09. 栃木県	03. 私立大学	①全面対面	③遠隔授業を拡大							
144	宇都宮短期大学	09. 栃木県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
145	國學院大学栃木短期大学	09. 栃木県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
146	足利短期大学	09. 栃木県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		②7割対面		⑤差はない		②③⑤	
147	宇都宮文星短期大学	09. 栃木県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
148	小山工業高等専門学校	09. 栃木県	04. 高等専門学校	①全面対面	①対面授業を拡大							
149	群馬大学	10. 群馬県	01. 国立大学	②併用	①対面授業を拡大	「学長と学生との懇談会」や「オンライン授業に関するアンケート」などにより、対面による授業や対面での交流機会を求め、一定の要望がある。	③半々		②学年ごとに差	初年次については対面によるコミュニケーション、学生同士の交流の重要性を認め、できる限りキャンパス内での学習機会を創出するように配慮していること及び高学年次については実験・実習・実技など、特に対面による指導が不可欠と判断される授業や少人数での対話を中心とする演習（ゼミナール）等の授業が多く配置されていることにより、学年ごとに比率が異なる。	①②③④⑤⑥⑦	
150	高崎経済大学	10. 群馬県	02. 公立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	教職員と学生の交流の場、そして学生同士の交流の場という大学の本来の姿を取り戻し、学生が充実した学びと生活を送ることが出来る大学づくりを進めるため	⑤差はない		①④⑤⑥	
151	前橋工科大学	10. 群馬県	02. 公立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
152	群馬県立女子大学	10. 群馬県	02. 公立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
153	群馬県立県民健康科学大学	10. 群馬県	02. 公立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
154	青英大学	10. 群馬県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	感染状況や本学の環境を踏まえ、学内感染予防を徹底するため全学生を2グループに分けて隔週で登学させます。学生は隔週で対面と遠隔授業により受講いたします。	③半々	全学生を2グループに分けて隔週で登学します。在宅週は遠隔授業により受講します。学内全体の全学生数を半数にすることで、授業中はもとより休憩時間、昼食時の混雑を避け感染予防を徹底する必要があるとの判断です。	⑤差はない	①②④⑤⑥		
155	桐生大学	10. 群馬県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
156	群馬バス大学	10. 群馬県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	授業やその他の場面における伝達情報の理解度や相手方の状況把握等について、遠隔であるが故の難しさがあり、対面の重要性を再認識した。また、本学は医療職を養成する大学であり、学内においても演習・実習の授業形式が多く、それらの科目は、面接授業ではないと得られない知識を修得させるための必修科目であるため。						
157	群馬医療福祉大学	10. 群馬県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	医療福祉系の学部構成のためコミュニケーションのとおり、人間形成における対面で学ぶことの意味や実技系科目について対面で実施することに効果があるため	②7割対面	感染拡大防止措置を講じ、教室の広さに対し感染対策が可能な人数であるため、また床の畳成度が「2」に下がったため。	③学部・学年ごとに差	各キャンパスにより環境が異なり、教室の広さに対し感染対策が可能でないため。他キャンパスについては5割程度の対面授業を実施している。また、感染対策のため全学年を通学させることができないため、2・3年生は隔週で遠隔授業を実施している。（5割程度の対面授業を実施。）1年生は大学生生活に慣れ不安等を取り除くため、すべて面接授業としている。また4年生についても国家試験や教員採用試験、就職等を探していることから、すべて面接授業としている。	①②⑤⑥	
158	高崎健康福祉大学	10. 群馬県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生のモチベーションを維持するうえで対面授業の重要性を感じた。	③半々	共通教養科目については原則オンラインで、実験・演習については対面授業で実施する。	②学年ごとに差	学年によって実験・実習の授業数が増えるため。	②③④	
159	高崎商科大学	10. 群馬県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	授業内外での学生同士のコミュニケーションで自然と解決されている様々な課題も多くあるため、可能な限り対面の機会を増やしていくことが学生の学びに良い影響を与えると考えている	②7割対面	開講される授業科目全体のうち、5割程度の対面授業でスタートし、状況を見ながら徐々に対面の割合を増やしていく考えであるため	⑤差はない		①②③④⑤⑥	
160	上武大学	10. 群馬県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし		②7割対面		①学部ごとに差	看護学部については実習・演習の授業が多くオンライン授業を多くすることは難しい。	②④⑤⑦	
161	関東学園大学	10. 群馬県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	特になし	②7割対面	ソーシャルディスタンスが確保できる学内施設（教室等）のキャンパス等や緊急事態宣言の対象区域への往来、居住している教員等を考慮した。	⑤差はない	該当なし	①③④	該当なし
162	共愛学園前橋国際大学	10. 群馬県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	授業の受講者により遠隔と対面を分けている。	⑤差はない		①③④	
163	新島学園短期大学	10. 群馬県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
164	青英短期大学	10. 群馬県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	感染状況や本学の環境を踏まえ、学内感染予防を徹底するため全学生を2グループに分けて隔週で登学させます。学生は隔週で対面と遠隔授業により受講いたします。	③半々	全学生を2グループに分けて隔週で登学します。在宅週は遠隔授業により受講します。学内全体の全学生数を半数にすることで、授業中はもとより休憩時間、昼食時の混雑を避け感染予防を徹底する必要があるとの判断です。	⑤差はない		①②④⑤⑥	
165	群馬工業高等専門学校	10. 群馬県	04. 高等専門学校	①全面対面	②大きな変化なし							
166	埼玉大学	11. 埼玉県	01. 国立大学	②併用	①対面授業を拡大	現在行っている遠隔授業の多くは、緊急避難的に実施しているものであり、本来は対面で行うべき授業が大半である。よって、特に、1・2年の初年次学生が必修として履修する外国語や、各学部の初年次科目を中心に対面授業とすることで、対面での学習の機会を確保するように計画している。	③半々	本来は、対面授業を行うことが原則であり、そのように努めているが、感染症対策のため教室の収容数の1/2に制限をするなどの措置を講じると対面授業が60%までとらざるをえない状況となる。	①学部ごとに差	面接授業は、外国語の殆どの科目、実験・実技・実習系の科目、各学部専門科目のうち、初年次向けの科目で多く実施する予定である。そのため、実験科目の多い理学部、工学部で、面接授業が遠隔授業より高い比率となる。実験・実技・実習系の科目がほとんど無い教育学部、経済学部では、遠隔授業の比率が高くなる。教育学部は、実験・実技・実習系の科目もあるが、講義・演習系の科目も多いため、面接授業と遠隔授業の割合がほぼ半々となる。	②④⑤⑥	
167	埼玉県立大学	11. 埼玉県	02. 公立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度に遠隔授業を実施してきたことで、教員・学生ともに遠隔授業の利点を把握してきた。一方で本学は保健医療福祉系の大学であり、特に臨床実習における対面授業の重要性については、更に強く認識するようになった。	③半々	対面で行うこととした授業の時間数の和を算出し、それを前期開講の全ての授業の時間数の和で除して得た比率。	③学部・学年ごとに差	本学は、保健医療福祉系の教育を中心としており、病院や施設の御協力の上で実施する臨床実習は、教育効果向上のため必要不可欠なものとして認識している。そのため、臨床実習がカリキュラム上多い学科専攻及び学年においては面接授業比率が高くなっている。	①②⑤⑥⑦	

No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
168	日本医療科学大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	本学は医療系大学という特殊性もあり、対面による実験・実習が不可欠であることと、コロナ第4波への懸念は否めないが、感染予防を充分に実施する中で対面授業を再開することとした。						
169	日本薬科大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		②7割対面	令和3年度も新型コロナウイルスの影響が大きいと判断し、前期4か月を学年別に面接授業と遠隔授業を2か月単位で交互に実施することで登校する学生数を制限し、大学キャンパス・教室内での3密防止を図ることとした。この際、卒業研究・卒業試験がある6年生は優先的に全期間を対面授業とするため、全体として面接と遠隔が7対3となった。	②学年ごとに差	6年制学科において、6年生は卒業研究・卒業試験がある為優先的に対面授業とした。下級学年は、3密防止を重視して対面授業と遠隔授業の期間を設定した。	②⑥⑦	
170	武蔵野学院大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	電話やオンラインを用いて学生に寄り添うことを心掛けていたが、実際に顔を見ながら学生と向き合う教育こそが本学の基盤であるとの考えに至った。						
171	浦和大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	授業実施計画を提出依頼した	⑤差はない		①②④⑥	
172	ものづくり大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし		②7割対面	講義であり、受講人数が多い科目を中心に学科で遠隔授業の科目を選定。実習・実験系の授業は面接。1年生の最初の授業はできるだけ面接授業を多くする。面接とリアルタイムの遠隔をできるだけつなげないように配慮。以上の結果、約7割が面接授業。	⑤差はない		②③④⑤⑧	1年生の1クォータ、2クォータは、できるだけ面接授業とし、友人との関係をつくることを大事にする。
173	共栄大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生へのサポートという面では面接授業や学生・教職員、学生同士が対面で接する機会を増やした方が良く考え、可能な限り面接授業を実施できるような検討した。	③半々		⑤差はない		①②④⑤⑥⑦	
174	埼玉学園大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし		②7割対面		⑤差はない		①②④⑤	
175	尚美学園大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	本学では面接授業と遠隔授業を併用して学生に選択させていますが、面接授業を履修する学生が大変多い事から①を選択しました。	③半々	本学では自国にとどまり学修する留学生も多いため、メニューとしては半々を目指しました。	①学部ごとに差	芸術情報、スポーツマネジメントの両学部は演習・実習が多く、学生からの面接授業の要望も高い。一方で総合政策学部は遠隔授業を求める学生の比率が高いため、学部により差が出ています。	①②③④⑤⑥	(対象外)
176	人間総合科学大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	3密を避けるために、1教室の収容人数を減らしているため、学内施設のキャパシティを考えると、面接授業と遠隔授業を併用せざるを得ない。	③半々	キャンパスのキャパシティと時間割編成の都合による。	③学部・学年ごとに差	学部学科の性格上、学年が進む程、実習授業の割合が高まるため。	②⑥	
177	西武文理大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	一緒に学ぶ仲間の姿が見えないことにより、学習意欲が高まらないとの学生、家族の声がある	②7割対面	サービス経営学部では、教室内でのソーシャルディスタンスを確保した場合のキャパシティ、一方、看護学部教育は、面接での授業や実技指導を欠くことが出来ないと判断した。	①学部ごとに差	看護学部は基本的に感染防止対策の上で、90%以上面接授業を行う。	①②④⑤⑥⑦	
178	十文字学園女子大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	基本的には本学が定める「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」の行動制限レベルに則り、授業形態を定めることに変更はないが、遠隔授業に関する学生からのアンケートの結果からも面接授業を望む学生と遠隔授業を望む学生の両方が存在すること、公共交通機関を利用した際の不安がある学生も一定数存在すること、教室等の密を回避するため、半数登校での同時双方向型のハイフレックス形式の授業実施を原則としている。	③半々	学生を学籍番号により2グループに分け交互に週単位での登校とし、登校週は教室での面接授業、登校週でない週は自宅などでの遠隔授業(教室授業のライブ配信)の受講となるため、学生から見た場合、面接授業と遠隔授業が半々になるため。	③学部・学年ごとに差	まず学部別にみると、学部学科の特長として資格取得等に依る実験実習の比重が多い場合は面接授業の割合が高まる傾向があり、学年別では高学年ほどゼミ形式等少人数での授業が増える傾向にあるため面接授業の割合が増加している。	①②③④⑤⑥⑦	
179	平成国際大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		③半々		⑤差はない		①②④⑥⑦	
180	東京国際大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	①対面でのみの授業、②対面とオンデマンドを組み合わせた授業、③オンデマンドのみの授業の3つのパターンがあり、①と②の授業を実施する科目数が全体の9割を超えるため。	③学部・学年ごとに差	医療健康学部においては、実習科目が多く、学修の特性上、すべての科目を対面を実施することとした。1年生については、大学での学びの導入およびサポートには対面授業が有効と思われるため、対面授業の比率が高くなっている。	①②③④⑤⑥	
181	城西大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	面接授業実施により、友人の輪が広がり、友人から学び得る大切さがある。また教員の距離感も縮み、教育効果がある。	①ほぼ対面	教室内の密状態を避けるため、大学内の教室の収容人数の6割程度を目安に授業実施計画を立て、6割を大幅に超えるような授業科目についてはオンライン授業を実施することとした。	⑤差はない	特になし	①②③④	
182	東邦音楽大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	考え方に変化はありません。						
183	獨協大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	大学における面接授業の重要性は言うまでもありませんが、検封時期において埼玉県の感染状況が収束に向かっているとは言えないことから、令和3年度春学期は、感染防止対策を十分に行いながら面接授業と遠隔授業を併用することとしました。これまで遠隔授業実施の経験から得たメリットを今後も活かしていきたいと考えています。	②7割対面	感染症防止対策の観点から履修登録者数の多い科目(概ね100名以上)を遠隔授業で実施し、その他の科目は面接授業で実施することを基本とします。しかし、教員の健康面の配慮や科目の特性、遠隔授業ならではの教育効果なども考慮し、面接授業の割合がおおよそ7割と見込んでいます。	③学部・学年ごとに差	本学では外国語学部、国際教養学部、経済学部、法学部があり、学部・学年による履修科目の違いとその特性によって面接授業・遠隔授業の差異が生じる場合があります。	①②③④⑥	
184	日本工業大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	学内の感染予防対策の充実や遠隔授業における環境整備が定まったため。	①ほぼ対面	原則、対面授業を基本としているが、教室の収容人数(通常の半分)や科目の性質から遠隔授業科目を決定した。	⑤差はない		②③④⑤⑥⑦	
185	埼玉医科大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	感染防止状況が一進一退であることから、学習現場でのクラスター発生を未然に防ぐには面接と遠隔の併用は必須である。埼玉県内では変位株の陽性率が高いとの報道もあり、対面授業の全面回復は非常に危険と考える。しかしながら、対面授業の重要性は十分に認識しているため、学年・学期・授業形態を踏まえて調整を図る方針である。なお、学生間に対面授業を望む声があることは承知している。	③半々	1年生(新入生)は、1学期の早い段階で対面授業を取り入れる。演習・実習は可能な範囲で時間を減らした上での対面授業とし、講義は基本的に遠隔授業とする。	③学部・学年ごとに差	医学部は各学年において、それぞれ講義、演習、実習の時間が異なる。また、保健医療学部では各学科、学年で異なる。	②④⑤⑦	
186	埼玉工業大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面		③学部・学年ごとに差		①②④⑥	



No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
187	駿河台大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	可能な限り対面型の授業実施を行うことを基本とするが、受講者が一定数を超える授業や通常の定員を減らした教室の状況により、遠隔授業や面接授業と遠隔授業を組み合わせたハイブリッド型の授業を行うこととしている。春学期においては、各学年の必修演習科目は面接授業とし、必修講義科目や実習実技科目等はハイブリッド型、講義科目はオンライン授業の方向である。なお、秋学期については、感染状況等を踏まえながら引き続き検討することとしている。	③半々	教室の通常定員の50%と設定し、その中で授業の態様に応じて、必修演習や実習実技を伴う授業については面接授業及びハイブリッド型を行う。また、大人数の講義科目は通常の定員に制限があることから遠隔授業を実施することとしている。この結果、令和3年度春学期の学部開設授業の全授業回数のうちおおむね半数を面接授業として実施している。なお、授業数ベースでは、対面が全く入らないオンライン授業は約3分の1であり、授業の3分の1には面接授業が組み込まれている（面接授業が3分の1、ハイブリッド型の授業が3分の1）。	③学部・学年ごとに差	1) 学部における差異については、①教室の定員を半分としている以上、各学部の定員・クラスサイズが異なることによる要因がある。②法学部や経済経営学部のように講義科目の比率が高い学部とメディア情報学部、スポーツ科学部、現代文化学部、心理学部のように実習実技科目の割合が一定数ある学部での差異がある。2) 学年における差異については、産学の講義科目と必修演習や実習実技科目の割合が影響している。低学年では共通教育系などで講義科目が一定数あることもあり、授業数としては産学の講義科目が多くなる。3) 3年次においては、前述の三つの学部において実習実技科目の割合が高くなる場合があることによる。なお、1年次については、キャンパスに通学して学ぶ機会の確保等の観点から、必修演習科目を面接授業とす他、必修講義科目をハイブリッド型とし、学生をグループ分けする交代制等により、対面を授業を行う機会を増やすこととしている。	①②③④⑤	
188	聖学院大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		②7割対面		①学部ごとに差		①②③④⑤⑥	
189	女子栄養大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面		②学年ごとに差		①②③④⑤⑥⑦	
190	東都大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	アンケート等による学生の声を聞いて	③半々	対面が望ましい、実験・実習・演習系の授業は基本対面とし、その他の講義については、感染対策として、各教室等の使用基準を収容定員の50%に設定した	②学年ごとに差	演習系の授業の配当年次の違いや、取得する授業科目数が学年により異なるため	①②③⑤⑥	
191	日本保健医療大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		③半々		③学部・学年ごとに差		②③④⑥	
192	文教大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和3年度においては、学生が大学に通学して学ぶことを基本とし、原則として対面形式の授業を実施することとしている。ただし、令和2年度に得た知見に基づき、より教育効果が得られると考えられる場合、または、受講者が多く教室内の「3密」を回避する場合、にオンライン形式の授業を行うこととし、適切に対面形式とオンライン形式を併用する。	①ほぼ対面	令和3年度は対面授業を主体とすることを学長方針として決定した。あわせて、感染拡大防止の観点から大規模授業となる見込みの授業に関しては、原則として遠隔授業とすることを方針とした。これらを踏まえ、授業担当者へ調査を行い、対面授業・遠隔授業の選定を行い、この結果となった。	①学部ごとに差	教育学部は少人数授業が主体に構成されているので、遠隔授業にする大規模授業が少ないため、対面授業の比率が高くなっている。一方、人間科学部は大人数で行う講義科目が多く、遠隔授業として実施する条件に合致する授業が多く教育学部に比べ、対面授業の比率が低くなっている。一方で、79%が対面授業実施と高い比率になっている。	①②③④⑤⑥	
193	大東文化大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度授業の一部の科目を除いてオンライン（遠隔）授業の実施であったが、学生が対面で学ぶことの重要性を強く認識していることから、令和3年度については原則対面での授業を行う方針を定めた。	①ほぼ対面	各教室の収容人数上限の約半数程度で各授業の履修者数が収容できるかどうかを目とした。また多数の受講者が見込まれる授業科目については、原則として遠隔授業での実施とした。	③学部・学年ごとに差	本学は一部の学部学科を除き、1・2年次は東山山キャンパス、3・4年次は板橋キャンパスで学んでいる。また、キャンパスによって教室数、教室の収容人数が異なることや、各学部が定める面接授業を想定した必修科目や語学系科目の開講数異なることが理由である。	①②③④⑤	
194	武蔵野短期大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	電話やオンラインを用いて学生に寄り添うことを心掛けていたが、実際に顔を見ながら学生と向き合う教育こそが本学の特色であるとの考えに至った。						
195	埼玉純真短期大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	教育は知識の習得にとどまらず、人格的なふれあいの重要性を感じたため。						
196	城西短期大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	面接授業実施により、友人の輪が広がりが、友人から学び得る大切さがある。また教員との距離感も縮み、教育効果がある。	①ほぼ対面	教室内の状態を避けるため、大学内の教室の収容人数の6割程度を目に授業実施計画を立て、6割を大幅に超えるような授業科目についてはオンライン授業を実施することとした。	⑤差はない	特になし	①②③④	
197	国際学院埼玉短期大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	学生への安全対策等は万全を期しているが、埼玉県の感染状況は未だ深刻であり、令和2年度と大きく変わらないと判断するため。	①ほぼ対面	面接授業を原則とするが、感染状況によっては直ちに遠隔授業を行う体制としている。	①学部ごとに差		①②③④⑤⑥	
198	秋草学園短期大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	社会情勢や学生からの要望を考慮した。	①ほぼ対面	遠隔授業であっても教育の質の確保ができると判断した一部の大人数の講義科目以外は対面授業とする。	①学部ごとに差	夜間部である幼児教育学科第二部のみ、対面授業の割合が7割程度。理由としては、学生の生活や通学の負担を考慮しているため、遠隔授業の割合が他学科より高くなっている。	①②④⑦	
199	川口短期大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面		⑤差はない		①②④⑤	
200	埼玉医科大学短期大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	基本的な考え方に大きな変化はない。	②7割対面	感染状況と学内施設のキャパシティ等を考慮した。	②学年ごとに差	看護教育であり、学年で産学と実習授業とことなるため。	①②③④⑤⑥⑦	
201	埼玉女子短期大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	面接授業を基本路線とし、100名の講義科目は遠隔	⑤差はない		①②③④⑥	
202	山村学園短期大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
203	武蔵短大	11. 埼玉県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし		②7割対面	教室のキャパシティにおいて密にならないように配慮した。	⑤差はない		①②④⑤⑥	
204	埼玉東明短期大学	11. 埼玉県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	直近の感染状況や各県庁からの通知等を踏まえ、学生の学びを第一に検討を行っている。						
205	千葉大学	12. 千葉県	01. 国立大学	②併用	①対面授業を拡大	本学では、令和2年度後期より、オンデマンド型のメディア授業、同時双方向型のメディア授業、対面授業を併用するとともに、ひとつの科目の中でも、これらの授業形式を組み合わせさせて実施してきた。令和2年度を取り組みを通して、メディア授業の実施体制が整ったほか、教員、学生の理解が進んでおり、令和3年度も引き続き、対面授業の重要性を考慮しながら、新たな授業の在り方として、令和2年度後期と同様の形式にて授業を行う。	③半々	本学では、令和3年度の授業に先立ち、授業の実施方法や授業に使用するシステムについて事前調査を行っており、面接授業が概ね6割程度、遠隔授業が概ね4割程度という調査結果を得ている。	①学部ごとに差	本学の医学部、薬学部、看護学部といった、医療系学部においては、カリキュラムの構成上、高学年での多くの授業は医療現場での実習となっている。医療現場での実習の効果も考慮し、これら授業は対面での実施が必要となることから、学部や学年における実施比率の違いが必然的に発生する。	②④⑤⑥	
206	千葉県立保健医療大学	12. 千葉県	02. 公立大学	②併用	①対面授業を拡大	通常の授業その他臨地実習科目・体験学習科目などで授業の遠隔化により、本来想定している授業に近付く為に苦慮し、対面で学ぶ重要性について強く認識した。	③半々	面接授業には実習が含まれ、更に上級生になると実習が殆どを占める事による。	②学年ごとに差	面接（対面）授業の対象となる実習・演習科目が2年生後半以降に集中しており、1年生から2年生前期までは遠隔授業の対象となる講義科目が中心であるため。	②③④⑥	
207	流通経済大学	12. 千葉県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	直接的な対話による学習効果に加え、課外活動の意義やキャンパスライフがもたらす愛校心の醸成等の重要性を再認識した。	①ほぼ対面	原則は面接授業を行うこととした。そのうえで、多人数が受講する授業については遠隔（オンライン）授業に対応することとした。	③学部・学年ごとに差	前年度の履修実績をもとに多人数のクラスを遠隔（オンライン）授業とするため、学生数の多い学部では遠隔授業の割合がやや高い。また、教養科目は多人数のクラスが多く履修者の多い学年では遠隔授業の割合がやや高い。	①②③④⑤	
208	明海大学	12. 千葉県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	2020年度後学期においては、授業を対面で行うか遠隔で行うかの判断は各学部等で行ったが、2021年度前期期については、全学的に一部の科目を除いて、対面授業を基本とした。	①ほぼ対面	面接授業を原則とするが、感染対策として学内滞在者を減らすために、①履修者の中に複数の学部、学科、年次の学生が混在していること、②履修者数が事前把握困難であること、③遠隔授業でも対面と同等の学修効果が得られること、という条件に当てはまる共通科目を遠隔授業で実施することとした。	③学部・学年ごとに差	歯学部では、付属病院での臨床実習を行う5学年は遠隔授業では十分な教育効果が得られないこと、また最終学年の6学年においては、歯学部での総仕上げを行う非常に重要な1年間であることから、全ての授業を対面で行うこととしている。	①②④⑥	

No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
209	国際武道大学	12.千葉県	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	本学では、令和2年度後期から徐々に実技・実習科目を中心として対面授業を増やしてきた。令和3年度においては、1年次生前期開講の初年次教育科目についても、教室を分散させるなどの工夫をして、対面授業を行う予定である。	③半々	本学では、実技・実習科目を中心として対面授業を増やしてきた。体育大学の特徴としてクラブ活動単位での管理ができるため、万一、クラスターが発生しても感染拡大を最小限に留めるための方策として、実技授業もクラブ単位での授業を行うなど、工夫を凝らしてきた。今後とも、これらの取組を土台として、できる限り対面授業に移していく予定である。	④その他	本学では、実技・実習科目を中心として対面授業を増やしてきた。しかし、1年次生の配当年次に実技科目が少なかったこともあり、2021年度からは、教育課程の見直しを図り、1年次での実技科目を増加させる措置を講じた。	②④⑤⑥	
210	千葉科学大学	12.千葉県	03.私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	遠隔授業より、対面授業の方が学生の理解度が高かった。						
211	愛国学院大学	12.千葉県	03.私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
212	明智国際大学	12.千葉県	03.私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
213	清和大学	12.千葉県	03.私立大学	②併用	②大きな変化なし	学生と教職員の生命・健康を守ることを最優先に考慮し、収容定員等を考慮して方針を決定した。	④3割対面	演習・実技科目を面接とすること、昼食での感染リスクを避けるため授業配慮を午後とした。	⑤差はない		②④	
214	城西国際大学	12.千葉県	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度は、コロナ感染拡大の中で、オンライン授業を中心に実施するしか選択肢が無く、対面授業は限定的であった。オンライン授業は一定の効果はあったものの、やはり学生はキャンパスに集って、議論をしたり、友人たちと語りあったりする時間を求めて大学に進学している。オンライン授業継続の声は教員の中からも根強くあり、大学が方針転換をしなければ、多くの教員がオンライン授業のみを継続し、学生がキャンパスに来る機会を逃す可能性もあることから、「通学」「対面」を主とした授業体制に切り替えた。	③半々	千葉東金キャンパス、東京紀尾井町キャンパスは面接授業と遠隔授業で、原則として51名を超える人数の授業は遠隔授業を実施。千葉安房キャンパスは面接授業を実施。	③学部・学年ごとに差	千葉東金キャンパスは7学部、面接授業と遠隔授業で実施。原則として51名を超える人数の授業は遠隔授業とする。普通教室については、1教室あたり65%以下の収容率を目途に運用する。図書館等の施設は、感染防止対策を徹底しながら可能な限り解放する。実技、実習など対面授業が多くなる学部、大教室で行う科目が多い学部など、学部の特色で比率が変わる。東京紀尾井町キャンパスは2学部、面接授業と遠隔授業で実施。原則として51名を超える人数の授業は遠隔授業とする。普通教室については、1教室あたり65%以下の収容率を目途に運用する。図書館等の施設は、感染防止対策を徹底しながら可能な限り解放する。教室の収容人数制限や教室数が限られるため、遠隔授業の割合が高くなる。千葉安房キャンパスは1学部で、施設・教室の収容人数に余裕があり、コロナ感染防止対策を講じて面接授業を実施する。前述のとおり、各キャンパスや受講状況による教室使用に関連して面接授業と遠隔授業の実施比率が異なる。	①②③④⑦	
215	淑徳大学	12.千葉県	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度の遠隔授業において寄せられた教員・学生からの授業評価・要望を考慮した。また、演習や実技系の科目は対面実施の方がより教育効果が高いと判断したため。	①ほぼ対面	講義科目において例年の傾向から履修者数が教室の定員数（感染対策が十分にとれる距離を置いた座席配置）を上回ることが想定される科目は遠隔授業、卒業必修科目、演習・実習科目、各学科専門教育科目を面接授業とすることを基本方針として検討した。	①学部ごとに差	免許・資格課程の数によって、面接授業を基本としている演習・実技・実習科目が変動するため、学部学科ごとに差が生じている。	①②③④⑤⑥⑧	一部の学科学年では、特定の曜日を対面授業週と遠隔授業週を分け実施する。対面授業週の場合は、終日対面授業とし、対面授業と対面授業の合間に遠隔授業（リアルタイム配信）の実施がないように時間調整を行った。
216	敬愛大学	12.千葉県	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面		⑤差はない		②⑥	
217	千葉工業大学	12.千葉県	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	単位の取得率や学生たちへのアンケート結果などを基に判断	①ほぼ対面	面接授業に適した授業（実験・演習科目）のリストアップや令和2年度の授業形式の実績をもとに、面接授業の割合を70%～80%に設定し、各学科に授業内容や教育効果を加味した授業形態の検討を依頼	⑤差はない		①②④⑤⑥	
218	千葉商科大学	12.千葉県	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	学内にコロナウイルス感染対策を検討する本部を設置し、授業・教育活動、課外活動、施設利用、イベント等、多角的に検討を重ねた。その結果、コロナウイルス感染防止対策を強化する案と併行して、実学教育を旨とする本学においては、教員と学生との交流、学生と学生との交流、学内での諸活動、図書館などの施設利用など、大学が持つさまざまなリソースを活用することによって最大限の教育効果を得ると考え、面接授業が重要であると判断した。	①ほぼ対面	全授業を面接授業で実施することを主として検討したが、コロナウイルス感染防止対策として、学生の安全を考慮し、教室の座席の間隔を1m以上確保する施策を講じた。その結果、各授業に定員を設ける、曜日時間の配置、必修科目や選択科目の特性等を総合的に考慮し、全授業の8割程度を面接授業として実施できる、という判断に至った。	③学部・学年ごとに差	大学全体の科目（必修科目や選択科目）やコロナウイルス感染対策を講じた教室定員の時間割配置等、総合的に検討していることから学部や学年ごとに実施比率が異なる。	①②③④⑤⑥	
219	中央学院大学	12.千葉県	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度前期は全科目遠隔授業とし、後期はゼミナールや50名以下の科目で、教員の希望に従って一部対面授業を実施した。しかし、対面授業を希望する保護者も多く、後期末に学生対象に調査したアンケートにおいても、遠隔授業に慣れた学生の中には、新年度も遠隔授業を望む声もあったが、対面授業を望む意見が多く見受けられた。その結果を踏まえ学内で再検討した結果、令和3年度は教室の定員を6割に減らし、密を避けた時間割に調整することで、全学的に対面授業を実施することとした。	①ほぼ対面	原則全科目を対面授業としているが、対面授業の実施について不安を有する学生で、基礎疾患があるなど重症化のリスクが高い、通学のために要する移動距離が長い（入国できない留学生を含む）、重症化リスクの高い高齢者と同居している等の理由により遠隔授業の受講を希望する一部の学生と、自身の基礎疾患などの理由により遠隔授業を希望する教員については遠隔授業を認めている。	⑤差はない	特になし。	①②④⑤⑥	
220	麗澤大学	12.千葉県	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	教室の収容人数を厳密に、収容人数以上の履修者が見込まれる科目について遠隔授業とした。	⑤差はない		②③④	
221	和洋女子大学	12.千葉県	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度の経験を踏まえて、特に新1年生には面接授業を増やすことや、全学年とも図書館の利用時間帯の延長、授業以外での入構の機会を増やすことなどを決めた。	③半々	令和3年度前期の遠隔授業の割合は約49%となっている(2021.3.1現在のデータによる)。本学では「和洋女子大学COVID-19に対する事業活動の基準」を策定し、2021年度から運用を開始する。それに基づき授業運営基準により、それぞれの科目について面接授業または遠隔授業として設定された結果、全体の約半数が遠隔授業となった。なお、基準では緊急事態宣言が発出されていなくても、教室等施設について定員50%以下での使用と定めているため、基準変更あるいはコロナ禍以前(平常時)の状態に戻ることはない限り、現状から大幅に面接授業の割合を増やすのは困難である。	②学年ごとに差	本学で定める授業運営基準では、免許・資格により必要不可欠な実技・実習・実技・演習科目などや、P.C・書道・身体運動科目などの遠隔で行うことが困難な科目について面接授業を認められている。そのため、例えば実習が多い学科、学年と講義が多い学科、学年ではそれぞれ遠隔、面接授業の割合に差異が生じることとなる。	②④⑤⑥⑦	
222	神田外語大学	12.千葉県	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	遠隔授業でも十分に教育目的を達成することができる授業（特に大人数の講義形式の授業）は、遠隔授業を継続する。	②7割対面	対面授業の方が教育目的・教育目標をより達成することができると考えられる少人数制の語学必修科目等（特に1・2年生）を対面授業とし、比較的人数の多い講義型の授業を遠隔授業とする。	②学年ごとに差	1・2年生の語学必修授業は2-5の理由から対面授業を重視し、3-4年生は授業の目的に応じて対面・遠隔授業を選択。	①②④⑥⑦	
223	千葉経済大学	12.千葉県	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	面接授業を中心とし、履修者数が200名以上の授業のみ遠隔授業を認めることとした。	①ほぼ対面	履修者数	④その他	差異なし	②③	
224	秀明大学	12.千葉県	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	一般教員での対面授業の上限を30人から50人に変更すると同時に、全教員からの遠隔授業の参加を可能として、学生が個々の事情に合わせて受講方法を選択できる幅を広げた。	②7割対面	前期時間割より、教室定員の半数化、最大人数80人等の感染対策を適用し、この割合と判断した。	③学部・学年ごとに差	外国人留学生の在籍している学部の遠隔授業実施比率が高い。	①②③⑥	
225	川村学園女子大学	12.千葉県	03.私立大学	①全面対面	②大きな変化なし			令和2年度と同様、感染状況により、対面授業と遠隔授業を併用していく。				
226	東京情報大学	12.千葉県	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生や保護者からの意見も踏まえて、大学としてできる感染対策を講じたうえで、対面授業を再開していくこととした。	③半々	総合情報学部については、前期は学年ごとに対面授業曜日とオンライン授業曜日を定めて、週3日程度は対面授業を実施する。看護学部については、前期は講義科目は原則オンラインとし、実習演習科目は対面を実施する。	①学部ごとに差	看護学部については病院実習があるため、学内での感染予防の観点から、オンライン授業の比率が高くなっている。	①②④⑤	



No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
227	東京基督教大学	12. 千葉県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	寮への学生受け入れ人数を増やした	④3割対面	学生の希望を尊重した上で、施設・設備の状況なども踏まえ感染対策に配慮した	⑤差はない		①②⑤⑥	
228	聖徳大学	12. 千葉県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	現在の感染状況は必ずしも収束する方向に向かっているとはいえないと判断しているため、学内での感染防止策を講じたうえで、基本的には令和2年度秋学期の実施方法を継続し、学生間の議論の場としての面授業の重要性を認識しつつ、段階的に面授業に移行していく。同時に、面授業と遠隔授業を学内で受講しやすくするため、学内施設のWi-Fi環境の拡充を進めており秋学期授業開始前には完了する予定である。	③半々	各学部・学科の在籍者数、各科目の履修者数、授業の方法等を勘案して、面授業と遠隔授業の併用を基本として進めていく。基本的に面授業のみで行う科目についても新型コロナウイルス感染症に係る健康上の理由等により出席できない事情のある学生に対しては、面授業の同時中継またはオンデマンド配信等により内容をフォローする。	③学部・学年ごとに差	①②③④⑤⑥⑦	各学部の教育課程に沿って令和3年度春学期に開講される科目について、学部・学科の在籍者数、各科目の履修者数、授業の方法（講義・演習・実験・実習・実技）等を勘案して、面授業と遠隔授業の併用を基本としつつもそれぞれの科目の特性に合わせて実施方法が異なるため、実施比率に違いが生じる。【児童学部】ゼミナール、特定の演習・実験・実習科目については、原則として面授業。それ以外の科目は、原則として遠隔授業を中心とし、状況に応じて面授業を実施。【心理・福祉学部】原則として、面授業と遠隔授業を組み合わせて実施。一部の演習・実験・実習科目について面授業を実施。【文学部】1・2年次生については、面授業を中心として実施。3・4年次生については、原則として、面授業と遠隔授業を組み合わせて実施。ゼミナール、実習・実技科目については面授業を実施。【人間栄養学部】演習・実験・実習科目については、1クラスを2グループに分割して、2教室同時進行で面授業を実施。講義科目については、オンデマンド配信による遠隔授業を実施。面授業の欠席者については、オンデマンド配信等により内容をフォローする。【看護学部】原則として面授業を中心とし、一部の講義科目及び欠席者フォローを遠隔授業で実施。【音楽学部】原則として面授業を中心とし、一部の講義科目及び欠席者フォローを遠隔授業で実施。【全学共通科目】複数の学部の学生が同時に履修する科目については、原則として遠隔授業で実施。	
229	江戸川大学	12. 千葉県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	新型コロナウイルスへの感染状況について、いまだ首都圏では収束といえる状況ではなく、また、学内施設のキャパシティ等も想定し、令和2年後期の対面授業実施状況を継続することとした	③半々	千葉県における新型コロナウイルスへの感染拡大状況等を見ながら、適宜授業コマに授業の必要性に応じて、機動的に対面授業を増やせる可能を取っているため	②学年ごとに差	対面授業の実施については、1年生の対象科目について重点的に実施することにしており、関連で学年ごとに実施比率に差が発生する。	①②⑤⑥	
230	徳寺大学	12. 千葉県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	緊急事態宣言やまん延防止等重点措置との対応を行う	②7割対面	面授業は実習を行う医療系大学として必要であるが、自然災害等の対応のためにも遠隔授業は大事なツールであるのでいつでも行えるようにしておく。	⑤差はない		①②⑤⑥	
231	植草学園大学	12. 千葉県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	面授業を希望する学生が多い感触もっているが、感染の不安理由に遠隔授業を希望する学生も一定数いる。学生の感染予防の行動の遵守にもばらつきがある。遠隔授業を実施してみても、その利点を感じるところもあつた。面授業を行いつつ、課題提出などで遠隔授業のシステムを活用する例も見られる。可能な限り面授業を実施したいが、教室のキャパシティや、通学におけるバスの混み具合などの制約もあり、感染状況を監視しつつ遠隔と面授業のバランスを取りながら授業を進めている。	②7割対面	「できるだけ面授業を多くしたい」という基本方針の下、「演習は原則的には面授業、多人数の講義は遠隔」を原則として、「できるだけ学内で遠隔授業を要講しなくても済む時間帯」「同一コマでの登校が集中しないように学年別・専攻別に時間割を調整」した結果、面授業は「割増せ」となった。	②学年ごとに差	「多人数の講義は遠隔」を原則とした結果、教養教育科目の履修が多い1年生は、他学年と比較してやや遠隔の比率が高くなる傾向がみられる。	①②③④⑤⑥	
232	三育学院大学	12. 千葉県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし		③半々		②学年ごとに差		②⑤	
233	亀田医歯大学	12. 千葉県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	令和2年度より感染対策を講じた上で面授業の実施が適切と判断されるものについては、面授業を実施していた。また、緊急事態宣言下においては、すべての授業を遠隔授業とした。	①ほぼ対面	遠隔授業でも面授業の実施と変わらない教育効果が認められる数コマについて遠隔授業で実施予定であり、原則は面授業で実施予定である。	⑤差はない		②⑤⑧	遠隔授業でも面授業の実施と変わらない教育効果が認められる数コマについて遠隔授業で実施予定であり、原則は面授業で実施予定である。
234	東邦大学	12. 千葉県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		②7割対面		③学部・学年ごとに差	学年によって実習や実験等の比率が異なることに加え、学部の規模やキャンパスの施設面等も異なるため	①②③④⑤⑥⑦	
235	千葉明德短期大学	12. 千葉県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		③半々		⑤差はない		②④⑤	
236	昭和学院短期大学	12. 千葉県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
237	千葉敬愛短期大学	12. 千葉県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
238	東京経営短期大学	12. 千葉県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	遠隔授業で授業の幅の可能性が広がったが、一方で学生が対面授業を望んでいることもわかった	①ほぼ対面	大人数(本学では100名以上)の授業に関しては遠隔授業とし、その割合が少なかった	①学部ごとに差	学科の学生数の規模により差異が出ている(本学では経営総合学科が定員130名、こども教育学科が定員60名)	①③	
239	植草学園短期大学	12. 千葉県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	遠隔授業に取り組み、その方法の多様性と可能性が広がりが、授業内容によってはその効果の高まりが期待できることが明らかになった。一方、学生の「実習」を中心に展開する保育系短期大学にとって対面が必須の「事前事後指導」「演習科目」もあることから、可能な範囲でそれらの対面実施も求められている。令和2年度の後期は対面と遠隔を約半分で実施したが、学生からは可能な範囲で対面を増やしてほしいという声もあり(一方、遠隔中心にしてほしいという声もある)、2年間という短期大学の短いキャンパスライフを考慮した場合、対面を少しでも増やす努力をすべきと考えている。ただし、千葉市は東京同様感染状況は下げ止まりとなっており、感染予防を徹底する状況に変わりはないと判断される授業については、十分な感染防止対策を講じた上で、可能な限り対面授業を取り入れながら教育活動を実施した。	②7割対面	7割という目標に合わせたわけではなく、「可能な限り対面を増やす」ことを前提に以下の手順で進めた。2-3で回答したように、「実習」を中心に、「事前事後指導」「関連の演習科目」を優先的に「対面」とした。学生からは「同一日に遠隔と対面が併存する状況はさけてほしい」という厳しい指摘があり、「遠隔授業可能曜日」「対面授業可能曜日」と時間割を整理した。「密にならない収容人数」を考慮すると、使用できる教室が限られ、教室配置を考慮しながら時間割を整理した。本学は最寄り駅からのバス通学となっており、「バスの混雑が大変危険視され、1・2年生の同一時間登校、同一曜日登校をできるだけさせる」「植草学園大学の授業と連携する」等の配慮を行った。以上の結果、対面が7割に近づくことになった。	⑤差はない	①②③④⑤⑥⑦		
240	木更津工業高等専門学校	12. 千葉県	04. 高等専門学校	①全面対面	①対面授業を拡大	学費の改修が一段落し、例年通りの寮生活を収容できる目途が立ったため						
241	東京大学	13. 東京都	01. 国立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2(2020)年度の後期授業においては、新型コロナウイルスの感染拡大について予測困難であったことを踏まえ、引き続きオンラインでの授業を進めながら、初修外国語(前期課程)、実験・実習や少人数ゼミ、実技を伴う授業など、オンラインには十分な教育効果が認められないと判断される授業については、十分な感染防止対策を講じた上で、可能な限り対面授業を取り入れながら教育活動を実施した。	④3割対面	オンラインで実施することにより高い教育効果を期待できる授業科目はオンラインで、対面で実施するほうが教育効果の高い授業科目は可能な限り対面により授業を行う。対面授業を実施するにあたっては、十分な感染防止対策を講じた上で実施する	③学部・学年ごとに差	学問分野の特性等により、大教室での講義が多い文系学部では、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、どうしてもオンライン授業が多くなり、対面授業が抑制的とならざるを得ない。一方、対面授業による教育効果が高いとされる演習・実験・実習等の授業は多い理系学部では、対面授業の比率が全体と比較して高くなる傾向がある。また、人的ネットワークの構築に配慮して、学部1年次、学部後期課程への進学前後の時期等に履修が必要な授業も可能な限り対面で行う。	②④⑤⑥⑦	

No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
242	東京医科大学	13. 東京都	01. 国立大学	②併用	①対面授業を拡大	今般の新型コロナウイルス感染拡大に伴い、主に講義科目をライブ受講できるようWeb会議システムを利用した同期型授業を令和2年4月より導入した。同期型(双方向型)授業と本学のLMSを利用した非同同期型(オンデマンド型)授業を組み合わせることにより、教育の質を一切落とさずとなく、令和2年4月が当初の予定どおりの授業実施が可能とした。一方で大学に登校できないことによる学生の孤立化問題も顕在化していることから、特に新入生や、令和2年度1年生に対しては、感染予防に十分留意した上で面接授業の割合を増やすなど、人間関係構築のためにも、面接授業と遠隔授業を併用していく予定である。	③半々	令和3年度も引き続き、遠隔で行える講義・実習・演習は遠隔で行うことを基本とするが、遠隔での実施が困難な実習・演習については面接授業で行うことから、面接授業と遠隔授業は、おおむね半々で行う予定である。	③学部・学年ごとに差	各学部学科・専攻の1年生については、大学入学後に新たな人間関係を構築するためにも、感染予防に十分留意した上で、面接授業の割合を増やす予定である。また、各学部学科・専攻の最終学年については、臨床実習など面で実施する必要があるため、面接授業の実施比率が高くなっている。	①②④⑤⑥⑦	
243	東京外国語大学	13. 東京都	01. 国立大学	②併用	①対面授業を拡大	海外協定校との連携授業や遠隔地に居住する教員(非常勤講師)が担当する授業、オンラインのメリットを活かせる授業については、遠隔授業により開講することとした。また、新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点から大人数の履修者が見込まれる授業についても、オンラインで実施することになった。一方で、語学やゼミなど、教員と学生及び学生間の交流が教育上欠かせない授業や、比較的小人数の履修者が見込まれる授業については、教室サイズ(収容定員の1/2以上)に配慮しながら、可能な限り、面接(対面)で実施できるよう調整した。	②7割対面	新型コロナウイルス感染症の感染リスクを避けるために、学生の来学に際して交通機関の混雑が予想される時間(1限)や、大人数の履修者が見込まれる授業については、可能な限り遠隔により行うこととしている。また、特定の曜日(水曜日)は遠隔(オンライン)授業日として、時間(6・7限)を新設のうえ、遠隔授業を行う時間としている。海外協定校との連携授業等の実施が見込まれている。上記のとおり、曜日時間により、面接(対面)と遠隔(オンライン)で行いうる時間帯を設定し、授業科目の性質や教員(非常勤講師を含む)の都合に応じて、授業編成を行った結果、このような比率となった。	⑤差はない	(6・7限)	①②③④⑤⑥	
244	東京芸術大学	13. 東京都	01. 国立大学	②併用	②大きな変化なし	令和2年度に引き続き、実技・実習は対面で行っていく	③半々	学生からの要望を踏まえ、実技指導、レッスン等については感染防止対策を講じた上で基本的には学内で対面授業を実施、講義等については原則遠隔授業を実施。	⑤差はない	②		
245	東京工業大学	13. 東京都	01. 国立大学	②併用	①対面授業を拡大	本学は、学生が感染しないようにすること、クラスターが発生しないようにすることを第一としている。それは、学生の学業を止めないこと、卒業・修了時期を延期させないことにより、教育の質を担保しつつ、学生の人生にできるだけ影響が及ばないようにするためである。昨夏に行った本学のアンケートによれば、特に学生課程(目的の学生は、面接授業に対する要望が他の学年より高く顕著)に達した。また、キャンパスに来て学び、人と交流することで、大学の良一員であるという認識ができることが、学生へのヒアリングや個別意見でわかった。そこで、学生課程のうち、まずは新入生に対して面接授業を中心に実施し、次に新2年生にもコロナ対応を想定した講義室の割り当てが可能である限り、対面での授業を実施する方針である。さらに、理工系大学として、各学年において実験など対面でなければできない授業や研究があるため、キャンパスへの通学は必須であると考えている。大学院の授業は、実験等の授業以外は、学生課程に優先的に講義室を割り振りしているため、コロナ対応可能なソーシャルディスタンスを確保して実施できる講義室が不足し、対面授業の実施が難しい。一方、大学院は、研究室が定常の活動を対面に戻していくことでキャンパスでの学びを促進する方針である。これに合わせて、大学院生は、キャンパス内の研究室又は自宅からオンライン授業を受講するようにしている。	③半々	1. 学生課程、大学院課程の各学年ともに実験、実習、グループワークなど登校しないと実施できない科目は面接授業での実施を最優先とした。2. アンケートやヒアリング結果から、学生課程の新入生や新2年生がキャンパスに通えるようにすることを重視し、まずは新入生の科目に対して優先的にソーシャルディスタンスを確保して講義室を割り当てて面接授業とした。つぎに2年生にもソーシャルディスタンスを確保し、2. 3年生以上は、講義室の収容人員の範囲で、1の実験等以外の面接授業の実施は難しい。そのため、研究室での活動が中心となる学生課程1年生から修士課程、博士後期課程の学生に対しては、研究室の活動をできる限り面接で実施する方針である。	②学年ごとに差	アンケートやヒアリング結果から、新入生がキャンパスに通えるようにすることを重視し、学生課程の新入生の科目を優先的に面接授業としたため、その学年の面接授業実施比率が高い。新入生の次に新2年生学生を優先して面接授業としたが、コロナ対応可能なソーシャルディスタンスを確保し、2. 3年生の科目でほとんどすべての教室を使い切ってしまうため、面接授業数は少ない。一方、アンケートでも大学院課程学生は遠隔授業を肯定する割合が高いことや研究実施のために登校する機会が担保できるため、ほとんどの科目を遠隔授業とした。実験系分野では面接授業が多くなり、非実験系分野では少ない傾向にある。	①②④⑥⑦	
246	お茶の水女子大学	13. 東京都	01. 国立大学	②併用	②大きな変化なし	令和2年度前期はほぼ全面オンライン授業であったが、後期(10月)からの授業の形態は基本オンライン、及び一部対面での授業を併用(ブレンド)することとした。実験・実習・実技科目の他に専門科目等について学生の理解度や関心を確認・喚起するため、各科目において特選の週・曜日を指定して対面授業を設け、登校者数とその構成を把握し、感染防止を図ることとした。令和3年度前期においてもこの方針を踏襲していくが、感染状況を見て対面授業を増やしていく。	③半々	令和2年度後期の授業の形態について、一部対面での授業を併用(ブレンド)する方針を示し、各教員のシラバスにおける授業の実施形態を確認したところ、約4割の授業が面接(対面)形式であった。現下の感染状況や学内施設の利用状況を考慮し、令和2年度後期の方針を3年度前期も基本としていくが、感染状況に直面的な変化がなければ対面授業の割合を増やしていく。	⑤差はない	②④⑦		
247	東京学芸大学	13. 東京都	01. 国立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度は4月早々今回よりも厳しく規制のかかった緊急事態宣言が出されたこともあり、特に新入生に大学構内で学ぶ機会を計画的に提供することができなかったが、7月には実験・実技・実習の科目などで実施可能な授業から一部対面授業を再開した。秋学期には、学生の修学機会確保のため更に対面授業の数を増やしていった。緊急事態宣言が再発出された場合も対応は未だ出口が見えていない状況にあるが、令和3年度の春学期の授業のあり方について検討を進め、特に新入生および2年生(今年度の新入生)が週に複数回は大学構内で対面授業を受けられるように、感染拡大防止と修学機会の確保の両立を目指す方針を立てた。	②7割対面	学生の修学機会の確保と感染拡大防止をにらみながら、下記の方針を作り、対面授業と遠隔授業のシミュレーションをし、学内調整をおこなった結果の見込みである。方針1 令和3年度春学期は基本的に「対面授業」(※)を前提とする方針2 感染予防の観点から、一般講義棟教室の収容率を約50%程度に抑える方針3 概ね収容率約50%を超える履修者の多い授業は、「遠隔授業」(※)とする方針4 体育施設や研究棟などのいわゆる特別教室等で行う授業は収容率50%を超えても原則対面授業で行う方針5 同一科目は対面授業か遠隔授業か、そのあり方を統一する方針6 同期型授業を受講できる場所として、一般講義棟の教室を一定確保する(※)対面授業であっても、指導効果を考慮して遠隔授業を併用することができる。また遠隔授業も教室の調整がつかぬ限り、指導の効果を考慮して一部対面授業を含むことができる	⑤差はない	①②③④⑤⑥⑦		
248	東京農工大学	13. 東京都	01. 国立大学	②併用	①対面授業を拡大	大学での学生の活動は、教育・研究面、友人・同輩との関係面、サークル活動等の面といった多様な活況の場があり、その全てについて教員、友人・同輩といった多様な関係者が介在することで成り立っている。オンライン授業の実施により、それらの活動の一部を行うことは可能であるが、人間相互が直接対面する交流の中で得ることができる面も多々あり、その面から考えると対面での交流機会の確保は重要であると考えられる。	②7割対面	授業については感染拡大防止の措置を講じた上、可能な限り対面での実施を基本としている。実際の授業に当たっては、本学の学生数、教室の数/広さ、社会的距離の確保の状況、個々の授業の履修者数といった事項を念頭に、感染拡大防止の観点から適切な授業形態を立案の上、実施することとした。	③学部・学年ごとに差	面接授業と遠隔授業の実施比率は、農学部では8:2、工学部では6:4となる見込みである。学部によってコロナ禍以前の教室整備の状況に差があり、授業の実施方法によって若干の差異が生じている。また、本学は理系の研究基盤大学であることから、学部によって、教養教育や専門・初級教育などの学際的な講義、実験実習科目の割合が変わる。疫学で可能な科目については、教室の収容人数や通学時間帯の調整などの結果オンライン講義の割合が多くなりがちなことであるが、1年次、2年次の低学年は大学に出てきて、人間関係を構築することの重要性も踏まえ、可能な限り、面接講義や、2. 3年次に分けたハイブリッドで講義を行うこととしている。一方、高学年や大学院教育では、疫学の講義はオンラインで行うものが多くなる一方、講義履修の割合が減少し、研究室での研究が主体になる。また、研究室配属時期が学部によって異なるため、学部、学年によって面接授業と遠隔授業の割合に差が出る。	①②⑥	

No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
249	電気通信大学	13. 東京都	01. 国立大学	②併用	②大きな変化なし	令和2年度後期から、新型コロナウイルスの蔓延状況に大きな変化はないので、本学としても教定員の制限のような基本的な対策を緩めるわけにはいかない。令和2年度からの変化に関しては、後期にとった学生アンケートにより、1日における面接授業と遠隔授業の混合は学生の負担が大きかったことが判明した。これに対応して、(面接授業の割合が大きい)1年生において、水曜日は全て遠隔授業のみの日と設定し、逆に面接授業がある日は、なるべく2コマ以上面接授業があるように時間割を調整した。	④3割対面	新型コロナウイルス対策として、教室の定員をほぼ半分にしている。そうすると、比較的小さいキャンパスの本学では、1度に8つのクラスまでしか開講できず、これが約約となっている。一方、実験や実習といった科目に関しては、対面もしくは対面と遠隔の混合を多くして、実効性を高めている。	②学年ごとに差	4年生の卒業研究・論議は基本的に面接授業となっている。2、3年は遠隔授業の割合が高い。これは1年生の面接授業に教室を使われること、2、3年の科目は大人数が多いことなどが原因である。	①②④⑤⑥⑦	
250	一橋大学	13. 東京都	01. 国立大学	②併用	②大きな変化なし	令和2年度春夏学期は全面遠隔授業、秋冬学期は、ゼミ等の一部の授業のみ面接授業、令和3年度はできる限り面接授業とする方針を令和2年8月下旬の時点で定めており、その方針は大きく変更していないため。	①ほぼ対面	面接授業とキャンパスの持つ教育効果を確保する観点から、感染症対策として3つの「密」(密閉・密集・密接)を防ぐため、教室定員上限を設け、可能な限り多くの科目を面接授業とし、教室の制約が困難となる大人数などの一部科目については、遠隔授業を行うこととした。	⑤差はない		①②③④⑤⑥	
251	政策研究大学院大学	13. 東京都	01. 国立大学	②併用	②大きな変化なし		③半々	感染症対策のため、講義室の収容定員の半数を超える履修者がいる場合はオンライン講義で実施するようにしている。また、渡日できない留学生が履修を希望している講義は、オンラインで実施するようにしている。	⑤差はない		③④⑥	
252	東京海洋大学	13. 東京都	01. 国立大学	②併用	①対面授業を拡大	本学では、令和3年度からの授業については、令和2年度後期同様に、感染症対策を十分に講じながら対面授業で実施することを原則とし、その上でなお感染症拡大防止の観点から、遠隔授業での対応が可能なものや、遠隔授業で高い教育効果を見込めるものについては、遠隔授業を実施することとした。このため、基本的には、昨年後期と変わらず対面授業を実施することを原則とした。しかしながら、令和2年度は、政府の方針等に基づき、学生が年末年始に長期で実家等に帰省できるよう昨年12月下旬からできる限り遠隔授業を実施するよう対応したので、そのことを考えると令和3年度前期は対面授業をより重視したと言える。	②7割対面	「2-3」とおり、令和2年度後期において、本学では、感染症対策を十分に講じながら対面授業で実施することを原則とし、その上でなお感染症拡大防止の観点から、遠隔授業での対応が可能なものや、遠隔授業で高い教育効果を見込めるものについて遠隔授業を実施することとした結果、授業担当教員へのアンケート調査で対面授業を実施すると回答した割合は6割を超えていた。令和3年度は、本学として対面授業を原則とすることを明確に打ち出しているため、対面授業の割合は大幅に増えるものと考えている。	⑤差はない		①②③④⑤⑥⑦	
253	東京都立大学	13. 東京都	02. 公立大学	②併用	①対面授業を拡大	授業内容に応じたICTの活用により教育効果を向上させる新しい対面授業を実施する方針を2020年12月に策定した。	①ほぼ対面	原則として対面授業としているが、原則150名以上の履修者数が見込まれる授業で、教育の質が一定程度担保でき、かつ担当教員が希望する場合は、すべての授業を同時双方向型とオンデマンド型で実施することもとした。	①学部ごとに差	原則150名以上の履修者数が見込まれる授業で、教育の質が一定程度担保でき、かつ担当教員が希望する場合は、すべての授業を同時双方向型とオンデマンド型で実施することも可としているため。	①②④⑥⑦	
254	東京都立産業技術大学院大学	13. 東京都	02. 公立大学	②併用	②大きな変化なし		②7割対面	感染防止を考慮した教室の収容可能人数を別途定め、履修人数が超過する科目は遠隔授業とする。収容可能人数の範囲内の科目は、面接授業、遠隔授業を併用し、学生の希望に応じて出席方法を選択できる。	⑤差はない		①②③④⑤⑥⑦	
255	東京福祉大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし		③半々		⑤差はない		⑥	
256	跡見学園女子大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度は、大部分が遠隔授業であったため、令和3年度は、感染状況を考慮し、対面授業の重要性を認識し、検討を行った。	①ほぼ対面	教室の密を避けるため、ほとんどの授業で対面授業と遠隔授業を併用する。実施方法は、学籍番号末尾を奇数・偶数に分け、分散登校を行う。	⑤差はない		①②③④⑤⑥⑦	
257	文京学院大学	13. 東京都	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	学内で実施した学務状況調査や大学に寄せられた学生の生の声などから、強く認識した。						
258	目白大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		③半々	令和3年度前期の授業実施方針として、学生が週2回以上登校することを目標とした。	③学部・学年ごとに差	元来の授業形態(実習・演習・講義)の配置によって、少なからず差異は生じている	①②③④⑤⑥⑦	
259	東京成徳大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生満足度調査結果、授業アンケート調査結果及び学生代表者に意見聴取し、本学の使命・目的に照らしながら学生の学修の在り方について再度協議・検討した結果、対面授業の重要性、学生同士や学生と教職員間の人的な交流が必要との認識が高まった。	①ほぼ対面	基本的には「対面授業」を実施とするが、大人数が履修する授業など感染防止策を講じることが難しいと想定される授業や感染症対策を講じつつ面接授業を行うよりも、遠隔授業を行う方が高い教育効果が認められる場合において、遠隔授業の割合は全授業数の2割程度とした。2割程度とした根拠としては、キャンパスにおいて受講する対面授業と遠隔授業が混在しないよう1限目～6限目の時間割の中で6限目を「遠隔授業」のみとし、各時間の授業数が「均等」と仮定した計算式で約20%を導き出した。なお、実際に遠隔授業を実施する授業は、全授業の約6%程度を予定している。	⑤差はない		①②③④⑤⑦	
260	東洋学園大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	本学は通学制の大学のため、学生がキャンパスに通学して学ぶ機会や対面での交流機会を設けることは重要であると考えるため。	②7割対面	コロナ禍での教室のキャパシティや教室数などを考慮して授業形態を決定した。	②学年ごとに差	ゼミや必修の語学科目などの少人数の科目を面接授業に設定したため、1年生の面接授業の科目数が多くなっている。	②④	
261	帝京平成大学	13. 東京都	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	本学では、医療系の学部・学科が多く、対面での交流機会の重要性を強く認識したため。						
262	青山学院大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	2021年度に関して、前年度2割程度であった面接授業を7割程度実施する方向で準備を進めています。ただし、新型コロナウイルス感染症対策のため、余裕を持った教室配置を行う必要から、一部科目については遠隔授業を併用せざるを得ないと判断しています。また、遠隔授業の一部導入は、各学部学科において、遠隔授業の効果的な活用を検討し、より高い効果が得られると判断できる科目については積極的に遠隔授業を実施できるような、青山キャンパスと相模原キャンパスの授業実施環境の整備を進めています。また、感染リスクなどに関し教員・学生から個別に相談を受け、一定条件のもとで対面に限定せず状況踏まえ配慮し授業を実施できるような体制をとっています。	②7割対面	2021年度に関して、本学では原則として面接授業を実施する方向で進めています。そのための前提条件は、キャンパス内での感染防止対策が十分に実施できるところです。このような対策を施した下で、面接授業を実施できるだけの環境(通常教室、特殊教室を含む)を整備し、面接授業実施を準備しました。その結果、遠隔授業を実施することで高い教育効果が得られると判断した科目に加えて、大規模授業、異なる学部の学生が履修する授業(学生の職能が異なる)、学生間・学生と教員間の接触が大きい授業を中心として、遠隔授業を実施することとしています。さらに、教員・学生の感染リスクを考慮した授業運営も行うこととしています。その結果、対面授業と遠隔授業の比率は回答があるような状況となっています。	⑤差はない		①②③④⑦	
263	上野学園大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	遠隔授業についての学生アンケートを実施した際、対面に勝るものはないといった声が多かったため。	③半々	実技、実習、演習等、授業の特質上、面接で行うことが適切と考えられる授業について、予防対策を取りながら行う場合、この比率となる。	⑤差はない		①②③④	
264	大妻女子大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度のオンライン授業の導入の中でオンラインならではのメリットもみえたが、対面で議論する、意見交換する、共同作業するなど、実験・実習・実技系に限らず、対面で行ってほしい科目が数多くあることも踏まえ、対面授業を主体とすることを基本方針とすることとした。	①ほぼ対面	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部特殊教室を除き教室定員を50%として教室での密状態をできるだけ回避することを基本方針とし、全学共通科目など受講対象者が多くオンライン授業のメリットが生かせると判断された科目(全体の2割程度)を、オンライン授業とした。	⑤差はない		①②③④⑤⑦	
265	学習院大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	これまでと同様に新型コロナウイルス感染症に対する十分な感染予防対策を講じつつ、対面授業や課外活動の機会を可能な限り担保していきたいと考えている。	③半々	各教室に同時配信機器を配備し、対面での出席を望まない学生への配慮が可能な状況を整えた上で、感染症の状況や学内の人口密度等を考慮し、科目の開設部門毎に原則として前年度履修生100名未満の科目を対象に3割を上限として対面形式にて開講することを決定した。	③学部・学年ごとに差	学部や学年によって履修の必修科目に違いがあり、法学部及び経済学部の1・2年生は大人数の講義形式の必修科目が多く、文学部は1～4年生全ての学年で少人数単位で行う講義、演習形式の必修科目が多いといった傾向がある。そのような傾向の違いから学部・学科による偏りが発生していると考えられる。	①②③④	



No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
266	共立女子大学	13. 東京都	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	・7月に実施したオンライン授業に関するアンケートで、オンライン授業に関しては肯定的な意見は6割を超えたが、大学2年生以上については、昨年度の対面授業と比較し、授業の理解度が深まらないとの回答が約半数であったことから、対面授業の重要性を認識した。						
267	工学院大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		②7割対面	学生へ公表済の時間割編成に基づいて判断しました。	⑤差はない		②⑤⑥⑦	
268	國學院大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	令和2年度に実施した計6回の学生アンケートを精査すると、年度末においては、前期終了時よりも遠隔授業を望む学生が増えたものの、自由記述では面接授業の価値を再認識した学生と遠隔授業の利便性や学修成果を認めた学生は拮抗しており、学生はいずれの授業に対しても質向上を望んでいることが看取された。本学は令和2年度前期から面接授業を再開しつつ遠隔授業の質向上に取り組むとしており、基本的な考え方に変化はない。	②7割対面	可能な限り対面授業を多く実施することを基本方針とした。具体的には、有効な感染対策を見込める概ね50人未満の授業（前年度までの実績に基づいて抽出）を対面とし、教室定員の1/2以内で実施することとした。その上で、50人を超える授業についてはハイブリッド授業とし、教室を配当できない大人数授業については、オンラインで実施することとした。	①学部ごとに差	本学は、文学部・法学部・経済学部・神道文化学部・人間開発学部の5学部を擁する。このうち、法学部と経済学部では従来より専門教育科目の履修者数が50名を超える授業の比率が高かったことから、面接授業の実施割合が他の学部に比べて低くなっている。	①②③④⑥⑦⑧	⑦に近いが、遠隔授業のうち反復視聴ができるオンデマンド方式のメリットを活かし、面接授業においても反転授業として活用する予定である。
269	国士館大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度秋期の途中から、感染防止対策を行い一部面接授業を取り入れた実績と学生からの教員や友人等との交流がないなどの声から、3密回避等の感染防止対策ができる授業教室等調査により面接授業の実施を判断した。	①ほぼ対面	感染防止対策である3密回避ができる教室の収容人数から、面接授業実施可能授業を算出。	①学部ごとに差	実技・実習・実験等を行う学部と、講義科目のみの学部で差が出ている。	①②④⑤⑥	
270	駒澤大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	大学には本来の機能である学生同士、学生と教員、教員同士が直接会うことにより生まれる新たな「知」（教育・学問・研究等）があり、本学はその「場」を提供する責務がある。また、学生から大学キャンパスにおいて友人、教員との交流を望む声や次年度もオンライン主体で授業を行う場合、学生のフラストレーション（ストレス）がより高まると考えたため。	①ほぼ対面	4月の履修登録での抽選の結果、原則履修者数が200名以上の科目は教場内での3密回避が難しいことから、当該科目は全授業回をオンライン形式で実施する予定（後科目を含む）200名を基準とする根拠は、この基準を低く設定するとオンライン授業の科目が増えしまい、本学の令和3年度の授業の実施方針（原則対面授業）から、逸脱することになると考えたため。なお、履修者数が200名以上の科目は2020年度の結果で236科目あり、全開講科目数の約6%に相当する。この範囲であれば本学の方針から大きく逸脱しないと判断した。	①学部ごとに差	経済、法、経営、グローバル・メディア・スタディーズの各学部は履修者200名を超える科目が多数あり、その結果他の学部より対面授業の実施率が低くなる予定である。	①②③④⑤⑥⑦	
271	実践女子大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	授業アンケートなどから、遠隔授業においても従来と同程度以上の教育効果は維持できているものと判断しました。しかしながら、キャンパスにおける対面授業や課外活動との交流は、教育の根幹であり、学生の成長のためには必須であり、今後しばらくは、現在のWithコロナの状況が続く事が想定されるため、多数が遠隔授業では高等教育機関として十分な役割を果たすことはできないと考えました。	②7割対面	これまで実施してきた感染予防策を更に強化し、2021年度は原則として対面での授業を実施する方針としましたが、3密を避けるため、一部の授業では遠隔授業（オンデマンド型）で実施することとしました。	③学部・学年ごとに差	学部ごとの比率は次の通りです。文学部：約7割、人間社会学部：約7割、生活科学部：約8割。本学では原則として対面授業を実施する方針とし、3密を避けるために一部の授業を遠隔授業としました。全体の方針としては必修科目（特に1年生の科目）については、可能な限り対面授業の実施としましたが、遠隔授業とする科目については、各学部・学科における教育内容や授業形態、効果等を踏まえて実施方法を検討しました。そのため、学部等において実施比率が異なる結果となっています。	①②⑦	
272	芝浦工業大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	学内において、課外活動を含めた学びの場としてのキャンパスの重要性は、コロナ禍においてより一層明らかになったが、ハイブリッドやフレンドリードラーニング等の遠隔授業の有用性や教育効果も認知されてきた。これらを踏まえて、学生はキャンパスに登校し、授業に出席（対面あるいはオンライン参加）することを基本方針とし、実験実習科目は対面実施、講義科目は対面（ハイブリッド）あるいはオンラインにて実施する。	①ほぼ対面	令和2年度に教員及び学生への授業アンケートの結果や教育効果を根拠とし、判断した。	⑤差はない		①②④⑤⑥	
273	順天堂大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	科目によっては対面授業で直接学生の反応や理解度を確認しながら授業を行う方が教育効果が高いと考えられるものがあったり、学生同士の交流によって学習意欲が高まったりと、遠隔授業だけでなく対面での学習機会や交流も重要であると再確認した。	③半々	・実験実習や臨床実習など、原則として対面授業でないが実施が難しい授業については、対面授業としている。・教室で実施する座学の講義については、教室の収容人数等に鑑み、対面授業とオンライン授業（リアルタイム配信、オンデマンド動画配信）を併用して実施する。	②学年ごとに差	・実習科目についてはその特性上対面での授業が必要であり、実習科目が多く実施される学年については面接授業の割合も高くなる。	②③④⑤⑥⑦	
274	上智大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	④その他	感染状況と、大学の感染拡大予防の対応状況に鑑み、対面授業再開の目的がたつたと考えている。令和2年8月時点においても対面授業の重要性については等しく認識していたため、考え方が変化したわけではない。	①ほぼ対面	大人数の科目についてはオンデマンド型授業を主とし、それ以外は対面を中心として実施する。ただし、健康上の理由等で大勢に集ることができない学生のために一部オンラインで緊要で実施するハイフレックス授業を導入することや、教員の健康上の理由によりオンライン授業とすることなどから、結果として全科目の8割ほどが対面授業となる予定である。	①学部ごとに差	留学生や海外出身者の割合が高い英語コースの学科、専攻においては、現在の入国制限下の状況にあつて対面授業によるスタートをすることが困難であると判断し、オンライン授業で開始することとした。ただし入国状況の改善に伴い、徐々に対面中心へと移行する予定である。また、大人数科目は原則としてオンデマンド授業としていることから、学部カリキュラムの特性として大人数科目の割合が多い学部においては、オンライン授業の割合が若干高くなっている。	①②③④⑤⑥	
275	昭和大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	オンラインを併用しつつ、可能な限り対面での実施を増やす方向である。	③半々	オンラインによる遠隔授業も教育効果が高いと考えられる点もあり、知識の教授がメインとなる講義については遠隔、実習・演習は対面式を設定している。	②学年ごとに差	実習・演習が多い学年は、面接授業の比率が高くなっている。	②④⑤⑥⑦	
276	昭和女子大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	感染対策を講じた上で、原則として面接授業を行い、学修する機会を設けることが学生の学修効果の面から最重要と考えたため。	①ほぼ対面	2-3の理由から、面接授業を行う。	⑤差はない		①②③④⑤⑥⑦	
277	昭和薬科大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		②7割対面	新入生の大学環境への適応を考慮する他、学部特性として実習・実験・研究の必要性から対面授業を重視したいが、施設面での制限がある。	②学年ごとに差		②⑤⑥	
278	杉野服飾大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	本学では、今年度後期から面接授業を70%実施しているが、学生からの不満は無い。	①ほぼ対面	①感染防止等（手指消毒、マスク着用、教室の清掃と抗ウイルス抗菌コーティング、3密の回避等）により、陽性者が出ていない。②実習、実技科目をはじめ学修成果の維持する。	⑤差はない	記述なし。	①②③④	記述なし。
279	成城大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	本学の基本方針として、学生、教職員の健康を最優先して、面接授業の実施率を50%とした。	③半々	各教室の机、椅子の設置を「3密」の徹底回避など感染予防対策を講じた結果、収容人数が定時の50%になったため。	③学部・学年ごとに差	本学では語学教育、ゼミナール等の演習科目は面接授業で行い事と決めましたので、科目の配当学年によって差異が生じているため。	①③④⑥	

No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
280	聖心女子大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	2020年度前期後半より、面接が必要である授業については、既に面接授業を実施済である。2020年度後期からは、その割合をできるだけ拡大した。2021年度からは、学生のアンケートや意見聴取、遠隔授業の経験、授業効果も勘案しつつ、面接授業と遠隔授業を併用して実施する。そのため、考え方には大きな変化はない。	②7割対面	学生がキャンパスに通学して面接授業を受ける必要性は、学生へのアンケートや意見聴取から、もともと重要と考えていた。反面、感染症に対する恐怖心から通学が不可能とする学生もいる。それらを勘案したことで、2020年度の経験と授業評価の結果などから、面接が必要授業、面接授業が効果的な授業。逆に単人数のクラスでかつ遠隔でも十分な効果が期待できる授業を分類して、大学が指定した。	②学年ごとに差	面接が必要な授業、面接の方が授業効果が高いと考えられる授業については、大学が面接授業を指定した。逆に単人数の授業でかつ遠隔でも十分な授業効果が得られる授業については、大学が遠隔授業を指定した。	①②③④⑥⑦	
281	大正大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	実習授業などの対面を前提としているカリキュラムが実施できなかったことから、対面実施の重要性を再認識したため	①ほぼ対面	基礎疾患を有する等の特別に配慮を要する学生に限定して遠隔授業の対応が必要と判断したため	⑤差はない		①	
282	清泉女子大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面		⑤差はない		①②③④⑤⑦	
283	聖路加国際大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面		④その他		②④	
284	高千穂大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		③半々	・学生の通学、帰宅時間が交通機関のラッシュと重複しないよう1時間と5時間は遠隔授業とした。・2~4時間は対面授業としつつ、感染防止の教室収容定員として、履修学生をグループに分けて対面と遠隔を併用する。・演習（ゼミナール等）は感染対策のうえ対面とする。	⑤差はない		①②④⑤⑥	
285	拓殖大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	教員および学生等から、対面での授業実施に強い要望があったため。	①ほぼ対面	・学生の通学、帰宅時間が交通機関のラッシュと重複しないよう1時間と5時間は遠隔授業とした。・2~4時間は対面授業としつつ、感染防止の教室収容定員として、履修学生をグループに分けて対面と遠隔を併用する。・演習（ゼミナール等）は感染対策のうえ対面とする。	①学部ごとに差	所属学部により使用キャンパスが異なるため、所属キャンパス（教室等）のキャパシティに合わせて対面・遠隔の実施方針の策定を行ったため。	②③④⑤⑥	
286	多摩美術大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	実技を中心とした講義が主であり、遠隔授業ではまかないきれいな部分があるため	②7割対面	授業の質の観点から遠隔授業で対応可能な講義系授業を中心に遠隔化を進めたため	⑤差はない		①②④⑤	
287	中央大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	在学生に対して実施したオンライン授業に関するアンケート結果について、2020年度前期と後期の数値比較においてその変化を確認したところでは、未だ遠隔授業に対するニーズも多く見られる一方で、面接授業の比率の増加を希望する学生が増加してきており、本結果から学生の中に面接授業に対するニーズの高まりを見て取ることができる状況となっている。また、学生の学びの質を高めたい上では、正課における学修のみならず、課外での活動を含めた学修経路時間の確保が重要であると考えており、そのような観点からも、2021年度の授業実施方針において、可能な限り教員・学生間における人的交流の機会の確保とその増加に努めることを謳っている。	③半々	2021年度に各学部において実施する授業のシラバスに記載された授業計画を確認し、2021年3月10日時点で、対面（面接）要素を含む形で実施する予定の授業の割合が全体の51%、全授業回数の過半を対面を実施する予定の授業の割合が46%となっていることが確認できており、この数値に基づいて回答した。ただし、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、今後において対面（面接）要素を含む授業の割合をさらに拡大していくことも志向している。	④その他	本学全体として、面接授業と遠隔授業の実施比率に学部ごとの大きな差は生じている状況にはないが、学部ごとに全授業回数の過半を対面（面接）によって実施する予定の割合は若干異なる。これについては、2020年度時点において、全学として対面（面接）要素のある授業の比率を高めていくことを基本の方向性として確認しているものの、必ずしも全授業回数の過半を対面（面接）にするという明確な方針を定めたことには起因しているかと推測している。なお、学年ごとに大きな差異が生じているかについては、現時点においては十分に確認ができていない状況となっている。	①②③④⑤⑥⑧	授業においてゲストスピーカーを招聘するような際には、当該ゲストスピーカーが講演する場所や時間的な制約にも配慮することが可能となることから、状況に応じて遠隔形式での授業も活用することを予定している。
288	東京医科大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		④3割対面	教育的な側面から低学年はなるべく対面により大学に来る機会を増やす、その場合でも密を避け、グループ分けにより遠隔授業を併用。	③学部・学年ごとに差		②⑤⑥⑦	
289	東京家政大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	教育内容の質保証の観点重視し、社会的な要請の大きさを踏まえ、前期授業開始時点では当面30%、最低50%を目途に対面授業を実施する。その後、感染状況を踏まえながら段階的に対面授業比率を高めていくことを原則としている。教室定員超過等に対応する感染防止対策等のため、遠隔（メディア）授業を併用する。	③半々	・令和2年度の授業実施実績によって、対面授業の教育効果がより高いと判断された実験・実習・実技・演習科目を中心に積極的に対面授業とした。・メディア授業でも十分な効果が確認された講義授業はメディア授業とした。・狭山校舎は学生数に対し教室数が少ないが、板橋校舎は異なる状況となっている。そのため、板橋校舎では、十分な感染防止の観点から、校内に滞する学生数が過密になることを避けるための調整を行った。・令和3年度前期授業で、授業回数の半数以上が対面の授業の割合は、板橋校舎で約55%、狭山校舎で約90%、全学で約60%の予定となっている。	③学部・学年ごとに差	狭山校舎 東京家政大学 健康科学部（看護学科、リハビリテーション学科） 子ども学部（子ども支援学科）狭山校舎は、学科数・講義数・在籍者数が少ないこと、また、3学科ごとで独立した、教育課程を開設し、学科ごとで授業実施校舎を分け、教室定員1/2以下の感染防止対策の調整を行い、対面授業の計画ができる状況と前提として、2-3大学の授業実施方針に従い教育内容の質保証の観点重視し、各学科内で調整した授業科目を対面授業としているため、約90%の対面授業実施率となっている。資格免許に必要な実習等の授業を置く学科構成なので、学科間の差異は少ない。板橋校舎 東京家政大学 家政学部（児童心理学、造形表現学科）人文学部（英語コミュニケーション学科、心理カウンセリング学科）、教育福祉学科 東京家政大学短期大学部（栄養科、保育科）板橋校舎は、学科・科数、講義数・在籍者数、履修者数が多いこと、また、大学学科、短大学科と大学、短大それぞれで共通開設される科目があり、学部・学科・科ごとで授業実施の校舎を分けることができない状況と前提として、2-3大学の授業実施方針に従い教育内容の質保証の観点重視し、教室定員1/2以下、校内2000人以下の感染防止対策の調整を行い、各学科・科から要望があった授業科目を対面授業としているため、約55%の対面授業実施率となっている。資格免許に必要な実習等の授業を置く学科と異なる学科があり、学科・科の実施率には差異がある。なお、板橋校舎では、対面授業実施率を確認し、必要な見直し・調整を行う。また、今後の感染状況・授業実施状況により、できるだけ対面授業を実施する原則に沿って授業形態の見直しを検討する。	①②③④⑤⑥⑦	
290	東京家政学院大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和3年度から、原則、面接授業を行う予定だが、キャンパスの状況によって面接と遠隔を組み合わせて授業を行う。	①ほぼ対面	町田キャンパスは、原則、面接授業で行う。千代田三番町キャンパスは分散校（面接授業と遠隔授業を交互に入れ替えて実施する）で授業を行ったため。	④その他	遠隔授業における基幹設備の違い及び新型コロナウイルス感染症予防に対応した教室の収容人数の変更等により、キャンパスにより差異がある。また、町田キャンパスでは原則面接授業で行うが、千代田三番町キャンパスでは分散校で授業を行う授業形態の違いがあるため。	①②⑤⑥	
291	東京歯科大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	特になし	②7割対面	実習等の授業形式、また感染に配慮した教室の運用に基づき調整	②学年ごとに差	特になし	②	該当なし
292	東京慈恵会医科大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	遠隔授業の利点を講義形式の授業に活かしながら、学内施設のキャパシティを面談が必要な演習・実習に優先活用するため。	③半々	③を選択したが、学年によっては④・⑤講義形式の授業に遠隔授業の利点を活かし、学内施設のキャパシティを面談が必要な演習・実習に優先活用することになっているため。	②学年ごとに差	高学年では、実習が中心となるため面接比率が高くて高く、低学年では講義形式の授業比率が比較的高いことから遠隔比率がやや高くなる。	②⑧	現在の施設キャパシティを、充分な感染対策を講じた面接授業（必要な演習・実習）に振り回すためにも、（遠隔授業のメリットを活かす）講義形式の授業を遠隔で行う予定である。

No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
293	東京女子大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生がキャンパスに通学して学ぶ機会や、対面での交流機会の重要性を改めて認識するようになった。面接授業を可能な限り増やす方向で検討した。一方で、学習者との関係者の安全を確保する（「感染しづらい、感染源とならない」こと、そしてどのような状況になっても質の高い教育を維持することを第一に、感染状況に応じて授業の実施方法を決定する方針に変わりはなく、現下の感染状況においては、4月の授業開始は、3割程度を面接授業で行う。感染状況が落ち着き、本学活動制限指レベル2となった場合は、2週間の移行期間において、面接授業を増やしキャンパスに通学して学ぶ機会や、対面での交流機会を増やす予定である。	④3割対面	面接授業を少しでも多くするという考え方で、感染状況がある程度沈静化している場合は、面接授業を8割程度行うことを計画していた。しかし、緊急事態宣言が3月21日まで延長され感染状況が沈静化されていない現状においては、面接授業を増やすことはできないと判断した。感染拡大が心配される状況ではあるが、新入生は一週間に1日程度、2年次以上は一週間に1日程度を校舎し、全学生が面接授業の機会を持つように設定した。感染状況が改善し、本学活動制限指レベル1または2となった場合は、2週間の移行期間において、面接授業を増やしキャンパスに通学して学ぶ機会や、対面での交流機会を増やす予定である。	④その他	新入生に対しては、はじめての大学生活をサポートするため、演習、実習科目を面接授業とし一週間に2日程度校舎ができるようにした。面接授業を増やす方針の中で2年次生に対して優先的に面接授業を推進した。全学生が面接授業の機会を持つようにという考えで、3、4年次生に対しては面接授業を設けた。その結果、2年次以上は一週間に1日程度校舎ができるようになり、新入生との差異が生じた。	①②③④⑤⑥⑦	
294	東京女子医科大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	通学、対面の機会が減ったことによる、メンタル面での不調、対人関係能力の低下を防ぐ必要がある。	③半々	医療機関を併設していることから、患者様への感染を防ぐ。都心であり、学生の通学時の混みでの感染を防ぐ。	③学部・学年ごとに差	実験・実習・実技の比率が違ってくる。自己学習能力が高学年になる方が高いことによる。	②④⑤⑥⑦	
295	東京電機大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	大学としては、面接授業の実施を基本としている。ただし、コロナ禍対応を考慮すると、キャンパスに在籍する学生を2つに分け、各グループが交互に隔週で通学させるなど、この対応のため、令和3年度前期においては、いわゆるハイフレックス型授業を原則として利用している。	①ほぼ対面	本学は通信制の大学ではないため、遠隔授業の良さは取り入れつつも、原則として面接授業を行うべきであると判断した。特に実験実習科目は本学の建学の精神である「実学尊重」の精神に基づき、実際の「モノ」に触れることを重視した。	⑤差はない		①②④⑤⑥⑦	
296	東京農業大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生・教員からの意見・要望（面接授業の必要性）及び今年度後学期授業における新型コロナウイルス感染症の経験知等を踏まえ、有効な感染防止策を徹底しつつ、面接授業を中心とする実施方針を決定した。	①ほぼ対面	面接授業を中心に実施するとともに、新型コロナウイルスの感染防止のため以下の科目を遠隔授業で実施することとした。①教室の人数制限を定員の1/2程度以下とし、この人数制限を超える規模の授業②身体接触を伴うなど感染リスクが高い授業③遠隔授業でも教育効果が見込まれる授業	①学部ごとに差	キャンパスごとの教室の規模・数が異なることから、教室の人数制限等により学部（キャンパス）ごとの面接授業の実施比率に多少の差異が生じている。なお、学部（キャンパス）における学年ごとの差異はない。	①②③⑥	
297	東京薬科大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	1年生については、入学したばかりであり大学での学修に慣れないこと、最終学年については卒業論文研究を行うため対面での対応を重視する必要性を強く感じたため	③半々	大学内の規定（新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた活動指針）により感染状況を鑑みて登校者数を制限していること等を考慮しての判断となります。	②学年ごとに差	1年生については、入学したばかりであり大学での学修に慣れないこと、最終学年については卒業論文研究を行うため対面での対応を重視する必要性を強く感じたため	①②④⑤⑥	
298	東京理科大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	対面での学修の必要性を強く感じ、学生の健康と安全を第一として慎重に検討しつつ「感染拡大防止」と「対面による学修機会の確保」の両立を目指している。また、遠隔授業を行ったことで特長も理解できたことから、今後も引き続きその制度を利用した授業形態についても検討していきたい。	③半々	ハイフレックス型授業（1つの授業を対面とオンライン（同期遠隔）で同時に行う形式）を中心に実施することとし、主要キャンパスでは、6月9日までは、学籍番号が奇数の学生の登校週、偶数の学生の登校週を設定し、振り分けることから、判断をした。	③学部・学年ごとに差	キャンパス所在地が都心部でなく、比較的外郊外にあり校舎に余裕があることから、薬学部、理工学部においては、対面授業の実施比率が高い。また、実験・実習科目や、学部4年生以上の卒業研究や大学院研究指導科目は、研究指導等の効果を考慮し、対面で行われる傾向にある。	①②③④⑤⑥⑦⑧	履修申告期間（4月12日～19日）は、学生がキャンパス・教室等に殺到し、密になることを避けるため、全授業をオンライン（同期遠隔授業又は非同期遠隔授業）にて実施予定。
299	東洋大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度において、本来学生はキャンパスにおける多様な学修や交流、キャリア発展に沿った留学期間を取り組み、大学の有意義な時間を過ごすことができた。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、このような諸活動を行うことが困難となった。この状況下において、令和2年度後学期授業に関する方針を策定した際は、「学修機会の確保（学びを止めない）」「学生の悩みや不安に寄り添った対応（誰一人取り残さない）」「感染防止対策の徹底（正しに恐れる）」を掲げて検討した。結果として、対面授業に加え、令和3年度授業方針の策定に当たっては、キャンパスへの通学や対面による授業実施を強く望む学生の声を踏まえつつ、これまで以上に充実した学修を提供することを旨として、各種委員会や各学部等において検討を進めてきた。以上の検討を進めながら、対面により学ぶ機会、学生と教員、及び学生同士の交流機会の重要性を再認識するに至った。	②7割対面	面接授業と遠隔授業の比率に関しては、新型コロナウイルス感染症の防止対策を講じたうえで、可能な限り同感染症が発生した以前の状況に戻すことを前提としている。この前提のもと、令和元年度における履修履修者の実数値に鑑みて、各キャンパスへの入籍者総数や特定の時期に対する履修者合計数を算出して判断した。	①学部ごとに差	本学は、東京都、埼玉県及び群馬県にわたり複数のキャンパスを有していることから、学部・研究科や学年等を単位とせず、キャンパス単位で入籍者数の調整や、面接授業と遠隔授業の調整といった総数管理を行っている。すなわち、各キャンパスの在籍学生数や教室状況等に即した総数管理を行ったため、キャンパスごとに面接授業の比率が異なっている。各キャンパスにおける面接授業の実施比率は、①白山キャンパス（東京都）が約70%、②東洋キャンパス（東京都）が約80%、③川越キャンパス（埼玉県）が約90%、④倉敷キャンパス（群馬県）が約90%程度である。なお、東京都に置く山キャンパスでは面接授業の比率が70%程度となる予定であるが、同キャンパスに比して、その他のキャンパスでは面接授業の比率が高くなる予定である。	①②③④⑤⑥	
300	東京音楽大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	カリキュラムの中心である実技科目について、令和2年度秋学期から面接授業で実施しており、令和3年度も引き続き同じ方針で実施する。	①ほぼ対面	実技科目及び実技を伴う講義科目は面接授業で、講義科目は遠隔授業で実施することとした。	⑤差はない		②⑦	
301	二松学舎大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生の満足度調査において、授業内容の満足度は大きな変化はなかったが、学生生活の満足度が特に1年次生において極端に低い結果であったこと。	①ほぼ対面	本学の方針として面接授業が基本となること。感染状況にもよるが、当面は面接と遠隔の併用（2グループ交代制）で実施すれば密は避けられると判断した。	⑤差はない		①②⑤⑥	
302	日本大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度は、多くの学部で遠隔授業を実施してきたが、その中でも対面授業を行った方が、教育効果が高いと考える授業回では、学部で定めた入構制限を踏まえつつ、優先して面接授業を実施してきた。令和3年度については、理系や医系の学部では、実験・実習等の科目を中心に面接授業を計画している。さらに、面接授業の様子をオンライン中継する授業や学生をグループ分けし、面接授業の受講とオンラインでの受講を交替で行う授業設計をするなど、令和2年度の授業計画よりも面接授業の割合が増加した。また、新型コロナウイルス感染症が収束を遂げていないことから、対面授業を望む学生だけでなく、オンライン授業を望む学生、進学を心配する学生だけでなく、自宅の通信環境が不安定な学生もいる。このような多様性に対応していくことが重要だと考えている。継続して新型コロナウイルス感染症の動向を把握しつつ、対面授業の欠かさない授業は、感染予防を講じながら慎重に進めていき、その数を増やしていく予定である。	④3割対面	これまでキャンパス内でのクラスターを発生させないよう授業実施に関するガイドラインを大学として策定し対策を講じてきた。入構者の制限や毎日の健康観察や入構時の検温など、構内への感染者の構内立ち入りを防止するよう対応してきた。しかし、新型コロナウイルスは、発症する2日前（無症状状態）から感染のリスクが高まるため、構内にも感染者がいることを想定し、教室等1か所に集合できる人数を収容定員の50%とする運用だけでなく、教室に限らず人との間隔を1m以上空けるようドラゴンテープで定めている。講義科目のように履修者が多い科目では、ソーシャルディスタンスを確保した上で教室確保や時間割の都合により、履修者の分散が困難な授業は、オンラインでの実施とした。	①学部ごとに差	理系や医系の学部では、実験・実習等の科目を中心に面接授業の実施を予定している。例えば、理工学部では、全学年を2つグループに分け、面接授業のグループと在籍のグループに分けて交替で行い入構し対面授業を実施する。また、面接授業の様子をオンライン中継し同時双向で学修できる環境を用意するなどを講じたことから、面接授業の割合が増加する。しかし、文系学部のような、履修者が多い科目が多数開講されている学部では、教室の収容定員の50%削減や人との間隔を1m以上空けるなどソーシャルディスタンスを確保した上で教室確保や時間割の都合により、履修者の分散が困難な授業は、オンラインでの実施とするため、オンライン授業の比率が高くなっている。	①②③④⑤⑥⑦	
303	日本医科大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	コロナ禍は当面続くと考えている一方、医学部ゆえに特に臨床実習は極めて重要であり、患者とのコミュニケーションをとれるシステムや、臨場感のある代替プログラムを構築中である。	①ほぼ対面	コロナ禍の状況に鑑み、対面授業を基本とし、Webを希望する学生は代替を認めている。	⑤差はない		①②④⑤⑥	
304	日本歯科大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	社会における感染予防に関する正しい知識が広く浸透したため、2021年度は感染分散による面接授業の機会を大きく上げる。しかし、全科目について実施するための教室数が足りないため、面接・遠隔授業のハイブリッド方式とした。	③半々	2020年度の1年間により、遠隔による授業のメリットについても検証、検討した結果、科目・実技教科を考慮し、ハイブリット方式で行うこととした。	③学部・学年ごとに差	第1-4学年は、実験・実習・実技・臨床を優先的に面接授業とし、実施比率はほぼ100%である。第5学年では、臨床実習が主体であるので、8割以上は対面で行う。第6学年においては、産学生体であるので、遠隔授業の比率は高い。全学年を含めて、継続して感染対策を行い、本学すべての講義室・実習室を用いて授業を実施する。	②④⑤⑥⑦	
305	日本社会事業大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	ソーシャルワークは知識と技術と価値から成り立つ実践学で、教員・学生・福祉現場や地域の人々とのかわり合いを通して学び込み深めていく学習であり、基本方針は対面（通学）による授業を行う。ただし、感染を防止しながら学修機会の確保を実現するためオンラインによる授業を効果的に活用したハイブリッド型で実施する。	②7割対面	基本を面接授業としつつも、三密を避けて感染予防対策を確め、分散通学等を考慮したため。	②学年ごとに差	大学生活に不慣れな新入生が孤立せず大学になじめるよう配慮。	①②④⑤⑥	



No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
306	日本女子大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度8月に本学学生を対象に実施した「遠隔授業に関するアンケート」の回答を検証し、それを踏まえ上で令和3年度の授業のあり方について検討を行った。結果として、令和3年度は、面接授業科目と遠隔授業科目とのハイブリッド型の授業形態とすることとし、感染症対策等を実施しながら可能な限り面接授業の実施を目指す方針となった。	③半々	学内で遠隔授業を受講できる教室を確保しながら、感染症対策（教室収容の50%以下で授業を行う）を施した上で、可能な限り面接授業を実施するという方針のもと、授業科目表上の「実験・実習・実技科目」「外国語を除く演習科目」を面接授業、講義科目を遠隔授業と区分し、これを大学全体の方針の原則とした。（原則としてレクチャーを行い、全体の約半数の科目が面接授業となることを確認）さらに、時間割上教室配当が可能な場合は、個別申請という形式で、講義科目においても面接授業実施の申請を受け付けた。	③学部・学年ごとに差	原則として、「実験・実習・実技科目」「外国語を除く演習科目」を面接授業で行うこととしており、当該科目の比率は学科や学年によって異なるため。	①②④⑤⑥⑦	特になし
307	日本女子体育大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし		②7割対面	体育大学なので講義科目を遠隔授業とし、実技・演習科目を面接授業とした。	③学部・学年ごとに差	開講科目に反映して差がある。（一つの学科においては定員が少ないため講義科目を面接授業にしても、教室が密にならないため、全て面接授業を実施している）	①②③④⑥	
308	ルーテル学院大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	令和2年度と同じ授業形態とした	③半々	大人数の授業を遠隔授業に重点的に配置したことを、担当教員の希望や状況を検討した結果、そのようになった。	⑤差はない		①②③④	
309	日本体育大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	面接授業の開催を求める学生の声が多くあることに応答したいの思いから、感染症対策を講じながら面接授業を実施するための検討をした。 具体的には、講義科目については教室座席数の半数を目安として時間割を編成し、全ての授業科目において面接授業を前提として準備を行った。	③半々	実技・演習科目については授業2週目から5週目まで面接授業を前提とするが、キャンパスによっては授業偶数週は学籍番号偶数の学生を面接とし、奇数学生は遠隔授業とする。授業奇数週は学籍番号奇数の学生を面接とし、偶数学生は遠隔授業とする等、学内の学生数を抑制してスリットを、状況を見ながら授業実施方法の変更を判断していくこととした。4月下旬に授業6週目（5月10日）以降の授業実施に関する方針を定める予定である。	③学部・学年ごとに差	カリキュラムにより、各学年で開講される講義・実技・演習・実験・実習の数が異なるため。	①②③④⑤⑥⑦	
310	文化学園大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		③半々	すべての回をオンライン授業とする科目と、分散登校による面接授業や個別指導の科目、面接授業の学生とオンライン授業の学生が混在するハイブリッド科目があるため、1度でも面接授業を取り入れている場合は、面接授業と判断した。	③学部・学年ごとに差	各学部学科のカリキュラム、授業の内容によって授業形態が違うため。	②⑤⑥	
311	法政大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生アンケートの回答結果等を踏まえ、大学として学生間のコミュニケーションの機会を確保することの重要性を再認識し、そのために一定程度の通学の機会を設けることが必要であるということを確認した。また、令和2年度においては、感染防止策を厳重に実施しながら、対面で入試や一部の授業を実施したが、授業出席や受験を直接の原因とする感染は確認されなかった。これらの知見や経験を踏まえ、令和3年度においては、教室での密集を避ける必要や授業内容による発症等の必要により面接授業が困難と判断される一部の科目をオンラインで実施し、それ以外は面接授業を基本に展開していくものとした。なお、令和3年度においては校医のアドバイス等を受けながら、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、各キャンパスの教室において一定の座席間隔の確保、アクリル板設置により飛沫防止、構内各所のアルコール除菌スプレーの設置等の対策を講じ、安全に面接授業が実施できるように準備を進めている。	②7割対面	一部の大規模授業や学生間の密度の高い対話を必須とする授業などを除き、キャンパスにおいて厳密な感染防止措置をとることによって学内での感染拡大を抑制することが可能であることが、令和2年度の経験によって確認された。また、コロナ禍発生以前から学内の人間関係を構築していた2年生以上に比べてオンラインでも学生間のコミュニケーションを維持することがある程度可能であったのに対して、1年生がオンラインのみによって学内で人間関係を構築していくことが極めて困難であることから、令和2年度、3年度の入学生に対して面接授業で登校する機会をできる限り確保することが必要であることが確認された。しかしながら、教室での面接授業による感染リスクを制御するためには、各教室の教室収容学生数を従来よりも少なく設定することが不可欠であること、一部の授業科目については面接授業で制約を受けた方法で発話や共同作業をおこなうよりも、オンラインツールを効果的に活用した方が密度の高い学生間の共同作業を実施できることから、それらの授業についてはオンライン授業として行い、他は面接授業とすることが現在の環境下で最適な授業実施形態であると判断した。	①学部ごとに差	本学では、令和3年度の授業実施については、「対面授業を基本とし、オンライン授業を活用する」ことを基本方針とし、令和3年度の1、2年生に対しては学生間のコミュニケーション機会の確保が特に重要であることも勘案して面接授業とオンライン授業の配分を決定するよう各学部へ周知している。各科目における授業形態（面接・オンライン等）については、カリキュラムや授業科目の特性を考慮し、学部の数値で判断しているため、実施比率が異なる状況となっている。	①②③④⑤⑥⑦	
312	星薬科大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	遠隔講義の出席率や定期試験の結果を考慮した	②7割対面	東京の感染状況は収まっておらず、一方で対面講義の重要性を鑑み、まずは低学年の講義・実習を対面で行い、高学年は実習を対面で行い、講義は遠隔で行うこととした。	⑤差はない		②④⑤⑥	
313	武蔵大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	過去3年間に履修者が200名を超えた講義は、6時間1置きオンライン授業（全体の1割程度）とする。その他の授業は原則対面授業とする。ただし、履修者が確定した後には教室の再配置をするため、5月12日まではすべてオンライン授業とする。	①ほぼ対面	2-3で記載した通り、過去3年間に200名を超えた授業については、大教室の数に限りがあり、3密を避けられない可能性が高いため一部授業を全面オンライン授業とした。	⑤差はない		①②③④⑤	
314	東京都市大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	新型コロナウイルス感染拡大の状況によりステージを設け、授業開講方針発出の段階で、どのステージかにより、授業内容と授業形態を決定している為、基本的な考え方に大きな変化はない。	⑤差はない		①②③④⑥	
315	武蔵野音楽大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	豊かな人間性を涵養するためには、直接の対面による学生同士や学生と教職員の間の人的な交流が行われることも重要な要素であるため。	①ほぼ対面	日本に入国できない留学生や基礎疾患がある者等、特別な理由で面接授業に出席できない学生に対応するため、該当する授業をオンラインで配慮する。	⑤差はない		①②④⑥	

No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
316	明治大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	まず、新型コロナウイルス感染症に対する社会全体の理解が深まり、同感染症への対策が徹底されるようになったこと、並びに大学においてもキャンパス内の感染対策を徹底するための十分な準備期間があったことが、2020年度の授業運営方針決定時との最も大きな違いです。十分な感染症対策を講じ、また基礎疾患等の特別な事情を抱える学生への配慮を徹底したうえで、社会的にも対面授業の実施比率を求めていくことが可能な状況になったと判断し、対面授業を基本とした2021年度春学期の授業方針を決定しました。また、明治大学では、2020年度中に授業運営に関する全学アンケートを3回実施し、12月に実施した第3回のアンケートでは、2021年度の授業について、対面とオンラインのどちらを希望するかについての調査も行いました。その結果、全体では概ね半々(50%・50%)に分かれたものの、現1年生では対面を希望する声が約60%となり、自由記述回答からも対面授業の実施を強く望む声が多かったことから、未だキャンパスへの通学がままならなかった学生の意向を踏まえた判断を行なったことが理由のひとつです。対面授業やキャンパスで学生が集うことでしか生まれない学びや成長の場を出来る限り取り戻し、学生に提供したいと考えました。なお、大学における学びの意義などについては、学長による動画メッセージとして、本学HPにて学生に向けて発信したところです。一方、3回にわたる同アンケート結果では、オンライン授業の学生満足度は総じて高く、特に1年生に於いて2020年度以降のオンライン授業の継続実施を望む声も多かったことから、コロナ禍以前の授業運営に単純に回帰するのではなく、ポストコロナに向けた対面授業とオンライン授業のベストミックスを模索していくべく、2021年度の授業運営においては、対面授業を基本としつつもオンライン授業のノウハウを積極的に活用していくこととしました。これらの観点を踏まえ、本学の2021年度春学期の授業運営については、対面授業7割、オンライン授業3割という基本方針を定め、以下のとおり、本学HPを通じて情報発信しています。 ・2021年度の授業について(第三報) <a href="https://www.meiji.ac.jp/koho/natural-disaster/6t5h7p00003aiv63.html">https://www.meiji.ac.jp/koho/natural-disaster/6t5h7p00003aiv63.html</a> ・大穴野耕作学長「2021年度春学期の開始に際して～学長からのメッセージ～」 <a href="https://www.youtube.com/watch?v=ef1Mg7tIK0">https://www.youtube.com/watch?v=ef1Mg7tIK0</a> ・2021年度授業運営に向けたキャンパス内、教室内の感染予防策について <a href="https://www.meiji.ac.jp/koho/natural-disaster/6t5h7p00003ajyfe.html">https://www.meiji.ac.jp/koho/natural-disaster/6t5h7p00003ajyfe.html</a>	②7割対面	時間割の中に対面授業とオンライン授業が混在するほど学生が時間割に基づく学習計画を立てることに難しが生じること、インターネット環境等の整備された学内のオンライン授業の受講スペースに制約があること等を踏まえ、2021年度春学期は対面授業を基本とし、オンライン授業については時間や場所に捉われないオンデマンド型授業を中心に実施することとしました。また、大学構内での三回回避を徹底しながら対面授業を実施するにあり、2021年度の教収収容定員は通常時の3分の2以下を標準とし、通常教室では座席間隔を1m程度確保することとしたため、教収収容定員の観点から対面授業の実施可能な科目数に制限が生じます。これらの事情を総合的に勘案し、通学を前提した授業運営にシフトすることができ、かつ感染防止策を講じることができるラインとして、対面授業とオンライン授業の現在の影響を低減することができるとする適正割合として定めた目安として、対面授業7割、オンライン授業3割という比率を全学的な目標として定めました。	③学部・学年ごとに差	2020年度に3度にわたり実施した授業運営に関する学生アンケートでは、上級生ほどオンライン授業に満足する傾向があり、1・2年生ほど登校機会の確保を求めている傾向があったことから、特に新入生の登校機会の確保を目的に、必修科目など登校機会の確保につながる科目を重点的に対面形式で実施することを予定しているため、上級生と下級生の間で、対面授業とオンライン授業の実施比率が異なります。また、キャンパスによって教室事情が異なることや学問分野によってオンラインでの代替が困難な科目の比率が異なること等から、学部や学年によって対面授業とオンライン授業の実施比率に差が生じます。	①②③④⑤⑥⑦	
317	明治学院大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	キャンパスに通学して学ぶ機会を増やす一方で、感染を恐れる心情に配慮して、面接授業を誰でも遠隔で受けられるように方策をとっていましたが、2021年度は面接授業を遠隔で受けるには、本人や同居の家族に重症化リスクのある基礎疾患があるなど明らかな事情がある場合に限り、申請制で認めることとしました。	③半々	本学の授業に関する考え方は以下の通りです。1.明治学院大学では対面授業が大学教育の基本であると考え、なるべく多くの授業を対面授業で行えるよう、可能性をできる限り模索する。2.コロナ禍がこの先どうなるのか予測できないので、学生・教職員双方の安全を最優先とする。学生・教職員の健康・安全を守りながら、できるだけ多くの科目を面接授業で行うという方針につき、面接授業とオンラインによる遠隔授業を併用する形で進めることとしました。感染防止策として教室内での密を避けるため、本学では施設定員数の3分の1に減らして座ります(3席に一人が座る)。そのため、大人数が履修する授業を収容できる教室がなく、一定数の授業は遠隔での実施が必要になります。授業は、「対面授業(同時配信併用)」と「遠隔授業(オンデマンド/同時配信)」に分けて実施し、面接授業については、新型コロナウイルス感染症に関連した配慮が必要な場合を除き、学生に教室で受講するよう求めています。	②学年ごとに差	本学は、2キャンパス制をとっており、基本的に1~2年生が横浜キャンパス、3~4年生が白金キャンパスです。カリキュラム上、白金キャンパスの3~4年生は、演習など少人数での授業が多く、十分な感染対策の上で面接授業を実施することが可能ですが、横浜キャンパスの1~2年生は、大人数を対象とする講義が多いため、比較的遠隔授業が多くなっています。2021年度秋学期については、新型コロナウイルスの感染状況やワクチン接種等の状況によって、より多くの科目で面接授業の実施が可能となった場合、遠隔授業から面接授業へ切り替えを行い、面接授業が大学教育の基本であるとの考えのもと、より一層多くの授業を面接で行うことを検討しています。	①②③④⑤⑥	
318	明治薬科大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	1) 対面での講義が重要であると再認識されたのは、コミュニケーション能力の向上を要求される演習・講義である。会話する能力は、相手の微妙な表情や仕草などを感知することが必要であり、画面を通じては感じ取れない部分がある。 2) オンデマンドの配信講義は、見る側の学生の集中力が、学生にかなりの部分を依存することから、成績の成績が上位者はかなり良い効果を生んだが、一方、成績下位の学生は配信講義を流しているにとどまり、効果を期待できない面があった。	③半々	講義室への収容人数は、座席の配置や換気などを考慮し、通常の講義室座席数の2分の1が妥当であると算定し、これに基づき、授業コマ数を考えるとき、実学コアカリキュラムにおける必修講義は対面で行い、選択科目を配信講義で行うことにした。講義とは別に週3日間の午後がやはり実学コアカリキュラム必修の実習であるため、これも対面であることも算定に加えてある。	⑤差はない	2,4,5,6		
319	立教大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	新入生と新2年生が履修する科目を中心に面接授業で実施することとし、大学全体としては面接授業と遠隔授業と併用する。今年度の状況を見ながら、導入期として大学生活に慣れるためにキャンパスに登校し、ながら人間関係の構築も含めて定着させていくことの重要性を再認識したところである。	②7割対面	大学全体の方針として、新入生と新2年生が履修する科目、演習系科目、実験・実習科目を面接授業で実施することとしたことによる。特に、新入生が必ず履修する外国語科目を面接授業で実施することとしたため、当該科目のクラス数が多いこともあり、面接授業の割合が大幅に上昇している。	②学年ごとに差	新入生と新2年生が履修する科目を中心に面接授業で実施することとしたため、3年生、4年生と比べて面接授業の割合が高くなっている。また学部によって教育課程の特徴により多少の差が見られる。	①②④⑥⑦	
320	立正大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生アンケートの結果を受け、感染防止対策を講じた上での対面授業の実施を検討した結果	②7割対面	感染防止の観点から受講者を教室定員の2分の1以下までとした上で面接授業を実施し、教室に収容できない大人数講義を遠隔授業とする方針の結果	①学部ごとに差	全学的に面接授業は7割程度実施しているが、実験実習科目が多い地球環境学部はほぼ面接授業となっている。	①②③④⑤	
321	早稲田大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	オンライン授業について、学生、教職員ともにその効果を認識することができた一方、弊害は対面でないという点や、学生同士、学生と教職員とが対面で交流する機会の重要性についても改めて認識することができた。	②7割対面	面接授業と遠隔授業の選択は、カリキュラム上の必要性に応じて科目群ごとあるいは科目ごとに設定しているが、学生に対するオンライン授業アンケートの結果から、ポストコロナであっても3割程度の遠隔授業を希望する学生が最も多かったことも視野に入れて授業方法を設定している。	②学年ごとに差	新入生及び昨年度は遠隔授業であった2年生に配当されている科目については、なるべく面接授業にて実施し、科目選択の際に面接授業の科目あるいは遠隔授業の科目を学生が選択できるように各学部等で工夫している。また、留学生の多い英語学部プログラム当は、入国制限の関係から遠隔授業が中心とならざるをえなくなっている。	②③④⑥⑦	
322	国際仏教学大学院大学	13. 東京都	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	上記回答の通り、基本的には面接授業を柱とするが、今後の感染状況により面接授業と遠隔授業の併用もしくはほとんど遠隔授業を行うこともあり得る						

No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
323	学習院女子大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度春学期が終了した段階で、本学の遠隔授業に関する学生アンケートを行ったところ、遠隔による学修の効率化には肯定的な意見があったものの、教員・学生間共に関係性の希薄化も指摘され、特に一年生は友人関係を築けない孤立感が強かった。このため教養科目は演習系の科目で対面授業を増やしたが、全体の対面比率は低くともなると、学生が登録するインセンティブにならないことが明らかとなった。他方、令和2年度秋学期の間に、同一授業を対面と遠隔のハイブリッドで行うノウハウが蓄積され、LMSの導入も進められたため、対面授業を基本としつつも、健康上の理由等で対面参加できない学生に対しても充実した遠隔授業を提供できる体制が整えられた。	②7割対面	対面授業を基本とするが、次の2つのケースに該当する場合は遠隔で行なうこととした。①教員やその家族の基礎疾患等により対面授業の実施を回避する必要がある場合。②教室定員の約10パーセントの密度での授業実施を基本とし、履修者数多数により教室が手配できない場合。これに基づき、総授業数約70科目中、約100科目が遠隔で実施される予定である。	①学部ごとに差	英語コミュニケーション学科の科目は、コミュニケーションを学ぶという学科の性格上、できる限り対面授業を行うべきと判断した。	①②③④⑤⑥⑦	
324	東京国際工科専門職大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		③半々	実習や演習授業等、指導上必要な授業は対面で実施した。	②学年ごとに差	2年生は実習が増えるため、対面授業の割合がやや高くなる。	②④⑦	
325	東京保健医療専門職大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年8月以降、概ね2/5を遠隔授業（オンデマンド方式）で行ってきたが、専門職大学として実習、実務を重視する立場から、遠隔授業を概ね1/5に減らすと共に、従来のオンデマンド方式からリアルタイム双方向方式とすることを教員に推奨している。	①ほぼ対面	学生の試験結果等を勘案し了る旨の検証、遠隔授業に向けた内容の科目であるかどうか（試験・実習・実技などの要素の多寡）の検討、及び教員の遠隔授業についてのスキルの保有状況などを総合的に勘案して判断した。	⑤差はない		②⑤⑦	
326	情報経営イノベーション専門職大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	通学したいという学生の声、保護者保証人の声もあった。	③半々	①講義科目、実習演習科目の比率②感染対策を講じた上での施設状況等	⑤差はない	1学部のみが理由等はございません。	②④⑥⑦	特になし
327	大学院大学至善館	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし		④3割対面		⑤差はない		②⑦⑧	上記のほか、教育において附帯となる学生同士及び学生と教員などの信頼関係の構築という観点から、オンラインでの授業を実施している
328	国際ファッション専門職大学	13. 東京都	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
329	駒沢女子大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度は、二度にわたる緊急事態宣言の発令など、感染拡大するコロナ禍の影響を受け、学生の安全、感染拡大防止を最優先する考えから、全面的な遠隔授業とし、自宅での学修や、通学等々による感染リスクの低減を図った。令和3年度においては、コロナウイルス感染症の解明や、有効な感染対策が明確になってきており、徹底した当該感染対策の措置をしたうえで、「実験・実習・実技」および「演習・語学」など対面によって高い教育効果を得られる科目等は対面授業を行う。併せて、学生間の人作りやコミュニケーションの充実に資するよう、コロナ禍と学修・学生生活の両立を図るべく、面接授業と遠隔授業とを併用して実施する。	②7割対面	学生の健康と安全を第一とし、感染防止の観点から日、時限等毎年のべに異なる学生数の抑制を考慮し、実習・演習・種学については原則面接授業とし、その他の科目については、オンデマンドでの受講により学修効果が充分得られる性質の科目、大人数の履修により人数の制限を行わざるを得ない科目について遠隔授業での実施を検討した。	①学部ごとに差	人間健康学部健康栄養学科、看護学部看護学科については、カリキュラム上、実習、演習が多く、また、国家資格取得を教育目標に掲げている、主に面接授業を実施する。	①②③④⑤⑥⑦	
330	亜細亜大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	入学後に登校機会が無かった新入生を含め、登校を希望する学生にも講義に対応すること、大学の施設・設備を利用した面接授業において様々な知識を修得すること、授業以外のキャンパスでの学生生活を通じた教職員との交流、学生同士の交流（友人づくり、不安の軽減、先輩・後輩との交流）などから得られる学生自身の成長を支え、促すことも極めて重要であると考えているため	①ほぼ対面	学生・教員相互の安全に配慮する為のディスタンス確保に留意しつつも、面接授業による学修効果や授業外での交流機会の提供が必要であるため	⑤差はない		①②④⑤⑥	
331	桜美林大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度後期に部分的に対面授業を再開し、感染防止などのノウハウを得ており、教室の準備等も充分に出来たため、対面授業を主とする授業運営を決定した。	①ほぼ対面	比率ありきで判断したのではなく、感染防止の観点から1、2限を申請によってオンライン授業を許可する形式とした結果である。	①学部ごとに差	全学的には14%だが、演習が中心の語学授業は、感染防止の観点からオンラインを活用した授業も30%程度となっている。	①②⑤⑥⑦	
332	国立音楽大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	音楽大学のため、実技や演習の授業が多くある。実技や演習に関しては、面接授業の方が効果的である。	③半々	実技系の授業は面接、中規模な人数の授業は面接と遠隔の併用、大規模な人数の授業は遠隔と基本方針を決めている。	⑤差はない		①②③⑤⑥	
333	国際基督教大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度後期に部分的に対面授業を再開し、感染防止などのノウハウを得ており、教室の準備等も充分に出来たため、対面授業を主とする授業運営を決定した。	③半々	教室のスペースから逆算し、例年60名以上の登録者がいる科目についてはオンラインに固定、それ以下の科目についてはミックス（対面、オンライン併用）か、オンライン化を教員が選べる形とした。結果として上記の比率となった。	②学年ごとに差	1年生が必修となっている英語教育プログラムについては、すべてのセッションで必ず対面授業を選択できるように設定し、対面授業を履修しやすくしている。	①②③④⑤⑥	
334	百合女子大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	④その他	本学は、少人数教育を特色としており、対面での教育の必要性・重要性についてはもともと認識しているものである。令和2年度、遠隔授業中心にせざるを得なかったのは、感染状況の収束化が見られない状況で、対面授業と遠隔授業が混在する授業体制を提供できる教育環境が、小規模大学ということもあり、十分に提供できる体制がなかったことによる。したがって、令和3年度の授業方針の決定に当たり、大学としての考え方の変化は、突如ではなく、令和2年度後半時期に教育環境整備を積極的に進める対応に着手することで、令和2年度後半早期に令和3年度の授業方針を決定できたものである。なお、令和2年度前半でそうした教育環境の整備が遅れたのは、前期、突然の遠隔授業体制への対応に追われ、対面・遠隔混在授業に必要な環境の検討に時間がかかったこと、及び、ICT環境整備の機器納入や工事に従事する業者が多くの学校への対応で多忙を極め、迅速な対応が困難であったことなどが影響していると考えている。	①ほぼ対面	・学内1F環境の強化が終了し、面接授業中心としても、学生の事情により授業の同時配信や学内での遠隔授業受講が必要となる状況が生じていても、面接授業を受講できない学生へ対応できる体制が整ったこと。 ・新型コロナウイルス感染症の特徴が明らかしてきたことから、適切な感染予防対策により、少なくとも授業中における感染リスクはそれほど高くないと推測できるようになったこと。 ・（根拠：新型コロナウイルスの感染経路は飛沫感染及び空気感染が中心であり、接触感染についてはあり得るがその可能性は低いこと。感染経路が判明している例では、一定時間以上のマスクなしの会話・歌唱のリスクが高く、そうした状況が生じやすい場がある程度特定されていること。以下の対応により、通常の授業中での感染リスクは高くないと想定されること。 マスクの常時着用、手指の頻回消毒、対面での発語回避、一定の対人距離、定期的な換気、教室定員の収容人数削減、など。）	⑤差はない		①②③④⑤	
335	成蹊大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年10月に新入生が登録して、初めてゼミ教員・同級生と対面するイベントを開催したところ、遠隔でのふれあいとは違う対面の意義を改めて認識したことや、事後の学生アンケートの中で、多くの学生もそれを認識していることが見てとれたため。	④3割対面	「大学等における新型コロナウイルス感染症への対応ガイドラインについて（文部科学省6月通知）」に従って、対距離での会話や発語が生じないよう、また十分な対人距離を確保して面接授業を実施するためには、教室の広さと数の割合上、3割程度が限界である。なお、教室の広さと数を踏まえ、十分な対人距離を確保して実施できる少人数科目で、多くの学部で複数学年において必修である演習科目や、対面でない実施が難しい実習・実習科目をまず面接授業として4月より実施し、マスクの着用、換気、アクリル板の設置、教員・学生の手指消毒等の感染防止対策で距離確保の問題を解決して、5月以降面接授業の割合を増やす検討を行っている。	②学年ごとに差	各学部の専門科目における面接授業の実施率は、現状の予定では5割程度となっているが、1年生と2年生については、授業科目の中で語学科目が必修となっており、これらを遠隔授業で実施せざるを得ない状況（「大学等における新型コロナウイルス感染症への対応ガイドラインについて（文部科学省6月通知）」に従って、十分な対人距離を確保して実施しようとする）、これらの科目を面接授業とする他の科目をほとんど面接授業でできなくなってしまう）であることから、その分面接授業の実施率が3年生、4年生以上に比べ低くなってしまいう予定である。但し、「令和3年度の大学等における授業の実施と新型コロナウイルス感染症への対策等に係る留意事項について（周知）」（令和3年3月4日付高等教育局長通知）示された留意事項を踏まえ、次年度の新入生と、今年度の授業において面接授業等大学構内での学修機会が十分に得られなかった現在の1年生の科目について、5月以降、優先して面接授業の割合を増やす検討を行っている。	①②④⑥	

No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
336	玉川大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	教育の質保証の観点から、対面授業の実施の必要性を鑑み、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた十分な感染対策を講じた上で、多くの授業を対面授業で行うとした。 また、令和2年度秋学期中に学生に行ったアンケートで、対面授業科目・実施回数について増やしてほしいとの回答が半数近くの47%あり、令和3年度の授業について、科目数や実施回数を増やすための検討を行った。	②7割対面	芸術、農学、工学、体育の分野など対面授業の実施によっては面接授業に相当する教育効果を得ることが困難な授業科目が多く、また、12月に行なった学生アンケートより、回数を増やして欲しい要望がほぼ半数であったため、対面授業の割合を増やした。	③学部・学年ごとに差	本学において対面授業で実施する必要性のある科目として「実験・実習・実技科目」、「必修科目」、「演習科目」を優先とした。農学・工学・芸術については、「実験・実習・実技科目」の比率が高く、カリキュラムの進捗上、学年によって「必修科目」の履修数に差があるため、各学部・学年によって実施比率に差が出てくる。	①②④⑤⑥	
337	津田塾大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	コロナ禍、大学としても平時と変わる対面授業の質を確保すべく、オンライン授業を実施し、一部の授業でハイブリッド授業を実施してきた。しかしながら、学生がキャンパスの教室の中でしか得ることができない経験や学生同士の交流、学生と教職員とのやりとりにより育まれる事務が多くあること、大学に寄せられた学生の意見として、キャンパスで学ぶ機会を重む意見が多かったことを受け、感染防止策を講じつつ、可能な範囲で学生がキャンパスで学ぶ機会をできるだけ増やすべく、今年度はハイブリッド授業の割合を増やすことにした。	④3割対面	文部科学省及び厚生労働省から示された感染症対策の基準の範囲で、学生にとってのキャンパスライフの重要性を重視した。授業のみならず、学生同士、学生と教職員とのつながりを育む機会を可能な限り取り除くため、学生がキャンパスで学ぶ機会を増やすことにした。	①学部ごとに差	少数教育を行うことを重視した教室の設計上、ハイブリッド授業を実施できる教室数が限定されており、セミナー科目を中心にハイブリッド授業を設定したため。	③④⑥	
338	帝京大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	④その他	大学での授業は面接授業が基本であるとの観点を持ち、感染対策を講じつつ令和2年度後期も面接授業開講に努めており、令和3年度に向けて大きな変化はない。	①ほぼ対面	令和3年度前期の授業形態決定する方針として、面接授業は教室定員の7割までの履修者の科目としている。主要なキャンパスの大講義室の定員は400名から500名。前年度実績で280名以上の履修者があった科目は55科目であり、これらが遠隔授業になることを想定し、令和3年度前期開講科目数3,278科目から算出すると、8割以上が面接授業にて開講出来ると予定。	⑤差はない		①②③④⑤	
339	東京経済大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	面接授業を基本とするが、「三密」が避けられない授業、遠隔授業を実施することのメリットが大きい授業についてはのみ遠隔授業とする。	①学部ごとに差	学部の専門科目において、「三密」が避けられない授業が無いため、面接授業の実施比率が高くなっている学部がある。	②③④⑤⑦	
340	東京女子体育大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	実技・演習系の授業が多いため対面の方が質の高い授業が行える	①ほぼ対面	科目の特性と施設 特に教室収容定員の3分の1を基本として判断している	④その他		②④⑤⑥	
341	東京神学大学	13. 東京都	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
342	東京造形大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	美術系大学という事情により、制作活動や授業において大学の施設を使用する必要があること、遠隔授業では教育効果が低い科目もあることから面接授業と遠隔授業を併用しつつ、令和2年度よりも対面授業を増やすこととした	②7割対面	講義科目は遠隔授業、演習・実習科目は面接授業を原則とし、感染リスクを避けつつ、学生の学修効果を念頭に科目ごとの授業運営方針を決定した結果、上記2-4の比率となった。	⑤差はない		①②④⑥	
343	桐朋学園大学	13. 東京都	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	対面を基本とし授業実施は2021年度も変わらず実施する。						
344	武蔵野大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大が続く状況にあって、学生の教育機会の損失を最小限にとどめるべく一時的にオンライン授業に転換した。オンライン授業は一定の効果も上げているものの、キャンパスにおける対面学修、学生の交流性を確保することの重要性が認識されたことから、教室の三密防止策（収容定員の制限）などの対策を講じつつ対面授業の再開を目指してきた。令和3年度は一定数のオンライン授業を併用しつつ、対面授業を原則とする方針である。	②7割対面	各キャンパスの学部レベルの授業科目（クラス単位）について、対面授業（面接授業）とオンライン授業（遠隔授業）の割合を算出している。全体としては割増授業を対面授業として行う予定である。対面授業には、授業回の一部をオンライン授業により実施するハイブリッド型を占めている。	③学部・学年ごとに差	各キャンパスの学部レベルの授業科目のうち、全体としては7割程度を対面授業（面接授業）で行う予定であるが、実験・実習・実技など対面授業が不可欠な科目、あるいは語学科目など比較的少人数の科目の多い学部では、対面授業（面接授業）の比率が高く、教室の三密防止策（収容定員の制限）により、多人数を対象とする科目の多い学部は対面授業の比率が低くなる傾向にある。1年生は全学共通の語学科目やゼミ科目など、対面授業で行う科目が一定数あるものの、学科によっては多人数を対象とする必修の基礎科目が多く、対面授業の実施が難しい。そうした学科では、人数が分散する選択科目の多い2・3年生、ゼミ科目が中心の4年生は対面授業の比率が高くなるため、学年によって対面授業とオンライン授業（遠隔授業）の比率に差異が生じている。	①②③④⑦	
345	武蔵野美術大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	課外活動の自粛が続き、学生にも一定のストレスが発生しているため、対面での学生同士の交流からも学ぶ点は多いと考えているため	②7割対面	一般講義系の科目については3割回避のため可能な限り遠隔授業とする。一方で必修科目または実技科目については美術大学である以上面接授業（対面授業）を実施する方針である。	④その他	大学としては対面を原則としているが、学科によっては教員やスタッフの判断により、一部授業をオンライン化（遠隔授業）するケースもあり得る。未入国留学生のオンライン対応も実施する予定である。	①②③④⑥	
346	明星大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	「命と身体の安全と学習の機会保障を両立させ、対面授業のメリットとオンライン授業のメリットを活かし、教育のさらなる質的向上を目指す」という授業形態の方針に大きな変更はないため。	③半々	教室内およびキャンパス内が密にならないよう、授業のために登校する1日あたりの学生数を例年の30%程度に抑えるために、対面授業とオンライン授業を併用し、全授業数の50%程度を対面授業で実施する必要がある。	③学部・学年ごとに差	遠隔授業実施のため大学の環境整備が進み、学部・学科において、各科目の教育目標の達成に照らして、対面授業と遠隔授業を組み合わせたことが可能になった。実験・演習科目など、対面授業であることが必要な科目を多く有する学部、学科と今年度の実績を踏まえて遠隔授業も効果的な科目を多く有する学部、学科とは対面授業の比率が異なる。	①②③⑤⑦	
347	和光大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		③半々	実技や実習を伴う科目、資格取得に関わる科目、ゼミナール・プロゼミ・キャリア研究など受講者が少ない科目のみ授業を対面を実施することとした。	①学部ごとに差	実習を要する科目を多く持つ学部は必然的に対面が多くなるため。	①②④⑥⑦	
348	杏林大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	本学において、学生が学ぶための目的の一つに人間性の形成があり、その人間性の形成には面接授業が多人数の授業は遠隔授業を行う予定。しかし、その授業が必修科目などコアとなる授業は、面接授業を必要とするが、対面に不安を感じる学生は、次年度以降の履修、または感染が軽減された時期に集中講義を実施、並びにハイフレックス型授業を行う予定によるもの。	①ほぼ対面	大人気授業や教員自身が基礎疾患等を有している場合について、遠隔授業でも実施を認めることとし、各開講学部で検討を行った。また遠隔授業の割合を学年毎別に集計し遠隔授業の割合が高い場合は、再考を促し、面接授業の割合を確保した。	③学部・学年ごとに差	学部：講義系科目が多い学部と実験、演習、実習系科目が多い学部が同キャンパスに混在し差異が生まれたい。学部：新入生および新2年生を優先的に面接授業実施の方針のため。	①②③④⑥⑦	
349	創価大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生代表と新年度の授業実施方針について協議する中で、学生がキャンパスに入学しての学修や学生同士や学生と教員との直接的な交流を希望する学生が多いことを認識したため。	②7割対面		⑤差はない		①②③④⑤⑥⑦	
350	日本文化大学	13. 東京都	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	学生通しが互いに学び合う機会が失われる、						
351	東京工科大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	従来より、対面授業や対面での学生交流の重要性は認識しており、その時点で、できる限り対面授業を実施していくという考え方に変化はない。	①ほぼ対面	科目の履修予定人数と教室の収容人数から主に多人数が履修することが考えられる科目について遠隔授業とした。	③学部・学年ごとに差	現時点で遠隔授業としているのが、1・2年次の学生が履修予定である科目であること。また、学部の教育内容の特性により、遠隔授業での実施を予定している科目もあり、面接授業の割合にバラつきがある。	①②③④⑤⑥⑦	



No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
352	日本赤十字看護大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	看護大学として技術の習得は必要不可欠であり、令和2年度後期も同様の考え方のもとに演習授業を中心に対面授業の機会を設けた。一方で講義科目の多くを遠隔授業で実施したが、対面授業や図書館等大学施設の利用に関する希望も多く、また、学生同士や教員との交流機会が学生にとって必要と感じたことから、対面による授業機会の拡大を念頭において令和3年度の授業方針を検討した。	②7割対面	令和3年度授業方針については令和2年10月からR2.9.15付2文科高第543号を参照して検討を開始し、後期授業の実施状況を確認しながらその後の通知(R2.12.23付2文科高第864号等)を確認して方針を定めた。面接授業と遠隔授業の比率については、以下の方針を基本として最大限に対面授業ができるように検討した。・ハイブリッド型授業も活用して週3日以上(50~80) %以上の対面授業+遠隔授業を実施する。・学内実習が必要な場合は実習を優先して配慮する。最終的にはR3.3.4付2文科高第1125号の「3.感染拡大の防止のための取組について」のまた書きに記載された「授業そのものよりも課外活動等における感染率が多く発生している」との通知を参照し、学内での昼食等食事における注意や課外活動等の注意喚起を十分に行うこととして令和2年度後期よりも対面授業を拡大することとした。	⑤差はない	2・6で⑤と回答たとおり特に大きな差異はない。	①②⑥	
353	恵泉女学園大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	必修授業を優先して面接授業とし、その他選択科目は教室定員を勘案して履修人数を調整、あるいは遠隔へ切り替えなどで対応することにしたため。	⑤差はない		①②④⑤	
354	多摩大学	13. 東京都	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
355	東京純心大学	13. 東京都	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
356	嘉悦大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	令和2年度後期の授業実施の方針を決定したのは7月であり、7月15日には、東京都は新型コロナウイルスの警戒レベルを4段階のうちの高レベルにまで引き上げ、学術を許さない感染状況であったため、オンライン授業を基本とし、対面での実施の必要性が極めて高いと考えられる一部の授業等については対面授業を実施することとした。令和3年度前期の授業方針は11月頃から対面授業を実施することを前提に検討を開始した。1月7日には東京都に緊急事態宣言が発令され、学生アンケートにおいても次年度の授業形態の希望はオンライン60%対面40%であったが、対面授業を実施するという前提は変更しないことを決定し、1月に全体の80%程度の授業を「対面授業」として実施する予定であることを公表した。	①ほぼ対面	文部科学省「学校における新型コロナウイルス感染症衛生管理マニュアルVer5」の「地域の感染レベル」の「レベル2」に対応する感染対策の実施を前提に、履修者数と教室の収容定員を勘案して面接授業を実施可能な授業を選択した結果、約8割の授業を面接授業として実施する予定となっている。	②学年ごとに差	学部ごとに違いはないが、学年ごとに若干の違いがある。1コマあたりの履修者数の多い講義系の選択必修科目の比率が高い2年生の遠隔授業の比率が比較的高くなっている。それに対して、1コマあたりの履修者数の少ない演習・実習系の科目の比率が高い1年生の面接授業の比率が比較的高くなっている。具体的な比率については、履修登録の状況（選択科目の選択の仕方）によって学生毎に異なるため、現段階では示すことができない。	②③④	
357	東京富士大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度の授業方法に関するアンケート調査により、学生の意見を踏まえ、学生への学修の機会の提供について検討した結果、学生が大学キャンパスに通学して学ぶと共に、ゼミでは、対面と交流することが必要との認識に至った。	③半々	春学期授業方法は、原則として、対面授業と遠隔授業(リアルタイム)を組み合わせたハイブリッド型とすることとしているが、全14回の内、対面授業の回数を、可能な限り増やすという方針。又、履修学生数が決定している授業や履修人数が比較の少ない基礎演習、専門ゼミ、語学等については、出来るだけ、対面による授業を予定している。	②学年ごとに差	大学の学部は、経営学部のみであり、学部間の面接授業と遠隔授業の実施比率の違いはない。一方、対面授業実施予定の基礎演習、プロフェッショナルセミナー、語学、コンピュータ関連科目は、原則として、1年生・2年生での履修を予定しているが、専門ゼミは、3年生・4年生での履修を予定していることから、面接授業と遠隔授業の実施比率が、学年によって違いが出てくる。	①②④⑤⑥	
358	LEO東京リーガルマインド大学院大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	新型コロナウイルスの収束の見通しがたっていない状況と学生アンケートでの遠隔授業への高い満足度をふまえて決定をいたしました。	⑤ほぼ遠隔	春学期授業方法は、原則として、対面授業と遠隔授業(リアルタイム)を組み合わせたハイブリッド型とすることとしているが、全14回の内、対面授業の回数を、可能な限り増やすという方針。又、履修学生数が決定している授業や履修人数が比較の少ない基礎演習、専門ゼミ、語学等については、出来るだけ、対面による授業を予定している。	⑤差はない		③④⑥	
359	デジタルハリウッド大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	対面授業の本格開始時期について、特に1年生においては、ゴールデンウィーク明けの5月6日(木)から必修の英語科目を対面授業にて実施する予定でしたが、2021年に入った後の緊急事態宣言の延長や、担当教員の基礎疾患等の保有状況、ワクチン接種時期について、本学には英語を母語とする外国語のネイティブ教員や留学生が多数おりますが、外国籍の方については接種時期が未だ確定していない状況であることから、対面授業の本学開始時期を2021年度後期(9月下旬〜)といたしました。2021年度前期はオンラインのみで授業を実施したことが可能ですが、科目によっては、オンラインと対面を併用し、学生の皆さんは希望する方法で参加できる授業もご紹介します。また、4月1日からのガイダンスは、原則対面を実施し、来校が難しい場合は、オンラインにて対応いたします。なお、キャンパスは閉鎖しておりますので、自習や、友人との課外活動、カフェテリアやメディアライブラリ等の利用も可能です。(一部予約制)自宅等よりも、大学での受講の方が、インターネット環境等の設備面や、集中力の維持の点等が良い場合などは、大学施設を利用いただくことができます。	⑤ほぼ遠隔	2-3. の自由記述(2020年度の実績)に同じ。	⑤差はない	①②③④⑤⑥⑦		
360	白梅学園大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	教室の整備により、感染予防策を講じながらの授業が可能と判断した。	⑤差はない		①⑦	
361	東京医療保健大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし		②7割対面	キャンパスが所在する都道府県の感染状況	①学部ごとに差	主要キャンパスである東京都に対して、和歌山キャンパスは、感染状況が低いので、面接授業の比率が高い。	②③⑤	
362	東京聖栄大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	オンライン授業のアンケート結果では、対面授業と同程度にわかりやすい、実感が得やすいなどがある一方で、教員の音声が届きづらい、教員や他の学生とコミュニケーションは取れないなどの意見を踏まえ、学修の機会や対面交流の機会が重要であると考えたため。	③半々	大学内施設のキャパシティを考慮し分散校とした。	②学年ごとに差	実験、実習は特に対面による指導が不可欠と判断したため。	②⑤	
363	グロービス経営大学院大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし		④3割対面		⑤差はない		⑤	
364	文化ファッション大学院大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		③半々	未だ都内の感染状況が落ち着いておらず通学に対して不安を抱く学生や、また授業開始までに新規入国に関わらない留学生がいるため	①学部ごとに差	専攻によって、実習など対面による指導が不可欠と判断される授業の数が異なるため	①②④⑤⑥⑦	
365	大原大学院大学	13. 東京都	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし			緊急事態宣言の発令その他特別な要請がなければ通常どりの対面授業を前提としているため				
366	東京未来大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		②7割対面	対面場が必要な実技・実験・実習やコミュニケーションが中心となる演習を中心にできる限りの対面授業を実施する。尚、講義科目においても収容定員に大幅に余裕のある教室が確保できる場合にも、出来る限り対面授業を実施する。	②学年ごとに差	若い学年についてはカリキュラム構成上、多人数の講義科目が中心であり、学年によって対面授業と遠隔授業の比率に差が生じている。	①②③④⑤⑥	
367	ハリウッド大学院大学	13. 東京都	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	令和2年1月8日発令以降の緊急事態宣言の下、授業に関する喫緊の取組みとして導入した「Zoom」機能の活用による面接・遠隔のハイブリッド型授業の質的向上を随時検討し、コロナ状況に適合した実効運用を図っている。						

No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
368	こども教育宝仙大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	感染防止対策の定着により面接授業を拡大していく環境が整ったこと。より面接授業を取り入れることで、特に学生間の交流を深めていく必要性を感じた。	③半々	少人数制で対面による授業実施がより学習効果を高めると思われる科目および学生アンケートで面接授業の希望が多かった科目を面接授業とした。また第1・2年生は学生・教員との人的交流を深めるといった観点から面接授業割合を高めるよう取り組んだ（新1年生の春学期面接授業割合は約7割となっている）。	②学年ごとに差	新1・2年生の面接授業割合を高めることで、学生・教員間の交流を深め、大学における学びの定着を図るよう取り組んでいる（新1年生の春学期の面接授業割合は約7割）。	②③④⑤⑥⑦	特になし
369	東京有明医療大学	13. 東京都	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
370	東京工芸大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面		⑤差はない		②③④⑤	
371	産業能率大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	新型コロナウイルス感染状況および十分な感染対策を講じる体制を整備したため	①ほぼ対面	教育効果の観点から、対面による学生との相互のやりとりを行う科目を対面授業とし、経営理論科目及びオンデマンド形式で教育効果が高いと思われる一部の科目をオンデマンド授業とした。	③学部・学年ごとに差	1・2年次科目、PBL授業科目を優先し対面授業としているため。情報マネジメント学部では2年次コース入門科目についてコース選択幅を広げるため、受講者を多く受け入れられるようLIVE型（Zoom）授業とした。	③④⑤	
372	ヤマザキ動物看護大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生アンケート結果から、特に実習科目や演習科目は原則として面接形式で実施することを多くの学生が期待しており、また、講義科目においても、グループワークやディスカッションを取り入れる等で、面接授業の方が好ましいと思われる授業形態の科目もあることがわかり、より一層の学習効果をあげることを方針としたため	①ほぼ対面	2-3で回答たとおり、原則としては、感染対策を講じつつ、面接授業を行う予定であるが、一部の科目においては、感染リスクを懸念する学生等を対象に遠隔授業も併用して実施していく予定である。	⑤差はない		①②④⑤⑥	
373	東京医療学院大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし		③半々	三密を避け感染の危険性を最小限に抑えるため演習、実習に優先的に授業を割り振るため	②学年ごとに差	新入生は遠隔授業に慣れないため面接授業の機会を多くしている	②④⑤⑦	
374	事業構想大学院大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	③遠隔授業を拡大	社会人向けの大学院のため、リアルとオンラインの両者の良さを各自選択して授業を受けている。例えば平日の夜はオンラインで、土曜日の昼間は対面している学生もいる。	①ほぼ対面		⑤差はない		①	
375	社会情報大学院大学	13. 東京都	03. 私立大学	①全面対面	③遠隔授業を拡大	本学は社会人向けの大学院であり、ほとんど学生が働きながら学んでいる。外出規制など大学の方針以前に勤務先の指示に変わざるを得ない状況のなかで、今後感染症に限らずさまざまなリスクに対応を考えると、オンラインを用いた遠隔授業の整備は必須であると考え、また、多忙な社会人生活のなかで通学時間から解放されたことにより、出席率が上がったという声も聞かれ、多様な働き方や生活様式に合わせ、今後も遠隔授業を広く実施することが適切であると認識に至った。						
376	帝京科学大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	原則、面接授業で実施する予定	⑤差はない		①②④⑤⑥	
377	日本獣医生命科学大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面		①学部ごとに差			
378	宝塚大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	遠隔授業では通信環境が悪いと再読み込み等や画面が固まったりする等で集中力がなくなってしまうと学生からの声あり、教員からは、グループワークで学生同士でコミュニケーションをとる機会がなくなり、意見交換をする機会が減ってアクティブラーニングの取入れが難しく、一部の意欲に欠ける学生達に対して、意欲的に学修する方向に繋げることが難しいとの声があった。また、実技を伴う演習科目は原則として対面で行うこととした。	②7割対面	遠隔授業においては、通信環境やPC設備などの学生が持っているリソースに大きく左右され、対面授業を実施していた際には起きない、学修を阻害する要因がある。そのため、できる限り安定した学修環境と意欲を維持させることを鑑みて、対面授業と遠隔授業の比率を決定しました。	⑤差はない	①②④⑥⑦		
379	愛国学園短期大学	13. 東京都	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	令和2年度は、学校の休校が要請された非常事態宣言時に2週間遠隔授業を行ったが、それ以降は学生数及び施設のキャパシティ並びに実験・実習授業の対面の教育効果を考慮しておおむねすべて対面で実施した。						
380	青山学院女子短期大学	13. 東京都	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
381	共立女子短期大学	13. 東京都	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
382	国際短期大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	緊急事態宣言のみゼミナールや英会話など一部の授業について全面的に面接授業としているが、それ以外の授業では学生本人の希望により遠隔授業を求めている。緊急事態宣言中ではなければ全科目面接授業を行っている。	⑤差はない		①②④⑥	
383	駒沢女子短期大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度は、二度にわたる緊急事態宣言の発令など、感染拡大するコロナ禍の影響を受け、学生の安全、感染拡大防止を最優先する考えから、全面的な遠隔授業とし、自宅での学修や、通学等々による感染リスクの低減を図った。令和3年度においては、コロナウイルス感染症の解明や、有効な感染対策が明確になってきており、徹底した当該感染対策の措置をしながら、ほとんどの科目で面接授業を行う。	①ほぼ対面	保育科は、幼稚園教諭および保育士資格を取得することを教育目標に据えており、教育目的の達成には、面接授業は不可欠と判断し、新型コロナウイルス感染症対策に十分な配慮を行った上で、原則として対面授業とすることとした。	⑤差はない	①②④⑤⑥⑦		
384	星美学園短期大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		②7割対面	分散登校により3学年中2学年までを同時登校としているため、対面授業は2/3となる。	⑤差はない		②④⑤⑥	



No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
385	帝京大学短期大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	④その他	大学での授業は面接授業が基本であるとの観点を持ち、感染対策を講じつつ令和2年度後期も面接授業開講に努めており、令和3年度に向けて大きな変化はない。	①ほぼ対面	令和3年度前期の授業形態決定する方針として、面接授業は教室定員の7割までの履修者の科目としている。本キャンパスの大講義室の定員は400名から500名。前年度実績で280名以上の履修者があった科目は11科目であり、これらが遠隔授業になることを想定し、令和3年度前期開講科目数328科目から算出すると、8割以上が面接授業にて開講出来る予定。	⑤差はない		①②③④⑤	
386	帝京短期大学	13. 東京都	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
387	戸板女子短期大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし		③半々	常に半数の学生が登録して面接授業を行い、残りの半数が遠隔授業とする体制とした	④その他	2-6の回答の⑤が基本であるが、食物栄養科2年の学外実習の科目については45時間の実習を面接授業（実習）として実施している。	⑥	
388	東京交通短期大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		④3割対面	本学はキャンパス、教室も広くなく、ソーシャルディスタンスを考慮し判断した	⑤差はない		①④⑥⑦	
389	東京成徳短期大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生アンケート調査結果、遠隔授業の理解度と納得感に関するアンケート及びクラス代表者から意見聴取し、本学の使命・目的に照らしながら学生の学修の在り方について、再度協議・検討した結果、対面授業の重要性、学生同士や学生と教職員間の人的な交流が必要との認識が高まった。	①ほぼ対面	基本的に「対面授業」を実施とするが、大人数が履修する授業など感染防止策を講じることが難しいと想定される授業や感染対策を講じつつ面接授業を行うよりも、遠隔授業を行う方が高い教育効果が認められる場合において、遠隔授業の割合は全授業数の2割程度とした。2割程度とした根拠については、キャンパスにおいて受講する対面授業と遠隔授業が混在しないよう1限目～6限目の時間割の中で6限目を「遠隔授業」のみとし、各時間の授業数が「均等」と仮定した計算式で併設の4年生大学と統一した方針として約20%を導き出した。なお、実際に遠隔授業を実施する授業は、全授業の約2%程度を予定している。	⑤差はない		①②③④⑤⑦	
390	新渡戸文化短期大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	資格養成校の特徴として実習授業が多いため、知識・技術の習得が最重要である。	①ほぼ対面	資格養成校の特徴として実習授業が多いため、知識・技術の習得が最重要である。	⑤差はない		②④⑤	
391	東京立正短期大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	登録機会がない学生生活への不満に対応していく必要性	①ほぼ対面	各専攻課程ごとに隔週の面接授業に遠隔授業併用の形をとるため、ほぼ公平な比率	⑤差はない		②④⑤⑥	各専攻課程ごとに隔週の面接授業に遠隔授業を併用
392	東邦音楽短期大学	13. 東京都	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	考え方に変化はありません。						
393	創価女子短期大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生代表から新年度の授業実施方針について意見を聞く中で、学生がキャンパスに通学しての学修や学生同士や学生と教員との直接的な交流を希望する学生が多いことを認識したため。	②7割対面	通学を前提として授業を行う準備を進め、その上で、大人数授業や教員自身が基礎疾患等を有している場合について、遠隔授業でも実施を認めることとし、最大限、面接授業の割合を確保できるように努力した。	⑤差はない		①②③④⑤⑥⑦	
394	白梅学園短期大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	教室の整備により、感染予防策を講じながらの授業が可能と判断した	⑤差はない		①⑦	
395	東京女子体育短期大学	13. 東京都	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	演技・演習系の授業が多いため対面の方が質の高い授業が行える						
396	フェリスカ子ども短期大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	本学の場合、2020年度後学期から9割を対面授業にしており、週4日は登録できるため、2021年度も同じ方針です。2020年度退学者は、経済的な面よりも社会的急激な変化による精神疾患悪化から長期欠席につながったケースがありました。学生の視点で見ると、授業内容そのものよりも、学生同士のつながりや教職員との近い関係によって学校生活の満足度が高まり、学修へのモチベーションを維持していたことが、オンライン授業になったことでより鮮明になりました。	①ほぼ対面	全員に実習があり、資格を取得する学科のため、以前よりアクティブラーニング型授業が多く、対面授業を9割にしている。建学の精神「愛の教育」に基づき、学生のモチベーション維持のためには教職員と直接関わり、愛情をかけて育成する必要があるため。	⑤差はない		②⑤⑥	
397	桐朋学園芸術短期大学	13. 東京都	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
398	山形美容芸術短期大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		③半々	緊急事態宣言解除後も感染者の減少は見られず、学内での感染拡大防止の観点から、特に実習科目の開講が多いため、段階を踏んで全面面接授業へ進めていく方針	⑤差はない		②⑤	
399	日本歯科大学東京短期大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	遠隔授業が多くなったことで、学生間、学生・教職員間の交流の機会が減少したことで、学生の孤立感を引き起こすのではないかと懸念がある	③半々	基本的には、座学で行われる授業は遠隔授業で、実習は、遠隔授業での実施は難しいので対面授業で行う	③学部・学年ごとに差	歯科理工学科第2学年においては、技術の習得が重要な時期であること、歯科衛生学科第2学年・第3学年は臨床臨床実習が多く組み込まれていることから、遠隔授業の実施比率が高くなっている	②	
400	東京歯科大学短期大学	13. 東京都	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	学生および保護者へも十分説明の上、原則的に、基礎実習および臨床実習は対面での実施、講義は開講を空けた席の配置となるため教室のキャンパシティ内で登録学年を入れ替えながら対面とオンラインを併用して実施する予定である。	②7割対面	基礎実習は、器具・器材に直接触れてシミュレーションができるよう、対面で計画している。また、臨床実習は病院の感染予防策を講じて対面とし、実際の診療に関わりながら学修ができるように配慮している。講義は、学内の教室数に限りがあるため、登録学年を入れ替えながら対面とオンラインを併用して実施する予定である。登録学年を絞ることで、万が一感染が発生した場合、濃厚接触者を学年ごと特定し、感染拡大を最小限にできるよう、曜日で登録学年を交互に設定している。	②学年ごとに差	2-5で述べたように、基礎実習および臨床実習日を原則対面としている。そのため、実習がない学年は遠隔授業となり差を生じることとなるが、前期・後期でなるべく均等となるように調整をしている。	②	該当なし
401	ヤマザキ動物看護専門職短期大学	13. 東京都	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	令和2年度中のオンライン授業に対するアンケート結果等を受け、本学の特徴である実習授業や臨床実習の在り方と重要性に鑑み、面接授業が必要であるとの判断に至った。						
402	有明教育芸術短期大学	13. 東京都	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	対面授業を基本的に感染状況に応じて、遠隔授業を取り入れていく						
403	貞静学園短期大学	13. 東京都	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
404	東京工業高等専門学校	13. 東京都	04. 高等専門学校	②併用	①対面授業を拡大	クラス内の学生がお互いに顔を合わせて話す機会が減ったため、対面での授業が必要であることが明らかになった。また、教員も学生の様子を知らない状況で遠隔授業が始まったため、「やりにくさ」があった。	②7割対面	学内における密集を避けるため、クラス単位で週1～2日の遠隔授業のみの日を設定することとした。	⑤差はない		②	
405	東京都立産業技術高等専門学校	13. 東京都	04. 高等専門学校	①全面対面	②大きな変化なし	特になし						
406	サレジオ工業高等専門学校	13. 東京都	04. 高等専門学校	①全面対面	①対面授業を拡大							

No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
407	横浜国立大学	14. 神奈川県	01. 国立大学	②併用	①対面授業を拡大	望ましいAfterコロナの授業形態をアンケートした結果、全面対面と対面中心で遠隔併用と回答した学生は約7割であり、1年生に限ると約8割という結果であった。結論に至った一番の理由は、学生からの声を反映した結果である。	①ほぼ対面	望ましいAfterコロナの授業形態をアンケートした結果、全面対面と対面中心で遠隔併用と回答した学生は約7割であり、1年生に限ると約8割という結果であった。結論に至った一番の理由は、学生からの声を反映した結果である。	①学部ごとに差	経済学部、経営学部では、対面授業実施率は、約65%であり、教育学部、理工学部、都市科学部は、約90%以上の対面授業比率となっている。また、全学部共通で履修することとなる教養教育科目や外国語科目などの全学教育科目は、約73%の対面授業比率となっている。経済学部と経営学部が他学部よりも低い値となっている理由としては、対面授業でより教育効果が高いゼミナールなどの演習科目は、対面で実施する予定であるが、履修人数規模が大きい授業が多いことに加え、遠隔授業でも令和2年度のノウハウを活かし、その実施方法を工夫することにより教育効果を得られると考えられる講義科目を中心として遠隔授業で実施する事となった結果が理由である。なお、2020年度秋学期授業アンケート結果においては、「理解度」、「興味・関心」、「満足度」の平均値の全てが、2019年度結果を上回っているなど、遠隔授業の教育効果が数値としても確認できたことによる判断でもある。	①②③④⑤⑥⑦	
408	総合研究大学院大学	14. 神奈川県	01. 国立大学	②併用	②大きな変化なし	緊急事態宣言は解除されたものの、引き続き感染予防が強く求められている状況に鑑み、学習に大きな支障がない範囲で遠隔授業を継続する必要があると考えるため。	⑤ほぼ遠隔	本学は全国にある大学共同利用機関の研究所等にキャンパスを置いており、各キャンパスにおいて学生及び指導教員・授業担当教員の意見を採り入れた結果、2-4の回答となった。	①学部ごとに差	半数の専攻においては、学生及び指導教員・授業担当教員の意見を受け、全体の7-8割を面接授業とすることとした。	①②③④⑤⑥⑦	
409	横浜国立大学	14. 神奈川県	02. 公立大学	②併用	①対面授業を拡大	特に新生からの対面での交流を望む声が一足数あることや、本学でも学生同士のつながりや人間形成を育むことが必要であるとの認識が高まった。	②7割対面	語学や実験、実習、演習科目等の面接授業が適当と判断される科目及び教室のキャパシティを考慮し、一部の講義科目（受講人数が50名以下と想定される科目）を感染症対策を講じた上で実施する。	②学年ごとに差	面接授業を実施する科目のうち、一次での履修を推奨している科目が多いため、実態として一次での面接授業の受講の比率が高くなっている。	②③④⑦	
410	神奈川県立保健福祉大学	14. 神奈川県	02. 公立大学	②併用	①対面授業を拡大	特に1年生は、遠隔授業のみを受けることは学校への登校機会をなくすることになるため、対面授業により登校の機会を確保する必要がある。	③半々	講義は遠隔方式、演習・実習は対面授業としたことによる。	⑤差はない		②	
411	川崎市立看護短期大学	14. 神奈川県	02. 公立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	実習等、遠隔では困難な科目が多い。						
412	相模女子大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし		③半々	シラバスに面接授業を4回以上実施すると回答した科目がおよそ5割程度であったことから上記のように回答した。	①学部ごとに差	生活デザイン学科においては、制作を伴うため対面授業実施率が8割程度となっており、他の学科に比べ対面比率が高い。	②③	
413	北里大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	遠隔授業が便利であることを認識した一方で、特に実習科目などは、面接授業でないこと教育効果を担保することが難しいことが認識されたため。	②7割対面	各学部において、各学部の事情や科目の性質により面接授業とするか遠隔授業とするかを判断している。それらを集計した結果、7割程度が面接授業という結果になっている。	③学部・学年ごとに差	感染症の多い東京都に位置する薬学部では、全学年を2つのグループに分け、対面授業・オンライン授業を交互に実施するという対策を講じている。一方で、感染数少ない青森県に位置する獣医学部では、すべて対面授業とする。また、実習科目はすべて面接授業で行われるが、主に1年生が受講する一般教育科目では、4割程度が遠隔授業で実施する予定である。	①②③④⑤⑥⑦	
414	慶應義塾大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	これまで本学では、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえて、学生、教職員、関係者の健康と安全を第一にさまざまな対策を講じてきた。2020年度春学期は、感染拡大および緊急事態宣言をきっかけにキャンパスを一時閉鎖し、原則としてオンラインで授業を行うこととしたが、2020年度秋学期においては、オンライン授業を継続しながらも、学生が安心して学問に打ち込める環境を整えた上で、一部の授業をオンキャンパス（対面）で実施することとした。対面授業の実施にあたっては、新型コロナウイルス感染防止のために必要な対策を講じ、キャンパスへの立ち入りや施設の利用についても、安全対策を徹底した上で段階的に進めてきた。そのような経緯を通して、オンライン授業にも、距離と時間の制約からの解放、反復学習や同時双方向の議論が可能となること、また、さまざまな事情でキャンパスへの通学が困難な学生の学業継続を可能にするなど、一定のメリットがあることが明らかになった。一方で、キャンパスでの学び、教員や仲間とのふれ合いは、学生の人格形成の上で重要であることは言うまでもなく、教室、図書館、体育館、グラウンドなどキャンパスでの多様な学びの重要性も本学の教育の根幹であると考えるから、2021年度春学期においては、安全を最優先としつつ、さまざまな工夫によって学生が対面授業を受ける機会を増やすこととしている。さらに、キャンパス内外での課外活動やフィールドワークなどを通じた教育活動の機会も確保することとしている。今後は教員と学生の負担軽減など工夫を重ね、対面型とオンライン型のより学習効果の高いハイブリッドな授業形態を模索していくとともに、引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で学修が困難となった学生への経済的支援や精神的な不安を抱える学生へのメンタルヘルスマスクの強化に努めていく。	③半々	2021年度春学期は、学生、教職員の健康と安全、感染拡大防止を最優先としつつ、各学部・研究科等における教育効果をふまえて、対面授業とオンライン授業（リアルタイム、オンデマンド）を併用したハイブリッド形式による授業実施を予定している。感染防止の観点から履修者を教室の収容定員0.1/2程度としているため、すべての授業を対面型とすることには教室数という物理的な制約がある。そのため、比較的履修者数が少ない小規模科目は対面授業を中心とし、履修者の多い大規模授業は原則オンライン授業としている。また講義科目については、対面授業と同時並行にオンラインリアルタイム配信を実施し、対面授業に出席する学生を交代制にするなどの工夫により人数を絞って対面授業を行う形式や、同一科目において、対面授業とオンライン授業を一定の割合で計画的に組み合わせる（例えば学期前半は対面、後半はオンラインとする／隔週で対面、オンラインとするなど）形式なども可としている。	①学部ごとに差	例えば医療系学部や理工系学部では、実験・実習科目が必修となっているなど、カリキュラムの特性および教育効果をふまえて、対面授業の割合を高くしている学部、研究科がある。	①②③④⑤⑥⑦	
415	女子美術大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	美術大学である本学は、設備等の環境を含め、技術の修得には面接授業が相応しいこと、また知識と技術を修得するだけでなく、人間教育の場であることをコロナ禍のもと再認識した。一方で遠隔授業よりも、高い教育効果が得られる場合もあることが判明したため、面接授業と遠隔授業それぞれの利点を生かし、教育活動の向上のための、多様な授業形式を積極的に導入する予定である。	③半々	令和3年度前期の授業方針は、実技・実習授業は授業性質上、原則面接授業にて、また講義授業は教室のキャパシティ等考慮し、原則遠隔授業である。従来、本学の授業運営形態は、1日の授業のなかで半日を実技・実習授業、半日を講義授業にあてているため、面接・遠隔授業は、おおむね半々の割合で行うこととなる。	②学年ごとに差	カリキュラムを反映し、学年ごとに面接授業と遠隔授業の実施比率が異なることが差の理由である。1・2年次は講義授業の比率が高く遠隔授業の割合も高くなり、3・4年次は専門分野である実技授業の比率が高くなるため面接授業の比率が高くなる。	①②⑥⑦	

No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
416	専修大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		③半々	<p>本学では、令和3年度前期においてキャンパスに入構できる上限人数を生田キャンパスで4000人、神田キャンパスで2400人に設定したうえで、対面授業科目の検討を行った。この考えに基づき、本学では、令和3年度の学部授業に関するお知らせとして、学部新入生・学部在籍生・保護者を対象に、学長名で対面授業の方針を以下の通り周知した（3月5日付け）。</p> <p>【以下周知文抜粋】令和3年度の前期授業は対面授業とオンライン授業を交えた形で展開いたします。その展開の比率については、一律に対面授業の割合を数値目標とするのではなく、「新入生のほとんどは週3日から4日程度、1年生のときに対面授業を受ける機会が少なかった新2年生は週2日から3日程度、新3年生や新4年生については週1日から2日程度、キャンパスに通学していただく」という方針にもとづいて授業を計画しました。その理由と授業計画の実施のための配慮については後述しますが、新入生、在籍生のみならず、お願いしたいことは、対面として設定された授業を受講する際には、きちんと登校して教室で受講していただきたいということです。保護者の方々には、学生の対面授業への出席をサポートしていただくようお願いいたします。もちろん、政府・自治体より大学に対して休校・全面オンライン化等の要請があるなど、新型コロナウイルスの感染状況が極度に悪化した場合には、この限りではありません。本学では、感染状況に応じてオンライン中心の授業に移行できるように臨機応変に対応する予定です。しかし、感染がある程度落ち着きを見ている場合には、対面授業は教室で受講する形でのみ実施したいと考えています。</p>	②学年ごとに差	<p>本学では、一律に対面授業の割合を数値目標とするのではなく、「新入生のほとんどは週3日から4日程度、1年生のときに対面授業を受ける機会が少なかった新2年生は週2日から3日程度、新3年生や新4年生については週1日から2日程度、キャンパスに通学」という方針にもとづいて授業を計画している。</p>	①②④⑤⑥	
417	東海大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	ワクチン接種の実施も順調に進んでいくことが期待されることから、4月からの新年度に向けて学生のキャンパスライフを一層充実させるべく、できるだけ早い段階でのキャンパスの開放に向けた準備を進めている。	③半々	<p>全開講科目の時間割ごとに授業形態を集計した結果、遠隔授業37%、面接授業33%、遠隔と面接の併用30%だったため。</p>	③学部・学年ごとに差	<p>実験実習等の対面が必須となる科目や、対面授業より遠隔授業がより感染対策としても、教育の質としても良いと判断される科目等、学部や学年によって異なる場合がある。さらに、50科目を超える一般教養科目と専門科目に加え、学生の興味やスキルアップなどを目的とした語学や情報系などの「全学共通科目」として、コロナ禍以前と同様レベルの400科目以上を開講している理由により、学部個人ごとに比率は異なってくる。</p>	①②③④⑤⑥⑦	
418	桐蔭横浜大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	2回の学生への調査の結果、オンライン授業の効果も一定認められた。この経験を活かし、インフラ型の教育目標にはよりオンデマンド型を、アクティブラーニングには対面という形で、教育目標や授業内容に応じた教育手段を推奨している。令和3年度は3種類の教育手段を設け、①完全オンデマンド（講義）、②対面（実習・実験・課題解決型学習、ゼミ）、③ハイブリッド（多く一般教育科目）のいずれかに分類した。	③半々	<p>教育目標や授業内容によって3種類の教育手段に分類したところ、おおむね半々となった。</p>	①学部ごとに差	<p>医用工学部やスポーツ健康政策学部では実験実習や実技が多くなるため対面授業が増加し、産学が中心の法学部では遠隔授業が増加する。カリキュラムに併せて、授業内容や学問に応じた教育手段を用いるため、差異が生まれる。1年生次は遠隔授業が多くなるように、初年次ゼミは少人数、3密回避を意識して対面授業の形式をとる。</p>	②③④⑤⑥⑦⑧	<p>教育目標や授業内容によって教育手段を選択する。より知識を獲得する「習得」を目的とする授業であれば、学生の自分なりの学びペースや繰り返し閲覧のメリットを優先し遠隔で実施する。「活用」や「探究」において他者とのコミュニケーションやフィールドワーク、機器が必要な授業においては少人数の対面で実施する。</p>
419	神奈川大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度に実施した学生向けの調査アンケート、保護者からの意見、あるいは社会情勢等に鑑み、授業種別に寄らず、感染防止対策をとりながら各授業科目の位置づけ、授業運営形態、履修者規模等に応じて、面接（対面）授業を増やしつつ遠隔授業を組み合わせて行うこととした。	②7割対面	<p>面接（対面）授業の実施にあたっては、感染防止対策として通常の教室定員ではなく、概ね通常の2分の1を教室定員とすることとした。そのため、原則として、共通教養科目等、履修人数が多い科目は遠隔授業とし、演習科目、外国語科目等、履修人数の比較的小さい科目および実験・実習科目は面接（対面）授業とした。</p>	③学部・学年ごとに差	<p>履修人数の多い講義系科目は教室定員との関係から遠隔授業となるが、特に収容定員の多い法学部や経済学部等の講義科目は遠隔授業の割合が高い。特に、1・2年時の講義科目は卒業要件に重要な基礎的な科目が配置されているため履修人数が多く、結果的に面接（対面）授業が少ない。他方、クラス単位の演習を行う科目の多い外国語部等や、実験・実習科目の多い理学部・工学部等では、比較的に学年を問わず面接（対面）授業の割合が高くなっている。</p>	①②③④⑤⑥	
420	関東学院大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	感染拡大防止のために有効な対策が明らかになってきていることと、面接授業の必要性についての認識が高まったため。	①ほぼ対面	<p>授業形態は原則として対面型とし、感染拡大防止の対策を行った上で実施する。教室での密を避けることが難しい状況および科目特性や教育上のメリットがある場合については、遠隔での授業実施を検討した。</p>	③学部・学年ごとに差	<p>授業形態が実験・実習の科目が多い学部は、面接授業の実施割合が高くなっている。また、全学部で新入生の科目は面接授業の実施割合が高い傾向にある。</p>	②③④	
421	鶴見大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	<p>文学部：今年度前期末の「授業改善アンケート」と後期の「遠隔授業に関するアンケート」の結果を精査し①の認識に至った。歯学部：「学力低下が不安のため、対面授業を実施してほしい」という学生からの要望が多かったため（項目2-1に対して、歯学部では①で対応しているため2-4以降の項目は文学部の対応としてご承知おきください。）</p>	②7割対面	<p>文学部：面接授業を主体とする方針のもと、劇的に改善しない感染状況と学内施設のキャンパスイキを考慮し、教育効果を見込める科目については遠隔授業とした。</p>	①学部ごとに差	<p>文学部：学部内の学科毎に重視する教育形態（実習、演習、実技、講義等）が異なるため</p>	①②③④	
422	フェリス学院大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							

No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
423	横浜商科大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		④3割対面	大学の所在地である神奈川県は、国内でも感染拡大リスクが高い地域であり、緊急事態宣言解除後もリバウンド等多くのリスク要因を鑑みなければならない状況でもある。そのため昨年度秋学期に実施した1日当たりの通学記録等から、どの程度、学生を通学させることができるかのシミュレートを重ねた結果、ゼミナールや1年次の必修科目等は、個人の特定が比較的容易であること、また必修科目等の前後に配置している授業の履修予測を立てて上で教室稼働率と定員密度を50%に設定し、大教室の教室密度も70%を超えない科目を対面授業の対象科目とした。さらに通学した学生が遠隔授業を大学内で受講できるような教室を配置したことにより学生の精神的な不安や不満を回避できるよう努めた。また、今後感染拡大や感染終息等を想定し、対面授業の制限や再開に対応できる時間割配置とした。	⑤差はない		①②③④⑤⑦	
424	情報セキュリティ大学院大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生から(対面に限らず)交流機会の充実を望む声が多く上がった。また、感染防止対策を施したうえで対面授業の実施方法について令和2年度中にいくつかのシミュレーションを行い、経験を積むことができた。	①ほぼ対面	授業科目ごとの性質を踏まえ、感染防止対策を施したうえで、より教育効果が高いと判断される開講形態を決定。	⑤差はない		①②③⑥⑦	
425	麻布大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	面接触授業を行った際の学修成果が、当初想定していたより高いことが分かってきたため。	③半々	学生同士のつながりや人間形成を育むことも重要であることを念頭に教室の収容定員と感染防止策の観点から、学生を2つのグループに分けた。交互に面接触授業と遠隔授業を行うため、グループ毎に隔週で登校することとした。	②学年ごとに差	国家試験受験を控えている学科の一部学年においては、感染防止策を講じながら、面接触が中心となることから、面接触授業の実施割合が高くなっている。	①②④⑤⑥⑦	
426	神奈川歯科大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	特に初年次の交流がないことによって医療系学生としての認識が生まれていないような感じがある	③半々	学生個々の通学のリスクに差異がある。学生主体的に選択させた。	②学年ごとに差	通常講義は選択制で遠隔授業も可能ですが、実習は登校して差異が生まれている。	①②⑥	
427	鎌倉女子大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	令和2年度より、対面での学修や交流の機会の重要性を認識したよでの回答である。	⑦割対面	面接触を基本に、十分なソーシャルディスタンスが確保できる教室を利用して充分に判断している。	②学年ごとに差	大学生活に慣れていない1年生や新入生の授業科目を面接触として行っている。	②④⑤⑥⑦	
428	湘南工科大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	授業評価アンケートの結果から、本学が最も重視する協働的学修の成果が十分であることが分かった。						
429	湘南医療大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
430	洗足学園音楽大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし		②7割対面	新型コロナウイルス感染症の影響は未だ収まることがなく長期的な対応が必要とされることが予測されるため。	⑤差はない		①②⑦	
431	聖マリアンナ医科大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	本学は単科の医科大学のため、学生同士の縦の繋がりが横のつながりを密な校風であったが、オンラインではそのような関係性を育むことが難しくなった。	③半々	実習科目については、オンラインでの運用に限界があるため、原則面接触形式で実施をするよう判断している。	④その他	単科大学のため。	②⑥	
432	神奈川工科大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	遠隔授業のメリットとして、くり返し視聴による内容理解度が深まったという利点をあげられる一方で、実験・実習科目については実際に機械・機材の使用が必須のため、遠隔での実施には限界があり、教員、学生の双方から対面授業実施の声が多く寄せられたため、2021年度は各学科とも対面授業の科目数を増やすこととした。	③半々	特に重視する実験・実習・演習科目等を面接触(対面式)授業として実施する方針による。	③学部・学年ごとに差	学部、学年により実験・実習・演習の配当にバラつきがあるため。	①②④⑤⑥	
433	昭和音楽大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	①全面対面	④その他	令和2年度も6月中旬よりほぼ全ての科目を面接触授業(レッスンも含む)で行っており、令和3年度についても、全ての科目を面接触で行う予定である。						
434	東洋英和女学院大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生、教員ともに面接触を求める声が多くなったから。	①ほぼ対面	過去3年の履修者数をベースにして、対面が可能な授業を選択した結果である。	⑤差はない		①②③④	
435	松蔭大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	友人作りの重要性を考慮し、対面授業の機会を増やした。	③半々	2-9参照	①学部ごとに差	看護学部においては実習が多いためすべて面接触としている	⑤⑧	履修者が教室の収容定員の50%を超えない授業は原則すべて面接触とする。50%を超える授業は面接触と遠隔授業の2グループに分け、週毎に入れ替えて授業を実施。ただし、健康に不安があるなどして遠隔授業を希望する学生にはそれを認める。
436	田園調布学園大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	令和2年度後期より、対面授業を中心に進めてきたため	①ほぼ対面	オンライン授業は対面授業と同様の教育効果が期待できる科目に限定した。	①学部ごとに差		②④	
437	横浜美術大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		②7割対面	専門科目をはじめとした実技及び演習、教育実習等資格課程に伴う科目は基本的に面接触とする。	⑤差はない		①②⑥	
438	日本映画大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
439	横浜創英大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	令和2年度後期から原則対面授業としていた。令和3年度の授業においても原則対面授業としている。						
440	湘南鎌倉医療大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	令和2年度については、緊急事態宣言期間中は大半の授業を遠隔で実施したが、それ以外については看護の諸技術や人とのコミュニケーションの大切さを学ぶ授業が中心となるため、状況が許す限り対面授業を行った。令和3年度についても基本的な大学としてのスタンスは変えず、調査回答の時点において、ソーシャルディスタンスの徹底、手洗い・消毒の励行等の感染予防対策を徹底した上で、すべての授業を対面で行っている。						
441	和泉短期大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	④その他	本学では当初から面接触を重視しており、基本的な考え方に変化はない	③半々	教室のキャパシティを鑑みて、学生の半数を分散して登校、半数を自宅でのリモート学習とすることを決めた。	⑤差はない		②④⑤⑥	
442	横浜女子短期大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし		③半々		⑤差はない		④⑤⑦	
443	小田原短期大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		②7割対面		⑤差はない		②	
444	洗足こども短期大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
445	東海大学医療技術短期大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	本学は看護学科の単科であり、また学生数も少ないため、演習・実習の必要性から後期より対面を主として実施していたため、大きな変化はない。						
446	湘北短期大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	学修・学籍の状況、学生からの意見を踏まえ、より面接触を多く実施とすることとした。	①ほぼ対面	教室収容の制約、時間割の流れ等を踏まえて授業方法(面接触、オンライン、オンデマンド)を判断した。	③学部・学年ごとに差	【前期授業について】 総合ビジネス・情報科学1年(木曜日のみオンライン授業)、生活プロデュース学科1年(木曜日のみオンライン授業)、総合ビジネス・情報科学2年、生活プロデュース学科2年、保育学科1年及び2年:面接触(原則) ※後期については新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、8月に授業実施方法を決定予定。	②	



No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
447	横浜薬科大学	14. 神奈川県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	文部科学省の方針を考慮	①ほぼ対面	感染状況に合わせて可能な限り面接授業を実施	⑤差はない		①②⑥	
448	新潟大学	15. 新潟県	01. 国立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度は非対面型授業の利点や効果を認識したが、一方で非対面型が続くことを不安に思う声が聞こえてきたことや本学に限らず社会的孤立の問題が表面化したため①とした。	③半々	「対面型」で教育効果を高められる授業は、十分な感染対策の上、積極的に実施すべきである。それは教育機関の義務であり、また学生の社会的孤立を防ぐことや、本学学生としての自覚を高めることにもつながるとの考え方による。	①学部ごとに差	学部によって「対面型授業」を基本とする「実験・実習」「演習」等の授業形態の比率が異なり、講義形式の授業が多い学部では遠隔授業の実施比率が高くなっている。	①②③④⑤⑥⑦	
449	長岡技術科学大学	15. 新潟県	01. 国立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	令和3年度授業の実施に関する基本方針を、下記のとおりとしている。1. 演習、実験、実習等の学生の実技を要求する授業は対面を基本とする。2. 講義は対面を基本とし、多様な受講機会の提供のためオンラインと併用とする。3. 研究指導は、対面を基本とし、必要に応じて遠隔にて対応する。ゼミ等については、講義の方針に準じて行う。	⑤差はない		①②④⑤⑥	
450	上越教育大学	15. 新潟県	01. 国立大学	①全面対面	②大きな変化なし	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に関わる政府方針や文部科学省通知等を踏まえ、令和3年度の授業方針については、令和2年度後期の授業方針に沿うものとした。						
451	新潟県立看護大学	15. 新潟県	02. 公立大学	②併用	②大きな変化なし	感染状況が好転しないため遠隔授業を実施する。	①ほぼ対面	学内教員及び県内の外部講師の授業は対面授業とし、県外の外部講師の授業は遠隔授業とする。	⑤差はない		②④⑤	
452	新潟県立大学	15. 新潟県	02. 公立大学	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	大規模授業はオンライン授業の活用を原則とし、小規模・中規模授業に関しては感染防止策を徹底した上で対面授業を中心に実施する。	①学部ごとに差	一部の学部で週1回のオンライン授業日がある。	③	
453	長岡造形大学	15. 新潟県	02. 公立大学	②併用	①対面授業を拡大		②7割対面	安全確保のため、各授業の特性や内容、令和2年度の履修者数及び各教室の収容定員を考慮した上で、より効果的な授業運営方法を全ての科目で検討し判断した。	⑤差はない		②③④⑤⑦	
454	三条市立大学	15. 新潟県	02. 公立大学	①全面対面	④その他							
455	長岡大学	15. 新潟県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	令和2年度後期からコロナ禍対策を施した上で、原則全ての授業を面接授業としており、令和3年度前期もこの基本的な考え方は同じとする。						
456	新潟医療福祉大学	15. 新潟県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生アンケート等から教育の質保証を十分に考慮した上で決定を行った。	②7割対面	教育の質保証を十分に考慮した上で学科の特性に合わせて決定をした結果である。	①学部ごとに差	実習や演習が多い学年や学科とそうではない学科での違いが見られるため。	②③④	
457	新潟青陵大学	15. 新潟県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		③半々		⑤差はない		②⑤⑥	
458	新潟工科大学	15. 新潟県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生同士の結びつきの確保や教育効果の観点から、感染症対策を講じながら対面授業を基本としていくこととした。	①ほぼ対面	講義室の座席は、間隔を空けて着席することから、講義室の収容人数に対して履修者数が上回る科目は、遠隔授業で対応することとするが、原則は対面授業を実施する。	②学年ごとに差	1年生の必修科目、2年生の一部の専門科目で履修者数が多くなり、講義室の収容人数を超えることが予想されるため、対面授業に代わり遠隔授業での実施科目が多くなる。	②③④⑤⑥⑦	
459	新潟経営大学	15. 新潟県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	コロナ禍の状況が1年以上となり、大学におけるコロナ対策の徹底や大学の施設において利用制限をした状態でも対面授業が行える環境が整ったから。対面授業の方が遠隔授業より教育的効果が高いことと、遠隔授業評価アンケートを実施し、対面を希望する学生が多いことを確認したため。						
460	新潟国際情報大学	15. 新潟県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
461	敬和学園大学	15. 新潟県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面		②学年ごとに差		①③⑥	
462	新潟薬科大学	15. 新潟県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	面接授業を主とすることを前提とした。また、2つのキャンパスの講義室を最大限活用しつうえて、滞在する学生数が通常の50%以下となるように遠隔授業を設定した。	④その他		②④⑤	
463	国際大学	15. 新潟県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	基本は面接授業、遠隔は未渡日留学生のため及び感染症対策考慮	⑤差はない		①⑥	
464	新潟産業大学	15. 新潟県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
465	事業創造大学院大学	15. 新潟県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	当初は対面で実施したいと考えたが、本県において感染者が急拡大していることや校舎のキャパシティに限られるため。	④3割対面	本学としては半々を予定しているが、社会人学生が多く学ぶことから危機管理を重視する本人や所属企業の意向が強く働き、実施として3割程度の学生が対面で参加するものと見込んでいる。	⑤差はない		①③④⑤	
466	新潟リハビリテーション大学	15. 新潟県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	2021年度前期開講科目の割合をもとに回答した。2021年度についてはオンデマンドで実施する科目においても1回は対面授業を設ける方針で運営する予定である。	②学年ごとに差	1・2・3年生はほぼ差異がないが、理学療法専攻・作業療法専攻の4年生のみ学外実習が主となっているため面接授業の比率が高くなっている。	②③⑤⑥	
467	新潟食料農業大学	15. 新潟県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
468	開志専門職大学	15. 新潟県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	授業等における感染症対策について効果がみられた上にさらに追加で感染症対策を行うことで安全が確保されているとの認識である。						
469	長岡崇徳大学	15. 新潟県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	令和2年度後半より対面授業を実施						
470	新潟工業短期大学	15. 新潟県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
471	新潟中央短期大学	15. 新潟県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	卒業後、多くの学生は保育者として子ども達の育ちや学びに大きく関わる。保育者としての知識や技術はやはり対面でなければしっかりと身につけたいと実感した。						
472	日本歯科大学新潟短期大学	15. 新潟県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	講義における学生の理解度の確認や質疑応答には面接授業の方が効果的である。また、技術の取得には遠隔授業では限界があると考えているため。	②7割対面	技術の取得が主目的となる実習や、コミュニケーションを学ぶための演習については面接授業や、講義については遠隔授業を予定している。	③学部・学年ごとに差	第2年度後期・第3年度前期では病院実習が主体となり、第3年度後期は国家試験対策も面接授業で実施するため、第1学年に比べると面接授業の割合が大きくなる。	②③④⑥	
473	短朋短期大学	15. 新潟県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	地域の感染状況や本学の学生数等から、感染対策を講じた上で面接授業を行えるかと判断しているため。						
474	長岡工業高等専門学校	15. 新潟県	04. 高等専門学校	①全面対面	②大きな変化なし							
475	富山大学	16. 富山県	01. 国立大学	①全面対面	②大きな変化なし	本学は、令和2年度後期授業を原則対面とする方針で実施したが、令和3年度においてもこれと同様であるため。						
476	富山県立大学	16. 富山県	02. 公立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
477	高岡法科大学	16. 富山県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	対面・遠隔授業を併用していたため、時間割上、学生の空き時間が増えた。また、遠隔授業は、オンデマンドの授業が多かった。また、学生が遠隔授業に慣弊してきたため、あわせて、令和2年度における感染予防対策の経験から、対面授業を拡大することとした。						
478	富山国際大学	16. 富山県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	感染拡大していない地域の状況を確認した判断						

No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
479	桐朋学園大学院大学	16. 富山県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面		⑤差はない		①②⑥	
480	富山短期大学	16. 富山県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	県内の感染状況によっては、遠隔授業も実施するが、基本は面接授業を行う。						
481	富山福祉短期大学	16. 富山県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
482	富山高専専門学校	16. 富山県	04. 高等専門学校	①全面対面	①対面授業を拡大							
483	金沢大学	17. 石川県	01. 国立大学	②併用	②大きな変化なし	本学は令和2年度後期（第3、第4クォーター）において、感染症対策を徹底したうえで「原則対面」の方針で授業を行ってきた。一方、感染が拡大した令和3年1月においては1月4日～14日は「原則遠隔」で授業を行うなど、県内の感染者数等の状況に応じて、柔軟に対面と遠隔を使い分ける準備を整えた。上記の状況から、石川県内の感染状況が比較的落ち着いている現在においては、ほとんどの授業を対面で行う意図である。	①ほぼ対面	①学部ごとに差	全学的には「原則対面」という方針ではあるが、人文系類、学校教育学類及び医薬保健系学類の対面率が、高い半面、受講者の関係から3回単位が困難な法学系や経済学類は低い傾向にあり、専門分野による差異があった。一方で、年次においての差異は最終年次を除き見られなかった。	①②④⑤⑥⑦		
484	北陸先端科学技術大学院大学	17. 石川県	01. 国立大学	②併用	①対面授業を拡大	本学では、渡日できていない外国人留学生が多いことへの対応や、約6割の学生が大学構内にある寄宿舎に居住している状況から、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、令和2年度は、オンライン授業を4月から実施し、後期の授業を検討・決定した時期には、オンライン授業を継続しながら、一部の科目については、感染防止対策を講じた上で対面授業を開始することとした。同年12月からは、学生が主体的にオンライン授業か対面授業かを選べる方式（ハイフレックス）を導入し、また、令和2年度中に学生を対象に授業に関する満足度調査アンケートを実施し、この結果を踏まえて授業の形態等について検討の上、対面授業の機会をさらに確保できるよう工夫を講じていることとしている。	②7割対面	⑤差はない	特になし。	②④⑥		
485	公立小松大学	17. 石川県	02. 公立大学	①全面対面	②大きな変化なし	感染状況等に変化が無いため、令和2年度後期に引き続き対面授業を実施する						
486	石川県立大学	17. 石川県	02. 公立大学	②併用	①対面授業を拡大	本学ではフィールドワークを含む実験実習に重点を置いているため、基本的に実験実習は全て面接授業で実施する方針である。一方で、低学年では3学科の共通科目が多く、教室を分散させるを得ないため、令和2年度は面接授業を限定したが、宿み組の増設が増加したこともあり、感染防止対策を講じつつ、令和3年度は面接授業の割合を増やす方針となった。	②7割対面	②学年ごとに差	基本的には実験実習は全て面接授業で実施し、履修者が少ない科目も全て面接授業で実施する。低学年でもなるべく対面授業を多くする方針で時間割を組んだが、教室と食堂の収容限界があり、一部の科目は遠隔授業で行うこととした。	①②④⑤	大学院は履修者が限られているため全ての科目を面接授業で実施する。3年生は実験実習が多く、ほぼ毎日午後の実験実習は基本的に全て面接授業で行うことから、午前中の授業と組み合わせて面接授業を実施する。2年生は3年生が実験実習を行っている場合には、優先的に講義教室を使用して面接授業を行うように調整している。1年生は2年生と3年生が中程度以上の全ての講義教室を使用していない時間で面接授業を組み入れている。このような状況により、学年ごとに面接授業と遠隔授業の比率が異なることになる。	
487	金沢美術工芸大学	17. 石川県	02. 公立大学	②併用	①対面授業を拡大	芸術系大学で実技指導が重視されるため、令和2年度後期は対面授業を重視する方針としたが、県内の感染状況に鑑み、令和3年度は一層対面授業を重視する方針とした。	①ほぼ対面	⑤差はない	県内の感染状況がステージ1であること、令和2年度で学内の感染対策のノウハウがある程度蓄積されたことにより、講義と演習それぞれで適切な対策を講じて、十分に対面授業に対応できると判断したため。なお、県内の警戒レベルが変更となった場合は、遠隔授業の対応を増やす予定である。	②③⑤		
488	石川県立看護大学	17. 石川県	02. 公立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	サークル活動や対面授業の制面により、学生からの人的交流要望が強くあり、コロナ禍に対する対応も進んだことを動機とした。						
489	金沢星稜大学	17. 石川県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	感染拡大に注意をほらいつつ行事を行うのが普通となってきた。	②7割対面	①学部ごとに差	受講者数100人未満、100人以上を、対面とオンラインの区切りとしている。	経済学部は100人を超え、オンラインとする授業があるが、他学部はなし。	②③④⑦	
490	金沢工業大学	17. 石川県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	キャンパス内に居る学生数を、令和2年度後学期は全学生数の1/2としていたが、令和3年度前期は全学生数の2/3程度に増加して面接授業の機会を増加させる方針である。	②7割対面	②学年ごとに差	各クラス面接授業週と遠隔授業週を設け、全ての授業で面接対応する方針としたため。特に実験・実習科目については、全て面接授業とする方針である。	1年生（新生入生）は大学教育を円滑に受講するため、4年生と大学院生は卒業研究をすることと、就職活動を円滑に実施することを目的に面接授業時間を多く配分している。	②④⑥	
491	金沢医科大学	17. 石川県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	平均点は上昇傾向にあるものの二極化がみられることや、メンタルケアが必要になるケースがみられることか。	①ほぼ対面	②学年ごとに差	医療系大学として実習を重視するため、また、この機会が感染対策を学ぶ好機であるため。	座学中心の学年では、学生への対応として異なる状況が生じうることも考えられる。	①②④⑤⑦	
492	北陸大学	17. 石川県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	令和2年度から「面接授業」を可能な限り実施しており、基本的な考え方に大きな変化はない。						
493	金沢学院大学	17. 石川県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	新型コロナウイルス変異株が拡大傾向にあるため	③半々	③学部・学年ごとに差	新型コロナウイルス変異株が拡大傾向にあるため	実習授業が多い学科は対面授業形式比率を多くしている。	②④⑥⑦	
494	金沢学院短期大学	17. 石川県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	新型コロナウイルス変異株が拡大傾向にあるため	③半々	②学年ごとに差	新型コロナウイルス変異株が拡大傾向にあるため	実習授業が多い学科は対面授業形式比率を多くしている。	②④⑥⑦	
495	金城大学	17. 石川県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
496	北陸学院大学	17. 石川県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし		③半々	⑤差はない			②④	
497	かなざわマネジメント専門職大学	17. 石川県	03. 私立大学	②併用	④その他	2021年4月新設になるため前年度実績がない。	①ほぼ対面	⑤差はない	遠方からの大きな移動を伴う兼任教員の授業に關してのみ、移動中の感染リスクを考慮し、ハイブリッド授業としてコロナウイルス感染拡大の状況を考慮した授業を計画している。		⑧	面接授業を基本とするが、遠方から大きな移動を伴う兼任教員の授業に關してのみ、移動中の感染リスクを考慮し、ハイブリッド授業としてコロナウイルス感染拡大の状況を考慮した授業を計画している。
498	石川工業高等専門学校	17. 石川県	04. 高等専門学校	①全面対面	②大きな変化なし	石川県下では、感染状況は落ち着いて推移しているため、対面授業の実施を継続する。						
499	国際高等専門学校	17. 石川県	04. 高等専門学校	②併用	①対面授業を拡大	学生・保護者・関係者への感染防止への意識付け、並びに寮に入る（戻る）学生は入室（帰寮）時に検温表（責任は学校負担）を受け取ることを徹底し、範囲を広くとる、飛沫感染防止シートを設置する等の感染防止対策を行っていること、これまでに学生及び教職員に罹つて一人も出ていない状況から、周辺の感染状況に注意しつつ、令和3年度前期はほとんどの授業を面接授業とする予定です。	①ほぼ対面	②学年ごとに差	遠隔授業に関する学生へのアンケート調査結果からの不満内容の改善、および学生に創造性、実践力、リーダーシップ、コラボレーション力等を身に付けさせるにはグループ活動によるPBL、実験実習、卒業研究が効果的であるとの考えにより、面接授業の比率を上げることになりました。	1・2年生は全寮制教育を行っており全ての授業を面接授業とする。3・4年生はニューズランド留学ができない状況にあり、オタゴ・ポリテクニック校からの遠隔授業（3年生は授業時間の約5割、4年生は全授業時間の約3割）を組み込み、それ以外は面接授業とする。5年生は進学・就職活動、卒業研究での指導・支援の面からも登校することが効果的であることから、ほとんどの科目を面接授業とする予定です。	①②④⑤⑥⑦	
500	福井大学	18. 福井県	01. 国立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和3年度の授業は、学生が安心し、納得する形で学生生活を送ることができるよう、十分な感染対策を講じた上で、原則、面接授業を実施することとした。他方、「面接」を回避できない科目の特性上感染リスクの高い科目、遠隔授業による教育効果の高い科目、学生への便宜が必要な科目などは遠隔授業（面接授業との併用可）で実施することとしている。	②7割対面	①学部ごとに差	教育学部では、1学年全員で受講する必修科目が少ないことから、各授業の平均受講者数が少なくなり、比較的面接授業が実施しやすい状況となっている。工学部においては、講義室のコロナ対策収容定員数の関係から、大人数（80名以上）の履修が見込まれる授業をオンデマンド実施の方針としたため、1学年あたり多くの定員数が多い科目（機械・システム、電気電子情報、物質・生命）、必修科目が多い低学年において、遠隔授業の比率が高くなっている。	①②③④⑤⑥⑦		

No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
501	福井県立大学	18. 福井県	02. 公立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
502	敦賀市立看護大学	18. 福井県	02. 公立大学	①全面対面	②大きな変化なし	本学は、新型コロナウイルス感染症拡大の動向に留意し、流行状況に応じて学内会議で方針を検討し対応してきたこと、感染症対策を講じた上で面接授業を再開しクラスター等の発生はなかったことから、基本的な考えに変化はない。医療系大学であり、新型コロナウイルス感染症について学習の機会として教育的な視点から取り組み、責任ある行動がとれるように指導している。						
503	福井工業大学	18. 福井県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	新型コロナウイルスの状況に大きな変化がみられないため、大学の方針としては、感染拡大防止を徹底した上で授業運営を行います。ただし、授業形態に関しては、令和2年度以上の対面授業を実施します。	①ほぼ対面	令和3年度の授業方針として、教養科目は原則遠隔授業、専門科目は原則対面授業であることから判断した。	⑤差はない		①②③④⑤⑥	
504	仁愛大学	18. 福井県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面		④その他		①②③④⑥	
505	福井医療大学	18. 福井県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
506	仁愛女子短期大学	18. 福井県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	令和2年度後期授業実施における感染防止対策を継続するため。（講義系（及びPの演習室）の収容定員を通常の1/2以下、学生と教員の距離を2m以上確保）	①ほぼ対面	開講科目数における面接授業数と遠隔授業科目数の割合で判断 前期：1回生 84% ・ 2回生 76% 平均80%	③学部・学年ごとに差	情報系の専攻は、学習内容やキャリア支援において遠隔実施が効果的であると判断される科目が多いため、遠隔実施の比率が高くなっている。保育士養成課程は、実習や演習など、対面による授業実施が必要であるため、面接授業実施の比率が高い。いづれも、感染防止基準（教室定員の1/2）、授業担当者の判断及び登学頻度を考慮して実施形態を検討している。	②④⑤⑦	
507	福井工業高等専門学校	18. 福井県	04. 高等専門学校	①全面対面	②大きな変化なし	本校が位置する福井県では、令和2年度8月以降、新型コロナウイルスの感染が感染拡大地域ほど広がっていないため。						
508	山梨大学	19. 山梨県	01. 国立大学	②併用	①対面授業を拡大		③半々	令和2年度後期の方針と同じ対応であることから、後期の比率とほぼ同じと考えている	②学年ごとに差	1年生は履修者人数が多い授業が多く、遠隔授業の実施比率が高くなっている。また実習・実験のある学年は面接授業の比率が高くなる。	②	
509	都留文科大	19. 山梨県	02. 公立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生アンケートの中でも、孤独を感じる、精神が不安定になる等の回答がある。	①ほぼ対面	本学が定める感染状況を勘案した「活動方針」及び「授業実施方針」に基づき判断した。	⑤差はない		①②③④⑤⑥	
510	山梨県立大学	19. 山梨県	02. 公立大学	②併用	①対面授業を拡大		②7割対面	問2-8のとおり	①学部ごとに差	実技科目等の割合（看護、福祉）やキャンパス間ごとの収容定員の差異	②③④⑤	
511	大月短期大学	19. 山梨県	02. 公立大学	②併用	①対面授業を拡大		②7割対面		⑤差はない		④⑤	
512	山梨学院大学	19. 山梨県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	充分な感染症対策を実施することを前提に、学生同士や学生と教職員の間の直接対面による交流の機会を作り、学生の多様な学修の機会を確保することの意義を強く感じたため。	②7割対面	充分な感染症対策を実施することを前提に、学生同士や学生と教職員の間の直接対面による交流の機会を作り、学生の多様な学修の機会を確保するため、2021年度は原則対面授業を行うこととした。ただし、状況に応じてオンライン授業も併用できるように準備を進めることも併せて周知した。	①学部ごとに差	経営学部と国際バレルアーツ学部においては、日本への入国が現時点ではできていない留学生が多く在籍しているため、遠隔授業の実施比率を高めている。	①②③④⑤⑥⑦	
513	身延山大学	19. 山梨県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
514	山梨英和大学	19. 山梨県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	面接授業割合を増加させる予定ではあるが、令和3年度当初の方針には反映していない。	③半々	・ゼミ科目・実験・実技・実習科目は原則面接授業とする。講義・演習科目は原則遠隔授業とする。20名以下以下の科目は対面授業実施を認める。教室の条件により人数が上回る科目でも柔軟に調整する。	④その他	なし	①②③④⑥⑦	なし
515	健康科学大学	19. 山梨県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	①近隣地域での感染の状況、②遠隔授業の質の担保、③学生の対面での交流機会の確保の重要性を鑑み授業方針の検討・決定をしており、基本的な考え方に大きな変更はない。	③半々	2020年度後期は約3割の授業を面接授業としていたが、①大学近隣地域での感染の状況、②遠隔授業の質の担保、③学生の対面での交流機会の確保の重要性を鑑み、2021年度は約6割の面接授業を実施していく判断をした。	③学部・学年ごとに差	学生の安全を第一に考えすべての科目を面接授業に切り替える判断には至っていないため、面接授業で実施する科目については必修科目や、面接授業での教育効果が高い科目から優先的に面接授業に切り替えている。そのため、学部・学年ごと面接授業と遠隔授業の実施比率には多少の差異が生じている。	②④⑤	
516	山梨学院短期大学	19. 山梨県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
517	帝京学園短期大学	19. 山梨県	03. 私立大学	①全面対面	④その他	令和2年度後期の授業は、全て対面授業を行っている。						
518	信州大学	20. 長野県	01. 国立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	令和2年11月16日開催の信州大学新型コロナウイルス感染症対策本部において、新型コロナウイルス感染症に係る令和3年度のカリキュラム編成等のガイドラインを定め学内に周知した。ガイドラインでは「令和3年度のカリキュラム編成等に当たっては、大学における教育は直接の対面による学生同士や学生と教職員の間の人的な交流等も重要な要素であることに留意し、キャンパス内での学生の学修機会が確保できるよう配慮する必要がある。」ことを掲げ、原則対面で実施することとしている。						
519	公立諏訪東京理科大学	20. 長野県	02. 公立大学	②併用	①対面授業を拡大	遠隔授業という新しい授業形態については、大学として「教育効果が高く有効である」と判断する場面においては積極的に取り入れていくべきと考えているが、その判断にはまだ時間がかかると考えている。しかし、対面での交流機会が失われたことの影響はあると考え、令和3年度は大幅に面接授業の実施割合を増加させる予定。	①ほぼ対面	基本的に全ての授業を対面で実施することを目標とし、しかしながら、教室のキャパシティ等の関係によりどうしても面接授業の実施が難しい授業を実施とし、この考え方による結果として、8割が面接授業となった。	②学年ごとに差	1学年の対面機会を最優先とするため、1学年の面接授業実施割合が高い。また、4学年で実施する卒業研究に関しては、「どんな状況であっても研究を継続すること」を大学の重要な使命の一つであり、大学での学修の集大成であると考えられていることから、とれら研究活動についても対面での実施を最優先としているため、4学年の実施比率が高い。	①②③④⑤⑥	
520	長野県立大学	20. 長野県	02. 公立大学	②併用	②大きな変化なし	教育の質担保に努めながら、対面授業数を確保し、オンライン授業を進める対応とした。	③半々	教育の質担保に努めながら、対面授業数を確保し、オンライン授業を進める対応とした。	①学部ごとに差	実験・実習が行われる学科等において、対面授業の実施比率が高くなった。	②④⑦	
521	長野県看護大学	20. 長野県	02. 公立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	感染者が多い地域在住の教員の場合は、遠隔での対応を予定	⑤差はない		①②④	
522	長野大学	20. 長野県	02. 公立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	原則感染予防を講じたうえで対面授業が適切であると判断される科目は、可能な限り「対面授業」を実施する。教室の割り振りが困難となる一部の大人教員科目は「オンライン授業」で実施する。	⑤差はない		②④⑤⑦	
523	松本歯科大学	20. 長野県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	学内に感染者が無く、2020年度同様の授業を実施しても問題無いと考える。						
524	松本大学	20. 長野県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	令和2年度後期も面接授業を原則としつつ、同時配信を行うなど工夫して実施してきているため。	①ほぼ対面	対面による授業が大切考え、原則として面接授業との方針を示したため。	⑤差はない		①②	
525	清泉学院大学	20. 長野県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	学生アンケート回答から、対面授業の必要性を感じた。						
526	佐久大学	20. 長野県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	1年間を通じての学生、教職員からの意見等を踏まえての認識の変化						

No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
527	長野保健医療大学	20.長野県	03.私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
528	松本看護大学	20.長野県	03.私立大学	①全面対面	④その他	令和3年度開学となります。						
529	上田女子短期大学	20.長野県	03.私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	学生への教育効果等を考えとできるだけ面接授業が良いと考えている						
530	飯田女子短期大学	20.長野県	03.私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	・令和2年度の感染状況から考えて、現行の方法が妥当 ・カリキュラム上対面で行わざるをえない授業が多い						
531	長野女子短期大学	20.長野県	03.私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	理由：学生と個人面談をして意見を聞き、学生の学修の在り方について再検討した結果、感染拡大予防策を講じながら、できるだけ面接授業を行うことが、本学の専攻の性質上重要であるという認識となったため。 具体的な状況：令和2年度後期は、講義科目は面接授業を、2教室同時中継で行い、実験実習は、少人数にするなど、十分な感染対策の上で面接授業を行った。令和3年度も、この考え方で行うことになった。（感染拡大状況をみながら）						
532	松本短期大学	20.長野県	03.私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
533	清泉学院短期大学	20.長野県	03.私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	学生アンケートの回答から、対面授業の必要性を感じた。						
534	信州豊南短期大学	20.長野県	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	東京からの非常勤講師4名分の授業科目のみを遠隔で行う。全体の授業科目数で割ると対面授業が約9割になる。	①学部ごとに差	幼児教育学科は前期は100%対面授業。東京（感染拡大地域含む）からの非常勤講師はいない。	②⑤	
535	長野工業高等専門学校	20.長野県	04.高等専門学校	①全面対面	②大きな変化なし	特になし						
536	岐阜大学	21.岐阜県	01.国立大学	②併用	②大きな変化なし	大学の活動方針である「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）における岐阜大学の活動方針」における教育活動に関する活動状況は、令和2年6月4日以降レベル2（感染防止措置の上、講義・演習の実施（教室定員の60%程度未満とする）/実験・実習の実施（10名を使った遠隔授業主体の講義）であり、令和3年4月以降もそれを下げる見込みがないため、令和2年度前期の授業実施方針は令和2年度後学期とほぼ同様と判断した。 令和2年度後期から、各学年2教室に分散させ、主教室（教員が対面で講義）と別教室とを映像・音声を取りつりモット講義を実施しており、令和3年度前期においても同様に実施する。	①ほぼ対面	令和2年度後学期の授業実施状況は全て遠隔が2割、面接と遠隔の併用が3割、全て面接が5割であり、同様の状況を令和3年度前期も継続するため、面接授業が9割（面接と遠隔の併用及び全て面接の合算）程度であると想定している。	③学部・学年ごとに差	例えば医学部看護学科においては、教育課程において実習等が重視されていることもあり、他の学部等と比較して面接授業の実施割合が高い傾向にある。また、主として1年生が受講する全学共通教育科目は英語や体育などの科目もあり面接形式で行う授業が多く、1年生は他の学年と比較して面接授業の実施割合が高い傾向にある。	②⑤⑥	
537	岐阜薬科大学	21.岐阜県	02.公立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
538	岐阜県立看護大学	21.岐阜県	02.公立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	原則、面接授業としているが、感染症リスクの高い学生や感染リスクを懸念する学生等に向けて、遠隔授業を実施する。また、実習や実験、演習を行う科目については、感染対策を講じて面接授業のみで実施する予定であるため。	②学年ごとに差	前期の3年次の授業科目は実習科目のみであり、感染対策を講じて面接授業のみで実施するため、他学年と比べて面接授業の実施比率が高くなっている。	①②⑥	
539	情報科学芸術大学院大学	21.岐阜県	02.公立大学	②併用	①対面授業を拡大		③半々			⑤差はない		①②④⑤⑥⑦
540	岐阜市立女子短期大学	21.岐阜県	02.公立大学	②併用	②大きな変化なし	現下の感染状況に加えて、各講義室の収容人数や通学バスでの混雑回避を考慮すると、引き続きの対応が求められると判断した。	③半々	実習・演習など面接授業での実施が必要となる科目を面接授業で実施することとした。その上で授業時間割において、学生にできるだけ不便が生じないように配慮して決定した。	①学部ごとに差	実習・演習の科目が多い学科について、対面授業の割合が高くなっている。	②	
541	大垣女子短期大学	21.岐阜県	03.私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	大学で専門知識や技術などを修得するには、教員が学生の理解度などを把握できることや、卒業後には社会へ出るために、学生同士が交流する機会が必要であることを、あらためて認識できたため。						
542	中京学院大学	21.岐阜県	03.私立大学	②併用	②大きな変化なし		③半々	令和3年度前期の時間割上の授業実施形態を判断	③学部・学年ごとに差	ゼミ、情報科目、語学については対面授業としており、その科目の開講が多い学年が対面授業の実施が多い	②④	
543	岐阜協立大学	21.岐阜県	03.私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	学生向けのアンケートや面談から、対面授業が良いという声が寄せられている。						
544	岐阜女子大学	21.岐阜県	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	大学に入学したという意識（喜びを含む）の低下と学修意欲の維持が難しいという意見	①ほぼ対面	基本的には面接授業を目指すのが、担当教員の移動抑制や学生の健康状況対応により止むを得ないケースを想定	②学年ごとに差	施設設での実習等の前2週間程度を行動自粛としているため、学年・学科により高低差が発生する。	①②⑤⑥	
545	朝日大学	21.岐阜県	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	遠隔授業の弊害（学生とのコミュニケーション不足、学生の状況を把握しにくいこと、学生の精神的な負担等）を懸念するため	③半々	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本学の授業運営方針に基づき判断した。学年及び講義科目の種別（講義、演習、実習、実験、実技、実験等）等を考慮のうえで、面接授業と遠隔授業を行う予定。	③学部・学年ごとに差	講義科目に実験、実習及び実技等を要する学部及び学年は面接授業の比率が高くなる。	②④⑤⑥	
546	岐阜聖徳学園大学	21.岐阜県	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	本学は令和2年度後期から対面授業を中心とする方針に切り替えたが、授業アンケートでも1年生が「大学に入学して初めて教育者からしいことができたし、大学に通っている意義を見い出した。」などの回答があり、対面授業と遠隔授業を併用しながら学生の学修機会を確保することが重要と考えている。一部で通学への感染不安などを訴える学生があり、遠隔授業を希望する学生がいるのも事実である。	①ほぼ対面	本学では1月19日「令和3年度前期授業方針」を示した際、「令和3年度前期授業は対面授業を基本とし、学生の学修機会を確保する」としており、遠隔授業の併用も一部で行う場合があるが、原則として対面授業を行う方針を示している。	⑤差はない		①②⑤⑥	
547	東海学院大学	21.岐阜県	03.私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	感染拡大防止に注意を払い、面接授業ができると考えているため						
548	中部学院大学	21.岐阜県	03.私立大学	②併用	②大きな変化なし	大教室に限りがあり、十分な教室の確保が困難。また、食堂やスクールバスでも配慮が必要と考える。	③半々	キャンパス内の学生数をほぼ半数にすることとした。	⑤差はない		②	
549	岐阜聖徳学園大学	21.岐阜県	03.私立大学	②併用	②大きな変化なし	感染状況に大きな変化がないため、対応を継続する	②7割対面	2学年は面接と遠隔のハイブリットで授業を実施するため	②学年ごとに差	1年は大学生生活に慣れたため面接授業を実施、臨地実習を実施する学年は面接授業を実施	①②④⑤⑥	
550	岐阜保健大学	21.岐阜県	03.私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	学生から面接授業を望む声が出ている。						
551	正眼短期大学	21.岐阜県	03.私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	少人数教育と実証を重んじる本学にとって充分な感染対策を行つたうえで、対面授業を行う。						
552	中日本自動車短期大学	21.岐阜県	03.私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
553	高山自動車短期大学	21.岐阜県	03.私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	基本的な考えとして感染対策を講じつつ対面授業を実施する方針であるが、状況に応じて遠隔授業の実施も視野に入れていく。						
554	平成医療短期大学	21.岐阜県	03.私立大学	②併用	②大きな変化なし	令和2年度後期と同様に、1年生は週2日程度、2・3年生は週3～4日程度の面接授業を行う。	②7割対面	本学の新型コロナウイルス感染症に関する活動方針 授業：部分的な遠隔授業の実施。面接授業は教室収容定員の6割以下。	②学年ごとに差	1年生は非常勤講師の講義科目や教養科目は遠隔授業とし、演習科目を中心に週2日程度の面接授業とする。2・3年生は演習・実習科目が多いため、週3～4日程度の面接授業とする。	②⑤	
555	岐阜工業高等専門学校	21.岐阜県	04.高等専門学校	②併用	①対面授業を拡大	・学生のメンタル面での配慮が必要と感じた。・入試倍率の低下がみられた。	②7割対面	令和2年度の問題点を踏まえて面接授業の比率を密になり過ぎない範囲で増加させた。	②学年ごとに差	低学年（高専のため高校相当）では自分と周囲の高校生との差異を感じてしまつたため、面接授業比率を高く設定した。	②	



No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
556	静岡大学	22. 静岡県	01. 国立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度後学期の面接(対面)授業の実施方針では、1つの授業の学生数は各教室の収容定員の50%以内とし、これを満たさない場合は遠隔(在宅)授業を実施することとしていたが、令和3年度前期の実施方針では、1つの授業の学生数は各教室の収容定員の50%を原則とするが、部局長が特に必要と認めた授業については、各教室の状況に応じ、より緩和された学生数とすることができることとしている。また、令和2年度後学期は、面接(対面)授業実施の要件を満たす場合でも、部局長の判断で遠隔(在宅)授業を実施することができることとしていたが、令和3年度前期は、部局長には、面接(対面)授業実施の要件を満たしている場合には可能な限り面接(対面)授業を実施することを検討することや、来年度の1年生や2年生は優先的に面接(対面)授業の実施を検討することを依頼している。	③半々	令和3年度前期の授業の実施方針は以下のとおりとしている。【基本方針】令和2年度後学期と同様、面接(対面)授業と遠隔(在宅)授業を適宜併用する。【面接(対面)授業の実施方針】①1つの授業の学生数は各教室の収容定員の50%以内を原則とすること。ただし、各部局長が特に必要と認めた授業については、各教室の状況に応じ、より緩和された学生数とすることができること。②授業時のマスク着用を必須(運動時を除く。)とし、教室では各自間隔を空けて着席するなどにより、教員や学生間の距離の確保に努めること。【授業実施に当たっての留意事項】各科目の面接(対面)授業又は遠隔(在宅)授業の実施については、本年度後学期と同様、部局長の判断によるものとするが、各部局長においては、教育の質保証の観点から、面接(対面)授業実施の要件を満たしている場合には、可能な限り面接(対面)授業を実施することを検討するものとする。特に、来年度の1年生や2年生は、コロナ禍の影響により、大学に入学する機会が少なくなることが想定されるため、なるべく大学に入学する機会を確保する観点から、優先的に面接(対面)授業の実施を検討すること。各部局長には、面接(対面)授業を導入する授業科目を検討するうえ、令和3年4月6日を期日として面接(対面)授業を導入する授業科目等を報告するよう依頼しているため、面接(対面)授業と遠隔(在宅)授業比率は、上記期日以降に判明する見込みである	③学部・学年ごとに差	面接(対面)授業を導入する授業科目は、各部局長の判断に委ねられている。	②③④⑤⑦	
557	浜松医科大学	22. 静岡県	01. 国立大学	②併用	①対面授業を拡大	遠隔授業を展開していく中で、学生の事前事後の学修時間が増えるなどの良い面もあったが、遠隔授業にフィットできずに休学する学生もあり、対面での授業の必要性を感じた。	③半々	遠隔授業：面接授業=1394：1399 令和3年度前期の全授業のコマ数を確認した。実施内容が未定の科目は、遠隔授業とした。	②学年ごとに差	実習・実験・演習は、面接授業を行う予定であり、特に医学科5年次や看護学3～4年次は実習が多く配当されているため、ほかの年次とは面接授業と遠隔授業の実施比率が大きく異なる。なお、1年次については、大学生生活慣れるためにも、感染対策を講じて面接授業を意図的に増やしている。	②④⑥⑦	
558	静岡県立産林環境専門職大学	22. 静岡県	02. 公立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
559	静岡県立大学	22. 静岡県	02. 公立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生の要望、成績(令和2年度後期)の格差拡大	②7割対面	教室のキャパシティにより教室に入ることのできる人数を設定し、その一定の規律を設けた。それによって対面授業の比率がある程度算出できた。	③学部・学年ごとに差	各学部、人数と授業内容により異なる	①②③④⑤⑥	
560	静岡文化芸術大学	22. 静岡県	02. 公立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	対面での交流機会を設けることで、仲間づくりや周りと授業進度を体験できることや意見を交わして自分の考えを正していく本来の議論の在り方を体験できる。						
561	静岡社会健康医学大学院大学	22. 静岡県	02. 公立大学	①全面対面	④その他	本学は令和3年度新設大学のため						
562	光産業創成大学院大学	22. 静岡県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面		⑤差はない		①②③	
563	静岡福祉大学	22. 静岡県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
564	浜松学院大学	22. 静岡県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
565	静岡英和学院大学	22. 静岡県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	コロナの状況を見て、対面授業の割合を増やしていく	①ほぼ対面	少人数(40名以下)の科目については対面を実施する	③学部・学年ごとに差	1年生の必修科目は人数が多くなる為オンライン授業の割合が多い	②③④	
566	常葉大学	22. 静岡県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	感染状況が大きく変わらないため。	①ほぼ対面	本学の新型コロナウイルス感染症拡大防止のための行動指針に基づき、受講生人数が教室の収容定員の最大70%の広さを確保できる授業科目等の対面授業を行う上での判断基準に基づき決定している。	①学部ごとに差	学部・学科の特性や教室の収容定員の状況によって、対面授業を実施した。	①②⑦	
567	静岡理工科大学	22. 静岡県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	静岡県の感染状況が大きく変化することがないと予想されるため	①ほぼ対面	93名以上の履修者数が予想される科目を遠隔授業とし、それ以外を面接授業とした結果	⑤差はない		①②③④⑤	
568	聖隷クリストファー大学	22. 静岡県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生個々のICT環境による受信状況の差等、本学の努力で埋められない差もあり、対面授業の必要性を感じた。	①ほぼ対面	教室内での開窓を空けるための教室分散型授業を実施すること。感染拡大地域に居住する非常勤講師の授業。	①学部ごとに差	教室の収容人数により、1学年の人数の多い学部が教室分散型授業となるため。	⑥	
569	静岡産業大学	22. 静岡県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし		②7割対面	面接授業・遠隔授業の利点・難点、学生・教員に対するアンケート調査の結果、3密配慮下の教室の収容人数に基づく。	⑤差はない		②③④⑤⑦	
570	沼津工業高等専門学校	22. 静岡県	04. 高等専門学校	①全面対面	①対面授業を拡大	登校して学校で学修を始めとする活動を行うことが、学生同士や学生と教員のコミュニケーションの機会を得ることや生活リズムの維持にとって大切で、遠隔での学修だけでは得られない効果があると判断したため						
571	名古屋大学	23. 愛知県	01. 国立大学	②併用	①対面授業を拡大	本学では、令和2年度後期授業実施に向けた検討時から、学生へのアンケート結果や学生と総長の対話等を通じて2-2)を強く認識しており、既に令和2年度後期の授業実施方針に反映していた。令和3年度も引き続き対面授業を実施していく方針であり、その意味で基本的な考え方に大きな変化はない。	②7割対面	2021年度の授業実施においては対面を重視し、原則として対面授業での実施が適切な実験・実習・演習科目は、大学での実施を見込んでいる。大人数での講義科目などは、感染防止の観点で教室の収容人数を抑えて実施することから、すべての授業を対面を実施することは難しく、IGを使った遠隔授業を併用している。春学期開講科目のうち、講義科目以外の実験・実習・演習科目は全体の7割程度であり、これらを原則対面授業としていることから②を選択した。	①学部ごとに差	理系学部は文系学部に比べて実験・実習科目が多いため、対面授業の比率が高い。	①②③④⑤⑥⑦	非該当
572	名古屋工業大学	23. 愛知県	01. 国立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度後期から面接授業と遠隔授業の比率を概ね半々としているが、令和3年度は学生の生活リズムの安定化を考慮した。	③半々	令和2年12月23日付けの文部科学省からの通知に基づき、学生の意見を聴取し、感染対策を十分に講じた上で、面接授業の実施が適切と判断されるものについては面接授業の実施を検討した。その結果、可能な限り対面授業の機会を確保しつつ、講義室の収容定員を考慮して1つの授業で学生番号毎に奇数・偶数の2グループに分け、面接授業と遠隔授業を交互に行うライブリッド方式を採用した。これにより新型コロナウイルス感染症の状況の変化等を踏まえ、感染拡大防止を前提としつつも、学生の安全を最優先に確保しながら、大学として教育及び研究活動を安定的に実施するため。	①学部ごとに差	工学部第二部については夜間を中心とした学部であり、収容定員が少ない(1学年20名)ことから、原則として、すべて対面授業を行うため。	②③④⑤⑥	
573	愛知教育大学	23. 愛知県	01. 国立大学	②併用	②大きな変化なし		③半々	令和3年度から授業方法をシラバスに明記することにより、前期シラバスに記載された授業方法を集約した。なお、全授業科目のうち、1回でも遠隔での実施がある場合は遠隔授業とした。	②学年ごとに差	第1学年においては、共通科目など大人数で実施する講義形式の授業が多いため、遠隔授業の比率が高くなっている。また、第4学年においては、ゼミ科目、実習科目など少人数で実施する授業が多いため、面接授業の比率が高くなっている。	②④⑤	
574	豊橋技術科学大学	23. 愛知県	01. 国立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生および教員のアンケートの回答の結果、遠隔授業には繰り返し学修などの利点があるとともに教員と学生、学生間のコミュニケーションなどの面接授業の重要性についても認識されたため。	②7割対面	講義科目については5割程度、実験科目及び実習科目については10割の比率で面接授業を実施する予定であるため。	②学年ごとに差	学部4年生および大学院などにおいて卒業研究、修士・博士論文に關係する授業については専門分野により実験を行う必要があり面接授業の比率が大きくなることがある。	①②③④⑤	

No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
575	名古屋市立大学	23.愛知県	02.公立大学	②併用	①対面授業を拡大	面接授業と遠隔授業の併用は学生への負担も大きいですが、蜜を避ける工夫を引き続きする中で、履修者数にも考慮しながら面接授業を実施していく。	②7割対面	面接授業を基本とする考えを持ちつつ、教室の収容定員等を考慮しながら遠隔授業も取り入れて実施する。	③学部・学年ごとに差	医歯系学部の実習は面接授業を基本とする一方、文系学部のような多人数の講義は遠隔授業とすることも多い。また、各学部の特色や施設が様々なため差異が生じている。	①②③④⑤⑥⑦	
576	愛知県立芸術大学	23.愛知県	02.公立大学	②併用	①対面授業を拡大	実技系授業は、当然ながら対面での指導は必須であると認識した。	①ほぼ対面	実技系授業では対面での指導が、最も効果が高いと判断したため。	⑤差はない	授業効果の高い実技系授業は対面での実施を優先したため。	①②④⑤	
577	愛知県立大学	23.愛知県	02.公立大学	②併用	①対面授業を拡大		②7割対面		①学部ごとに差		①②③④⑤	
578	中京大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	②大きな変化なし	元々、対面授業を重視する方針であったため	②7割対面	対面を重視するが、大人数等の科目は感染防止の観点からオンライン授業とした。	②学年ごとに差	1年生は大学の学びに適應させるため対面を重視した。	②③④	
579	愛知工科大学	23.愛知県	03.私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	本学は学生数1000人以下の比較的小規模な大学であることもあり、令和2年度の前期においても6月からは対面授業を再開している。それ以降、令和2年度後期も感染対策を講じつつ対面授業を実施してきた。令和3年度も、状況の変化に注意しながらも、ほぼすべての科目において対面授業で対応する予定としている。						
580	名古屋産業大学	23.愛知県	03.私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
581	人間環境大学	23.愛知県	03.私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	令和2年度に遠隔授業を実施したが、多くの学生・保護者から対面授業を望む声が届いたため。また遠隔授業は大学がどれほど充実したコンテンツを配信しても、受信する学生側にインターネット環境や使用機器により、必ずしも平等（統一された）な教育環境が提供できないため。						
582	名古屋文理大学	23.愛知県	03.私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	愛知県での感染者数の減少傾向により、3月中旬に「厳重警戒宣言」も解除され感染状況は昨年の秋頃と同様に落ち着いている。従って、授業に關しては対面の授業を原則とし、対面であってもいつ何時遠隔授業に切替ったとしても対応できる状態を進めている。						
583	愛知みずほ大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面		②学年ごとに差	3年次より、演習・実習科目が大幅に増加するため。	①②③④⑤⑥⑦	
584	愛知学院大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生に実施したアンケートからも遠隔授業の効果や高い評価が出る一方で、面接授業について早期の再開を望む声も多数寄せられた。	①ほぼ対面	感染対策として時間割編成時より受講者数を教室定員の2/3を基準として面接授業を実施できるよう調整した。	①学部ごとに差	歯学部・薬学部においては、受講学生を収容できる施設の定員問題を鑑み、同一学年において同一授業を同時受講する必要があるため、面接と遠隔授業（ハイブリッド授業）とする必要が生じる。	①⑥	
585	愛知工業大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	②大きな変化なし	後期の時点で面接授業を中心に実施しているため	①ほぼ対面	面接授業を基本として、遠隔授業は教育効果を高める目的で補助的に行う方針のため	⑤差はない		②④⑤⑦	
586	金城学院大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生・父母等の意見を聞く傍ら、感染防止対策のノウハウが一定程度蓄積できたため①の方針とした。	①ほぼ対面	ソーシャルディスタンスを確保した座席とし、最大限の教室稼働率とした。	③学部・学年ごとに差	実験実習科目の多少が主な理由である。	①②④	
587	相山女子学園大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面		⑤差はない		①②④⑤	
588	大同大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	特に1年次生に対して対面授業を大幅に増加させた。	②7割対面	本学の理念である「実学主義」に基づく、対面による教育・研究指導や、教員・学生間及び学生間の対話・協働による授業の実施が望ましいが、新型コロナウイルスの感染状況を鑑みると、学生及び教職員の健康と安全確保等の観点から、感染防止対策のための遠隔授業の継続も重要と考えます。2021年度の前期授業については、対面授業と遠隔授業を併用する形式で実施します。ただし、新入生については、必修科目等を原則対面授業とすることで、他の学年よりも大学で過ごす時間を多く作りたことと考えています。以上を踏まえ、2021年度前期授業について次のように方針を定めました。(1)1年次に開講する必修科目及び専門科目・専門基礎科目においては、原則として対面授業とする。(2)実験・実習、設計・製図及び実技科目並びに研究に関する科目は、原則として対面授業とする。(3)それ以外の講義、演習等座席科目は、原則として遠隔授業とするが、必要に際し対面授業も併用する。	③学部・学年ごとに差	(1) 学部等に関して：2021年度授業実施の方針において、原則、実験実習等の科目は対面としているが、各学部の座席科目と実験実習等の科目の割合が異なるため。(2) 学年に関して：2021年度授業実施の方針において、1年次は他の学年次より対面授業の割合を高くすることとしているため。	②④⑤	
589	同朋大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生や教員へのアンケートの結果から、感染リスク軽減のみならず、選学時間削減や予習復習のしやすさなどの面で遠隔授業のよさを認識しながらも、対面での授業や交流の重要性を改めて認識した。	①ほぼ対面	原則として対面授業で、事情がある場合にのみ遠隔授業を実施する。	⑤差はない		①②④	
590	名古屋学院大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	遠隔授業等によるメリットも考えられるが、学生が大学に通学し、面接授業や諸活動に對面に参加するメリットの方が高く、重要と考えたため。なお、大学院については、原則面接授業を実施する方針である。	②7割対面	メインキャンパス（都市型キャンパス）内の密を最小限にとどめるため、遠隔授業を取り入れつつ、面接授業の展開を考えたため。なお、大学院については、小規模であり、基本的な感染対策を徹底し、面接授業を実施することとした。	①学部ごとに差	面接授業の実施比率が高い学部（スポーツ健康及びリハビリテーション）は、学部単位のキャンパス・校舎を使用するため、密を最小限にとどめることができること。また、実技・実習系科目が多いことから、その様な対応をとった。なお、大学院については、小規模であり、基本的な感染対策を徹底し、面接授業を実施することとした。	②⑥⑧	メインキャンパスに所属する6つの学部を3学部ずつに分割（2チーム制）し、1週ごとに交互に面接授業を行うこととした（遠隔授業しか行わない科目を0とする）。全ての授業で7回以上の面接授業を行うこととなる。
591	名古屋商科大学	23.愛知県	03.私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
592	名古屋女子大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	②大きな変化なし	令和2年度も感染対策をしたうえで対面授業を実施しているため	①ほぼ対面	席数の5割以上となる場合は、遠隔授業を取り入れて実施する。講義室を使用する授業は、履修者が席数の5割以下となるように設定している。実験・実習、実技の科目は2021年度前期科目1052科目中97科目であり、9.2%となるため。	⑤差はない	大きな差はない	①②⑤	
593	南山大学	23.愛知県	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	対面授業や対面での交流の重要性を再認識したことに加え、学生や保護者からの要望も少なくなかったため。	①ほぼ対面	密集を避けられない大規模講義（受講者100人以上）を除いて、原則として対面授業を実施する。	①学部ごとに差	本学の授業形態の方針に基づき、受講者100名以上はオンライン授業となるため、大規模講義が多い社会科学系の学部は、少人数のゼミ等以外はほとんどがこれに該当し、特に2年生で対面授業の比率が低くなっている。	①②③④⑤⑥	

No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
594	日本福祉大学	23. 愛知県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和3年度は、感染防止に最大限配慮した上で、全学部において面接授業を中心に実施することを基本方針とし、遠隔授業中心の令和2年度後期の方針から変更している。令和2年度は感染拡大の社会的状況を踏まえ、「ふくしの総合大学」を標榜する大学として、感染予防を徹底しつつ教育保障を確保した結果として遠隔授業を主としたが、同年度後期には、演習・実技・実験等一部科目の面接授業を実施するとともに、10月後半より1年生の面接授業を拡大した。これは知障・技術習得における必要性のみならず、1年生へのキャンパスライフの機会提供の必要性を重視したものである。このように「ふくしの総合大学」を標榜する本学としては、人と関わりながら成長することの重要性も深く認識しており、令和3年度は令和2年度後期の措置を全面的に引き、授業における知障・技術習得、および学生たちがキャンパスに集い学友や教員との交流を深めることを一層重視・追求している。また同時に命を守ることを両より大切にし、感染予防の対策を徹底して施している。具体的には、キャンパスにおける適宜な状況等を選択するため、教室の座席などの物的対策のほか、学年履の改編、オンデマンド科目の導入、科目配置時限の移動、学生のグループ分けなど、各キャンパス・各学部の状況と必要性に応じた教務上の対策を確認し、それぞれ措置を進めている。	①ほぼ対面	面接授業を中心とすることを全学部の基本方針としている。ただし、同時に感染防止徹底の観点から、キャンパス内の適密を選択することを中心に、一部科目のオンデマンド化など遠隔授業を併用することも方針に含めている。各キャンパス・各学部において、各種口・時限およびキャンパス全体の感染状況などを勘案して、オンデマンド化する科目を確認するなど、それぞれの必要性に応じた措置をとっている。現状では上記2-4の回答の範囲の比率となっている。さらに授業開始後に、基礎疾患などのため対面授業への出席が不安や困難との申請があった場合などは、遠隔授業の同時配信などの措置も想定している。	⑤差はない	現状では、学部ごとの実施比率に大きな差異はない。	①②③④⑤⑥	
595	名城大学	23. 愛知県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	令和2年度前期は、学期当初はすべて遠隔授業でスタートし、感染状況の推移を考慮しつつ順次面接授業を増やしてきた。令和2年度後期は必要な学内感染対策を施した上で、教室での受講者間の社会的距離1mを確保可能な場合は原則として面接授業、受講者数が多くこれが不可能な場合は遠隔授業とした。令和3年度も、令和2年度後期と同じ方針である。	②7割対面	2-3で示した通り、原則面接授業とし、受講者数が多くこれが教室での受講者間の社会的距離1mを確保できない場合は遠隔授業または面接・遠隔併用授業としている。なお、学期開始前の現時点では選択科目の受け付けが不明のため、面接授業の比率は今後若干変動する可能性がある。	②学年ごとに差	2-3で示した通り全学年を通じて、授業は原則、対面授業を実施することを決定しているが、履修登録者数次第で面接授業を行えない科目が出てくるが、1年次生については、基礎演習、指導をはじめ、初年次教育と位置付ける授業を配置しており、極力、面接授業で授業を行うことを考えているため、1年次配当科目とそれ以外の科目で（面接授業の）割合に差が出る可能性がある。	①②③④⑤⑥	
596	名古屋音楽大学	23. 愛知県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	実技の授業が多いため、対面授業の重要性、不可欠な状況を認識する機会が増えた。	①ほぼ対面	基本的には対面授業を実施するが、コロナの状況や履修者各々の事情を加味しつつ遠隔授業を実施するため、遠隔授業の割合は不確定である。	⑤差はない		①②③④	
597	豊田工業大学	23. 愛知県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	令和2年度前期および後期のそれぞれに、オンライン授業に関する学生アンケートを実施した。オンライン講義については半数以上が良く学べたと回答する一方、オンライン実験実習については半数以上が面接授業を希望した。この結果を踏まえ、また必要なコロナ対策の準備ができたことから、令和3年度は遠隔授業の対応はしつつも全面的に面接授業を再開することを決定した。						
598	名古屋外国語大学	23. 愛知県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生・保護者からの意見には、面接授業再開と遠隔授業継続の両方があったため、対策を講じながらの対面を主としつつ、希望する学生には遠隔授業を認めることとしている。	①ほぼ対面	面接授業には、授業ごとに学生を半分に分け、隔週で遠隔授業と入れ替えて行う方式も含めるものとし、全授業について面接と遠隔の授業方法の調査を行った。	②学年ごとに差	学年に関しては面接授業率の低い1・2年次は少人数編成となっており感染対策を講じ易いが、3・4年次は履修授業数は減るがクラスサイズが大きな授業が増えるため、相対的に遠隔授業比率が高くなる。	①②③④⑤⑥⑦	
599	名古屋造形大学	23. 愛知県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		②7割対面		②学年ごとに差		②③④	
600	愛知産業大学	23. 愛知県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	令和2年度は、面接授業と遠隔授業の併用により授業を実施してきたが、令和3年度は、学生が通学して学ぶ機会を確保し、教室の収容定員を1/2程度として、基本的に面接授業を実施する。						
601	東海学園大学	23. 愛知県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	教室の収容定員50%を目途に、原則面接授業を実施、教室配置を変更しても、50%を大きく超えてしまう授業は、遠隔授業とする。	①学部ごとに差	演習、実習、実験の科目を多く必要とする、資格取得型の学部については面接授業比率が高い傾向となる。	①②③④⑤	
602	豊橋創造大学	23. 愛知県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	授業内容により判断した。	①学部ごとに差	経営系の学部については、遠隔授業が実施しやすいが、臨床実習などが控えている学部は、演習が必要であり、遠隔授業ではカバーが難しい。	②	
603	愛知東邦大学	23. 愛知県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	特に1年次科目については面接授業を重視して時間割編成を行っている。	③半々	面接授業のみで実施は全体の約3割。遠隔授業のみで実施は全体の約1割。残りほぼ面接授業と遠隔授業を併用して実施する。	②学年ごとに差	特に1年次科目については面接授業を重視して時間割編成を行っていることから、面接授業実施の科目が多い。	①②③⑤⑦	
604	星城大学	23. 愛知県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
605	愛知文教大学	23. 愛知県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
606	桜花学園大学	23. 愛知県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	学修の保全、キャンパスや学生数の規模、また在学生の在学地域等考慮し、本学は令和2年度前期の閉講を10日間遅延差のうえ対面授業を実施している。授業中の活動内容や1教室の履修人数を感染状況に対応して弾力的に整備し、授業運営方針について学生や保護者への理解に努めた。学生や保護者から現時点において本学の方針そのものに疑義を呈する意見は寄せられておらず、本学の取組みは理解されていると認識している。						
607	愛知大学	23. 愛知県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度においては、感染防止を最優先として、春学期はほぼ全ての授業を遠隔で、秋学期の途中には一部授業で対面を再開しましたが、これに対して学生、保護者から様々なご意見をいただきました。これらを踏まえ、また、対面と授業を行うことが本学の本来の姿であること、さらには新型コロナウイルス感染症のより善く社会復帰の善化等を勘案し、令和3年度においては、対面での実施を基本方針とし、履修者が多く見込まれる授業については遠隔授業とすることを決定いたしました。	①ほぼ対面	対面での実施を基本方針とし、履修者が多く見込まれる授業については遠隔授業とすることを決定しています。授業計画作成段階においては、多くの授業を対面で行うことになっているもの、各学生の時間割上では学部や学年によって比率に差異が生じることがあり得ると考えています。	③学部・学年ごとに差	社会科学系学部においては大人教科目が、人文系学部においては少人数科目が多く存在することから、学部間で比率の差（社会科学系学部は遠隔授業の比率が高くなる）が生じることが起こり得ると考えています。また、講義系の授業（大人教科目が多い）の履修が多い低年次においては、遠隔授業の履修が高くなり易く、演習系の授業（少人数科目が多い）の履修が高年次においては、対面授業の比率が高くなり易く考えられています。	①②③④⑤⑧	学内の密を避けるために、教室の収容定員を通常の半分程度に抑えて対面授業を実施しますが、過去の実績から履修者数が多く見込まれる授業については、遠隔授業とします。
608	愛知学泉大学	23. 愛知県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
609	至学館大学	23. 愛知県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	令和2年度後期は、授業目標や到達目標に応じて、面接授業が必要な授業においては、感染対策を十分講じて遠隔授業と併用して実施した。令和3年度の方針についても、基本的な考え方に変化はない。	②7割対面	教員への調査の結果、開講科目の内、ほぼ面接授業を中心に授業と、授業内容に応じて面接授業と遠隔授業を併用して実施する授業が5割弱ずつである。併用して行う授業の全てが面接と遠隔授業を交互に行うわけではなく、全体の割合として考えると、7割程度が面接授業となると考えている。	⑤差はない		①②③④⑤⑥⑦	
610	中部大学	23. 愛知県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	対面による教育効果、学生・教員の負担軽減、ならびに新入生の大学生活への適応の観点から	③半々	面接授業における安全性を確保するために一部を遠隔授業とした。面接授業の選定においては、実験・実習・演習科目に加え、新入生の大学生活への適応の観点から、更には昨年度実習する機会が少なかった新2年生への配慮から、1年生および2年生科目を優先的に面接授業とした。	③学部・学年ごとに差	新入生への大学生活への適応の観点から	①②③④⑤	

No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
611	藤田医科大学	23. 愛知県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	教育の質以外においても、面接授業や小グループ学習、学生交流等を通じて得られる効果について強く再認識した。	③半々	本学は医療系大学であるため、演習、実習、実験が多く行われている。遠隔授業による実習についても改良を行ってきたが困難を感じている。また、新入生にとっては前期日程期間が新たな学友や教職員との関係構築及び大学生活の開始に重要な時期であるため、可能な限り面接授業を実施し、大学環境に慣れるよう工夫することが求められた。そのうえで、カリキュラム編成において感染対策を講じて実施できる範囲を検討した結果である。	③学部・学年ごとに差	前述したとおり本学は医療系大学のため、学内実習、臨床実習などの配置が多い学部・学科・学年については面接授業の割合が高くなっている。	②③④⑤⑥⑦	
612	名古屋芸術大学	23. 愛知県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を最優先とし原則、オンライン授業としていたが、令和3年度は感染拡大防止と「対面による」学修機会の確保の両立を図るという観点から原則、対面授業という方針に変更した。	①ほぼ対面	学生の履修登録者数が多く見込まれる等、対面において完全に感染予防策の対応ができない場合、及びオンライン授業においても対面授業と同等以上の教育効果が見込まれる授業について、授業担当者に対し大学からオンラインにおける授業実施を依頼。	⑤差はない		①②③④⑦	
613	愛知医科大学	23. 愛知県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	感染状況等に大きな変化がないため。	③半々	学生同士の交流をもっと持ちたいという学生からの要望や、対面授業の方がより授業の理解度が高まると期待する教員の意見を基に、施設的に可能な範囲で面接授業を増やしている。	③学部・学年ごとに差	医系大学であるため、臨床実習等の演習科目がカリキュラムに多く組まれている。遠隔授業で行うことが難しい演習科目は、上の学年になるほど増えるため、面接授業の割合も必然的に高くなる。	②④⑤⑥	
614	愛知淑徳大学	23. 愛知県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	・面接授業を原則とした2020年度後期の方針を引き継ぎ、後期の実施状況を踏まえ、2021年度も面接授業を原則とする。 ・感染防止対策の定着と一部学部で実施した学生調査を踏まえ、面接授業を行うこととした。	①ほぼ対面	・2021年度（前期）は面接授業を原則とする。大人数の授業については、履修者数の制限や教室の変更、授業コマの分割（増コマ）、場合によっては遠隔授業での実施（履修者数150人以上、教室収容定員に対する履修者の比率70%以上の科目で、増コマ等ができない場合）といった措置を執り、密状態の緩和を図り、実施する。	⑤差はない		②③④⑤⑥	
615	名古屋経済大学	23. 愛知県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面		⑤差はない		②④⑤	
616	名古屋学芸大学	23. 愛知県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面		③学部・学年ごとに差		①②③④⑤⑥⑦	
617	日本赤十字豊田看護大学	23. 愛知県	03. 私立大学									
618	修文大学	23. 愛知県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	在学生アンケートなどを通じ、学生同士や学生と教職員の間の人的な交流が行われることは、大学における豊かな人間性の涵養、大学生活を続ける活力の維持、学びの質の向上にもつながり、「面接授業に勝るものなし」そういった結論が導き出された。令和3年度は引き続き、新型コロナウイルス感染症への対策と学生の学修機会の確保を両立するため、面接授業を拡充し、社会情勢や政府の指針に従い、柔軟に対応していく方針である。						
619	岡崎女子大学	23. 愛知県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
620	一宮研伸大学	23. 愛知県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	1教室に入る人数を半数に分けた場合教室が不足すること、非常勤講師からの依頼から。	②学年ごとに差	4年生のみ遠隔授業となっており、開講科目が3科目だけの授業となっているため。	⑤	
621	名古屋柳城女子大学	23. 愛知県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	実技の授業が多いため、リスク管理をしながらも学生連にはできるだけ対面で行う授業ができるように配慮している。	③半々	屋外での感染リスクが高いと考えるため、昼ご飯を取らない形での授業を行なうこととした。	⑤差はない		②④⑤	
622	名古屋国際工科専門職大学	23. 愛知県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	長期的な観点で対応を検討しており、それから大きくずれるような状況変化はない。	③半々	授業スタイルに応じて、遠隔授業に適した科目について遠隔授業方式を取り入れた。	⑤差はない		②⑥⑦	
623	名古屋短期大学	23. 愛知県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	学修の保全、キャンパスや学生数の規模、また在学生の在住地域等考慮し、本学は令和2年度前期の開講を10日間程度遅延のうえ対面授業を実施している。授業中の活動内容や教室の履修人数を感染状況に対応して弾力的に整備し、授業運営方針について学生や保護者への理解に努めた。学生や保護者から現時点において本学の方針そのものに疑義を呈する意見は寄せられておらず、本学の見解は理解されていると認識している。						
624	愛知みずほ短期大学	23. 愛知県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
625	名古屋柳城短期大学	23. 愛知県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	実技の授業が多いため、リスク管理をしながらも学生連にはできるだけ対面で行う授業ができるように配慮している。	③半々	屋外での感染リスクが高いと考えるため、昼ご飯を取らない形での授業を行なうこととした。	⑤差はない		②④	
626	名古屋文化短期大学	23. 愛知県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	令和2年度も学事暦を変更するなどして、ほぼ全ての科目で面接授業を行った。カリキュラムの特性上、実習科目の多い本学において、遠隔授業には限界があると感じる。						
627	愛知工科大学自動車短期大学	23. 愛知県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	本学は学生数1000人以下の比較的小規模な大学であることもあり、令和2年度の前期においても6月からは対面授業を再開している。それ以降、令和2年度後期も感染対策を講じつつ対面授業を実施してきた。令和3年度も、状況の変化に注意しながらも、ほぼすべての科目において対面授業で対応する予定としている。						
628	愛知学泉短期大学	23. 愛知県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
629	愛知文教女子短期大学	23. 愛知県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
630	岡崎女子短期大学	23. 愛知県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
631	名古屋経営短期大学	23. 愛知県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
632	愛知江南短期大学	23. 愛知県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
633	愛知医療学院短期大学	23. 愛知県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	医療技術者の国家試験を受験するため、遠隔授業だけでは十分な教育効果が得られない科目が多いため。また、遠隔授業により学修内容を修得できていない学生とできる学生の差が対面授業より大きくなったため。	①ほぼ対面	遠隔授業でも効果を保てると判断したものは正規課程での遠隔授業開講とし、通常通りの対面授業の実施は困難であるとの認識の元、あらかじめ通常1クラス単位で行う授業を対面で実施できるように2クラスに分かれてできるよう時間割を変更するなどの対応をした。	⑤差はない		②③④⑤⑥⑦	
634	豊田工業高等専門学校	23. 愛知県	04. 高等専門学校	①全面対面	①対面授業を拡大							
635	三重大学	24. 三重県	01. 国立大学	②併用	①対面授業を拡大	大学に来ること、対面での交流機会を学生が強く認識するようになったとともに、本学としても、収束の兆しがみえない状況下で、十分な感染対策を講じて対面授業やハイブリッド授業をする等学修者本位の教育活動の実施が必要と判断したため。	①ほぼ対面	開講される全授業に対し、ハイブリッド授業及び面接授業の合計数の割合を比率とした。	①学部ごとに差	面接授業の実施については、各部署の判断のもと、対面での授業実施が必要不可欠なものを優先するとともに、履修者数、コロナ禍で教室の収容状況等様々な点を考慮しながら決定しているため、学部・学年で状況は異なっている。	①②④⑤⑥⑦	
636	三重県立看護大学	24. 三重県	02. 公立大学	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面		⑤差はない		②⑤⑥	



No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
637	三重短期大学	24. 三重県	02. 公立大学	②併用	①対面授業を拡大	遠隔授業における通信トラブルが多いこと。対面授業を望む声があったこと。	①ほぼ対面	面接授業を基本としながら、個別の教員の事情（高齢、遠隔地など）や科目特性（実会話など発声が必要）を考慮し、一部で遠隔授業を採った。	⑤差はない		②④⑤	
638	四日市大学	24. 三重県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	面談授業実施を原則とするが、ソーシャルディスタンスを考慮した教室座席数を超過してしまう授業（受講者100名を超える授業）については、オンデマンド授業とする。	③学部・学年ごとに差	受講者数が多い全学共通科目や学部必修科目などがオンデマンド授業となるため、低学年（1・2年生）での授業で遠隔授業が若干多くなる。	③	
639	皇學館大学	24. 三重県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	授業は、感染防止対策を講じたうえで、対面により実施することを基本とする。ソーシャルディスタンスを前提とした教室の収容人数（通常定員の1/2）を基本とし、収容人数上限を超える授業については、オンライン授業とする。						
640	鈴鹿医療科学大学	24. 三重県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	面接授業・遠隔授業のそれぞれの教育効果が見えてきたため、授業の特性に合わせた形態を選択し、時間割を編成した。	②7割対面	実習系が多い学年は、ほぼ毎日面接授業となり、履修者人数が200人を超える他学科との合同開催の講義科目は遠隔授業にするなど、感染防止の側面と教育の質が確保されるか否かについては、学科で検討し、判断している。	③学部・学年ごとに差	学外・学内実習や講義・演習など授業の特性によって、教育効果を含め各学科で検討されるため、比率は様々となる。ただし、一年生の基礎分野科目は他学科との合同開催が多く、週2・曜日（月と火）に科目を集約し、遠隔授業日として時間割を組んでいる。	①②③④⑤⑥⑦	
641	鈴鹿大学	24. 三重県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度前期前半は傷め付いた感染や感染症の詳細が不明であったため、学内の対入り制限と全授業を遠隔とし、後期は遠隔を基本としつつ、対面授業を取り入れた授業運営を展開した。これらの経験を基に、令和3年1月に大学が立地する地域の状況や通学に利用する交通機関を考慮し、令和3年度の授業運営の基本方針を決定した。	①ほぼ対面	大学が立地する地域や通学に利用する交通機関の状況の他、他大学の対応状況等を参考に判断した。	①学部ごとに差	①③⑥についても学生の通学状況や地域の感染状況に応じて柔軟に対応する予定。	②④⑤⑧	
642	四日市看護医療大学	24. 三重県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	感染対策を原則とし、学生意見としてあげられた対面でのコミュニケーションの重要度をより考慮していくとした。						
643	高田短期大学	24. 三重県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	原則として面接授業を実施することが重要であると考え。一部遠隔授業も取り入れるが、それは授業回数確保のためであり、コロナとは直接関係ない。						
644	ユマニテック短期大学	24. 三重県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	小規模大学の特性を活かして、感染症防止を徹底して、対面授業や学外実習を行っている。他大学の状況のみで、対面授業を求めている学生の声をよく聞く。						
645	鈴鹿工業高等専門学校	24. 三重県	04. 高等専門学校	①全面対面	①対面授業を拡大							
646	鳥羽商船高等専門学校	24. 三重県	04. 高等専門学校	①全面対面	①対面授業を拡大							
647	近畿大学工学高等専門学校	24. 三重県	04. 高等専門学校	②併用	①対面授業を拡大	現時点では全て面接授業を実施。今後、面接授業を基本としつつ、コロナ感染の状況によって遠隔授業も検討。	①ほぼ対面	現時点において、近隣地域の緊急事態宣言が解除され、三重県においてもコロナ感染者の状況が比較的落ち着いているため。	⑤差はない		⑧	コロナの感染状況に応じて、面接授業あるいは遠隔授業のどちらかを選択する。
648	滋賀大学	25. 滋賀県	01. 国立大学	②併用	②大きな変化なし	「感染拡大防止策を講じた上で原則として対面授業を実施する」という方針は、令和2年度から特に変更なし。	①ほぼ対面	令和3年度の授業実施方針において、「感染拡大防止策を講じることが困難な授業は、オンライン授業を実施する」としており、原則は対面で行うこととなっている。	③学部・学年ごとに差	実験・実習・実技など、特に対面での指導が不可欠と判断される授業については、学部によって科目数等も異なるため実施割合に差が出る。大学での学修や学生生活に慣れない新入生については、出来る限りキャンパス内での学修機会を設けるように配慮するため、学年によって実施割合に差が出る可能性がある。	①②④⑤	
649	滋賀医科大学	25. 滋賀県	01. 国立大学	②併用	②大きな変化なし	学生及び教職員へのアンケート結果を参考にしつつ、大学設置基準に定める1単位あたりに必要な学修時間を満たす方向性で検討を重ね、授業時間及び休憩時間の見直しを行った。なお、遠隔地に居住している学生及び感染リスクを懸念する学生等に対して遠隔授業にて対応することについては、令和2年度から変更はない。	①ほぼ対面	講義形式の授業においては、感染症対策を徹底したうえで、原則面接授業を基本とした遠隔授業とのハイブリッド型で実施し、臨床実習・臨地実習については、コロナウイルス感染拡大の状況に応じて遠隔授業等も含めた対応を行う。	②学年ごとに差	カリキュラム上、低学年は講義形式の授業が中心であり、高学年は実習が中心であるため。	①②⑤⑥	
650	滋賀県立大学	25. 滋賀県	02. 公立大学	②併用	②大きな変化なし	本学では、当初から対面授業を重視しつつ、教室定員等でやむを得ない場合に遠隔授業を行ってきた。令和3年度もこの考え方に変更はない。	①ほぼ対面	100名超の大規模授業や教室定員を超過する授業について遠隔授業を認め、その他の授業は対面授業とするため大部分が対面授業になると想定している。	④その他	100名超の大規模授業や教室定員を超過する授業について遠隔授業を認めることとしているが、その判断は学部で行うため、遠隔授業を積極的に取り入れる学部とそうでない学部とで差が出る可能性がある。しかし、100名超の大規模授業や教室定員超過の授業科目数は多くないと想定されるため、対面・遠隔の比率の差はさほど大きくないと考える。	①②③④⑤⑦	
651	びわこリハビリテーション専門職大学	25. 滋賀県	03. 私立大学	①全面対面	③遠隔授業を拡大	メディアを利用して行う授業について学則に明記した。						
652	成安造形大学	25. 滋賀県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	芸術系大学という特性上、遠隔授業だけではどうしても満足度のいく授業を行うことが難しかった。	②7割対面	講義系の授業については遠隔授業、実習系の授業については面接授業で行うという考え方。	⑤差はない		②④	
653	聖泉大学	25. 滋賀県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	現下の感染状況や学内施設のキャパシティも勘案	①ほぼ対面	講義系の授業については遠隔授業、実習系の授業については面接授業で行うという考え方。	⑤差はない		①②③④⑤⑥⑦	
654	長浜バイオ大学	25. 滋賀県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	本学ではキャンパス内での感染者は出ていないため、できるだけ対面授業を行うこととしました。	①ほぼ対面	本学ではキャンパス内での感染者は出ていないため	⑤差はない		②③④⑤	
655	びわこ成蹊スポーツ大学	25. 滋賀県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	遠隔授業の効果を検討することもできたが、本来の対面授業を望む学生・教員も多く対面を徐々に拡大	①ほぼ対面	基本は面接授業としているが、教室環境に応じて遠隔授業としている。	⑤差はない		②③④⑤	
656	びわこ学院大学	25. 滋賀県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	原則として面接授業を実施。主に非常勤講師の勤務上（医療関係、遠方等）の理由により一部授業を遠隔で実施する。	⑤差はない		①②④⑤⑦	
657	滋賀文教短期大学	25. 滋賀県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	必要に応じ遠隔授業等も実施していくが、学生へのアンケートや懇談会を通じて遠隔授業実施の良い部分、悪い部分が明らかになり、やはり大学のキャンパスに来る価値というものを再認識するに至った。						
658	滋賀短期大学	25. 滋賀県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
659	京都大学	26. 京都府	01. 国立大学	②併用	①対面授業を拡大	対面で学修する機会の重要性を強く認識したため	①ほぼ対面	必要な学修時間の確保と同時に学生相互や教員との交流機会の回復も含めた、より質の高い教育・研究等の場をできる限り提供したいという考えから。	⑤差はない		①	
660	京都教育大学	26. 京都府	01. 国立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	必要な知識や技能を修得するには、他の受講生の取組をよく観察し、互いに学び合うことが重要であると認識した。課外活動など授業だけでなく、「人間形成」にとっても学生間の交流が欠かせないと考えている。						

No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
661	京都工芸繊維大学	26. 京都府	01. 国立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	令和3年度前期授業については、令和2年度後学期の対面授業の経験を活かして、キャンパスライフで得られる様々な経験の重要性や、学習機会確保の観点などから慎重に検討した結果、すべての学生が十分な登校機会を得られるよう、すべての授業を原則対面で実施することとしました。ただし、持病等があり感染した場合に重症化するリスクの高い教員の担当科目、収容定員など大学の施設・設備等の都合により密を避けることが困難と思われる科目など、一部の科目はオンライン授業を実施する予定です。	⑤差はない		②④⑤⑥⑦⑧	面接授業を基本とするが、基礎疾患を持つなど感染リスクが高い学生、入国できない留学生等に対して、遠隔授業を実施する予定である。
662	京都市立芸術大学	26. 京都府	02. 公立大学	②併用	②大きな変化なし	令和2年度後期の方針を決める際に、授業実施方法と感染対策について、慎重に検討し、現状で可能な限りの対応を行ったため。また、現在の感染リスクは当時より著しく変化したとはいえないため。	③半々	座学を中心とする講義系科目は遠隔授業とし、実技系科目は面接授業により行うこととしているため。	③学部・学年ごとに差	【美術学部】実技において、学年によって異なる課題を設けている専攻があるため。また、専攻によっては創作に必要な設備・機材が大学にしかない等、自宅での実施が極めて困難であるため。【音楽学部】実技（演奏）系の科目については、遠隔での実施が困難であるため、それ以外の科目がカリキュラムの中心となっている専攻とそれ以外の専攻では、面接授業の実施比率に差が出ている。	②④	
663	京都府立大学	26. 京都府	02. 公立大学	②併用	①対面授業を拡大	対面授業のひとつとして、原則、ハイブリッド型授業の実施を方針とした。	①ほぼ対面	「開講科目一覧」に授業形態を付加し、ハイブリッド型授業を「面接授業」とした比率	①学部ごとに差	実験、実習等のオンライン授業が困難な科目が多い理系学部は「面接授業」が多くなる傾向がある。	①②③④⑤⑥	
664	京都府立医科大学	26. 京都府	02. 公立大学	②併用	①対面授業を拡大	遠隔での授業については、一定の評価されているものの、対面での授業や学生間の交流を通じて学生が成長できることも重要である。	③半々	基本的に、実習は対面で実施する予定である。また、講義については、コロナの感染状況を前案しながら実施することになるが、オンラインに加えて、ハイブリッド形式でも実施することとしており、おおむね半分程度になると思われる。	②学年ごとに差	実習は対面で実施することから、実習の時間数の多い学生は他の学年よりも比率が高くなる。	②⑤⑥⑦	
665	福知山公立大学	26. 京都府	02. 公立大学	②併用	①対面授業を拡大	遠隔授業の良さを認識できた一方で、対面授業の重要性も再認識できた。	①ほぼ対面	大学の施設のキャパシティを想定し、できる限り面接授業を開講できるよう検討した。	①学部ごとに差	各学部が占有している教室を主とした施設の状況により比率に差が出ている。	①②③④	
666	京都先端科学大学	26. 京都府	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	コロナ禍においても、学生の学生生活における満足度向上のため、大学としても通常時の授業形態に近い状態になるよう努めた。	②7割対面	実験、実習、演習、資格関連科目に加え、50人以下程度の講義科目を教養定員の半数以下に収まるよう施設を最大限に活用することとした。	①学部ごとに差	一部の学部学科においては、卒業と同時に資格取得にも関わっている。前述の方針で面接授業とした場合、実験実習科目の比率が高くなり、他学部と比較すると面接授業比率が高くなる。	①②③④⑥	
667	平安女学院大学	26. 京都府	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
668	大谷大学	26. 京都府	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	今後の授業においては、遠隔授業実施で得られた知見から面接授業の実施のみに拘らず、遠隔授業のメリットを活かし、反転教育等、オンラインを活用したフレンドリー型授業を展開していかなければならないと考えている。しかしながら、大学での学びは、ラーニング・コモンズ等におけるグループ学習や課外活動も必要不可欠であり、授業のみから得られるものではないことから、大学生活を総合的に捉え、対面での交流機会は必須と考えられ、より重要性を認識するに至った。						
669	京都外国語大学	26. 京都府	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	昨年（2020年）度の新入生に対し入学式（式典）を実施していなかったため、4月に実施することとした。	①ほぼ対面	基本的に面接授業にて行うことを決定したが、密を避けるため教室の定員制限を設けた場合に定員を超過する授業クラスがあるため、その授業のみを遠隔授業にて行う。	⑤差はない		①③	
670	京都産業大学	26. 京都府	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度秋学期に、全学的に面接授業及び遠隔授業に関する学生の理解・納得の状況調査を実施するとともに、大学として総合的な検証・方針決定を行ったことによる。	①ほぼ対面	令和2年度秋学期に、全学的に面接授業及び遠隔授業に関する学生の理解・納得の状況調査を実施するとともに、大学として総合的な検証・方針決定を行った。その上で、令和3年度の授業については、原則、面接授業とすることとした。	①学部ごとに差	原則、面接授業とするが、履修者の多い科目等、一部の科目は遠隔授業とすることを、令和3年度の授業等の実施方針とした。主には、履修者の多い科目の割合によって、若干、面接授業の比率が変わる。	①②③④⑤⑥	
671	京都女子大学	26. 京都府	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	授業はオンデマンドを3割以下に留め、感染予防対策を行い、対面で実施することを基本としている。	②7割対面	昨年と同様に感染状況や社会的変化に応じて、全面的に遠隔授業に切りかえる準備を行っている。	③学部・学年ごとに差	学部については、実習の割合がカリキュラム配当上、高い学部があるため、学年についてもカリキュラム配当において実習が多くなる学年があるため。	②③⑤	
672	京都薬科大学	26. 京都府	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	学内試験やアンケートの結果をふまえて、対面授業を原則とする方針となった。	②7割対面	対面授業を原則としつつ、きょうしつでの収容人数や授業の特性を考慮し現在の比率を決定した。	⑤差はない		②④⑤⑥	
673	京都光華女子大学	26. 京都府	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	グループワーク授業や、学生の学習理解度の把握、友人づくり等、キャンパスでしか得られないものが多い。						
674	種智院大学	26. 京都府	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	本学の規模からすると、現状において、対面授業を再開する。感染が拡大した場合は、段階に応じ、遠隔授業と併用し、状況次第では遠隔授業のみへ移行する。						
675	京都橋大学	26. 京都府	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面		①学部ごとに差	80人以上の授業クラスを遠隔授業としたため、他学部に比べて学生数の多い経済学部・経営学部ではほかの学部に比べて遠隔授業の割合が高くなっている。	①②③④⑤⑥	
676	同志社大学	26. 京都府	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	昨年度から、文部科学省あるいは京都府のガイドラインの内容に従って感染防止対策を講じているため、原則、前後左右1m以上席を空けて教室配当した場合、適正規模の教室数が不足するため面接授業に遠隔授業を併用して実施させるを得ない、とは言え学生の人格形成の上で、大学キャンパスで他の学生や教職員と触れ合う機会を持つことは重要な意味を持つと考えており、新しい生活様式が定着してきていることを踏まえて、できるだけ学生が大学キャンパスに通学する動機となる面接授業の機会を増やすべきという考えに至ったため。	②7割対面	2-3の回答内容と同様の理由で感染防止対策を講じたうえで配当できる教室のキャパシティ事情による。	①学部ごとに差	学部・学科ごとの収容定員の差、カリキュラムの違いによるものや、対面授業に対する学部ごとの考え方の違いがあると考えられる。	②③④⑤	
677	同志社女子大学	26. 京都府	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	本学では令和2年度前期は原則すべての授業を遠隔授業にて実施した後、同年度後期は面接授業を中心としながら一部科目を遠隔授業として実施した。その中で、大きな問題等は発生しなかったこと、また新型コロナウイルス感染症の状況も業報でできる状況ではないことから令和3年度は令和2年度後期の体制を継続しつつ、遠隔授業の可能性を検証するため、試験的に、一部の科目で遠隔授業を実施することとした。	①ほぼ対面	2021年3月現在、授業開始前の時点において、前期に開講されるクラス数の合計は次の通りである。面接授業：180クラス（約27.7%）、遠隔授業：488クラス（約72.3%）全体：2029クラス（遠年科目含まない）この後、学生が履修登録を行った結果、教室の収容定員の半分を超える科目が発生した場合は、随時遠隔授業に切り替える可能性も生じる。	③学部・学年ごとに差	特になし。	②③④⑤⑥	
678	京都ノートルダム女子大学	26. 京都府	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	本学は、令和2年度後期から、3密を徹底的に避けることを前提に、対面による通常授業実施を基本とし、授業によっては、オンラインと対面を適切に組み合わせたフレンドリー型授業を行うこととしている。また、受講者数が多い講義など対面での3密を避けられない授業については、原則としてオンライン授業とする。令和3年度は、この方針を継続して授業を実施する。	①ほぼ対面	2-3で回答した通り、原則として対面で授業を実施することとしているため。	⑤差はない	特になし	②③④⑤⑦	
679	花園大学	26. 京都府	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	面接授業については、座席数を減じて既に各教室の机といすを撤去して距離を確保した。大人数クラスでキャパオーバーの授業についてはのみ、オンデマンド授業を実施。						

No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
680	佛教大学	26.京都市	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	特に低学年の学生に対して、大学での学びを理解してもらい、学習方法を修得してもらうには対面での授業が効果的であると考える。授業形態や科目特性、教育効果等を勘案し、知識伝達型の授業科目は遠隔授業で実施し、初年次教育等の科目は対面授業を実施するなど、対面授業と遠隔授業のそれぞれの利点を効果的に活かせるよう授業を展開する。	①ほぼ対面	学生の安全に最大限配慮することを最優先とし、対面授業を行う場合は感染防止対策（教室確保、座席間隔の確保等）を十分講じることができかどうかを考慮し、対面授業の実施科目を決定している。また、授業形態や科目特性、教育効果等を勘案し対面授業と遠隔授業の実施科目を決定している。	③学部・学年ごとに差	ゼミ形式授業や実習等が行われる第3学年以降は対面授業の比率が高く、一般教養的な講義形式の受講登録人数が多数である科目が多い第1学年は遠隔授業での実施比率が比較的高い	①②③④⑤⑦	
681	立命館大学	26.京都市	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生自治組織との直接的な対話や、学生アンケート、授業アンケート等の結果を分析し、対面での授業やキャンパス内での交流が制限されたことに伴い、学生間のコミュニティ形成や創発的な学び合いに深刻な影響が生じているという認識が深まった。また、学生に加えて父母からも対面交流が減少した点について厳しい声が寄せられている。	①ほぼ対面	2021年度の授業実施に関する全学方針を策定するにあたり、感染防止対策を最大限講じながら、学生に対してキャンパスでの対面授業に出席する機会をできる限り提供することとした。一方で、既往症や家族の状況から引き続きキャンパスへの通学が困難な学生も存在するなど、学生が置かれている多様な状況も考慮し、遠隔授業の併用も行うこととした。また、教室等の施設条件の制約から、3密を避けるために受講者数の制限を行う可能性も存在する。対面授業を行う一つ、同時にオンラインでライブ配信を行う授業や、授業回によって対面授業回とオンライン授業回を切り替え、出席調整を行う授業など、対面授業と遠隔授業の2分類では定義できない授業形態も想定される。したがって、対面授業回が全授業回のうち1/3を超える授業と1/3以下の授業に分類し、集約を行った。その結果、9割以上の授業において、対面授業回が全授業回の1/3を超える授業となる見通しである。	③学部・学年ごとに差	対面授業回数が全授業回数の1/3以下の授業の割合は、学部ごとに0%～31%の差異がある。これは、学部ごとにカリキュラムが異なることや、キャンパス毎に施設条件が異なること、留学生在が多い学部ではオンライン授業を提供する比率が多いためである。また、1年生などの低年生の小集団授業はできる限り対面授業を実施するように全学にむけて要請した。	①②③④⑤⑥⑦	該当なし
682	龍谷大学	26.京都市	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	新型コロナウイルスの影響が続く中、対面授業のもつ学生・教員との交流や学生相互の学び合い、学習習慣の形成等といった教育上の特性を重視し、また、オンライン授業においても可能な限り対面授業と同等の教育活動が継続できるよう、授業の実施形態や実施方法などに様々な工夫を行った。2020年度後期においても同様の考えのもとで対面授業を一定の割合で取り入れたが、学生が対面での学修や交流を、深め、有意義な学生生活を送る様子を見る中で、より積極的に対面授業の機会を設ける必要があると認識した。	①ほぼ対面	教室内でのソーシャル・ディスタンス（SD）を確保できる授業については、感染対策を十分に講じた上で対面授業を実施することとした。過去の実績から受講者数の予測をたて、教室のSD定員を設定して教室調整等を行った結果、一部の大人気授業を除くほとんどの授業を対面授業として実施できる見込みとなった。	⑤差はない		①②④⑧	・多数でソーシャル・ディスタンスを保った教室が担当できない一部の授業はオンライン授業として実施する予定である ・教員に基礎疾患があり、対面授業の実施に感染リスクがある場合には、オンライン授業として実施する予定である。
683	京都精華大学	26.京都市	03.私立大学	②併用	②大きな変化なし		②7割対面	⑤差はない		①②③④⑤⑦		
684	明治国際医療大学	26.京都市	03.私立大学	②併用	②大きな変化なし		③半々	②学年ごとに差	新入生および国家試験受験対象学年の4年生（鍼灸学部は3年生）を優先して対面授業を多く実施する。その他の学年は半数程度を対面授業とする。	①②④⑤⑥		
685	京都芸術大学	26.京都市	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生アンケートから対面の再開を希望する学生のニーズをくみ取った	②7割対面	⑤差はない	講義科目のうち教育効果を見込めるものについて遠隔化を行うこととした	なし	②④⑦	
686	京都文教大学	26.京都市	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	③学部・学年ごとに差	原則として履修者が100人以上の科目については遠隔授業とする。	1. 入学定員が100人未満の学部かつ実習系科目が多い学部については対面授業が多くとなっている。また、低年次生担当の科目について講義科目が多く、遠隔授業が多くなっている。	②③④	
687	嵯峨美術大学	26.京都市	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大		②7割対面	⑤差はない		②⑤⑥⑦		
688	京都情報大学院大学	26.京都市	03.私立大学	②併用	③遠隔授業を拡大	学びの多様性を考慮すると、コロナ禍とは関係なく、遠隔授業の効果も大きいことから、遠隔講義にも一層力を入れることが重要である。	①ほぼ対面	⑤差はない	本学では、原則として、対面授業と遠隔授業を併用するハイブリッド形式で授業を行う計画としている。対面が遠隔かという二項対立ではなく、対面での受講を希望する学生と、何らかの事情で登校に不安を感じる学生や一時的に体調不良の学生の双方に対し、同じように受講の機会を提供する。	①⑥		
689	京都医療科学大学	26.京都市	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大		②7割対面	⑤差はない		②④		
690	京都華頂大学	26.京都市	03.私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
691	京都美術工芸大学	26.京都市	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	R2年度に実施した、学内での感染症対策、対面授業の方法等を踏まえ、特に新入生及び新2年生には対面授業を中心に行うことを検討した。	①ほぼ対面	③学部・学年ごとに差	科目によっては遠隔授業のメリットもあること、また状況変化に素早く対応することを想定し、各学年1割～2割までの遠隔授業を実施する。新入生でも本学の遠隔授業に慣れしておくことで、対面・遠隔どちらでも対応できるようにすることとした。	建築学科4年生の卒業設計制作、美術工芸学科の実習科目全般は対面及び学内での制作が伴う。そのため美術工芸学科の方は対面を優先している。	②④⑤⑦	
692	京都看護大学	26.京都市	03.私立大学	②併用	②大きな変化なし	上記回答の通り	③半々	⑤差はない	対面授業でないこと教育効果を担保できない科目を中心として構成		②④⑤	
693	池坊短期大学	26.京都市	03.私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	昨年度の6月から、感染対策を施した対面授業を中心に実施しており、本学の学修において対面授業が重要であることを再認識している。						
694	京都経済短期大学	26.京都市	03.私立大学	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	⑤差はない		③④⑤		
695	華頂短期大学	26.京都市	03.私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
696	京都外国語短期大学	26.京都市	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	昨年度（2020年度）の新入生に対し入学式（式典）を実施していなかったため、4月に実施することとした。	①ほぼ対面	⑤差はない	基本的に対面授業とすることを決定したが、どうしても感染防止が完全に行えない可能性のある授業については遠隔にて行う。	①⑦		
697	京都文教短期大学	26.京都市	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	⑤差はない	原則として履修者が100人以上の科目については遠隔授業とする。	②③④		
698	京都西山短期大学	26.京都市	03.私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	令和2年度は受講人数に応じて遠隔授業を実施したが、令和3年度は完全対面授業とする。						
699	嵯峨美術短期大学	26.京都市	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大		②7割対面	⑤差はない		②⑤⑥⑦		
700	舞鶴工業高等専門学校	26.京都市	04.高等専門学校	①全面対面	②大きな変化なし							

No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
701	大阪大学	27.大阪府	01.国立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生に行ったアンケートの結果からも、学生同士、また学生と教員とのコミュニケーション不足を感じている学生がいることがわかったため。	②7割対面	教育効果を最優先に、対面授業が必要なものについては、十分な感染拡大防止策を講じたうえで実施する。また、学内での教育活動における安全・安心・健康を守ることを基盤とし、危機状況に際しても教育・学習の機会と質の保証をする「対面授業とメディア授業を併用するブレンドッド教育」を推進していく予定である。なお、回答者の割合は学内調査を行った結果によるものである。	③学部・学年ごとに差	本学は研究型総合大学として、理工系の場合には修士課程までの進学者が多く、学部によっては割程度のところもあり、6年一貫に近い教育体制になっている。学部3年生は主として座学を中心としているが、4年次以降の3年間は、研究室における研究活動を行いながらマンツーマンに近い形の対面授業となり、修学期間中の中心的指導形態となっている。一方、学部低学年の場合は大人数で受講する授業科目が多くなっている。本学では感染拡大防止のため講義室等定員に対して参加人数に制限を設けている。これによりやむを得ず遠隔授業となっている場合がある。	①②④⑤⑥⑦	
702	大阪教育大学	27.大阪府	01.国立大学	②併用	①対面授業を拡大	面接授業には、オンライン授業では得られない他者との交流や教育的効果があり、キャンパスに在ることである対人コミュニケーションや課外活動等も教員を養成する本学にとって、非常に重要な活動であると考えている。学生に対してアンケートを実施したところ、面接を中心又は併用とする授業形態を希望する回答者は全体の約80%であった。令和2年度後期に30~40%の授業で面接授業を実施したが、授業に起因する罹患率は発生せず、十分な感染防止対策を講じ、感染リスクの高い学生等に限り遠隔授業を実施すれば、ほとんどの授業で面接授業が可能であると判断した。	①ほぼ対面	各講義室の対人距離を確保するため、着座率を通常の約65%以下に設定し、受講生数の多い講義系の授業(約20科目)をオンデマンド型遠隔授業により実施し、講義室配当の最適化を図った。講義系の授業科目については、オンデマンド型遠隔授業とする一方で、時間や場所に制約されることもなく、自分のペースにあわせて学ぶことができ、わからない部分は繰り返し学習することで、高い教育効果が得られると考えている。	②学年ごとに差	遠隔授業に該当する科目は、ほとんどが教養基礎科目又は共通基礎科目の授業であり、1年次の履修科目であるため、1年次は遠隔授業の比率が高くなっている。	①②③④⑤⑥⑦	
703	大阪市立大学	27.大阪府	02.公立大学	②併用	①対面授業を拡大	大学は単なる授業提供の場ではなく、学生同士また学生教員の結びつき、交流など様々な場であることも大事である中で、安全確保のために必要に必要事項について一定の知見が蓄積されつつある。	①ほぼ対面	学生と大学との、また学生同士の結びつきの確保や教育効果の観点から、感染防止対策を徹底した上で、対面授業(混合授業*を含む)を基本とします。但し、一定の条件に該当する授業については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から遠隔授業をします。*期間中の対面授業回数について半分(14コマの授業であれば7コマ)以上の授業を「混合授業」と称する。上記の「混合授業」とは通期「対面授業」のもので、対面授業ができない履修者向けに提供する「別手法提供」による複数手法での授業提供のことを称するものではない。 【遠隔授業とする科目の条件】1)例年の受講者数等に鑑み、受講者が試験定員である座席数の約2/3定員で収容できない授業や大定員授業(共通教育は200名以上、専門教育150名以上を目安とする)は遠隔授業を原則とする。2)担当教員に基礎疾患があるなどで対面授業が困難な場合は部局判断で例外的に遠隔授業を可とする。3)カリキュラム内容や授業の特性等に鑑み、遠隔授業の実施により高い教育効果が見込まれる*と部局判断した場合は遠隔授業を可とする。尚、対面授業(混合授業を含む)が基本である事を踏まえ、遠隔授業が適多にならないよう授業形態を部局で判断することとする。	③学部・学年ごとに差	例年の受講者数等に鑑み、受講者が試験定員である座席数の約2/3定員で収容できない授業や大定員授業(共通教育は200名以上、専門教育150名以上を目安とする)は遠隔授業を原則とするため、講義の比率の高い学部、学年は遠隔授業の割合が高くなる。	①②③④⑤⑥⑦	
704	大阪府立大学	27.大阪府	02.公立大学	②併用	②大きな変化なし	本学では、授業は主に教室等において対面で行うことを基本としており、また大学として授業の提供だけではなく学生同士・教員との学びあいや交流を含めた「学びの共同体」としての場を提供することが、本学の責務の一部であると考えている。これを踏まえ、コロナ禍においても感染防止策を講じながら、最大限対面授業を実施できるよう進めている。	①ほぼ対面	今年度のコロナ禍でのキャンパスにおける取り組みや経験、専門家の意見を踏まえながら、対面授業を行う際の一番の課題である感染防止策を講じた上で、教室配当面について検討し、8割を対面でも実施しても教員の配当が可能な見込みとなったことから、2021年度前期は対面授業を中心として実施することとした。	①学部ごとに差	専門科目で実習の授業が多く含まれる学類や学年については、通常1班で実施している実習を感染防止策の観点から、時間割上の異なる曜日・コマで2班に分けて実施する等の対策をとっている。実習を優先して対面でも実施できるよう対応しているため、時間割上で曜日・コマに該当できない講義科目をオンライン授業とせざるを得ないケースがあり、このような教育課程の特殊性等により対面授業の実施比率が低くなっている学類や学年が生じている。	①②④⑤⑦	
705	大阪経済大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	対面を求める学生・保護者・教員の声を踏まえ、緊急事態宣言の解除、ウイルス対策の明確化等から安全性が確保できると判断した。	①ほぼ対面	安全性を保つために学生同士の距離を確保して収容する際のシミュレーションの結果、例年の履修者が概ね150名を超える科目については、遠隔授業に設定すべきと判断し、150名以下の授業については席数に余裕のある教室を割り当てることで対面実施が可能と判断した。	⑤差はない		②③④	
706	大阪工業大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度よりも対面授業の実施を重視する理由としては、以下のとおり。 ・令和2年度に実施した、本学の学生・教員へのアンケートでは、キャンパスでの面接授業を望む意見が多かったため。 ・大学生活を通して豊かな人間性を育むうえでは、対面による学生同士や教職員との交流も極めて重要であると考えているため。 ・本学は実験・実習等の体験を通じた実学重視の学びを重視してきたため。 また、対面授業を原則としつつも、令和3年度も一部遠隔授業を併用する理由としては、以下のとおり。 ・令和2年度のコロナ禍における授業運営は、オンライン授業の効果的活用やオンラインによるコミュニケーションの利便性、他方で対面授業やオンラインによるコミュニケーションの大切さ、感染防止策を踏まえた対面授業の在り方など、多くの新たな経験や気づきを得る機会となった。 令和3年度はこれらの経験や気づきを活かしつつ、対面授業を原則としながら遠隔授業も併用することとした。	①ほぼ対面	文部科学省の方針や本学通学圏内の感染状況、実験・実習が欠かせない工学系大学である本学の特性を踏まえ、対面授業においては教室収容人数の制限など各種コロナウイルス感染防止対策も継続実施することから、原則対面授業を行うことを方針とした。	⑤差はない		①②④⑤⑥⑦	
707	大阪歯科大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	②大きな変化なし	令和2年度6月に、授業開始以降ほとんど(8割以上)の授業を面接授業で実施している。	①ほぼ対面	面接授業を重視したいが、外部非常勤など遠隔授業を規模王する場合は、その都度対応している。	③学部・学年ごとに差	実習等、遠隔授業では実施できない授業が学部・学年により異なるため。	②	
708	相愛大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	休学、留年等の理由を精査。	①ほぼ対面	新しい生活様式も定着し、大学が単なる授業提供の場だけではなく、学生間、教職員間の結び付き、交流等の場でもある重要性から。	①学部ごとに差	実験・実習・実技のある学部では面接授業の比率が高い。	①②③④⑤⑦	



No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
709	桃山学院大学	27. 大阪府	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和3年度の授業形態を検討するに当たり、令和2年度中に学生に対し複数回実施したアンケートの結果を参考とした。同アンケートでは、全体的な傾向として、1年次生は対面を望む声やや多く、2年次生以上は遠隔を望む声やや多くあった。特に少人数の科目（語学、演習、実習）について対面を望む声が多くあり、これら、学生の声を参考に大学として対面と遠隔で得られる教育効果を総合的に勘案した結果、①の回答とした。約1年間、新型コロナウイルス感染症に対する知識や感染対策などを経験したことで、一定程度の感染予防策などを理解することができるようになった。感染対策を講じることで、対面授業中心の授業形態で実施が可能であること、履修登録者数が多い科目は遠隔授業を実施するなど、柔軟な対応が可能であるとの認識となった（令和2年度から変化した）。	①ほぼ対面	2021年度春学期の授業方針を次のとおり定めた。「新型コロナウイルス感染症への対策を十分に講じたうえで、原則として対面授業とする。ただし履修登録者が多い科目は3密回避のために遠隔授業とする。一部省略」この方針のもとに対面授業と遠隔授業を割り振った結果①の回答となった。※一部の科目については履修登録者数確定後に、遠隔授業となる場合がある。	⑤差はない		①②③④⑤⑥	
710	摂南大学	27. 大阪府	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	遠隔授業にも利点はあるものの、面接触授業における教育効果や学生同士の交流から生まれる学びの意義を鑑み、面接触の方がより教育効果が高いと判断したため。						
711	桃山学院教育大学	27. 大阪府	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし		②7割対面	教員養成系大学として、科目特性等に鑑み、本学教育課程上コアとなる演習科目や教職課程実習指導系・教科指導系、実習系科目を面接触とし、その他の科目については、①原則として履修者数が50名未満の科目であること、②感染予防における十分な身体的距離を保つことができる教場が確保されることを条件に、面接触による授業とした。	⑤差はない		②③④	
712	大阪医科大学	27. 大阪府	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	現下の感染状況やこれに係る感染対策、また、学生の通学や教室のキャパシティ等に鑑み場合、遠隔授業を多く取り入れた授業実施とせざるを得ない現状である。しかしながら、遠隔授業はツールの1つであり、大学での多様な学びや活動の根本は、学生が通学し、対面での授業を受けることや学生間の交流を持つことが重要である考えを改めて強く認識した。	①ほぼ対面	三密回避のため、1教室あたりの学生収容数を5割程度にする。複数教室を中継する対面授業を前提とした場合の比率。	①学部ごとに差	薬学部については学生数が他学部比べて多いため、三密回避の観点から、1教室あたりの学生収容数を5割程度にすること、面接触の実施日を年次別に区分して大学への通学者の集中を避ける等の措置を講ずることとし、おおむね半数という実施比率となる。また、学年差については、学年毎の科目配当数や担当科目の性質の違い（実習や教養科目）により、実施比率に違いが生じる。	①②③④⑤⑥	
713	大阪音楽大学	27. 大阪府	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	授業におけるアクリル板の設置や密の回避、手指消毒等の感染防止対策が徹底され、教員、学生共にそれに従っている。また、音楽大学であることから、声楽や管楽器等、各専攻やその授業の特性に応じた独自の対策が確立された。	①ほぼ対面	大学内の密を避ける目的から、主として受講人数の多い講義系科目や外国語科目を遠隔授業にすることとした。	⑤差はない		①②③	
714	大阪学院大学	27. 大阪府	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		②7割対面	教員に対して、演習、語学、実技・実習、資格課程科目においては原則、面接触授業、例年、受講者数が多い科目においては原則、遠隔授業の実施を依頼しており、令和3年度前期においてもこの方針のもと授業を実施する。この方針を考えると7割程度が面接触で行うこととなる。	①学部ごとに差	少人数で実施する科目が多い学部は面接触授業の割合が高い。	②③④	
715	大阪芸術大学	27. 大阪府	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面		①学部ごとに差		②	
716	大阪産業大学	27. 大阪府	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生の学修機会の確保と教育の質保証を維持するために、より多くの面接触を行うため、学生を3グループに分け、キャンパスへの通学をしやすい仕組みを導入しました。	①ほぼ対面	すべての科目において面接触を基本とし、履修者の多い科目については面接触と遠隔授業のグループに分け、ローテーションを行い、密を避けるよう対策を行い実施いたします。	③学部・学年ごとに差	本学においては、文系であれば履修者の多い講義が多くなるため、一部履修者の遠隔授業の比率が高くなります。一方で理系であれば、演習等の履修者全員が対面で面接触を許可しており、面接触の比率が高くなります。	①②④⑤⑥⑦	
717	大阪樟蔭女子大学	27. 大阪府	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		②7割対面	施設を使用する実験実習や演習等対面での実施が不可欠あるいは教育効果が高いと判断するものを対面授業で実施。講義科目等遠隔授業であっても教育効果が担保できると判断したものを遠隔授業で実施。	①学部ごとに差	学内の実験実習施設を使用して授業を行うことが不可欠な教育プログラムを持つものが学部学科等が面接触の実施比率が高くなる。	②③④⑤⑦	
718	大阪商業大学	27. 大阪府	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	教室内で定員上限等に多少の変更はあるが、授業運営に関しては考え方に大きな変更はない。	①ほぼ対面	●演習科目、実習・実技科目（語学科目を含む）一面接触授業／●履修者数が各教室の設定定員以内一面接触授業／●履修者を収容できる教室がない科目一面接触授業と遠隔授業の併用、または遠隔授業	⑤差はない	異なる学部等や学年はない。	②③④⑤	
719	大阪体育大学	27. 大阪府	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	基本的な考え方に変更はないが、可能な限り面接触を取り入れる工夫をした。	②7割対面	全学生をキャンパス内に入れた際の屋外など密の回避ができないこと、実技・実習科目や少人数科目を面接触とすること、大学全体として半数程度は面接触としたことを念頭に検討をすすめた。	①学部ごとに差	学部で異なる状況となっている理由は、学部の特性によるものである。具体的には、講義形式ではなく、演習やグループワークなどを必要とした授業で多く設定されているため。	②③④	
720	大阪電気通信大学	27. 大阪府	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生および教職員一同の感染対策の徹底により、学内でのクラスター発生を防ぐことが出来ている。引き続き感染拡大防止の取り組みを進める。	①ほぼ対面	感染防止対策が可能な収容人数を設定し、感染防止対策のうえで、面接触（対面）授業を拡大する方針	③学部・学年ごとに差	各キャンパスの教室ごとの収容可能人数や、履修予定人数等により状況が異なるため	①②③④⑤	
721	大阪大谷大学	27. 大阪府	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	令和2年6月5日付及び9月15日付、令和3年1月8日付の文部科学省からの通知に基づき。	⑤差はない		②③④⑤⑥	
722	追手門学院大学	27. 大阪府	03. 私立大学	②併用	④その他	令和2年度後期の授業実施方針は感染防止対策を中心に検討したが、令和3年度前期の授業方針は本学がコロナ禍以前から実施しようとしていたICTを活用した教育の実施と感染防止対策の両面から検討した。	②7割対面	本学は、コロナ禍以前からICTを含めたあらゆる手段を駆使し、教育効果を最大化するための教育手法の検討をしており、令和3年度はその教育手法を取り入れた授業運営の試行期間としています。そのため、コロナ禍に開拓したオンライン授業とした科目については令和3年度にオンラインで授業を実施するとともに、それ以外の一部の大人教養科目については感染防止対策のためオンラインで実施することとしています。	①学部ごとに差	国際教養学部国際教養学科の面接触授業実施率が高いが、語学を学ぶための科目が多く、面接触の方が効果的であるため。	②③④⑧	本学は、コロナ禍以前からICTを含めたあらゆる手段を駆使し、教育効果を最大化するための教育手法の検討をしており、令和3年度はその教育手法を取り入れた授業運営の試行期間としています。そのため、コロナ禍に開拓したオンライン授業とした科目については令和3年度にオンラインで授業を実施するとともに、それ以外の一部の大人教養科目については感染防止対策のためオンラインで実施することとしています。
723	関西大学	27. 大阪府	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	本学では2020年度秋学期より、原則対面授業を方針として展開しており、2021年度においてもその方針を引き続き踏襲するため。	①ほぼ対面	2021年度は、原則対面授業としつつ、履修者の多い大規模人数授業科目はオンデマンド配信授業（フロンティア型もしくはリアルタイム併用型）とする方針によるもの。	⑤差はない		①②③④⑤	
724	関西医科大学	27. 大阪府	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	基本的には面接触を実施したいが、施設面が無理があるため、面接触と遠隔授業の併用にならざるを得ない	①ほぼ対面	1学年と実習が主体の学年は原則面接触であり、その他の学年は5：5である。	①学部ごとに差	R3年度新設のリハビリテーション学部は学内施設が広く使えるため、全面面接触となっている。	②④⑥	
725	関西外国語大学	27. 大阪府	03. 私立大学	①全面対面	④その他	授業方針の検討・決定にあたっての考え方は、令和2年度と変化しておらず、感染対策と授業のわが配設備環境が整ったため、全ての授業を面接触と遠隔授業の同時運用することとした。						

No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
726	近畿大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	大学における教育は、豊かな人間性を涵養する上で、学内で教員と学生、学生同士が人的な交流等を行うことが重要であると考え、学生を大学に預す観点から令和3年度の教育・研究活動の実施については、対面授業を原則とし、効果的にオンデマンド授業の一部を導入することと決定した。	①ほぼ対面	実験・実習等は原則対面で実施し、大人数の講義科目、語学科目、演習科目等の一部については効果的にオンデマンド授業を導入することとした。	③学部・学年ごとに差	実験・実習等は原則対面で実施し、大人数の講義科目、語学科目、演習科目等の一部については効果的にオンデマンド授業を実施することを前提としたうえで、1年生については極力対面授業とする。	②③④⑥⑦	
727	四天王寺大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	②大きな変化なし	令和2年度中に学生・保護者・教員からの意見を聞き、遠隔授業とあわせて面接授業の実施が必要と判断した。	③半々	コロナ禍の終息が見えない中、授業を実施していく中で本学の学内施設のカンパシィ等を考慮した結果、面接授業と遠隔授業をおおむね半々とする判断をした。	⑤差はない		④⑤⑥⑦	
728	帝塚山学院大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	対面ならではの教育効果や、学生からの対面の要望、オンライン授業を苦手とする学生のフォローの必要性を強く認識したため。	①ほぼ対面	本年度の授業実施方針を、学生と教職員の安全を大前提としながら、可能な限り対面授業とすることを原則とし、大学が教育上の効果があると認めた一部の科目については、オンデマンド形態での授業を実施することとした。なお、大阪モデルのステージに応じて面接授業・遠隔授業を切り替えることとしており、①はイエーステージ1までの場合である。	③学部・学年ごとに差	実験・実習・実技科目の多い学部・学年の面接授業の実施比率が高くなっているため。	②④⑦	
729	梅花女子大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	他大学の状況や教育の質の保証を考えた時に、大半の授業において対面授業の方が教育効果が高いのではないかと判断	②7割対面	学生の対面授業の時間割や演習・実習・実技・実験等の対面でないか厳しい授業を優先してする実施	②学年ごとに差	特にオンライン授業に慣れていない1年生や昨年度同様な状況の2年生を優先して対面授業を実施しようとの判断	②③④⑥	
730	阪南大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生アンケートの結果等から、面接授業を希望する声や学生イベント等の学友との交流機会を求めた声が多く寄せられたことが理由となります。	①ほぼ対面	未経験であったコロナ禍での面接授業でしたが、令和2年度にはコロナ感染防止策を実施することにより5割の面接授業を問題なく実施することが出来ました。前年度の経験に基づき、コロナ感染防止に努めながら学生満足度が高い面接授業をより多く開講していくという方針に至りました。	⑤差はない		①②③④⑤⑥	
731	大阪経済法科大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	2020年度は、新型コロナウイルス感染症という未曾有の事態の中で、学生・教職員の協力のもと、春学期は全学的な遠隔授業（6月中旬から1年生のみ一部科目で対面授業実施）、秋学期は対面授業と遠隔授業を併用して授業を実施してきた。現在、コロナ禍の収束は未だ見通せないが、教育機関としての責任を一層果たせるよう、2021年度は更に対面授業を拡大し、キャンパスでの学びと交流の機会をできる限り提供する考えである。そのため、2021年度の授業は、感染予防対策を講じたうえで、対面授業での実施を基本とし、一部の授業については、感染予防や教育効果を踏まえ、遠隔授業で実施することとした。	①ほぼ対面	開講科目のうち、83%が対面授業、17%が遠隔授業としているため。	②学年ごとに差	教育効果や遠隔授業の習熟度を考慮して、1・2年生は対面授業を重視するなど、学年が低いほど対面授業の比率を高めている。2021年度春学期は、対面授業と遠隔授業の割合を1年生は9対1、2年生は7対3、3年生は6対4、4年生は5対5となるように、遠隔授業の履修登録の上限を1年生は4単位、2年生は3単位、3年生・4年生は10単位と設定し、対面授業の受講を基本とするようにしている。また、演習科目等の対面での指導が不可欠な授業については対面授業での実施を基本としている。なお、来日できない留学生や基礎疾患等により対面授業を受講できない学生は、事前に確認の上、遠隔授業のみの履修を可能としている。	①②③④⑤⑥⑦	
732	大阪国際大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生アンケート等を通じ、大学から学生へ丁寧で丁寧の見える説明が必要であることを再認識したことによる。	③半々	現下の感染状況や学内施設のカンパシィ、授業形態等に基づき総合的に判断する。	⑤差はない		①②③④⑤⑥⑦	
733	関西福祉科学大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	②大きな変化なし	令和2年度においては、教室内の座席間隔を1.5m保つことを前提に教室規模に見合った配当で授業実施の見直しを図ることにより取り組んできた。令和3年度においては、座席間隔を1.0〜1.2mとしながら、感染対策を十分取り入れた上で、令和2年度同様の基本体制で授業を実施する。	①ほぼ対面	教育内容の担保、及び教育効果を考慮し、本学では対面授業を重視しており、履修状況、教室収容規模に応じて交代制授業の展開ができています。	⑤差はない	特になし	②④⑤⑧	感染リスクを避けるため、通勤ラッシュを回避し、授業開始時刻を10時とし、対面60分+遠隔30分による授業時間体制で実施する。
734	太成学院大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	②大きな変化なし	現下の状況の中において、感染防止に最大限の対策をとることを優先とし、可能な限り面接授業を実施する方針である	②7割対面	新型コロナウイルス感染症については、学生・保護者、教員等の関心が高まっていることを踏まえ、本学では対面授業の方法は教員の数量とし、学生が不利益を被らないための配慮の事項を大学として決定している。	①学部ごとに差	講義、演習、実習の授業形態の比率の違いのため	①②⑥	
735	常磐会学園大学	27.大阪府	03.私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
736	大阪観光大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	多人数を対象としている授業については、遠隔授業を行っている	⑤差はない		③	
737	大阪人間科学大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面		⑤差はない		②⑤	
738	羽衣国際大学	27.大阪府	03.私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	もともと、可能な限り通常の状態（対面授業の再開）に戻したいと考えていたため。						
739	大阪成蹊大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	教育効果を考慮して面接授業で実施すべき科目は感染対策を講じたうえで実施するが、遠隔授業であっても教育効果を損なわない科目については履修人数等をもとに遠隔授業で対応する	①ほぼ対面	本学では全授業を面接型としている。但し、三密を避けるための教室配当により、約2割が遠隔での授業となる予定である。	⑤差はない		②③	
740	関西医療大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	医療従事者の教育に際し、学生が教員や学友とキャンパスで互いに交流しながら知識と技術を学べる面接授業の教育効果は明白であるため、令和2年度後期から引き続き十分な感染対策を講じた上で面接授業の実施を重視することとし、令和3年度前期も実習や演習科目を中心として可能な限り面接授業を行っていく方針とした。	②7割対面	令和3年度前期の時間割作成にあたり、各学部、学科、学年の令和3年度カリキュラムにおける主要な専門科目（産学）と実習、演習科目を優先して面接授業を組み、受講者数の多い教養科目や学科間授業を感染対策上、遠隔授業とする方針に基づいて編成した結果、大学全体として期間2-4で回答した比率となった。	①学部ごとに差	基本的に設問2-5で回答した大学の方針に沿って各学科が作成した授業実施計画を尊重して面接/遠隔授業の時間割を編成したが、本来的に講義、実習、演習の科目配置（割合）が学科、学年間で異なっていることから、大学全体の面接授業の平均実施比率と学科、学年の比率を比べた場合には、ある程度の差異が生じることとなる。	②④	
741	千里金蘭大学	27.大阪府	03.私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
742	東大阪大学	27.大阪府	03.私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
743	大阪女学院大学	27.大阪府	03.私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
744	藍野大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	検討・決定した委員会にて、感染対策を講じ可能な限り対面の機会を増やしたいという意見が多かった。	②7割対面	感染拡大状況によって活動レベルを定めている。現状の活動レベルに応じて感染対策を講じ、面接授業が実施可能な範囲としている。	②学年ごとに差	3年生は実技を伴う科目が多いため、面接授業の実施比率が高い。	②	
745	大阪青山大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	②大きな変化なし	令和2年度後期の振り返りの中で、特別に検討しなおさなければならぬ授業もなかったため変化はないが、よりよい授業を提供するために新年度に至っても検討は続ける。	①ほぼ対面	資格の養成施設であるため、演習や実験、実習が多い大学である。科目の特性上、遠隔授業では学習効果を上げることが困難であること、学外実習も多く学内の授業が実習先での学びにつながるため、どうしても対面授業の比率が高くなる。しかしコロナ感染状況に応じて遠隔授業でも対応できるように対策は講じている。	①学部ごとに差		②④⑤	
746	四條畷学園大学	27.大阪府	03.私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
747	大阪河内ハビリティンション大学	27.大阪府	03.私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
748	大阪総合保育大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面		⑤差はない		①②④⑤	
749	森ノ宮医療大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	特に新入生の通学機会を増やす必要性を強く感じたため。	③半々	前期期間全て面接と遠隔を半々で行う予定ではなく、4月授業開始時はこの比率で実施する。感染拡大が見られる状況下では、お昼を踏がない時間割（面接授業は午前か午後どちらかで実施）を採用する。	⑤差はない		②	

No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
750	大阪保健医療大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	基本的には感染対策を講じつつ対面（面接授業）で行う予定にしているが、感染状況を鑑み、遠隔授業の比率を増やすなどの措置を講じる。それに加え、教育上必要が足り十分な教育効果をあげることができると判断した科目については恒常的に遠隔授業での対応とする。	②学年ごとに差	1年生は開講当初は全ての講義を面接授業で行う。理由としては、遠隔講義を受けるにあたってのルールや動作などの説明が十分でないため。また講義と実習の割合が学年により異なることも理由の一つである。	②④⑤⑥⑦	
751	大阪物産大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	②大きな変化なし		②7割対面		②学年ごとに差		①②④⑤⑥⑦	
752	法豊医療科学大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	今年度、ほとんど遠隔授業で行ったことにより得た気づきとして2-2の回答を①にした理由です。	①ほぼ対面	感染状況や感染防止の学内準備等により検討した結果、多くの授業において面接授業で行うこととなった。	①学部ごとに差	学部の多くは面接授業となっており、研究科の多くは遠隔授業となっている。研究科の在学生の多くが医療職の国家資格を有しており、また医療施設に従事している状況より感染リスクを軽減の観点から遠隔授業を多く取り入れる事とした。	①④⑤	
753	大阪行岡医療大学	27.大阪府	03.私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	理学療法士養成課程のため、実習・演習の割合が高く、令和2年度感染対策を行って面接授業を実施したが、学内での新型コロナウイルス感染が普及したため						
754	大和大学	27.大阪府	03.私立大学	①全面対面	④その他	令和2年度後期の授業方針は、感染対策を十分に講じつつ、できるだけ対面での授業を中心に実施したが、令和3年度前期もこの方針を継続する。						
755	大阪国際工科専門職大学	27.大阪府	03.私立大学	①全面対面	④その他	本学は令和3年度からの開学であり、令和2年度後期との比較はできない。						
756	大阪キリスト教短期大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面		①学部ごとに差		②④⑤	
757	大阪城南女子短期大学	27.大阪府	03.私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
758	大阪夕陽丘学園短期大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度中に学生の意見を聞き、再検討した結果、感染対策が十分に実施できる科目については積極的に対面授業が必要であると認識が高まった。	①ほぼ対面	面接授業を基本とし、学科教員の選択により一部遠隔授業を取り入れた結果、8割以上を面接授業で行う予定となった。	⑤差はない		②⑤	
759	大阪信愛学院短期大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	②大きな変化なし		③半々		③学部・学年ごとに差		②④	
760	大阪成蹊短期大学	27.大阪府	03.私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	保育士や調理師・栄養士等養成施設として、数多くの実習・実験・演習科目を抱えており、器具や施設等、遠隔では対応できない授業が多いため、また、三密を避け十分な換気を実施した対面授業が可能である事、加えて対面授業の重要性を認識したため						
761	大阪女学院短期大学	27.大阪府	03.私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
762	常盤会短期大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大		②7割対面	学生が教育実習・保育実習に行く前の2週間は感染症予防のため、自宅で授業を受け、健康管理をするという判断をした。	⑤差はない		①②④⑤	
763	堺女子短期大学	27.大阪府	03.私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	本学では実習の科目が多いため、学生の学びの内容を向上させるよう、出来る限り、感染対策を講じた上で対面授業をしていきたいと考えております。						
764	大阪千代田短期大学	27.大阪府	03.私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
765	関西女子短期大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	②大きな変化なし	本学は、教育内容の特性上、対面授業を重視している。現在、在地する地域の感染状況は比較的落ち着いており、感染対策を施した上で施設キャパシティに学生が収まる状況であることから、方針通りの授業を展開する。	①ほぼ対面	本学は、資格取得を目的とする学料で占められており、授業における実習・演習の占める割合が高く、教育効果の観点から、面接授業を重視している。但し、少しでも感染リスクを低減せしめるため、通勤ラッシュを避けて通学できるよう、全授業を面接授業75分・遠隔授業15分構成している。	⑤差はない	なし	②④⑤⑧	少しでも感染リスクを低減せしめるため、通勤ラッシュを避けて通学できるよう、全授業を面接授業75分・遠隔授業15分構成している。
766	四條原学園短期大学	27.大阪府	03.私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
767	大阪健康福祉短期大学	27.大阪府	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大	福祉職の養成という大学の目的からも、学生の自主的な取り組みを重視してきた経過からも、オンラインへの移行に感じないと感じることがあった。学生からも交流会等を行いたいという要望が上がっている。	③半々	可能なものについてはオンラインに移行するが、科目の内容や学生の通信環境により面接授業を行う必要もある。	③学部・学年ごとに差	各学科の教育課程による。また、学年により必修科目と選択科目の比率が異なり、授業科目の受講人数が異なることによる。	②④⑤⑥	
768	大阪府立大学工業高等専門学校	27.大阪府	04.高等専門学校	①全面対面	②大きな変化なし							
769	神戸大学	28.兵庫県	01.国立大学	②併用	①対面授業を拡大	教員や学生の意見を聞く中で、遠隔授業の有効性が挙げられる一方、実験・実習等、遠隔授業では十分に教育効果上げることが難しいといった意見や、学生同士あるいは教員と学生の対面での交流を望む意見も多かった。	③半々	学部、研究科や授業によって様々な事情があるが、面接授業を中心に行う予定であるため、令和2年度後期の面接授業の割合（割程度）よりも増加し、おおむね半々の割合になると考えられる。	③学部・学年ごとに差	1年生は全学共通授業科目の履修が主であり、発語を伴う外国語科目や大人数講義の教養科目等、面接授業の実施が難しい授業科目が多い。また、文系学部等に比べ理系学部等では、実験・実習等遠隔授業では実施が難しい科目が多く、面接授業の比率が高くなると考えられる。	①②③④⑤⑥⑦	
770	兵庫教育大学	28.兵庫県	01.国立大学	②併用	②大きな変化なし	令和3年度前期については令和2年度後期同様、教室の定員を半数としたうえで各授業の教室担当を行うとともに、教室が担当できない授業や大人数での授業については遠隔で実施することとしている。	①ほぼ対面	教室の定員を半数としたうえで各授業の教室担当を行い、大人数での授業については履修生を主幹、副会報に分けて、複数教室をオンラインで接続して実施することとしているため、ほとんどの授業を面接授業で行う予定としている。また、新入生については、学部・大学院を問わず、初年教育の重要性、人間関係形成の場としての観点からできる限り面接授業を主として行う予定としている。	⑤差はない		②③④⑤⑥⑦	
771	芸術文化観光専門職大学	28.兵庫県	02.公立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
772	神戸市外国語大学	28.兵庫県	02.公立大学	②併用	①対面授業を拡大	・ロシア語やスペイン語などの初級言語の進度が対面授業実施時よりもやや遅れていた。 ・学生や保護者より対面授業の再開の要望を受けた。	①ほぼ対面	原則、すべての授業を対面で行う。ただし、下記の授業はオンライン授業（同時双方向型/オンデマンド型）とする。 ・高齢者等新型コロナウイルスの感染リスクが高い等の真にやむを得ない事情がある教員の担当授業 ・履修者が85人以上の多数に上る授業のうち、教員の判断によりオンラインで実施するもの	⑤差はない		①③⑥	
773	神戸市看護大学	28.兵庫県	02.公立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	キャンパスに集う学生の喜ぶ声を聴き、学生同士の交流が人間形成に非常に重要であることを再認識した。						
774	兵庫県立大学	28.兵庫県	02.公立大学	②併用	①対面授業を拡大	一人でもコツコツと取り組める学生が多いため、一緒に学ぶ仲間が見えないことで自身の理解度や過剰な不安を感じる学生や、逆に他の学生や教員からの目が届かないことでモチベーションを保つことができず、授業に集中できない学生が生じるなど、教育の質を確保するためには、対面授業の実施が重要であることを再認識した。	①ほぼ対面	本学独自の感染防止マニュアルでは、最小1mのソーシャルディスタンスを前提とした対面授業実施としているが、R3年度について、特に対面での授業実施が必要な科目について、マニュアルで定める環境が整わない場合においても必要な感染防止対策がなされているかを大学本部で確認したのちに実施を認めることに改め、R2年度よりも対面授業を増やす予定としている。	③学部・学年ごとに差	本学は兵庫県全域に9キャンパスが点在しており、学生数をはじめ、通学手段、教室の敷居や収容人数が異なる。特に1年生の教養教育を実施している神戸市と姫路市にある2キャンパスでは他キャンパスに比べて通学する学生数が多くなることから、キャンパス及び学年ごとに実施比率の差が生じている。	①②④⑤⑥	

No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
775	甲南大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	知識習得に止まらない学びや教育のために、対話や討論を含む授業の重要性、学生相互の交流（課外活動を含む）の重要性に改めて気付いた。	①ほぼ対面	面接授業と遠隔授業の比率を決めていたのではない。原則として面接授業を実施するが、感染症対策を考慮し、150名以上の履修者がある授業は遠隔授業とした上で、教室の収容定員を約半数として教室を割り当てた。また感染症対策を行った上でキャンパス内に収容可能な学生の総数を見限り、1コマあたりの履修者を250名として、それに収まるように一部面接授業を遠隔授業に切り替えた。	③学部・学年ごとに差	学部間の差異が生じている理由の一つは、履修者が150名をこえる大規模授業はすべて遠隔授業で実施しているからである。例えば1学部1学科で大規模講義の多い学部（法学部など）では遠隔授業の実施比率が高く、学科別で小規模講義の多い学部（文学部など）では面接授業の実施比率が高い。また学年間・授業内容における差異が生じている理由として、1年次の基礎ゼミ、理系学部の実験・実習、文系学部のゼミ、4年次の卒業研究（卒論ゼミ）、卒業実験などは、面接授業ができるように優先的に教室・実験室を割り当てたためである。	①②③④⑤	
776	甲南女子大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生の学習機会を、キャンパスであるからこそ真の価値があると認識した。	④3割対面	基本的にはオンライン授業に移行し、実習などの対面で行えないものは対面を実施する。	①学部ごとに差	実習がある学部は対面の比率が高くなっている。	②	
777	神戸海星女子学院大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	一部の基礎疾患を持った学生や大人数の授業以外は面接授業とすることを基本方針としている。	①ほぼ対面	最大教室収容可能人数の78人を超える履修者がいる授業以外は面接授業とする。	⑤差はない		①②③④⑤⑥	
778	神戸学院大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	新型コロナウイルスに関する情勢、学修効果、学習に対する説明責任を考慮した結果、原則として面接授業で検討を行った。	①ほぼ対面	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、教室の収容定員50%を実現するための教室配当を実施した結果。	①学部ごとに差	薬学部が所属するキャンパスでは、150名以上の授業がオンラインによる実施となっているが、薬学部の1学年の学生数は約250名となっているため、これを適用した場合、薬学部の専門教育科目のほとんどがオンラインによる授業となるため、教室を複数使用して、面接授業を実施予定。	①②③④⑥⑦	
779	神戸女子大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	新型コロナウイルス感染症拡大の防止対策を講じた結果、クラスターも発生していないため	②7割対面	本学の取組方針に基づき、現時点では原則面接授業を行うこととし、非常勤講師については遠隔授業を推奨している。	①学部ごとに差	学部等や学年で異なる状況になっていない。	①②③④⑤⑥⑦	
780	神戸薬科大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	大学として、学生によってはオンデマンド授業への対応を難しいと感じ、学業に集中できていない事例を把握している。また、オンデマンド授業（講義動画配信型）は、視聴時間に制限がないため、生活リズムが崩れている事例も把握している。前記を背景として、本学は薬学の単科大学で、全ての学生が薬剤師国家試験を受験するため、全面的に対面授業を実施することで生活リズムを取り戻させ、学業に集中できる環境を整えたいと考えた。	①ほぼ対面	2-3の回答を背景として判断した。	⑤差はない		①②④⑤⑥	
781	神戸松蔭女子学院大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	新型コロナウイルス感染症の感染リスクについて不明な点が多かったために、2020年度は慎重な対応を取らざるをえなかったが、マスクを着用、換気を十分行う、密をつくらない等の手防行動で感染防止に努めることとした。本学では、前期中より実習・実験科目などで対面授業を実施したが、クラスター発生はなく、授業において感染したと考えられる感染例は確認されていない。ウイルス感染症の感染リスクが一般的に高い冬季を過ぎた上に、医療関係者へのワクチン接種が始まり、春からはワクチン接種対象者が拡大される予定であるので、医療逼迫の緩和など社会全体のリスクの低減が期待されること、等により方針を決定した。	①ほぼ対面	キャンパス滞在者数を抑制するために、学科・学年によって特定曜日の授業を遠隔実施とした。	⑤差はない		①②④⑥	
782	神戸親和女子大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	一部、オンラインの方が教育効果が高いと判断した科目（1割程度）を遠隔授業としたが、基本的には面接授業で実施することとした。	⑤差はない		①②④	
783	神戸国際大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		②7割対面		①学部ごとに差	学部の学生数の違いによる	①②③④⑦	
784	兵庫大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生の学びは授業だけでなく、学生同士の交流や学び合い、教員とのつながりの中で育まれるため	②7割対面	感染対策のため、受講人数が多い講義科目はオンラインで行い、オンラインでは難しい実技、演習、実験科目を対面で行うため。	③学部・学年ごとに差	各学部のカリキュラムによるが、実技、演習、実験が多い学部・学年においては、面接授業の実施比率が高い	②③④	
785	神戸常盤大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	本学は、演習・実習科目が多く配置された専門職業人を育成するカリキュラム構成であり、遠隔授業に比べ、面接授業の方が技術の修得に適していると改めて実感した。	②7割対面	令和3年度前期に開講予定の科目全ての授業形態より集計した。	①学部ごとに差	本学には、医療看護薬学部と教育学部の2学部があり、教員免許養成課程（小学校・幼稚園教諭）のある教育学部の方が、演習・実習形態の開講科目数が多いため、全体の面接授業の比率より高くなっている。	②④⑤⑥	
786	宝塚医療大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし		②7割対面		①学部ごとに差		②④⑤	
787	戸屋大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし		③半々		③学部・学年ごとに差	履修人数によって遠隔授業を指示しているため	②③④⑥	
788	大手前大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし		②7割対面		①学部ごとに差	医療系学部は実習授業の比率が高いので	②③④⑤⑦	
789	関西学院大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度後期は対面授業とオンライン授業を併用して行ったが、令和3年度前期は対面授業を中心に実施し、一部の科目では教育効果や感染リスクを考慮してオンライン授業も活用する。	①ほぼ対面	シラバスに各科目の授業形態を記載し学生に公開しており、それを根拠に集計した。	③学部・学年ごとに差	1・2年生の授業を優先的に対面を実施する方針としており、また、より実態に即した対応をするため、教育効果や感染リスクを考慮したオンライン授業の実施は各学部で判断することとしている。	①⑦⑧	①と⑦が基本であるが、感染リスクを考慮し、③⑤⑥の方法等によりオンライン授業を活用する科目もある。また、感染状況の変化にあわせて独自の活動制限レベルを見直し、方針を変更する。
790	甲子園大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
791	神戸女子学院大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	遠隔授業の難しい点を克服するためには、対面での対応が不可欠と考えた。（学生との相互のやりとり一部など）	②7割対面	①【選択科目】50名以上の講義は遠隔。マスクをとっての聴音チェック、ディスカッションなどが不可欠な外国語科目は遠隔。ほかは、原則面接授業という基準を定めた。②【必修科目】その上で、必修科目については、クラスメイトとの交流などが重要と考え、対面とした。	③学部・学年ごとに差	一部学科の特定の学年について、必修科目の設定がそもそもない。あるいは、履修者が想定される授業の大多数が大人教講義であるなどの理由で対面率が低くなった。	①②③④⑥⑦	
792	甲子園女子学院大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	本学は小規模大学であるため、感染症対策を実施したうえで、対面授業を実施することが可能であると判断した。また、2020年度の遠隔授業の教育効果が有効であったため、全ての科目でLMSの活用（予習、復習等）を実施することとした。	①ほぼ対面	ガイドラインを作成し、その中で、面接授業実施の基準として、「原則として対面授業で実施すること。ただし、履修人数が60名を超える授業については、教室及びその他の状況を勘案し、遠隔授業とすること」と設定をし、該当科目を判断している。	⑤差はない		①③⑤	
793	武庫川女子大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生の学習面での理解度や、仲間作りがなかなかできないことを考えると、可能な限り大学に登学し、対面で交流する機会をできるだけ確保したいと考えている。	②7割対面	原則、受講者が大人数となる講義科目については遠隔授業、それ以外の演習・実験・実習・実技・ゼミ指導等は対面授業を実施する方針のもとで実施形態を決定している。	①学部ごとに差	カリキュラム構成として当初より講義科目が多い、文学部、経営学部等については必然的に遠隔授業の比率が高くなっている。本学では授業形態を基準として遠隔・対面での実施方針を定めているため、学年単位での比率に関して特に傾向は無い。	②③④⑥⑦	
794	兵庫医科大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	令和2年度後期から面接授業中心に実施しており、令和3年度においても同様の方針としている。						
795	姫路獨協大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	対面授業の必要性を理解し、姫路ではコロナの感染状況が落ち着いた状態にあるので、感染対策を徹底すれば対面授業が可能と判断する。						
796	流通科学大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	考える学習型授業を推進する大学として、対面授業を中心とするべきという思いを強くした。	①ほぼ対面	「対面のみで行う授業」「対面授業とオンデマンド授業の並行開講をする授業」「オンデマンドのみ行う授業」の3パターンで実施をする。このうち、「オンデマンドのみで行う授業」は、教員に基礎疾患等がある場合のみであり、ほとんどの授業は対面開講となるため。	⑤差はない		①②④⑤⑥⑧	基礎疾患がある等やむを得ない理由が教員側にある場合のみオンデマンド授業のみでの開講を認める



No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
797	神戸芸術工科大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	本学は元々実習・演習主体のカリキュラム構成となっており、かつ大学や学外における実地学習、学生間、学生と教員の交流等の重要性は十分認識しております。コロナ禍により大学の授業運営方針の変遷は、以下のとおりです。●令和2年度前期：4月末より一部授業において遠隔授業開始（本格開始は5月初旬より）。6月より、大学の施設の利用が必須の一部授業は対面授業を可とする。●令和2年度後期：原則遠隔授業とすること、実習・演習等対面授業の実施が望ましい科目（学外実習含む）は対面授業を実施することができる。●令和3年度前期：対面	②7割対面	令和3年度Webシラバスの記載事項に「対面、遠隔の別」欄を設けています。「対面授業のみ」あるいは「混合授業（対面＋遠隔）授業の目標により異なる。」の合計を面接授業とみなした数字を根拠としています。	⑤差はない		②③④	
798	関西福祉大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	オンライン授業の実施成果を活かし、各種演習・実習における効果的な予習復習や、さらにはプロジェクトを立ち上げ、教育方法の再構築を検討していく。	①ほぼ対面	原則対面にて実施。人数・教育効果等、総合的に判断。	⑤差はない		②④⑤⑦	
799	関西国際大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	②併用	③遠隔授業を拡大	4月当初は原則対面授業で開始したものの緊急事態宣言発出を受け、4月10日より急速遠隔授業に切り替えた。6月以降の授業形態については現時点で未定	②7割対面	実技・実習等、対面が必要な科目・授業回数は対面を実施する必要がある	①学部ごとに差	看護上位学年においては、ほぼ実習となるため面接授業の比率が高くなる。	①②⑤⑥⑦	
800	神戸医療福祉大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	②併用	③遠隔授業を拡大	ポストコロナ社会 Society 5.0の到来を見据えたとき、新たな時代に即した形態としての遠隔授業を積極的に導入することが不可欠であり、高等教育機関としての責務であると判断している。また、新型コロナウイルス感染症の流行の収束をいまだ見通すことができない社会情勢下で学生を始めとした大学構成員の健康と安全を確保する観点からも、遠隔授業を展開することが重要であると認識している。	④3割対面	実技・実験・演習（ゼミも含む）・実習の科目、技術の修得を主たる目的とする科目については、教育効果を最大化する目的から原則として面接授業を実施することとした。講義科目については、遠隔で実施することの有効性および感染拡大防止の観点を重んじて、令和3年度は基本的に受講生の大小を問わず原則として遠隔による授業を実施することとした。	③学部・学年ごとに差	学科によりカリキュラムにおける実技・実習・演習等の科目数に差があり、それが実施比率の差に直結している。また、実技・実習・演習等の科目が配当されている学年が2年次、3年次にやや偏っており、結果として2年生と3年生において面接授業の実施比率が高くなっている。	②④⑦	
801	神戸情報大学院大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	サンプル数が少ないため断言できないが、学習目標の達成度が若干低下している可能性が見受けられる（学生アンケート、平均点などの分析から）。	④3割対面	本学は6期制であり、年間の方針ではなく1期ずつ都度方針を決める。回答時点で神戸市の実数株感染者数がかかり多いため1期目は遠隔授業を中心とする。	⑤差はない		⑥⑦	
802	関西看護医療大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		③半々		⑤差はない		①②⑤⑥	
803	兵庫医療大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	感染防止に十分配慮しながら、講義室や食堂などの大学施設の収容人数に鑑み、可能な範囲で面接授業を実施する方針がある	②7割対面	講義形式の座学は対面授業とオンデマンド型オンライン授業を併用して実施するが、講義室の利用に制限があるため、対面を実施することが教育上、不可欠である科目（コマ）を優先する。実験・実習・演習系科目については、大学で定めた感染防止のガイドラインに準拠した上で、対面にて実施する。ただし、ガイドラインに準拠した実施が困難な科目（コマ）についてはオンデマンド型オンライン授業として実施する。	③学部・学年ごとに差	学部や学年に応じて実験・実習・演習系科目の多寡があることや、可能な限り新入生の科目に面接授業を導入していることによる差異があるため。	②④⑤	
804	姫路大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	コロナ禍の中で遠隔授業の取り組みが広がり、遠隔授業により得られることも多かったが、学生へのアンケート調査からも、キャンパスへ通学して学ぶ機会や対面での交流について強い要望があったため。	②7割対面	原則、面接授業とするが、学内施設のキャパシティ等を考慮し、やむを得ず遠隔授業と併用することとなった。	①学部ごとに差	教育学部では、講義室のキャパシティ等を考慮し、学年ごとに面接授業週と遠隔授業週を設定し、学生を分散させて登校させることとした。よって、各学年面接授業の割合は5割程度。ただし、学期末に面接集中週間を設け、実技や演習科目については面接授業の割合を高めている。	①②③④⑤⑥	
805	大手前短期大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし		②7割対面	受講者数と教室の収容能力	①学部ごとに差	医療系学科は実習授業の比率が高いので	②③④⑤⑦	
806	神戸女子短期大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	学内における感染防止対策の徹底が図られていることに加え、面接授業等を通じ、学内において大学教育の一環としてコロナ禍に係る学生指導を行っていくことが重要であると判断したため	⑤差はない		①②④⑤⑥	
807	姫栄短期大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生同士の交流ができないために、友人ができるか心配の声があった。	②7割対面	面接授業を主としているが、変異株の拡大が懸念される、学生のフクテン接種が年度内にできるか不透明な為。	④その他		①②④⑤	
808	豊岡短期大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	前年度からの取組に変更はない。						
809	甲子園短期大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生の授業等の理解度・取組姿勢が遠隔ではわかりづらい。	①ほぼ対面	基本は、対面にて授業を行う予定である。コロナ対策や自然災害などで大学に来れない学生に遠隔での授業対応を考えている。	⑤差はない		①②④⑤⑥⑦	
810	神戸教育短期大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	本学では密集密閉を避ける教室配当ができる人数であるため、2020年度から対面授業を実施している。緊急事態宣言などで政府の外出禁止や小中学校の登校禁止などが出ない限り、学生の心理面に配慮した対応をしつつ、対面を行うという基本方針であるため。						
811	聖和短期大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
812	産業技術短期大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	令和2年度後期から対面授業を実施。令和3年度についてもその方針を継続する。						
813	東洋食品工業短期大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
814	淡川短期大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
815	姫路日ノ本短期大学	28. 兵庫県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
816	明石工業高等専門学校	28. 兵庫県	04. 高等専門学校	①全面対面	①対面授業を拡大	実験、実習、卒業研究など遠隔授業では進めることが難しい授業が多いため						
817	神戸市立工業高等専門学校	28. 兵庫県	04. 高等専門学校	①全面対面	②大きな変化なし							
818	奈良教育大学	29. 奈良県	01. 国立大学	②併用	①対面授業を拡大	新型コロナウイルス感染症の状況や文部科学省からの通知等により対面授業を重視したため	①ほぼ対面	原則、対面授業を実施することとしているから。	⑤差はない		①②③④⑤⑥⑦	
819	奈良女子大学	29. 奈良県	01. 国立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度後期を終えての学生や教員の意見を考慮した結果、対面での学習環境を整えること、学修機会を提供することが必要であるという認識が高まったため。	②7割対面	教室の収容人数を制限する等、十分な感染対策をとった上で実施可能な科目は対面、それ以外は遠隔で実施するとして	①学部ごとに差	理学部・生活環境学部は、実験・実習・演習科目が多くあるため、教育の質を考慮し、9割程度の授業を対面にて実施する。また、生活環境学部においては、資格や免許取得のために必要な時間数分の授業を確実に実施する必要があることも対面授業の割合が高い理由となっている。	①②③④⑤⑥⑦	
820	奈良先端科学技術大学院大学	29. 奈良県	01. 国立大学	②併用	②大きな変化なし	引き続き、感染対策を講じるとともに個々の状況に応じて柔軟に対応する。	①ほぼ対面	質の高い教育の確保の観点から、原則対面としている。	⑤差はない		①②④⑤⑥	
821	奈良県立医科大学	29. 奈良県	02. 公立大学	②併用	②大きな変化なし		③半々		⑤差はない		②⑤⑥	

No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
822	奈良県立大学	29. 奈良県	02. 公立大学	②併用	①対面授業を拡大	2月に実施した学生アンケートでは、対面授業を望む意見や感染リスクに配慮し遠隔授業を望む意見など異なる事情様々な立場の意見があり、それらを参考に授業形態と時間割を設定した。	①ほぼ対面	・対面による実施を原則としつつ、感染対策上の観点等から、遠隔授業を併用して実施します。具体的には、①対面で実施する授業も、原則として遠隔で受講可能とする。○対面授業はできるだけ遠隔として受講できるように配置する。○授業者数見込等により感染対策上遠隔が望ましい授業は遠隔授業とする。	⑤差はない		①②③④⑤⑥⑦	
823	帝塚山大学	29. 奈良県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	可能な限り面授業を実施する。	⑤差はない		①②④⑤	
824	天理大学	29. 奈良県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度秋学期は、履修登録50名以下の授業科目（全科目の約80%）は対面授業を実施したが、オンライン（遠隔授業）科目との混在があった。そのため、学生は両方の授業形態の対応することになった。令和3年度は対面授業を原則にクラスサイズを100人までを基本に実施する予定である。	①ほぼ対面	令和2年度秋学期は、履修登録50名以下の授業科目（全科目の約80%）は対面授業を実施したが、オンライン（遠隔授業）科目との混在があった。そのため、学生は両方の授業形態の対応することになった。令和3年度は対面授業を原則にクラスサイズを100人までを基本に実施する予定である。	⑤差はない	該当しない	①②③④⑤⑥	該当しない
825	奈良大学	29. 奈良県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	県外学生割合が非常に高く、大学においても立地を活用した体験型授業や実習を多く揃え、また少人数ゼミ等による各個人に応じた指導を大学教育の要として重要視していることから、可能な限り対面での授業を行いたいと考えている。	②7割対面	少人数クラス編成が可能な科目においては、クラス割りと教室割り当てにより最大限対面授業となるよう設定したが、例年大人数が履修する科目や、授業の性質上遠隔として差し支えないと判断できる科目においてはWEB授業としている。	②学年ごとに差	科目の配当年次において、低学年に履修する概論や教養的科目に大人数となるものが多く、高年次のゼミや専門性の高い授業においては少人数となる傾向があるため。	②③④⑥	
826	奈良学園大学	29. 奈良県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面		①学部ごとに差	教室のキャパシティの関係	②④⑥	
827	畿央大学	29. 奈良県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	大人数講義を中心に遠隔授業で実施	⑤差はない		①②③④⑤⑥	
828	天理医療大学	29. 奈良県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし		③半々	医療系の単年度の大学であるので、実習、実技を伴う演習、実験等の科目については、教育効果を高める必要がある。感染防止対策を講じつつ対面を実施することを原則としている。一方、講義科目についてはzoomによるlive授業または、eラーニングシステムを利用したオンデマンドによる遠隔授業を行う。実習等の科目を面授業とする場合には、コロナ禍以前の2倍の教室等が必要になる。本学はキャンパスが小さく教室等も少ないため、実習等を対面で行うと、おのずと講義科目は遠隔で実施せざるを得ない。	②学年ごとに差	医療系大学であるので、カリキュラム上、高学年になるほど実験や実習科目が多くなるため、面授業の実施比率が高くなる。それに対して、低学年、特に1年次生は、教養科目と専門基礎科目等の講義が中心であるので、おのずと遠隔授業とならざるをえない。	①②④⑥	
829	奈良芸術短期大学	29. 奈良県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	本学では許可制でリモート授業も実施しているが、実技・実習を主とする授業では教員の対応指導が困難、または他大学のリモート授業に対する学生からの批判も多くあった。						
830	奈良佐保短期大学	29. 奈良県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
831	白鳳短期大学	29. 奈良県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	看護・医療・教育の専攻を持ち、対面や実習の授業は欠かせないこと。また看護・医療の立場・経験から細菌からウイルス対策を実施して対面授業に臨んでいるということ。						
832	奈良工業高等専門学校	29. 奈良県	04. 高等専門学校	①全面対面	②大きな変化なし	令和2年度の対面授業の再開時に決定した。可能な限り、対面授業を優先しつつも、近隣地区の感染状況等を踏まえて、授業形態を決定するという方針を踏襲している。						
833	和歌山大学	30. 和歌山県	01. 国立大学	②併用	④その他	教員が遠隔授業の教材を作成するにあたって、学生が繰り返し、効率よく利用できる教材はどうあるべきかを意識するようになり、オンデマンド型や授業を行う場合には、教材を説明する自分の声を何度も聞き返し、提供する教材を見直すことで、推敲を重ねることになり、教材の内容が更新され、授業構成も見直されることになりました。また、遠隔授業の実施にあたっては、授業の一方的な方向性が危惧されましたが、教員がアンケート機能、リアクションバーやチャット機能等を用いて工夫することで、従来の面授業では質問や発言に消極的になりがちであった学生との間で、これまでにない新しい相互交流が生まれました。これらのことから、教員が遠隔授業を実施する作業の過程において、従来の対面授業のあり方を振り返り、新たな気づきが生まれることになり、教員が遠隔授業によって得た知見やスキルを活用することで、今後の対面授業の改善が期待されます。	①ほぼ対面	全学教務委員会が令和3年度は面授業を主とするとして決定しており、事前の調査では、全学での面授業実施率は87%ですが、コロナ感染対策、3密回避のために教室の人数制限を設けていますので、遠隔授業が13%となっています。	①学部ごとに差	コロナ禍以前の教室等の収容定員基準では面授業が可能でしたが、コロナ感染対策として人数制限を設けると、学生の履修計画に支障をきたす必修・選択必修科目などの授業科目が他の学部より多い学部では、遠隔授業の割合が比較すると高くなっています。	②③④⑤⑥⑦	
834	和歌山県立医科大学	30. 和歌山県	02. 公立大学	②併用	①対面授業を拡大	実習、試験は面授業。授業については、密を避けるようにし、原則面授業で実施する。	②7割対面	【医学部：回答②】全体のコマ数から面授業（試験、実習）を算出【薬学部：回答①】来年度（令和3年度）は、1年生のみしか学生がいないため、大きな講義室を使用することで、学生同士の距離を十分保った状態で授業ができたため。	①学部ごとに差	【医学部：回答①】同じ施設に複数学年が同日同時に面授業を受けられないよう代替わりとしているため。【薬学部：回答③】薬学部は来年度（令和3年度）開学で、学生が1年生しかいないため。	②③④⑤⑥	
835	高野山大学	30. 和歌山県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	実習、実技など、対面であることを要する授業が多いため、	①ほぼ対面	回答時点での実際の実施状況から判断した。	⑤差はない		①②④⑤⑥	
836	和歌山信愛大学	30. 和歌山県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	和歌山県下のコロナ陽性者の発生状況及び「学校の新しい生活様式」レベル1・2タイプの感染リスクが低減できる						
837	和歌山リハビリテーション専門学校	30. 和歌山県	03. 私立大学	①全面対面	④その他	令和3年度開学のため昨年度の学生はいないことから、比較できない。						
838	和歌山信愛女子短期大学	30. 和歌山県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
839	和歌山工業高等専門学校	30. 和歌山県	04. 高等専門学校	①全面対面	②大きな変化なし							
840	鳥取大学	31. 鳥取県	01. 国立大学	②併用	②大きな変化なし	令和2年度から、基本的な考え方として面授業の実施を重視している。国内・県内の感染状況等を鑑み、遠隔授業を推奨する場合でも、到達目標達成上やむを得ないと認めた科目については、面授業を実施している。	①ほぼ対面	原則、収容人数の70%未満が確保できれば対面、確保できなければ遠隔としている。また、感染状況に応じて、遠隔授業を最大限利用する。	③学部・学年ごとに差	実習、実験の多い学部については、面授業の比率が高くなるため、1クラスの履修人数が多く、収容できる教室数が限られているため、面授業は1年生を優先させているため。	①②③④⑤⑥⑦	
841	公立鳥取環境大学	31. 鳥取県	02. 公立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	3年次生、4年次生といった学生にとっては、大学での学修方法がある程度身につけているため、遠隔授業であっても無理なく授業に取り組むことができる。またインターンシップ、就職活動が効率よく取り組める面がある。しかし、1年次生、2年次生については、大学での学修方法がまだ完全には身につけていないと断言し切れないため、学生同士の交流や教員の顔が見える形での授業形態の方が、学生の学修意欲も高まると考えている。						
842	鳥取看護大学	31. 鳥取県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	感染（拡大）を防ぐために遠隔授業は有効な方法であり、状況に応じて取り入れている。しかしながら、より高い教育効果、安定した教育の質保障を考えると、面授業を基本とした。						

No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
843	鳥取短期大学	31. 鳥取県	03. 私立大学	① 全面対面	② 大きな変化なし							
844	米子工業高等専門学校	31. 鳥取県	04. 高等専門学校	① 全面対面	① 対面授業を拡大	遠隔授業の実施で、生活リズムを崩した学生がいた為						
845	島根大学	32. 島根県	01. 国立大学	② 併用	① 対面授業を拡大	学生アンケートなどにより、学生と教員、学生間など人と人が向き合って刺激し合う機会の確保が重要であると再認識したため	② 7割対面	新型コロナウイルス感染拡大状況と授業の教育効果。学生の心理的負担等を考慮し、判断している。	⑤ 差はない	学部・学年によって大きな差異はない	①②③④⑤⑥⑦	
846	島根県立大学	32. 島根県	02. 公立大学	② 併用	① 対面授業を拡大	本学は、遠隔授業を主として実施した期間もキャンパスにより全面立入禁止、一部立入禁止、立入制限なしとキャンパスごとに立地する自治体の感染状況に鑑み対策を実施した。授業は対面だけでなくキャンパスへの立入制限を解除し、クラブ・サークル活動を許可制で実施できるようにするなど、学生の交流機会の確保を強く認識して対策を実施してきたが、現実には授業が大学の教室で実施されないという結果となつたため。	① ほぼ対面	浜田キャンパスは、授業ごとに担当教員から対面授業とするか遠隔授業とするかひとつひとつの授業ごとに聞き取り、履修登録前に時間割で公表したためそれをもとに集計した。すべての回次を教室に学生を集めて実施する授業は対面授業とし、すべての回次をオンラインの同時双方向オンデマンドの録画型で実施する授業は遠隔授業とした。対面と遠隔の授業を回次により使い分ける授業は2/2以上の回次(10回以上)を遠隔授業とする授業は遠隔、それ以外は対面授業と区分した。区分の根拠は学期末試験の受験資格が2/3以上であることを根拠に全15回の授業で10回を遠隔と対面の区分とした。なお、同一の回次で対面と遠隔を同時に併用して同一時間の授業を実施する場合は対面とした。出雲キャンパスと松江キャンパスは、2週間の遠隔授業期間を経て3週間からは全面対面授業を予定している。	① 学部ごとに差	看護栄養学部、人間文化学部の看護や教育の実習をとまなう学部はほぼ全面対面授業である。浜田キャンパスの各学部(社会科学系)は5つの回次の通り、授業担当教員の判断によるため割程の対面授業実施率である。3キャンパスを総合すると80%程度の対面授業実施率である。	①②③④⑥⑦	
847	松江工業高等専門学校	32. 島根県	04. 高等専門学校	① 全面対面	① 対面授業を拡大							
848	岡山大学	33. 岡山県	01. 国立大学	② 併用	③ 遠隔授業を拡大	対面での授業並びに交流機会の重要性は元より強く認識しており、コロナ禍においてもそのような機会を可能な限り提供してきた。現下の感染状況や今後の展望、特に世界の高等教育における潮流を考えると、リスクマネジメントの観点からも遠隔授業をより広く展開する必要があると認識するようになった。本学で実施した様々なアンケートにおいて、遠隔授業については、教員のオンライン/オフライン対応に関する部分で課題であることが明らかとなった。さらに、友人ができにくい、人との交流に乏しいと感じた学生もあり、教室現場での人的交流の再現が難しい授業もあった。一方で、今日の大学生が、能動的に主体性を持って学修する場としての遠隔授業の可能性も再確認できた。面接授業と遠隔授業の長所を享受できる、またそれぞれの特徴を補い合う狙いで、併用を基にしたハイブリッドでの教育を増やし、高等教育の高度化を図る必要があると考える。	③ 半々	「十分な感染対策を講じた上での面接授業」という表現より、面接授業の比率を考える際、原則、全コマ(あるいは大部分) 大学構内で実施する授業を念頭とした。学生が安心して、納得して学修に取り組むことができる環境の確保、並びに面接授業等大学構内での学修機会が十分に得られない場合の必要な配慮の一環として、本学ではオンデマンド型遠隔授業と面接授業の併用、さらに、対面が可能なリアルタイム型遠隔授業を広く実施し、面接授業との併用も行った。「十分な感染対策を講じた上での面接授業」もより多く実施できる見込みであり、同時に上記のようなデジタルを併用した多様な授業も、学生が安心して、納得して学修に取り組むことができる環境の確保と配慮を考慮し、特に教育効果が高いと考えられる場合などは実施することとしておる。おむね半々で行うと認識している。根拠としては、高等教育分野では、これまで、面接授業と遠隔授業についての様々な研究が発表されてきたが、大筋は学修者の成果に有意差は生じないで一致している。2019年に発表された米国フートボール州立大学の研究チームによる長期的な縦断研究においても同様の結果が得られ、最新の研究もこの大筋から離れていない(Paul & Jefferson, 2019)。本学で実施した様々なアンケートにおいても、現代の大学生が、能動的に主体性を持って学修する場として、遠隔授業による方が教育効果が高いと考えられるケースも明らかとなった。今後のリスクマネジメントの対応上、遠隔授業はより広く展開する必要があると考える。特に、現下の感染状況を考えて、本学策定の面接授業実施のガイドラインを遵守し実施することが難しい場合、遠隔授業として実施する予定である。面接授業と遠隔授業共に、より学修者本位の教育の実現をめざすことも重要であり、その推進をめざした方針・体制・環境整備、教員の能力開発と支援、また学生支援や配慮を実施する予定である。	① 学部ごとに差	学部によっては、多人数を対象とする授業が多く、3密を避けて対面授業を実施できる講義室が不足しているなどの問題があり、面接授業の比率が低くなる場合がある。	①②③④⑤⑥⑦	
849	岡山県立大学	33. 岡山県	02. 公立大学	② 併用	① 対面授業を拡大	対面での交流機会の重要性を強く認識する一方で感染状況や学内施設のキャパシティを考慮すると面接授業と遠隔授業を併用せざるを得ない。	③ 半々	学修効果の観点から、面接授業での実施が必要と判断した授業について面接で行うこととした。	① 学部ごとに差	学内施設のキャパシティの問題と講義形式の授業が多いことから、共通教育科目は基本的に遠隔授業で実施することとした。また、実技系の授業が多いことからデザイン学部においては対面授業の比率が高くなっている。	②	
850	新見公立大学	33. 岡山県	02. 公立大学	① 全面対面	② 大きな変化なし	後期授業について感染対策を講じつつ面接授業をほぼ実施することで、令和3年度の前期授業についても面接授業が可能と判断した。						
851	倉敷市立短期大学	33. 岡山県	02. 公立大学	① 全面対面	② 大きな変化なし	令和2年度と同様、面接授業で実施するため。						
852	吉備国際大学	33. 岡山県	03. 私立大学	① 全面対面	② 大きな変化なし	本学では岡山県高梁キャンパス・岡山キャンパスでは、前期6月下旬から面接授業に切り替え、後期からは兵庫県南あわじ志知キャンパスを含めて全面的に面接授業を実施した。冬春休業明けの1週間は感染予防対策として遠隔授業を実施したが、面接授業の重要性を認識した上で、現在のキャンパス所在地の感染状況では、面接授業実施という基本的な考え方に大きな変化はない。						
853	岡山商科大学	33. 岡山県	03. 私立大学	② 併用	② 大きな変化なし	令和2年度後期から面接授業を原則としつつ、感染拡大に伴うオンライン授業にも対応できるよう対策を講じているため。	① ほぼ対面	文科省からの指示もあり、また、昨年度後期での実績も踏まえて、感染拡大予防を徹底しながら原則面接授業とすることになっている。但し、教室の収容定員を超えた場合や一部の留学生で入国の確立しているため、彼らへの対応としてオンライン授業をセレクトしなければならないと考えている。	⑤ 差はない		①④⑤⑥	
854	岡山理科大学	33. 岡山県	03. 私立大学	② 併用	① 対面授業を拡大		① ほぼ対面	令和3年度の授業開講にあたり、原則、面接授業での実施とし、3密を回避できない場合等については、遠隔授業の実施を認める計画である。	⑤ 差はない		②③④⑤⑦	
855	くらしき作陽大学	33. 岡山県	03. 私立大学	① 全面対面	② 大きな変化なし	周辺の感染状況について、令和2年度後期授業開始前と現在とで大きな違いがないため。						
856	ノートルダム清心女子大学	33. 岡山県	03. 私立大学	② 併用	① 対面授業を拡大	遠隔授業による授業実施を基本とするが、3週に1回は対面授業を取り入れる方式を導入する。	③ 半々	すべて対面授業が約35%、併用実施が約50%、すべて遠隔授業が約15%により判断した。	⑤ 差はない		②④⑤⑧	著作権やプライバシー保護の観点から、オンラインでの実施が不適切なものおよび各学年ごとに、学科等のコミュニティを形成・維持するのに適した授業内容のものは対面実施とする。
857	川崎医科大学	33. 岡山県	03. 私立大学	① 全面対面	④ その他	2020年度2学期(9月～)と同内容で実施						

No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
858	就美大学	33. 岡山県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	遠隔授業は利便性の面で優れていると言え反面、公平な試験実施や成績評価が難しいという問題を抱えている。	①ほぼ対面	履修者数が多く、どの教室に担当しても十分に座席間隔を確保できない科目（本学では履修者数が80名以上となる科目）は原則的に遠隔授業とすることとしている。	④その他		①②③⑥	
859	川崎医療福祉大学	33. 岡山県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	授業のうち、特に実習・演習については対面授業以上の学習効果は期待できないと判断したため。						
860	山陽学園大学	33. 岡山県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	このたびのコロナ禍での取組の中で、オンラインでの学生対応の難しさや、対面でのコミュニケーションの大切さを認識した。	①ほぼ対面	出来る限り面接授業とする方針で進め、教育効果を勘案しつつ、履修者の多い授業の一部をオンラインで対応することとした。		⑤差はない	②③④⑤	
861	倉敷芸術科学大学	33. 岡山県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
862	岡山学院大学	33. 岡山県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
863	中国学園大学	33. 岡山県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
864	環太平洋大学	33. 岡山県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	万一の場合には遠隔授業への移行を速やかに行うが、学生・保護者の期待に応えるには面接授業が必要であると感じた。						
865	岡山医療専門職大学	33. 岡山県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	令和2年度は全講義室にソーシャルディスタンスを確保し、全講義を対面を実施したため、令和3年度も基本的な方針は変わらないが、緊急事態宣言などが発令された場合は遠隔授業を併用する等の対応を行う。						
866	美作大学	33. 岡山県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	本学の位置する岡山県津山市の感染状況はきわめて低く、学内でも感染対策を徹底しているため。						
867	就美短期大学	33. 岡山県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	遠隔授業は利便性の面で優れていると言え反面、公平な試験実施や成績評価が難しいという問題を抱えている。	①ほぼ対面	履修者数が多く、どの教室に担当しても十分に座席間隔を確保できない科目（本学では履修者数が80名以上となる科目）は原則的に遠隔授業とすることとしている。	④その他		①②③⑥	
868	岡山短期大学	33. 岡山県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
869	作陽短期大学	33. 岡山県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	周辺の感染状況について、令和2年度後期授業開始前と現在とで大きな違いがないため。						
870	中国短期大学	33. 岡山県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
871	山陽学園短期大学	33. 岡山県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	このたびのコロナ禍での取組の中で、オンラインでの学生対応の難しさや、対面でのコミュニケーションの大切さを認識した。	①ほぼ対面	出来る限り面接授業とする方針で進め、教育効果を勘案しつつ、履修者の多い授業の一部をオンラインで対応することとした。		⑤差はない	②③④⑤	
872	川崎医療短期大学	33. 岡山県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	令和2年度後期から教室を分散する等の感染対策を講じて原則として面接授業を実施しており、令和3年度前期も同様の方法で実施できると考えたため。						
873	津山工業高等専門学校	33. 岡山県	04. 高等専門学校	①全面対面	①対面授業を拡大							
874	広島文化学園大学	34. 広島県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
875	広島大学	34. 広島県	01. 国立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	後期に学生へ実施した学生生活に関するアンケートにおいて、キャンパスに通学できないことによる生活リズムの乱れ（睡眠不足など）、教員・友人とのコミュニケーション不足、修学上の不安を抱える学生が一定数いることが分かったため。また、本年度実施した「保護者向け地域懇話会」でも、同様の理由から対面授業の拡大を求める意見が多かったため。						
876	県立広島大学	34. 広島県	02. 公立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生調査によると、オンライン授業の満足度は高く手法として有用である一方で、学内イベント等を通じての成長はオンラインだけでは育めないと考えたため	③半々	学生が学内での学習機会を設けると同時に、新型コロナウイルスの感染拡大の影響や学内で感染が発生するリスクを検討し、面接授業と遠隔授業を融合させたハイブリッド授業とした。感染防止対策として講義室等の収容人員を半数としていることを一つのメルクマールとしている。	②学年ごとに差	新2年生はこれまで学内での学習機会が少なかったことから、新1年生に準じた学内での学習機会を提供できるよう、対面授業を積極的に取り入れることとした。	②④⑤⑥	
877	尾道市立大学	34. 広島県	02. 公立大学	②併用	①対面授業を拡大		②7割対面		①学部ごとに差	美術学科はカリキュラム上、実習要素の強い科目が多く占めているため、他学科に比べて面接授業の比率が特に高い。	②③④	
878	広島市立大学	34. 広島県	02. 公立大学	②併用	①対面授業を拡大	感染防止を図りつつ、面接授業を主として実施することを基本として、2021年度前期授業の実施方針を次のように学生等へ示しています。新型コロナウイルス感染症への感染防止を図りつつ、大学における教育効果を最大限に発揮することを目標として実施する。学部生を対象とする授業については、この目標の下、対面式授業の履修者数割合を全学で70%程度とすることを目標とし、また、その中で、新2年生（2020年度入学者）及び2021年度新入生の大学における学修や交流の機会を優先的に確保することを基本的な考えとして、2019年度以前の履修者数データに基づき、次とおりとする。なお、大学院生を対象とする授業については、上記目標の下、授業ごとに対応する。 1 講義（理学）科目のうち、次の科目については、原則として、オンライン授業とする。オンライン授業は、その利点を活かして対面式授業と同等の教育効果が上がるよう実施する。 ・講義室内のソーシャルディスタンス確保が難しい履修者数の多い講義科目 ・演習・実験等の対面式授業が比較的多い学部3年生以上を対象とする講義科目 2 1以外の科目については、原則として、対面式授業とする。 なお、学生本人に基礎疾患がある等の理由により、対面式授業への参加が困難な場合は、個別に対応する。 3 1及び2を原則としつつ、学部・学年ごとの受講者数などを考慮し、科目によっては原則外の方法で実施する場合、あるいはオンライン授業と対面式授業を併用して実施する場合がある。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況により、学期の途中で対面式授業をオンライン授業に切り替えたり、オンライン授業を対面式授業に切り替えたりする可能性がある。	②7割対面	2-3に記述した2021年度前期授業の実施方針のとおりです。	③学部・学年ごとに差	2-3に記述した2021年度前期授業の実施方針のとおり、2年生を対象とした授業科目を優先して面接授業としており、3年生以上と比べて、面接授業の割合が高くなっています。また、実習科目が多い芸術学部では、他の学部（国際学部及び情報科学部）に比べて面接授業の割合が高くなっています。	①②③④⑤⑦	
879	福山市立大学	34. 広島県	02. 公立大学	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	学生と教職員を新型コロナウイルス感染症に感染させないことを最優先の原則とし、「3つの密」を回避するなかで、面接授業を実施する。ただし、必要に応じて遠隔授業を実施する。授業実施形態の判断の目安は、履修登録者数が100人を超える授業は遠隔授業、50人を超え100人以下の授業は面接授業又は遠隔授業、50人以下の授業は面接授業。	③学部・学年ごとに差	授業実施形態の判断の目安を履修登録者数としているため、入定員数の多い学部は遠隔授業の実施比率が高くなっている。低学年は必須の人数で受講する授業科目が多いため、遠隔授業の実施比率が高くなっている。	②③④⑤⑦	



No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
880	叡啓大学	34. 広島県	02. 公立大学	②併用	④その他	本年4月に開学する新設大学のため、前年度との比較はできない。	②7割対面	対面の必要性が高い回の授業を対面とし、それ以外は対面と遠隔を半々とした。	⑤差はない		①④⑤⑥	
881	エリザベト音楽大学	34. 広島県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	昨年6月より対面授業を実施しており、それを来年度も継続するために②とした。						
882	広島経済大学	34. 広島県	03. 私立大学	①全面対面								
883	広島工業大学	34. 広島県	03. 私立大学	②併用	③遠隔授業を拡大	面接授業に固執するのではなく、双方の利点を活用して、より効果的な授業運営に取組むことを意識している。	②7割対面	令和2年度の経験から、遠隔授業の実施が効果的と思われる授業科目についてヒアリングした結果である。	③学部・学年ごとに差	2-5に記載した理由により遠隔授業を選定し、学部、学年での調整を行っていないため	②③⑤⑦	
884	広島修道大学	34. 広島県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	2020年度前期末に遠隔授業に関する学生アンケートを実施した結果、オンデマンド型授業では繰り返し視聴できた、自分のペースで学習できたなどのメリットを確認できた一方で、面接授業を希望する声が多くなかった。また、キャンパスに違い、図書館等の学内施設の利用を希望する声も多くあった。大学への帰属意識を醸成し、学生の輪を広げ成長していくために面接授業の実施や通学及び学生間の交流は必要である。	①ほぼ対面	初年次生を対象とする科目、語学、ゼミナール、実習・実技科目また過去の履修統計上、大人数の履修者ではない科目は、原則、面接授業とし、その他の授業は遠隔授業とする方針とした。方針のもと前期開講科目は8割以上が面接授業となる。	⑤差はない		②③④⑤	
885	広島女学院大学	34. 広島県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	2020(令和2)年度中に学生・教員の意見を取りまとめた結果、対面(面接)による交流の重要性を認識したため。また、学内設備を考慮すると、遠隔授業による効果より対面(面接)での効果の方が高いと判断している。	①ほぼ対面	できる限り対面(面接)授業実施を原則とし、コロナ禍での教室定員(通常の半数以下)を超える科目、感染拡大地域に居住する教員が担当する科目、基礎疾患等を持つ教員が担当する科目、基礎疾患等を持ち在宅受講を希望する学生が履修する科目、日本に入国できない外国人留学生が履修する科目について遠隔授業を実施する予定である。	⑤差はない		①②④⑤	
886	広島国際学院大学	34. 広島県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	実験、実習、演習等を伴う科目を中心に対面授業を行うこととしているが、感染状況や学生アンケートなどを考慮し、オンライン授業も併用していく予定である。	①ほぼ対面	比率については、あらかじめ方針を定めたものではなく、感染状況や授業方法・授業内容、教育効果などを踏まえた結果である。	③学部・学年ごとに差	感染状況や学生アンケートなどを考慮しオンライン授業も併用していくこととしているが、実施比率については、感染状況や授業方法、内容、教育効果などを踏まえた結果である。	②④⑤	
887	広島文教大学	34. 広島県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	遠隔授業がある程度定着し、感染を危惧する学生に学びの選択肢が増えたことは良かったが、対面授業の方が教育効果が高い科目もあるため。	①ほぼ対面	原則面接授業とし、履修人数が多く面接授業とすると密が避けられないなど感染対策が十分に行えず、遠隔授業でも教育の質が担保できると想定される科目(主に講義科目)は遠隔授業とした。	②学年ごとに差	2~4年生にかけて全学的に履修する講義形式の科目は遠隔授業の比率が高くなっているため。	①②③④⑤⑥	
888	安田女子大学	34. 広島県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	本学はコロナ禍以前とほぼ同様に原則対面授業としている。一方コロナの状況によってはいつでも遠隔授業が可能となるような仕組みも維持している。						
889	福山大学	34. 広島県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	本学では学生を1mの間隔を空けて着席させた場合、履修者数が多い科目では一つの教室に履修者全員を収容できないこと、また一部の学科では全国から学生を集めているため全国的に感染が収束するまでは現在行っている感染防止対策を緩めることは適切ではないと考え、今年度も面接授業と遠隔授業を併用せざるをえないと判断している。	②7割対面	本学が保有する教室数および感染防止対策を行う場合の各教室の収容人数と、各科目の履修者数との兼ね合いから、面接授業を実施できる科目は7割程度となる。	①学部ごとに差	各教室の収容可能人数を制限している関係で履修者数が50名から60名を境に面接授業を行う科目と遠隔授業を行う科目とを切り分けているため、1学年の学生数が100名を超える経済学部経済学科や生命工学部海洋生物科学科では遠隔授業で実施される科目が多くなっている。ただし、これらの学科においても対面の指導が不可欠な実験・実習・演習科目等では、学生を2グループや3グループに分けて各クラス別メニューを同時進行で実施するなどの対応を行っている。	①②③④⑥	
890	比治山大学	34. 広島県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	文科省からの通知、県・市の感染状況に応じた要請等を踏まえ、その都度、方針を見直している。その結果、現在は令和2年度後期当初の方針と同様の考えに至った。	②7割対面	令和2年度後期当初の方針と令和3年度前期の方針が同様であるため、令和2年度後期の学内授業実施状況調査(令和2年10月27日現在)を根拠とした。また、普通教室の座席数を全体で約7割に減らしていることを根拠とした。	①学部ごとに差		②③⑤⑦	
891	福山平成大学	34. 広島県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
892	広島国際大学	34. 広島県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	本学では、対面授業の機会を確保しながらも、オンライン授業を積極的に活用した授業運営を目指す事とした。よって令和3年度においては、対面授業を実施しつつも十分な教育効果が見込めるものは、オンラインの良さを活かしたハイブリッド型授業を実施する。	③半々	2-3記載のとおり、時間割編成を行った結果、面接授業と遠隔授業の比率が概ね半々となった。	③学部・学年ごとに差	実験、実習、演習が多い学部・学生は面接授業実施比率が高くなっている。	②⑤⑥	
893	日本赤十字広島看護大学	34. 広島県	03. 私立大学	②併用	③遠隔授業を拡大	令和2年度は、コロナ禍においても対面授業が学修以外の学生同志の繋がりがなど学生にとって重要であること、また、遠隔授業の有効性についても強く認識いたしました。令和3年度以降は感染防止対策に限らず、より積極的にIT活用を目標に、可能な科目での対面、遠隔の併用授業の実施を進めます。	①ほぼ対面	令和3年度開講の講義科目のうち面接と遠隔の併用授業を行う科目は全体の約3割程度です。その併用授業科目が遠隔授業を行う割合を約3分の1以内としております。また、講義科目以外の看護実習及び実習の科目は面接授業(随地または学内)を予定しているため、本学の面接授業の割合を8割以上としました。	⑤差はない		①②④⑤⑥	
894	広島都市学園大学	34. 広島県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし		③半々		①学部ごとに差		②③④	
895	山陽女子短期大学	34. 広島県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし		④3割対面	実験実習など遠隔授業では困難な授業に限り面接授業とした。	①学部ごとに差	食物栄養および臨床検査学科は実験実習が多いため面接が多いが、人間生活学科はそれが少ないため遠隔授業とした。	②⑦	
896	広島文化学園短期大学	34. 広島県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
897	安田女子短期大学	34. 広島県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	本学はコロナ禍以前とほぼ同様に原則対面授業としている。一方コロナの状況によってはいつでも遠隔授業が可能となるような仕組みも維持している。						
898	員工業業高等専門学校	34. 広島県	04. 高等専門学校	①全面対面	①対面授業を拡大	オンライン授業のアンケートを実施し「質問や対話がしづらい」などの意見が学生からあったため						
899	広島商船高等専門学校	34. 広島県	04. 高等専門学校	①全面対面	①対面授業を拡大	令和2年度中に学生の意見や成績等を考慮し、学生の学修の在り方として、本校は面接授業が重要であるとの認識が高まった。						
900	山口大学	35. 山口県	01. 国立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度後期は感染防止対策を講じて面接による授業を主として実施し、引き続き遠隔授業を実施することを可能としていた。令和3年度については、授業における感染事例が発生していないことから、面接授業を主として実施することとし、遠隔授業は面接授業が困難または教育効果が明らかな場合とする授業方針としている。なお、遠隔授業が授業回数の5割を超える場合は事前に届け出ることをとしている。	②7割対面	令和2年度後期は感染防止対策を講じて面接による授業を主として実施し、引き続き遠隔授業を実施することを可能としていた。令和3年度については、面接の対面による教員と学生、学生同士の交流が学生の学びの成長には重要であると考え、面接授業を主とする授業方針とした。一方、デジタルの活用による教育の高度化が求められ、授業担当教員もその教育効果を実感し活用するスキルも向上している。これらのことから、ハイブリッド・ハイフレックス講義の定着が見込まれ、教育効果の向上を見極めたうえで、面接授業は7割程度であると判断した。	③学部・学年ごとに差	実験、実習及び実技の授業については、直接対面で指導し学生が体験することで教育効果が向上する。これらの授業の比率は学部によって異なっており、推定 学部は文系学部に比して面接授業の実施比率が高くなると考えられる。また、卒業論文等の指導についても対面により直接指導する時間が多くなることから4年次の面接授業の実施比率は高くなる。	①②④⑤⑥⑦	

No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
901	下関市立大学	35. 山口県	02. 公立大学	②併用	①対面授業を拡大	2020年度授業（遠隔授業+一部面接授業）についての学生アンケートなどから、学生が面接授業や遠隔授業に熱心に取り組む、学んでいることが分かった。しかし、一方で面接授業の再開を求める学生の声も多くあり、2021年度については、大学の学びにおける面接授業の重要性や県内での感染状況を鑑み、感染防止対策を十分に取った上で、面接授業を実施することとした。	①ほぼ対面	過去5年間のうち、受講者数が200名を超える科目を遠隔授業とすることとした。また、面接授業を行う場合は、教室の収容定員の50%までを上限とし、定員を超える授業については遠隔での実施とする。	⑤差はない		①②③④⑤⑦	
902	山口県立大学	35. 山口県	02. 公立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度以降の入学生については、特に対面での交流機会を創出するよう努めている。	③半々	今後、感染状況等により変動する可能性があるが、現時点では今年度と同様と見込んだ。	①学部ごとに差	学科によって実験・実習等の割合が異なり、それが面接授業の実施比率に影響している。	②⑧	上記②に加えて、講義等であっても遠隔では十分に教育効果が得られない授業や、学部1、2年生の交流機会を確保するための授業については、十分な感染対策の上で面接授業を実施する予定である。
903	山陽小野田市立山口東京理科大学	35. 山口県	02. 公立大学	②併用	①対面授業を拡大	全ての教室に手指消毒薬を設置し、また、教室が密にならないように配慮し教室を割り当て対面での授業を実施する。	①ほぼ対面	授業の効率を鑑みできるだけ対面での授業を行うこととした。	⑤差はない		②③	
904	梅光学院大学	35. 山口県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
905	徳山大学	35. 山口県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	文科省が推奨するコロナ対策に係る学習環境を基本とし、多人数の科目で十分な安全の確保が懸念される科目についてはオンデマンド方式やハイフレックス方式を取り入れている。	①学部ごとに差	学部ごとに在籍者が異なる為。	①②③④⑥	
906	東亜大学	35. 山口県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
907	至誠館大学	35. 山口県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	萩本校キャンパスは面接授業、東京キャンパスは面接授業と遠隔授業の併用で、東京キャンパスも順次、面接授業の比重を高める予定。	①ほぼ対面	上記の2-2のとおり。	④その他	萩本校キャンパスと面接授業のみ、東京キャンパスは面接と遠隔の併用のため。	③④⑤	
908	宇部フロンティア大学	35. 山口県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	対面授業を空間的・時間的に分散して実施するための教室と時刻割を確保するため、併用して授業を開講することにした。	⑤差はない		②④⑤	
909	山口学芸大学	35. 山口県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
910	山口芸術短期大学	35. 山口県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
911	下関短期大学	35. 山口県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
912	山口短期大学	35. 山口県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面		①学部ごとに差		①②③④⑤⑥⑦	
913	岩国短期大学	35. 山口県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
914	徳山工業高等専門学校	35. 山口県	04. 高等専門学校	①全面対面	①対面授業を拡大	令和2年度の修学状況を現場の教員の視点や、学生の意見、学年成績の状況から鑑み、対面以外での講義形式による有用性も発見できた一方、教室の雰囲気や、講師や周囲の学友との対面でのコミュニケーションは就学をおこなう上で重要な契機であると認識した。今後の感染拡大に留意して、感染リスクを回避しながら対面授業を実施する一方で、再拡大時に円滑に非対面での実施に切り替えられるよう取り組み予定である。						
915	宇部工業高等専門学校	35. 山口県	04. 高等専門学校	②併用	①対面授業を拡大	寮での感染拡大の懸念から第3学期まで遠隔授業を行ったが、第4学期には全学年の面接授業再開に踏み切り、本校から感染者を出すことなく終えることができたため、本校では、感染防止対策を十分に講じたうえで学生の学修や対面交流の機会を可能な限り提供するとの方針になった。	①ほぼ対面	地域の感染状況が落ち着いており、ほとんどの面接授業は学内で感染対策を講じたうえで従来どおり行えることと判断した。ただし、1学年合同（200名規模）授業は、十分な座席間の距離を取れる教室が確保できないため、遠隔授業を行う。	②学年ごとに差	1学年合同（200名規模）授業は、感染対策として十分な座席間の距離を取れる教室が確保できないため、遠隔授業で行う。それ以外の授業は面接授業を行う。遠隔授業の科目数（単位数）は、以下のとおり。1年1科目（1）、2年2科目（2）、3年1科目（1）、4年1科目（1）、5年0科目。	①②③④⑤	
916	大島商船高等専門学校	35. 山口県	04. 高等専門学校	①全面対面	②大きな変化なし	特になし						
917	徳島大学	36. 徳島県	01. 国立大学	②併用	②大きな変化なし	現在のところ、本学においては新型コロナウイルス感染症の影響は少ないが、全国的に見れば感染の多い地域もあり、帰省や就職活動等で県外に移動する学生もいるため、新型コロナウイルス感染症の状況が全国的に落ち着くまでの間は授業方針に変更はない。	②7割対面	実験・実習等については遠隔での実施が困難である。また、講義については本年度第1回目（できれば第2回目も）は遠隔で実施し、県外から帰省した学生の健康観察期間を設けるが、それ以降については学部や教員の判断に任せているため、面接授業の方が多くと推測される。ただし、本学の感染状況が上がれば遠隔授業が推奨となるため、比率も変わることもとなる。	③学部・学年ごとに差	実験・実習等がある理系の学部は文系の学部より面接授業の実施比率が高く、また、教養科目が多い低学年については専門科目や卒業研究がある高学年に比べ、遠隔授業の実施比率が高い傾向にあると思われる。	②③	
918	鳴門教育大学	36. 徳島県	01. 国立大学	②併用	②大きな変化なし	徳島県においては、コロナウイルス感染者数が他県と比べても少なく推移していること、また、本学では感染者が出ていないことなどを鑑み、後期と同様の授業形態で実施することとした。	①ほぼ対面	徳島県においては、コロナウイルス感染者数が他県と比べても少なく推移していること、また、本学では感染者が出ていないことなどを鑑み、面接授業を主体とすることとしたが、感染症対策の観点から遠隔授業による実施が妥当である場合や入学できない留学生に対して遠隔授業を実施する必要があることから、上記の比率となった。	⑤差はない	本学は単科大学のため、学部間等の差異は特に認められない。	①⑤⑥⑦	
919	四国大学	36. 徳島県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	F0委員会において全教職員と全学生を対象としてアンケートを実施した結果、遠隔授業にはコミュニケーション上の難点がある反面、授業に集中しやすい、繰り返し学習することが出来る等も分かってきた。授業の理解度については、理解不十分なまま授業を受けている学生がいる可能性が否定できないことから、面接授業を実施することになった。						
920	徳島文理大学	36. 徳島県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	学生が部活動を含む諸活動に積極的に取り組んでいる。						
921	徳島工業短期大学	36. 徳島県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	面接授業でなければ、国交省の認定基準を満たすことは難しい。						
922	阿南工業高等専門学校	36. 徳島県	04. 高等専門学校	①全面対面	①対面授業を拡大	コロナ禍において、本校が教育の核と考えるものづくりに関して特に重要な実験実習のための登校週間を設けた。遠隔では効果が少ないことを実感した。クラスづくりも然り。						
923	香川大学	37. 香川県	01. 国立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	対面による学生同士や学生と教職員の間の人的な交流等も重要な要素と考え、令和3年度の授業は、感染防止対策を講じた上で、対面により実施することを基本とした。						
924	香川県立保健医療大学	37. 香川県	02. 公立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
925	四国学院大学	37. 香川県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	感染防止対策を徹底し、対面授業をベースにしながら、一部遠隔授業を取り入れる。	①ほぼ対面	2021年3月時点で教員より提出されているシラバスの情報に基づく。	⑤差はない		②③④	

No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
926	高松大学	37. 香川県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	遠隔授業では、学生の理解度を図り辛い						
927	香川短期大学	37. 香川県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	香川県の感染状況は、現在低い水準で落ち着いている。令和2年度は本学の学生・教職員から1人の感染者も出なかった。令和3年度も最大限の感染拡大防止対策を行い、原則面授業（一部の科目で遠隔授業）を実施する予定である。	①ほぼ対面	令和2年度後期の実績を基に判断した。	⑤差はない		①②③④⑤⑥⑦	
928	高松短期大学	37. 香川県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	遠隔授業では、学生の理解度を図り辛い						
929	せとうち観光専門職短期大学	37. 香川県	03. 私立大学	①全面対面	④その他	令和3年度開学であるため該当しません。						
930	香川高等専門学校	37. 香川県	04. 高等専門学校	①全面対面	②大きな変化なし							
931	愛媛大学	38. 愛媛県	01. 国立大学	②併用	①対面授業を拡大	本学を感染の発生源としない努力を継続しながら、学生への「学びの機会、キャンパスライフを提供する」ことの重要性を強く認識している。	③半々	3密回避のため教室定員を少なくしていることに加えて、令和3年度は共通講義様の改修が予定されており教室が不足するが、可能な範囲で面授業を実施予定のため。	①学部ごとに差	学部によって授業科目の専門分野や、産学・実務・演習・グループワークなど適する授業実施形態が異なること、遠隔での実施に適する科目と適さない科目があること、また3密回避のためソーシャルディスタンスをとる必要があり、全体として教室確保の課題もある。	①②③④⑤⑥⑦	
932	愛媛県立医療技術大学	38. 愛媛県	02. 公立大学	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	大学で定めたBCPIに従っている。	③学部・学年ごとに差	原則は対面授業だが、病院実習の学生の受け入れが困難な場合に遠隔授業を行うため、学部・学年により異なる。	②④	
933	松山大学	38. 愛媛県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生に実施したアンケート調査や教務関係の会議で検討を重ねた結果、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を最大限に講じながら、社会情勢を踏まえた原則として面授業を実施することとなった。	①ほぼ対面	授業の特性を踏まえ、面授業よりも遠隔授業の方が効果的であると判断される科目についてはハイブリッド型授業やオンデマンド型授業を実施する。	③学部・学年ごとに差	実習が多い学部・学年は面授業が多くなっている。	①②③④⑤⑥⑦	該当せず
934	聖カタリナ大学	38. 愛媛県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面		⑤差はない		①②③④⑤	
935	松山東雲女子大学	38. 愛媛県	03. 私立大学	①全面対面	④その他	令和2年度も原則対面授業を実施。令和3年度も引き続き対面を原則とし状況によってハイブリッド授業とする。						
936	今治明徳短期大学	38. 愛媛県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	小規模短期大学であり、また、新型コロナウイルス感染症の拡大の恐れが少ないことから、徹底した予防対策を講じ、いまままでどおり、面授業を実施する。						
937	松山東雲短期大学	38. 愛媛県	03. 私立大学	①全面対面	④その他	令和2年度も原則対面授業を実施。令和3年度も引き続き対面を原則とし状況によってハイブリッド授業とする。						
938	松山短期大学	38. 愛媛県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
939	新居浜工業高等専門学校	38. 愛媛県	04. 高等専門学校	①全面対面	①対面授業を拡大	低学年で遠隔授業で慣く学生が散見されたため、横のつながり形成のため対面で学ぶ機会を重要であると認識した。						
940	弓削商船高等専門学校	38. 愛媛県	04. 高等専門学校	①全面対面	①対面授業を拡大							
941	高知大学	39. 高知県	01. 国立大学	②併用	②大きな変化なし		②7割対面	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、教室の収容定員を通常の1/3~1/2程度とするなどから、すべての授業を対面で実施することは難しい。	③学部・学年ごとに差	1年生の共通教育の初年次科目は対面で実施、また、実験、実習・実技は原則対面で実施するため、学部・学年によって面授業の実施割合が異なる。	②③④⑤⑥	
942	高知県立大学	39. 高知県	02. 公立大学	②併用	②大きな変化なし		②7割対面		⑤差はない		①②③④⑤⑥⑦	
943	高知工科大学	39. 高知県	02. 公立大学	②併用	②大きな変化なし	令和2年度後期と比較し、状況は落ち着いているものの、新入生が県外から入学することや春休み中の学生の移動を考慮し、現状を継続することとした。	①ほぼ対面	基本的に全学的に面授業とするが、遠隔での授業の教育効果が見込まれる科目については、各学群の判断で一部遠隔授業を認めている。ただし、遠隔授業の割合は、各学群専門科目のうち概ね2割以下となるようにしている。	③学部・学年ごとに差	2-5での回答のとおり	①②③④⑥⑦	
944	高知リハビリテーション専門職大学	39. 高知県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	令和2年度後期感染症対策を行いながら面授業を実施した結果、特に感染者を出すこともなく終えることができたので令和3年度も同様の対策を講じながら面授業を行う						
945	高知学園大学	39. 高知県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	大学が所在する高知県内の感染状況は落ち着いていること、昨年5月中旬以降でできる限りの感染予防対策を講じつつ対面授業を継続してきたが、学内での感染は確認されていない。このようなことから、何時でも感染状況の急変に備え、遠隔授業の実施に備えつつ対面の授業を中心として授業を実施する予定である。						
946	高知学園短期大学	39. 高知県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	短期大学が所在する高知県内の感染状況は落ち着いていること、昨年5月中旬以降でできる限りの感染予防対策を講じつつ対面授業を継続してきたが、学内での感染は確認されていない。このようなことから、何時でも感染状況の急変に備え、遠隔授業の実施に備えつつ対面授業を中心として授業を実施する予定である。						
947	高知工業高等専門学校	39. 高知県	04. 高等専門学校	②併用	①対面授業を拡大	令和3年度についても感染防止対策を行いながらの学校生活を継続することが必要と考え、令和2年度は、遠隔授業と対面授業（面授業）を併用することで、両方の利点を活かした効果的な授業をある程度行うことができた。令和2年度におけるコロナ対策という消極的な意味でなく、授業効果を高めるという積極的な意味で、遠隔授業と対面授業を併用している。	②7割対面	対面授業を基本とするが、令和2年度の学生の授業評価等を考慮して、担当教員が遠隔授業の方が授業効果が高いと判断する場合は、遠隔授業もしくは両方の併用により、授業を実施する。4月中に、全教員に授業形態（対面、遠隔、両方の併用等）調査を行う。	②学年ごとに差	2-5で回答しているように、授業形態（対面、遠隔、両方の併用等）調査は4月中に行う予定であるため、正確な実施比率は現時点で分からないが、低学年（1,2年）では自分で勉強時間、方法をうまくコントロールできないので、対面授業の方が授業効果が期待されるため、対面授業の実施比率が高くなる傾向がある。一方、高学年（3年生以上）では専門科目が多くなり、自主的に勉強する意識が高くなっているため、遠隔授業での授業効果が期待されるため、遠隔授業の実施比率が高くなる傾向がある。	①②③④⑤⑥⑦	
948	九州工業大学	40. 福岡県	01. 国立大学	②併用	②大きな変化なし	令和2年度後期授業方針は、面接と遠隔の併用であり、令和3年度前期も同方針のため、変更はない。	③半々	豊かな人間性を涵養する上で、対面による交流も重要であることから、実験、実習あるいは学部低学年の講義等を中心に、対面授業を実施する。併せて、感染症への対応および教育手法としての利点を踏まえ、遠隔授業を活用する方針を令和3年度第1クォーターは決定している。	②学年ごとに差	令和2年度後期は、学部低学年を中心に面授業を実施しており、令和3年度前期も当該方針を継続するため、低学年は面授業の割合が高い。	①②④⑤⑥⑦	

No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
949	福岡教育大学	40.福岡県	01.国立大学	②併用	②大きな変化なし	令和2年5月14日付けの1度目の緊急事態宣言の解除を受けて以降、教員養成系大学として実践力のある教員を養成するというミッションを果たすべく、「面接授業実施に係るガイドライン」を策定し、十分な感染予防対策をとった上で対面の形態で授業を行うことを原則とする授業実施の基本方針を学期ごとに定めている。また、その基本方針では受講生数が多く、身体的距離を確保して受講生全員を1教室に収容することが困難な場合や対面の形態では十分な感染防止対策をとることができない授業で、かつ、授業受講者の学修状況、授業評価結果などを勘案し、十分な教育効果を上げることができると判断される授業科目は、遠隔授業の形態で実施することも定めている。この基本方針に定めた考え方は、令和2年度後期・令和3年度前期ともに大きく変えていない。	②7割対面	令和3年度前期授業実施の基本方針として、本学が策定している「面接授業実施に係るガイドライン」に沿って十分な感染予防対策をとった上で、対面の形態で実施することを原則としており、受講生数が多く、受講生全員を1教室に収容することが困難な場合やどのような措置をとっても感染防止対策ができない授業、担当教員に基礎疾患がある授業については、遠隔授業の形態で実施することができるように定めている。また、十分な教育効果を上げることができると判断される場合は、授業の一部または全部を遠隔授業の形態で実施できると定めている。さらに遠隔授業を実施する場合には、授業担当教員から学部長・研究科長へ十分な教育効果を上げることができると判断される場合に事前に申請させ出講する許可制をとっており、これらの調整の結果が今回の比率となっている。	⑤差はない	特に差はない。	①②③④⑤⑥	なし
950	九州大学	40.福岡県	01.国立大学	②併用	①対面授業を拡大		③半々	現時点での学務情報システムへの入力状況及び以下の方針より判断。2021年度からの授業等の在り方に関しては、7月から11月に「授業等の在り方に関する検討会」を開催し検討を行いました。その結果、本学は教員と学生を中心とする各構成員がキャンパスにおいて日常的に教育研究活動を実施してきた大学であるという原点に立ち、2021年度以降、新型コロナウイルスを含む様々な感染症対応を前提に、段階的な対面授業の再開を進めていくこととしました。具体的には、令和3年度の対面授業の実施にあたっては、学生が遠く日程度以上、キャンパスにおいて教育研究活動を行えるように進めることとしています。なお、大学での活動、生活の初期にあたり、丁寧な指導や友人作りなどが必要であるため、すべての学部1年生が受講する初年次基礎教育科目は原則対面授業により実施することとしています。	①学部ごとに差		①②④⑥⑦	
951	北九州市立大学	40.福岡県	02.公立大学	②併用	①対面授業を拡大	感染症専門家により感染症予防の見解、施設整備、教職員の感染予防体制及び学生の感染症予防に対する理解を十分に得られたため、令和3年度第1学期より「対面を原則とする」との授業方針を定めた。	①ほぼ対面	感染症アドバイザー等の意見を基に、教室において十分な距離をとることができない大人数の講義を遠隔とした結果、上記の割合となった。	②学年ごとに差	遠隔を予定している大人数の授業には、主に教養科目が含まれており、教養科目の受講比率の高い1年生では、遠隔授業の比率が高く、ゼミなど専門科目の受講比率の高い3、4年生では、対面授業の比率が高くなる。	①②③④⑤⑦	
952	九州歯科大学	40.福岡県	02.公立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度は実習や演習以外の講義の大半を遠隔で実施したが3年度前期は感染対策を講じた上で講義も対面実施する。	①ほぼ対面	令和3年度前期は授業のうち実習や演習は全て対面で実施する。講義は出席学生を講義室定員の2分の1以下で行う対面授業を同時中継する「ハイブリッド授業」として実施する。	②学年ごとに差	学部や学年によって授業のうちの实習や演習の割合が異なっているため。	①②④⑤⑥⑦	
953	福岡女子大学	40.福岡県	02.公立大学	②併用	①対面授業を拡大	2020年度の新入生は、対面による授業の教育効果を十分に享受したとは言えない状況にあるため、2021年度の授業の実施方針を検討するにあたり1年生および2年生を中心に原則対面による授業を行うこととしたもの。	②7割対面	2-3に記載したとおり、対面による授業を実施することを原則とするが、感染対策の観点から教室のキャパシティを定員の割程度とせざるを得なかったため。	②学年ごとに差	2020年度に対面による授業を半期以上受講できなかった新2年生および、全寮制のためキャンパス近隣に居住している新1年生を中心に対面授業を実施する。教室のキャパシティの関係から新3、4年生は遠隔授業の割合が高くなっている。	①②③④⑤⑥⑦⑧	日本に未入国の留学生が履修する科目については対面授業を同時に実施する予定。
954	福岡県立大学	40.福岡県	02.公立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生にアンケートを行ったところ、対面での授業が好ましいという意見があった。	①ほぼ対面	比率については定めていない。国や県による新型コロナウイルス感染症予防についての指針に沿って面接授業が行えない科目は、遠隔授業を行うこととしている。	⑤差はない		①	
955	九州共立大学	40.福岡県	03.私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	本学では、授業評価アンケート及び学長と学生との懇談会(学長ミーティング)の実施、一回につき4名程度の学生が出席)を通じて、学生から対面授業で学びたい、部活動や友達との交流を深めたいなどの要望があったことから、授業では、基本的な新型コロナウイルス感染対策を行いながら、学生の学びを保証した。また、クラブ活動や寮生活の中で新型コロナウイルスが発生しているケースが多いため、クラブ指導や寮生活における新型コロナウイルス感染対策の指導を十分に行っている。						
956	九州女子大学	40.福岡県	03.私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
957	九州国際大学	40.福岡県	03.私立大学	②併用	①対面授業を拡大		②7割対面	演習、語学、必修科目、学部が指定する科目を中心に小人数クラス、対面による指導による効果が得られる(不可欠)科目は対面授業を実施する。	②学年ごとに差	1、2年の必修科目は対面授業を実施するため、学年により比率が異なる。	①②③④⑤	
958	福岡歯科大学	40.福岡県	03.私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	令和2年6月の緊急事態宣言解除後はほぼ対面授業に切り替えていたため。						
959	九州産業大学	40.福岡県	03.私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	遠隔授業については、様々な工夫により面接授業と同程度しくはそれ以上の教育効果を得られることが判ってきた。一方で、全体的にはサークル加入率は増加したものの、1年次のサークル加入率が低下した状況があり、キャンパス内外で学生同士や教員が対面する機会が減少することによる弊害が感じられたことから、対面で様々な活動を行うことの重要性を再認識したため。						
960	久留米大学	40.福岡県	03.私立大学	②併用	②大きな変化なし	教室・設備とキャンパスの三密基準を設定し、可能な範囲で対面授業を実施。キャンパス全体及び教室、設備の感染対策上の要領(来校者1日3,000人以下、終日1,000人以下)で教室の収容定員の50%の受講者)と、実習・対面授業の必要性及び感染対策可能性、卒業・資格要件や学習順次性、一般的な学修指導などの観点から判断する。	③半々	キャンパス内収容定員(学生食堂の収容能力)、教室の収容定員(原則、収容定員の50%の受講者とする)	①学部ごとに差	・医学部については、感染対策を講じつつ、コロナ禍以前と同様の範囲(8割以上)で面接授業を実施する予定としている。学部の性質上、実習が多く対面授業でない効果を得られないものが多いこと。また、協同学習などを推進しているため。・文学部社会福祉学科及び人間健康学部等、資格取得のための実習・実技科目が多い学部については、面接授業の比率が高い。	②④⑤⑥	
961	西南学院大学	40.福岡県	03.私立大学	②併用	②大きな変化なし		①ほぼ対面	対面での授業の重要性を認識して、その割合を増やす方向で検討し、感染対策が講じられる範囲内での対面授業の実施と決めた。	⑤差はない		①②③④	
962	第一薬科大学	40.福岡県	03.私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
963	中村学園大学	40.福岡県	03.私立大学	②併用	②大きな変化なし	令和2年度後学期においては面接授業と遠隔授業を併用しつつも、感染防止対策を徹底してできる限り面接授業を行ってきた。令和3年度においても、新型コロナウイルス感染状況及び感染防止対策はほとんど変わりがない。	②7割対面	令和2年度後学期と方針はほとんど変わらないので、令和2年度後学期の実施を元に判断している。	③学部・学年ごとに差	学部学科・学年により面接授業が必要な実験実習の科目の実施回数に差があるため。また、新入生においては、出来るだけ面接授業を増やし大学との信頼関係や友人関係の構築を行った上で、遠隔授業に臨ませようとしている。	②③④⑤⑥	
964	西日本工業大学	40.福岡県	03.私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	対面授業における教室ではマスク着用の義務、学生間の距離を1m以上の間隔をあげ教室ごとの授業受講者数の抑制を行う。						
965	福岡大学	40.福岡県	03.私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	令和2年度後学期は、遠隔授業中心で進み、面接授業へは段階的な移行となったが、令和3年度は、学生の学修機会を可能な限り確保することを目的とし、感染症対策等の準備を行ったうえで面接授業で開講することとなった。						



No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
966	福岡工業大学	40. 福岡県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	通学による感染リスクを懸念する声がある一方で、孤独感や孤立感を感し面接授業を希望する声が増えたため。	①ほぼ対面	学びのコミュニティ形成に重点をおき、必修科目、実験実習科目を面接授業としたほか、1・2年生の授業を面接授業とした。	⑤差はない		②④⑤⑥⑦	
967	日本経済大学	40. 福岡県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	未だ感染が収束しておらず、第4波、第5波が起きても対応できる授業形態としている。	②7割対面		⑤差はない		②③④	
968	久留米工業大学	40. 福岡県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし		②7割対面	令和3年度前期時間割より確認した。	⑤差はない	4年生以外はほぼ同じ比率で実施している。	②⑤⑥	
969	産業医科大学	40. 福岡県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度は、学生の積極的な授業参加や教員との交流のため、可能な限り面接授業を実施したいと考えていたが、新型コロナウイルス感染拡大状況から対面と同等の教育の質を確保が困難であった。オンライン上での学生同士のコミュニケーションも重視したところではあるが、令和3年度も可能な限り面接授業を行う考え方に変わりはない。	②7割対面	福岡県の感染状況、緊急事態宣言解除などの状況等を総合的に判断した上で、実験・実習は面接授業を行い、講義についても可能な限り面接授業を行うこととする。	②学年ごとに差	実験・実習については、密を避けるため学生を分散させ、感染防止対策をとりながら全学年面接授業を行う。座学の講義については、基本的には面接授業とするが、講義室数に限りがあることから、学年ごとに異なる対応をとる。<1年次>大講義室で面接授業。<2・3年次>学生を半数(中講義室2室)に分け、1室で面接授業、もう1室は音声・画像を共有したサテライト授業形式とし、学生の入替えを行う。<4年次>学生を半数に分け、(中講義室)1室で面接授業、残りの半数は遠隔授業での自宅受講とする。<6年次>講義室がないため、全員、遠隔授業での自宅受講とする。	②④⑤⑥	
970	筑紫学園大学	40. 福岡県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度は遠隔授業を実施し、十分な教育効果が得られることが認識されたものの、各種アンケートの結果なども踏まえ、現時点では対面授業の方が教育効果が高いと判断している。学生の学習習慣を取り戻すためにも対面授業の割合を高く必要がある。	①ほぼ対面	対面授業を原則として、全学共通科目ならびに学部共通科目のうち、100名以上の履修者が見込まれる科目や、教室のキャパシティの事情により十分な感染対策を実施できない科目については、遠隔授業とする予定である。	⑤差はない		①②③④⑤⑥	
971	福岡女学院大学	40. 福岡県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～に沿って教室の収容人数を考慮した場合、全学的に面接授業は困難であるが、令和2年度よりも面接授業を増やす予定。	②7割対面	必修のゼミ形式の科目、免許・資格で対面を必要とする演習、実験、実習、実技科目、演習形式の学科専門必修科目を中心に面接授業とした。	③学部・学年ごとに差	教員養成系の学科、実験・実習科目を多く配置している学科が所属する学部においては、遠隔授業での対応が困難な部分があるため、どうしても面接授業の割合が高くなっている。	①②④⑤⑥	
972	西南女学院大学	40. 福岡県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	大学生活は学問を究めるだけでなく、大学環境の中で教職員と学生及び学生間で互いに刺激を与え、人間として成長する場でもあるとの考えから、対面授業は重要であるとの考えに至った。	③半々	学科の中で、学修効果を考慮し、対面が重要と考えた科目については、対面授業とし、受講生が多く予想される科目(学部合同や学科合同の科目)については、講義等の関係もあり、遠隔授業とした。	①学部ごとに差	学科によっては、少人数教育という考えから小クラスわけしている。それと合わせて非常勤講師の担当も多いことと出勤日が違うため、学生の公平性を保つて、一方のクラスを対面、一方のクラスを遠隔にすることができないため、それに該当する科目が多く、対面と遠隔の割合に差が出ってしまった。	②④	
973	九州情報大学	40. 福岡県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		③半々		⑤差はない		②③④⑤⑥⑦	
974	九州栄養福祉大学	40. 福岡県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	面接授業の方が、特に実験・実習等の科目においては学生が身につけるべき能力を育成しやすく、学修成果をさらに向上させることにつながるため。	①ほぼ対面	ほとんどの授業を面接授業で実施する予定であるが、感染防止対策上、受講生数が講義室のキャパシティを超える一部の授業においては遠隔授業で実施する。	⑤差はない		①②③④⑥	
975	日本赤十字九州国際看護大学	40. 福岡県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	ICT環境を整えられない学生の為に、大学のPCを開放する等対応したが、うまく機能していない実態がある。また学生同士の交流が無いことにより、学修効果が減退し、メンタルヘルズに支障をきたしていることから、十分な感染対策を講じつつ原則、対面授業の方針とした。						
976	聖マリア学院大学	40. 福岡県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	全面的に対面授業に切り替えるには時期尚早と判断したため。	③半々	三密を避ける環境で授業を行うためには大学施設のキャパシティを考えると半々程度が妥当であると判断した。	②学年ごとに差	低学年(特に1年生)は大学で学ぶことを直接的に教授するために面接授業の割合を高くし、自主的に学ぶ姿勢が確立している3・4年生は遠隔授業の割合を高くした。(但し実習については全学年面接授業)	②④	
977	福岡女学院看護大学	40. 福岡県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	学内設備の整備により、授業実施方法の幅が広がったこと、また、学生からの意見を通して、新入生が大学における学びの基礎を築くにおいては、学生間および教職員との交流が不可欠であることを改めて認識したため。	①ほぼ対面	授業は基本的に面接授業とするが、必修科目はほぼ全てが学年単位のため、教室内での集団の形成を避けるために学年を分割しての同時中継や、収録してのオンデマンド配信を実施する。また、演習、実習や実技、選択科目については対策を講じて面接授業を実施する。以上のことから、8割以上が面接授業であると判断した。	⑤差はない		①②④⑥	
978	保健医療経営大学	40. 福岡県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
979	純真学園大学	40. 福岡県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	遠隔授業では実験・実習の多い本学の授業をカバーできない部分があるため。	①ほぼ対面	感染対策が十分にとれない人数での授業となる場合は遠隔授業を採用している。	⑤差はない		②③④⑤⑥	
980	福岡看護大学	40. 福岡県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		③半々	看護技術修得に係る演習形態の授業については、可能な限り対面とし、産学で対応できる授業については、感染リスクを勘案し遠隔授業とした。	⑤差はない		②⑤⑥	
981	福岡国際医療福祉大学	40. 福岡県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	今後の感染状況の見通しが不明であるため、現状を維持						
982	折尾愛真短期大学	40. 福岡県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	教員と学生から対面授業を求める声が強い。	①ほぼ対面	ソーシャルディスタンスを確保できるかどうか	④その他		①③	
983	九州女子短期大学	40. 福岡県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
984	東筑紫短期大学	40. 福岡県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	面接授業の方が、特に実験・実習等の科目においては学生が身につけるべき能力を育成しやすく、学修成果をさらに向上させることにつながるため。						
985	福岡女子短期大学	40. 福岡県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
986	近畿九州九州短期大学	40. 福岡県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	令和2年度に感染対策を講じて対面授業を実施したため。						
987	久留米信愛短期大学	40. 福岡県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	現状を鑑みて、令和2年度後期の授業方針を踏襲することとした。						
988	香蘭女子短期大学	40. 福岡県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	学修成果を考えた上での判断となった。・原則、対面授業での実施。						
989	純真短期大学	40. 福岡県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
990	精華女子短期大学	40. 福岡県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	三密回避、消毒、換気の徹底等により感染者が出ていないため。						
991	西日本短期大学	40. 福岡県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
992	九州大谷短期大学	40. 福岡県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
993	福岡こども短期大学	40. 福岡県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	受講生の多い講義科目については遠隔授業、演習科目・実技科目については面接授業を行う	⑤差はない		②③④	他県に移動して実習を行うことを考慮し、実習前の2～3週間は遠隔授業を予定している。
994	福岡医療短期大学	40. 福岡県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							

No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
995	久留米工業高等専門学校	福岡県	04 高等専門学校	①全面対面	②大きな変化なし							
996	有明工業高等専門学校	福岡県	04 高等専門学校	①全面対面	②大きな変化なし	高専として実践的技術者を育成するためには、面接による実験・実習授業は欠かせない。						
997	北九州工業高等専門学校	福岡県	04 高等専門学校	①全面対面	②大きな変化なし							
998	佐賀大学	41. 佐賀県	01. 国立大学	②併用	①対面授業を拡大	対面での交流機会の減少から、メンタル面で不調をきたす学生に対する配慮の必要性を認識した。また、対面のほうが教育効果の高い授業や公平な定期試験の実施などの質の保証のためには、対面授業を実施せざるを得ない。	②7割対面	全ての授業科目を分母とし、授業科目の中で対面の活動が行われている科目を面接授業とし、分子としている。面接授業には、面接授業の内容の同時・単独授業や、授業毎面に面接と取組によるオンライン配信を組み合わせた授業、遠隔と学生を少人数グループに分けた上での交代制での面接授業を併用する授業などが含まれる。	③学部・学年ごとに差	②③④⑤⑥⑦	大学院の一部では、遠隔授業の方が教育効果が高いと判断された科目が比較的多く、面接授業の実施割合が低い。学部によっては、大学での学修に慣れない1年生の授業を優先的に面接授業によって実施し、低学年の面接授業の実施割合が高い学部が有り、一方、実験・実習等の少人数で特に対面での指導が必要な授業が多くなる高学年の面接授業の実施割合が高い学部もある。	
999	西九州大学	41. 佐賀県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし		③半々	原則、講義形態科目は遠隔で実施、実技・実験・実習・演習は感染防止対策を講じた上で対面で実施。	③学部・学年ごとに差		②③④⑦	保健衛生系学部は資格に絡んだ実習科目が多いため、対面授業が多くなる。
1000	佐賀女子短期大学	41. 佐賀県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
1001	九州龍谷短期大学	41. 佐賀県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
1002	長崎大学	42. 長崎県	01. 国立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生への授業アンケートの集計結果から、特に低学年は面接授業を希望している実態を踏まえ、学生・教職員の面接の交流の機会を意図するために対面形式の授業の割合を高くしている。	②7割対面	令和2年度の授業アンケートの結果を踏まえ、大学全体の令和3年度の授業実施の方針を示し、各学部が検討した結果を調査したもの。	④その他		②④⑥	授業科目の種類、特徴や対象学生（学年、学部、大学院）に応じて、面接、オンライン（リアルタイム型、オンデマンド型）両者混在のハイブリッド（ハイフレックスも含む。）の形式を選択して実施。ただし、感染状況に応じてオンラインと面接を切り替えられるように対応する。
1003	長崎県立大学	42. 長崎県	02. 公立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生への遠隔授業のアンケートをとった際、コロナ禍での通学・授業に不安を感じる学生もいる一方、一年生を中心に学内での面接授業、コミュニケーションを希望する学生も多かった。	①ほぼ対面	面接方式を基本とし、教室内で十分距離が取れないなど感染リスクが高くなる恐れがある場合は遠隔方式とする。また、107教育推進のため一部授業において遠隔方式を取り入れる。	②学年ごとに差	新入生及び新2年生に対しては多くの授業で面接方式が実施できるように配慮することとしている。	②④⑦	
1004	長崎総合科学大学	42. 長崎県	03. 私立大学	①全面対面	④その他	令和2年度後期も基本的に対面での面接授業を行っていたため、変化はない。						
1005	活水女子大学	42. 長崎県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	学生や教員から面接授業を望む声が多い。留学生の交流の機会が減少してしまった。						
1006	長崎純心大学	42. 長崎県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	教育の質を確保するためにも、面接授業は重要であると判断したため。	⑤差はない		②③④	
1007	長崎国際大学	42. 長崎県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度に実施した遠隔授業について、「大変満足」、「満足」と回答した学生が約割で、評価は概ね高いものであった。ただ、学生及び保護者からキャンパスに入学しての対面授業や部活動を含む学生間の交流機会を増やしてほしい等の要望もあつたため、感染状況が落ち着いた時期を見計らい、感染対策を強化してうえで、これらの要望に応えるため対面授業の実施決定を行った。なお、対面授業を行うこととしたが感染も対策を講じている。また、今年度については、3月の時点で長崎県内の感染状況も落ち着いており、九州の中心である福岡県内も比較的小人数で推移していることを鑑み今回の決定に至った。	②7割対面	全体の科目数の約7割を対面授業とする。学生、教職員は、昨年からは学内で独自に作成した新型コロナウイルス対策である「健康観察項目」について、後退も含め毎朝時刻分までに大学へ報告している。「健康観察」を学生教職員全員が実施していることを前提に授業を行うこととした。学生は、健康観察の9項目のいずれかの症状がある場合はSMSメールを大学へ送信し、担当部署で対応する。また、学生の「健康観察」の実施状況は事務局、教員も確認ができる。他の感染対策としては、教室入り口に消毒液の設置や授業中の換気、教員へのサーモションの設置など感染対策を充分に行ううえで、現教室で対応できる限りにおいて対面授業を実施する。具体的には、1・2年生の科目、ゼミ等の少人数で行われる授業を優先する。	①学部ごとに差	社会福祉学科、健康栄養学科や薬学科については、必修科目が多いため科目選択の自由度が低く履修者数の想定が可能で、実験・実習等も含め1科目の履修者がそれほど多くないことから対面授業の比率を高くしている。また、国際観光学科については、学生数が1学年200人と多く科目選択の自由度が高い。全学共通科目（教養科目群）は、全学生が履修することから例年、1科目の履修者数が多くなるため、教室内が密になることが考えられる。このように国際観光学科と全学共通科目については、対人距離の確保が難しく、履修者数の想定が難しいことから、感染対策を充分に行ううえで、教室の割り当てが困難となるため対面授業の比率が下がる傾向にある。	②③④⑤⑥	
1008	長崎外国語大学	42. 長崎県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	都市部と比較して感染拡大も沈静化しており、外国語教育に重きを置いている本学においては、授業効果の最大化のためには対面授業の方がより適切である。						
1009	嶺西学院大学	42. 長崎県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
1010	長崎女子短期大学	42. 長崎県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし							
1011	長崎短期大学	42. 長崎県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	学生のアンケート結果から面接授業の重要性を感じた。						
1012	佐世保工業高等専門学校	42. 長崎県	04. 高等専門学校	①全面対面	①対面授業を拡大	毎月2回程度、新型コロナウイルスの状況等を踏まえ、対面授業継続並びに学生や保護者等が感染した際の対策等について関係教職員で情報共有を図っている。						
1013	熊本大学	43. 熊本県	01. 国立大学	②併用	②大きな変化なし		③半々	本学においては、令和2年度から引き続き新型コロナウイルス感染症の感染防止の徹底と学生の学修機会の確保の両立に向けた対応を実施するため、各授業科目で学修する内容・特性、教室の規模、受講者数等を考慮し、対面授業、遠隔授業又は対面授業・遠隔授業の併用のうち、最も教育効果の高い実施方法を選択することとしている。このことについて、大学等としてどの授業科目が遠隔授業等で実施されているかなど、個々の授業の実施状況について把握するため、シラバスシステムを改修し、対面・遠隔の開講形態の別を入力必須項目とし、この結果から判断したものである。	①学部ごとに差	学部等によっては、使用教員数が少ないこと、又、必修科目が多く1科目の受講者数が多くなるため、面接授業が少なからざるを得ない。	①②③④⑤⑥⑦	
1014	熊本県立大学	43. 熊本県	02. 公立大学	②併用	②大きな変化なし	学内、学外の学習環境に大きな変化がないこと。教室の定員以下の利用、時間外の変更など令和2年度と同様に実施。	③半々	授業の実施方法については各担当教室に判断を委ねている。	①学部ごとに差	実験、実習を行う学部においては面接授業が多く、講義形式が良い学部では遠隔授業が多い傾向にある。	②③④⑤	
1015	崇城大学	43. 熊本県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	学生による授業アンケートにより、対面授業の重要性を認識する一方で、遠隔での授業についても肯定的な意見が多かった。	③半々	各科目において教育効果が高められる授業の実施方法を検討し決定した。また、全学的な検討で、1年生には大学の授業への慣れと初年次教育等の教育効果を重視して、面接授業を増やすこととした。	③学部・学年ごとに差	芸術学部、薬学部において実習が多く、その学部の特性からも面接授業の実施比率が高くなっている。学年ごとに見ると、1年生については大学での学修に慣れていないことを考慮し、優先的に面接授業を実施するため、比率が高くなっている。	②③④⑤⑦	
1016	熊本学園大学	43. 熊本県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		②7割対面	演習（ゼミ）、実習、実技、語学など面接授業が望ましいと判断される科目について面接授業を行うものとした。また、履修者の数が原則として60名以上の授業は遠隔で行うものとした。その他教室の収容定員を考慮した結果7割程度は面接授業を行うこととなった。	①学部ごとに差	もともと少人数クラスが多い学部は面接授業の実施比率が高く、逆に大型科目を多く持つ学部は遠隔授業の実施比率が高い。	②③④	
1017	尚絅大学	43. 熊本県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	対面授業の重要性を再認識した一方で、非常時の遠隔授業の利便性は認めるものの、地域における通信設備、インフラの整備状況、学生個人の通信環境等に大いに左右されるなど数々の問題が明らかとなった。						

No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
1018	九州ルーテル学院大学	43. 熊本県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	遠隔授業での学生からの要望や、学びの振り回し等が必要との意見があり、完全面接授業に加え、遠隔授業（51名以上）において、履修者の半数程度を確保させ、半数は面接授業・半数は遠隔授業を併用するハイブリット型授業を導入することとした。	①ほぼ対面	遠隔授業の実施基準としている履修者51名以上の科目について、2020年度の履修者数を参考に設定した。	①学部ごとに差	キャリアイングリッシュ専攻（語学系）では、語学教育を少人数で実施しているため、面接授業の比率が高く、心理臨床学科（心理系）では、履修者が51名を超える講義科目が多いため、面接授業の比率が低くなっている。	①②③④⑤⑥	
1019	九州看護福祉大学	43. 熊本県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	コロナ禍においても面接型授業を重視してきた。						
1020	平成音楽大学	43. 熊本県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
1021	熊本保健科学大学	43. 熊本県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	令和2年度後期より面接授業の割合を割程度にまで高め、それを継続する方針であるため。	②7割対面	感染防止対策を講じたうえで、可能な限り面接授業を取り入れた結果、7割程度となった。	②学年ごとに差	実習・演習系の授業を中心に面接授業を行っており、高い学年ほどその割合が高まるため。	②⑤	
1022	中九州短期大学	43. 熊本県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
1023	熊本高等専門学校	43. 熊本県	04. 高等専門学校	①全面対面	②大きな変化なし	令和2年度後期においても、感染防止対策及び感染拡大状況における対応策（分散登校、遠隔授業への移行など）を講じながら、学修機会の保証に努めた授業スケジュール、方法を検討、実施していた。令和3年度においても引き続き基本方針は変わらず、状況の変化に即応できる対応策を講じている。						
1024	大分大学	44. 大分県	01. 国立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度に全学的にオンライン形式の授業の実施に取り組んだことで、オンライン形式の活用により高い教育効果が得られる科目があることが分かった。一方で、キャンパスに通学して学ぶ機会や対面での交流の機会が少ないことにより、不安を抱える学生がいることや学生の学修、生活状況の把握が難しいことから、令和3年3月時点で大分県内の新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が低水準にあることを踏まえて、令和3年度は、令和2年度に比べて対面形式の授業の比率を増やす方針とした。	②7割対面	令和3年度前期の授業については、4月19日以降、感染予防策を実施することが可能な授業は、対面形式で実施し、受講者数が多い等の理由で感染予防策を実施することが困難な授業やオンライン形式の方が教育効果の高い授業については、オンライン形式又はハイブリット形式で実施する方針を決定しており、授業担当教員への調査結果を基に判断した。	⑤差はない		②③④⑤⑥⑦	
1025	大分県立看護科学大学	44. 大分県	02. 公立大学	②併用	①対面授業を拡大		③半々	一斉講義を行える講義室の数や対面授業を行う必要がある演習科目の科目数によって決定した。	②学年ごとに差	一斉講義を行える講義室の数や対面授業を行う必要がある演習科目の科目数によって決定した。	②④⑤	
1026	大分県立芸術文化短期大学	44. 大分県	02. 公立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	講義系科目を中心として遠隔授業の取り組みは広がった一方で、学生がキャンパスに通学する機会が減ったことで、学生同士の課外活動が低調している。大学は学びの場であると同時に他者との交流を通じた人間性を磨く場であることも考慮すると、授業内容の改善のみならず対面での交流機会の重要性を再認識した。						
1027	日本理科大学	44. 大分県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	新型コロナウイルス感染拡大の直近の県内の状況、今後の見通し、更には学生教育及び大学生生活等への影響	①学部ごとに差		①	大人数での授業については、クラス分け、若しくは遠隔（オンデマンド・ライブ）で授業を実施する予定
1028	別府大学	44. 大分県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし	令和3年8月頃とあまり変化がないと考えた。	②7割対面		②学年ごとに差	1年生は初めての大学生活ということを考慮し、原則対面授業とした。2年生以上は大学生活に慣れてきている点も考慮し、遠隔の講義科目を増やした。	①②④⑥⑦	
1029	立命館アジア太平洋大学	44. 大分県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	本学の特性の大きな柱は学生と学生、学生と教員の多様な交流と成長にあるため。また、学生・父母からの要望も強いため。	②7割対面	正確には、ほぼ全ての授業クラスを遠隔授業で行い、内、7割程度を遠隔と同時に面接でも行う形式をとる。本学の半数を占める留学生の一部には未だ入国できていない学生もいるため、全ての授業クラスを遠隔授業で実施することは大前提となる。その前提の上で、全ての授業クラスについて面接授業同時実施を検討し、遠隔・面接同時実施が難しい授業や担当教員の基礎疾患等を勘案し、面接実施授業が約7割となった。	⑤差はない		①④⑤⑥	
1030	大分短期大学	44. 大分県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
1031	東九州短期大学	44. 大分県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	引き続き感染拡大予防策を講じ、学生・教職員には注意喚起を行っていく。						
1032	別府清部学園短期大学	44. 大分県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	本学はコロナ対策を徹底的に実施してきた。その結果、学生・教職員の感染者0人の成果を出してきた。遠隔授業も4月下旬から5月中旬までの緊急事態宣言の1か月の期間で終了し、95%以上の授業は面接授業を実施してきた。今後も面接授業を基本としていく考え方に変化はない。						
1033	大分工業高等専門学校	44. 大分県	04. 高等専門学校	①全面対面	①対面授業を拡大							
1034	宮崎大学	45. 宮崎県	01. 国立大学	②併用	①対面授業を拡大	遠隔より対面の方が学生の様子を確認できた学生の理解の状況を把握しやすい。遠隔で、実験・実習で行うような同質を実現するためには時間がかかる。	①ほぼ対面	原則、感染対策を講じた上で対面により実施する予定であり、7割程度の面接授業が可能と考えている。【感染対策】①教室での受講者数は、収容定員の70%程度を目安とする。②窓、扉を開けて十分な換気を行う。換気機が困難な場合には、30分ごとに5分程度の換気を行う。③全員マスクを着用する。④担当教員は、授業開始時に「対面授業における新型コロナ対策チェック表」により、対策の実施状況や学生の体調の確認を行う。	⑤差はない		①②③④⑤⑥⑦	
1035	宮崎公立大学	45. 宮崎県	02. 公立大学	②併用	④その他	大学として、学生や教職員の安全安心を第一に考えるというスタンスは変わっていないが、学生、教職員の感染症対策への意識が定着してきたことや、大学としても設備面で感染症対策の取組が進んできたことから、対面授業を行うための環境が整備されてきたと考えている。また、対面授業を望む声が学生、教職員ともに一定数あり、教員や学生同士の直接的な交流の機会を取り戻していく必要があるため、対面授業を主として行うことを決定した。	①ほぼ対面	原則対面授業とする基本方針を決定するとともに、密を避けるための、教室の収容人数を概ね半分に設定したが、履修人数の多い科目については、全員が一斉に受講できる教室を準備することができないため、遠隔授業とした。	②学年ごとに差	履修人数の多い授業を受ける頻度が高い学年（1、2年生）は、遠隔授業の割合が高い傾向となる。	①②③④	
1036	宮崎県立看護大学	45. 宮崎県	02. 公立大学	②併用	②大きな変化なし	令和2年度においても感染状況をふまえながら、面接授業と遠隔授業を併用して授業を実施してきたため、基本的な考え方に大きな変化はない。	①ほぼ対面	本県は感染状況が落ち着いており、感染対策を実施した上で、原則、面接授業を実施するため。	⑤差はない		①②⑤	
1037	南九州大学	45. 宮崎県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	コロナ感染防止対応として設定した教室収容人数	③学部・学年ごとに差	1年生についてはすべて面接授業、他の学年は併用で実施する予定。ただし、長期休暇明け（ゴールデンウィーク後等）2週間は、感染防止対応として全学遠隔授業を実施することにしている。	②④⑤	
1038	宮崎産業経営大学	45. 宮崎県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	特に考え方に変化なし。交流機会の重要性を認識している。	①ほぼ対面	感染予防を徹底し、交流機会の重要性を認識している。	③学部・学年ごとに差	学生がどちらの授業を受けたいか決定できる。	①	
1039	宮崎国際大学	45. 宮崎県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							

No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
1040	九州保健福祉大学	45. 宮崎県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	市中や県内の感染拡大の状況等により遠隔授業の判断も必要となるが、教育効果やキャンパスライフを考えれば、通常の対面での効果は大いと考えている。						
1041	南九州短期大学	45. 宮崎県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
1042	宮崎学園短期大学	45. 宮崎県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	前期末に、遠隔授業についてのアンケートをとった結果、対面授業の重要性を認識した学生の意見が多くあった。	①ほぼ対面	面接授業を基本と考えているためである。状況によっては、遠隔授業を実施できるよう準備するが、現在の県内における新型コロナウイルス感染状況から面接授業が実施できる見通しである。ただし、感染リスクを懸念する学生に向けて等、必要に応じて遠隔授業を実施する予定である。	⑤差はない		①⑥	
1043	都城工業高等専門学校	45. 宮崎県	04. 高等専門学校	②併用	①対面授業を拡大	周辺の高等学校の授業実施状況及び他の高等専門学校の授業実施状況、学生、保護者からの面接授業実施の要望等について検討し、低学年においては、日常生活のリスクを確保して基礎学力を身に付ける必要があるため面接授業の実施割合を多くする必要があると判断した。	①ほぼ対面	基礎学力や人間力を養成する必要がある低学年生は面接授業を主とし、基礎学力を身に付けて、自己学習能力の向上を高める必要がある高学年生については、遠隔授業の導入が有効と考えられるため、以下の割合で授業を実施することとした。さらに、ITの活用は今後の教育の高度化に必要であることから、教育の質を確保した上で遠隔授業を新たな授業方法として推進していく予定である。高学年の授業においては面接授業に加え、面接授業と遠隔授業の併用、及び、遠隔のみ授業も推奨する。低学年の授業においては、面接授業に加え、面接授業と遠隔授業の併用を推奨する。併用の場合の面接授業と遠隔授業の割合については、授業担当者に委ねるが、低学年においては、授業効果に配慮し、約5割程度は面接授業を各教科設定する。なお、学科によって専門性が異なるため、面接授業と遠隔授業の比率は、学科の合意により実施している。	③学部・学年ごとに差	高学年の授業においては面接授業に加え、面接授業と遠隔授業の併用、及び、教育の質を確保した上で、遠隔のみ授業も推奨する。低学年の授業においては、面接授業に加え、面接授業と遠隔授業の併用を推奨する。併用の場合の面接授業と遠隔授業の割合については、授業担当者に委ねるが、低学年においては、授業効果に配慮し、約5割程度は面接授業を各教科設定する。なお、学科によって専門性が異なるため、面接授業と遠隔授業の比率は、学科の合意により実施している。	①②③④⑥	
1044	鹿児島大学	46. 鹿児島県	01. 国立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度後期に学部1年次生の対面授業を優先して行ったスクーリング期間に 対する学生へのアンケート調査で満足度が高かったから。	②7割対面	実験・実習・実技や初年次の教育など、特に対面による授業が必要であると判断される科目については、十分な感染対策の上で面接授業を行うこととした。	③学部・学年ごとに差	各学部等や学年において、行われる授業の内容、受講する学生の人数や受け入れる 教室の収容人数などそれぞれ異なるため。	①②③④⑤⑥⑦	
1045	鹿屋体育大学	46. 鹿児島県	01. 国立大学	②併用	①対面授業を拡大	教育の質の保障等を踏まえ、対面での授業実施を原則とした	①ほぼ対面	原則対面で実施するが、3密を避ける環境が確保できない(教室の収容定員に収まらない)等、対面授業を行うにそぐわない状況である場合は、授業担当教師の判断により、遠隔授業またはハイフレックス授業(対面授業と遠隔授業の同時開講及び配信)を行うことができることとした。	⑤差はない		①②④⑤⑥	
1046	鹿児島県立短期大学	46. 鹿児島県	02. 公立大学	②併用	①対面授業を拡大	昨年度は、遠隔授業ができるものから始めるという状態であったが、R3年度は当初から計画的に対面と遠隔の両方による実施が可能となった。	①ほぼ対面	現在の当該地域の感染状況を踏まえ、感染が抑制されていると判断し、基本は対面、高リスク者への配慮として遠隔を用いる方針を立てた結果の回答である。	⑤差はない		①②④⑤⑥	
1047	鹿児島国際大学	46. 鹿児島県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	大学での授業には講義だけでなく、演習、実習、実技、実験がありますが、授業方法は、そのどれもに対応できる面接授業が豊富である。また、キャンパスでの友人や教職員との交流は学生の人的成長には欠かせず、このような観点からできるだけ対面による授業を行うこととした。						
1048	第一工科大学	46. 鹿児島県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	感染状況の現状や今後の動向、学内各施設のキャンパティ等を勘案すると、全ての授業を面接授業とするには無理がある。一方で、「思い描いていたキャンパスライフと違う」という理由で退学する学生が出るなど、学生がキャンパス内で様々な交流の機会を得る重要性は認識しており、コロナ禍と効果的な授業の在り方のバランスを取っていくよう検討中である。	③半々	1 令和2年度の実績等を踏まえ、教育効果を勘案しつつ、面接・遠隔授業の割合を決定。2 実験、実習は、原則、対面授業で行う。3 1年生は、学修機会の確保及びキャンパスライフの経験を踏まえ、対面授業を増やす。	③学部・学年ごとに差	1 航空工学部の航空操縦学(パイロット)専攻や航空整備工専攻は、資格取得の所要から1年生から3年生までシミュレーター・実習等の対面授業の比率が高くなっている。2 航空工学部の航空工学専攻及び工学部の各学科の1年生は、学修機会の確保及びキャンパスライフの経験をさせることから対面授業の比率を確保している。2～4年生は、面接授業と遠隔授業は、おおむね半々で行うよう調整している。ただし、4年生は卒研が主であり、結果的に対面授業の比率が高くなっている。	③④⑤⑥	
1049	志学館大学	46. 鹿児島県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	これまで本学では、文部科学省周知事項や県の衛生主幹部局等の方針に沿いながら、地域における感染拡大の状況、感染経路の明確等を確認しつつ、教学活動の方向性を決定してきた。令和3年度前期の授業方針の検討・決定に際してもこれに依ったが、基本的な考え方は結果的に令和2年度後期の授業方針ととの間に大きな変化はなかった。面接授業による教育の質の維持を基本方針とし、感染状況が悪化する可能性を考慮し、遠隔授業の準備体制は維持する。						
1050	鹿児島純心女子大学	46. 鹿児島県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし		②7割対面	新型コロナウイルスの感染状況に大きな変化がなく、令和2年度と同様の授業体制とする判断となった。	①学部ごとに差	遠隔授業の方法では実施できない実験・実習科目が多い学科の面接授業の実施比率が高い。	②④⑥	
1051	鹿児島純心女子短期大学	46. 鹿児島県	03. 私立大学	①全面対面	①対面授業を拡大	特になし						
1052	鹿児島女子短期大学	46. 鹿児島県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	特になし						
1053	第一幼児教育短期大学	46. 鹿児島県	03. 私立大学	②併用	④その他	学生一人ひとりの状況に応じて、対面授業と遠隔授業の使い分けが必要であると考えたため	①ほぼ対面	実技、実習系の授業に関しては面接授業を基本としつつ、講義系科目は遠隔で行うことを想定している。あるいは感染状況に応じてハイブリッドで行う。	②学年ごとに差	実習期間や実技系科目の割合が学年により異なるため	①②④⑥⑦	
1054	鹿児島工業高等専門学校	46. 鹿児島県	04. 高等専門学校	①全面対面	①対面授業を拡大	学生へのアンケートの結果、「一人では学習のモチベーションを保つことが難しい学生が一定数いたこと、学校での教育は授業だけでなく、課外活動を含めた総合的な人格形成の場と考えるため。また、県内の中学校は、対面での授業を行っているため、本校だけ遠隔授業にすることは、保護者の理解を得られにくい。						
1055	琉球大学	47. 沖縄県	01. 国立大学	②併用	①対面授業を拡大	令和2年度授業評価アンケートから、遠隔授業に対する学生の好意的な反応がある一方、特に新1年次生が大学生活が実感できるような環境が必要と思われる。	③半々	本学における活動制限指針「琉球大学新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた活動制限指針」は、引き続き「レベル2」となっており、面接授業の大幅な増加が見込まれる状況にないため現状と同程度の割合で継続される。	③学部・学年ごとに差	本学では、活動制限指針レベル別に授業の実施に関するガイドラインを制定し、感染対策に留意した面接授業の実施を行っている。ガイドラインでは、対人距離の確保のための教室の収容定員50%以下とすることやリスク低減のための受講生の分散等を求めている。そのため共通教育科目の受講が多い低年次学生と少人数のゼミが多い高年次学生や、実験実習系が多い学部所属する学生とそうでない学生などの違いにより、面接授業と遠隔授業の比率が異なる要因が生じている。	①②③④⑤⑥	
1056	名桜大学	47. 沖縄県	02. 公立大学	②併用	①対面授業を拡大	本学においては、面接授業と遠隔授業を同時に実施しており、学生はいずれかの方法で授業に参加することができる。一方で、全ての学生が面接授業を選択したとしても、感染拡大防止対策を講じつつ、教室の再配置を行い授業をすすめている。	①ほぼ対面	学生を対象とした令和2年度遠隔授業受講に関する実態調査のアンケート結果を根拠としております。	③学部・学年ごとに差		①②④⑥	
1057	沖縄県立芸術大学	47. 沖縄県	02. 公立大学	②併用	④その他	令和2年度後期から、特に専門科目について、学生が対面での学習を必要にら面接授業を実施している。令和3年度前期も同じ考え方で進めることとしている。	②7割対面	対面による授業が必要な専門科目について、面接授業を行い、講義系の教養科目では遠隔授業を取り入れている。	④その他	芸術大学であることから、専門科目は面接授業が多く行われているが、講義系の教養科目では遠隔授業が活用されており、これら教養科目を履修する1、2年生について遠隔授業の実施割合が高くなっている。	①②④⑥⑦	



No.	学校名	所在地	設置種	授業実施方針	考えの変化	具体的な考え方の変化の内容	併用割合	併用割合の判断理由	学部・学年ごとの差	具体的な差の内容	併用の考え方	その他の具体的内容
1058	沖縄県立看護大学	47. 沖縄県	02. 公立大学	①全面対面	①対面授業を拡大							
1059	沖縄科学技術大学院大学	47. 沖縄県	03. 私立大学	①全面対面	③遠隔授業を拡大	大学の方針として基本的には面接触授業を行うが、感染状況や県独自の緊急事態宣言の影響によるところが大きい						
1060	沖縄国際大学	47. 沖縄県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大		①ほぼ対面	基礎疾患（等）を持っている教員からの申請により判断	⑤差はない		①	
1061	沖縄大学	47. 沖縄県	03. 私立大学	②併用	①対面授業を拡大	教員側からは直接の交流のように学生の反応が掴みづらい、学生側からは遠隔授業のみとなると、モチベーションを保ち続けることが困難な状況がある。	①ほぼ対面	基本方針として対面授業を軸とし、感染状況及び何らかの事情がある場合に遠隔授業を行うことができるとしている。	③学部・学年ごとに差	実技・実習科目授業が必修となっている学部及び学年については、面接触授業の実施比率が高くなっている。	①②④	
1062	沖縄キリスト教学院大学	47. 沖縄県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	特にございません。						
1063	沖縄キリスト教短期大学	47. 沖縄県	03. 私立大学	①全面対面	②大きな変化なし	特にございません。						
1064	沖縄女子短期大学	47. 沖縄県	03. 私立大学	②併用	②大きな変化なし		③半々		⑤差はない		⑧	分散登校による面接触授業と遠隔授業の実施
1065	沖縄工業高等専門学校	47. 沖縄県	04. 高等専門学校	①全面対面	①対面授業を拡大	令和2年度後学期の授業実施方法を検討・決定する際の考え方は2-2の①に相当する。このため、本校の回答は2-2において②となる。令和2年度を通して、遠隔授業への対応に苦慮した学生が比較的多く、遠隔授業の実施期間中においても、これらの学生に対しては、教員が直接指導できる環境や学生間の交流が必要であったことに加え、実験や実習などの授業科目の遠隔授業への移行あるいは一部導入が難しい場合が多く、対面できる状況の必要性を強く認識した。						

令和3年度前期の大学等における授業の実施方針に関する調査（②工夫の内容・学生の理解等の状況について）

No.	学校名	遠隔授業の向上 方策	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	学生の理解を得 る取組	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	新入生等への配慮	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する懸念の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項	
1	北海道大学	②③④		①	①②③			①②③④⑤			②	②大多数が理解		令和2年度は、学生の理解や納得を得るために「オンライン授業を含むコロナ禍全般をテーマとした校長と学生との対話」、「オンライン授業に関するアンケート」、「オンライン授業をテーマとした学生参加型Fの企画」、「学生からの意見や質問を広く受け付けるためのWeb窓口の継続」、「ラーニングサポート室による学習支援」などに取り組んだところである。令和3年度についても、引き続き、このような学生の意見等を聞く様々な取り組みやサポートを行いながら、学生の理解・納得が得られるよう努めていく。	
2	北海道教育大学	①②③			②			①②③④⑤			④	把握していない	大学の授業形態に関する方針については、学生の理解等に係る状況調査を行っていない。		
3	室蘭工業大学	①②③④			①②③			②③④⑤			②	②大多数が理解	大学HPなどで授業形態について通知しているが、特に不満や意見等は寄せられていない。	長期休暇後の授業開始時は全ての科目について2週間遠隔授業を実施し学生の健康観察期間を設けるなどして、直接授業実施に対する不安を解消、感染リスクを低減させている。また、定期的に講義室の椅子や机などを消毒している。これらは今後も取り組んでいく予定。	
4	小樽商科大学	①②③④			①②③			①②③④⑤			②	②大多数が理解	令和2年度後期に実施した学生アンケート結果を見る限り、対面授業・遠隔授業を望む声それぞれあるものの、各授業に対しては概ね満足が得られていることが分かった。さらに、本学では今回の新型コロナウイルス感染症に関する一元的な問い合わせ窓口（学生サポート窓口）を設け、授業実施方針について不明な点等がある場合は丁寧に説明を行っている。また、定期的に学生・保護者からの意見を募る自由記述式のアンケートを取っており、その意見を授業実施方針等に反映させている。	引き続き、新型コロナウイルス感染症に関する一元的な問い合わせ窓口を設けるとともに、学生・保護者からの意見を募るアンケートも続けていく予定である。また、授業の実施方針についても、学生同士のコミュニケーションが上手く回っていない際や、遠隔授業の実施環境が上手く整備できない際、学生の意見が出る傾向が見受けられるため、学生の生活面の支援を強めていく予定である。	
5	帯広畜産大学	①④			①②③④	遠隔授業よりも、対面とすることへの不安を訴える学生が少なくなったため、対面授業の必要性和大学の感染防止対策について、学生に説明している。		①②③④⑤			②	②大多数が理解	本学では、令和3年度も多くの授業科目において対面とオンラインのハイブリッドで実施する予定であるが、学生へのアンケート結果では、原則的に対面に戻すことを求める学生は12%弱であり、9割近い学生がオンライン授業の継続を望んでいる。これは、令和2年度に本学が取り組んできたハイブリッドの授業形態が学生に受け入れられていることを示すものと考えられる。また、昨年11月から導入されたストーリーミングサーバにより、3/4の学生がオンライン授業の受講が便利になったと回答しており、テスト期間に近い週では、約1,000人の学生に対し、連日1万件以上のアクセスがあったことから、本学の取組が学生に評価されていると考えている。	1. 本学のLMSや教務システムと、遠隔授業システムであるZoomを連携して出欠管理を自動化する。2. オンラインでの課題提出が増加したことに対応し、LMSに課題管理機能を追加する。3. 本学の授業実施体制やオンライン授業に関するアンケートを実施し、常に状況を把握し必要な改善を行う。4. 対面授業の再開に際しては、発熱等の症状がある場合や濃厚接触の疑いなどによる出席停止に即座に対応できる体制をすでに整えており、今後も学生の不安を取り除くために必要な方策を実施していく。	
6	北見工業大学	①②③			①③			②③④⑤			②	②大多数が理解	学生を対象としたアンケート調査で、概ね肯定的な意見が寄せられたため。	特になし	大学ホームページで令和3年度の授業の実施形態や方針について、学生に周知している。（実施済）
7	旭川医科大学	①②			①			⑤			②	②大多数が理解	一度に登校する学生数を半数とする分散登校について、学生が感染へ不安がある場合は学生支援課、保健管理センターに相談の上オンライン受講に切り替えている。また、定期試験実施の際は、感染に不安がある学生の意見に基づき2教室で実施する体制に変更するなど可能な限り安心できる教育環境を提供している。	教育センターカリキュラム部門会議では、医学科の学生も委員として参加しており、授業に関する要望等の意見交換をしていたが、今後は、看護学科の学生も委員として参加することを検討している。	
8	北海道公立大学法人札幌医科大学											②	②大多数が理解	授業評価に関するアンケート調査	
9	公立はこだて未来大学	③④			①			①④⑤			④	把握していない			
10	釧路公立大学	②			①②			①②③④⑤			②	②大多数が理解	大学全体の授業実施方針については、メール配信により周知を行っている。		
11	名寄市立大学	①②			①②	学科教務委員会で欠席状況の把握など		②④⑤			②	②大多数が理解	令和2年度を通じて学生・教職員からの質疑も減ってきたため	特になし	メールや掲示等での密な連絡
12	札幌市立大学	②			①②③			②④⑤			②	②大多数が理解	在学生、新入生ともに授業形態について情報提供を行っているから。	継続して学生に対し授業形態について情報提供を行う。	
13	公立千歳科学技術大学	①④			③			①②③			②	②大多数が理解	年に2回、学期末に行っている授業評価アンケートを根拠としている。		
14	札幌大学	②③④			①	大学全体として取り組んでいる。		②④⑤			②	②大多数が理解	令和2年度において、単位修得状況、評価の低下は認められず、学生が状況に応じて、履修、単位修得をしたものと理解している。	学年による差はない。	学生への丁寧な説明と教員、職員によるサポート体制で支援を行っていく予定である。
15	札幌学院大学	②③			②			①⑤			②	②大多数が理解	ホームページに授業形態を公開し、その状況について学生宛にポータルサイトを経由して周知している。		
16	函館大学										①	ほぼ全員が理解			
17	藤女子大学	②③④			①③			①⑤			④	把握していない			
18	北星学園大学	②③			①			②④⑤			①	ほぼ全員が理解	4月のオリエンテーション時に全学生に説明しているほか、ウェブサイトでも発信している。		

No.	学校名	遠隔授業の向上 方策	その他の具体的な 内容	特定の学部や学年での 取組	学生の理解を得 る取組	その他の具体的な 内容	特定の学部や学年での 取組	新入生等への配慮	その他の具体的な 内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する 課題の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項
19	北海道大学	②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	在学生については、第2学期授業終了後すぐに、2021年度第1学期の授業に関する大学の考え方を伝える配信を行い、その後授業形態等について詳細にまた頻りに配信を行った。さらに、第2学期授業終了時に、全学生対象の「オンライン授業アンケート」を実施し、オンライン授業に限らず授業や施設、情報環境などについて意見聴取し、全学教職員で共有するとともに、その声を2021年度授業に反映することを学生に伝え、アンケート結果を公開した。新入生については、合格発表通知に同封する形で、本学の2020年度授業形態と考え方、2021年度の方針を説明し、入学後の準備を促しながら理解と協力を求めた。		・授業開始にあたっての留意事項をトピックごとに配信（【連絡@対策本部】）し、授業開始前から説明に努めているが、これから在学生ガイダンスを実施し、一層の理解を促す。・新入生には、webサイトに新入生サイトを開設し、授業形態や感染症対策に理解を深めてもらっているが、4月に入ってすぐに新入生ガイダンスを実施し、必要な情報を届けたい。・不明な点にすぐに答えられるよう「対策本部窓口（オンライン授業、コロナ対策）」を設置する。学生による学生のためのサポート（HGU SOS 2021）を、2020年度同様、4月1日から開始する。このシステムは先輩から後輩からの相談にLINEを使って答えるものである。また、大学のあらゆる点に関して学生目線で説明を行っているマニュアル（HGU SOS マニュアル）を作成し、3月中に大学公式webサイトにアップする。
20	北海道科学大学	①②③④			①②			①④⑤			②大多数が理解	令和2年度も同様に遠隔授業と対面授業を併用した授業形態であったが、学生へのアンケートにおいて授業の全体的な質に対する満足度が昨年度と比較して変化がなかったほか、遠隔授業に対する不満のコメントがごくわずかであったため。	今後も社会情勢を鑑みながら、必要に応じて本学の教育実施体制について学長よりメッセージを発信する予定。	
21	酪農学園大学	②③④			①②③			①②③④⑤			③大多数とは言えない	対面授業の割合が低いように捉えられているため		学生と教職員との対話集会
22	旭川大学										②大多数が理解	危機管理委員会の中で本学の基本方針としては、対面授業が主になっており、HPでも掲載している。ただ、学内のアンケートの中では、感染が怖いとの理由で遠隔授業の方が良いという学生も数名いたのは事実になる。	感染予防対策を徹底して、感染者が出ない環境を目指す。	
23	北海道医療大学	①②③④			①②③			①②③④⑤			①ほぼ全員が理解	・学生に対し遠隔授業実施の必要性等を継続的かつ丁寧に説明しており、また今年度の教育に関する学生アンケートから今年度実施した教育に対して学生の満足度が高い結果が得られたため。・本学HPやIGを活用し、事前の十分かつ確実な情報提供およびガイダンスでの丁寧な説明に努めているため。	ガイダンスで授業形態等、各種取り組みについての説明を行う。	
24	北海医科大学	①②③④			①③			②	学内に新たにアクセスポイントを設置し、キャンパス内においてWi-Fi接続が可能な環境整備に努めるとともに、学内施設の開放など学生の通信環境の確保に向けた支援を行う。		②大多数が理解	授業評価アンケート等を実施している	LMS等を活用して、学生一人一人に連絡を行うことを徹底する	
25	星様道都大学										①ほぼ全員が理解	令和2年度において、遠隔授業を実施し、多くの学生が出席し、無事単位修得まで至っている。また、本大学が北海道の感染状況に応じて作成した新型コロナウイルス感染症拡大防止のための危機管理システムを学生に周知し、遠隔授業実施の理由を示している。その間にも進級判定、卒業判定を行って、例年と変わらない人数の学生が連続、卒業に至っている。	新入生には新型コロナウイルス防止策や遠隔授業の行い方を載せた学生便覧を配布、かつガイダンスを行う予定である。また、在学生に対しても改めて新型コロナウイルス感染症防止策や遠隔授業の内容を含んだガイダンスを行う予定である。	
26	北海道情報大学	②③④			①②③			①③④⑤			②大多数が理解	学生、保護者に対してWebや文書で周知を行い、反対意見が少なかったため。		
27	札幌国際大学	①②③④			①②③			②④⑤			②大多数が理解			
28	北翔大学	①③			①			②⑤			④把握していない	学生の理解・納得の状況等について、アンケート等調査を行っていないため把握していない		
29	北洋大学	①②③④			①③			①②③④⑤			②大多数が理解	在学生に対しては保護者を含めて新型コロナウイルス感染症の状況に応じて遠隔授業 特定の学部等や学年など、一部の業に切り替える旨説明し了承を得ており、入学生に対しては入学前へ送付する書類 範囲で異なる状況はないものと考 えていて、さらにはツイッター等のSNSで同様の説明を行っているところ。		
30	日本赤十字北海道看護大学										①ほぼ全員が理解			
31	北海道文教大学										②大多数が理解	大学として対面授業を行うことについて、大学の方針等を学科から学生に連絡し、理解が得られない学生には個別に対応することとしているため。	科目によって形態が異なるため、科目担当者が学生の状況を把握するなど細やかな対応とする。	
32	天使大学	①②③④			①②③			①②③④⑤			①ほぼ全員が理解	2021年度前期授業実施方針について学生と保護者に向けてポータルサイト、ホームページで周知している。支援教員を通じてLHRでも周知し、きめ細やかな対応をしている。	引き続き、支援教員を通じて、きめ細やかな対応をしていく	
33	札幌北星学園大学										①ほぼ全員が理解			
34	札幌大谷大学	①②③④			①②			②⑤			③大多数とは言えない	何度か学生調査を実施した結果、授業形態として対面授業を求める学生もいるし、逆に感染リスクへの恐怖からオンライン授業を求める学生もいるため	引き続き、感染対策に留意のうえ可能なものから対面授業に切り替えていく。また方針について学長発信として公表していく。	
35	札幌保健医療大学										①ほぼ全員が理解			
36	日本医療大学	②③④			①②③			②⑤			②大多数が理解			
37	北海道千歳リハビリテーション大学										④把握していない	調査をしていないため		
38	釧路短期大学										②大多数が理解	感染予防策の徹底、可能な限りの対面授業実施について、具体的案内を実施済み	域内の感染状況の変化をみて、掲示やメールその他により周知	

No.	学校名	通商授業の向上 方策	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	学生の理解を得 る取組	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	新入生等への配慮	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する 課題の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項
39	帯広大谷短期大学	②④			①②			②④⑤			②大多数が理解	令和2年度末に実施した学生アンケートの結果による。		
40	光塩学園女子短期大学	②③			③			②			④把握していない	学生の理解・納得の状況を数値で把握していないため。		
41	函館大谷短期大学										④把握していない			
42	函館短期大学										①ほぼ全員が理解			
43	拓殖大学北海道短期大学										①ほぼ全員が理解	新入生には入学式後のオリエンテーションで説明し、在学生（主に2年生）はこれまで形態を踏襲している。	理解度の高低差は感じられない。	濃厚接触者となる等で自宅待機を余儀なくされた場合も大学としてアクターアップを徹底する。
44	北海道武蔵女子短期大学	②③			①			②③			①ほぼ全員が理解	昨年2月から本学の令和3年度の授業方針を公表し、保護者、在学生、入学予定者に通知し、年度明けのガイダンスにおいても全学生に授業方針を伝えていたため。		
45	苫小牧工業高等専門学校										④把握していない	令和3年度の授業の形態に関する本校の方針について学生が理解・納得しているかに関してアンケート等は実施していないため	該当なし	検討中
46	函館工業高等専門学校										①ほぼ全員が理解	担任、科目担当教員が学生からの意見を聴取しており、ほぼすべての学生が理解していることを確認している。	なし	既に理解を得られていることから、新たに取組む予定はない。
47	釧路工業高等専門学校										②大多数が理解	・学生に対して、状況など必要に応じて連絡し、問題なく運用できたので、授業形態について納得していると考ええる。	特になし	特になし
48	旭川工業高等専門学校										①ほぼ全員が理解	学生の意見箱、保護者等から授業形態についての質問がないため。	特になし	学校の取り組みについて、周知を心がける。
49	弘前大学										①ほぼ全員が理解	コロナ禍以前と同様の形態である面接授業を行うこととしているため。	一部の範囲で異なる状況にはないと認識している。	
50	青森公立大学										④把握していない			
51	青森県立保健大学	②③			①②③			②③④			①ほぼ全員が理解	ほとんど対面で実施することにしており、通常の授業形態であることから、学生の理解は得られていると思われる。		
52	青森大学										①ほぼ全員が理解	本学の対応方針等をその都度見直し、学生および教職員に確認しながら、学生にとってより良い形態を選択しているため。	東京キャンパスにおいては、緊急事態宣言の発令等に合わせ別途遠隔授業等の対応を行っている。	新年度に向けてメール等で学生へ告知。新年度のオリエンテーション・ガイダンス等で再度説明した後進める予定にしているが、学生から反論等の意見はない状況であり、理解・納得いただいているかと思われず。
53	薬田学園大学										①ほぼ全員が理解	対策に万全に期したうえで、丁寧に説明を行っている。		
54	弘前学院大学										①ほぼ全員が理解	本学では、現在まで1名も学生からコロナ感染者はいない。また、コロナ感染対策を徹底的に講じているため、対面授業実施に対して学生からの異論はない。	3学部共に異論はない。	3密回避、換気、マスク着用等のさらなるお願いを、4月のオリエンテーションやHP、掲示等で徹底する。
55	八戸工業大学										①ほぼ全員が理解			
56	八戸学院大学	①②③			①			⑤			①ほぼ全員が理解			
57	青森中央学院大学										①ほぼ全員が理解			
58	弘前医療福祉大学										②大多数が理解	学生生活満足度調査2020のアンケート結果による。	オンライン授業を希望する学生も少数ではあるが存在する（全体の3%程度）。	上記のアンケート結果を学生に提示するとともに、授業形態について学生の考え方も聞きながら、感染防止を踏まえて検討したい。
59	青森明の星短期大学										①ほぼ全員が理解			
60	青森中央短期大学										①ほぼ全員が理解			
61	八戸工業高等専門学校										①ほぼ全員が理解			
62	岩手大学										①ほぼ全員が理解	令和2年度後期から、感染症対策を徹底した上で、全面的に面接授業を実施しているから		これまでと同様に、検査システムの活用、消毒液・パーティションの設置、情報発信を行っている。
63	岩手県立大学										④把握していない	学生の理解・納得の状況を把握するための調査等は、令和3年度は未実施であるため。	特になし。	入学式オリエンテーション、授業における感染対策。
64	岩手医科大学										②大多数が理解	学生から、不平・不安の声が上がっていない。		
65	富士大学										②大多数が理解			
66	盛岡大学										②大多数が理解	なし	なし	なし
67	岩手保健医療大学	②④			①②③			②③④⑤			①ほぼ全員が理解			情報環境の強化
68	修紅短期大学										①ほぼ全員が理解			
69	一関工業高等専門学校										①ほぼ全員が理解	令和2年度前期に遠隔授業を実施している	差異はないと考えている	ICTを活用した授業が増えている
70	東北大学	①②③④			①②③			①②③④⑤			①ほぼ全員が理解	令和2年12月に「令和3（2021）年度の授業方針について」を、本学Webサイトに掲載して周知を行っており、2月に学生モニターとの意見交換において、学生の理解度を確認しています。		オリエンテーションやガイダンス及びシラバスを通じて各授業科目で学修する内容・特性に合わせて、キャンパスで行う対面授業とオンライン授業を効果的に併用した授業を実施することをお知らせしていきます。
71	宮城教育大学	②③④	該当なし	該当なし	①②③	該当なし	該当なし	①②③④⑤	該当なし	該当なし	①ほぼ全員が理解	令和3年度の授業実施について、令和2年度後期と同様の方針としており、令和2年度後期授業は、学生からの肯定的な意見が寄せられたため。	該当なし	令和2年度後期に引き続き、学生と教員双方の意見を取り入れつつ、十分な感染症対策を講じた面接授業を実施するとともに、遠隔授業の効果的な実施について更に検討する。
72	宮城大学										②大多数が理解	学生の理解・納得の状況を積極的に調査してはいないが、令和3年度（前期）の授業形態の事前周知に対して、不安を連絡寄せた学生はごく少数であった。このことから、大多数の学生の理解・納得を得られていると思考する。		・感染防止対策の実施と周知・面接授業への出席に不安を訴える学生への合理的配慮



No.	学校名	遠隔授業の向上 方策	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	学生の理解を得 る取組	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	新生入等への配慮	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する認識の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項
73	仙台大学	②③④			①②③④	学生全員にiPadを無償貸与し、遠隔授業ができる環境を大学側で準備している。iPadの学生への無償貸与については、教育機会の均質・平等の観点に基づく措置で学生から好評も得ているが、一方、緊急事態のさなか、選択的に制限がある中での通信業者との5カ年契約締結となった経緯があり、年間、座席単位の大学負担は過大なものとなっていることから、大学負担に対して柔軟な助成措置を講じて頂きたい。		①⑤			①ほぼ全員が理解	iPadを学生に貸し出す際、遠隔授業を実施していることを周知している。時間割の前期科目に、「対面」「対面+オンライン」「オンライン」と表記し、どのような授業形態で実施するかを周知している。		
74	東北学院大学	②③		大学全体としてサポート体制や事例研究、紹介を行っているが、各学部においてもそれぞれ同様の対応をしている。	②③			③⑤			①ほぼ全員が理解	メール等を通じて全学に周知しており、ラーニング・コモンズ等で学生に理解を促している。		今年の入学生から全員PC持参（購入）とし、情報教育の徹底を図る。
75	東北工業大学	①②③④		なし	①②③			①②③④⑤	なし		②大多数が理解	学生へのアンケートの中で、次年度の授業実施方針の妥当性を問う設問を設けており、その回答結果を積極的に回答している。	なし	なし
76	東北福祉大学	①②③④			①②③		全学部共通の取組を行っており、特定の学部や学年などで取り組んでいる事項はありません。	①②③④⑤			②大多数が理解	令和3年度授業方針として、3月19日に学内ポータルサイト及びホームページにおいて全学生へ配信済みである。3月25日現在で約50%の学生が配信（学内ポータルサイト）を閲覧済みであり、今後も多くの学生が閲覧すると想定しての回答です。	学内ポータルサイトの「Q&A」（学生からの質問受付）機能をバージョンアップすることとした。	4月以降、学内ポータルサイトの「Q&A」（学生からの質問受付）機能をバージョンアップすることとした。
77	東北医科薬科大学	①②④			①②③			②③④⑤			④把握していない	本学ホームページやメールにて学生に授業の実施方針を周知していたが、令和3年3月31日現在、キャンパスのある宮城県では新型コロナウイルス感染症が急増している現状があり、授業の実施方針を変更せざるを得なかった。これからオリエンテーション等にて説明するため、現時点での学生の理解・納得について、具体的に把握できていない。		医学部・薬学部ともに、令和3年度の授業の実施方針について、本学ホームページやメールによる周知を行うと同時に、新年度のオリエンテーションにて丁寧な説明を行い、理解や納得を得るよう努める。
78	東北生活文化大学	②③④			①③			⑤			②大多数が理解			
79	宮城学院女子大学	①②③④			①②③			②③④⑤			②大多数が理解			
80	石巻専修大学										③大多数とは言えない			学内における新型コロナウイルス感染症予防対策の周知
81	仙台白百合女子大学	②			②			①⑤			①ほぼ全員が理解			
82	東北文化学園大学	①②③④			②			②④⑤			①ほぼ全員が理解	全科目で授業評価アンケートを実施し、本学の方針を概ね理解されていると判断している。		令和3年度も前後期、全ての授業科目で授業評価アンケートを実施する。
83	尚絅学院大学	①②③④			①②③	授業テキストや自宅で出力できないような大判プリントの郵送対応 / 図書館の本の貸出・返却の郵送対応		①②③④⑤⑥			②大多数が理解	在学生に対しては、既に2020年度に様々な授業形態による授業を受講しており、機会を見てアンケート調査を複数回行い、学生の意見に耳を傾け改善を行った。また学生にもネット環境やPCについての準備等を連絡した。新生入に対しては、「大学の授業実況のために」課外授業を行うこと早い段階から、連絡を行っている。また、学生や新生入からの質問については、その都度丁寧に説明を行っている。		オリエンテーション時の説明と意見や質問への回答。
84	宮城誠真短期大学										②大多数が理解	オープンキャンパス等で周知を図っている。		学年始のガイダンス等で説明する。
85	聖和学園短期大学	①②④			③			②③④			②大多数が理解	学生に対するアンケート結果より		
86	仙台青葉学院短期大学	②③			①②			②③④			②大多数が理解			
87	仙台赤門短期大学										②大多数が理解			
88	仙台高等専門学校	①②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	学生アンケートや教員が指導する中で学生の意見を把握した結果、回答に至った。		
89	秋田大学	①②③④			①②③			①②③④⑤			④把握していない	授業の形態等について、学生ポータルサイトに掲載し、全学生が必ず確認し理解できるようにする。学生からの意見を取り入れられるようアンケート等を実施する。		授業の形態等について、学生ポータルサイトに掲載し、全学生が必ず確認し理解できるようにする。学生からの意見を取り入れられるようアンケート等を実施する。
90	秋田県立大学	①②④			①②③			①③⑤			①ほぼ全員が理解	学生への周知及び教員からの丁寧な説明により理解・納得しているものと認識している。学生の意見も十分に確認しながら対応している。		R3は対面授業が基本となるため従来どおり学生の意見等も十分に受け入れた対応を行う。
91	国際教養大学	①②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	学生は比較的柔軟に受け入れ、専攻、新学部の授業形態、学生の受け入れ方針、感染対策等について、授業実施ガイドラインを作成するなど学生に対して丁寧な説明と情報提供を行うとともに、学生からの意見や質問を随時受け付け、Q&Aに取りまとめて学内で共有しているが、現時点では質問は少数にとどまり、善情等の意見は寄せられていないことから、大学の方針と取組みに対して概ね理解が得られていると考える。		学生からの問い合わせを受け付けQ&Aにまとめて公表するとともに、学生による授業評価で意見を聴取している。
92	秋田公立美術大学	②			②			④⑤			①ほぼ全員が理解	R3授業形態について、在学生宛にポータル周知を行っていること、R2後期授業形態と大きな変更がないため、理解を得られていると判断した。		
93	ノースアジア大学										①ほぼ全員が理解	令和2年度は対面授業で行ったが、このことについて学生から疑問の声等は一切あがらなかったため	なし	これまでと同様に新型コロナウイルス感染症対策についてはこまめにポータルサイト等で周知していく
94	秋田看護福祉大学										①ほぼ全員が理解			
95	日本赤十字秋田看護大学	②④			①②③			①③⑤			④把握していない			遠隔授業についてアンケートを行い、学生の理解や納得について把握する予定である。これまでと同様に新型コロナウイルス感染症対策についてはこまめにポータルサイト等で周知していく
96	秋田栄養短期大学										①ほぼ全員が理解	令和2年度は対面授業で行ったが、このことについて学生から疑問の声等は一切あがらなかったため	なし	
97	聖園学園短期大学										①ほぼ全員が理解	授業形態がコロナ禍以前と全く変わらないため		
98	聖童女子短期大学										①ほぼ全員が理解			
99	日本赤十字秋田短期大学										②大多数が理解	コロナ禍での学生生活や授業、実習方法について注意喚起のガイダンスを複数回行い、学生に説明している。		今後もコロナ対策の説明を継続的に行う。
100	秋田工業高等専門学校										②大多数が理解	学生に対する授業アンケート等の結果により、大多数の学生より理解を得ている。特になし		〇2モニターを各教室に設置して効率的な換気を徹底し、更なる感染防止対策を講じる。

No.	学校名	通隔授業の向上 方策	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	学生の理解を得 る取組	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	新入生等への配慮	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する課題の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項
101	山形大学	②③④			①②③		②③④⑤				②大多数が理解	本学では、令和2年9月～9月の後期授業開始前に「対面授業再開に向けてのセルフチェック」を実施した。回答率は全学生数の約4割。その中で、「後期から対面授業が開始されることに伴い、不安等はありますか。」という設問に対し、約65%の学生が「(不安等)あまりない」又は「ない」と回答している。		令和3年3月現在、令和3年度前期授業に向けての「セルフチェック」を実施している。その中で、学生の状況把握に努めた上で、必要に応じてアドバイザー教員等と連携し、学生の理解や納得を得るための方策を検討していくこととしている。
102	山形県立保健医療大学										④把握していない			
103	山形県立米沢栄養大学										④把握していない			
104	山形県立米沢女子短期大学										④把握していない			
105	東北芸術工科大学	②④			②③		②③④⑤				①ほぼ全員が理解	令和3年度授業方針と同様の考え方で実施した令和2年度における学修および本学への満足度調査(回答率92%)では、1・3・4年生が過去10年で最も満足度が高く、2年生も過去10年で過去最高と僅差で2番目の満足度だったため。		
106	東北文科大学										①ほぼ全員が理解	大学の考え方として、授業は対面授業で実施することを周知徹底している		
107	東北公益文科大学										①ほぼ全員が理解	令和2年度秋学期開始前に全学生に対し学年ごとに対面形式によるガイダンスを行い、その中で通隔授業を実施する場合や受講方法について説明したうえ、各科目担当教員からも説明を行っている。		
108	羽陽学園短期大学										①ほぼ全員が理解			
109	鶴岡工業高等専門学校										①ほぼ全員が理解	学生・保護者との面談の機会で、ほとんどの学生・保護者が面接授業を望んでおり、令和3年度の授業形態について、理解・納得していると思われる。	本校の本科は1学科制であり、専攻科は1専攻であるため、学校全体で通隔授業に切り替えるを得ない事となった場合も説明を尽くし、理解や納得を得る。	本校における新型コロナウイルス感染症防止対策及び面接授業の必要性を周知する。また、通隔授業に切り替えるを得ない事となった場合も説明を尽くし、理解や納得を得る。
110	福島大学	②③④	パイロットケースとして、幾つかの科目で面接授業と通隔授業の同時開催(ハイブリッド開講)を試行的に実施する予定である。フィールドワーク科目では、オンラインによるフィールドワークを試行的に実施する予定である。これらを実施するため、教員間の授業映像収録システムや動画編集用の音声合成機器等を整備した。		①②③④	通隔授業の受講に向けて、本学放送部学生が中心となってインターネット配信番組を作成した。学生間で通隔授業受講のノウハウが共有されている。	通隔授業の様々な工夫は全学的に事例を共有しており、特定の学類・学年に限定された通隔授業の取組み事例はない。	①②③④⑤			②大多数が理解	令和2年度前期においては全ての授業科目が通隔開講となったことから、同年7月に通隔授業に関する学生アンケート調査を行い、通隔授業の受講に係る学生の満足度や受講上の要望などを把握した(通隔授業に総合的に【満足/やや満足】の回答率一問時次平均71.4%、アンケート満足度54.3%)。一方で通隔授業の課題として、課題・宿題量の多さや意見交換手段の改善等が挙げられた。通隔授業の全学実施は本学初の試みであり、同年10月の全学FD研究会において全学共通テーマとして教員相互に意見交換を行ったことである。休学者数・退学者数は前年と変わらず、今のところコロナ禍による増減の兆候は見られない。本学では全学的な新型コロナウイルス感染症対策を講じるため「危機対策本部」を設置し、同会議において授業運営や課外活動の注注意事項を整理し、学生向けに「学生生活ガイドライン2021」を編集したところであり、令和3年度の納入生ガイダンスで説明するほか全学生に周知することとしている。これらを活用して学生には感染防止対策を周知徹底するとともに、昨年度の学生アンケートの回答やFD研究会の意見交換等を踏まえて、令和3年度の授業運営に臨む所存である。	令和2年度には学生団体代表と教育・学生担当副学長との懇談会を開催し、意見交換を行った。令和3年度も開催する予定であり、学生側の意見や要望などを直接聞く機会を設けることとしている。令和2年度後期の面接授業期間中は、昼休みに放送部学生によるマスク・手洗い・距離・換気等の感染予防メッセージを流した。令和3年度も面接授業期間中は放送する予定である。	学生への注意喚起や情報提供等は全学で統一しており、特定の学類・学年に理解・納得度が異なるような状況は生じていない。
111	福島県立医科大学	①②			①②		①③				②大多数が理解	学生に対して、新型コロナウイルスへの感染防止の内容を説明し、かつ、実践することの必要性を説明しているため。		
112	金沢大学										②大多数が理解	学生に公表したところ、特段意見は何もなかったため。		未定。(必要に応じて情報提供等を実施する。)
113	郡山女子大学										③大多数とは言えない			
114	奥羽大学										①ほぼ全員が理解	令和2年度の授業形態がほぼ対面授業であり、嚴重な感染防止対策のもと学生から感染者が出なかったことから、令和3年度の授業形態においても理解が得られると見えます。	学部間で異なることはありません。	授業開始のガイダンスで授業形態等の説明を行い、理解・納得を得る予定です。
115	医療創造大学	①②④			①③		②③④				②大多数が理解	通隔授業等実施アンケート		
116	日本国際大学	①②			①		②⑤				①ほぼ全員が理解	令和3年度に先立ち、令和2年度から対面授業と通隔授業のハイブリッド型授業を実施しており、在校生はその利点や特徴を十分に理解している。また、新入生に対しては、新入生オリエンテーションや一年生ゼミを中心に、授業の実施方針について丁寧な説明を尽くしているため。		春学期開始後も定期的に履修指導や学年全体での合同ゼミによる追加オリエンテーション等を実施し、授業方針への理解の徹底を図っていく予定である。
117	福島学院大学										④把握していない	オリエンテーション前につき授業方針等を示していない。	特になし	特になし
118	桜の聖母短期大学										①ほぼ全員が理解	HPやガイダンス、授業内でも説明を行っている。短大行動ガイドラインを明示している。		短大行動ガイドラインを更新しながら、明示していく。
119	いわき短期大学										①ほぼ全員が理解	オリエンテーション時に丁寧に説明した。		
120	福島工業高等専門学校										①ほぼ全員が理解	所在するいわき市では状況が安定しており、学校や公共施設等に利用制限もなく、地域全体で感染防止対策を講じながら通常の活動(面接授業)が行われている。本校学生を含め周知の理解が得られていると考えている。		「福島高等における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策」を更新した上で感染防止対策を徹底し、面接授業に対する不安の払しょくに努める。また、適切な情報提供を継続する。
121	茨城大学	②③④			①②③		①②③④⑤				②大多数が理解	全体的な把握を目的とした調査は実施していないが、授業アンケート設問に「あなたは通隔授業において十分な学修ができたか?」を設けており、学部によって差はあるが70%弱～80%強が「そう思う」「厳格に思う」の肯定的な回答をしている。また、設問「この授業に全体として満足しましたか?」では90%弱が「十分に満足」「概ね満足」と回答している。		引き続き授業アンケート、学生生活調査等の実施、分析、学長や学部長等と学生の意見交換会などを実施するとともに、授業実施方針等を積極的に公開する。
122	筑波大学	②③	サーバや学生の通信環境の問題等があるため全学的には推奨していないが、履修者等の状況が可能な場合は同時双方向型も可能としている。		①②③④	通隔授業の必要性だけでなく、利点を見出している面もありますので、それを学生に伝え、活用するよう促しています。	特になし	①②③④⑤			②大多数が理解	大学ホームページにおいて学生に向けて公表しており、関心の高い事情なので大多数の学生は情報を持っていると思われる。また、秋学期以降、新型コロナウイルスの感染拡大状況が授業実施に影響するほどには大きく変化していないのも周知のとおり。	状況に変更等あれば、こまめに情報発信をする。	
123	筑波技術大学	①②④			①②		②③④⑤				①ほぼ全員が理解	学生を対象に実施した面接授業と通隔授業の希望調査を踏まえ、個々の学生の希望に沿った授業形態としたため。		
124	茨城県立医療大学	①②④			①②③		①②③④⑤				④把握していない	理解・納得の状況について積極的な調査等を実施していないが、学生へ公表した本学の方針に対して、現時点で特段の反対意見はない		定期的に学生へのアンケート等を実施し、具体的な理解・納得の状況把握したうえで必要な取り組みを行う
125	茨城キリスト教大学										②大多数が理解	2021年度授業方針をHP等に掲載し、本学授業形態ガイドラインを示しており、コロナ状況に対応して授業を実施する指針		
126	常磐大学	②③			①③		②⑤				②大多数が理解	2020(令和2)年度後期(秋 semester)の授業終了後に併設校と共同で学生へのアンケート調査を実施した。通隔授業(オンライン授業)全体を通しての満足度について質問したところ、「非常に満足している」または「満足している」と回答した学生は、回答者全体の73.9%であった。このことを踏まえ、2021(令和3)年度は「十分な感染対策を講じたうえで通隔授業と面接授業を併用して授業を実施することとしており、おおよそ大多数の学生が授業の形態等について理解・納得しているものと認識している。	2020(令和2)年度後期(秋 semester)の授業終了後に併設校と共同で実施した学生へのアンケート調査は、全体の傾向を把握することを目的として実施したものであり、特定の学部等や学年における理解・納得の度合い等は把握していない。	

No.	学校名	遠隔授業の向上 方策	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	学生の理解を得 る取組	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	新入生等への配慮	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する 課題の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項
127	つくば国際大学	②③④			③			①②③④			②大多数が理解	オンライン授業に関するアンケートを実施した結果より		今年度もオンライン授業に関するアンケートを実施予定。
128	筑波学院大学										①ほぼ全員が理解			
129	日本ウェルネススポーツ大学										①ほぼ全員が理解			
130	茨城女子短期大学	③④			①③			②⑤			①ほぼ全員が理解			
131	つくば国際短期大学										④把握していない	対面授業を基本として説明したいことから、理解しているものと判断する。		
132	常磐短期大学	②③		特になし	①③		特になし	②⑤		特になし	②大多数が理解	2020（令和2）年度後期（秋 semester）の授業終了後に併設校と共同で学生へのアンケート調査を実施した。遠隔授業（オンライン授業）全体を通しての満足度について質問したところ、「非常に満足している」または「満足している」と回答した学生は、回答者全体の73.5%であった。このことを踏まえ、2021（令和3）年度は、「十分な感染対策を講じたうえで」の面談授業と遠隔授業を併用して授業を実施することとしており、おおむね大多数の学生が授業の形態等について理解・納得しているものと認識している。	2020（令和2）年度後期（秋 semester）の授業終了後に併設校と共同で実施した学生へのアンケート調査は、全体の傾向を把握することを目的として実施したものであり、特定の学部等や学年における理解・納得の度合等は把握していない。	
133	茨城工業高等専門学校										①ほぼ全員が理解	後援会（保護者）役員会及び終業式で説明をして、特に異議等は上がっていない。	令和3年度の保護者懇談会、始業式で継続的に説明を行っていく。	
134	宇都宮大学	①②④			①②③			②③④⑤			①ほぼ全員が理解	HPや学生が必ず目にする媒体を通じて周知をしている。		
135	足利大学	①②④			③			②⑤			②大多数が理解	前記の遠隔授業に関するアンケートにおける自由記述の内容や各学部長から学生に向けてメッセージでの反応等、総合的に判断した結果。	未定	
136	白鷲大学	②③④			①②③			②③④⑤			②大多数が理解	遠隔授業における授業評価アンケートならびに学生の受講状況から判断した。		
137	作新学院大学	①			①			②③④⑤			①ほぼ全員が理解	ホームページやメール等での方針の公表、周知を定期的に行っている。また、学長自ら学生との話し合いの場に参加して、直接意見を聞いている。		
138	国際医療福祉大学										②大多数が理解	授業アンケート等	キャンパスの立地により異なる	丁寧な説明
139	宇都宮共和国大学										①ほぼ全員が理解			
140	文星芸術大学										④把握していない			
141	自治医科大学	②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解			
142	獨協医科大学	①②③④		特になし	①②③		特になし	①②		特になし	④把握していない	令和3年度の授業形態についてすべての学生にメール（LMS）等で周知しているが、学生の理解・納得の状況についてのアンケート等は実施していないため。	特になし	授業形態は新型コロナウイルスの感染状況によって都度協議される内容を毎回学生に周知しており、今後も継続する予定である。
143	佐野日本大学短期大学										①ほぼ全員が理解			
144	宇都宮短期大学										①ほぼ全員が理解			
145	國學院大学栃木短期大学										①ほぼ全員が理解			
146	足利短期大学	②③			①③			④⑤			①ほぼ全員が理解			
147	宇都宮文星短期大学										④把握していない			
148	小山工業高等専門学校										①ほぼ全員が理解	丁寧に説明を行っている。		
149	群馬大学	①②③④		特になし	①②③		特になし	①②③④⑤		特になし	①ほぼ全員が理解	本学では、新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、学生の安全を第一に考えた上で修学の機会を確保するためオンラインによる授業実施を決断したことについて、学長メッセージをはじめ、教務システム、大学ホームページ等を通して学生全員に理解と協力を求めた。なお、授業等の改善を図るため、学生全員に振り返りアンケート調査を依頼し、オンライン（Zoom）を利用した授業や、学習支援システム（moodle等）を利用した授業等の満足度を調査し、回答した学生の大多数の学生が「満足している」「どちらかといえば満足している」との結果を得ている。また、オンライン授業を主とする授業の実施に関する「学生と教員によるオンライン座談会」や「学長と学生との懇談会」においても授業科目ごとの課題の提出、通信機器のトラブル、図書館の利用及び課外活動の制限等への意見は寄せられたが、授業形態及び授業内容に関する否定的な意見は、特段なかったため、学生の理解が得られていると考えている。	特になし	学長メッセージ、教務システム、大学ホームページにより学生全員に理解と協力を求める。
150	高崎経済大学	①③			①③			②④			②大多数が理解	学生にアンケートを実施した結果	新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン及び授業実施ガイドラインの改定	
151	前橋工科大学										④把握していない			
152	群馬県立女子大学										①ほぼ全員が理解	令和3年1月に本学HPにて方針を示し、学生に周知し、理解をいただいた。		
153	群馬県立県民健康科学大学										②大多数が理解			
154	育英大学	①②④	オンデマンド、オンライン授業等の運用方法について、ICT専門委員会と協働しながら運用面、セキュリティ、安定運用のための設備整備等も含めた検討をしている。		①			②③④⑤			②大多数が理解	一部の学生には、質問、不明な点等に関して個別に教務課で対応している。		オリエンテーションを全学生対象に対面により実施し、授業運用方法について説明の上、理解と協力を得られるよう指導している。
155	桐生大学										②大多数が理解			
156	群馬バース大学										②大多数が理解	全学生に対し、4月より全員登録による対面授業で実施予定であることを周知しているが、学生からの問い合わせや教務困難等の連絡がないため。	該当する状況がない。	学生の理解や納得を得ていると考えるため、現時点で取り進む予定の事項はないが、今後得られていない状況となった場合には状況に応じた対応を想定している。
157	群馬医療福祉大学	①②③④			①②③			①②③④⑤			①ほぼ全員が理解	他のキャンパスにおいては、教養の広さに対して感染対策が可能なため、各学年をグループに分けて対面授業を実施している。（5割程度実施。）		オリエンテーションや基礎演習・総合演習等で何度も説明をしている。

No.	学校名	遠隔授業の向上 方策	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	学生の理解を得 る取組	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	新入生等への配慮	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する課題の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項
158	高崎健康福祉大学	②		特になし	②		特になし	①②③④⑤		特になし	②大多数が理解	早い時期から伝達しており、方針について学生や教員から異論が出ていない。	特になし	学生が確認できるポータルサイトやメールを使用して必要な情報を迅速かつ適切に送信する予定。
159	高崎商科大学	②③④			①②③			②③④⑤			②大多数が理解	大学の方針や授業形態について、学生及び保護者に対して大学のポータルサイト及びホームページで複数回通知している。また、オリエンテーションでも丁寧に説明を行っており、現時点では特段本件に関する問い合わせも出ていない。		引き続き学生に対してはポータルサイトやホームページにて情報提供していく。保護者に対しては保護者連絡用のメールや大学ホームページより発信していく。ピアサポーターの制度やカウンセラーの配置も行い、不安の払しょくや心のケアも実施していく。常に社会全体及び校内の感染状況を注視しながら大学の方針を伝え、可能な限り対面の機会を提供する方針であることを丁寧に伝えていく。
160	上武大学	②③			①②③			②④⑤			④把握していない			
161	関東学園大学	②	特になし	特になし	①②	特になし	特になし	⑤	特になし	特になし	①ほぼ全員が理解	ホームページ等で学生に周知している。	特になし	オリエンテーション等で学生に周知予定している。
162	共愛学園前橋国際大学	①②③④			①②③			②③④⑤			①ほぼ全員が理解	全学生に学生生活ガイドラインを送付し周知している。		
163	新潟学園短期大学										②大多数が理解	面接授業を行うことに学生からの反対意見は聞かれなかったため		
164	青英短期大学	①②③		オンデマンド、オンライン授業等の運用方法について、10専門委員会と協働しながら運用面、セキュリティ、安定運用のための設備整備等も含めた検討をしている。	①③			②③④⑤			②大多数が理解	一部の学生には、質問、不明な点等に関して個別に教務課で対応している。		
165	群馬工業高等専門学校										①ほぼ全員が理解			
166	埼玉大学	①②			①③			③⑤			②大多数が理解	3月18日の時点で、令和3年度前期の授業実施形態について公表を行っており、さらに、後期は未定（全面的な面接授業に転ずる可能性もある）であると案内していることから		
167	埼玉県立大学	①②③④			①②③			①②③④⑤			①ほぼ全員が理解	令和3年度の授業方針について、2月、3月の2回にわたり、学長からのメッセージの発信や学生への通知（メール、ホームページ等）で広く周知している。また、個別の問い合わせがあった場合も、必要性について丁寧に説明することで納得いただいている。	引き続きホームページやメール等での周知、ガイダンスなどの情報提供等を行い、あらゆる機会を用いて学生の理解が得られるよう取り組んでいく。	
168	日本医療科学大学										②大多数が理解	コロナ禍における現状への認識はあると考えるが、実験・演習など学内でしか実施できないこともあるため。	毎期初に方針や、授業の在り方や、対応の仕方について学長メッセージや、大学からの連絡を学内ポータル等で発信している。	
169	日本薬科大学	⑤	教育の質の向上の為、教員間で各種授業の工夫策などを紹介する、あるいは使用する情報システムのバージョンアップ情報を速やかに共有するなどの交流サイトを立ち上げ活用した。	①②	②③⑤			②③⑤			②大多数が理解	5月と10月に実施した全学科、全学年でキャンパスライフアンケートの中で、オンライン授業への評価等についても確認を行った結果、オンライン授業（リアルタイム型）の録画を自由に何回も視聴して復習できるようになったことや、チャットの活用によりいつでも質問ができるようになったなどについて好意的な評価が多かった。	面接授業・遠隔授業に関わらず、デジタル面での利便性を高める為、学内のWi-Fi等の設備の充実、新しい学習システムの導入を図る。	
170	武蔵野学院大学										①ほぼ全員が理解	在学生及びご家族に2021年度授業形態に関するお知らせを通知した。		
171	浦和大学	①④			③			④⑤			②大多数が理解			
172	ものづくり大学	②③④⑤		2020年度のFD研修において、遠隔授業での取組みの工夫などを共有した。	①②③			①③④⑤			①ほぼ全員が理解	2月に実施した遠隔授業アンケートにおいて、約9割の学生が、対面授業と変わらず充実して取り組んだと回答しているため。	遠隔授業への取組みの基本方針を、あらかじめ学生に示す。	
173	共栄大学	②③			①③			①③			②大多数が理解	学期の開始前に、大学から授業の実施方針や方法について学生に説明しており、授業開始後は問題なく面接授業、遠隔授業が実施できている。	オリエンテーション等で学生に説明するとともに、アドバイザー教員をはじめとする教職員が学生からの問い合わせ、相談に丁寧に対応する。	
174	埼玉学園大学	②			①			②④			①ほぼ全員が理解	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を講じていることを学生に周知し、面接授業を行っている学生から不満・不安の声は特にあがっていない。		
175	尚美学園大学	①②	(対象外)	(特定の学部や学年による違いはありません)	②	(対象外)	(特定の学部や学年による違いはありません)	②③④⑤	(対象外)	(特定の学部や学年による違いはありません)	②大多数が理解	ホームページや学生ポータルサイト等からの度重なる告知に加え、指導教員からの履修指導機会を増やして徹底しましたので、(質問メールの件数からも)大抵の学生には理解させられたと考えます。	(特定の学部や学年による違いはありません)	(現状の継続徹底を行い、特に新規の手段はありません。)
176	人間総合科学大学	②③④		TV会議を使用した双方向遠隔授業やオンデマンド配信の組み合わせ等は科目毎に授業の特性に合わせて選択している。	①③		科目によっては、面接授業にその色のない学修の質を確保している。	②③⑤		学科・学年によっては、TV会議システムを使用しての個別相談等に応じている。	②大多数が理解	令和2年度は早期の段階より、遠隔授業に取り組んでおり、コロナが収束しない限り、この授業形態(併用)は継続するとの認識ができていると考えられるため。	年度の始めに、全学生(学科・学年毎)に対しオリエンテーションを実施し、授業の実施方針について説明を行う。	
177	西武文理大学	①②③④			①②③			②③⑤			②大多数が理解	昨年度後期より、同様の方針で都度丁寧に説明してきたため。ただし、少数ではあるが、遠隔授業の受講方法、課題の提出方法を理解できず、受講できない学生が存在する。	オリエンテーションや学習支援システムでの周知	
178	十文字学園女子大学	①②③④		特になし	①②③	特になし		③④⑤	特になし		②大多数が理解	遠隔授業に関するアンケートによる、遠隔授業に対する満足度は「あてはまる」、「ややあてはまる」を合計すると約7割であったため。	学生、保護者等の質問や問い合わせに対して誠実に耳を傾けること、本学の授業方針について丁寧な説明も担っていく。	
179	平成国際大学	①④			①②③			③			④把握していない			
180	東京国際大学	①②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	令和2年12月、令和3年3月に学生全員に対して、令和3年4月からの開講について、感染状況を鑑みながら、段階を踏んで、開講方法をお知らせしている。また、留学生に対しては、別途、案内を出すなど、学生の状況に応じた対応により、一定の理解を得られていると思われる。	授業に関する案内やサポート情報を必要に応じて、学生に案内をしていく。	
181	城西大学	①②③		基本的に大人数科目についてはオンライン授業としているが、特定の学部では教室を2つ用意して同時に授業を実施。	①		特になし	①⑤		特になし	②大多数が理解	2020年9月実施の本学在学生を対象にしたアンケート結果に基づく。	特になし	検討中
182	東邦音楽大学										①ほぼ全員が理解	学生オリエンテーションを通じ全学生(教員)に説明を実施しています。		学生オリエンテーション、WebSite等を通じ、状況の変化に応じ常に情報発信と実施する予定です。



No.	学校名	遠隔授業の向上 方策	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	学生の理解を得 る取組	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	新入生等への配慮	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する課題の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項
183	獨協大学	①②③④			①②③			②③④⑤			①ほぼ全員が理解	令和3年度春学期授業の方針について、学長や学部長、教務部長からのメッセージをホームページに掲載し、かつ学生個人に対してはポータルサイトを通じて一人一人に通知を行っています。また学生にアンケートを実施して、状況の把握に努めています。		大学の方針等について、学長、学部長、教務部長からホームページで発信し、かつ学生個人に対してはポータルサイトを通じて通知を行っていきます。また学生へのアンケートを継続して実施していく予定です。
184	日本工業大学	②③④			①②③			①②③④			④把握していない	授業形態の方針については、ホームページやポータルサイト等に公開し、入学予定者や在学生に対して早期から情報発信をしているが、アンケート調査ではないため、学生の理解の状況については把握していない。しかし、今のところ学生からの苦情は寄せられていない。	学生への情報発信や授業評価アンケート等から、大学としての対応について理解を求めることや学生のフィードバックに対して満足度が上がるように対応したい。	
185	埼玉医科大学	②③④			①②③			①②③④			②大多数が理解	遠隔授業に対するアンケート調査の結果、学生は概ね受け入れているが、一部から意見もあった。	学生アンケート調査を実施予定	
186	埼玉工業大学	①②			①			①②④			①ほぼ全員が理解			
187	駿河台大学	②③	法学部における1年次必修の講義科目について、複数クラスとして、面接授業のクラスとオンラインクラスを設ける。理由は対面を希望する学生と基礎疾患等の理由によりオンライン授業を希望する学生の要望に対応するため。		①③			②④⑤			④把握していない	昨年12月の段階で2021年度授業の基本方針をホームページやポータルサイトで周知している。しかしながら、2021年度授業の基本方針について学生アンケート等の手段による確認は行っていないため。	可能な限り対面の授業実施を行うことを基本とするが、受講者が一定数を越える授業や通常時の定員を減らした教室の状況により、遠隔授業や面接授業と遠隔授業を組み合わせるハイブリッド型の授業を行うこととしている。今後は感染状況も踏まえながら、学生同士や学生と教職員間の交流の機会を増やす等の取り組みも検討していきたい。	
188	聖学院大学	②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解			
189	女子栄養大学	①②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解			
190	東都大学	①④			③			①⑤			④把握していない			
191	日本保健医療大学	①②④			①②③			①②③④⑤			①ほぼ全員が理解			
192	文教大学	①②③		遠隔授業実施のため、専任教員・非常勤講師と準備室職員合同で勉強会を実施し、FD活動を行った学部もある。(文学部)	①②③			②③④⑤			④把握していない	学生に対してアンケート等は実施しておらず、理解・納得の度合いを客観的に把握できていないため。	本学の方針や授業の形態について、変更があった場合は、大学ホームページ等で やすみやかに周知を行う。	
193	大東文化大学	①②③			②③			①②③④⑤			④把握していない	現時点では学生の理解・納得の状況把握のためのアンケート調査を行っていないため。	学生へのアンケート実施を検討。	
194	武蔵野短期大学										①ほぼ全員が理解	在学生及びご家族に2021年度授業形態に関するお知らせを通知した。		
195	埼玉純真短期大学										①ほぼ全員が理解	実習や演習科目が多いため教員がその理由を丁寧に説明し、学生の理解を得ている。	単学科ため クラスやゼミなどを通じて変化する状況に 適応した行動が取れるよう伝える。	
196	城西短期大学	①②③			①	特になし		①⑤		特になし	②大多数が理解	2020年9月実施の本学在学生を対象にしたアンケート結果に基づく。	特になし 検討中	
197	国際学院埼玉短期大学	①②③④⑤	Microsoft Teamsを導入し、今まで以上にきめ細やかな遠隔授業を行うこととしている。		①②③			②③④⑤			①ほぼ全員が理解	本学の授業の考え方や安全対策を学生に説明した結果、不安等を訴える声はなかったため。	ガイダンス等において、不安を払拭するよう、さらに説明を行っていく。	
198	秋草学園短期大学	②③④			①③			⑤			②大多数が理解	令和2年度末の学生理解について、遠隔授業に対する理解は高くはなかったが、『令和3年度は「対面・遠隔」どちらの授業を希望するか』の設問に対し70%弱の学生から対面を希望するとの回答があったため。		
199	川口短期大学	②			①			②④			①ほぼ全員が理解	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を講じていることを、学生に周知し、面接授業を行っているが、学生から不満・不安の声は特になかったため。		
200	埼玉医科大学短期大学	①②③④			①②③	遠隔授業で、1時間の授業を数日間閲覧できる等の配慮をした。		①②③④⑤	学年ごとにオリエンテーション等、密にならないよう配慮した。		②大多数が理解	授業前のオリエンテーションにて、本学の方針について説明をする。		
201	埼玉女子短期大学	①②④			①②③			②③④⑤			③大多数とは言えない	学生個々にコロナに対する考え方が異なり、学生アンケートでも賛否両論であるため、理解を得られているとする根拠を示すことができない。	学生アンケートの拡充	
202	山村学園短期大学										①ほぼ全員が理解	卒業後、別室にて預託していた保護者が本学での対面授業の実施について感謝していると直接告げられた。		
203	武蔵丘短期大学	①②③			②			④			④把握していない	今後のオリエンテーションで説明するため。		
204	埼玉東萌短期大学										①ほぼ全員が理解	在学生に対しては、学内サイトやメール配信、クラスHP等で4月以降の授業について周知を行っているため。	4月のオリエンテーションにおいて、より丁寧に1・2年生に対して授業の方針等について説明を行う。	
205	千葉大学	②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	令和2年度中に行った各種アンケートからは、現行の方式となったことで何度も授業コンテンツを見返すことができることから授業の理解が進んだといった意見や、学修時間を自ら管理し効率的な学修を行ったなど、新たな授業形式を活用している点が確認できているほか、令和3年度の授業への参加にあたり、個別の事情により、授業方への配慮を申し出る学生に対しては、大学と学生とで授業の形式を検討するなどしており、このような点から、上記の回答とした。	在学生、新入生に対して全学のホームページやガイダンス、各科目のシラバス等を通じて、令和3年度の授業の実施方法を丁寧に説明していくほか、新入生に対しては、パソコンをはじめとする必要な機器や、ネットワーク環境について入学よりアドバイスを行うほか、必要者については、モバイルルーターの貸与といった支援を継続して行うこととしている。	
206	千葉県立保健医療大学	①②④			②			②④			③大多数とは言えない	令和2年度を通じて、特段の苦情や強い要望などを受けていないことから。	学内の教務委員会において、より良い授業の提供についてコロナ禍の状況に合せ検討をし、学生へリアルタイムに情報を提供してゆく。	
207	流通経済大学	②③			①			②③④⑤			①ほぼ全員が理解	ホームページや学生ポータル等で周知し、全学生が授業形態について理解できるようにしている。新入生ガイダンスでも周知する予定である。また、原則として面接授業で行うこととしたため、納得は得られていると考える。	安心して面接授業に臨んでもらえるよう、感染対策の徹底に努める。	
208	明海大学	①②③④			③			②④⑤			①ほぼ全員が理解	2021年度前期学期において、2020年12月15日に第一報、2021年3月3日に第二報として運営方針を学生に通知し、併せて学内ポータルシステムでも周知したため。	オリエンテーションにおいて授業の履修方法やLMSの使用法について周知し、学生からの質問に対応する窓口を開設する。学期中の学生に対する情報発信上で常時配慮し、必要に応じて学生向けの解説動画を配信する。	

No.	学校名	遠隔授業の向上 方策	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	学生の理解を得 る取組	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	新入生等への配慮	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する課題の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項
209	国際武道大学	①②③④			①②③			①②③④⑤			①ほぼ全員が理解	本学ではオンライン授業を進めるにあたり、授業支援SNSシステムを導入した。これは、学生がスマートフォンでも容易に使い、LINEにレポート管理機能が加味されたようなツールであり、特徴として、単位の実質化のための双方向性授業の実現、授業時間外の学修のサポート、授業で使う資料の共有及びレポートの提出・添削管理など、手厚いサポートに体制を整えている。学生は、これらのシステムにより、リアルタイムで教員への質問ができ、教員は個別にフィードバックや手厚い指導ができ、満足度の高いオンライン授業を提供している。2020年度学生による授業評価アンケートにおいても、オンライン授業を含む授業満足度は非常に高く、学生から提出される課題レポートや授業ノートなども、各教員の評価も非常に高く、授業の質保証に担保できている。		
210	千葉科学大学										①ほぼ全員が理解	遠隔授業は、学生側のネット環境によっては接続が切れることがあり、対面授業を希望する学生の方が多かったため。	ポータルサイトやオリエンテーションでの周知を行う予定。	
211	愛国学院大学										②大多数が理解	令和3年度の2月に全学生を対象に実施した「教育環境と学生生活に関する調査」において、今年度における本学の教育全般についての満足度は「良い」が半数以上となっており、「不満」もしくは「やや不満」は合わせて7%程度であった。また、年度の途中で導入したリモート授業に関する説明においては、「良かった」と「わる」とは考えにくく、実際に上記調査の結果においても特に学生による回答の傾向に大きな違いは見られていなかった。	本学は一部一学科かつ学生数も多くないことから、授業の形態についての理解や納得の状況において、学生間でそれほど大きな差が生じるとは考えにくく、実際に上記調査の結果においても特に学生による回答の傾向に大きな違いは見られていなかった。	4月に行われる新入生および2年以上の学生を対象とした履修ガイダンスにおいても、授業の形態に関する説明を行う予定である。また、先に述べた調査を含め、定期的に学生の声を拾い上げ、その意見をもとに授業形態の改善や見直しを行い、広く理解や納得を得ることに努めたい。
212	開智国際大学							②④			②大多数が理解			
213	清和大学	②			②③			②④			②大多数が理解			
214	城西国際大学	②③④			①③			②③④⑤			②大多数が理解	学生の理解・納得状況を把握するため、今後学生アンケートを実施する予定		
215	淑徳大学	①②③	あるキャンパスでは、履修者数が大多数想定されるかつ教員の換気器具内で収まらない面接授業科目について、履修者を学籍番号偶数奇数で分け、隔週で面接・遠隔を切り替えるハイブリッド授業科目を開講する。ハイブリッド授業教室には録画用のカメラ・マイクを配備し、遠隔授業のグループにおいては、面接授業を録画した動画もしくは別途録画した授業動画をオンデマンド配信する。		①②③	あるキャンパスでは、質問があった内容を元に、遠隔授業に関する質問回答集を作成の上、学生・教員に郵送配信し、学生に可能な限り理解を促進できる取り組みを行っている。		①②③④⑤	あるキャンパスでは、例年新入生を対象に実施している仮想オリエンテーションの中で、遠隔授業で使用するシステムのアカウント登録設定等の支援を行う予定である。また、令和2年度の入学生に対しては、アドバイザー教員により、対面による履修指導を実施予定である。	②大多数が理解	本学のポータルシステムを使用し、学生一人一人に正確に伝わるように配慮し、周知するとともに、新年度オリエンテーションを今年度ごとに実施し、オリエンテーションのプログラムで授業に関する説明を行う機会を設けているため。	新入生オリエンテーションでのアドバイザーによる指導等の機会を利用した説明を行う。新2年生以上に対しては、3月中または4月上旬の履修指導を通じて、教員から丁寧な説明を行う。また、科目により対面授業と遠隔授業が授業週により異なる場合があるため、遠隔時間割表を作成し、学生が混乱しないように対応する。		
216	敬愛大学	④			②③			②⑤			④把握していない	令和3年度の授業については、基本的に対面授業を実施することとしているが、理解・納得しているかどうかのアンケート調査は行っており、令和3年度前期の授業評価アンケート結果を見て、判断していく。	令和2年度の実施形態と比べ、令和3年度の授業については、対面授業を多く行ったが、より担当教員に依頼しております。今後、コロナの状況をみながら、コロナ以前の対面授業に切り替えを進めていきたいと考えております。	
217	千葉工業大学	②③④			③			①②③④⑤			②大多数が理解	令和3年度の授業形態は学生に配慮済みであり、新学期には各学年にガイダンスを実施し、理解を深めてもらう予定である。		
218	千葉商科大学	①②③④			①②③			②③④⑤			①ほぼ全員が理解	授業形態について、本学公式Webサイトへの掲載、全学生へ（保証人）への通知を行い準備しているが異議は寄せられていない。	新入生に対しては4月にオリエンテーションを実施し、履修登録の説明等について、丁寧に説明をする予定。また、在学生にも本学ポータルサイトを通じて周知徹底を継続していく。	
219	中央学院大学	①②③④		特になし。	①②③		特になし。	①②③④⑤⑥		特になし。	④把握していない	2月半ばにポータルサイト及び大学ホームページにて、令和3年度は原則対面授業を実施することを告知したが、学生の理解・納得の状況については把握できていない。現時点で内容等は無い。対面授業に不安がある学生に対しては、遠隔授業受講希望の希望を受け付けて配慮を行う予定であり、すでに遠隔授業受講希望者も存在する。	令和3年度前期において、全学で授業評価アンケートを実施する。令和2年度と同様にポータルサイトで学生対象のアンケートを行い、学生の理解・納得の状況について調査する。遠隔授業実施を申請した学生に対して、授業の実態の状況を把握するためのアンケートを行い、教員に対してどのような対応をしたかについて調査する。ホームページで告知しているが、特に新入生に対しては入学式当日に行うガイダンス等で改めて周知する。	
220	麗澤大学	②			①②			③			②大多数が理解	オリエンテーションを通して、すべての学生に周知を徹底した。		
221	和洋女子大学	①②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	3月11日・12日に履修登録ガイダンス(対面)を実施。1～3年生に授業の形態について説明した。		
222	神田外語大学	①②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	学生には、大学の方針を基に各授業の形態を公表しており、特に学生から要望や不満等が大学に届いていない。	①新年度のガイダンスで学生に詳しく説明する。②初回の授業時に教員から授業の目的・内容と併せて授業形態を説明する。	
223	千葉経済大学	②③			③			④⑤			④把握していない	HPや掲示板、学生への一斉メールで知らせているため		
224	秀明大学	①②④			①②③			①③④			①ほぼ全員が理解	学生向け質問窓口（フォーム）での問い合わせ内容に、授業形態に関する問い合わせがほとんどなく授業を開講できた。		
225	川村学園女子大学										④把握していない	令和3年度の方針は周知しているが、意見の聴取は行っていない。		

No.	学校名	遠隔授業の向上 方策	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	学生の理解を得 る取組	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	新入生等への配慮	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する課題の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項
226	東京情報大学	①			③			⑤			②大多数が理解	学生用ポータルサイトや大学ホームページで、大学の授業方針等について周知している。授業等についての質問はメールで受け付け、1件1件できるだけ丁寧な対応を行った。その結果として遠隔授業開始当初は、「日あたり毎当該の質問メールが届いていたが、学生からの質問や意見を教職員に周知し、授業方法の改善を重ねてきた結果、質問も減少しており、大学の方針が学生にも浸透してきたものと考えられる。		前期授業開始前の学年別のガイダンス等において、あらかじめ大学の方針等について説明し、理解を求める。そのうえで、引き続き学生からの質問等へは丁寧な対応を継続していく。
227	東京基督教大学	①②③			①②③			②③④⑤			②大多数が理解	アンケートの結果に基づく。ただし、一部不満のある学生もおり、担当教職員が相談に乗る等個別に対応している。		
228	聖徳大学	①②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	コロナ禍以前と比較して、中途退学者が減少している。遠隔授業に関する学生からの意見では、「繰り返し授業の振り返りができること」、「自分のペースで進められること」、「実技について教室で受講するよりも細かい動きを把握できて分かりやすい」等、多くの学生から肯定的な意見が出されている。		授業開始前に新入生オリエンテーション及び在学生オリエンテーションを対面で実施し、学部ごとに詳しく説明するとともに、学生同士及び教員との交流の機会としても活用する。履修上の理由等により欠席した学生に対してもオンデマンド配信等で内容をフォローする。さらに新入生に対しては、感染防止対策を講じたうえで、従前から本学独自の取り組みとして実施している学外研修を、今年度も日帰りで実施する。この研修では「チームワーク力」、「コミュニケーション力」、「企画力」、「課題解決力」、「自己管理能力」、「達成感」を得ることができるので実施する方向で進めている。
229	江戸川大学	①②③			①②③			①③⑤			②大多数が理解	各授業科ごとに行われる授業評価アンケートにおいて、授業理解度をはじめとする全体的評価結果において、オンライン実施以前より以降の評価が向上していることなどから、大多数の学生は、授業の形態等について理解・納得していると考えている。		
230	了徳寺大学	①②③④			①②③			②③④⑤			①ほぼ全員が理解	令和2年度において、全学生あるいは特定の学年を対象に、複数回のアンケート調査を実施している。学生からの要望は多々あるもの、大学からの回答に多くの学生は一応の納得を示しているように思われる。		
231	植草学園大学	①②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解			授業方針に変更が生じた場合には、HPを含め、大学からのお知らせを周知する。
232	三育学院大学	①			②③			①⑤			②大多数が理解			
233	亀田医療大学	②③④		特になし	②		特になし	②③④⑤		特になし	④把握していない	遠隔授業の学習環境に関するアンケート調査は実施したが、理解や納得が得られていないについては、調査を実施していないため。		毎年実施している、学生生活満足度・実態調査にてアンケート調査を実施予定
234	東邦大学	②④	一部の学部では、授業録画システムを構築し、面接・遠隔授業を同時に用いることで、対面の機会を確保している		①②③			②③④⑤			②大多数が理解	学生に対しては大学ウェブサイトや学内ポータルサイト等を通じて丁寧な説明を行っている。また、学生からの相談体制も設け、丁寧な体制構築、対応に努めており、授業形態等に関する不支持の意向や苦情等は多くなく、また、あった場合も説明の上、納得をいただいている。さらに、令和2年度の遠隔授業に関する学生アンケートの回答結果からも妥当性を確認している。		
235	千葉明徳短期大学	③④			①③			②④			②大多数が理解			
236	昭和学院短期大学										①ほぼ全員が理解	新2年生については1年後期から通常の授業形態であったことから、その継続である。新1年生については入学前オリエンテーションで説明し、既に個々の授業のクラス分け等決められている。		①感染防止策を含めて学内で実施体制を構築し、全学的に情報を共有する。②全学共通事項についてはクラス担任が学生に説明をする。③個々の授業については授業担当者が説明し、学生からの質問・相談に応じる。④ごく僅かではあるが、感染防止に神経質な学生に対しては相談・要望を真摯に受け止め、学科・専攻長、教務、保健衛生委員長等が対応する。
237	千葉敬愛短期大学										①ほぼ全員が理解			
238	東京経営短期大学	①		特になし	①②③		特になし	①②③⑤		特になし	①ほぼ全員が理解	小規模な短期大学であるが故に学生一人ひとりに情報が行き届いている		昨年度実施できなかった事前のガイダンスやオリエンテーションを今年度は確実に実施する
239	植草学園短期大学	①②③④			①②③④	各授業で指摘された学生からの指摘を毎月の学科会議で共通理解し、必要に応じてすぐ改善できるようにしている。		①②③④⑤			①ほぼ全員が理解	「学校生活満足度アンケート」「授業評価アンケート」を自由記述も含めて確認する。また、アンケートの評点を令和元年度と比べても大きな変化はない。		令和3年度の新生については「新入生オリエンテーション」及び「新入生ガイダンス」期間を長く設定し、本学の方針について丁寧に説明するとともに、遠隔授業にスムーズに入れるような支援を徹底する予定である。2年生についても例年よりも充実したガイダンスを予定している。
240	木更津工業高等専門学校										②大多数が理解	学校の方針をHPや一斉配信メール、学内チャット等の手段で周知したが大きな反対はなかったため		
241	東京大学	①②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	令和2（2020）年度において学生アンケートを実施したところ、オンライン授業が実施方法の工夫などにより対面授業にはない様々な特徴や教育効果を有することや評価する回答が多数あった一方で、授業課題による負担の増大や入場できずに自宅等学外からオンラインで授業等に参加し続けることにより、友人や教員と十分なコミュニケーションがとれないことへの改善などの要望があった。令和3（2021）年度においては、これら学生の声を踏まえ、要望の実現と問題の解消に向けて継続的に対応を進めるとともに、引き続き学生及び教職員の健康に最大限の注意を払いつつ、教育効果、受講者数、科目の特性、人的ネットワークの構築を含む学生の成長機会の確保等を考慮して、対面・オンライン・併用の各授業形態の良さを生かしながら実施していくこととしており、大多数の学生は、授業の形態等について理解・納得していると言える。		学生に向けたメッセージを発信すること等をはじめ、今後、引き続き学生の理解を得るために適切に対応していく。
242	東京医科歯科大学	①②③④			①②③			①②③④			②大多数が理解	学内外のHPへの掲載や全学メール等で、新入生及び在学生に対して、令和3年度の授業方針を早くから周知しており、ほぼ全ての学生が授業の形態等について理解している。		
243	東京外国語大学	①②③④			①②③			②③④⑤			②大多数が理解	・ホームページに学長メッセージ及び教務関連まとめページを掲載し、令和3年度の授業形態を案内している。・基礎疾患などを持つ学生などに対する配慮を実施している。		・ホームページに掲載している教務関連まとめページを更新し、充実させる。・学修相談相談窓口として設置しているアカデミック・サポート・センターを活用する。
244	東京芸術大学	②③④			①②③			②③④⑤			②大多数が理解	令和2年度に「学修と学生生活アンケート」にて意見聴取を実施		

No.	学校名	遠隔授業の向上 方策	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	学生の理解を得 る取組	その他の具体的内容	特定の学部等での 取組	新入生等への配慮	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する課題の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項
245	東京工業大学	②③④⑤	ライブ型の遠隔授業ではなく、オンデマンド型の遠隔授業のように双方向性が不逞しやすいため授業形態の場合については、その授業の質を確保するために各学部の教授会で授業方法等についてチェックする仕組みを全学レベルで導入している。ライブ型の遠隔授業では、録画したものを後日ストリーミング配信するようにして、学生がいつでも復習できる体制を整えている。	1年次の数学科目では、遠隔授業の理解を深めるための補助教材として、オンデマンド型の動画教材を独自に開発して提供している。	①②③	4月に学生課程2年次向けに説明会を実施予定。	①②③④⑤				③大多数とは言えない	3月24日に「2021年度の学生の来学機会の確保について」「2021年度授業実施のガイドライン」などを学生に案内して本学の授業実施の方針を伝えている。一部の学生から対面授業がないというコメントがある一方で、家庭に滞りがある。あるいは通学時間が長い。対面授業は避けたいなどという意見もある。特に、新2年次学生には4月に説明会を行い、理解を求める。個別に学生から意見があれば、丁寧に回答し、理解を得る努力をしている。新入生も加わった新学期が始まった段階でアンケートを実施し、今後の方針を決めていく予定である。	新2年次学生には4月に説明会を行う。前期期間中に学生アンケートを実施予定。	
246	お茶の水女子大学	②③④			①②③		②③④⑤				①ほぼ全員が理解	令和2年度後期に実施した学生向けのアンケートにおいて、学生の希望は基本オンラインが最大多数であり、授業の理解度・満足度は高く、理解を得られていると考えている。この方針に基づき令和3年度の授業形態については学生向けのメールマガジンで説明を行い、さらに教育担当理事・副学長によるオンライン説明会（2回）を開催した上で、学修支援サイト（Moodle）にも「令和3年度前期授業の実施方法について」を掲載し届出した。	今後も学生アンケート等により学習成果と学生の要望を把握し、従前の学生向けメールマガジン、学修支援サイト、オンライン説明会等で周知していく。	
247	東京芸術大学	①②③④			①②③		①②③④⑤				②大多数が理解	令和3年度前期に実施した学生向けのアンケートにおいて、学生の希望は基本オンラインが最大多数であり、授業の理解度・満足度は高く、理解を得られていると考えている。この方針に基づき令和3年度の授業形態については学生向けのメールマガジンで説明を行い、さらに教育担当理事・副学長によるオンライン説明会（2回）を開催した上で、学修支援サイト（Moodle）にも「令和3年度前期授業の実施方法について」を掲載し届出した。	引き続き、オリエンテーション等での周知、更なる感染拡大防止対策を講じる。	
248	東京農工大学	①②③④			①②③	大学全体として期末の授業アンケートを実施し、オンライン授業について学生からの要望や意見を積極的に取り上げ、次期の授業実施に役立っている。		①②③④⑤	工学部で実施しているハイブリッド授業では、大学生活に慣れていない新入生を1週間単位でキャンパスでの対面授業に参加させ、孤立させない方向での学生対応を行っている。	①ほぼ全員が理解	大学のHPや学生向けの電子掲示板を通じて授業実施の対応方針を繰り返し丁寧に説明を行うとともに、オンライン授業の中でもそういった点を説明してきている。			
249	電気通信大学	①②③④		特になし	②③			①③④⑤		特になし	③大多数とは言えない	全学生に対して来年度の授業形態について通知し、その後特に対抗する意見は寄せられていない状態であるので、大きな反対はないと思われる。しかしながら、この件に関して各学生にアンケートを取ったりはしていないので、3と回答した。	学期の途中で学生アンケートを取り、その学期の授業の改善を試みると共に、学生の意見を吸い上げる予定である。また、数名の学生と学生・理事との懇談会を通じて、学生の要望等を汲み取る予定である。	
250	一橋大学	①②③④			①②			②③⑤			②大多数が理解	2020年8月下旬に令和3年度の授業の形態に関する本学の方針についてWebサイトで公表、学務情報システム（GELS）にて学生全員に周知しているが、学生からの苦情等はきていないため。		
251	政策研究大学院大学	②④			②③			②			②大多数が理解	オンライン講義に対するアンケートを実施しており、おおむね満足しているという結果のため	・教員向けにオンライン講義の習熟度を高めるため、マニュアルの更新やセミナーの開催等 ・学生向けにアンケートを実施し、結果を講義に反映させるなど学生の意見を聞き取り組みを引き続き実施する	
252	東京海洋大学	②③④			①②③			③④⑤			①ほぼ全員が理解	令和3年3月5日の緊急事態宣言の延長決定を受け、3月8日に在学生並びに4月からの新入生及びそのご両親の方々に対し、2021年度における授業等の実施方法を本学ホームページに専用サイトを開設して情報提供を行うとともに、在学生については教務システムを利用してメール配信を行った。これらは、学生が授業を履修する上で必ず確認しなければならない情報ツールであるため、学生全員が必ず認識していること。また、それぞれに相談窓口等を設けているが、特に学生からの質問等はなく、現時点では「ほぼ全ての学生が理解・納得している」と考えている。	令和3年度についても引き続き、授業形態に関する方針を決定次第、速やかに学生に丁寧かつわかりやすく情報提供するとともに、学生にアンケート調査を実施し学生の疑問等に応えることで、学生の授業形態についての理解や納得を促す。	
253	東京都立大学	①②③④			①			④⑤			②大多数が理解	HPや全学生に周知するメール配信機能等を有するソフトウェアを利用して、来年度の授業実施方針やオンライン授業開講科目を周知し、それに対する相談窓口も周知しているため。	授業実施方法に変更があった場合には、上記のソフトウェアのメール配信により周知する。	
254	東京都立産業技術大学院大学	①②③④			①②③			②③④⑤			②大多数が理解			
255	東京福祉大学	①②③			②			④⑤			②大多数が理解	ハイブリッド授業で対面・オンライン半々の機会を設けているが、オンラインでもきちっと参加していただけなので、ご理解いただけていると理解している。		
256	跡見学園女子大学	①②						③④			④把握していない	授業形態に関する調査等は、実施していない。	4月に各学部・学年で実施するオリエンテーションにおいて、授業形態に関する説明を実施する。	
257	文京学院大学										②大多数が理解	学内で実施した学修状況調査の結果等から判断した。	①HPや学内連絡ツールを活用した個別な情報発信 ②リモート会議システムを活用した双方向の意見交換機会の提供	
258	目白大学	①②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	令和3年度新入生はもとより、令和2年度入学生に特設の配慮を面接授業の機会を提供する旨を授業実施方針に加えた	令和2年度前期実施の学生アンケートと後期実施のものを比較すると、後期の方が理解・納得の度合いが低くなっており、この要因は前期より後期の方が授業内容が質化していることに加え、遠隔授業に対する集中力が低下したためと分析している	定期的にアンケート調査や対面での意見交換会によって学生の意向を把握し、授業実施方針に反映していく
259	東京成徳大学	②③			①③			③④⑤			④把握していない	令和3年度の学生の理解・納得度に関する調査は、令和3年度前期にアンケート調査等を実施して把握する予定である。	上記3-11で回答したアンケート調査を実施した結果に基づいて協議し、その結果に応じた対策を検討する。	
260	東洋学園大学	③④		特になし	③			①③⑤			②大多数が理解	所在地が東京の大学のため、通学に不安を感じる学生がいる一方でオンライン授業には馴染めない学生がいるなど学生の感じ方が多様である。	特になし	秋学期に引き続き、対面授業であっても基礎疾患や特設の事情がある学生は、オンラインで受講できるように申請することができるなど、学生の状況に応じて対応する。
261	帝京平成大学										①ほぼ全員が理解	授業形態に関する方針は学内ポータルシステムで広く周知しており、学生についても理解・納得しているものとする	感染対策を講じつつ、学内のガイダンス等で対面授業の重要性を周知し、改めて理解してもらう	



No.	学校名	遠隔授業の向上 方策	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	学生の理解を得 る取組	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	新入生等への配慮	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する課題の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項	
262	青山学院大学	①②③		該当なし	①			①③④⑤		該当なし	①ほぼ全員が理解	2021年度の授業実施形態について、学生ポータルを通じて3回（2020年9月、10月、2021年2月）に大学としての方針を説明。やむを得ず、大学へ通学できない等の事情がある学生については、本人からの申し出により相談を受け個別に対応しています。			
263	上野学園大学	①②			①②			③			②大多数が理解	授業実施方法を、入学予定者を除く全学生に通知したため。		授業内容に関する満足度調査などの実施。	
264	大妻女子大学	②③④			①②③			③⑤			①ほぼ全員が理解	1月より数回にわたりホームページ、ポータルサイトで令和3年度の授業形態の検討状況、結果について周知している中で、学生からの異議を唱える意見はほとんど寄せられていないため。		令和3年度は対面授業主体となり、学生は専攻することになるので、クラス指導主任やゼミ担当教員との対話の機会を増やし、学生の理解・納得、安心感を深めたいと考えている。	
265	学習院大学	①②③		文学部は演習形式の面接授業を多く実施するため、高い確率で同時収録を行うことが想定される。そのため、学部内で面接授業を実施する教員を対象に同時収録を行うための講習会を実施する予定。	①③		特にありません。	②③④⑤		特にありません。	④把握していない	学生の理解・納得の状況把握に係るアンケート等調査を行っていないため。		本学の方針を丁寧に説明することにより、理解・納得を得たいと考えている。	
266	共立女子大学										①ほぼ全員が理解	「学長メッセージ」として、複数回にわたり大学のホームページへの掲載、本学のLMSの掲示機能を利用した連絡を行なっているため。			
267	工学院大学	①②③④			①②③			③④⑤			①ほぼ全員が理解	学長メッセージとして授業の方針を示しており、それに対する相談を随時受け付けている様子あり、ほぼ多くの学生が理解・納得していると思われる。		真摯に情報や方針を伝え、対面でもガイダンス、個別相談等、説明を尽くし相談に応じる予定です。	
268	國學院大学	①②③④⑤		学生アンケートにおいて、課題の提示と提出を主とする授業は、満足度や学習成果に関する項目で評価が低く出る傾向にあったため、令和2年度後期から原則として禁止することとした。	①②③			①②④⑤			②大多数が理解	令和2年度に実施した学生アンケートの結果をふまえて令和3年度の授業実施方針を決定したこと及びその方針について、学部やホームページ等で再三告知し、これまでに方針を否定する意見等は届いていないことによる。		令和2年度に引き続き、学生アンケートを複数回実施して学生の声を聴く機会を設け、改善すべき点があれば速やかに対応する。	
269	国士館大学	①②③④			①②③			②③④⑤			①ほぼ全員が理解	教育支援システム等を用いて、学長からのメッセージなどを通じて理解促進を行った。また、学生からの質問等にも、担当者からその都度連絡を行い、理解を得られるようにしている。			
270	駒澤大学	①②③④			①②③			②③④⑤			④把握していない	学生の理解・納得の度合いについては、現段階で調査していないため。			
271	実践女子大学	②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	学生・保護者に対しては、10月末に「これまで実施してきた感染予防策を更に進めた上で、2021年度は原則として対面での授業を実施する方針といたします。ただし、3密を避けるため、一部の授業ではメディア授業（オンデマンド型）で実施します」と授業実施の方針を周知し、その後3月初旬にも授業開始に向けたメッセージを送っています。これらに対し、一部の基礎疾患がある学生から対応についての問い合わせはありましたが、それ以外に学生からの問い合わせはありません。そのため、大多数の学生は、授業の形態等について理解・納得しているのではないかと考えております。		授業アンケートや学生大会により、学生の状況や意見を把握すると共に、ガイダンスやカリキュラムアドバイザーによる履修相談等で丁寧に説明を行います。また進捗も情報を発信し、学生の理解を得るよう努めます。	
272	芝浦工業大学	①②③④⑤		令和2年度に実施した学生自治会との話し合い及び学期制に実施した学生及び教員への授業アンケートを継続的に実施する。また、令和2年度に全16回実施したオンライン授業に関するFSDS研究会を継続して実施する。令和3年度は、教育イノベーション推進センターに新たに先進教育部門を設置し、本部門が先導してFSDS研究会を実施すると共に学内のDX推進を先導する。	①②③			②③④⑤			①ほぼ全員が理解	令和2年度に実施した授業アンケートの回答に基づき、令和3年度の授業方法のガイドライン、遠隔授業の履修の手引きを作成し、本学の方針を周知しているため、特に問い合わせや混乱はない。		学生自治会との話し合い及び授業アンケートを実施し、それらをフィードバックすると共に遠隔授業や課外活動の実施方針等に反映させる。	
273	順天堂大学	①②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	・令和2年度に実施したオンライン授業に関する学生アンケートの結果、多少の個人差はあるが、特にオンデマンド配信による授業形態は、自分のペースで学習できたり、繰り返し復習もできるなど好評であった。		・臨床実習を行う学年については、対面授業でない学習効果が得られにくい機会があるため、個人差はあるが対面授業を望む声が多い。	
274	上智大学	①②③④			①②③			①③④⑤			②大多数が理解	令和2年度の新入生のための入学式（3/29-31）への出席希望者が入学者の7割を超える状況や令和3年度入学予定者で入学式にまらぬという事前申請が1割に達しない状況などからも、キャンパスでの対面を中心とした授業実施方針について概ね理解されていると考えている。また、対面授業実施の要望と健康不安の双方があることからハイブリッド授業を大幅に導入することで、学生のニーズに柔軟に対応する対応としたため。		オンライン授業からのスタートとなる英語コースの学生から、他の学部等と同様の対面授業を求めている声があったが、2-7の回答のおおむね、構成員の特殊事情についての状況を説明することで理解を求めた。	キャンパスでの感染拡大予防に関する情宣や協力の呼び掛け、オンライン受講のためのサポート体制等について、学生への丁寧な情報発信を続けていく予定。

No.	学校名	遠隔授業の向上 方策	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	学生の理解を得 る取組	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	新入生等への配慮	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する課題の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項	
275	昭和大学	①②③④			①②③			②③④			②大多数が理解	令和2年度と比較して、直接授業の機会が増えていることや、新年度開始前に電子シラバスを公開しており、学生が授業の情報を得られるから。	新2年生はキャンパス・指導教員が変わるため他学年と比較して十分に理解していない可能性がある。	オリエンテーションでの説明	
276	昭和女子大学	①②③④			①②③			②③④⑤			①ほぼ全員が理解	2月25日に在学生に対し2021年度前期授業の方針を丁寧に示し、学生ポータルサイトから連絡を行った。現時点で、本方針に関する学生からの質問や意見はない。	事情により対面授業を受講することができない学生（海外在住の留学生、基礎疾患を持つ学生等）に対しては、対面授業を同時開催するハイフレックス型の授業を実施し、学修機会を失わないように配慮することを、学生ポータルサイトから連絡している。		
277	昭和薬科大学	①②③④			①②③			①②③⑤⑥	⑤に関連するが、オンライン授業受講のための自宅学習環境費用の支援を実施		④把握していない	ガイダンス等で理解を促しているが、アンケート等が未実施のため			
278	杉野服飾大学	②	記述なし。	記述なし。	①②	記述なし。	記述なし。	⑥	学内コンテンツ（マナバ）のバージョンアップを行い、全学年に向けて通信環境の整備を行なう。	記述なし。	①ほぼ全員が理解	現行の授業形態に対する改善要望等は一切ない。	記述なし。	記述なし。	
279	成城大学	②③④	大学全体として、「ハイフレックス型授業実践セミナー」を開催し、より効果的な遠隔授業のデザイン・運営について考えます。		①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	学長、教務部より在学生に対して、令和3年度の大学の授業方針を数回に渡り告知している。		大学ホームページにオンライン総合案内を設け、授業等で分らない事があれば質問が出来ます。また、	
280	聖心女子大学	①②③④⑤	面接授業のガイドライン（教職員用・学生用）、インターネットツールを用いた授業づくりマニュアル（教職員用）、インターネットツールを用いた授業受講でマニュアル（学生用）を作成した。		①②③			②③④⑤			①ほぼ全員が理解	大学公式WEBサイト、教学支援システムSophieなどを通し、学生には方針や変更点など、逐一連絡している。「教務課質問フォーム」にて事務的な質問以外にも大学への方針に対する学生からの意見や質問も受け付けており、提出された意見や質問には丁寧に回答しているため。	新年度のガイダンスで、学長、副学長からのメッセージや、ガイダンス内容を出席できない学生のためにオンデマンドで配信するなどの取り組みを継続する。		
281	大正大学	②		なし	①	なし		②④			②大多数が理解	学生に対し個別に丁寧な連絡を行い、質問・相談を受け付ける体制を整えて説明していることから、概ね理解を得られているものと考えられるため。	なし	ガイダンスや個別相談窓口において、不安を抱く学生には丁寧な説明を行っていく予定。	
282	清泉女子大学	②③			②③			②③④⑤			②大多数が理解				
283	聖路加国際大学	②③④			③			①②③④			①ほぼ全員が理解	学生への周知後、質問や要望などは寄せられていないため			
284	高千穂大学	①②③			①③			②③④⑤			②大多数が理解	対面授業を行うために、本学の感染防止策を説明したうえで、遠隔授業を併用する旨の文書を生徒に通知したため。		授業の実施方法等に関するアンケート調査の実施	
285	拓殖大学	②③④		特になし。	①③			②③④⑤		特になし。	②大多数が理解	大学HP等で2021年度授業方針公表しており、加えて一部の学部・学年に対しては、3月中実施のガイダンスで説明を行ったが、4月中旬にガイダンスを実施しない学部・学年があるため、理解度が異なる。	新年度のガイダンスを実施しない学部・学年があるため、理解度が異なる。	必要に応じ、大学HPやポータルサイト等で周知する。	
286	多摩美術大学	③			①②			①②⑤			④把握していない	令和3年度の状況を見ながら調査を検討しているため、現時点において、把握できていない。		HPなどを通じ、情報発信、公開等を行いつながりながら学生の理解を得ていく	
287	中央大学	①②③④⑤	全教員が利用可能な授業支援システムの中で、ITを用いた授業について知見を有する教員の授業実践例を共有し、そうした教員のグッド・プラクティスを、各教員がそれぞれの実施する授業の改善のために参考とできるように、情報を蓄積している。		②			③④⑤⑥	本学各学部における特徴として、ゼミナールをそれぞれの学年で設定しているところが多く存在しており、必ずしもすべてのゼミナールで実施している訳ではないが、ゼミナールによっては担当教員が所属学生に対してアンケートを実施するなどして、遠隔授業に関する理解を深めている事例も存在している。そのほか、日常的には、ゼミナールの担当教員がアドバイザーとして、適宜、所属学生の相談にも乗る体制を構築するなど、学生の不安の解消に努めている状況である。	本学では2021年度について、①新入生（学部・大学院・専門職大学院の新入生、約6,000人）を対象として、情報環境支援等の趣旨で一律5万円の特例支援を実施することを予定している。また、これに加えて、②コロナ禍による急激な家計悪化により授業料の納入に困難を抱えている新入生・在学生に対しては、別途、昨年よりも緩和された条件の下に、拡大された内容をもって、「経済援助給付奨学金」をより広く支給する予定である。	④把握していない	本学の授業実施方針については、全学生に対するメール等での周知に加え、公式Webサイトにも公表しているが、その内容に対して個々の学生がどこまで理解・納得しているかについては調査していない。ただし、オンライン授業に関するアンケートの結果における各授業形態に対する満足度を確認する限りにおいては、今後における改善点も見受けられるものの、学生の認識と授業方針自体の大きな齟齬は見受けられないものと思料する。	学生の理解や納得を得るためには、授業の形態の如何を問わず、教育の質の担保がなされていることが極めて重要であることから、まず提供される授業の質的向上に取り組むつつ、各種アンケート結果等から確認できる改善点について全学で共有し、学生の声を踏まえながら可能な限り授業の改善に取り組んでいく予定である。		
288	東京医科大学	②④			②			①③④⑤			②大多数が理解				
289	東京家政大学	①②③④			①②③④	経済的理由でPC等の機器の貸与等をしている。		①②③④⑤			②大多数が理解	2-3の令和3（2021）年度前期授業実施方針は、令和3（2021）1月に学長名で、大学HP、学生ポータル等を利用して、在学生・新入生、卒業生、学生等の関係者に向け公表しており、令和2年度の「原則オンライン授業、必要な対面授業の実施」から、令和（2021）年度前期は「当面30%、最低50%を目途にできるだけ対面授業を実施、感染防止対策等のため、遠隔（メディア）授業を併用していく原則」に対する各情報等の運用はなっていないこと。できるだけ対面授業の実施を望むが、令和3（2021）年度前期の方針に合致していることから、3-10の回答とした。なお、板橋校舎では、対面授業実施率を確認し、必要な見直し・調整を行う。また、今後の感染状況・授業実施状況により、できるだけ対面授業を実施する原則に沿って授業形態の見直しを検討する。	HP、学生ポータル等の利用 学生アンケートの実施		
290	東京家政学院大学	①②			①			③⑤			②大多数が理解	1月下旬に在校生及び入学予定者に対して、令和3年度の授業方針を伝えているが、そのことについて特に意見が聞かれないため、理解・納得していると考えている。		学期初めのガイダンス及び学科ミーティングの時に説明を行う。	
291	東京歯科大学	②③	該当なし	特になし	①②③	該当なし	特になし	①②④⑤	該当なし	特になし	①ほぼ全員が理解	全学生へのオリエンテーション、また保護者への連絡等を密に実施し、理解を求めている。	特になし	特になし	
292	東京慈恵会医科大学	②③④⑤	同期型遠隔授業についても、非同期型と同様に集中管理して適切に授業が行われていることを把握する。	全学共通です。	①②③			②③④⑤			②大多数が理解	週に回以上の情報発信を行いながら、個別の学生アンケートで寄せられた意見を教員にフィードバックした上で回答し、その回答に対する学生のさらなる意見を求める対話を繰り返す対話を継続していることか。		現在の取組を継続的にを行い、教員の意見だけでなく、学生の意見も踏まえて改善を行っていく	

No.	学校名	遠隔授業の向上 方策	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	学生の理解を得 る取組	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	新入生等への配慮	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する課題の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項
293	東京女子大学	①②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	面接授業を少しでも多くするという考え方で、感染状況がある程度沈静化している場合は、面接授業を8割程度行うことを計画していた。しかし、現下の状況において、面接授業を多くすることはできずと判断し、感染拡大が心配される状況が生じたこと、中ではあるが、新入生は一週間に2日程度、2年以上は一週間に1日程度登校が、昨年度、大学生活の開始から1年開き、全学生が面接授業の機会を持てるように設定した。感染状況が改善した場合、遠隔授業を履修してきたことが考えられ、面接授業を増やしキャンパスに通学して学ぶ機会や、対面での交流機会を増やされる。今後、特に2年次学生にす予定であること3月1日に発表した。その決定に対して、面接授業を増やすことに対しては、丁寧な指導を行っていたと求めていると求めている。ほぼ全ての学生が授業の形態等について理解・納得している。	前期授業開始から1か月後を目途に学生に対してアンケートを行う予定。	
294	東京女子医科大学	①②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	全学生に向けて、定期的なポータル発信している。	全学生に向けて、定期的なポータル発信の促進。各学年別に、対面またはオンラインでのオリエンテーション。	
295	東京電機大学	①②③④			②③			①②③⑤			④把握していない	ハイフレックス型授業は令和3年度から実施するため、把握していない。		
296	東京農業大学	①③④			①②③			②④			②大多数が理解	①今年度後学期に実施した学生アンケート結果や学生からの要望等を踏まえて、令和3年度の授業方針を決定したこと。②令和3年度の授業方針を学生に周知し、これに対する質問等はほとんど無かったことから、多くの学生は理解・納得しているものと考えている。	授業の実施形態とその理由等を学生に丁寧に説明・情報提供していくとともに、学期ごとに実施している授業評価アンケート等の結果を、次学期以降の実施方法等の改善につなげることで学生の理解を高める。	
297	東京薬科大学	①②③④		学部によりLMSを介した 遠隔授業を実施してい る	①②③		学部により次の取組 みを実施している。授 業アンケートの実施。 遠隔授業に関するガイ ドラインの提示	①②③⑤			②大多数が理解	学生アンケートの集計結果をもとに回答している。	学生アンケートを実施することにより、授業の理解度や満足度などを確認している。	
298	東京理科大学	①②③④⑤	FDセミナーを開催し、 授業実施方法や、改善 例等の実施事例発表、 参加者同士の意見交換 を実施している。また、 当日の資料や動画を 公開し、参加できな かった教員も随時閲覧 できるようにしてい る。		①②③			②③④			②大多数が理解	学長や学部長から授業実施方針やメッセージを学生に対して発信をしており、それに対して学生からの照会等がほとんど寄せられていないことから、この状況下における対応として大多数の学生が理解・納得していると認識している。	学生アンケートを実施し、課題や要望を抽出し、それらを検討し改善に取組む。また、学生から授業等に対する質問や要望がより寄せられるよう、オフィスアワーのオンライン実施を拡大する。	
299	東洋大学	①②③④⑤	大学として、「感染防 止のための授業運用ガ イドライン」や「非対 面授業（メディア授 業）の実施ガイドライ ン」といった各種ガイ ドラインを整備するこ とで、一定の質確保に 努めている。例えば、 後者の参考資料として 「非対面授業（メデ ィア授業）のキーポ イント集」や「非対面 授業（メディア授業） の運営におけるイン タネット回線のトラ ブル対策について」を 整備して、遠隔授業の 配信に際し、教員側で 留意すべきことや知 っておくべき事項を 共有している。これら に加え、遠隔授業を 実施することでの 新たな知見「アイ デア等のナレッジを 学内に共有する取組 みを展開している。具 体的には、学内LMS を通じて教員間でナ レッジを共有するコ ンテンツを整備した。 また、2021年2月 には、コロナ禍にお ける教員の気づき や授業の工夫、授 業運営や学生支援等 に係る知識、経験等 を共有できるよう、 教員の内外問わず 学生も参加する 動画コンテンツ「FD /SDチャンネル」を 開設した。今後、同 チャンネル内の動 画コンテンツを充 実させ、メディア を活用して、FD /SDの体系化につ なげていく。		①②③④	感染防止対策から授 業を受講するに当た るの基本的な内容に 関しては、学期ごと に「授業の手引き～ 学生の皆さんが安心 して学修を続けるた めに～」を作成し、 学生に周知してい る。これに加え、よ り具体的な情報につ いては、「TOYO Online Class Portal」（オン ライン授業情報まと めサイト）及び「TO YO Campus Info」（ 学生生活情報まと めサイト）の2つの ポータルサイトを 開設し、状況にあ わせて随時発信して いる。前者では、非 対面授業（メディア 授業）の種類の準 備～自宅/キャンパ ス内から受講する 場合～、非対面授 業（メディア授業） の受講上の注意や FAQのほか、遠 隔授業受講に当 たっている各種マ ニュアルをPDF又は 動画を併記しなが ら学生の理解を促 している。後者 では、主に学生生 活を送るためのサ ポートに主眼を置 いた内容である が、Wi-Fiの接続 方法をはじめと した遠隔授業の 受講につながる 各種情報を掲載し ている。	②③④⑤			①ほぼ全員が理解	「授業の手引き～学生の皆さんが安心して学修を続けるために～」をポータルサイトに発信していることに加え、本学ホームページにおいて「新型コロナウイルス感染症に関する対応について」という特設ページを設けて、大学全体の方針を中心に情報発信を行っている。学生からの問い合わせ状況も少数にとどまっており、またその問い合わせ内容に鑑みても、ほぼすべての学生が、授業の形態等について理解・納得していると考えて良いと判断する。	本学の各種コンテンツを一層充実していくことに主眼を置いた対応を継続し、引き続き学生の理解や納得を促していきたい。		
300	東京音楽大学	②			①②			②④			①ほぼ全員が理解	令和2年度秋学期の授業実施方法と大きく変わっていないため。		
301	二松学舎大学	①③			①②③			④⑤		文学部で2020年9月に1 年次生の希望者を対象 として授業見学や教員 と交流する場を設け た。	②大多数が理解	2020年12月に実施した学生の満足度調査で、授業内容において分野や学年により違いはあるものの、例年の平均に近い満足度を示す結果が出たから。	新入生ガイダンス、在学生ガイダンス、履修相談等	

No.	学校名	遠隔授業の向上 方策	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	学生の理解を得 る取組	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	新入生等への配慮	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する課題の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項
302	日本大学	①②③④⑤	オンラインシンポジウムを実施し、各学部のオンライン授業の事例紹介や情報共有を行い授業手法の改善等を図った。また、オンライン授業に関するマニュアルを作成し、円滑な授業ができるよう取り組んだ。また、オンライン授業で使用するGoogle ClassroomやYoutubeの使い方に関する講習会を開催した。	生産学部では、同じ授業を対面でもオンライン（同時双方向）でも受講できる授業形態を取り入れ、通学に不安を抱える学生はオンラインで受講することができたり、通信環境が不安定な学生は対面で実施することができたり、理工学部では、道替わりで対面授業を受講する学生とオンラインで受講する学生に分けており、同じ授業を対面とオンライン（同時双方向）で受講することができる科目がある。	①②③	新入生向けのZoomセミナーをZoom社のトレーニングが本学の新入生向けのセミナーを開催し、オンライン授業への支援を計画している。	②③④⑤⑥	②大多数が理解	各学部のホームページや各学部のポータルシステム等を利用して令和3年度の授業見が寄せられた。また、基礎疾患実施方針に関するの通知を行っている。学生から一部問合せがあったが、丁寧に説明を行い、理解を得ている。	令和3年度の授業において、2年生の面接授業の割合が他の学年よりも低く納得が得られない旨の意見が寄せられた。また、基礎疾患を持つ学生は保護者から、履修したい教員の科目の一つが面接授業であったため、オンラインで受講したいとの意見が寄せられた。	これまでと同様にポータルサイトやフォームを開発し、学生からの質問に対して丁寧に説明を行う。			
303	日本医科大学	①②④			①③		②③④⑤	②大多数が理解	学生の意見を聞き、学内で共有し、対応している。個別の相談に対しても担任が面談を行う等適切に対応している。大学から学生や保護者への情報発信も定期的に行っている。			臨床実習に特化した調査を行う。		
304	日本歯科大学	②③④			①②③		①②③④	②大多数が理解	現状下、学生へのアンケートを行っている。通学を希望する学生、感染を恐れ通学ではなく遠隔授業を望む学生など、様々であるが、大多数の学生が、面接・遠隔授業のハイブリッド式での授業実施を望むことが確認されている。	数年内に国家試験を控える高学年の学生については、通学・感染の危険を極力避け、遠隔授業による自主的な勉強を望む声が多い。一方、低学年においては、通学による感染は怖いものの、仲間との交流を求める傾向が少なからずある。	随時、学生アンケートを行い、大学として可能な限りの対応をしていく予定である。			
305	日本社会事業大学	①②③④			①②		③④⑤	②大多数が理解	授業に関するアンケート結果より、対面授業を希望する一方で、感染のリスクに対する不安も多くみられ、ハイブリッド型授業の実施は大方支持されている。			前期授業の終了時にアンケートを実施し、学生の意見を可視化して、改善に反映させる。		
306	日本女子大学	①②③④⑤	・キャンパス内にいる学生が遠隔授業を教室で受講できる環境の確保。	特になし	①②③	特になし	特になし	②④⑤	特になし	特になし	①ほぼ全員が理解	令和2年12月に、HP上で学生に対し令和3年度の授業実施方針について周知したところ、それに対する学生からの苦情や反対意見はほとんどなかったため、特になし	令和2年度と同様、学生を対象とした授業に関するアンケートの実施を予定している。	
307	日本女子体育大学	①②			②③		②③⑤	①ほぼ全員が理解	全学生に本学の授業方針を随々に配信、オリエンテーション（対面）でも説明するため。					
308	ルーテル学院大学	②			①②		④	②大多数が理解	新型コロナウイルスの影響で、遠隔授業をせざるを得ない状況は理解されており、その中で対面の授業を組み合わせて提供して、対面で学べる機会を提供しているため。					
309	日本体育大学	②③④			①②③		②③④	④把握していない	現時点では具体的なアンケートを行っていないため。			学生アンケートの実施を予定している。		
310	文化学園大学	①②③④			①②③		①②③④⑤	②大多数が理解				全学生への情報配信を継続する。		
311	法政大学	①②③④			①②③		①②③④⑤	④把握していない	令和3年度の授業実施形態については、東京都の緊急事態宣言延長等の状況を踏まえ、令和3年3月中旬まで慎重に検討していたため、学生への最終的な周知・公表が3月19日となった（最終確定前に、予告の周知・公表は行っている）。今後、令和2年度同様学生へのアンケートなどを通じて把握していく予定である。			大学として、既にホームページや学内の情報共有のためのポータルサイトを通じて、令和3年度の授業実施形態については、公表している。今後の状況を把握したうえで、必要に応じて、大学としてメッセージを配信していく。		
312	星薬科大学	②③④			①②③		①③④	②大多数が理解					大学ホームページや学習支援ポータルサイトで周知するとともに、4月上旬のガイダンスでも説明する。	
313	武蔵大学	②③④			①②③		③④⑤	②大多数が理解	大学ホームページや学習支援ポータルサイトで充分な周知と説明を行っている。				従前の取組について、POAを行い、より分かり易い情報の伝達に取り組み予定である。	
314	東京都市大学	①②③④			①②③		②③⑤	①ほぼ全員が理解	授業開講方針を発出したのも、事前に学生にアンケートを取り、可能な限り、本人の希望や事情に配慮した受講形態（対面・オンライン等）を認めている為。					
315	武蔵野音楽大学	①			①		③	①ほぼ全員が理解	ポータルサイトにより周知しているが、現段階では不安や疑問等の問い合わせはないため。					



No.	学校名	遠隔授業の向上 方策	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	学生の理解を得 る取組	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	断入生等への配慮	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する取組の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項
316	明治大学	①②③④⑤	大学の学習支援システムであるOn-lineシステムを通じて、教員及び学生向けのオンライン授業マニュアルを作成・公開し、全学的なオンライン授業の質の確保に努めています。また、2020年度に3回にわたり実施した授業運営に関する全学アンケートでは、良いと思ったオンライン授業科目を問う疑問を設け、各専攻でのFDにつなげており、2021年度もこの取組みを継続していきたいと考えています。加えて、学長の下に設置した「オンライン授業・国際化推進プロジェクトチーム」では、ポストコロナにおいてもオンライン授業で培ったノウハウを積極的に活用していき、オンラインを活用した授業に関する全学的なガイドライン作成、オンライン授業の事例集の作成を進めています。全学的に必要な学内規程やガイドラインを整備したうえで、質保証の観点も重視しながら、各授業科目レベル及び各教育課程レベルにおける対面とオンラインのベストミックスを目指していきたいと考えています。		①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	本学が昨年12月に実施した授業運営に関する全学アンケートの結果では、2020年度の授業運営に対する学生の納得度について、「とても理解・納得できる」「ある程度理解・納得できる」の回答比率は77.6%という結果になりました。これは、対面授業の比率を除くと高めていったことに対する肯定的な意見だけでなく、感染対策の観点からオンライン授業を継続したことに対する肯定的な意見や、授業外での登校機会確保に努めたことに対する肯定的な意見等、様々な意見が込められているものと解釈することができます。本学では、2020年5月末に1回目のオンライン授業に関する全学アンケートを実施し、6月上旬には全授業担当教員への授業改善依頼文書を発表し、学生に対してもアンケート結果のフィードバックを行いました。また、6月上旬に2回目のアンケート、12月には3回目のアンケートを実施し、学生へのフィードバックを行いながら、2020年度秋学期や2021年度春学期の授業運営方針を決定してきました。本学の授業運営方針の決定にあたっては、学生の声を積極的に汲み取れることを何よりも優先し、授業形態のみならず必要な支援策に反映していることから、2021年度の授業運営方針についても、大多数の学生は授業の形態等について理解・納得してくれていると考えています。	2020年度に引き続き、全学的な学生アンケート等を活用しながら学生の意見を積極的に汲み取り、授業担当教員や学生にそのフィードバックを行いながら、2021年度の授業を運営していきたいと考えています。	
317	明治学院大学	①②③④⑤	面接授業の同時配信準備のために、授業時間の休憩時間を10分から15分に拡大しました。また、学内でも遠隔授業をオンラインで受講できるように特設教室を用意しています。	①②③④	学生向けオンライン授業ポータルページを新たに作成して、周知つとめています。			④⑤⑥			①ほぼ全員が理解	2021年1月17日付で「2021年度の授業について」という文章を学長で大学HP ( <a href="https://www.meijigakuin.ac.jp/news/archive/2021/Damq19M1.html">https://www.meijigakuin.ac.jp/news/archive/2021/Damq19M1.html</a> ) に公表し、ポータルサイトにて全学生に周知しました。コロナの情勢が2020年秋学期と大きく変わっていったため、明治学院大学では2020年度秋学期と似た方法で授業を進めていくことにしています。これを上記文書にて「明治学院大学では2021年度も2020年度秋学期と同様、対面授業とオンラインによる遠隔授業を併用する形で進めていきます」と伝えています。新2年生以上にはこの記述をもつて2021年度の授業形態について理解を求め、納得していただきたいと考えています。この文章の後半には、新入生を念頭に、春学期の授業の進め方について略述しています。さらに2021年3月22日に改めて「2021年度 春学期開始を前にして」という文章を学長で大学HPに公表 ( <a href="https://www.meijigakuin.ac.jp/news/archive/2021/1ia0f0w0c.html">https://www.meijigakuin.ac.jp/news/archive/2021/1ia0f0w0c.html</a> ) し、授業形態やコロナ対策等について再度学生に周知しました。明治学院大学では春学期から、面接授業を遠隔で視聴できるのはコロナ感染症に特に注意を要する学生に限定する方向で考えており、この変更点について注意を促しています。なお、同日教務部より、2021年度春学期の授業についての詳細を全学生にポータルサイトで周知しています。	「特定の学部等や学年において理解の度合いが異なる」といったことは、現時点では報告されていません。学部からの報告やメール等による学生からの直感の反応から、このように判断しました。	春学期の途中に授業形態を変更することは難しいと考えています。本学では、春学期スタート時の形態を春学期中はずっと継続することになります。学生に対しては「授業形態の説明」を様々な方法で繰り返し伝え、周知を徹底していきたいと考えています。
318	明治薬科大学	①②③		①				①②③④⑤⑥			②大多数が理解	令和3年度は新入生に対し、オンライン講義に關しての補助として、一人あたり5万円を大学より支給する。		時期に応じた学生の意見を聴取するため、学内Webシステム内でのアンケートを行っている。また、令和3年度は前年度新入生で大学に少ししか登録できていない2年生について、教員による対面でのアドバイザー面談を実施する予定である。
319	立教大学	①②③④	特にない。大学全体で取り組んでいる。	①②③		特にない。大学全体で取り組んでいる。		①②③④⑤			②大多数が理解	12月下旬に授業実施に関する方針を全学生に周知し、また入学予定者に対しても進学先選択の際に考慮できるよう、あらかじめ情報を伝達してきた。その後、3月に授業の実施に必要となる準備が整った段階で、春学期の授業の進め方について、特にない。大学全体で取り組んでいる。方針そのものに対する意見や苦情は少ないことによる。	新年度冒頭に、総長から学生へメッセージを配信し、改めて授業実施方針について説明するとともに、各学部で実施する新年度のオリエンテーションにおいても、授業実施方針のほか、遠隔授業の受講に関する留意点等を伝達し、学生がスムーズに学修を始めることができるように大学全体で取り組む予定である。	
320	立正大学	②		①②				①②③④⑤			②大多数が理解	学生アンケートの結果も参考にし、授業の形態に関する方針を決定したため。また感染リスクの高い学生に対しては、一部遠隔授業も実施しているため。	定期的なアンケート等により学生の意見を聞く機会を設ける	
321	早稲田大学	②③④	事前事後の学習部分はオンデマンドとし、授業時間は対面、リアルタイム配信を繰り返すなどのハイブリッド授業を実施し、LMSを使った効果的な双方向性の確立、学生個々の学修進度の可視化を実現するなど、高度にITを活用した授業が増えている。	①②③				①②③④⑤			④把握していない	現時点では、各学生、保護者からの問い合わせペースでのみ把握している状況であり、今後学生アンケート等を通じて把握に努めていく。	学生に対するアンケートを実施する予定。	
322	国際仏教学大学院大学										①ほぼ全員が理解	本学の場合、定員が20名ということもあり、こまめに文部科学省の方針を前提に現時点での感染および社会状況を教員・学生・事務で共有している		

No.	学校名	遠隔授業の向上 方策	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	学生の理解を得 る取組	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	新入生等への配慮	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する取組の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項
323	学習院女子大学	①②③④		大学全体で取り組んでいる。	①②③		大学全体で取り組んでいる。	②③④⑤		大学全体で取り組んでいる。	②	②大多数が理解		前期終了の時点で、学生にアンケートを実施する予定。
324	東京国際工科大学	②			①②			②③⑤			②	②大多数が理解		
325	東京保健医療専門職大学	②③			①②			②③④⑤			②	②大多数が理解		引き続き、問合せ・相談等に対し丁寧に説明するとともに、経済的理由等で情報機器の準備や通信環境の整備が出来ない学生については、貸出等の支援策を積極的に行っていく。
326	情報経営イノベーション専門職大学	①②③④	特になし	大学全体で実施している	①②③	特になし	大学全体で取り組んでいる	②③④⑤	特になし	大学全体で取り組んでいる	①	①ほぼ全員が理解	大学全体で取り組んでいる。	全学生向けのガイダンス、担任による個別相談や説明の実施
327	大学院大学至善館	②			①②			①③			①	①ほぼ全員が理解		
328	国際ファッション専門職大学										①	①ほぼ全員が理解		
329	駒沢女子大学	③④			①②③			①②④			②	②大多数が理解		
330	亜細亜大学	①②③			①②③			①②③④⑤			④	④把握していない	学生に対し、理解・納得状況の調査を行っていないため	大学ホームページ及び学生ポータルサイト並びに広報誌において学生への丁寧な説明と学生団体との意見交換会を実施予定
331	桜美林大学	①②③④			①②			②③④⑤⑥	入学式の対面実施、2年生向けの入学お祝い会の対面実施、学生団体の勧誘対象の幅を広げる等、令和2年度入学生にも大学での居場所作りための配慮を行っている。		①	①ほぼ全員が理解	Webサイトでの公表、入学者用ページ、学内ポータルサイトへの掲載、メール配信等で周知を図っているため。	
332	国立音楽大学	①②④			①②③			②④			②	②大多数が理解	学生に対して授業に関するアンケートを実施した	学生の疑問や質問に対して、丁寧に説明をしていく
333	国際基督教大学	①②③④			①②③			①②③④⑤	1年生が必修となっている英語教育プログラムについては、すべてのセッションで必ず対面授業を選択できるように設定し、対面授業を履修しやすくしている。		②	②大多数が理解		
334	白百合女子大学	②③④			①②③			①②③④⑤			①	①ほぼ全員が理解		授業に対する要望の随時受け付けと回答、授業評価のアンケートの実施など。
335	成蹊大学	①②③			①②			①③⑤			④	④把握していない	令和3年度の授業の形態については、まだ学生へ周知をして間もないこと、5月以降授業の実施率を上げることを検討中であるため、その検討結果で実施できた授業について、学生に確認したいと考えている。	遠隔授業を実施する理由や必要性等について、学生が十分に納得できるように、ホームページやポータルサイトで説明する。

No.	学校名	遠隔授業の向上 方策	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	学生の理解を得 る取組	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	新入生等への配慮	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する認識の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項
336	玉川大学	①②③④			①②③			①②③④⑤				令和3年度の授業形態に関する方針について学生アンケート等を実施していないため、学生が理解・納得しているか把握はできていない。しかし、授業方針を公表したことによる学生からの意見や問い合わせがないため、一定の理解を得られていると考える。		
337	津田塾大学	②③			①②③			②④⑤			①ほぼ全員が理解	授業実施方針や授業形態について、学生から質問等があれば、できるだけ丁寧に大学の方針等を説明し、学生の理解を得らえるよう、努めているため。	授業の実施方針等については、できるだけ速やかに全学生に周知し、学生の理解を得られるよう、努めたい。	
338	帯広大学	②③④			①②③			①②③④⑤			④把握していない	感染症対策上やむを得ない場合を除き、面接授業を主として開講することを旨としているため、学生に対しての調査等は行っていない。		
339	東京経済大学	②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	2021年度の授業形態を含む大学の方針については、早い段階（2020年12月4日）に告知した。その後、数名からの問合せに対応し、理解いただいた。	授業アンケート	
340	東京女子体育大学	③④			③			③④⑤			④把握していない	調査を実施していないため不明	新学期の授業ガイダンスで授業科目担当者から説明	
341	東京神学大学										①ほぼ全員が理解			
342	東京造形大学	①②			①②			③⑤			④把握していない	授業運営方針について、2020年12月より複数回に分けて通知しており、学生からの問い合わせ件数が少ないことから、概ね理解を得ていると推測できるが、実際にアンケートなどで状況を確認していないため④と回答した。	ガイダンスや個別に説明するなどの対応を行う予定	
343	桐朋学園大学										②大多数が理解	在学生には周知済みであるが新入生には4月以降のオリエンテーションで説明し周知を行うため。	上記と同様にて、新入生には周知の割合が低い状況。	アンケートフォームならびにポータルサイトを利用して各人の理解・確認を合わせて問題点の把握、改善実施を行う。
344	武蔵野大学	②③④⑤	令和2年度にオンライン授業の推進を支援するための部署を設置し、教員・学生向けの支援サイトを作成している。教員向けには、講義資料の作り方、ツールの使用方法、ガイドライン、教員の成功事例などを案内している。学生向けには、受講ガイドなどを案内して、授業の質向上や円滑な授業運営となるよう取り組んでいる。		①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	授業方針（対面授業の実施）について大学ホームページで周知しているほか、シラバスに授業の実施形態（対面・オンラインの授業種別）を明示している。	学生の理解や納得を得るため、大学ホームページ等を通じて引き続き本学の授業方針を周知・説明していくとともに、継続的な授業改善を図るための授業アンケートを実施予定である。	
345	武蔵野美術大学	①②③④			①②③			②④⑤			①ほぼ全員が理解	大学の公式方針として、Webサイトに公開したり、学生ポータルサイトに周知しているため		
346	明星大学	②③			①②			②③④⑤			④把握していない	大学の公式ウェブサイトにて授業形態の方針等、2021年度の授業について告知しているものの、学生一人ひとりに対して、方針に対して意見を向うといった最善のアンケート調査は行っていないため。	引き続き、自宅等でのインターネット利用環境が不十分な場合は、「オンライン授業用教室」が学内に準備されていること、パソコンを持参すればその教室を利用できること、また、パソコンを所持していない等の場合に備え、大学に貸し出し用パソコンが準備されていることを学生に案内していく。	
347	和光大学	①			①			⑤			④把握していない	令和3年度の授業形態について、アンケート調査を実施していないから。		

No.	学校名	遠隔授業の向上 方策	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	学生の理解を得 る取組	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	新入生等への配慮	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する認識の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項
348	杏林大学	①②④			①②③			①⑤	学生間の交流として、一部の学部において新入生歓迎イベント（Zoom）を行い、新入生同士、または先輩学生や教員と交流した。教員との交流として、一部の学部において担任制などの制度の下、正課、個別面談を通して、学生の学びや生活についてを必要に応じサポートを行う。		④把握していない	大学の方針を大学HPで広く示しており、批判的な反応はほとんどない。しかし理解・納得の可否の確認（アンケート等の実施）を行っていないため、状況の把握はしていない。		令和3年度前期授業方針（面接授業）について不安のある学生と保護者を把握するアンケートの実施と、配慮方法（対面クラスと遠隔クラス分けなど）を示す
349	創価大学	①②③			①②③			①③④⑤			②大多数が理解	学生代表と数回にわたり、授業の実態方針について協議をしており、また、個別にお知らせをポータルサイトを利用して行っている。またオンライン受講等の配慮を希望する学生は申請をもらうとともに、メールや電話で随時相談に乗っている。		
350	日本文化大学										②大多数が理解	授業形態に関する苦情は概ねない。	なし。	学年別のガイダンス等を通して。
351	東京工科大学	①②③④		特に無し	①②③			③④⑥	令和2年度の入学生について、令和2年度後期開始時に各学部で令和2年度入学生を対象としたガイダンスを実施し、対面での交流機会を設けた。令和3年度入生については、入学式、新入生ガイダンス等を従来どおり対面で行い、学生間の交流の機会を設ける。		②大多数が理解	3月上旬に、令和3年度前期の授業は、基本的に対面で行うことを周知し、その後時間も公開したが、学生から特に反対の意を訴えるメールや電話等の問い合わせがないことから。		
352	日本赤十字看護大学	①③④		特になし	①③			①②③④⑤	特になし		①ほぼ全員が理解	例年、年度の授業開始前に実施するガイダンスを在生学生に対しては学期開始の約1ヶ月前に実施し、その中で授業方針の説明を行った。その中で質疑応答の時間を取り、学生の質問に回答した。また、匿名での投票ができるWEBアンケートを準備しているが、その中でも問い合わせや異議は出されていないため。	特になし	例年、前後期の授業開始前にガイダンスを実施しているが、新型コロナウイルス感染症に伴い授業形態に遠隔授業などを取り入れるにあたって学期開始の約1ヶ月前に授業方針の説明を行っている。今後も事前に情報を発信するようにして学生の理解や納得を得られるように進めていく。
353	恵泉女学園大学	②③			①②③			①②③④⑤			④把握していない			
354	多摩大学										④把握していない	学期開始の約1ヶ月前に、授業形態の方針について、イントラによる連絡や大学HP掲載、書類郵送等で周知した。本学は対面授業による教育効果の優位性に鑑み、コロナ対策を十分に講じたうえで、対面授業を実施するという方針を決定していたので、全学的な学生の理解・納得度合いの確認は見送り、学生のご意見・質問には個別回答することとした。		引き続き方針等の丁寧な説明を行うと共に、理解度の把握の為にアンケート等の利用を検討する。
355	東京神心大学										②大多数が理解			
356	嘉悦大学	②③④			①②③			②③④			②大多数が理解	2021年1月の段階で対面授業8割の方針で2021年度春学期授業を実施する方針をWebページ等で周知している。その後、学生および保護者より面接授業に対する不安を訴える意見が若干寄せられているが、特に大きな反対意見は寄せられていない。	新入生ガイダンス等に授業実施方針について再度説明を行う。またWebページ等について、感染対策等を随時公表する。	
357	東京富士大学	①②③④			①②③	なし。		①②③④⑤			②大多数が理解	令和2年度の授業方法に関するアンケート調査により、学生の意見を聴いた結果により、判断した。		
358	LEO東京リーガルマインド 大学院大学	③			①②			②③④			①ほぼ全員が理解	2021年1月頃からホームページやパンフレット等で、2021年度の授業形態について公表しているが、学生からのクレーム等は全くないため。	特にありません。	
359	デジタルハリウッド大 学	①②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	アンケート結果より以下の内容であったため・第4クォーター0終了時授業アンケート・積極的な受講ができた・・・とてもそう思う37.3%、そう思う47.2%、どちらともいえない12.6%、そう思わない2%、全くそう思わない0.9%・学習目標を達成できた・・・とてもそう思う33.2%、そう思う43.0%、どちらともいえない17.9%、そう思わない3.6%、全くそう思わない2.3%		
360	白梅学園大学	②③			①			②③			②大多数が理解	前期・後期授業評価アンケートや学生の別途アンケート結果に基づき判断した		
361	東京医療保健大学	②③④			①②			①②④⑤			②大多数が理解	コロナ禍における不安等のアンケート調査及び、学生による授業評価アンケート調査の回答による。	大学の面接授業方針等を、大学の掲示板への掲載や、解説動画の配信及びアンケート調査の実施により学生の動向の把握を行う。	
362	東京聖栄大学	②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解			
363	グロービス経営大学院 大学	②③④			②③			③④⑤			①ほぼ全員が理解			
364	文化ファッション大学 院大学	①②③④			①②③			②④⑤			④把握していない	学校の方針に対しての調査を行っていないため。		新年度授業が始まる前のオリエンテーションで遠隔授業を実施する意図を十分に説明し、また各授業においても教員から説明するように努める。何か問題が起きた場合には、学校として迅速に改善策を検討する。
365	大原大学院大学										①ほぼ全員が理解	特別な対応ではないため	特にございません	特にございません
366	東京未来大学	②			①			①③④⑤			③大多数とは言えない	成績に関する問い合わせ件数が大幅に増えるなど授業方法や評価方法が確立できていないが、十分に遠隔授業にできているため、理解・納得が得られているとまでは言えない。		①対面授業をできるだけ実施する方向で検討していく②十分な説明と支援を検討していく
367	ハリウッド大学院大学										①ほぼ全員が理解	特にカリキュラムポリシーに基づき、学生各々の履修科目選択を行うに当たり、一層の適正な視点を含めることに案がっているものと判断できる。		四半期に1回、指導教員による、担当学生に対する個別のチェック&レビュー面談の運営を図る。
368	こども教育宝仙大学	②③④⑤	定期的な学生アンケートの実施、ゼミアドバイザー（全学年でゼミ授業を実施）による学生ひとり一人との面談・学修アドバイス実施などに取り組んでいる。	特になし	①②③	特になし	特になし	①②③④⑤	特になし	特になし	①ほぼ全員が理解	学生・保護者向けの学長メッセージの発信、問い合わせがあった場合のゼミ担当教員等による丁寧な説明などを行い、理解を得ている。	特になし	これまでの上記取り組みを継続していく。



No.	学校名	遠隔授業の向上 方策	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	学生の理解を得 る取組	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	新入生等への配慮	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する課題の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項
369	東京有明医療大学										②大多数が理解	授業アンケートや学修行動調査等での学生の意見を基に学内で検討をした結果、全面的に対面（面接）授業とした。		学内の感染対策を可視化して全学で取り組んでいく。
370	東京工科大学	②③			①②			①②③④⑤			②大多数が理解	ホームページやポータルサイトを通じて何回か通知をしているが、授業形態について、多く意見は届かなかったため、理解・納得を得られていないと判断した。	授業評価アンケートや学生印委員からの意見聴取などで意見が寄せられた場合に、取り組み事項を検討する予定。	
371	産業能率大学	②			①②			①④⑥			②大多数が理解	12月にホームページに2021年度授業運営方針（対面授業の実施）を掲載した後の電話による問い合わせは、対面授業の再開を賛成する意見が多かったため。	前学期ガイダンス時にアカデミックアドバイザーから授業運営方針を伝達する	
372	ヤマザキ動物看護大学	①②④			①②③			②③④⑤			④把握していない	新型コロナウイルス感染症の拡大状況等を踏まえながら、令和3年度の授業形態について検討を進めていた関係で、決定が遅くなり、学生への連絡が遅くなってしまい、まだ把握しきれていないのが現状である。	学生アンケート等も踏まえ、本学において検討及び決定した事項を丁寧に、かつ学生一人一人に情報が行き届くよう、オリエンテーション等を通して学生の理解や納得を得られるように対応を行いたい。	
373	東京医療学院大学	②③④			①②③			①②③④⑤			①ほぼ全員が理解	教職員によるプロジェクトチームを設置して、困難を新入生には個別に支援している		
374	事業構想大学院大学	①			①③			②			①ほぼ全員が理解			
375	社会情報大学院大学										①ほぼ全員が理解	すべての在学生に対し2回にわたるアンケートを実施するとともに、授業方針にかんする連絡を行った。また、入学生は全員が複数回の面談を経て出願しており、入学手続き後にLMSへの接続テストを行っているため、十分に理解していると言える。	4月の授業開始前にFDを行い、教授システムなどの機器説明、オンライン授業の実施方法と効果的な教授・教育指導についての研修会を行う。	
376	帝京科学大学	①②④			①③			①②④			②大多数が理解			
377	日本獣医生命科学大学	①②④			③			①③⑤			②大多数が理解	令和2年度後期に行ったアンケートで約7割の学生が授業の方針を理解していたため		
378	宝塚大学	②③④			①③			②③④⑤		④	②大多数が理解	在学生に対して実施した学修動向アンケートにおいて、コロナ対策への評価について、大多数が肯定的な評価であった結果より。	次年度ガイダンスにおいて、今後の方針や授業形態について丁寧に説明を行う予定。そのうえで心構えをお伝えし、学修意欲の向上に繋げる予定です。	
379	愛国学院短期大学										①ほぼ全員が理解	小規模な大学であり、個々の学生に対して、担任教員を通じるなどして授業の形態を説明して、意見を聞く機会もあるため理解・納得できていると考えられる。	入学式前に実施する学年別のガイダンスにおいて本学の新型コロナウイルス感染症対策の取り組みや授業の形態について説明している。この情報は、大学のホームページに掲載し、設置場所も知らせている。学生・保護者ともいつでも見ることができるようになっている。	
380	青山学院女子短期大学										①ほぼ全員が理解			
381	共立女子短期大学										①ほぼ全員が理解	「学長メッセージ」として、複数回にわたり大学のホームページへの掲載、本学のLMSの掲示機能を利用した連絡を行なっているため。		
382	国際短期大学	①④			①②			①②③④⑤			①ほぼ全員が理解			
383	駒沢女子短期大学	③④			①②③			①②④			②大多数が理解	令和2年度の遠隔授業学生アンケート集計結果では、オンライン型授業およびオンデマンド型授業について、学生の満足度は70～80%の割合であった。教員や友人とのコミュニケーション不足の声がある反面、感染を不安とする意見もあり、感染予防対策を徹底したうえで学生の安全と、学修機会の確保の両立を主旨とした面接授業と遠隔授業の併用に対する学生の理解と納得は得られていると考える。また、併せて異を唱える意見は出ていない。		
384	星美学園短期大学	②③	①の「一つの授業に対して面接・遠隔授業を同時に用いることとしており、」が該当しない。③については1年生は、昨年全学年で行った課題の1CTの扱い方を今年も3週連続の課題にして、機軸を捉えるようにした。		①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	令和3年度は、リモート授業と対面授業の組み合わせにより、実施する予定であるが、同様の授業形態を実施した令和2年度後期において、学生から、特に自立した異論は出なかったため、一応、大多数の学生は理解・納得しているものと推量した。	キャンパスライフ・アンケートにより、学生の理解・納得の実情を把握し、必要な取組を行いたい。	
385	帝京大学短期大学	②③④			②③			①③④⑤			④把握していない	感染症対策上やむを得ない場合を除き、面接授業を主として開講することを目指しているため、学生に対しての調査等は行っていない。		
386	帝京短期大学										①ほぼ全員が理解			
387	戸板女子短期大学	①②③④			①②③			②③④⑤			①ほぼ全員が理解			
388	東京交通短期大学	①②④			①②			①②③④⑤			②大多数が理解	オンラインでのやり取りに慣れるため、入学前教育や学校からの案内をオンライン上で行った		
389	東京成徳短期大学	②③			①③			③④⑤			④把握していない	令和3年度の学生の理解・納得度に関する調査は、令和3年度前期にアンケート調査等を実施して把握する予定である。	上記3-11で回答したアンケート調査を実施した結果に基づいて協議し、その結果に応じた対策を検討する。	
390	新渡戸文化短期大学	①②④			①			①②④⑤			①ほぼ全員が理解	令和2年度後期授業で学生への理解を深めた。	定期的に学生ポートフォリオへ配慮していく。	
391	東京立正短期大学	①②③④			①③			②③④⑤			②大多数が理解	6月より隔週の面接授業を開始し、登校機会を確保したため		

No.	学校名	遠隔授業の向上方策	その他の具体的内容	特定の学部や学年での取組	学生の理解を得る取組	その他の具体的内容	特定の学部や学年での取組	新入生等への配慮	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する課題の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項
392	東邦音楽短期大学										①ほぼ全員が理解	学生オリエンテーションを通じ全学生（教員）に説明を実施しています。		学生オリエンテーション、WebSite等を通じ、状況の変化に応じて常に情報発信と実施する予定です。
393	創価女子短期大学	①②③			①②③			①③④⑤			②大多数が理解	学生代表から授業の実施方針について意見を聞いており、また、個別にお知らせポータルサイトを利用して行っている。またオンライン受講等の配慮を希望する学生は申請をしたらうとともに、メールや電話で随時相談に乗っている。		
394	白梅学園短期大学	②③			①			②③			②大多数が理解	前期・後期授業評価アンケートや学生の別途アンケート結果に基づき判断した。		
395	東京女子体育短期大学										④把握していない	調査を実施していないため不明		新学期の授業ガイダンスで授業科目担当者から説明
396	フェリスアソシエイト短期大学	①②④⑤	オンライン授業はゼロにしており、ハイブリッド型が1割、残りはすべて対面授業にしています。ハイブリッド型は授業の教回を対面で少人数にて実施し、完全オンラインにならないようにしています。		①③			①②③④⑤			①ほぼ全員が理解	入学前のオープンキャンパス等で授業が対面授業中心でおこなうことを説明しており、学生または保護者からそれに反対する意見は出ず、出席率も高いため。		
397	桐朋学園芸術短期大学										①ほぼ全員が理解	本学のアドミッション・ポリシーを理解して入学してくる学生またカリキュラム・ポリシーを理解している在学生が多数であることから。		
398	山野美容芸術短期大学	②			②③			③④⑤			②大多数が理解	内容公表後、問い合わせがないこと		
399	日本歯科大学東京短期大学	②③④			①②③			①②③④			①ほぼ全員が理解	遠隔授業を取り入れるための前準備を徹底し、すべての学生が平等に遠隔授業を受けられる環境を整備したことで学生の理解・納得は得られている。	学生と教職員とのつながりをさらに深めることで、学生の理解や納得を得る予定である。	
400	東京歯科大学短期大学	①	該当なし	特になし	①②③	該当なし	特になし	①③	該当なし	特になし	①ほぼ全員が理解	学生および保護者への説明会で、感染拡大を抑制することを目的に面接授業と遠隔授業を併用していくことを説明し理解を得ており、学生も遠隔授業に順応している様子が見受けられた。ただし、実習における遠隔授業は限界があり、対面授業とした場合でも、相互実習においては、実習における直接口唇内に触れる実習は制限をしていたため、一部の学生から不満の声が上がった。	定期的アンケート調査を実施して、学生の理解度や授業への困りごとを把握し、その都度必要な説明や授業方法の改善を図る予定である。	
401	ヤマザキ動物看護専門学校										②大多数が理解	対面式オリエンテーションにて十分に説明し、授業形態に対する意見や質問は出なかったため。		
402	有明教育芸術短期大学										②大多数が理解	演習授業が多く、大多数の学生が対面授業を望んでいる		
403	貞静学園短期大学										①ほぼ全員が理解			
404	東京工業高等専門学校	②③④			①③			①⑤			①ほぼ全員が理解	授業の形態等について、学生への丁寧な説明に努めている。学生からの要望や意見を取り入れるようしている。		
405	東京都立産業技術高等専門学校										①ほぼ全員が理解	特になし	特になし	特になし
406	サレジオ工業高等専門学校										②大多数が理解	年度末に学生アンケートを行い8割以上が面接授業と同等以上と回答したため		
407	横浜国立大学	②④			①②③			①			②大多数が理解	令和3年度授業実施方針は、令和2年12月に学部の授業は可能な限り対面授業で実施すると発表し、令和3年3月16日にその具体的な内容を発表したところである。Afterコロナの授業形態については、全面対面と対面中心の遠隔併用が約7割の支持であり、その意向に沿った授業方針を実施する予定であるため、大多数の学生の理解は得られると考えている。	令和3年度春学期は、対面授業と感染防止の両立を目指した本学の授業実施方針について、4月のオリエンテーション、授業履修手引き（コロナ禍の特別編集）、対面授業における感染防止ガイドラインなど、多岐の観点から、学生の理解や納得が得られるよう取り組んでいく予定である。また、対面授業に不安のある学生については、個々の事情に配慮して遠隔授業で代替するなど、学生に十分配慮して授業を進めていく予定でもある。	
408	総合研究大学院大学	②④		一部の専攻において、3-1について、①や③の取組も行っている。	①②	一部の専攻においては、3-4について、③④⑤の取組も行っている。		③④⑤			②大多数が理解	授業の実施形態等については、学生・教員の意見や要望を聞いた上で、調整し実施しているため。	一部の専攻において、学生の意見を聞いていないため、理解・納得の状況を把握できていない。	引き続き学生の意見を聞いていくとともに、これまで学生の意見を聞いていない専攻についても、意見聴取の機会を設ける予定。
409	横浜国立大学	②③④			①②③			①②④⑤			②大多数が理解	令和2年11月に次年度の授業実施方針について周知を図っているが、個別の科目についての問い合わせはあるものの全体方針についての意見はないため、一定の理解・納得が得られていると認識している。	学内のポータルサイトや大学のHP、担任教員を通じて周知を行う予定。	
410	神奈川県立保健福祉大学	②			①②			①④⑤			②大多数が理解	遠隔授業に対する苦情等は少ないため		
411	川崎市立看護短期大学										①ほぼ全員が理解	ガイダンスにより学生に周知している。		
412	相模女子大学	②③			②③			③⑤			②大多数が理解			
413	北里大学	②			①			①③④⑤			②大多数が理解	本学では2020年度後期から原則面接授業・一部遠隔授業で実施している。2021年度も同様の方針であり、在学生の理解は得られていると考えている。	新入生オリエンテーションや各科目の1回目の授業において、学生に対し十分な説明を行う。	
414	慶應義塾大学	①②③④	設問3-1の④については、1年生が学ぶ日吉キャンパス（7学部）と湘南藤沢キャンパス（3学部）において、オンライン授業を実施し活用している。また、いくつかの学部では、教員がオンライン教育のマニュアルを作成し、授業の充実を図る自主的な取り組みがなされている。	①②③	設問3-4の③については、1年生が学ぶ日吉キャンパス（7学部）と湘南藤沢キャンパス（3学部）において、オンライン授業に関するアンケートを実施し活用している。	設問3-7の⑤については、各キャンパスにおいて学内施設（オンライン授業用の自習室）の開放を行っており、一部の学部・研究科においては必要に応じてWi-Fiルーターの貸出も行った。	②③④⑤⑥	2020年度には、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による家計急変、あるいはアルバイト収入の減少などによって経済状況が悪化し、修学の継続が困難になった学生に対し、本学が独自に備える、慶應義塾大学修学支援奨学金、2000年記念奨学金、慶應義塾維持費奨学金など総額約240億円の奨学金を積極的	②③④⑤⑥	②大多数が理解	2021年度も、新型コロナウイルス感染症の感染状況の変化を注意深く見守りながら、各キャンパスにおける適切な感染予防対策を引き続き実施する予定であり、学生にそれぞれの対応を学生向けウェブサイト等を通じて丁寧に周知している。さらに学生に向けての部長からのメッセージや各学部長、研究科委員長からのメッセージもウェブサイト等で発信している。また、2020年度にはオンライン授業に関するアンケートを実施し、学生からの意見を聴取しているほか、「オンライン授業 Good Practices」と称し、春学期に開講した授業のうちオンラインの利点がよく活用された授業の一部をWebサイト上（下記URL参照）で紹介しており、授業の質の向上に取り組んでいる。これら大学の努力が学生の理解につながっているものと考えている。	感染拡大の影響で入学式が実施できなかった。2020年度入学に向けては、ウェブサイトでの特設ページにおいて学長や学部長、研究科委員長等からの動画メッセージを掲載したが、あったため2021年度春学期に、2020年度入学生を対象とした対面型の特別イベントを開催する予定である。また、オンライン授業も継続される中で、学生に本学の学習体験についての理解を促されるように、ウェブサイト上などに学習に関する考え方を掲載することを検討している。		

No.	学校名	通商授業の向上 方策	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	学生の理解を得 る取組	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	新入生等への配慮	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する課題の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項
415	女子美術大学	①②③			①②③			②③④			②大多数が理解	ホームページにて全学生に向け、大学として、また学長発信にて令和3年度前期の授業方針について、判断の根拠を含め説明している。新入生以外の学生に対しては、教員・助手が担任制をとり、日常的にきめ細やかに授業に関するサポートを行っており、そのなかで令和3年度の授業方針についても説明している。		
416	専修大学	②③④			①②③			①②④⑤			②大多数が理解	本学では、令和3年度の学部授業に関するお知らせとして、学部新入生・学部在学学生・保護者に対し、学長名で周知していること。また、本学ではオリエンテーション・ガイダンス期間中にオンライン授業の受講方法についてのガイダンスを実施する予定である。		

No.	学校名	遠隔授業の向上 方法	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	学生の理解を得 る取組	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	新入生等への配慮	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する課題の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項
417	東海大学	①②③④	・教材として使う資料にイラストを多用するなど、学生が課題に取り組みやすくするよう工夫を行った。・「フレックサットセッション」機能を活用し、受講者120人を4人1組で行うグループワークを授業回毎に1回は行うことで遠隔授業でもアクティブ・ラーニングを実施し、学生から好評であった。・学生との議論のやり取りとして、ホワイトボード機能を用いての説明なども行った。・所在地別の受講者をゲストスピーカーとしたテレビ会議システムを利用した。・合唱の授業では異国で実施することが困難であるため、特殊ピアノに、合唱曲の各パート用伴奏を演奏してもらい録音、学生に配布し、各自練習してもらった。次に、少人数のグループ単位でオンライン指導を行い、全体合唱は、一人の録音録画を後で合成編集する。「リモート・コース」 という形で実現した。・プログラミング実習ではハイブリッド形式とし、対面とライブ遠隔の同時進行で実習形式の授業を行なった。複数のTAが対面・ライブ遠隔両方の授業に張り付き、学生からの質問に随時応えた。・製図の授業において、卓上カメラを導入して実技の手法や様子を見ながら解説を行うなど、平常時の対面授業におけるドラフターの使用方法の解説とは少し異なるアプローチで遠隔授業を利用している。・PPTにナレーションを付け、動画として配信。課題提出までの一週間、学生は自分の都合の良い時間にコンテンツを視聴できる形とした。講義コンテンツは最も長いコンテンツでも30分を越えない動画とし、学生の集中が続くように配慮した。・実習時にプログラムにエラーが生じた学生の画面共有をさせ、解説しながらエラーの修正を行い、その画面を全員が見れるようにした。これにより、同じような間違いを起こす学生が減ることに加え、教員が巡回しエラーの対応を毎回行っていたが効率よく教えることができた。・黒板を利用した創度を推定する実験では、家庭にある利用可能な器具を利用するなど様々な工夫して実験させた。		①②③	各学部独自の方法でTAや教員に対し、質問等、教員と学生がやりとりできる体制を整え、遠隔でも意思疎通できる環境を整えた。				ZoM上のミーティングルームを作成し、教員が仮み事の相談を聞いたり、その場で出合った学生同士の交流を取り持っている。	②大多数が理解	2021年度の開講方針として、湘南校舎においては対面授業もしくは対面と遠隔の併用授業を6割以上と予定している旨、3月10日（水）に次学期に掲載をした。掲載後、3月末において、新型コロナウイルス対応サポートセンターへの遠隔授業に対する質問・苦情等は、本学学生2800人に対して、ほとんどない状況となっている。また、2021年度前期は2020年度後期よりも対面授業の拡充を図り、その中で、「コロナ検定」という本学独自のチェックシステムを設け、実施している。教職員、学生一人ひとりの新型コロナウイルス感染症に関するリテラシーの向上に努めるとともに、対面授業のさらなる拡充を図っていくことでコロナ禍以前の元の学園の姿へと徐々に取り戻していく本学の積極的な姿勢に対して、こちらも苦情等はなく、一定程度の理解を得られていると考えられる。	次年度も引き続き、オフィシャルHPから「新型コロナウイルス対応サポートセンター」に問い合わせができること、ガイダンス等で、「授業実施に対して、意見や要望、不安や不満が生じた際には、登校時やオフィスアワー等を活用して、先生に相談をするように」と個別に対応する。	



No.	学校名	遠隔授業の向上 方策	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	学生の理解を得 る取組	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	新入生等への配慮	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する認識の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項
418	桐蔭横浜大学	②③④			①②③			①②③④⑤⑥	令和3年度新入生の希望者に対して、ライブキャリア型の入学前教育を実施した。遠隔授業で実施し、在学生のファシリテーターを入れたアクティブラーニング型をとったため、双方向型のオンライン授業やICT機器を早期から継続させた。		①ほぼ全員が理解	LMS等を用いて継続的に授業に関する情報発信を行っている他、学生調査も実施し、学生の状況を大学が把握するシステムを構築している。また学務部、学生部にて学生の質問に丁寧に回答を行っている。		教育目的や授業内容によって効果ある教育手段が通うことを、シラバスの表記等で学生に対して提示していきたい。
419	神奈川大学	①②③			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	令和2年度に実施した学生向けの調査アンケート、保護者からの意見、あるいは社会情勢等に鑑み、授業種別に等らず、感染防止対策をとりながら各授業科目の位置づけ、授業運営形態、履修者規模等に依り、面接（対面）授業を避けつつ遠隔授業を組み合わせながら行うこととした。また、面接授業の受講に対して基礎疾患等の不安を有する学生について、一定の配慮を行うこととしたが、それらの方針を公表して以降は、授業の実施形態に関してそれほど不満の声は寄せられていないため。		今年度も学生向けの調査アンケートを実施し、FD研修会で集計結果を分析するなどを行い、効果的な授業実施形態の検討をはかる。
420	関東学院大学	②③			①			②③④⑤			④把握していない	令和3年度の状況について学生に調査する機会がまだないため。		遠隔授業に関する調査を学生対象に実施する。
421	鶴見大学	②③			①③			①③			③大多数とは言えない	文学部：③で回答。（理由）各学科の授業運営方針の説明は、新学期開始時に、対面及びWEB上で行う予定。商学部：①で回答。（理由）オリエンテーションでの説明やポータルサイトでの説明を行っている。また、各講義で出席を厳しく確認しており、出席状況から学生が講義形式を理解していることが確認できる。		文学部：各学科の授業運営方針の説明は、新学期開始時に、対面及びWEB上で行う予定。商学部：ポータルサイトでの説明以外にクラス担任教員からの連絡により周知徹底を図る。
422	フェリス学院大学										①ほぼ全員が理解	大学公式サイト、学生向けポータルサイト及びオリエンテーション等を通じて、大学の方針等について繰り返し周知している。		
423	横浜商科大学	②③④			①②③	該当なし		②③⑤⑥	1年生の大学生活をサポートするチューター・アシスタント(SA)制度により上級生が授業だけでなく日常生活や一般常識もフォローしています。学修支援を目的にSAチームへ誘導することで修学意欲の持続や、中退者の減少に効果が見られることから、SA担当学生は、対面授業日以外でも通学してもらっています。	特になし	②大多数が理解	高齢者の同居家族がいる場合や通学時の公共交通機関の利用、地方出身者が考える首都圏の感染状況等、大学への通学に不安を持つ学生やご家族が感染リスクに対する不安感を払拭できないケースがみられるため。ただし、人数的には半数未満である。		授業実施の際の個別対応、カリキュラムに影響のない範囲内での柔軟的な履修等に対応することで、対面通学の学生との意見の乖離を可能な限り解消する方向で対応を行う。
424	情報セキュリティ大学院大学	①②④			①③			③⑤			①ほぼ全員が理解	ポータルや、研究室ごとの連絡ツールにより、定期的に学生に情報伝達を行っており、質問に対しては関係教職員で速やかに対応しているため。		学生の立場にたった情報発信と対応を継続する。
425	麻布大学	①②③④			①②③			①②③④⑤	一部学科の1年次で、コロナ禍において登校する機会の少ない学生同士のコミュニケーションを図るため、LINE等を活用した。		①ほぼ全員が理解	令和2年度後期遠隔授業の授業評価アンケートの分析結果をもとに授業形態の見直しを行い、3月中旬に令和3年度前期授業についての周知を行った結果、学生からの質問・意見の声は上がっていないため。		授業評価アンケートを通じて、取り組み内容をブラッシュアップし、改善に努める。
426	神奈川歯科大学	①②③④			①②③	該当しない		②③④⑤			①ほぼ全員が理解	講義の出席率、実習と試験の参加状況から問題ないと判断します。	特に差異は見られない	講義、実習、課外活動などのアンケートによる対応を行っていく予定である
427	鎌倉女子大学	①②③④			①②③			①②③④⑤			①ほぼ全員が理解	本学のホームページ及びポータルサイトにおいて本学の方針を掲載しているため。		新年度の学科学年別履修オリエンテーションにおいて説明する。
428	湘南工科大学										①ほぼ全員が理解	学生に周知後、意見や問い合わせに個別に対応し、納得を得ている。		新学期的ガイダンスで改めて丁寧な説明を行う。
429	湘南医療大学										①ほぼ全員が理解			
430	洗足学園音楽大学	②③			①②			④⑤			②大多数が理解	HP・ポータルサイト等において、本学の方針を周知してきているから。		オリエンテーションにおいて、より丁寧な説明を行う。
431	聖マリアンナ医科大学	①②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	昨年度は急なオンライン対応への切り替えとなり、学生と種々議論を交わしてきた結果、現在の形式に落ち着いている。現在のところ学生からの目立った不満は聞こえてこない。		引き続き、各学年代表の学生を通して、定期的に話し合いの機会を設け、要望等について柔軟に対応する。
432	神奈川工科大学	③			①③			③④⑤			②大多数が理解	基礎疾患を有する学生、遠隔地在住学生など、通学意欲に対する不安を感じる学生は一定数おり、全面的な対面授業への移行へ舵を切ることが難しいため、各学科で対面授業実施の必要性が最も高い科目に限り対面授業を実施することとした。		対面式授業を希望する学生・保護者からの声や、不安を感じる学生・保護者も上回っており、対面授業比率を上げるべく、校内での予防対策等の徹底をより一層徹底していく。
433	昭和音楽大学										①ほぼ全員が理解	新入生を含む個々の学生に対して、ポータルサイト等を利用して、複数回にわたり、案内を行うと同時に、質疑応答等を行っている。		ポータルサイト等を利用して、丁寧に案内や説明を繰り返し行う。

No.	学校名	遠隔授業の向上 方策	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	学生の理解を得 る取組	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	新入生等への配慮	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する課題の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項
434	東洋英和女学院大学	③④			①②③			②③④⑤			①ほぼ全員が理解	大学ホームページや学内連絡ツールで遠隔授業方針について発信している。		引き続きホームページ等で発信を続け、学生の理解を得よう努力する。
435	松蔭大学	②			①②			①			①ほぼ全員が理解	学生・教員向けの学内ウェブサイトActive Academyで周知している。		
436	田園調布学園大学	②			②			②⑤			①ほぼ全員が理解	授業方針を公開した後に、特段の意見が寄せられなかったため。		
437	横浜美術大学	②③			①			①②③④			②大多数が理解	12月、3月上旬に2021年度授業実施方式等に関する周知済み。シラバスを確認した上で問い合わせも散見されるため。		
438	日本映画大学										①ほぼ全員が理解			理事及び学生からのメッセージを学生や保護者に対して伝えていく。
439	横浜創英大学										①ほぼ全員が理解	令和2年度から、できるだけ対面で授業を行ってきた。その都度、学生及び保護者に対面授業の必要性を説明してきた。令和3年度の授業にあたっては3月に学生及び入学生並びに保護者宛、対面授業の必要性と原則対面で行うことを通知した。		
440	湘南鎌倉医療大学										②大多数が理解	本学は令和2年度開設の新設校であるため、現状をコロナ禍以前の様子と比較することはできないが、令和2年6月に学生を登録させるに際しては、全学生、全教職員（管理・支援・事務担当者含む）に対してPCR検査を実施させ、1学年のみが余裕をもって使用しているキャンパスにあって、手洗い・消毒に加え、換気やソーシャルディスタンスを徹底した中で授業を行い、学内に感染した学生に対しては近隣の総合病院において即日PCR検査を実施（結果についても即日通知）する等、万全な体制において対面授業を実施した経緯があり、今年度については引き続き、万全な体制において対面授業を行う予定である。	学生（教職員）の手洗い・消毒に加え、換気やソーシャルディスタンスを徹底した中で授業を行い、学内に感染した学生に対しては近隣の総合病院において即日PCR検査を実施（結果についても即日通知）する等、万全な体制において対面授業を行う予定である。	
441	和泉短期大学	①②③④			①②③			②④⑤			①ほぼ全員が理解	入学前教育、オリエンテーション等機会あるごとに繰り返し説明を重ねているから		
442	横浜女子短期大学	④			①③			②③④			②大多数が理解			
443	小田原短期大学	②④			②③			②③			②大多数が理解			
444	洗足こども短期大学										②大多数が理解	新入生及び新2年生に動画配信等で説明しているから		入学後、対面でのオリエンテーションにおいて、より丁寧な説明を行う
445	東海大学医療技術短期大学										①ほぼ全員が理解	2020年度後期より対面で実施することについて、学生・保護者へガイダンスや文書により、双方から質問・意見はあっていた。また、本学は感染拡大防止のため、授業に閉学を予定しており、在学学生は最終学年のみである。授業のほとんどが看護実習であることから、病院側の受け入れがある限り対面での実習となる。	大学の方針については、2020年度同様丁寧に説明していく。	
446	湖北短期大学	②③④		特になし	①②③		特になし	②④⑤			②大多数が理解	今年度、学生からは面接授業を希望する意見が多く寄せられた。それらを踏まえて次年度はより多く面接授業の機会を設けているため。	特になし	特になし
447	横浜薬科大学	①②			①②			①③⑤			②大多数が理解			
448	新潟大学	①②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	昨年12月25日、本学ホームページにて次の【 】の部分の掲載をした。【現在も新型コロナウイルス感染症の感染は蔓延することができません。令和2年度1学期の状況も予断を許さない状況ですので、本学では今後の感染状況を把握しながら「対面型授業」の範囲を令和2年度よりも広げ、授業の教育効果及び学生生活の充実を図ります。】その際、「対面型授業を基本とする授業科目区分」として次のような科目を挙げた。『英語』『初級外国語（パーシク1）を除く』『健康』『スポーツ』『体育実習』『情報リテラシー（実習が100人以上の科目）』『自然科学（理学）<実験>』『大文学習法』『初年度教育に関する科目』『実験・実習』『インターンシップ』『ゼミナール』『演習』『卒業（修了）論文』。さらに、3月10日に令和3年度第1学期の各開設科目の授業実施方法について、一斉教をWEB上に掲載し学生に通知した。感染には波があるため状況に応じて対応するのがベストであり、ある時点で一律に授業方針等を決定することが困難であることについて学生の理解が進んできたものと思われ、上記の方針通知の後も目立った反応はみられなかった。したがって、大学の方針について学生に理解されているものと考えた。	感染状況や今後の見通しに関する理解の仕方と、授業の実施状況に関する理解や納得の程度との関係を分析すべく、アンケートを実施したいと考えている。	
449	長岡技術科学大学	①②③④			①②③			②③④⑤			①ほぼ全員が理解	新入生を含む学生に対し、授業の形態等をメール、HPで十分に説明している。授業に不安を感じる学生への支援体制を十分にしている。		学生への周知を徹底する。アクセシビリティの活用を図る等、授業について不安を感じる学生への支援体制を強化する。
450	上越教育大学										②大多数が理解	授業評価アンケート等においてオンライン授業についての学生の意見を確認しており、ほとんどの学生は理解・納得していると考えられる。	授業評価等で今後も引き続き把握していく予定	
451	新潟県立看護大学	②③			①			②③④⑤			①ほぼ全員が理解	学生へは丁寧な説明を行っている。学生との意見交換会を実施しており遠隔授業に対する異議申し立てがなかった。		
452	新潟県立大学	②④			③			②③			②大多数が理解	令和3年度の授業形態は、令和2年度後期の方針から大きな変更がなく、8割ほどは対面授業を実施する予定であるため。		
453	長岡造形大学	②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	遠隔授業と対面授業の割合について、全学生を対象とした学生アンケートの結果、52%の学生が対面授業の増加を望んでいる。一方で、44%の学生が、令和2年度と同様（4割対面授業、6割遠隔授業）を望んでいるほか、4%の学生が、遠隔授業の増加を望んでいる。また、新型コロナウイルス感染症への意識は、約47%の学生が怖いまたは非常に怖いと回答しており、気にならない又は全く怖くないと回答した学生の32%を大きく上回っている。半数以上の学生が対面授業の増加を望んでいるが、新型コロナウイルス感染症への恐怖も増えるため、令和3年度も引き続き感染防止対策を行ったうえで、対面授業を増加することとしている。	大学の方針等を学生用ポータルサイト等で周知し、個別の質問に対応するとともに、各授業において授業の実施方法などを丁寧に説明する。また、教員がホワイトボードや書画装置などの機器を使用して授業を配信する遠隔授業配信教室や、学生が学内において対面授業と遠隔授業の両方を無理なく受講できるよう遠隔授業専用教室を整備するなど、学修の質を確保するための施設設備を整える。併せて、担任制度を活用し、学修面での困難を把握しきめ細やかな指導を行っていく予定である。	
454	三条市立大学										④把握していない	令和3年度開学の大学であることから、3-10の回答としては④となるが、問い合わせ等があった場合は、都度対応する。	新入生オリエンテーションにおいて授業形態に関する説明を行うほか、学務課で質問等を随時受け付ける体制を整える。	
455	長岡大学										②大多数が理解	令和3年度授業実施方針を大学HPにて周知したが、学生及び保護者から否定的な意見等はなかった。令和2年度も8月から面接授業を実施したが、否定的な意見等はなかった。新入生やその保護者に対し、入学前ガイダンス時に説明したが、否定的な意見等はなかった。	令和3年度オリエンテーション期間に学生に対し、丁寧に説明する。	
456	新潟医療福祉大学	④			②	遠隔授業については、必ず録画をし、学生が復習できる環境にしている。		③④			②大多数が理解	学生へ向けは学長メッセージによる大学方針の発信に加え、時間割、シラバス等にも授業形態の詳細（対面 or オンライン）などを明記する形を取り、学生への理解を促す取組みを取っている。概ねの学生が支障なく、対面・オンライン授業を受講しているため、②とした。		
457	新潟青陵大学	①②③④			①②③			④⑤			②大多数が理解			

No.	学校名	遠隔授業の向上 方策	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	学生の理解を得 る取組	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	新入生等への配慮	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する課題の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項
458	新潟工科大学	①④		F D委員会、授業評価アンケートを実施し、令和2年度に実施した遠隔授業の反省点(資料のみ提示、メール等での質問対応など)を踏まえ、遠隔授業の対応方法を検討し、改善に努めている。	①③		授業評価アンケートを実施して、遠隔授業が理解できたか学生の意見をとり入れ、改善につなげている。			入学前ガイダンスや助言教員との交流時間を設けて、授業前の不安や疑問点の解決に努めている。	①ほぼ全員が理解	大学HPへの掲載と全学生へ授業方針の文書を付しているため。	学年で理解・納得の度合いは変わらないと考える。	ガイダンスにおいて口頭説明も行う。
459	新潟経営大学										④把握していない	2021年度の授業方針について、新入生、在学生に周知している段階であり、学生の理解度や納得の状況について把握するには至っていない。	来年度の授業評価アンケートを通じて学生の理解度や納得の状況について把握していきたい。	
460	新潟国際情報大学										①ほぼ全員が理解	令和2年度後期から感染対応を十分に施したうえで、ほぼ全ての授業で対面授業を実施し、感染が拡大した際は、早急に遠隔授業へ切り替えることを予め周知する。	引き続き感染対策を万全に行い、安心・安全な状況で授業を受けられる環境整備を行うことと、感染が拡大した際は、早急に遠隔授業へ切り替えることを予め周知する。	
461	敬和学園大学	①②③			①②③			②③⑤			②大多数が理解			
462	新潟薬科大学	②③④			①②③			①②③④⑤			①ほぼ全員が理解	大学ホームページにおいて、「2021年度の授業方針について」を公表し、また学生電子掲示板においても繰り返し連絡しており、現在のところ特に学生から質問等もないことから、大多数の学生から理解・納得していただいているものと認識している。	各学年のオリエンテーションにおいて、教務委員会等から説明し、理解や納得を得る予定である。	
463	国際大学	①②③			①			③④⑤			①ほぼ全員が理解			
464	新潟産業大学										①ほぼ全員が理解	学生授業アンケート結果を掲載に回答しました。	今後も授業アンケート等で学生に確認したい。	
465	事業創造大学院大学	①③④			①③			②③④			③大多数とは言えない	社会人学生と外国人留学生が半数であることなどから安全に関する考え方が異なるため、大多数の理解を得ることが難しい面がある。	学生アンケートや面談により状況を把握するなどしたうえで必要な情報提供に努める。	
466	新潟リハビリテーション大学	①②③④			②③			②③④⑤			④把握していない			オリエンテーションや新入生研修時の説明
467	新潟食料農業大学										①ほぼ全員が理解			
468	開志専門職大学										①ほぼ全員が理解	何度かヒアリングを行っているが学生より特段、意見等は上がっていない。	定期的にヒアリングやアンケートを行い、学生の声を拾うようにしている。	
469	長岡崇徳大学										①ほぼ全員が理解	新学年オリエンテーションで説明	特段なし	特段なし
470	新潟工業短期大学										④把握していない			特になし
471	新潟中央短期大学										②大多数が理解	アンケートの結果から、対面授業を希望する割合87.1%と大多数であり、「対面のほうが学びやすい」「集中できる」といった声があがっていたため	特になし	引き続き、様々な感染症対策を講じながら、また授業の工夫を施しながら、できる限り対面授業を実施していく
472	日本歯科大学新潟短期大学	①②③④			①②③			②③④⑤			②大多数が理解	学生には遠隔授業を実施する必要性及び面接触授業を行う重要性について繰り返し説明を行っている。また、学生アンケート結果や個別面談から挙げられた内容はその都度改善を図り、授業形態に反映させている。そのため、大きな問題点は挙がっていない。	授業形態についての理由や必要性についてオンライン上で保護者会等を開催し、学生と保護者に対し説明する機会を設ける。また、学生へのアンケートや個別面談を実施し、学生の意見を聞く機会を設ける。	
473	明倫短期大学										①ほぼ全員が理解	2020年6月以降、一部の科目を除き大半の授業科目において面接触授業を開始したが、学生から不安や不満の声は聞かずにオンライン授業実施の要望もなかったため。		
474	長岡工業高等専門学校										①ほぼ全員が理解			
475	富山大学										④把握していない	令和3年度授業実施方針については、令和2年度後学期と同様に原則対面で実施する全学的に同様の対応であるため、	学生から問合せがあった場合は、丁寧に説明し、理解を得よう対応する。	
476	富山県立大学										④把握していない			
477	高岡法科大学										②大多数が理解	本学では、運営方針や授業形態の手引き等で学生に周知している。	学生のごく一部から理解・納得を得られていないが、説明責任をほしたし、本学の運営方針に理解・納得してもらいたいと考える。	新学期開始時のオリエンテーション、説明会での学生へのアンケート。全学生対象で教員との個別面談等。
478	富山国際大学										④把握していない	令和3年3月29日に学生にむけて令和3年度の授業方針を示したばかりで学生の反応をまだ把握できていない。	今後授業アンケートなどを活用して改善を図っていく	
479	桐朋学園大学院大学	①②			①③			③⑤			①ほぼ全員が理解	全体および個別のオリエンテーションで丁寧に説明している。		
480	富山短期大学										④把握していない	令和3年度の授業方針については、授業形態も含め令和3年の4月のオリエンテーションで周知し、理解・納得をいただくため。	4月のオリエンテーションで詳細を説明。	
481	富山福祉短期大学										①ほぼ全員が理解			
482	富山高等専門学校										①ほぼ全員が理解			
483	金沢大学	①②④			①②③			②③④⑤⑥			①ほぼ全員が理解	令和2年度においては全学生を対象に、学期の変わり目や長期休業の前後、感染者数の増減など節目節目に合計「21報」の通知(ポータルシステムによる直接配信とWebサイトへの掲載)を行い丁寧な情報提供に努めた。通知には問合せ先を明記し、丁寧な受け答えを行った。その情報共有している在籍生は令和3年度の現状を理解・納得していると考え、 <a href="https://www.odm.kanazawa-u.ac.jp/ad_gakusei/student/kyomu/covid-19.html">https://www.odm.kanazawa-u.ac.jp/ad_gakusei/student/kyomu/covid-19.html</a> 一方で幸いにも石川県は現時点で新規感染	令和3年度のオリエンテーションにおいても、履修登録方法など、何度も聞きたい説明に関してはオンデマンド教材化する等、遠隔の良い面も取り入れている。今後の新規感染者数の推移なども注視しながら対面のみで面談することなく、柔軟に遠隔を取り入れることで、学生の納得や理解を得たいと考えている。	
484	北陸先端科学技術大学院大学	①②③④			①②③			②③④⑤			②大多数が理解	令和2年度中に、学生を対象に授業に関する満足度調査アンケートを実施し、希望が多かった授業の形態を採用することとした。	特になし。	学生を対象に授業に関する満足度調査アンケートの実施等について検討する。
485	公立小松大学										②大多数が理解	令和2年度後期についても原則として対面で授業を行ったが、学生対象の授業アンケートを実施した結果、満足度の指標は例年以上であり、授業形態に批判的・不満足のあるコメントも皆無だった。	授業アンケートの結果、満足度や理解度の指標は例年と比べても遜色ない。	特になし。

No.	学校名	遠隔授業の向上 方策	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	学生の理解を得 る取組	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	新入生等への配慮	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する認識の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項
486	石川県立大学	②③			③			③⑤			②大多数が理解	授業評価アンケートの結果より、面接授業と遠隔授業に対して色々な意見があるものの、教室と食堂の取替なども考慮して、授業の形態等については大多数の学生が理解していると思われる。	令和2年度は特に1年生が大学キャンパスでの面接授業の割合が少なく、またフィールドワークにも制約があった。	令和3年度の新生入生に対するオリエンテーションは対面で行う予定で、履修科目の選択など、より細かい丁寧な説明が可能になると考える。また、新生入生には遠隔授業を行うに当たり、スマホではなく、ノートPCの購入を強く推奨して、情報通信を滞りなく実施できるように、オリエンテーションの他に講習会を開催する予定である。
487	金沢美術工芸大学	②③			①②③			②③④			②大多数が理解	令和2年度後期の授業アンケートの回答において、多くの学生が理解を示す内容の回答をしており、令和3年度はさらに対面授業を拡充するため、3月開催の学生代表と大学当局の懇談会において、授業形態について概ね肯定的なアンケート結果が提示された。	ガイダンスなどの機会を捉え、引き続き授業形態について必要などを説明していく。	
488	石川県立看護大学										①ほぼ全員が理解			
489	金沢星稜大学	②③④			①②③			②③④⑤			②大多数が理解	授業評価アンケートの結果、大多数が肯定的であった。		
490	金沢工業大学	②③④			①②③			①②③④⑤			①ほぼ全員が理解	全学生参加による授業開始前のオリエンテーションをコロナ禍以前の2倍の時間を設け、丁寧に説明し、質問に対応しているため。	理解・納得の割合にバラツキは無いと認識している。	授業後アンケートにより改善点を検討する。
491	金沢医科大学	②③④			①②③④	・学年別に説明会を開催 ・面接授業14日前の募集及び待機期間の設定		②③④⑤			②大多数が理解	学年別説明会での応答や学生アンケートの結果から、そのように認識しています。		昨年度と同様の取組みを行う予定です。
492	北陸大学										②大多数が理解	令和2年度から継続した対応であり、面接授業を原則としているため。令和2年度に行ったアンケート等で満足度調査を実施し、70%程度の学生が「満足」「やや満足」と回答したため。	特になし	従来どおり学生に対する丁寧な説明に取り組む。
493	金沢学院大学	①			特になし			①②④			①ほぼ全員が理解			
494	金沢学院短期大学	①			特になし			①②④			①ほぼ全員が理解			
495	金城大学										②大多数が理解			
496	北陸学院大学	③④			③			①②④⑤			④把握していない	後期における授業アンケートの結果を集計中のため		
497	かなざわ食マナジメ ント専門職大学	②			①			②③			④把握していない	2021年4月開学のため、在学している学生がわずか前年実績がない。新生への告知は入学後のオリエンテーションでアナウンスを行うため、現時点では把握できていない。		入学後のオリエンテーションで、学生にはしっかりと説明を行い、懸念事項や質問には教職員が協力し、きめ細やかなサポートを行う予定。
498	石川工業高等専門学校										②大多数が理解			
499	国際高等専門学校	①②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	7月に行った遠隔授業に関するアンケート調査結果、1・2月に行った授業アンケート及び総合アンケート調査結果から、感染状況に注意しつつ面接授業の比率を上げていくことで大多数の学生が同意すると考えます。	遠隔授業により通学時間を他に充てることができ効率的であるとの意見が5年生数名より出ていることから、面接授業の比率を上げていくことに対して、5年生の理解・納得度合いは他学年に比べて高くはないと考えます。	4月のオリエンテーションにて、授業方針と学費支援について十分な説明を行う予定です。
500	福井大学	②④	医学部ではG Suite for Educationをシンプ ルに使いやすくカスタ マイズした遠隔授業支 援アプリ「F. MOCE (Fukui-Medical Online Communication & Education System)」を開発し、 教育効果や満足度の高 い授業方法への改善を 図っており、面接授業 の同時収録によるオン デマンド配信など、一 つの授業に対して面 接・遠隔授業を同時に 実施している。		①②③	教育学部では、毎 年、学部長と学生代表 との懇談会を開催して おり、授業や学生生活 等について学生の声を 聞いている。コロナ禍 の令和2年度にも実施 し、特に遠隔授業の実 施方法等についても意 見や要望等を直接学生 から聞く機会を設け た。		②③④⑤			②大多数が理解	「全学生を対象に、遠隔授業の効果の検証および改善に資するためのアンケート調査を前期の中間及び終了時に実施した。2回のアンケートとも、「移動が不要で効率が良い」「自分のペースで学習ができる」「繰り返し学習ができる」等、面接授業と比較して、自分のタイムコントロールがしやすい点をメリットとして捉えた学生が多くを占めた。さらに、終了時のアンケートでは、達成目標の達成状況についても遠隔授業によって達成できたかの問いに対し、肯定的な回答をした学生は1割以下であった。また、「コロナウイルス感染が怖いので後期も遠隔授業を継続してほしい」との要望意見もあった一方、学生の約6割が「オンライン授業に順応して学んでいる」と回答している反面、1割程度の学生は「学習効果が低い、オンライン形式が合っていない」と回答している。これらのアンケート結果より、大多数の学生は、授業の形態等について理解・納得していると考えられる。なお、後期終了時にも同様のアンケートを実施し、現在集計中である。集計結果も踏まえ、更に授業改善に取り組む予定である。	令和2年度後期終了時の学生へのアンケート結果を踏まえ、授業改善に取り組む予定である。また、令和3年度の早い時期に学生・教職員協働の委員会を開催し、学生からの率直な意見を聴取することとしている。	
501	福井県立大学										①ほぼ全員が理解			
502	敦賀市立看護大学										①ほぼ全員が理解	学生は新型コロナウイルス感染拡大対策のための行動指針を守り、授業に参加している現状から判断した。	少数の学生や保護者ではあるが、他大学の遠隔授業の状況と比較し、本学が対面で授業を実施する と決定した際に、批判的な質問があった。理由は、感染症に関する情報が錯綜しており知識不足と偏見などから生じていることが伺えた。	新たに計画していることはない。
503	福井工業大学	②④			①②			③⑤			②大多数が理解	保護者向けには本学ホームページ、学生向けには学生が利用しているLMSや学生ポータルでの通知を実施しております。		
504	仁愛大学	②③④			①②③			①②③④⑤			④把握していない			
505	福井医療大学										①ほぼ全員が理解			
506	仁愛女子短期大学	②③④			①②③			②④⑤			①ほぼ全員が理解	授業の形態等についての本学の方針を通知文書で全学生に送付し、公式HPに掲載している。	1. 遠隔授業について、修学支援を必要とする学生が受講する場合のサポートを強化する予定。2. 授業形態等についての本学の方針をさらにオリエンテーションで説明を行う予定。	
507	福井工業高等専門学校										①ほぼ全員が理解			



No.	学校名	遠隔授業の向上 方策	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	学生の理解を得 る取組	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	新入生等への配慮	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する課題の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項
508	山梨大学	②⑤	・学年層の中に、通常では扱っていない補講期間を設けた。・成績評価に係るガイドラインを作成し、教員に周知した。・随時適切なフィードバック。事前・事後の学習過程を適切に課す		①②			②③⑤			②大多数が理解	授業方針については、随時HPや学内掲示板に掲載をし周知している。例年年度初めに公開をしているシラバスだが、令和2年度後期の授業科目においては、後期の授業が開始される前に授業形態を追加記載するようにし、学生が授業形態を理解した上で科目を履修するようにした。		
509	都留文科大	①②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	ホームページで学長メッセージとして公表し、授業形態に反対する電話やメール等はない。		
510	山梨県立大	②③			①②③			①②③④⑤			④把握していない	コロナ感染対策及び対応については様々な意見がある（対面授業を望む声もあればオンライン授業を望む声もある）		
511	大月短期大	①②③			①②③			②③④⑤			①ほぼ全員が理解			
512	山梨学院大	②③		特定の学部において、学生からの意見を受け付け、授業の在り方を改善していく仕組みを取り入れている。	②	なし		⑤	なし		④把握していない	学生が本学の方針を理解・納得しているかどうかを調査していないため。	なし	新入生と在学生のガイダンスについて、面接と遠隔の手法を併用しておこない、なるべく多くの学生がガイダンスに参加できる状況を整えたうえで、本学の方針の理解・納得が得られるように取り組む。
513	身延山大										①ほぼ全員が理解			全ての授業において面接授業のため、該当なし
514	山梨英和大	②③	なし	なし	①③	なし	なし	①④⑤⑥			②大多数が理解	2020年7月に実施した全学生への遠隔授業アンケートでは遠隔希望54%対面希望30%であり、山梨県内の感染状況に大きな変化はないため。	なし	学内外の意見を集約しながら、段階的に面接授業割合を増やしていく予定。
515	健康科学大	②③④		授業評価アンケートを実施し、授業改善に努めている。	①②③			②④			②大多数が理解	上述した判断のもと、2020年度後期は3割だった面接授業を約6割まで増やしたことに對して学生に周知しているが、現時点で学生から不安の声等は上がってきていないため。		検討中
516	山梨学院短期大										①ほぼ全員が理解			
517	帝京学園短期大										①ほぼ全員が理解	全ての授業を従来通り対面授業で行う予定であるため。		
518	信州大										①ほぼ全員が理解	本学では、随時更新される対策本部の通知を本学HPに掲載するだけではなく、その都度、学生全員にメールで連絡している。令和3年度の授業が原則対面で実施されることは、令和2年11月の「令和3年度のカリキュラム編成等のガイドライン」で周知しており、その後も授業中や、新年度カリキュラムのガイダンス等で説明している。質問等があれば、大学に問い合わせることができ、回答によっては該当する学生全員に連絡する体制が整っている。		
519	公立諏訪東京理科大	②③④⑤	遠隔授業実施の際にはその授業を必ず録画し、学生が復習用の教材として使用できるようにルール化している。また、令和3年の後期から、面接授業についても授業を自動録画し、履修学生が学修用教材として使用できるよう学内施設の準備を進めている。		①②③			①②③④⑤			①ほぼ全員が理解	2月15日に大学から「2021年度の授業実施方針について」というタイトルで当調査回答内容について学生含む学内外の関係者に広く周知し、それに対する学生からの質問やコメント等が一切無いため。		丁寧な説明と情報提供を継続する
520	長野県立大	②③			②			①②④⑤			②大多数が理解	授業改善アンケートにおいても、対面授業に比べ、オンライン授業の評価が大きく低下することがなかったため。		
521	長野県看護大	②			②			③⑤			④把握していない			学生にアンケート調査を実施予定
522	長野大	②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	令和3年度における授業の実施方針については、昨年12月末に発表し、この間学生や保護者からの疑問や質問に対応してきたため、大多数の学生は理解・納得していると考えている。		
523	松本歯科大										①ほぼ全員が理解	医療系学科という専門性から、遠隔授業では学習効果が低いと考える。	なし	
524	松本大	①②			①			②			①ほぼ全員が理解	アンケート調査で、不満の割合が高くなかったため。		
525	清泉女学院大										①ほぼ全員が理解	学生への個別メールとホームページで告知し、オリエンテーションで確認した。	なし	従前どおり、学生への個別メールとホームページでの告知及び対面での確認を実施する。
526	佐久大										②大多数が理解	アンケート他、学生からの意見により、上記回答のように感じているため		学生に対してのアンケートの実施
527	長野保健医療大										②大多数が理解	学生への連絡ツールにて説明している		4月までに再度、学長名にて授業方針を明示する
528	松本看護大										④把握していない	令和3年度開学となるため、入学式後に説明を行う予定でございます。	なし	オリエンテーションにおいて説明を行う予定でございます。
529	上田女子短期大										①ほぼ全員が理解	本学近隣地域の感染拡大状況をふまえて本学の方針を文書等で全員に伝えているため。	特になし	今後も様々な手段で方針を伝えていく予定です。
530	信田女子短期大										②大多数が理解	・5月に休校や分散授業、一部オンライン授業を行った以外は対面での授業を実施できたため ・学生に対して随時教職員から説明を丁寧に行い理解してもらったため ・学外実習に関しては、実習先の受け入れがされず学内演習に切り替えたことに「仕方ない、残念だ、不安だ」という学生の声もあったため	・感染症に関する授業を年度当初に行った学科に関しては、学生の意識が高くなり学外での実習が行えない現状について納得していた	引き続き、学生への説明・通常授業と同等の授業内容の充実・実習先の調整
531	長野女子短期大										①ほぼ全員が理解	個人面談をして確認している		個人面談やアンケートをして、学生の意見を聞く
532	松本短期大										①ほぼ全員が理解			感染状況の現状を常に把握しつつ、現況に応じた対応をいち早く決定し、学生に周知していくようにする。
533	清泉女学院短期大										①ほぼ全員が理解	学生への個別メールとホームページで告知し、オリエンテーションで確認した。	なし	学生への個別メールとホームページで告知し、対面での確認を実施する。

No.	学校名	遠隔授業の向上 方策	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	学生の理解を得 る取組	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	新入生等への配慮	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する課題の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項
534	信州豊南短期大学	②③④			①②③		⑥		遠隔授業はこくわずかなため、対面授業の間で実施している。学校の設置で対面授業と同様に履修者が集合し、授業を受講する。遠隔授業には補助者がつき、資料等(ネット)からも受け取れる。も直接手渡ししている。遠隔授業は双方向性を保って行われ、かつ補助者がつくことで遠隔授業によるマイナスの影響を受けている学生はいないと考えている。		①ほぼ全員が理解	ほぼすべてが対面授業で行われており、ごく一部のみの対面授業だが対面授業とほぼ変わらない状況で昨年度も実施してきたことから、本年度前期もそのように行うことを説明しており、納得が得られている。また、東京方面のコロナの状況が改善されればいつでも対面に切り替えることも伝えていく。		入学前の準備授業において説明、また同時に開催した保護者説明会においても保護者に上記のような取り組みを説明している。また、入学後のガイダンスにおいても再度学生に伝えていく予定。
535	長野工業高等専門学校										②大多数が理解	入学式及び始業式において本校の方針を説明	特になし	特になし
536	岐阜大学	②④			①③		①④⑤				②大多数が理解	令和3年度の授業の形態に関する学生からの意見等が寄せられていないため		授業を含め、学生生活における留意事項等について、新入生に対して紙面にて周知する予定である。
537	岐阜薬科大学										②大多数が理解	進級に当たって対面による実習講義が必須であることから、概ね理解・納得が得られていると認識している。	ありません。	別教室で講義が受けやすいよう、施設整備を検討している。
538	岐阜県立看護大学	①②③			①②		②⑤				①ほぼ全員が理解			
539	情報科学芸術大学院大学	①②③④			①②③		①②③④⑤				①ほぼ全員が理解			
540	岐阜市立女子短期大学	②④			③		③⑤				②大多数が理解	授業アンケートの回答結果による。		
541	大垣女子短期大学										①ほぼ全員が理解	原則、全ての授業科目において面接授業を実施することを学生に周知していることや、各学科の教員からも説明をしていることから、ほぼ全ての学生が理解し納得し 特になし。		新型コロナウイルス感染症などの感染症に関わる授業実施については、引き続き全ての学生に周知徹底していくとともに、授業実施に当たり、必要であれば学生アンケートなどを通じて学生の意見を聞くなどして理解を促していく予定である。
542	中央学院大学	②③④			①②③		②③④⑤				②大多数が理解	授業の形態については、令和3年度の時間割で示し、説明している。また、昨年のオンライン授業を含めた授業評価アンケートにより状況の把握に努めているが、現在のところ苦情はない。また、質問、疑問、不安については、速次オンライン上で解消している。		
543	岐阜県立大学										②大多数が理解	実家の所在地など個人的な事情で遠隔授業を希望する学生も極少数いるが、全体としては対面授業を希望している。		
544	岐阜女子大学	①②④			②		③④⑤				②大多数が理解	学生の理由により、科目によっては授業方法(対面・遠隔)の選択を可能としている。		授業科目ごとに学生への説明を行う。
545	朝日大学	①②③④			①③		①③⑤				①ほぼ全員が理解	文書通知を実施した。		新年度の教務ガイダンス(オリエンテーション)において説明を行う。
546	岐阜聖徳学園大学	①③④			①②③		③④				②大多数が理解	在学生オリエンテーションを実施した際に、令和3年度の授業方針についても説明しているが、特に方針について強く変更を要望する学生はいないため。		授業担当教員は、原則として対面での授業を行うが、途中で遠隔授業に切り替える場合も、学生に十分な説明の上で実施するよう周知している。
547	東海学院大学										①ほぼ全員が理解	実習、実験が多く、理解度を高めるに当たっては現状が最適と考える。学生等の意見箱等に不安や不満を示す意見がないため。		
548	中部学院大学	②③			③		②④⑤				②大多数が理解	令和2年度後期の授業形態を継続して実施する。		オリエンテーションでの説明やポータルによる通知機能
549	岐阜医療科学大学	①②			①②		①③④				①ほぼ全員が理解	ガイダンス等で周知、学生や保護者からの改善要求はないため。		大学方針について、随時学生へ連絡し理解を得る。
550	岐阜保健大学										①ほぼ全員が理解			なし
551	正眼短期大学										①ほぼ全員が理解	毎週の学生ミーティングや学内掲示、ホームページ、メール等で、授業状況については学生にその都度知らせている。		
552	中日本自動車短期大学										①ほぼ全員が理解	本学では、実習授業が重要な位置を占めているため、対面授業による実施できないと学生の理解度が高まらない。		
553	高山自動車短期大学										①ほぼ全員が理解	面接授業の再開について反対意見を述べた学生が1名だった。		学科の性格上、面接授業をせざるを得ないもので、十分な感染対策を講じつつ面接授業を実施する。面接授業の必要性については丁寧に説明を繰り返す予定である。
554	平成医療短期大学	②③④			①②③		②④⑤		新入生が学内での人的交流を持てるよう、在校生(先輩)や教員とのコミュニケーションの機会を設ける。		①ほぼ全員が理解	授業形態や受講の際の注意事項について文書を配付し、オリエンテーションにて説明を行っている。		新入生についても授業形態や受講の際の注意事項について文書を配付し、オリエンテーションにて説明を行う。
555	岐阜工業高等専門学校	②③			②③		①②④⑤				③大多数とは言えない	まだ実際に学生からのフィードバックを受けていない。		極力早期に予定を通知する。
556	静岡大学	②③④			①②③		①②③④⑤				②大多数が理解	学生を対象に実施した以下のアンケートにおいて、遠隔(在宅)授業について一定の理解が得られていることが確認できた。ただ、面接(対面)授業の方が遠隔(在宅)授業に比べ、教育効果や満足度が高い傾向も見られた。アンケート名:令和2年度後期授業アンケート。アンケート実施期間:令和2年1月25日から令和2年2月1日。対象学生:本学の学部生と大学院生。回答数:4,568名(回答率:45.4%)。調査結果:【教育効果について】・資料・教材配信型授業で適切に学習できましたか?3.4。・動画配信型授業で適切に学習できましたか?3.7。・面接(対面)授業で適切に学習できましたか?4.0。(5:とても素晴らしい、3:どちらともいえない、1:全くそう思わない)【満足度について】・資料・教材配信型授業の総合満足度を教えてください。3.4。・動画配信型授業の総合満足度を教えてください。3.7。・面接(対面)授業の総合満足度を教えてください。3.9。(5:とても満足、3:どちらともいえない、1:とても不満)なお、前学期に実施した上記と同様のアンケートの自由記述欄においては、遠隔(在宅)授業について以下のような肯定的な意見が見られた。・面接(対面)授業とは異なり、後に授業をもう一度見直せる点でも良かった。・しっかりと内容を丁寧に解説している授業は大変良いと思う。・通常の面接(対面)授業では時間の都合で一回の授業で説明しきれないこともある内容を伝えられるのは、動画や教材を配信する授業の利点だった。		令和2年度と同様、令和3年度においても、アンケートを実施し、授業の実施方法等の改善等に努めていく。
557	浜松医科大学	①②③④			①②③		①②③④⑤				②大多数が理解	令和3年2月に実施したWeb授業に関するアンケート結果(回答者579名、回答率68.0%)で、学習意欲が高まった177人(30.6%)、やや高まった254人(43.9%)を合わせ431人(74.5%)が学習意欲が高まったと回答し、今後ぜひ続けたい377人(65.1%)、たまになら続けたい144人(24.9%)を合わせ521人(90.0%)が今後も続けたいと回答しているため。		授業前(4月初め)の新入生、在学生ガイダンスでも授業の形態等について説明する。

No.	学校名	通隔授業の向上 方策	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	学生の理解を得 る取組	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	新入生等への配慮	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する課題の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項
558	静岡県立農林環境専門 職大学										①ほぼ全員が理解	R2と同じ形式であり、年度当初のガイダンスでも周知を図っていく予定であるため		年度当初のガイダンスで説明し、周知徹底を図る
559	静岡県立大学	①②④			①②③			②③④⑤			②大多数が理解	R2・7月にとったアンケート結果により推察		定期的なアンケートと情報発信の継続
560	静岡文化芸術大学										①ほぼ全員が理解			
561	静岡社会健康医学大 学院大学										④把握していない	本学は令和3年度新設大学のため		年度当初の学生オリエンテーションにおいて授業の実施方法について説明を予定している。
562	光産業創成大学院大学	①②			①②			③			④把握していない			
563	静岡福祉大学										①ほぼ全員が理解	HP、メールで周知させている	なし	基礎疾患を持つ学生等、個別の事情による対応を検討する
564	浜松学院大学										②大多数が理解	教員からの聞き取りによれば概ね理解・納得している傾向として理解している。		
565	静岡美和学院大学	②			①③			②④⑤			②大多数が理解	学生や保護者からの意見を踏まえて方針を作成した。		
566	常葉大学	④			①③			④⑤			②大多数が理解	令和2年度に実施した後期授業アンケート結果から、授業実施方法について良かったとの回答を多数の学生から得ているため。		
567	静岡理工科大学	②③④			②③			②③④⑤			②大多数が理解	2020年後期授業は同様の形態で実施したが、学生調査で7割以上の学生が満足している結果が得られた。2021前期についても時間割を学生に公示済み。	学長から方針について学生・保護者に文書で周知。	
568	聖隷クリストファー大 学	①③			②			⑤			④把握していない	理解・納得度を把握する調査を実施していない。		
569	静岡産業大学	②③⑤	授業方法に関するガイドラインの作成・改定と学生・教職員への周知、学生・教員に対するアンケート調査の実施と結果の活用。		①②③			②③④⑤			②大多数が理解	学生に対するアンケート調査の結果に基づく。		学生・教員に対する継続的なアンケート調査の実施と結果の活用。授業方法に関するガイドラインの状況に合わせた改定と学生・教職員への周知。
570	沼津工業高等専門学校										①ほぼ全員が理解	学生及び保護者に対し、令和3年度は感染防止対策を講じた上で、全学生登校のもと授業を実施する旨を通知した。少数ではあるが、感染の不安から通隔授業の継続 異なる状況となっていないを求める声もあったが、本校の方針を説明し理解を得た。		基本的な感染症拡大防止策を講じている。また、新型コロナウイルス感染症拡大の状況が変化し、併せて授業・登校形態を変更する際には、その都度丁寧な説明、周知、対策を行う予定である。
571	名古屋大学	①②③④	非該当	非該当	①②③	非該当	非該当	①②③④⑤	非該当	非該当	①ほぼ全員が理解	学生への周知に際してはできるだけ丁寧に情報提供に努めており、現時点において大きな不満は寄せられていない。	非該当	各部署における年度当初のガイダンスにおいて、授業実施方針等学生への丁寧な説明に努める。また、新入生には学生同士のつながりを作るため、クラス・学科単位で対面で集まる機会を設ける。
572	名古屋工業大学	①②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	2020年度については、多くの授業において通隔により実施したが、学生から聴取したアンケートにおいても対面授業への要望があったことから、意見を反映させたものであること。また、大学の2021年度の実施方針を公表したが特段の申し出等は確認できていないこと。	定期的なアンケート及び意見交換会の開催による意見聴取	
573	愛知教育大学	②③④			①②③			②③⑤			②大多数が理解	早い時期（令和3年1月）に授業形態について学生、保護者あてにHPで公表している。		新入生ガイダンス等の機会を通じて、令和3年度の授業形態に関する方針について理解を得る。
574	豊橋技術科学大学	①②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	学生向け通隔授業アンケートの結果、「（通隔授業を）技術的・環境的に問題なく受講できた」、「通隔授業の講義資料（教材）は理解に困難な箇所を解消する機能を果たした」との大多数の回答があったことから、大多数の学生が授業の形態について理解・納得していると判断できる。	通隔授業に関するアンケートを継続して実施し、その結果を次の学期の授業方法に反映するとともに、通隔授業の場合においても修相談の授業形態としてのオプティマムの周知を徹底する。	
575	名古屋市立大学	②③			①②	一部、パソコンの貸し出しや情報処理室の利用を許可している。		①③④⑤			②大多数が理解	4月1日以降、新入生に対する全学的なガイダンスや在校生を含めた各学部におけるガイダンスが実施される予定であり、授業の実施方法等についての説明が行われる見込みです。多くの学生の理解が得られるよう努めてまいります。		教養教育科目のうち多くの新入生が受講する科目等において改めて授業実施の方法について説明を行うなど学生の理解が得られるよう努めてまいります。
576	愛知県立芸術大学	③④			③			④⑤			②大多数が理解			
577	愛知学院大学	②③			①②③			②③④⑤			④把握していない			
578	中京大学	②			①			①③⑤			④把握していない	検討中		検討中
579	愛知工科大学										①ほぼ全員が理解	本学では、令和2年度の6月から対面授業を再開している。令和3年度の前期オリエンテーション日程、授業日程（対面授業で実施予定）も既に学生には通知しており、学生には理解・納得してもらっていると考えている。第3波のピーク時には一 特になし部の学生から通隔授業に移行しないのかという問い合わせもあったが、全体としては対面授業を行うことについて学生の満足度は高いと考えている。	対面授業の実施という方針に変化があった場合にはWEBポータル、メール、ホームページ等を用いて通時学生に通知・説明を行う予定。	
580	名古屋産業大学										②大多数が理解	ゼミナール等を通じた学生の意見を聴取しているため		
581	人間環境大学										①ほぼ全員が理解	令和3年3月1日に大学ポータルサイトに令和3年度は対面授業を実施する旨を告知したが、それに対してのクレームや問い合わせが1件も事務局には入っていない。そのため。		
582	名古屋文理大学										④把握していない	学生に授業を提供するというにより、新型コロナ感染状況を鑑み、最適な方法により学生のための授業を提供する必要がある。このことは大学側で検討すべきと考え、授業運営方法については、大学内で公開し周知している。ただし、大学から提供する授業に対応できない学生には、学生にあわせて授業を提供するよう個別に対応している。	特になし。	
583	愛知県みずほ大学	①②③④			①②③			①②⑤			②大多数が理解			
584	愛知学院大学	②③	面接授業の同時中継や収録によるオンデマンド配信など一つの授業に対して面接・通隔授業を同時に用いる学生が教員等と直接に面する機会を確保する。		①			②④			②大多数が理解	大学ホームページおよび学内の配信システムを介し、全学生へ春学期授業に関する情報配信を行った。その結果、一部の学生から問い合わせがあったものの、他の学生（多くの学生）からのクレーム等はなかったため。	今後も引き続き本学 新型コロナウイルス対策本部付の配信による情報提供やアンケートの実施を行う。	
585	愛知工業大学	②			③			③⑤			②大多数が理解	面接授業を中心に行うことについて、不安を持つ学生が一定数存在するため		
586	金城学院大学	③④			①③			③⑤			①ほぼ全員が理解	3月上旬から複数回の案内および年度始めの学科オリエンテーションで説明を行うため。	3-11と同じ。	
587	福山女子学園大学	②③④			①②③			②④			①ほぼ全員が理解	メール機能で周知（新入生には郵送）するとともに、ガイダンスで説明している。		

No.	学校名	遠隔授業の向上 方策	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	学生の理解を得る 取組	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	新入生等への配慮	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する課題の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項
588	大同大学	④		特になし	①②③		特になし	①②③④⑤		特になし	①ほぼ全員が理解	授業実施の方針について、在学生向けにホームページに掲載するとともに、履修ガイダンスにおいても説明している。また2020年度前期及び後期の終了後学生アンケートも実施し改善に取り組みしており、理解・納得が得られていると判断している。	特になし	「3-11」に記述した学生アンケートについて、令和3年度においても引き続き行う予定であり、必要に応じて改善に取り組み予定です。
589	同朋大学	①②			①②			②③④⑤			②大多数が理解	アンケート結果から。		
590	名古屋学院大学	①②③			①②			①②④⑤			①ほぼ全員が理解	大学ホームページや学内ポータルサイトで繰り返し周知を行い、その結果、実施内容に関する質問はあるものの、授業運営方針に対する苦情等はほとんど見られないため。なお、大学院の授業は面接授業を原則としており、理解を得ている。	大学院の授業は面接授業を原則としている。	春学期開始後、7週間（目）で感染状況等を考慮の上、授業運営方法を再検討することとしている（感染状況の好転が見られれば、全面的に面接授業に切り替えることも検討している）。
591	名古屋商科大学										①ほぼ全員が理解			遠隔又は対面にかかわらず、学生参加型の授業を実施する。
592	名古屋女子大学	①②		特になし	①②		特になし	③		特になし	④把握していない	学生に調査をしていない	特になし	特になし
593	南山大学	①③⑤	新たに講義資料DLサーバを準備し、履修情報に基づいて教員・学生が授業情報（オンライン授業のURL、講義資料、授業動画等）を共有する仕組みを整えた。		①③			①②③④⑤			②大多数が理解	大学全体としては約9割が対面授業であるため。	社会科学系の学部の特に2年生で大規模講義が多く、対面授業の比率が低いため、理解が得られないとは言いえない。	社会科学系の学部の大規模講義については、グループ分けを実施するなど、対面授業に参加できる機会を少しでも増やせるよう検討する。
594	日本福祉大学	①②③		学部・学年などによって、取組に大きな差異はない。	①②③		学部・学年などによって、取組に大きな差異はない。	②③④⑤		学部などによって、取組に大きな差異はない。	②大多数が理解	2021年2月26日に「2021年度の授業実施方針および学生生活について」という連絡文書を、本学のweb掲示板（学生・教職員が閲覧可能）に掲載するとともに、本学ホームページに掲載して公開した。この中で「対面授業を中心として実施する」方針で臨むことを周知している。また、在学生への周知を徹底するとともに、保護者および令和3年度新入生にも周知を図るために、保護者宛の文書「2021年度 授業実施の方針について」を3月15日にホームページ上で公開するとともに、その後、在学生と新入生予定者に対して郵送にて通知を行った。3月下旬の段階で、在学生・新入生予定者からこの方針の内容に対して特段の意見等は出されていない。	学部・学年などによって、状況に大きな差異はない。	これまでのwebや郵送による通知に加え、3月下旬から4月初旬に對面にて実施する新年度オリエンテーションにおいても、令和3年度の授業形態について周知を行う。授業開始後も、面接授業への参加や一部遠隔授業の併用に関して、学生からの相談があれば対応できるようにする。特に基礎疾患があるなど、面接授業参加について不安や困難がある場合は、相談によって遠隔授業を同時配信するなどの対応を進める。また、授業評価に係るアンケートなど、学生に聴取等を行う際も、年度の授業実施方針の趣旨などをあらかじめ伝えるようにする。
595	名城大学	①			②③			①②③④⑤			②大多数が理解	対面授業に不安のある学生は申し出てもらう制度を設けているが、申請者はごくわずかである。		引き続き、大学ウェブサイトから迅速な周知を行っている。
596	名古屋音楽大学	①②			④	FD研修で遠隔授業の研究授業講座を開講し、授業の質の向上に取り組んでいる。		③		③大多数とは言えない	学生個々に要望が違うため、全ての要望を加味することは学内状況的に難しい。			
597	豊田工業大学										①ほぼ全員が理解	令和3年度は、原則として全面的に面接授業を行い、オンラインにも対応する方針である。3月下旬に学年ごとに集合ガイダンスを開催し、授業方針やコロナ対策について十分に説明を行った。各学年とも約90%の学生が出席したが、方針に対して否定的な意見や質問は出なかった。		
598	名古屋外国語大学	①②③④			①②③			①②③⑤			②大多数が理解	2月上旬に授業実施方針を公表し、問い合わせ窓口を開設しているが、質問が極めて少ないため（10件程度）。	感染状況の改善、悪化等状況に応じ感染対策を講じつつ、教育効果を上げる方法を検討し、迅速な対応を心掛ける。	
599	名古屋造形大学	②			①③			②③			②大多数が理解			
600	愛知産業大学										①ほぼ全員が理解	LMS（学習支援システム）およびホームページにて周知していることから、学生は理解、納得していると考えられる。	現在の施策を継続する。	
601	東海学園大学	①②④			①②			①②③④⑤			①ほぼ全員が理解	学独自独自のコロナ感染拡大状況に準ずる、レベル基準表を作成し、学生に周知しており、この基準表に沿った、授業運営を行っている。		
602	豊橋創造大学	②		毎回リアクションペーパーを出させ、講義の理解度を確認している	②			①⑤	全学的に経済的に苦しい学生（奨学金受給者）ヘルプやPCの貸与を実施	特定の学部において、全員に対してiPadを貸与している。	④把握していない			
603	愛知東邦大学	②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	学生に対するアンケート調査等を実施し状況を把握している。		
604	名城大学										①ほぼ全員が理解	オリエンテーションにおいて十分な説明を行っている	全ての学部、学年に対して、同様の説明している。	オリエンテーションを通して、全学生に説明しているとともに、個々の問い合わせには丁寧に対応している。
605	愛知文教大学										①ほぼ全員が理解	前年度から学生に直接連絡、メール等でも併せて伝え、疑問質問が出た場合は対面で説明した。		
606	桜花学園大学										②大多数が理解	令和2年度後期終了時に実施した授業アンケートにおいて、本学の授業運営方針そのものに疑問を呈する回答はなく、また令和3年度授業運営について3月中旬に公表したところ学生や保護者からの意見は特に寄せられていない。	授業や課外活動等学生生活全般におよぶ感染対策の徹底、状況の変化に迅速に対応する体制の更なる強化、および授業運営方針の情報を迅速にかつわかりやすく公開する。	
607	愛知大学	②③			④	学生の理解を得るための取組はできておりません。		⑥			④把握していない	現時点で遠隔授業の実施に伴う影響を大きく受けている学生に対する配慮は計画しておりませんが、学生の様子をしながら検討いたします。		現時点で予定はありませんが、大学から発信する情報について、学生の理解や納得を得られるように説明まいります。
608	愛知学泉大学										①ほぼ全員が理解	対面型授業を工夫実施しており、不安がある場合や不安を持つ学生への配慮もしており、学生も理解している。	学生会生やその他学生の意見を聞くに努めている。	
609	至学館大学	①②③④		無し	①②③		無し	②③④⑤		無し	②大多数が理解	オリエンテーション等で十分周知している他、学習支援システムについてのガイダンスで在学生に授業についての連絡事項の伝達方法について説明しているため。	無し	令和3年度から新たに学習支援システムを採用して、授業に関する資料や課題の提示、出席、レポート提出の状況が学生自身でよくわかるようにする。また、令和3年度スタートする新たな組織として、「GAKM コモンズ」(GAKM コモンズ) (いわゆるラーニング・コモンズ (学習支援組織)) を立ち上げ、学習サポート体制を強化する。
610	中部大学	②③④			①③			①②③④⑤			②大多数が理解	感染状況に応じた活動制限レベルを示すとともに、早期から段階的に授業の実施形態について周知してきたことで、授業形態に関する問い合わせは僅少であったため。一方で、学費や通学に関して納得していないと思われる意見や問合せが一定数あるため。		



No.	学校名	遠隔授業の向上 方策	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	学生の理解を得 る取組	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	新入生等への配慮	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する課題の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項
611	藤田医科大学	①②③④		医療科学部、保健衛生 学部では、遠隔授業で は基本オンラインによる リアルタイム配信で 行い、収録によるオン デマンド配信は行わな いが、通信環境等の事 情を考慮し、収録した 授業を後日配信するこ とがある。	①②③		教務委員会が遠隔授業 の課題対策検討会を立 ち上げ改善策をまとめ て教員へフィードバック を行った。学生代 表への聞き取り調査を 行いその結果を教員へ 周知するなど継続的に 改善に努めている。	①②③⑤			②大多数が理解	学生には、学部や学科の教員から丁寧に説明を行っており、授業形態の選定については対象学生の状況を加味して慎重に行っている。		新入生及び在学生ガイダンス、担任との個別面談等を通して学生の理解を把握し、必要があれば説明する。
612	名古屋芸術大学	②③			①②③			②④			②大多数が理解	全学生に対し令和3年度の授業実施方針を学生ポータルサイトを通じアナウンスしており、方針について特に異議等の申し立てがない。		授業実施方針等の変更があれば、都度、全学生に対し学生ポータルサイト等を通じてアナウンスする。
613	愛知医科大学	①			①②			⑥	3-7のいずれも、「全学的に講じている」というわけではなく、各学部で対応が異なる。医学部では、②を実施しており、看護学部では⑤を実施している。また、④については、従前から行われているが、相対体制の「強化を図る」とまでは言えない。		④把握していない	理解・納得の状況について調査を実施していないため。		学生へのメールや保護者に対する文書等で通知し、理解等を得られるよう努める。
614	愛知淑徳大学	②③④			①②		授業方針について大学ホームページおよび学内連絡システムで通知し、また、ガイダンスの中で説明を行っている。	②③④⑤⑥	令和2年度在学生には、特別奨励金5万円を支給した。	新入生ガイダンスに上級生を参加させ、交流を図る。	②大多数が理解	一部学部の学生調査結果による。また、複数のツールで継続的に情報を発信し、学生の理解を得られるように努めている。それにより、2020年度後期より問合せ件数が著しく減少した。		新入生ガイダンス及び新学期のガイダンスで説明を行う。
615	名古屋経済大学	④			①②③			②③④⑤			②大多数が理解	ガイドライン作成の際は、学生からも意見を聞いて作成し、学内サイトにおいて内容を公開しているため。		ゼミ(演習)指導教員を通して取組内容を周知していく。
616	名古屋芸術大学	①②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解			
617	日本赤十字豊田看護大学													
618	修文大学										②大多数が理解	ホームページ、学生ポータルサイトにて、学長、学部長をはじめとする長より学生向けに掲示、行動指針や授業の方法については学生に周知し、理解促進に努めている。		例年、学生による授業評価アンケートを実施している。また、グループフォーラムなどを用い、遠次学生の理解度や授業環境、学びの理解などを喚び上げ、改善に向け進める予定である。各種アンケートの状況をもとめ、面接授業を重視しながら一部遠隔授業の導入するハイブリッド方式、それら学生への受け止め方は良好であるというのが現状である。
619	岡崎女子大学										①ほぼ全員が理解			
620	一宮研伸大学	②			②③			①③④⑤			①ほぼ全員が理解			ガイダンス時に授業形態などの説明を行う。
621	名古屋柳城女子大学	③④			①③			②③④			②大多数が理解	学生によって考え方も様々なので、学校の方針を理解していただくように学生の目線に合わせて説明をしている。		これまでと同様、わかりやすく理解を得られるように丁寧な説明を心がけていく。
622	名古屋国際工科専門職大学	①②③			②			②③④			②大多数が理解	入学前の学生に対してもコミュニケーションツール (slack) で情報共有できていたため大多数は理解していると考えている。		
623	名古屋短期大学										②大多数が理解	令和2年度後期終了時に実施した授業アンケートにおいて、本学の授業運営方針そのものに疑義を呈する回答はなく、また令和3年度授業運営について3月中旬に公表したところ学生や保護者からの意見は特になしと寄せられていないため。		授業や課外活動等学生生活全般におよぶ感染対策の徹底、状況の変化に迅速に対応する体制の更なる強化、および授業運営方針の情報を迅速にかつわかりやすく公開する。
624	愛知みずほ短期大学										②大多数が理解	・指導担当教員により説明されている。・令和2年度後期より同様の方針で実施してきた。		教務委員会、指導担当教員を通して周知理解につとめる。
625	名古屋柳城短期大学	②③④			①③			②③④			②大多数が理解	学生によって考え方も様々なので、学校の方針を理解していただくように学生の目線に合わせて説明をしている。		これまでと同様、わかりやすく理解を得られるように丁寧な説明を心がけていく。今後とも面接授業を継続していくにあたっての不安材料を少しでも取り除き、安心、安全な環境を提供していく。出校不安の学生が生じた場合は、個別の対応も検討していく。
626	名古屋文化短期大学										④把握していない	学生、保護者からの問い合わせについては個別に対応しているが、全学的なアンケート等を実施していない。	特になし	
627	愛知工科大学自動車短期大学										①ほぼ全員が理解	本学では、令和2年度の6月から対面授業を再開している。令和3年度の前期オリエンテーション日程、授業日程(対面授業で実施予定)も既に学生には通知しており、学生には理解・納得してもらっていると考えている。第3波のピーク時には一時的に一部の学生から遠隔授業に移行しないかという問い合わせもあったが、全体としては対面授業を行うことについて学生の満足度は高いと考えている。		対面授業の実施という方針に変化があった場合にはWEポータル、メール、ホームページ等を用いて適時学生に通知・説明を行う予定。
628	愛知学泉短期大学										①ほぼ全員が理解	対面型授業を工夫し実施しており、不安がある場合や不安を持つ学生への配慮もしており、学生も理解している。		学生や学生やその他学生の意見を聞く様に努めている。
629	愛知文教女子短期大学										①ほぼ全員が理解			
630	岡崎女子短期大学										①ほぼ全員が理解			
631	名古屋経営短期大学										②大多数が理解	ゼミナール等を通じ学生の意見を聴取しているため		
632	愛知江南短期大学										②大多数が理解			
633	愛知医療学院短期大学	①②③④			①②③			②③④⑤			①ほぼ全員が理解	令和2年度の遠隔授業に関するアンケート調査結果に基づいて回答した。		
634	豊田工業高等専門学校										①ほぼ全員が理解			
635	三重大学	①②③④			①②③			②③④⑤			②大多数が理解	HPやシラバスに授業形態を記載し周知しているほか、令和2年度と比較し学生の登校する機会の増加や、学生との意見交換会を実施するなどし、オンライン授業の改善等も進めているため。		今年度と同様にタウンミーティングを実施し、学生との意見交換会を実施する予定である。また、前期授業では引き続き面接授業の拡大による登校機会の確保や、ハイブリッド授業を拡大するなど学生の状況に応じた対応を講じて学生の理解を深めていく。
636	三重県立看護大学	①②			①③			②④⑤			②大多数が理解			

No.	学校名	遠隔授業の向上 方策	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	学生の理解を得 る取組	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	新入生等への配慮	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する課題の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項
637	三重短期大学	①			②			②③			②大多数が理解	オリエンテーションでの説明など		新入生にはガイダンス、オリエンテーションで詳しく説明する。
638	四日市大学	②③			①③			②④⑤			①ほぼ全員が理解			
639	皇學館大学										①ほぼ全員が理解	令和2年度秋学期の授業方針から変更していないため。		年度初めの修学指導時に全学生に授業方針を説明する。
640	鈴鹿医療科学大学	①②③④			①②③			①②③④⑤			①ほぼ全員が理解	学長発信の授業に関する説明文書をホームページや学内ポータルサイトの掲示板に掲載し案内している。その件に関する問い合わせがあった場合には対応している。		
641	鈴鹿大学	②③⑤	ネットを活用した課題や資料の事前提供や授業後の振り返りを指示する等、学生の学びが充実することを大学全体の方針としている。なお、このことは対面授業においても同様とし、教育の質の確保、向上を図っている。	特になし	①②③	特になし	特になし	②③⑤	新規に入学する留学生在が日本政府の入国制限により入国できないことが想定されるため、メールによる連絡や遠隔授業の実施を行う予定である。	特になし	①ほぼ全員が理解	令和3年度の授業運営に関する大学の方針を全学生にメールで送信した他、学生個々の指導教員からの指導も依頼した。また、時間割資料に「遠隔授業」が判る表記を追加し、学生が理解できるよう工夫した。	学年別に実施するオリエンテーションにおける説明の他、メールやWebサイト等を活用した情報の発信。	
642	四日市看護医療大学										②大多数が理解	本学の新型コロナウイルス感染拡大に向けて取り組みについて、ガイドラインに基づき、また学生調査での意見を考慮し授業等を進めていくことをHPやオリエンテーション等で周知・説明していくこととしている。	本学の新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインに基づき、教育の質を確保できるよう、学生には説明していく。	
643	高田短期大学										②大多数が理解	例年と大きく異なるものではないので、大多数の学生が理解・納得していると思われる。	特になし	オリエンテーションでの説明や教育支援システムを使った周知を行っていく予定である。
644	ユマニテク短期大学										①ほぼ全員が理解			
645	鈴鹿工業高等専門学校										④把握していない	原則、全学年において、対面授業を実施する予定であるため、把握する必要はないと考えている。		
646	鳥羽商船高等専門学校										①ほぼ全員が理解	担任教員からだけでなく総務課やメール等の情報連絡ツールからも情報を配信しており、録画視聴による全校集会でも情報共有を図る等努めているため。		
647	近畿大学工業高等専門学校	②③		特になし	①③	特になし	特になし	①		特になし	①ほぼ全員が理解	令和2年度について遠隔授業導入時には保護者への通知、学生へのメール配信等の周知を行い、令和3年度も同様に行い、令和3年度も同様に行う予定のため。	特になし	
648	滋賀大学	②③④			①②③			①③④⑤			②大多数が理解	授業実施方針について、HPで公表の他、学生用ポータルサイトにおいても周知を行っている。（学生から意見等は特になし。）		
649	滋賀医科大学	①②③④			②③			②③④⑤			①ほぼ全員が理解	既に定着している令和2年度の授業方針を継続するので、学生の理解は得られているものと考えている。また、4月初旬に全学年を対象に実施している、学年別オリエンテーションで再度、説明を行う予定である。	4月初旬に実施する全学年対象の学年別オリエンテーションにおいて、令和3年度の授業の実施について説明を行う。	
650	滋賀県立大学	②			①			⑤			②大多数が理解	令和2年度前期の遠隔授業では、学生から遠隔授業の質の確保や学内施設の利用の制限についての意見があった。令和3年度はこれらの意見をふまえ、コロナ対策を徹底した上で対面授業を主とし、授業受講においても学内施設を開放することから、おおむね理解が得られていると考える。	授業を実施していく中でさまざまな意見に対応していくこととしている。	
651	びわこびわこハビリーテーション専門学校										①ほぼ全員が理解			
652	成安造形大学	②③			①②			⑤			①ほぼ全員が理解	学生に対してシラバスやガイダンス等を通じて丁寧に説明を行っているため。		
653	聖泉大学	①②			①②③			①③④⑤			②大多数が理解	原則として対面授業を実施する予定であり、基礎疾患等で学上の不安がある学生にも配慮することとしている。		
654	長浜バイオ大学	③④			①②③			②③④⑤			①ほぼ全員が理解	学生から本学の対応に対する不満・不満や理解できない等の意見は寄せられていないため。	ガイダンスやメール等を通じて学生に周知	
655	びわこ成蹊スポーツ大学	③④			①②③			①②③④⑤			①ほぼ全員が理解	特段学生からの申し出等もないため。		今後も継続的に本学の方針の周知を図る。
656	びわこ学院大学	①②			①			②④⑤			①ほぼ全員が理解	令和2年度秋学期授業の状況と同じであるため		
657	滋賀文教短期大学										②大多数が理解	遠隔授業実施についてのアンケートや授業改善（主には遠隔授業）についての学生との懇談会においての学生からの回答	検討中	
658	滋賀短期大学										①ほぼ全員が理解	令和2年度においても、後期はほぼ全ての授業を面接授業で実施したが、特に問題はありませんでした。		
659	京都大学	③			①②			③④			②大多数が理解	履修登録状況、学生からの意見投稿の状況から		細やかな情報発信
660	京都教育大学										①ほぼ全員が理解	早期の対面授業開始や必要に応じた対面授業休止とオンライン授業への切り替え等、授業形態について複数回の説明を行っている。	なし	引き続き丁寧な説明に努める。
661	京都工芸繊維大学	②④			①③			②③④⑤			①ほぼ全員が理解	3月5日、学生に対して、令和3年前学期の授業は原則対面で実施すること、ただし一部オンラインで実施する科目もあることを周知しました。令和2年度後学期授業評価アンケートにおいて対面授業を求めの意見が寄せられていること。また、学生からは不満や批判的な意見は届いていないため、ほぼすべての学生が理解・納得していると考えます。		
662	京都市立芸術大学	②③			②③			⑤			②大多数が理解	実技系科目の授業を面接授業として可能な限り実施する方針であり、学生から満足いく学修ができない旨の意見はそれほど聞かれなかった。		引き続き、情勢や感染リスクを慎重に評価し、授業に必須となる活動が確実に実施できるよう適切な感染防止対策を講じていく。
663	京都府立大学	①②④		なし	①②③			②③④			②大多数が理解	時間前にオンライン・ハイブリッド型・面接授業の区分を明示した。		全体・学科別ガイダンスを4月上旬に実施する。
664	京都府立医科大学	①②④			①②③			②③④⑤			①ほぼ全員が理解	今後の取り組みとなりますが、3年度から、入学生や2年生の学生を対象としたメンター制度の確立に向けての取り組みを行う。		2年度授業開始時のオリエンテーションや緊急事態宣言時など、その都度、授業形態について説明を行う機会を設けている。
665	福知山公立大学	②③④			③			①③④⑤			①ほぼ全員が理解	今年度も遠隔と面接の授業を併用しており、次年度も大きな変更点がないこと、1月末に方針を周知したときに目立った問い合わせもないこと。		3月末から4月初旬に実施するオリエンテーションにおいて、十分に説明を尽くす。
666	京都先端科学大学	①②③④			①②③			②③④⑤			②大多数が理解			授業評価アンケート等を通じて、学生からの意見を吸い上げ、対策が必要な事項は早急に対応していく。
667	平安女学院大学										①ほぼ全員が理解			

No.	学校名	遠隔授業の向上 方策	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	学生の理解を得 る取組	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	新入生等への配慮	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する課題の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項
668	大谷大学										②大多数が理解	コロナ感染予防対策を講じたうえで、コロナ禍以前と同様の範囲でガイドラインに準じながら面接授業を実施することから、従来の形に戻ったと捉えている。また、本学では2020年度前期においても、ゼミナールや実技・実習を中心とする一部授業において対面授業を実施しており、前期授業に関するアンケートを行ったところ、面接授業の満足度が最も高いという結果であった。ほぼすべての授業を面接授業に行うが、基礎疾患を持つなど感染症リスクの高い学生においては、遠隔授業を実施することとしている。 これらを総合的に判断した結果、大多数の学生は、原則面接授業実施という方針に理解・納得していると捉えている。	本学は全学部・全学年においてゼミナールを必修化しており、ゼミナール担当教員を指導教員として位置づけている。ゼミナール担当教員は、単なる科目担当ではなく、担当学生の大学生生活全般のサポートの役割を担っている。そのため、コロナ禍においては、指導教員と学生の連携をより密にし、引き続き個別指導を中心として学生の不安解消に努めている。	
669	京都外国語大学	①②③			①②			①③④⑤			①ほぼ全員が理解	ポータルサイトでの周知を行うと同時に質問や意見を求めた	今後とも機会ある毎に周知を図り、意見も求めたい。	
670	京都産業大学	①②③④			①②③			①②③⑤			②大多数が理解	令和2年度秋学期に全学的に実施した面接授業及び遠隔授業に関する学生の理解・納得の状況調査結果。また、令和3年度に向けて、全学部・全学年を対象に、対面でのガイダンス(オリエンテーション)を実施し、学長より令和3年度授業等の実施方針について(動画を用いて)説明を行い、さらに、各学部からも授業の形態等の具体的な説明を行っている。なお、欠席者に対しては、これらの動画配信等を行うことで対応している。		
671	京都女子大学	②③			①②			③④⑤			②大多数が理解	令和2年度前期・後期に行ったアンケートの結果(対面授業を望む声が多かった点)や令和3年度の対面授業の割合(前年より対面が増加)から。	これまでと同様に感染予防対策の説明や自治体等からの要請を学生に対して丁寧に説明します。	
672	京都薬科大学	①③			①②			①②③④⑤			④把握していない			
673	京都光華女子大学										①ほぼ全員が理解	授業方針へのクレーム件数が1〜3件程度であり、全体の1%にも及ばないため。対面授業の学習機会を基本とするため。	オリエンテーション時の説明会や初回授業時での説明等	
674	種智院大学										①ほぼ全員が理解			
675	京都構大学	②③			①			②③④⑤			②大多数が理解	学科別・回生別に履修説明会を実施し、方針について説明した。	特に違いない。	
676	同志社大学	②③④			①②③			①②④⑤			④把握していない	令和2年度中に在学生に対して実施した学生調査において、面接授業と遠隔授業それぞれに対し賛否両論の意見があったが、回答率が低かった為、それらの意見が本学の大多数の学生の意見を反映しているとは言えない。令和3年度については、まだ学生調査を実施していないため、授業形態に対する学生の納得や理解度を把握できていない。	・「2021年度新学期に向けて」として、学長のメッセージをホームページに掲載している。ここで、新年度の授業形態や大学としての対応について触れ、理解を促している。 <a href="https://www.doshisha.ac.jp/news/2021/0316/news-detail-8142.html">https://www.doshisha.ac.jp/news/2021/0316/news-detail-8142.html</a> ・面接授業と遠隔授業が並行して実施される状況に鑑み、学生の学修活動に混乱を生じさせないよう、以下のようガイダンスを大学ホームページに掲載し、丁寧な説明を心掛けている。 ・「2021年度春学期授業について」を掲載し、授業形態、教室利用の運用基準、受講機会確保のための配慮、自習室等について説明している。 <a href="https://www.doshisha.ac.jp/news/2021/0319/news-detail-8155.html">https://www.doshisha.ac.jp/news/2021/0319/news-detail-8155.html</a> ・授業に関する案内を「受講の手引き」としてまとめて掲載している。 <a href="https://www.doshisha.ac.jp/news/2021/0322/news-detail-8160.html">https://www.doshisha.ac.jp/news/2021/0322/news-detail-8160.html</a> ・次年度入学予定の新入生に対して、新入生向けに特化したページを設け、あらかじめ、本学の授業形態やICT教育について、詳しく説明している。学びの準備 <a href="https://www.doshisha.ac.jp/information/freshman_page/educational.html">https://www.doshisha.ac.jp/information/freshman_page/educational.html</a> 大学での学びとICT <a href="https://www.doshisha.ac.jp/information/freshman_page/byod.html">https://www.doshisha.ac.jp/information/freshman_page/byod.html</a> ・遠隔授業の質的向上のため、ガイドラインを策定し教員に周知した。 ・Wi-Fi環境の拡充、授業収録用Webカメラやビデオカメラの増備、換気機能を備えた教室の空調設備の段階的整備により、目に見える形で教育環境の整備を進め、学生の受講機会の確保や遠隔授業の質的向上を図る。 ・2021年度も学生調査を実施し、教職員間で明確な目標の共有と、学生へのフィードバックを予定している。	
677	同志社女子大学	②③④			特になし。			②③④⑤			④把握していない	本学では、学生に対して令和3年度の授業の形態に関する方針を理解・納得しているかを把握するための調査は実施していないため、把握していない。令和3年度の授業方針は令和2年12月21日にホームページにて周知した。この方針は令和2年度後期の体制から大きく変更はなく、またホームページでの公表後も学生に特に大きな混乱が生じた様子は見られなかったため、特別な調査の実施は不要であると判断した。	令和2年度後期に遠隔授業を実施した科目については、担当教員ならびに受講学生に対して、アンケートを実施している。前アンケートは令和3年度も継続して実施する予定である。前アンケートを通じて、遠隔授業の実施状況を把握するとともに学生の満足度も調査し、今後の授業改善に資する予定である。	
678	京都ノートルダム女子大学	②③④			特になし			②③④⑤			②大多数が理解	授業形態については、大学HP、LMSに設けた専用のコース等を通じて、学生に周知を図っている。また、オンライン授業に関する学生アンケートを実施し(令和2年度は3回実施)、学生の状況の把握に努めている。	オンライン授業に関する学生アンケート(令和2年度後期末実施)で見えてきた課題として、大きく4点があげられ、教務委員会を中心として教員に周知を図った。「対面授業」が高た以前ではなくより、各学生が授業スタイルの差味・意義を求めるようになってきているため、教員には「その授業スタイルを選んだ明確な理由」が求められるようになってきていること。 ・オンライン授業こそ、質問への迅速なフィードバックの必要性があること。 ・スケジュールの事前告知や周知徹底に加え、対面授業とオンライン授業が相互に密接に関連した授業デザインの構築が必要であること。 ・各授業では学生の声聞きながら運営内容・方針を修正していくことが重要であること。	
679	花園大学										②大多数が理解	2020年度後期授業から対面での実施している。特に問題なく実施できた。ただし、自身や家族に基礎疾患を持っている学生や、高齢者と同居している学生については、特別な配慮を持って対応していく。		

No.	学校名	遠隔授業の向上 方策	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	学生の理解を得 る取組	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	新入生等への配慮	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する課題の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項
680	佛教大学	②③⑤	学内でも遠隔授業(同時 双方向型、オンデマ ンド型)を受講できるよ うに、空き教室を履修 スペースとして開放 し、学生へ周知してい る。		①②③④	遠隔授業サポートセン ターを設け、学生から のICT機器の操作方法や LMSの使用方法、遠隔授 業を進めていく中での 質問に対応している。		①②④			②大多数が理解	学生アンケートの回答による		「コロナ禍での学生生活に関するアンケート (3/31締切)」を実施しており、今年度の振り 返りや遠隔授業の内部、成績評価、遠隔授業の 利点や改善点などを調査中である。
681	立命館大学	①②③④	該当なし		①②③④	学部独自にFDを実施 し、ICT機器・ツール類 の活用方法や、オンラ イン授業のグッドプラ クティスの共有などを 行っている。		②③④⑤⑥	自宅等で遠隔授業に出 席することを想定し、 安価な光通信回線やモ バイルローター契約の 給電を行っている事 がある。	該当なし	②大多数が理解	シラバスで授業回ごとの実施形態を公開するとともに、累次にわたり大学HPやSNS 等で4月以降の授業形態についてのアナウンスを実施した。現時点で昨年4月にみ られたような授業形態に対する学生からの問い合わせなど、混乱は生じていない。	今後の感染拡大の状況や、大学に対する活動制 限の要請に応じてオンライン授業に切り替える 可能性がある。授業実施形態を変更する場 合、できる限り早期に学生等に対して情報提供 と丁寧な説明を行う。また、授業アンケート等 を通じて授業実施形態や学習環境についての意 見を汲み上げ、授業改善につなげていく。	
682	龍谷大学	①②③④	オンラインの特徴を活 かすため、海外在住の 研究者を招聘した授業 実施や、普段は多くの 学生が立ち入れない実 習施設で教員が授業を 実施するなどの取組事 例が見られた。		①②③	オンラインの特徴を活 かすため、海外在住の 研究者を招聘した授業 実施や、普段は多くの 学生が立ち入れない実 習施設で教員が授業を 実施するなどの取組事 例が見られた。		①②③④⑤⑥	新入生特設サイトを、新 2年生特設サイトを オープンし、対面とオ ンラインを併用した形 で4月のオリエンテー ションを実施する。		①ほぼ全員が理解	本学では、2021年度のほとんどの授業を対面授業として実施する旨を方針とし、 ホームページ等で周知しているが、これまで混乱は生じていない。また、科目ご との授業実施形態を公表しているが混乱はなく、学生の理解は得られているものと捉 えている。	ほとんどの授業を対面授業として実施するた め、進捗遅延等があり感染リスクの高い学生 や、大学への進学に不安のある学生など、 対面授業の受講が困難な学生への配慮として、 対面授業をオンラインにて配信する手立てを講 じている。	
683	京都精華大学	②③④			①②③			②③⑤			①ほぼ全員が理解			
684	明治国際医療大学	②③④			①②③			①②③⑤			②大多数が理解	令和3年度の授業実施における基本方針について、学生および保護者へ通知し、授 業の形式に関する方針を示している。当該方針に対する質問等には個別に回答し理 解を促している。また、令和2年度には、全学生に対し遠隔授業にかかる環 境整備費の補助として、一人あたり30,000円の支給を行った。	引き続き学生の理解を得るため定期的に方針等 を周知し、学生および保護者への理解を求め る。また、アンケート等を実施し学生の状況を 把握することに努める。	
685	京都芸術大学	②③④			①②③			②③④⑤			②大多数が理解	令和2年度に実施したアンケートの結果からの推察、学生・保護者からの問い合わせ 状況。	ガイダンスでの建書説明	
686	京都文教大学	②③④			①②③			②③④⑤			②大多数が理解	HP、メール、LMSシステム、ゼミ科目等での教員による説明を通じて本学の方針を 発信している。	対面式のオリエンテーションで発信予定	
687	嵯峨美術大学	①②③④			①②③			②③④⑤			②大多数が理解			
688	京都情報大学院大学	①②③④			①②③			③④⑤			①ほぼ全員が理解			
689	京都医療科学大学	②			①②			①②③			②大多数が理解	前年度の方針のとおりを周知している為		
690	京都華頂大学										①ほぼ全員が理解			
691	京都美術工芸大学	②③④			①			①③			②大多数が理解	新入生については、入学前～入学後に段階的に周知し、理解を求める。	新年度向けの各学年ガイダンスで周知する。ま た、学内掲示(web掲示含む)等でも継続して 周知する予定。	
692	京都看護大学	②④			①②			②④			②大多数が理解	授業評価アンケートや卒業前調査結果等により	継続的な説明	
693	池坊短期大学										①ほぼ全員が理解	昨年度後期でも面接授業を中心としており、学生等から反対する意見は出ていない ことから。	オリエンテーション等における丁寧な説明。	
694	京都経済短期大学	②			①③			③⑤			②大多数が理解			
695	華頂短期大学										①ほぼ全員が理解			
696	京都外国語短期大学	①②③			①②			①③④⑤			①ほぼ全員が理解	ポータルサイトやホームページでの周知を行うと同時に質問や意見を求めた。	今後も機会ある毎に周知を図り、意見を求めた い。	
697	京都文教短期大学	②③④			①②③			②③④			①ほぼ全員が理解	HP、メール、LMSシステム、担任教員による説明を通じて本学の方針を発信してい る。	対面式のオリエンテーションで発信予定	
698	京都西山短期大学										②大多数が理解	学生からの音信がないことから。	学内における感染症予防対策を徹底する他ない と考える。	
699	嵯峨美術短期大学	①②③④			①②③			②③④⑤			②大多数が理解			
700	舞鶴工業高等専門学校										②大多数が理解			
701	大阪大学	②③④			①②③			①②③④⑤			④把握していない	現時点では令和3年度の授業実施の方針について、学生アンケート等を行っていな いため。なお、令和2年度は、前期(春・夏学期)及び後期(秋・冬学期) の終了時に 学生アンケートを実施した。	学生自らが大学や各学部が行っている措置の妥 当性を理解し納得できるよう、新入生オリエ ンテーションその他機会を活用し、新型コ ロナウイルス感染症に関する最新のデータや これまでの知見に基づく正しい知識を大学が説 明することで、学生が感染症に対する正しい 理解を得ることに努める。	
702	大阪教育大学	①②③④			①②③			②③④⑤			①ほぼ全員が理解	令和3年度授業実施方針を大学ウェブページに掲載するとともに、学生ポータルサ イト及び個別メール配信により周知しているが、特段の反対意見は届いていない。	4月に履修に関するオリエンテーション等で説 明を行う予定である。	
703	大阪市立大学	①②③④			①②③	遠隔授業、eラーニン グシステムでの運用操作 等の専門サポート部門 を設置している。	学生アンケート、各委 員会への学生参加によ り学生の要望、意見を 取り入れ改善してい る。	①②③④⑤			②大多数が理解	遠隔授業環境が不十分 な学生に対して、イン ターネット環境の整っ た講義室の開放、パソ コンの貸し出しを実施 している。	・対面授業を行う教室を中心に、教室内にアクリ ルパーテーションを設置する他、消毒液設置場 所の増等により、一部の感染予防対策を講じ る。 ・学生アンケート、各委員会への 参加により学生の要望、意見を取り入れ改善す る予定である。	

No.	学校名	遠隔授業の向上 方策	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	学生の理解を得 る取組	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	新入生等への配慮	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する認識の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項
704	大阪府立大学	②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	令和3年度の授業の実施方針については、令和2年度に実施したオンライン授業に関する学生アンケート等で学生の意見を聞いた上で「対面授業を基本として、一部の授業をオンラインで実施または併用する」方針を決定し、学内ポータル及び大学Webサイトで、学生・保護者・受験者向けに広く周知しており、併せて各科目ごとのような実施方法を行うかについても、学生に時間割上で周知している。これらの内容に対する意見があった場合は、学生の納得が得られるように丁寧な方針に至った経緯や対応等を説明していること、基礎疾患のある学生に対してはオンラインでの対応も行うことから上記の方針に対して大きな反対意見は受けていないため、理解・納得を得られているものと考えている。		令和2年度は、学生に対して本学の状況や対応を周知する際には、随時学内ポータルで案内しており、学生もポータルの掲示で情報の収集には問題はなかった。しかしながら、情報がポータル上で大量になつていく中で、学生が最新の情報を正確に把握することが難しい場面もあったことは判明している。そのため、更なる学生の理解促進を図るため、令和3年度は情報発信の方法を工夫し、新型コロナウイルス感染症対応に係る授業関連情報を一元管理して、学生がアクセスしやすい状況を作る等の工夫を予定している。また、授業対応に対する学生の納得度や不満に思っている点等については、定期的に実施している学生向けアンケート等での状況把握に努め、改善すべき課題の把握や改善対応、適切な説明を行うなどとして、学生の納得を深められるように努めている。
705	大阪経済大学	②			①③			①②③④⑤			①ほぼ全員が理解	学生アンケートの他、既に開始している履修登録における登録状況や問い合わせ状況の結果による。		
706	大阪工業大学	①②③④			①②③			①②③④⑤		新入生に対して、Teamsによるオンライン授業のサポートを行った	①ほぼ全員が理解	本学では2021年2月5日に2021年度の授業体制を本学HPに公表したが、それについての反対意見は寄せられていないため。	全体の方針についてはウェブサイトでポータルサイトから周知済みであるため、学生から個別に問い合わせ等があれば丁寧に説明していく。	
707	大阪歯科大学	②③			①②			②④⑤			②大多数が理解	例年実施している各種試験の結果に変化が見られない。		
708	相愛大学	②			①③			①②③⑤			③大多数とは言えない	対面授業に慣れた学生から遠隔での授業に不安を感じている学生が多いという調査結果から。	ガイダンスにて周知予定	
709	横山学院大学	①②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	2020年度中に実施した複数回の学生向けアンケートの結果等をもとに、2021年春学期の授業方針を決定し、2021年2月3日に大学Webサイト等で発表した。その後、同方針や授業形態に関する不満等の連絡はないことから、「大多数の学生は授業の形態についての理解・納得を得ている」と認識している。		
710	摂南大学										④把握していない	学生からアンケート等でヒアリングを実施した訳ではないため正確には把握していないが、本学の授業形態に関する方針の発信に対し、学生から特段、反対等の意見はないことから概ね理解されていると認識している。	コロナ禍における遠隔授業の経験を踏まえ、従来以上にICTツールも活用しながら教育効果の高い面授業を実施することで、本学の授業形態に関する方針について、継続して学生の理解や納得を得ていく。	
711	横山学院教育大学	③			①③④	令和3年度より、遠隔授業（オンデマンド形式）における授業資料の提示は、原則として「ナレーション付きパワーポイント」または「動画配信（YouTubeやStream等）」とし、学生の継続的な学びを確保するとともに、Office365を活用した双方向性の確保や学生の習熟状況等を念頭に、「無理なく」「段階的で」「持続可能な」課題の設定に努めることを全ての教員に求めている。		①②③④⑤⑥	昨年度に引き続き、今年度もチューター（クワラ担任教員）によるきめ細やかな指導を行う予定である。		②大多数が理解		原則、今年度と同様の対応となるため、在学生は理解・納得しているものと考えながら、新入生へは各チューターの個別指導より理解を深めることとしている。	
712	大阪薬科科大学	①②③④			①②③			①②③④⑤			①ほぼ全員が理解	授業の実施方針について、ポータルサイト・大学ウェブサイトを通じて、学生個別に通知している。これらの周知等に対し、疑義等の問い合わせはほとんどない。疑義等がある場合には学生や保護者等からの問い合わせを随時受け付け、個別に説明している。	新入生ガイダンスや学年別ガイダンスの際に、3-11で回答した内容を改めて説明する。また、疑義等についても継続して対応する。	
713	大阪音楽大学	②④			①			③			①ほぼ全員が理解	本学は音楽の専科大学であり、学生数も少ないことから、授業の形態等に関する本学の方針等についてはポータルシステム等を通じて十分な周知ができておりと判断している。	感染の状況をふまえながら、適宜、本学の方針について学生に周知する。	
714	大阪学院大学	②③			②			②③⑤			④把握していない			
715	大阪芸術大学	②			②			③④			②大多数が理解			
716	大阪産業大学	①②③			①②			②③④⑤			②大多数が理解	令和2年度は、コロナ禍に入った前期において、オンデマンドや課題提示型などさまざまな遠隔授業を行った結果、保護者や学生からの情報をいただいております。しかし後期に入り、面授業と遠隔授業のいずれでも受講可能なハイブリッド型を全学的に導入して以降、苦情を届けることがほとんどなくなりました。また学生においては、年度末に各学科で実施した、在学生向けの令和3年度授業に関するガイダンスにおいて、面授業と遠隔授業の両方を認識していることをアンケート等で把握し、学生より不満等が出ていないことを確認しました。令和3年度は、令和2年度後期の形態を踏まえて、ほぼすべての授業で面授業と遠隔授業の両者を組み合わせて行われるため、上（3-10）の回答としています。		
717	大阪樟蔭女子大学	②③④			①②③			①②④⑤			②大多数が理解	ホームページ、メール、WEB情報提供ツール等で学生全体及び学生個人に対して本学の方針を伝え、かつ学生からの質問を受け付け、回答を行なっている。		
718	大阪商業大学	②			①			③④⑤			④把握していない	授業形態の公表以後に学生が大学へ来る機会がなく（全面遠隔授業・試験であったため）、意見聴取の機会がなかったため。		
719	大阪体育大学	②⑤	入学前より、キャンパス内に質問ブースを設けている。貸し出し用PC、ルーター、充電器を準備している。		①			⑤			②大多数が理解	学生へのアンケートで概ね理解を得ていることを確認。	学生、保護者宛に令和3年度授業方針説明文書を送付したが、それに対する意見や反対の連絡はゼロに近い。	
720	大阪電気通信大学	①②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	学生アンケートを実施し、学生の理解・納得状況を調査	遠隔授業となる科目を含め、すべての授業科目において、教育の質の向上に引き続き取り組む	
721	大阪大谷大学	②③④			②③			①③⑤		入学後、授業が始まる前に「遠隔授業を受けるための研修表」を実施。またコンピュータ関連の必修科目においてICTの活用について基礎的な内容について指導を行っている。	④把握していない	授業形態について、時間割表にて全学生に周知しているが、学生が納得しているかということについての調査は実施していない。	把握していない。	コロナ対策の「見える化」を進めるべく、教室に空気質（CO2）センサーの設置や換気設備（能力）の充実を図り、以て学生の不安を取り除く取組を実施していく。



No.	学校名	遠隔授業の向上 方策	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	学生の理解を得 る取組	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	新入生等への配慮	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する課題の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項
722	通手門学院大学	②③④⑤	オンデマンド型授業の 配信資料については 「録画講義の動画配 信」、「音声による解 説を加えた講義資料の 配信」や「動画による 解説を加えた講義資料 の配信」など、音声や 動画を用いた解説を組 み合わせた資料の配信 を原則としている。		②③			②③⑤			②大多数が理解	令和3年度の授業の実施形態はシラバスに反映しており、オリエンテーション資料 等で授業の実施方法について案内をしている。不透明点について相談するための学 部別のメール相談窓口を開設しているが、現時点で次年度の授業についての不満 の無い。また、退学者・休学者数についても前年と比較して大きな変動は 無い。		学生へ適切に情報を提供し、不明点についてはチャットボット、学部別メール相談窓口などで 確認できる仕組みを整備するとともに、アカ デミックアドバイザー（担当教員）からも説明 およびフォローを行う。
723	関西大学	②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	「2021年度授業の取扱いについて」の公表後、学生からの反対意見がないため。		
724	関西医科大学	①②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	アンケート調査を実施し、大多数の理解を得ていることを確認した。		
725	関西外国語大学										①ほぼ全員が理解	原則としてすべての授業を対面で行い、同時にオンライン配信をすることにより、 状況に応じて学生の希望する方法で授業を受講できる旨周知している。	情報機器やインターネットを利用した授業をス ムーズに行うため、授業期間とは別に授業準備 期間を設け、学生の理解の促進や不安解消を図 ることとしている。	
726	近畿大学	①②③④		特になし	②③	特になし		①②③⑤	特になし		②大多数が理解	学生の理解・納得の状況についてあらかじめ調査はしていないが、限られた年数し か在校生からは、対面授業を望む声も多く、大学における教育は豊かな 人間性を涵養する上で、学内で教員と学生、学生同士が人的な交流等を行うことが 重要であると考え、そのために学生を大学に定着させることでの対面授業実施の 活動の実施については、対面授業を原則として実施するという本学の方針に理解・ 納得いただけたと考えている。	新型コロナウイルス感染症に関する基本的取組 について、ガイダンス等を通じて周知すると ともに、セルフプロテクトを営み、感染予防 対策を講じることで本学における対面授業実 施の方針について、理解を得られるよう努め る所存です。	
727	四天王寺大学	①②③			①②			②③④⑤			②大多数が理解	在学生の保護者あての成績表送付の際に、紙媒体にて、またホームページでも令和 3年度の授業実施形態を公表しているが、それに対しての不満の声は限られたもの になつていない。		
728	帝塚山学院大学	①②③④			①②③			①②③⑤			②大多数が理解	授業アンケートで大きな不満は見られず、授業形態について強い苦情が寄せられる こともなかったため。		ガイダンス実施時に丁寧な説明を行う。学生ア ンケートを実施し、学生からの意見をさらなる 改善に結びつける。
729	梅花女子大学	①			①②			①③⑤			②大多数が理解			
730	阪南大学	①②③④			①③			①②③④⑤			①ほぼ全員が理解	学生には、学生ポータルサイトやSNSを通じて大学の方針を伝えるとともに、意 見等や質問を受け付けております。あわせて、保護者に対しても学生と同様に保 護者ポータルサイト等を通じて周知しています。	引き続き、大学からの情報発信に努めるとと もに、学生アンケートの実施等において学生の声 を聞いていきたいと予定しています。	
731	大阪経済法科大学	①②③④			①②③			①②③④⑤			①ほぼ全員が理解	新年度が始まる2カ月前から本学の授業の実施方針等についてウェブサイト、ポ ータルサイト、郵送等での案内を適宜行い、理解を得てきたから。		
732	大阪国際大学	①②③④			①②③			②③④⑤			②大多数が理解	学生への事前周知やオリエンテーションでの説明、また前年度の学生アンケートに 基づく回答内容等による。		
733	関西福祉科学大学	②		なし	①②③	なし		①②③⑤			②大多数が理解	令和2年度の実施した授業アンケート調査において、授業の形態に理解できない、 納得できなかったといった回答は少なく、前向きに取り組んでいる回答が大半であ った。	なし	
734	太成学院大学	①②③④		特になし	①③	特になし		①②③④⑤			②大多数が理解	相談窓口を設けており、また授業に関するアンケート調査を行っているため	医療系学部（看護学部）の理解・ 納得の度合いは他の学部（社会 系・経済系）より高い。	アンケートの積極的な実施
735	常磐会学園大学										②大多数が理解			今後も、本人や家族への感染に不安を感じる学 生に対して、遠隔授業で対応し、学びの確保を していく。
736	大阪観光大学	①②			①			④⑤			③大多数とは言えない	面接授業と遠隔授業希望に意見が分かれているため		現時点では検討しておりません
737	大阪人間科学大学	②③④⑤	新入生に対し基本的な 遠隔授業システムの使 用方法についてのガイ ダンスを実施		①②③			②③④⑤			④把握していない			
738	羽衣国際大学										①ほぼ全員が理解	学内LMSを使用して全学生に告知している他、大学に寄せられる問合せにも個別対 応しているため。	一部の範囲で異なる状況とはなっ ていない。	引き続き丁寧な全学生への告知を行い、個別 の問合せにも対応していく。
739	大阪成蹊大学	②③④			①②			②③④⑤			①ほぼ全員が理解	2020年度後期より面接授業を中心としながらも、教育の質を保つことができ科目 については遠隔で授業を実施している。この形を崩すことなく次年度も対応してい くこととなる。現在の在学については現状を十分理解していると考えている。な お、2021年度の新入生については特に遠隔授業について、オリエンテーションの中 でしっかりと告知し、対応していく。		
740	関西医科大学	②③		特になし。	②	特になし。		④⑤			①ほぼ全員が理解	次年度の授業実施方針については大学ホームページに掲載して次年度新入生を含む 学生および保護者（保証人）に周知し、同じ内容を学生ポータルで個々の学生に配 信した。現在のところ、学生または保護者（保証人）から本学の同方針への異議ま たは問い合わせ等の意見は寄せられていない。	特になし。	新年度の新生オリエンテーションおよび在校 生が大学ホームページを利用して保護者に同 じメッセージを発信し、コロナ禍における本学 の授業実施方針について改めて理解を求め る所存である。
741	千里金蘭大学										①ほぼ全員が理解	全科目において、コロナ禍以前の対面授業を実施しているため。		
742	東大阪大学										①ほぼ全員が理解	4月初旬のオリエンテーション期間における周知により学生の理解を得る。		
743	大阪女子学院大学										②大多数が理解	令和2年度秋学期から学生の協力も得て全学を挙げて感染対策を講じ、対面での授 業を実施してきた結果の実態である。		引き続き、きめ細かな感染対策を全学を挙げて 行ってゆく。
744	藍野大学	②③			①③			②③⑤			④把握していない			
745	大阪青山大学	②③			①②③			②③④⑤			②大多数が理解	学生自身が資格を目指す目標を持っているため、授業の形態について遠隔では難し いことも認識している。もちろん大学として丁寧な説明を行い学科でのフォローは 十分に行っている。学生のアンケート結果からも、遠隔授業に対しては評価が低い ことも一つの要因である。		オリエンテーション、オフィスアワーを通して 丁寧に大学の方針を説明し、疑問等については 学生の納得を得られるまでフォローを行う。各 授業の中でも、到達目標や授業内容の説明の中 でコロナ禍での授業形態についても周知を行 う。
746	四條畷学園大学										①ほぼ全員が理解			
747	大阪河崎リハビリテ ーション大学										①ほぼ全員が理解	本学における感染拡大防止対策を学生の協力のもと実施しており、授業形態を含め 学生からの不満や苦情はなく、順調に進んでいるため		
748	大阪総合保育大学	②③④			①②③			③④⑤			①ほぼ全員が理解			
749	森ノ宮医療大学	②③④			①③			①③④⑤			①ほぼ全員が理解	3月上旬に学内ポータルシステムを通じて次年度授業方針及び時間割を周知してい るため。		
750	大阪保健医療大学	①②③			①②			①②④⑤			①ほぼ全員が理解	チャットから資料を配布し丁寧に説明をしており、学生から特に不満などの声が ないため。		
751	大阪物産大学	①②④			①②③			①③④			②大多数が理解			
752	温床医療科学大学	②④		特になし	②③	特になし		③④			①ほぼ全員が理解	資料請求・学校説明会の時より説明しており、十分に理解の上で受験して頂いてい る。	特になし	入学試験を受ける前から入学後の本学の取組を 説明する。

No.	学校名	遠隔授業の向上 方策	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	学生の理解を得る 取組	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	新入生等への配慮	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する課題の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項
753	大阪行商医療大学										①ほぼ全員が理解	令和2年度に全学生にアンケートを実施し、その結果から遠隔授業及び通常授業につき、理解を促すと考えるため		
754	和歌山大学										①ほぼ全員が理解	令和3年度の授業形態は、令和2年度後期の形態（対面中心）を踏襲する計画である。令和2年度後期の授業形態に対して学生の無理解は認められなかったことから、令和3年度の授業形態についても学生は、理解・納得しているものと考えられる。		
755	大阪国際理工科専門職大 学										①ほぼ全員が理解	開学前ではあるが、大学説明会等において、遠隔授業を行うという説明はしておらず、通常の対面授業を前提とした案内をしているため。	特になし。	キャンパス内への入館時の検温の徹底、授業前後の教室の消毒などの感染対策や学生への呼びかけ等を徹底して行っている。
756	大阪キリスト教短期大 学	②④			①②③			③④⑤			②大多数が理解			
757	大阪城南女子短期大 学										①ほぼ全員が理解			
758	大阪夕陽丘学園短期大 学	②③			①②③			③④⑤			②大多数が理解	大多数の学生が遠隔授業について理解、納得し受講している。		学内講義室すべてにWi-Fi環境を整備し、個人のPCやスマートフォン等で遠隔授業を受講しやすくする。
759	大阪信愛学院短期大 学	②③④⑤	効果的に演習を取り入 れている		①②③			①②③④⑤			③大多数とは言えない	対面を希望している学生が多い		
760	大阪成蹊短期大 学										①ほぼ全員が理解	2020年度後期より面接授業を中心としながらも、教育の質を保持することができる科目については遠隔で授業を実施している。この形を指すことなく次年度も対応していくことから、現在の在生については現状を十分理解していると考えている。なお、2021年度の新入生については特に遠隔授業について、オリエンテーションの中でしっかりと告知し、対応していく。		
761	大阪女学院短期大 学										②大多数が理解	令和2年度後期から学生の協力も得て全学を挙げて感染対策を講じ、対面での授業を実施してきた結果の実感である。		引き続き、きめ細かな感染対策を全学を挙げて行っていく。
762	常盤会短期大 学	②③			①②③			①②③④			②大多数が理解	規模の小さい単科大学のため、ゼミナール・クラス編成の中で担当教員から学生の理解を得る努力とコミュニケーションが図れている。また各担当教員が学生から聞いた意見は教授会で共有し、種別反映する努力をしている。		学生への学修アンケートの中に、リモート授業についての評価を入れる予定をしている。
763	堺女子短期大 学										②大多数が理解	当初は、理解・納得が得られていないところもあったが、実習授業の多い本学の特性などが次第に理解されたと認識している。		今後の授業内容調査の時に項目を加えようかと思う
764	大阪千代田短期大 学										②大多数が理解	学生へのアンケートの結果8割以上が理解を示していたため		
765	関西女子短期大 学	②	なし		①②③	なし		①②③⑤	なし		②大多数が理解	令和2年度秋に行った短期大学生調査における授業への満足度を問う設問に対し、ネガティブな反応を示したのは、5%程度だった。	なし	授業アンケート等により、学生の実情を把握し、適宜、必要な施策を打つ。
766	四條畷学園短期大 学										①ほぼ全員が理解	コロナ禍前同様の面接授業を実施予定であり、理解を得ていると考えられるもの。		2年生ガイダンス、新入生ガイダンスで説明する予定。又、保護者宛にも令和3年度の授業は面接授業で実施する方針であることを紙面（郵送）で案内。
767	大阪健康福祉短期大 学	①②			①			③⑤			②大多数が理解	学生に対しては今年度についても継続して丁寧に説明を行っている。また、学生からの質問や不安に対しても、個別対応も含めて応えるようにしている。		
768	大阪府立大学工業高等 専門学校										②大多数が理解	学生アンケートの結果、若干名からオンライン授業の要望があったため		
769	神戸大学	②③④	3-1①については、全学 的な方針としては実施 していないが、授業科 目によっては取り組ん でいる。		①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	例年の新入生ガイダンスに加え、遠隔授業を受講するためのパソコンの設定等に関するガイダンスを実施する学部もある。なお、全学的なサポートは情報科目的の授業の中でも実施する。	令和3年度前期の授業実施方針については、在学生へは2月5日、3月10日の2回にわたり、本学ホームページにおいて丁寧な説明を行っている。新入生へは3月9日に本学ホームページに「新入生の皆さんへ」のページを作成し、その中で説明を行っている。	今後も授業実施方針に変更があった場合などは、「神戸大学教務情報システム」を通じて学生一人一人に丁寧に説明を行うこととしている。
770	兵庫教育大 学	①②③④			①②③			①③④⑤			④把握していない			学生が対面受講か遠隔受講かを選ぶようなハイフレックス授業を実施できるよう教員研修、物品、マニュアル等を充実させていくこととしている。
771	芸術文化観光専門職大 学										①ほぼ全員が理解		令和3年度が開学初年度のため、単一学部単一学科のため該当なし	
772	神戸市外国語大 学	①③			①			①③④⑤			①ほぼ全員が理解	対面授業とオンライン授業の両方を行うため、学生は選択して授業を受けることができるため。また2021年度前期の授業形態発表後に学生や保護者から大学に対して意見などが出ていないため。		
773	神戸市看護大 学										①ほぼ全員が理解			
774	兵庫県立大 学	①②③④			①③④			①②③④⑤			①ほぼ全員が理解	①R3年度は対面授業を積極的に行う旨の学長メッセージをR3.3.15付けで大学ホームページ及び学内ポータルで全学生に配信した。②特に学部については、3月中旬に全学生に対し授業実施形態を学内ポータルで配信した。		大学が独自に定めるBOP及び「平常時教育への段階的復帰プロセス」をより細かく公表し、大学の方針を変更する場合は、学長メッセージや各部署からの案内を発出するBOPレベル等を説明する。
775	甲南大 学	②③			①②③			①②③④⑤			①ほぼ全員が理解	学期始めに大学全体の授業実施方針を周知するとともに、各科目についてはシラバスを通じて周知徹底を図っている。学生アンケートの結果によるとコロナ禍以前と遜色ない。		新学期のメッセージを出したので（3月23日）、後は学費納付の案内を発送する時期、期末テストの前に情報を発信する。
776	甲南女子大 学	③④			①③			②⑤			②大多数が理解	コロナ禍でやむを得ない状況であることを理解しているものと捉えている。		
777	神戸海星女子学院大 学	②③④			①②③			③④⑤			②大多数が理解	一部の学生においては、大学の対応に際わず、とにかく遠隔授業を希望するものがある。		定期的にアンケート調査を実施し、できるだけ学生の声に応えるようにする。
778	神戸学院大 学	②③④			①			④⑤			①ほぼ全員が理解	2021年度の授業形態を公表した際に、学生から特に大きなクレームはなかったため。	国家試験を控える学部においては、可能な限り面接授業を受講できるように案内している。	LMSの設備を拡充する予定。2020年度に引き続き、授業アンケートにて学生の意見を伺い、可能なところを授業運営に取り入れる。
779	神戸女子大 学	②③④			①			①②③④⑤			②大多数が理解	特に納得状況を確認する機会はないが、授業に対する不満などが各部署には殆ど届いていない。		H P ・学生向け学内メールなど、各種の対応について都度案内をしていく予定。
780	神戸薬科大 学	②③			①②③			①②⑤			①ほぼ全員が理解	2021年に本学ホームページで方針を公表し、3月に細やかな内容について在学生及び入学予定の方に向けて発表したが、授業の形態等に関する申し入れは、回答日現在において1件もないことから		
781	神戸松蔭女子学院大 学	①②③④			①②③			①②⑤			②大多数が理解	3月10日に2021年度授業実施方針を配信し、学生からのクレームがほぼないことから判断した。		
782	神戸親和女子大 学	①②③④			①②			⑤			②大多数が理解	数名の在学生から面接授業実施に関して不安を訴えるメールが大学に届いているが、その他、学生からは履修登録の際に不安などは寄せられていないため。		
783	神戸国際大 学	②③④			①			①③④⑤			②大多数が理解			

No.	学校名	遠隔授業の向上 方策	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	学生の理解を得 る取組	その他の具体的内容	特定の学部等での 取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する課題の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項	
784	兵庫大学	②③④			①②③		②③④⑤⑥	①ほぼ全員が理解	入学前にオンライン接続を試してもらうなどの機会を設け、事前にオンライン授業による不安を払拭した。	アンケートから今後のオンライン授業に対する学生の声として対面授業とオンライン授業の併用が40.6%、一部対面・ほとんどの授業がオンライン21.9%という回答から判断して		
785	神戸常盤大学	①②③④			①②③		①②③④⑤	①ほぼ全員が理解		全学生を対象に対面によるガイダンスを実施。		
786	宝塚医療大学	④			①②③		③④⑤	②大多数が理解				
787	芦屋大学	①②			①		④	②大多数が理解		当初は対面授業を主として開講を計画していたが、本学所在地がまん延防止等重点措置の対象となったために、遠隔授業の併用にシフトしたため、今後授業開始日を一週間遅らせ学生への周知を取り組み予定である。		
788	大手前大学	②③			①②		②③④⑤	②大多数が理解		2021年度の授業方針を早い時期から全学生に周知している		
789	関西学院大学	①②③④⑤	授業担当者向けの授業実施ガイドラインを制定し、オンライン授業の実施形態・実施方法を定義することで適正化を図っている。		①②③		①②③④⑤	②大多数が理解		2021年2月に在学生に対して実施した「学生状況調査」では、対面授業再開に関して「教室での授業が楽しみである」の問いに「すごくそう思う」「そう思う」と回答した学生が全体の60%以上だった。一方で「オンラインでの授業を継続したい」との問いに「すごく思う」「そう思う」と回答した学生も全体の42%存在し、対面授業を希望する学生が多いものの、感染リスクやオンラインのメリットを考慮し、オンライン授業を希望する学生も少なくないことが判明した。令和3年度前期は対面授業を中心に実施し、一部の科目では教育効果や感染リスクを考慮してオンライン授業も活用するという方針を甲や融かサービズで学生に周知したが、現状では大きな反対意見は出さず、理解・納得を得られていると考える。	授業受講の手引き等でも説明し、理解を得られるよう努める。	
790	甲子園大学							②大多数が理解		令和2年度で実施した対面授業で感染を懸念して出席しなかった学生は、全体で数名であり、大学の感染防止策が学生から評価を得ていると考えられる。	新年度の新生・在学生オリエンテーションにおいて、大学の感染防止策を説明し、学生の協力を求めることとしている。	
791	神戸女学院大学	①②③			①②③		②③④⑤	②大多数が理解		方針の周知については、特に支障なく進んでいる。ただし、今回の方針で専門科目が低いこと。学生の対面・遠隔への立ち位置はいろいろある立場があり、一概では無いこと。	対面率の低い学科については、ガイダンスを対面で行うなどとして、少しでも登校機会を増やす努力をしている。	
792	園田学園女子大学	②			③		①②④⑤	③大多数とは言えない	全学的なアンケートを実施していないため。		授業の形態については、オリエンテーションやシラバス、学生ポータルサイトでも告知するとともに、各授業の1回目で担当教員から説明する。納得できない学生に対しては、個別に説明をする。	
793	武庫川女子大学	②③	大学全体として取り組んでいる訳ではないが、教員対象アンケートから把握する限り、遠隔授業になったことにより学生からの積極的な意見や質問が増えたいという意見を多く確認できており、授業そのものが活性化されていることも考えられる。		②	オンデマンド型での遠隔授業においては、学生の集中力が持続するように90分の教材を作成するのではなく、20分程度の教材を複数に分けて視聴できるように大学として呼びかけており、教員も実践している。	④⑤	③大多数とは言えない	従来、紙媒体で配布していた新生向け資料を3月上旬より新生向けホームページを開発することで、自ら情報取得できるようにしている。また学生の学習環境の確保については、学内のWi-Fiスポットを増やし、教室内外で遠隔授業が受講できるように配慮している。	学生から直接不満の声は届いていないが、遠隔授業の比率が高い学科においては学生の保護者から対面での授業実施を希望する声が届いている。また、キャンパスの構造として少人数教育を想定した教室が多く、3割を回した大教室を利用している対面授業を全てにおいて実施することが困難な状況にある。	学内から直接不満の声は届いていないが、遠隔授業の比率が高い学科においては学生の保護者から対面での授業実施を希望する声が届いている。	学内の感染防止対策をしっかりと講じることにより、できるだけ対面授業を増やすことができよう。施設・設備の学内調整を続けていく。
794	兵庫医科大学							②大多数が理解		大学ならびに学生会が行った調査結果により、委員会にて検証・確認を行った。	新型コロナウイルス感染症の拡大状況等に応じた対応について、適宜、ガイダンスを実施し、周知徹底を図る。(必要により、web配信も実施)	
795	姫路獨協大学							①ほぼ全員が理解		ホームページおよび個別連絡ツールを使用し対面授業について連絡を取り、反対や苦情の意見がなかった。	今後、対面授業に対し苦情等が出てきた場合、個別に丁寧に説明し理解を得るように努力する。	
796	流通科学大学	①②③④			②③		①③④	①ほぼ全員が理解		在学生ガイダンス(対面、オンデマンド)、入学前オリエンテーション(対面、オンデマンド)を実施している。また郵送物にて周知を図っている		
797	神戸芸術工科大学	②			②③		③	②大多数が理解		学生に対して、3月頃より、次年度授業方針告知の提示するとともに、次年度オリエンテーション(教員主催、事務局主催)においても説明を行いました。また保護者に対して3月に行った成績通知書の送付時に、次年度授業方針についての案内を同封しました。その後、学生、保護者より授業方針についての問合せなどは特にならませんでした。	前期終了後に学生に行なったアンケートでは、対面授業・遠隔授業それぞれへの支持が一定数ありました。前期授業評価アンケート等において、特に講義科目を対面で行った授業に対して、意欲する必要性を問うコメントなどの指摘も見受けられました。そのため、授業担当教員に、初回授業時(オリエン部分)において、当該授業が授業方法(対面授業、遠隔授業)を行う事由・目的等についても丁寧に説明するよう依頼をする予定です。	
798	関西福祉大学	①②③			①②③		②③④⑤	④把握していない	状況調査等は実施しない。		対面・オンラインいずれにせよ、早期に周知することにより、事前に不安や心配を軽減し、安心して授業を受けることができるように努める。	
799	関西国際大学	①②③④			①②③		②④⑤	②大多数が理解		遠隔授業を行っていることに対して、学生からのクレームは殆ど無く、緊急事態宣言が発出され、県からも大学には遠隔授業を最大限活用するよう指導があり、それを学生も理解・納得しているものと考ええる。		
800	神戸医療福祉大学	②③④			①②③		②④⑤	②大多数が理解		令和2年度後期授業終了までの学生や保証人からの問い合わせにおいて、面接授業の開始についての要望はほとんど寄せられなかった。一方で、面接授業を受講することに対する不安や、自宅等で外出することなく学習を継続できることに関する安心感を感じる声が一定数寄せられている。また、令和3年度の授業実施方針について郵便やホームページ、LMSを通して学生および保証人に通知したが、実施方針に関して特段の異議は寄せられていない。以上より、現在の本学の方針については概ね理解されていると判断している。今後も引き続き、オリエンテーションや教職員懇話会(保証人対象)などの機会を通して丁寧に説明に努める。	今後、オリエンテーションや授業などを通して、本学が面接授業と遠隔授業の両者の利点を生かした新たな教育活動を展開していくことを丁寧に説明する。	
801	神戸情報大学院大学	①②④			①③		②③	②大多数が理解		授業アンケートの回答から、遠隔授業に対する不満が特に見受けられないため		
802	関西看護医療大学	①②③④			①②③		②④⑤	①ほぼ全員が理解				

No.	学校名	遠隔授業の向上 方策	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	学生の理解を得 る取組	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	新入生等への配慮	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する課題の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項	
803	兵庫医療大学	②③④			③			①③⑤				高学部においては、大学に慣れていない1年次を対象に、アドバイザー制度を設けている。教員1名あたり学生3名程度を担当し、指導に当たっている。	④把握していない	令和3年度の授業形態に関する方針について、学生へのアンケート等を実施していない。	学生への調査や学生参加型のFDを通じて、学生の要望や意見を聞き、可能なことは取り入れていく方針である。
804	姫路大学	①②④			①②	教育学部では、情報システム担当教員や遠隔授業を行っている教員が、ICT機器の使用方法等に関する研修会を実施し、教員間での相互理解を図っている。また、大学では1年生必修の情報処理技術の授業において、遠隔授業を受講するために必要な知識や操作方法についても教えている。		①③④⑤			②大多数が理解	令和3年度の授業の実施方針についてはホームページおよびポータルサイトで学生へ周知している。また、令和2年度に実施した授業についてのアンケート結果により、学生の状況を把握している。	授業に関する学生アンケートを継続して実施予定。		
805	大手前短期大学	②③			①②			②③④⑤			②大多数が理解	2021年度の授業方針を早い時期から全学生に周知している			
806	神戸女子短期大学	①②③④			①②③			②③④⑤			①ほぼ全員が理解	3/1付けで新年度の大学の取組方針を併せて公表し、同時に大学の情報配信システムを利用して在学生及び新入生に周知を図っているが、否定的な意見や照会が寄せられていない。			
807	福栄短期大学	②④			①③			③④⑤			②大多数が理解	学生の理解・納得をしているとは言えない。		初日の授業で、担当教員から授業の進め方が説明される。	
808	豊岡短期大学										①ほぼ全員が理解	前年度に続き、感染対策を講じつつ対面授業を実施しているため。		4月より学生ポータルサイトを本格運用し、履修登録もオンライン化で実施予定。	
809	甲子園短期大学	①②④			①②③			①②③④⑤			①ほぼ全員が理解	対面授業中心に行っていくため納得している。			
810	神戸教育短期大学										①ほぼ全員が理解	本学の授業実施方針やそのための対策は、つねに教職員・学生に発信し、周知しているため、それに対する学生の質疑が出た場合は、一人ずつ丁寧に回答し、それを全員に周知している。			
811	聖和短期大学										②大多数が理解	令和3年度の授業方針を、令和2年11月にホームページ等で公表し、それに伴う授業スケジュールについて指導を行った。学生からの意見等はなかった。			
812	産業技術短期大学										④把握していない				
813	東洋食品工業短期大学										①ほぼ全員が理解				
814	湊川短期大学										④把握していない	すべて対面実施することを前提としているため			
815	姫路日ノ本短期大学										②大多数が理解				
816	明石工業高等専門学校										①ほぼ全員が理解	令和2年度から変更はなく、特に問合せ等もないため	特になし	特になし	
817	神戸市立工業高等専門学校										①ほぼ全員が理解	令和2年7月より面接授業を再開しておりますので、令和3年度の面接授業実施に関しても学生は理解・納得していると思われる。		今後の状況が変化し、授業の実施方法を変更する場合は、webページやメール等を用いて学生や保護者に案内します。	
818	奈良教育大学	①②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	大学HPやメール等により授業形態等について周知を行っているが、周知した方針に対する問い合わせがほとんどないため。また、感染症の状況や大学のこれまでの取り組み等を細かく理解はしてくれていると考えているが、ほぼ全ての学生が必ずしも納得しているかわからないため。			
819	奈良女子大学	①②③④		特になし。	①③		特になし。	②③④⑤		特になし。	②大多数が理解	遠隔授業による受講のみとした時期（5月）、一部対面を開始した時期（6月）の対面を重視し、遠隔授業も併用するとして後期開始前（9月）に学生に受講状況の調査を行っており、85%以上の学生の理解を得られていることを確認したことから。	本学は、人文科学系の学部と自然科学系の学部があり、全国各地から学生が集まっているが、理解・納得の度合いに学部間の大きな差はない。（全学的に統一した取り決めに従って、授業実施の方針を定め、調査も行っている。）	理解や納得を得るために特に実施するものではないが、学内のネット環境を整え、PCの所持を推奨する。また必要に応じて履修の貸出しを継続し、新入生には一部購入費用の支援を行う制度を整えた。今後も、引き続き学生のニーズを注視して、授業提供に関わる改善を図る。	
820	奈良先端科学技術大学院大学	①②④			①②③			④⑤			②大多数が理解	令和3年度の授業実施方法は、令和2年度秋学期と同様の方法で実施するが、秋学期以降特に要望等はなかった。		原則対面授業としたうえで、すべての授業をオンライン化することで、個々の状況に応じて、授業に参加できるようにする。	
821	奈良県立医科大学	②④			①②③			①③⑤			②大多数が理解	全学生に対し「遠隔授業に関する授業評価アンケート」を実施し、把握			
822	奈良県立大学	①②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	2月に実施した学生アンケートでは、対面授業を望む意見や感染リスクに配慮し遠隔授業を望む意見など、異なる事情、様々な立場の意見があり、それらを参考に授業形態と時間を設定した。		前期授業後半には学生アンケートを実施し、新1年生の意見も聞き後期の授業に反映させるようにする。	
823	帝塚山大学	②④			①②			①③④⑤			②大多数が理解				
824	天理大学	①②	該当しない	該当しない	①	該当しない	該当しない	②③④⑤	該当しない	該当しない	④把握していない	令和3年度の授業の基本方針については、既に周知している。令和2年度春学期にはアンケートなどを実施して学生からの意見を集約したが、令和3年度のアンケートなどは実施していないため。	該当しない	学修支援や生活支援に関する窓口は従来から開設しているが、令和3年度春学期からはオンライン授業等に関する専用のメールでの相談窓口を開設している。	
825	奈良大学	②④			①②③			②③④			②大多数が理解	昨年度は急な授業形態の変更にもかかわらず、大半の学生が対応し、例年と変わることなく単位を修得できていることから、十分理解の上、随々に助言だと考える。		新型コロナウイルス感染症の収束が短期には見込めない中で、対面を中心としながらも遠隔授業も必要とされ、状況によってはまた遠隔授業が増える可能性もある中で、仮設授業等の遠隔授業の特性を活かせる授業方法への取り組みを行うことで様々な授業形態への理解が進むと考える。	
826	奈良学園大学	②③④			①②③			②③④⑤			②大多数が理解				
827	畿央大学	②③④			①②③			②③④⑤			②大多数が理解				
828	天理医療大学	②③④			①②③			②③④⑤			①ほぼ全員が理解	新2・3・4年生に対しては、既に、次年度の授業方針と次年度前期の授業方法と時間割について、学内ポータルを用いて全員に周知している。新入生に対しては、入学案内で周知するとともに、入学までにパソコンの設定、学内ポータル、eラーニングシステムの使い方の、Zoom授業の受け方について、ガイダンスを実施する。			
829	奈良芸術短期大学										①ほぼ全員が理解	国の授業要請時より、感染対策は与えられるものではなく各自が「うつさない、うつらない」行動をと呼びかけ大学では環境整備も行ったのでスムーズに理解している	特記事項なし。		

No.	学校名	遠隔授業の向上 方策	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	学生の理解を得 る取組	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	新入生等への配慮	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する課題の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項
830	奈良佐保短期大学										①ほぼ全員が理解			
831	白鳳短期大学										①ほぼ全員が理解			
832	奈良工業高等専門学校										②大多数が理解	最近の近隣地区における感染状況を踏まえて、対面授業形態を実施しており、特設、遠隔授業を実施してほしいとの要望は聞いていない。	学内での感染防止対策を十分に行う	
833	和歌山大学	①②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	令和2年度の入学式(4月9日)は中止しましたが、新入生がこれからの大学生活をどう過ごすか、不安にならないよう、ガイダンスは4月6・7日の2日間を併せて、対面で行いました。その後も、学生に対しては、必要に応じて情報を提供して、授業の在り方等について理解を得られるように努めてきました。令和3年度の授業実施形態等については、在学生に対しては、すでにWeb提示板等で周知しており、 Moodleで学部ガイダンスを行った場合には、ログの記録から説明を読んでいない学生を調査して、周知を徹底しています。また、4月の授業開始前のガイダンスはこれまで2日間でしたが、学生相談を含め4日間(4月6・7・8・9日)に増やして、新入生だけでなく、在学生についても十分な時間を設けて、丁寧に説明を行います。その後の情報提供についても、令和2年度と同様に実施します。	3-11の回答を再提することになりますが、4月の授業開始前のガイダンスはこれまで2日間でしたが、学生相談を含め4日間(4月6・7・8・9日)に増やして、新入生だけでなく、在学生についても十分な時間を設けて、丁寧に説明を行います。その後の情報提供についても、令和2年度と同様に実施します。	
834	和歌山県立医科大学	②③			①②			②			①ほぼ全員が理解	学生全員にメール、遠隔システム等で方法について伝えている。		
835	高野山大学	②③			①②			②④⑤			①ほぼ全員が理解	ツールのマニュアル配布、遠隔授業についての周知は昨年より行っており、学生や保護者からの不満も特に聞かれないことから判断した。	今後もツールのマニュアルを改善・配布し、遠隔授業についての周知を行っていく。	
836	和歌山信愛大学										②大多数が理解	2021年度本学の授業方針を学生にポータルを併せて配信済みであり、学生からの授業スタイルに関する苦情・問い合わせ等は来っていない。	地キャンバスなし 感染拡大防止の行動等について3次のガイダンスを実施予定	
837	和歌山リハビリテーション専門学校										①ほぼ全員が理解	面接授業予定のため、理解していると考える。		
838	和歌山信愛女子短期大学										④把握していない			
839	和歌山工業高等専門学校										①ほぼ全員が理解	登校に不安のある学生は希望により登校を免除し、遠隔授業等による対応の旨周知しており、現時点では希望者がいないため。	登校に不安のある学生は希望により登校を免除し、遠隔授業等による対応の旨周知しており、現時点では希望者がいないため。	
840	鳥取大学	①②③④	一部の学部において、遠隔授業実施用に、PC、カメラ、マイク、板書用タッチディスプレイを常備した部屋を設けている。		①②③			①②③④⑤	一部の学科において、新入生に対してPCR検査を実施する。		②大多数が理解	令和2年度に実施した授業実施形態に係るアンケート結果で、肯定的な回答の割合が高かったため。	前年度と同様にオリエンテーションや説明会等を実施する予定である。	
841	公立鳥取環境大学										③大多数とは言えない	インターシップや就職活動に取り組む学生(主に3年次、4年次)にとっては、オンライン授業の方が効率的なため、対面授業については理解・納得が得られていない学生も一部いると考える。新入生や2年生は、課外活動等に積極的に取り組んでおり、そうした学生にとっては授業を対面で行うことで、学生同士の交流が増えることには一定の理解・納得をしていると考える。	特になし	2021年度前期開始時の履修ガイダンス等で学生に説明をする。
842	鳥取看護大学										①ほぼ全員が理解	授業アンケート等により学生の感想などを聴取しているが、おむね満足との回答を得ているため	遠隔授業を実施することになった際、学生が問題なく受講できるよう、学生に対して遠隔授業の受講について説明会を実施する。	
843	鳥取短期大学										①ほぼ全員が理解	入学式やオリエンテーションで説明しているため		
844	米子工業高等専門学校										①ほぼ全員が理解			
845	鳥根大学	①②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	学生アンケートにより満足度は概ね高いことが示された。	・学生アンケートの実施により、今後の授業実施に向けた改善を行う。・教員FDにより、オンライン授業の質の向上を図る。	
846	鳥根県立大学	①②③④			①②③			②③④⑤			①ほぼ全員が理解	学長及び学部長からそれぞれ授業実施に関する大学の方針、学部の方針を明確に説明していただいている。そのうえで履修登録の前に授業ごとに実施形態を時間別に通知して、あらかじめ授業の形態が学生に分かる形で示し、学生も授業形態をあらかじめ理解した上で履修登録してもらっている。学生からのクレームもない。3月中旬以降、第1～3年生に対する次年度オリエンテーションを実施している。	引き続き、学長・学部長から大学の方針を明確に説明を実施するとともに、学生の学修計画に先の見通しをどうように明確に通知することを心がけている。チャーターの面談を定期的に実施する。4月上旬にオリエンテーションを実施する。	
847	松江工業高等専門学校										①ほぼ全員が理解	終業式・学校だよりで周知済み	特になし	特になし
848	岡山大学	①②③④			①②③④	学生に対して、ノートパソコン及びWiFiルーターなどの機器の貸し出し、及び大学施設の開放を行った。		①②③④⑤			①ほぼ全員が理解	大学HP、一斉メール及び各学部等における説明において、新型コロナウイルス感染拡大状況、それに伴う大学の対応について周知しており、学生は状況を理解していると考える。また、令和3年度は、面接授業を基本とし、遠隔授業を行う方が特に教育効果が高いと考えられる場合、遠隔授業を実施することとし、体調不良の学生、基礎疾患を持つなど感染リスクが高い学生や、遠隔地に居住している学生、感染リスクを懸念する学生は、面接授業において公営の貸し、オンラインでの受講を可能としているので、大多数の学生の希望に対応することができていると考える。	原則として、令和2年度より取り組みを継続するとともに、必要に応じて、アンケート調査等で実施やニーズを把握し、今後の取り組みを検討する予定である。	
849	岡山県立大学	②③④			①③			①③④⑤			②大多数が理解	適宜、情報発信を行っているため。	アンケート等により集約した要望に対する具体的な対応を進める。	
850	新見公立大学										①ほぼ全員が理解	令和2年度には学生に対して複数回、授業の形態について説明している。令和2年度と同じ授業形態(面接授業)を続けることに対して、学生からの意見や問合せはなく、理解・納得していると考える。		
851	倉敷市立短期大学										①ほぼ全員が理解	面接授業を実施予定のため。		
852	吉備国際大学										①ほぼ全員が理解	本学では、令和2年度後期開始から終了まで、全面的に面接授業を実施(冬春休業明けの1週間のみ感染対策として遠隔授業で実施)しており、学生はこれの形態について理解・納得している。またキャンパス所在地の感染状況が現在のところ大きく変化していないことから、その方針が変更されないことについても理解していると考える。	大学の感染対策や授業実施方針について、感染状況の変化に応じて、学生のポータルサイトやホームページなどを活用して、迅速に伝え、理解を得る。	
853	岡山農科大学	①②④			①②③			③④⑤			②大多数が理解	学生への一斉メールやホームページで、授業方法について周知徹底しているため。	在学生についてはメール配信、特に、新入生については、感染防止対策を徹底してオリエンテーションを数回実施する予定である。	
854	岡山理科大学	②③④			①②③			②③④			①ほぼ全員が理解			
855	くらしき作陽大学										②大多数が理解	令和2年度より面接授業が実施出来ている。学生の理解や納得が得られないとすれば、感染面への不安であるが、それもごく一部であるため。		
856	ノートルダム清心女子大学	②③④			①②			①③④⑤			②大多数が理解	対面授業実施を危惧する声が減った		
857	川崎医科大学										①ほぼ全員が理解	新年度ガイダンス時に通知する予定。2020年度2学期以降から変更ないため。	なし	方が一を想定し、講義を撮影し、1週間後より講義動画を学内システムにUPし、振り返り学習を行えるよう配慮している。



No.	学校名	遠隔授業の向上 方策	その他の具体的な 内容	特定の学部や学年での 取組	学生の理解を得 る取組	その他の具体的な 内容	特定の学部や学年での 取組	新入生等への配慮	その他の具体的な 内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する課題の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項
858	就実大学	②③			①②		②③④⑤				②大多数が理解	2020年度から継続する方法による授業運営を行うため、多くの学生が混乱することなく授業を受ける準備ができていると考える。		個別対応による丁寧なフォローを予定している。
859	川崎医療福祉大学										①ほぼ全員が理解	令和3年度の授業形態について、2月に学生に対し公表して以来、特に否定的な意見 学部・学科による偏りはないと 考えている。	オリエンテーション等を通して説明を重ねていく予定としている。	
860	山陽学園大学	②③			①		①②③				②大多数が理解	授業について学生向けにメールを発信したり、これまでアドバイザーが連絡を取り 合う等行っており、周知できている。	LMS (Moodle) も活用し、さらに学生向けの周知を行う。	
861	倉敷芸術科学大学										①ほぼ全員が理解	本学の方針「授業形態」については、ホームページ・ポータルサイト・メール等で 周知している。教員・学生に対して授業形態のアンケートを実施し現状を把握して いる。	現在実施している学生への周知、教員・学生に 対する授業アンケート等を継続し検証してい く。	
862	岡山学院大学										①ほぼ全員が理解			
863	中国学園大学										②大多数が理解			
864	環太平洋大学										①ほぼ全員が理解			定期的アンケート調査を行い、面接授業の質 の担保に努める。
865	岡山医療専門学校										①ほぼ全員が理解	通常通りの講義形態のため。		
866	美作大学										①ほぼ全員が理解	ホームページや掲示等による学長による学生へのメッセージ、及び各学期毎にガイ ダンスに十分に説明しているため。	co2濃度測定器を使用して、適切な換気を行 う。授業前に必ず自分の机を抗菌シートで拭く (抗菌シートは大学が支給)。その他一般的に いわれている予防は徹底する。	
867	就実短期大学	②③			①②		②③④⑤				②大多数が理解	2020年度から継続する方法による授業運営を行うため、多くの学生が混乱することなく授業を受ける準備ができていると考える。	個別対応による丁寧なフォローを予定している。	
868	岡山短期大学										①ほぼ全員が理解			
869	作陽短期大学										②大多数が理解	令和2年度より面接授業が実施できている。学生の理解や納得が得られないとす れば、感染面への不安であるが、それもごく一部であるため。		
870	中国短期大学										②大多数が理解			
871	山陽学園短期大学	②③			①		①②③				②大多数が理解	授業について学生向けにメールを発信したり、これまでアドバイザーが連絡を取り 合う等行っており、周知できている。	LMS (Moodle) も活用し、さらに学生向けの周知 を行う。	
872	川崎医療短期大学										④把握していない	学生に対して令和3年度の授業形態について理解・納得の度合いを測る調査等はし ていないため。	令和2年度後期から継続して面接授業の形態で 実施するので、教室使用等に関する感染対策指 導を継続して行う。今後感染拡大により授業形 態が変更になった場合には、その都度ホーム ルームやポータルサイト等で十分な説明を行 う。	
873	津山工業高等専門学校										①ほぼ全員が理解	学生からの異議等がなかったことによる		
874	広島文化学園大学										①ほぼ全員が理解	3月8日付でホームページに在学生及び新入予定者に対して「令和3年度の授業実 施方針」を掲載し、これに対する特段の反応はかえって来ていないため	今後 入学ガイダンスやオリエンテーションを 通じて丁寧に説明することとしている	
875	広島大学										④把握していない	令和3年度の授業等の実施に関する方針の公開後、学生・保護者等からは数件問い合わせ があった程度で、特に不満の意見はなく、概ね理解を得られているものと思 われるが、大学として「理解・納得」の度合いを調査していないため、上記回答 (把握していない)とした。	該当なし	
876	県立広島大学	①②③④			①②③		①②③④⑤				②大多数が理解	オンライン授業に関するアンケート調査において、75%以上の学生がオンライン授 業に満足しており、今後においても6割以上の学生がオンライン授業の継続を希望 している。	定期的に学生に対するアンケート調査を実施 し、学生の要望や意見を取り入れながら、今後 の授業形態や手法の改善に向け答えを検討して いく。	
877	尾道市立大学	②④			①		①②③④⑤				④把握していない			
878	広島市立大学	②③④			①②		①③⑤				②大多数が理解	令和3年1月18日に本学ウェブサイト等において、「2021年度前期の授業の実施 方針について」を公表していますが、これについて特段の質問や意見は寄せられな かったことから、大多数の学生は、授業の形態等について理解・納得しているもの と考えています。	授業の実施方針等については、その考え方も含 め、引き続きウェブサイト等を通じて学生や保 護者に対し随時お知らせすることとしていま す。	
879	福山市立大学	④			①③		④⑤				①ほぼ全員が理解	授業の形態等について学内電子掲示板等で公開し周知を図っている。	特になし	特になし
880	敬啓大学	①②③④			①②③		②③④⑤				④把握していない	開学前のため、学生の理解等についての十分な情報が得られていない。	年度初めのオリエンテーションに ついて説明を行う。	
881	エリザベト音楽大学										①ほぼ全員が理解	昨年6月から対面授業を継続しており、来年度も同様に実施することを伝達してい る。	これまでと同様、広島県内・広島市内の状況を 詳しく把握し、学生の安全・安心を第一に判断 し指示をする。早い対応と情報の共有徹底をす る。	
882	広島経済大学										②大多数が理解	特に問い合わせ等が入っていないため。	特になし	特になし
883	広島工業大学	②③④			①②		③④⑤				④把握していない	理解度について調査を行っていない。	特になし	
884	広島修道大学	②③④			①②③		①②③④⑤				②大多数が理解	コロナ禍における対応において、授業の方針や、留意点などを学生向けポータルサ イトやWebサイトにて周知している。	4月当初のアンケート、期末の授業アンケート で調査する予定である。	
885	広島女学院大学	②③④			①③		②③④⑤				②大多数が理解			コロナ禍における対応について、継続的な周知 を実施する。
886	広島国際学院大学	②③			②						②大多数が理解	オンライン授業に当たり学生アンケートを行い、大学ホームページや学生へのメー ルによりオンライン科目の授業の進め方など丁寧に説明しており、学生から特に意 見など出ていない。		
887	広島文教大学	①②					③④				④把握していない	令和2年度学生生活に関するアンケートの実施結果では、半数以上の学生が授業内 容への満足感を感じていることが確認できたが、令和3年度の授業の実施形態に関 する意識調査等を行っていないため。	大学所在地の感染拡大状況を鑑み、可能な限り 対面で授業を受講する機会を確保する一方で、 感染リスクに不安のある学生には遠隔でも受講 できるようにするなど、授業の受講形態に選択 性を持たせる。	

No.	学校名	遠隔授業の向上 方策	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	学生の理解を得 る取組	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	新入生等への配慮	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する認識の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項
888	安田女子大学										①ほぼ全員が理解			
889	福山大学	②③④⑤						②④⑤⑥			④把握していない	令和3年度の授業の形態については4月5日から実施する年度初めオリエンテーションにおいて説明し、理解を求める予定であるため。なお、前期の授業は新入生を対象に遠隔授業ガイダンスを実施したのち4月19日から開始する。	令和3年度の授業の形態については4月5日から実施する年度初めオリエンテーションにおいて説明し、理解を求めるとともに、父兄に対しても本学ホームページ上での案内を通じて理解を求めることとしている。また、共同利用センターにおいて、学生の理解や納得を得るための個別指導を随時行える体制を整えている。	
890	比治山大学	②③			①②			②④⑤			②大多数が理解	新入生の全員面談を通じて授業への不安を解消する取り組みや、学科学年別オリエンテーションで授業方法の説明、方針の見直しがあればその都度、ホームページ・学生情報システムを使って周知している。また「授業アンケート調査」の授業への満足度を通じて、令和3年度の方針についても学生の理解・納得が得られているとした。	学科学年別オリエンテーションでの説明や授業科目ごとに授業の方法を一覧にして授業開始までに周知する。	
891	福山平成大学										①ほぼ全員が理解	アンケート調査の結果から		
892	広島国際大学	①			①②			④			②大多数が理解	新入生、在学生対象のガイダンスにおいて、本学授業方針および授業形態の説明を実施。	新入生、在学生対象の履修ガイダンスを実施	
893	日本赤十字広島看護大学	①②③④			①②③			②③④⑤			①ほぼ全員が理解	前年度と同様の授業形態であり、令和2年3月にその旨を各学生にメールで通知しています。また、令和3年度ガイダンスでも口頭で説明します。	令和3年度も引き続き学生への授業に関するアンケートを実施し、学生の理解や要望を収集して改善に取り組みする。	
894	広島都市学園大学	②			①②			②③			②大多数が理解			
895	山陽女子短期大学	②④			①②③			②③			②大多数が理解			
896	広島文化学園短期大学										①ほぼ全員が理解	3月8日付でホームページに在学生及び新入生予定者に対して「令和3年度の授業実施方針」を掲載し、これに対する特段の反応はかえって来ていないため	今後 入学ガイダンスやオリエンテーションを通じて丁寧に説明することとしている	
897	安田女子短期大学										①ほぼ全員が理解			
898	呉工業高等専門学校										②大多数が理解	遠隔授業から面接授業に変更した際、遠隔授業を希望した学生は、数人しかいなかった。	なし	検討中
899	広島商船高等専門学校										①ほぼ全員が理解	令和2年度の授業終了時に、学生にアンケートを実施したところ、遠隔よりも対面授業を望んでいる学生が圧倒的に多かった。		
900	山口大学	①②③④⑤	オンラインによる授業の実施について全学のFD研修会を開催した。		①②③			②③④⑤			①ほぼ全員が理解	授業の実施方法については、WEBページ及びメールにより学生に周知している。各学部における授業の出席に対する学生の相談窓口を設置し、学生の不安や質問に対応している。	来年度も引き続き、各学部において学生の相談窓口を設置し、授業に対する理解について個別に対応することとしている。加えて授業開始時に本学の対応について授業担当教員から説明をする予定である。	
901	下関市立大学	②③④			①③			①②③④⑤			②大多数が理解	2020年12月にHP上で2021年度の授業方針を周知しているため。		
902	山口県立大学	②③⑤	遠隔授業は、そのほとんどをZoomを活用したリアルタイム双方向型で行っている。また、学生が確実に遠隔授業を受講できるよう、事前に自宅での接続テストを行っている。		①②			①③④⑤			②大多数が理解	早期（3月1日）に授業方法の方針を周知したが、特に反対意見等が寄せられていない。なお、昨年5月29日に全面的に対面授業とする方針を周知した際には、学生から多くの反対意見と一部の対面授業とするよう嘆願書が提出され、6月12日に方針を修正して対面と遠隔を併用することとした経緯がある。このことから、本学の方針は学生の意向に沿ったものと認識している。	今後も授業や课外活動の方針については、都度学生全員に行き渡るようにポータルシステムやメール等による周知を行うとともに、チャーター制度や学生相談室等も活用して不安な学生へのサポートに努める。	
903	山陽小野田市立山口東 原理科大学				①②			①③			①ほぼ全員が理解	学生からヒヤリングした内容に基づき対面での授業を実施することとした。	年度当初に対面でのガイダンスで授業形態について説明する。	
904	梅光学院大学										①ほぼ全員が理解	大学より学生に対し、原則面接授業を実施することを告知するとともに、今後の方針を教務システムより発信し、各学生の担当チューターとの面談により方針を伝えている。	定期的なチューターとの面談を実施する。	
905	徳山大学	①②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	授業形態に関する案内は複数の方法で複数回実施している為、大多数から理解を得られているものと考えられるが、一人ずつに説明している訳ではない為100%とはいえない。	教員・職員でチームを組む学生個別の支援を行う。全学年でゼミによる指導を行い、細かい変化に気づける体制を整える。	
906	東亜大学										②大多数が理解			
907	至誠館大学	②③④			①②③			②③④⑤			①ほぼ全員が理解			
908	宇部フロンティア大学	②			①③			①⑤			④把握していない	可能な範囲で授業評価アンケートを実施しているが、全学生向けの調査はしていない。		
909	山口学芸大学										②大多数が理解	面接授業中心で実施した令和2年度の授業アンケートの結果がコロナ禍以前の例年と大差がない。		
910	山口芸術短期大学										②大多数が理解	面接授業中心で実施した令和2年度の授業アンケートの結果がコロナ禍以前の例年と大差がない。		
911	下関短期大学										②大多数が理解	全面的に面接授業を実施する予定であるので、オリエンテーションで説明する。		
912	山口短期大学	①②③④			①②③			①②③④⑤			①ほぼ全員が理解			
913	岩国短期大学										①ほぼ全員が理解	入学前教育を新入生全員に受講させている。その際に説明を行っている。		
914	徳山工業高等専門学校										①ほぼ全員が理解	令和3年2月の合同ホームルーム（終業式）で、全校生に新年度の授業実施方法について副校長から伝えたため。		
915	宇部工業高等専門学校	②③④			①②③			②③④⑤			①ほぼ全員が理解	本校の授業の形態等については、今年度面接授業を再開した際、学生に十分説明し、理解・納得を得られており、来年度も同様の授業の形態等を継続するため、ほぼ全ての学生が、授業の形態等について理解・納得していると考える。	・学生が集合する機会を捉えて対面により学校の方針の説明及び相談窓口の活用について周知する。・本校ウェブサイト及びコミュニケーションツール(Microsoft Teams)等を用いて学校の方針等に関する情報の発信を随時行う。・本校の方針への理解・納得を得るための個別指導を随時行う。	

No.	学校名	遠隔授業の向上方策	その他の具体的な内容	特定の学部や学年での取組	学生の理解を得る取組	その他の具体的な内容	特定の学部や学年での取組	新入生等への配慮	その他の具体的な内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する課題の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項
916	大島商船高等専門学校										①ほぼ全員が理解	特になし	特になし	特になし
917	徳島大学	②③		特になし	①		特になし	③⑤		特になし	②大多数が理解	緊急事態宣言の発令や学内の感染状況等により、その都度、授業の実施方法等について学生に通知しているため。	特になし	今年度の授業についてのアンケートを学生に対して実施したところであるが、今後、本アンケートへの回答内容を確認し、学生からの意見・要望についての対応を検討していきたい。
918	鳴門教育大学	①②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	在学生にとっては、令和2年度後期の授業方針と同様であり、その授業形態について、既に理解・対応しているため。		授業の実施方針については、本学ウェブページ（在学生については、教務事務システムによる電子掲示板等も併せて活用）の掲載やリエンターションによる説明等により、学生にわかりやすい周知を行う。授業実施方針の改訂等にあたっては、授業評価アンケート等を通じて、学生の意見を取り入れる。
919	四国大学										④把握していない			
920	徳島文理大学										①ほぼ全員が理解	キャンパスガイドに授業や単位認定について記述して周知すると共に、全開講科目のシラバスにじゅぎょうしたいの欄を設けて示している。	特記事項なし	IP上に「令和3年度前期授業に臨むために」等を学生に示し、適切な対応を求めている。
921	徳島工業短期大学										①ほぼ全員が理解	これまで遠隔授業を実施していないから。		年度当初のオリエンテーションで周知。
922	阿南工業高等専門学校										①ほぼ全員が理解	令和2年度後期は全学生（在外1名を除く）が登校して対面授業を実施した。この方針を学内委員会でも確認し、共有している。BCPとしても同じく共有している。	異なる状況はありません。	令和3年度始業時にBCPを確認し、学生と共有する。
923	香川大学										②大多数が理解	全学生に対して大学メール及びホームページ上で、令和3年度の授業実施方法等について周知徹底を図った。		授業開始前のガイダンスにおいて、令和3年度の授業実施方法等について説明し、学生の理解や納得を得る。
924	香川県立保健医療大学										①ほぼ全員が理解			
925	四国学院大学	②			①			③⑤			④把握していない	学生に対して、上記についてのアンケートなどを実施していないため。		学生に対して細やかな学内情報を発信する
926	高松大学										①ほぼ全員が理解	後期成績通知時にゼミ担当教員から対面学修の重要性や感染防止対策を徹底することの説明をし、学生からは特に問い合わせが無いため。	特になし	座席指定や教室の消毒等を徹底する
927	香川短期大学	①②③④			①③			②③④⑤			②大多数が理解	令和3年度の授業形態については、新入生には3月に書面で周知した。併せて、「学びを継続するためのご協力をお願い」として、コロナ禍における学内外での過ごし方や遠隔授業への対応準備（インターネット環境やパソコン）を依頼した。学生・保護者から特設問い合わせもなく、概ね理解は得られていると考える。在学生については、昨年の前編終了時に実施した調査では、「遠隔授業と対面授業、どちらが集中して受講できますか？」という設問で、「授業の特性によって異なるため1つには選べない」と回答した学生を除くと、約7割が「対面授業」が集中できると回答し、「遠隔授業と対面授業、どちらが授業の内容を理解しやすいですか？」という設問では、同じく約8割の学生が「対面授業」が理解しやすいと回答している。このことから、原則対面授業を行うことに対して多くの学生の理解と納得は得られると考える。		
928	高松短期大学										①ほぼ全員が理解	後期成績通知時に研究室担当教員から対面学修の重要性や感染防止対策を徹底することを説明し、学生からは特に問い合わせが無い。	特になし	座席指定や教室の消毒等を徹底する
929	せとら観光専門職短期大学										②大多数が理解	本学の特徴のひとつである実習科目が多いこと、また学外で実施される臨地実務実習も必修課程の柱の一つであることから、オープンキャンパス等大学説明会時から新設校かつ単科校であるため異なる状況はあります。		学内においては対策をしっかりと実施していくことを周知するとともに、臨地実務実習科目が必修であること、かつ非常に重要な科目であることから、学内だけでなく学外においても、コロナ禍における現場での対応策についてしっかりと説明していきます。
930	香川高等専門学校										①ほぼ全員が理解	学校の方針は随時、学生・保護者に通知するとともに、ホームページにも掲載しているが、反対する意見や問い合わせは挙がっていない。		
931	愛媛大学	②③④⑤	「オンライン授業ガイドライン」や「遠隔授業をグレードアップするためのヒント集」を作成し、教員へ情報共有するとともに、学生・教員からのアンケート結果を分析し、課題改善に努めている。		①②③			①②③④⑤⑥			②大多数が理解	中間集計のデータであるが、令和2年度後学期末の学生アンケートにおいて、約70%の学生から授業全体を総合して満足との結果を得ている。		引き続き、個々の学生にきめ細かな情報提供、相談体制を継続する。
932	愛媛県立医療技術大学	③			①			③④⑤			④把握していない			
933	松山大学	①②④	該当せず	特になし	①③	該当せず	特になし	②③④	該当せず	特になし	②大多数が理解	ホームページや学内ポータルを通じて順次情報を発信している。	特になし	一般授業が始まるまでに授業に関するガイドラインを作成し周知する。
934	聖カタリナ大学	③			①			②④⑤			②大多数が理解			
935	松山東雲女子大学										①ほぼ全員が理解	令和2年度も対面授業を実施。授業改善アンケートの回答からも理解・納得がえられていると読み取れる。令和3年度も原則対面を行うため継続して理解が得られると認識している。		令和3年度の授業運営については、ホームページに既に掲載し周知しているが、新年度にリエンターションにて丁寧に説明する予定。
936	今治明徳短期大学										②大多数が理解	当大学は、コロナ禍になり始めた頃から、コロナ対策を講じながら対面授業を実施しており、学生の理解・納得は得ているものと考えている。		オリエンテーション等で詳細な説明を行う。
937	松山東雲短期大学										①ほぼ全員が理解	令和2年度も対面授業を実施。授業改善アンケートの回答からも理解・納得がえられていると読み取れる。令和3年度も原則対面を行うため継続して理解が得られると認識している。		令和3年度の授業運営については、ホームページに既に掲載し周知しているが、新年度にリエンターションにて丁寧に説明する予定。
938	松山短期大学										①ほぼ全員が理解	本学においては、2020年度後学期も対面での授業を実施しており、学生は2021年度前学期も対面での授業を実施するものと理解している。		授業に関するガイドラインを作成し公表する予定である。
939	新居浜工業高等専門学校										①ほぼ全員が理解	授業形態については4月に各科目シラバスで学生に周知することになるが、基本的には令和2年度後半で実施した形態、即ち対面授業中心であることは、ほぼすべての学生が理解していると考えられる。	特になし	授業担当者が最初の授業の時に授業形態について学生に説明する。
940	弓削商船高等専門学校										①ほぼ全員が理解			
941	高知大学	①②③④			①②③			①②⑤			④把握していない	感染防止ガイドラインや授業の実施方針はIPや教務情報システムを通じて周知している。令和3年度の授業形態に関するアンケートは実施していないが、令和2年度第2学期のオンライン授業に対する満足度は「強く思う」が11.6%、「そう思う」が34.8%、「どちらともいえない」が35.3%だった。		
942	高知県立大学	①②③			①②			①②③④⑤			②大多数が理解			

No.	学校名	遠隔授業の向上 方策	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	学生の理解を得 る取組	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	新入生等への配慮	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する課題の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項
943	高知工科大学	①②④		特にありません	①③		特にありません	①②③④⑤			②大多数が理解	当該学部の授業でよく使用するシステムの使用説明会を個別に開催	在学生については、今年度同様ポータルシステムと大学HPを使用して周知している。4月に入学する新入生については、「新入生特設ページ」を作成し必ず確認するよう周知している。	特にありません
944	高知リハビリテーション専門職大学										④把握していない	情報発信はしているが、理解や納得の状況等の調査は行っていないので。		理解や納得を得るため定期的に情報発信を行う
945	高知学園大学										①ほぼ全員が理解			
946	高知学園短期大学										①ほぼ全員が理解			
947	高知工業高等専門学校	①②③④		特になし	①②③		特になし	②③④⑤			①ほぼ全員が理解	在校生は、令和2年度に遠隔授業と対面授業の併用を経験しており、令和3年度に実施する予定の授業形態を理解している。新入生は、合格者数校日に一部科目で遠隔授業を行うことを説明し、入学後に全員にノートPCを貸与し、遠隔授業での使用方法等を周知徹底している。	特になし	新入生には、1年用ノートPCを貸与し、1年生研修や情報授業を通して、遠隔授業への対応方法（授業の受け方、課題の提出方法等）を理解させていく予定。
948	九州工業大学	①②③④	大学全体で共通した方針で取り組んでいるため、特定の学部・学年のみで限定している取組はない。		①②③		大学全体で共通した方針で取り組んでいるため、特定の学部・学年のみで限定している取組はない。	①②③④⑤			②大多数が理解	新入生を対象とした遠隔授業の受講円滑化を目的とした講習会を実施する予定の部局がある。	令和2年度に学生向けアンケートを複数回実施し、授業形態に納得していると回答した学生は過半数であった。そのため、令和3年度も過半数は理解していると思慮する。	令和3年3月末現在では取り出す予定の事項はないが、感染状況の変化等を踏み統括対応する。
949	福岡教育大学	①②③④	なし	なし	①②③	なし	なし	②③④⑤	なし	なし	②大多数が理解	本学の学期ごとに定めている授業の方針は細かに周知を行っており、相談窓口等は設けているが、特に方針に関する苦情等は寄せられていない。また、学生の求めに応じてそれぞれの授業担当教員が柔軟に授業方法の工夫を行うよう方針を策定していることから大多数の学生は本学の方針を理解・納得していると考えている。	引き続き、大学の方針や考えを明確に周知していくとともに、授業評価アンケートやその結果調査やヒアリングを行い、学生の理解や納得の状況を図ることとした。	
950	九州大学	①②③④			①②			①②③④⑤			②大多数が理解			
951	北九州市立大学	②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	2020年12月に「2021年度授業より対面授業での実施を原則とする」との方針を決定し、同月15日に全学生、保護者及び受験生に対しその旨の学長メッセージを示している。学生、保護者、受験生からの反対、異論は寄せられていない。	全学生を対象に2021年度第1学期において、学生の学習環境、学生生活全般について実態調査を行うこととしている。	
952	九州歯科大学	①②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	新入生オリエンテーションや初年次ガイダンスを実施し令和3年度における授業について説明を行い遠隔授業実施の決定を行う。	令和3年度の授業について大学から学生に周知するメールに対して質問が少数であるため。	4月に各学科・学年ごとのガイダンスを実施し、令和3年度の授業について大学から学生に周知を図る。
953	福岡女子大学	①②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	遠隔授業についての行った学生へのアンケート結果では、コロナ禍において、リアルタイム配信型の授業については多くの学生が対面授業と色違いの回答を得たため。	後期授業の実施方針を公表する際に、学生の理解を得られるように説明・周知していく。	
954	福岡県立大学	②④			①②			③④⑤			②大多数が理解	時間割上に対面で行う科目と遠隔で行う科目を別々に表示し提示したが、意見等は特に寄せられていない。	学期の進めが生じている学生についての支援体制を作っている。	
955	九州共立大学										④把握していない			
956	九州女子大学										②大多数が理解	学生の出席状況、アンケート結果等からそのように判断している	そのような状況にはないと判断している	適切な情報発信、遠隔授業に備えたICT環境の充実、授業方法の工夫を行っていく
957	九州国際大学	②③			①②			①②③			②大多数が理解	授業方針を公表し、履修登録も順調に進んでいる。		
958	福岡歯科大学										②大多数が理解	適宜、学生と面談を行い学生の意向の把握に努めている。	引き続き学生と面談を行い学生の意向の把握に努める。	
959	九州産業大学										②大多数が理解	令和3年度の授業形態について、学生にアンケートを実施し回答を得た。回答のまとめを大学HP等で周知した後、授業の実施方針を公表したが、特に問い合わせや苦情がないため、大多数の学生の理解は得られているものとする。	アンケート等を通じて学生の意見を集約するとともに、その結果のフィードバックを行う。また、学生の意見も踏まえて、大学としての考え方を明確に説明することで、学生の理解を得たい。	
960	久留米大学	②③④	文系学部では、多様なメディアを高度に利用して教材を作成し、毎回の授業においてシステム上で設問回答、添削指導、質疑応答等を行うとともに、コミュニケーションツールで学生からの質問に対応し、遠隔授業の質の確保に努めている。		①③			①③⑤			③大多数とは言えない	大学の方針について、すべての学生に対して調査を行っていないことから、把握できていない部分もあるため。	医学部においては、電子シラバスやLINEなどで、逐一情報提供に努めているため、大多数の学生は、授業の形態等について理解・納得していると認識している。	医学部：今後も電子シラバスやLINEを活用し、情報提供に努める。文系学部：大学HPやポータルシステムでの周知の徹底を行う。また、演習科目において、教員からの丁寧な説明を依頼する。
961	西南学院大学	②③			①			①③④⑤⑥			②大多数が理解	2021年2月22日付でHP上で「2021年度の授業実施に向けて」として、可能な限り対面授業を実施するという基本方針を公表した。加えて2021年3月10日には、HP、大学ポータルサイトにて、改めて主として対面授業を実施することを周知したため。――以下情報発信履歴――2020.11.2 学長からのメッセージ、2020.12.4 学長からのメッセージ、2021.2.22 2021年度の授業に向けて、2021.3.10 2021年度の授業について、2021.3.15 学長からのメッセージ	最新の感染状況を随時確認し、本学が定める行動指針に沿った授業の形態を、学生・保証人・教職員に速やかに周知していく。	
962	第一薬科大学										①ほぼ全員が理解	令和3年度の授業形態に関する本学の方針について、2021年3月1日付で本学ホームページ新着情報に、在校生・受験生・入学予定者・関係者あてに公表して以降、学生及び保護者からの問い合わせ、要望等はない。		
963	中村学園大学	②③④			②③			①②③④⑤			②大多数が理解	学生の納得度は把握していないが、毎年実施している授業アンケートによるとWEB授業の理解度・満足度は概ね良好であるため、理解していると考えている。		
964	西日本工業大学										①ほぼ全員が理解	令和3年度の授業実施形態について学生及び保護者より特段の異論はなかった。	今後、緊急事態宣言が再発された場合等は、遠隔授業を導入する説明を学生及び保護者へ行う予定である。	
965	福岡大学										①ほぼ全員が理解	本学の公式ウェブサイトおよび学生ポータルサイトに、令和3年度授業方法は、原則対面とすることを周知している。	感染症対策の取組等について、積極的に発信する。	
966	福岡工業大学	①②③④			③		学生チューター（大学生・大学院生）による、学修相談コーナーを設けている。	①②③④⑤			②大多数が理解	面接授業の実施を望む声が高まってきており、原則として面接授業を実施するとした本学の方針（ホームページにて公開）に対する苦情等はない。	特になし。	面接授業実施に対する感染防止対策のさらなる強化（履修人数の調整、産席指定など）
967	日本経済大学	②③④			①③			①③⑤			②大多数が理解	大学ホームページの学生掲示板に方針と授業の形態等について説明を記載している。	ない	学生掲示板の更新頻度を上げる。
968	久留米工業大学	①②③④			①②③			⑤			②大多数が理解			
969	産業医科大学	①②③			②③			①⑤			②大多数が理解	学生によって、遠隔授業について効率的に学習できると好意的に捉えている学生、面接授業での通学時や学生間での感染を不安に感じる学生、遠隔授業による経済的負担を感じる学生等、様々な意見があるため。	医学部では、高学年になるほど、遠隔授業の方がよいと考えている学生が多い。	学生から出された要望・意見については、できる限り対応する。
970	筑紫学園大学	③④			①②③			①②③			④把握していない			
971	福岡女学院大学	②④			①②③			①②③④			②大多数が理解	令和2年度に2回実施した学生へのアンケート結果に基づいて授業形態を検討した。	随時、学生の意見を集約するためにアンケートを実施する予定。	

No.	学校名	遠隔授業の向上 方策	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	学生の理解を得 る取組	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	新入生等への配慮	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する課題の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項
972	西南学院大学	②③④			①②③			②④⑤			④把握していない	2021年度の授業実施方針について、学生、保護者、入学予定者、関係者に向けて、早期段階で本学公式ウェブサイトに公表し、ご理解をいただくように努めている。	国試のある学科の4年生は、国試対策講座を実施している。遠隔で実施されることに不安を感じた学生より対面で実施して欲しいとの声もあった。	本学が作成している「新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのBCP」があることを学生に知ってもらい、学生、教職員の安全を考えていることを理解してもらう。その上で、学生からの意見や要望については、安全を一番に考えて、説明と対応するしかないと考えています。
973	九州情報大学	②③			①②③			②③④⑤			②大多数が理解	コロナ禍の現状、大学側が安全確保を踏まえ、授業形態の工夫、授業回数と質の確保に努めていることを、オリエンテーションなどを利用して周知に努めた。授業機会の中で常に学生の理解と納得に努めている。	学生が授業に取り組むまでの不便さなど、例えばPC環境やスキルなどでフォローアップ体制をさらに整える。また、遠隔授業はデュアルの常時公開や講義の実施、ゼミなどの少人数クラスでのフォローも充実する。	毎年、全学生対象に本学のIR推進本部が実施している「学生の満足度調査」において、実施形態も含めた授業の満足度並びに要望等を出してもらい、必要に応じて改善を行っていく。
974	九州栄養福祉大学	②③④			①②③			②③⑤			①ほぼ全員が理解	新入学生の不安を軽減するために、リハビリテーション学部において入学前教育をキャンパス内で実施した。	在学生については学内の学生専用ポータルサイトを利用してそれぞれに通知を行い、新入学生には文書を郵送している。また、その件についての問い合わせ対応等もしている。	毎年、全学生対象に本学のIR推進本部が実施している「学生の満足度調査」において、実施形態も含めた授業の満足度並びに要望等を出してもらい、必要に応じて改善を行っていく。
975	日本赤十字九州国際看護大学										①ほぼ全員が理解	学生からは、対面で実施した科目のアンケートに対面が良いという意見も聞かれた。また、授業形態を通知してから、特に問い合わせもない。		LMSを導入し、反転学習に取り組むことにより主体的な学習を促す予定である。学生にもガイダンスで周知する。
976	聖マリア学院大学	②④			①②③			①③④			②大多数が理解	授業評価の項目に、「当該科目の総合的な評価」を尋ねるものがあるが、昨年度とほぼ同じ結果で、8割以上の学生が、「非常に優れている」或いは「優れている」と回答しているため。		
977	福岡女学院看護大学	①②③			①③			①③④⑤			②大多数が理解	学生の自治組織によるアンケート調査において、現状における授業の形態について肯定し、理解を示す結果がでている。		今後も、状況の変化に応じて、授業の実施方法等を明示し、説明をおこなう。
978	保健医療経営大学										①ほぼ全員が理解			
979	純真学園大学	①②③			①②③			②④⑤			④把握していない	学生に対し調査等を行っていないため。		令和3年度前期オリエンテーションにて周知する。
980	福岡看護大学	②	単科大学であり事例なし	①②		単科大学であり事例なし	②④		単科大学であり事例なし		②大多数が理解	コロナ禍における公共交通機関等による通学が不安の首要が多く寄せられていたが、遠隔授業を取り入れたことで、座学は遠隔授業、演習・実習は対面ということで見直し、要望等が大学へ届かなくなったため。		単科大学であり事例なし
981	福岡国際医療福祉大学										②大多数が理解	授業アンケート等		丁寧な説明
982	折尾愛真短期大学	②			①			①②③			②大多数が理解	アンケート調査を行った。		
983	九州女子短期大学										②大多数が理解	学生の出席状況、アンケート結果等からそうに判断している	そのような状況にはないと判断している	適切な情報発信、遠隔授業に備えたICT環境の充実、授業方法の工夫を行っていく
984	東筑紫短期大学										①ほぼ全員が理解	在学生については学内の学生専用ポータルサイトを利用してそれぞれに通知を行い、新入学生には文書を郵送している。また、その件についての問い合わせ対応等もしている。		毎年、全学生対象にIR推進本部が実施している「学生の満足度調査」において、実施形態も含めた授業の満足度並びに要望等を出してもらい、必要に応じて改善を行っていく。
985	福岡女子短期大学										①ほぼ全員が理解			
986	近畿大学九州短期大学										①ほぼ全員が理解	令和2年度に感染対策を取り、対面授業を実施し、理解・納得を得たため。	回答なし	保護者ガイダンス、学生ガイダンスを実施する。
987	久留米信愛短期大学										①ほぼ全員が理解	令和3年度前期のオリエンテーションにおいて、教務部より授業の仕方について理解を促す案内をしている。各授業の開始時に毎回各教科担当者が授業の実施方法について説明をしている。毎日使用教室を含め消毒管理を行っている。以上3つの理由から理解納得してもらっていると考ええる。		コロナ化の現状把握と文部科学省からの指示に沿って順次検討していく予定
988	香園女子短期大学										②大多数が理解	令和3年度の方針について、現在のところ学生からの異論はないから。		※新年度オリエンテーション内で学事日程と併せて説明する。
989	純真短期大学										②大多数が理解			
990	精華女子短期大学										①ほぼ全員が理解	新年度開始に当たり、学内のオリエンテーションにおいて詳しく説明するため。		新型コロナウイルス感染症感染拡大で休校となる場合は、休校期間中の対応方法について説明を行う予定。
991	西日本短期大学										①ほぼ全員が理解	令和2年5月から全学的にコロナ感染予防を講じつつ対面授業を実施しており、学生からの不満の声はなく、学生の理解を得られていると考えている。		
992	九州大谷短期大学										①ほぼ全員が理解			
993	福岡こども短期大学	②③④			①②③			②③④⑤			④把握していない			
994	福岡医療短期大学										①ほぼ全員が理解	令和2年度中から繰り返し学生へ説明し、理解を得ているため。		
995	久留米工業高等専門学校										①ほぼ全員が理解			
996	有明工業高等専門学校										②大多数が理解	実践的技術者を育成する高専教育において、大多数の学生は面接による実験・実習に授業が必要であることを理解している。		年度始めのHR等において授業形態（感染状況によっては変更もあることを含め）の説明を行う。
997	北九州工業高等専門学校										①ほぼ全員が理解	令和2年6月29日（月）より遠隔授業から面接授業に全面的に移行し、令和3年度も面接授業を行うことを周知している。		遠隔授業期間中にオンラインおよびオンデマンド授業を実施し、教科や授業の録画等も準備できた。事後は教材等を活用した自主学習の定着や理解度の向上による教育の質保証への展開、長期欠席への対応等について検討を予定している。
998	佐賀大学	②③④			①②③			②③④⑤			②大多数が理解	特定の学部では、新入生が面接授業を受ける機会を確保するため、優先的に面接授業を行っている。		引き続き、授業アンケートの内容から、学生の理解・納得の状況を把握し、学生に寄り添った対応を行う。また、授業の形態等に関する方針等を定め公表するにあたっては、判断の理由や根拠等について、学生一人一人に伝わるような形で発信する。
999	西九州大学	②③④			①②			③⑤			②大多数が理解			
1000	佐賀女子短期大学										②大多数が理解	新入学生と保護者に対して、事前に、次年度の授業の方針を含む文書を送付しているが、特に意見や反対はあがって来ていないから。		学生に対しての遠隔授業や適環境についてのアンケートを実施する予定である。
1001	九州龍谷短期大学										②大多数が理解			



No.	学校名	遠隔授業の向上 方策	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	学生の理解を得 る取組	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	新入生等への配慮	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する課題の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項
1002	長崎大学	②③	資料のみの配布は禁止し、音声を入れてわかりやすくすること、スライドの背景色に配慮の低い色を採用し文字情報を差別しやすいレイアウトにする。また、サポート窓口を設けて遠隔授業についていけない学生の救済を行う。		②③			①③		特になし	③大多数とは言えない	クォーターやセメスターごとに学生に授業アンケートを実施しており、その結果を踏まえて、令和3年度の授業実施の方針を決定している。また、大学全体としての授業方針を示し、各学部を通じて教員にも説明を行っており、かつ、学生に対しても、特になし一定数の理解は得られているものと判断している。	特になし	特になし
1003	長崎県立大学	②			①			①⑤			②大多数が理解	令和2年度は第4学期から大きな変更はなく、令和3年度第1学期の授業実施方針を示した点も学生からの苦情は特になかった。		
1004	長崎総合科学大学										①ほぼ全員が理解	令和2年度後期の開始時期に、学生から「他大学は遠隔で講義を実施しているので本学も対応してほしい」との意見があったが、学長名で対面で講義を実施する方針であることを改めて周知したところ、学生からは特に意見はなかった。	令和3年度入学生に対し、学長名で講義実施の方針と感染防止のための注意事項を改めて周知する。	
1005	活水女子大学										①ほぼ全員が理解			
1006	長崎純心大学	①②③④			①②③			①②③④⑤			①ほぼ全員が理解	前もって学生全員に次年度の授業実施方針を伝えるため。		
1007	長崎国際大学	①②③④⑤	オリエンテーションにおいて、遠隔授業について説明を行うとともに、期間を例年より長く設定し、2日間ほどZoom等の試運転期間を設けている。特に新入生は、教員が対応する時間を別途設け担当教員と直接やりとりができるようにしている。また、新入生へは、早い時期から、大学HP、手紙等でパソコン・タブレット等でのインターネット環境の準備をお願いした。		①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	在学生についてはこれまでのアンケート結果を見る限り、概ね現在の状況を理解していると思われる。学生へは、令和2年度より即や学内ポータルサイトを通じて、授業形態や学生の日々の健康管理、コロナ禍の状況等について、さまざまな情報発信を行っている。加えて、在学生アンケートや学長カフェ等において積極的に学生の意見を聞き、常に改善に心がけて来た。また、医学部を持たない大学としてPCR検査（NIU疾患検査センター）や診療所（利休庵診療所）を設置する等し、学・教職員双方の安心・安全を第一に考え、学内でのクラスター発生を未然に防ぐ対策を行っている。学部の構成上、病院、薬局、福祉施設、教育施設や教育現場等への実習が多いことから、学外実習へ行かせる前にPCR検査を行い、陰性証明書を発行した上で実習を行うことで、施設及び地域住民の信頼も得ている。	PCR検査場（NIU疾患検査センター）に加えて、学内に診療所（利休庵診療所）を設置しており、体調のすぐれない学生に対し、診療から検査まで、一括して大学で実施できる体制を構築した。このことにより、未だに感染拡大を防ぎ、先では学生に対するワクチン接種まで実施できる体制を構築する。このような体制を学生に通知し、対面授業が増えたと安心して通学できる環境であることを理解してもらおう。	
1008	長崎外国語大学										①ほぼ全員が理解	学内ポータルにて全学生宛に方針説明のメッセージを发出済みであり、現在まで否定的な反応は皆無である。	新年度オリエンテーションにて再度学生に本学の感染防止対策を説明のうえ理解を得よう努める。	
1009	鎮西学院大学										②大多数が理解			
1010	長崎女子短期大学										①ほぼ全員が理解	特になし		
1011	長崎短期大学										①ほぼ全員が理解			
1012	佐世保工業高等専門学校										①ほぼ全員が理解	全学生に対し、遠隔授業に関するアンケートを行った際に、対面授業を希望する学生が多かった。また、授業形態についてはクラス担任等により学生へ周知されている。		
1013	熊本大学	①②③④			①②③			②④⑤	学生同士の交流機会を増やす等のため、以下の取組を各部等で実施。 ・なんでも相談会（先輩学生との交流会：教育学部） ・学生研修（学生同士の交流会：工学部） ・自己紹介会（授業終了後に開催：学生主催、医学部） ・新入生歓迎研修会（学生等の交流会：教員主催：薬学部）		②大多数が理解	本学の学部生・大学院生（専攻科・別科生を含む）を対象に、令和2年11月から令和3年1月にかけて、コロナ禍における授業の受講状況等に関するアンケート調査を実施し、7割以上の学生が時間や場所にとらわれず、自分のペースで学習できることを遠隔授業のメリットと感じ、早期の対面授業開始を希望する学生が2割ほどだったことが判明した。	対面授業と遠隔授業を効果的に併用する等、学修機会の確保と感染防止の徹底の両立を図ることを学生へ通知している。引き続き、情報通信機器等の貸出や学内施設の開放など、学生の通信環境の確保に向けた支援を行う。	
1014	熊本県立大学	②③④			①②③			②③④⑤			①ほぼ全員が理解	シラバスに記載している。		
1015	筑城大学	②③④			②③			①②③④⑤			②大多数が理解	コロナ禍における学修に関するアンケートを実施する際、面接授業、遠隔授業ともに改善に役立てる旨の説明を行っている。実際にアンケートの結果、学生が遠隔授業の利点を考慮した上で、遠隔授業で行ってほしいと希望している科目の要望があがっていた。	授業アンケートを継続的に実施し、その結果をFD委員会で共有し、様々な面から改善を行っていく。	
1016	熊本学園大学	②⑤	オンライン形式での公開の期間は最低でも1週間とする。問題や課題は過度な量とならないよう留意する。		①			②⑤			②大多数が理解	全学生に対して授業の実施方針を示している。		新入生オリエンテーション時の履修指導の際、遠隔授業について説明を行う。
1017	尚絅大学										②大多数が理解	学生の一部に本人又は同居親族に健康の問題を抱えていること等を理由に遠隔授業を希望する学生がいるため。	特になし	感染拡大期における授業配慮願いを提出させ、当該学部において可否を審議して対応する。
1018	九州ルーテル学院大学	①②③④			①②③			②③④⑤			①ほぼ全員が理解	令和2年度は、前期・後期のそれぞれにおいて、学生を対象とした遠隔授業に関する意識調査を行い、学内のFD研修にてフィードバックを行った。		
1019	九州看護福祉大学										①ほぼ全員が理解	新年度についての授業案内で周知している。		オリエンテーションで重ねて周知する。
1020	平成音楽大学										①ほぼ全員が理解	学生の希望を踏まえつつ、感染対策の徹底、学生への説明に努めているから。		感染対策を徹底するとともに、職員・学生への注意喚起による行動変容を促す。
1021	熊本保健科学大学	②③④⑤	令和2年度後期より、新たな授業支援システムを導入した。		①②③			①②③④			②大多数が理解	面接授業においては学内でPCR検査を行うなどし、安心して授業に臨めるようにしている。一方、遠隔授業においては新たな授業支援システムを導入するなどし、教育効果が高まるよう努めている。	学修行動調査（全学生を対象とした調査）に基づき、学生との意見交換の場を設ける。	
1022	中九州短期大学										①ほぼ全員が理解	周辺地域の感染者も少なく、対面授業をやらない方が不自然に思える状況だから		
1023	熊本高等専門学校										④把握していない	令和2年度後期は対面授業を実施しており、令和3年度の実施方法も同様であり、特に変更等の通知をおこなっておらず、学生の理解・納得等の状況について把握することはおこなっていない。また、個々の学生の状況に応じた対応については、個別におこなっており、適宜情報の把握をおこなっている。		

No.	学校名	遠隔授業の向上 方策	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	学生の理解を得る 取組	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	新入生等への配慮	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する取組の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項
1024	大分大学	①②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	令和3年度前期の授業の実施形態について、全学生にメールを送信するとともに、ホームページに掲載し、周知を図っているが、学生から理解・納得がでないという意見等は届いていない。今後、更に学生の理解・納得の状況を詳細に把握するために、授業開始後に、全学生を対象としたアンケートを実施予定である。		・学生へのガイダンス等において、授業実施形態について、理解が得られるよう丁寧に説明を行う。 ・授業実施形態に変更がある場合は、全学生に対してメールを送信するとともに、ホームページに掲載し、周知を図る。 ・学生からの意見については、WEBページの意見箱で、随時受付を行い、回答を行う。
1025	大分県立看護科学大学	①②③			①②			①②			②大多数が理解			
1026	大分県立芸術文化短期大学										①ほぼ全員が理解	令和2年度に学生を対象としたアンケート調査を実施し、授業の形態等について現状維持を訴えるニーズが高い傾向にあることから、授業形態等についての理解・納得は得られているものと思われる。	新入生オリエンテーションや学年別オリエンテーションにおいて、使用機器や使用アプリケーションの解説機会を持つと共に、授業評価アンケートなど学生を対象とした各種アンケート調査等から学生の理解や納得を得られる事項の把握に努め、そのフィードバックを授業運営に役立てていく予定である。	
1027	日本文理大学	①②③④			①②③			①②③④⑤			①ほぼ全員が理解			
1028	別府大学	①②③④			①②③			①②③④⑤			①ほぼ全員が理解	授業評価アンケートの回答や学生とのFD活動などからほぼ全ての学生が本学の授業の形態等について理解していると判断している。	新入生・在校生オリエンテーションでの周知、学生へのWebでの周知。授業開始時の教員からの説明、学生とのFD活動。	
1029	立命館アジア太平洋大学	①②③④			①②③			②③④⑤			①ほぼ全員が理解	留学生が半分を占める本学の特性から、ほぼすべての授業の遠隔実施は学生の理解を得られていると考える。また、同様の理由から遠隔・面接同時実施の比率を2021年度に大きく高めたことで学生のニーズに対応していると考える。加えて、新型コロナウイルスの感染拡大によってはいつ遠隔授業のみ実施に切り替わるか見通せない中、キャンパスに通りやすいようにキャンパスへの交通費の支援も実施しており、学生にキャンパスに来て欲しいという大学のスタンスは一定程度、学生に伝わっていると考えている。	学生生活を充実させるための各種取り組みについて、学生の視点を取り入れるため学生組織を立ち上げ、今後、様々な企画を展開していく予定である。	
1030	大分短期大学										④把握していない			
1031	東九州短期大学										②大多数が理解	単科の小規模校であるため、学生への周知を徹底することができている。	学内の方針や取り組みをオリエンテーション等を通じて丁寧に説明していく。	
1032	別府清部学園短期大学										①ほぼ全員が理解	全学生に対し、本学学長のメッセージを配布した。合わせて、各学科長が全学生に直接授業を行うことが、学生の教育成果につながる主旨で、直接の説明を行い、学生の理解を得ている。また、今後感染拡大が繰り返される場合は、最低限の期間の遠隔授業を行うことには納得していただいている。	上記3-11に記述した対応を丁寧に実施していく。	
1033	大分工業高等専門学校										①ほぼ全員が理解			
1034	宮崎大学	②③④			①②③			①②③④⑤			④把握していない			
1035	宮崎公立大学	②③④			①②③			②③④⑤			②大多数が理解	遠隔授業に関する学生アンケート（本年2月実施）において、令和3年度の授業実施方針について尋ねたところ、「ほぼ全ての科目を対面授業で行ってほしい」「対面授業を7～8割としてほしい」「対面授業を半分にしてほしい」「対面授業を2～3割としてほしい」「ほぼ全ての科目を遠隔授業で行ってほしい」という5つの選択肢について、回答がほぼ均等に分かれた。この結果は、全体としては、遠隔授業の実施にあたり、LMSの導入や教員への遠隔授業のサポート等を行ったことにより、学生に対して、ある程度納得感のある授業を実施できていることを表している一方、個々の学生が置かれている環境等により、遠隔授業の受け取り方が異なっていることにもなるものと考えられる。また、令和3年度は対面授業を主体とする方針を3月5日に学生に通知したが、その中で、学内の安全安心な環境を整え、上で、履修人数の多い一部の科目を除き、対面授業を行うこと、また、感染状況により授業方法を見直すことがあること、更には、学生アンケートの結果により、遠隔授業のメリットを感じている学生がいる一方、対面に戻して欲しいという切実な声も届いていることを丁寧に説明し、学生の理解・納得を得るようにした。	学生アンケートを行う等、学生の意見を聞く機会を設け、頂いた意見を参考に、授業実施方針を判断したり、授業の内容や実施方法等の改善を図ったりしていきたい。	
1036	宮崎県立看護大学	②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	学生に対しては、ガイダンス等において、本学の方針を説明している。また、学生に対する「令和2年度前期授業の遠隔授業に関する調査」において、「遠隔授業の満足度」において、「とても満足」「まあ満足」との回答が75%以上「学修内容の理解」については、90%を超えており、大多数の学生は、理解・納得していると考えている。	新年度ガイダンス及び授業形態が変わる際の説明会の実施	
1037	南九州大学	②③			①			①③④⑤			④把握していない	現時点では、授業実施体制について詳細な説明をしていないため。		
1038	宮崎産業経営大学	①④			①②			②④			①ほぼ全員が理解	新入生に対するオリエンテーションにおいて遠隔授業の実施方法について説明を行う	授業アンケートの実施	継続的な授業アンケートの実施
1039	宮崎国際大学										②大多数が理解	2年以上の学生は授業しているが、新入生に対してはオリエンテーション等で周知する。	なし	オリエンテーション等で周知する。
1040	九州保健福祉大学										①ほぼ全員が理解	事前に方針は伝えられており、方針に対する問い合わせなどを受けていないため。	事前の周知に対して、大きな差は出ていないと認識している。	感染対策の観点からも授業開始前約2週間の期間を設け、事前のオリエンテーションを徹底して行い、令和3年度の対応・方針等を説明。
1041	南九州短期大学										④把握していない	現時点では、授業実施体制について詳細な説明をしていないため。		
1042	宮崎学園短期大学	①②③			①③			②④			①ほぼ全員が理解	授業評価アンケートの評価が高かった。また、コメントでリモート授業と対面授業の良い点と悪い点が把握できていることがわかった。		
1043	都城工業高等専門学校	①②③④			①③			①②③④⑤			③大多数とは言えない	現在、授業の形態に関する本校の対応基準等を改訂中であり、学生への周知についてはこれから実施する予定であるため。		授業評価アンケートや学習環境調査アンケートなどにより学生の満足度や理解度を調査し、改善すべき点を改善することで学生の満足度を向上させ、本校の授業形態に理解・納得してもらう予定である。
1044	鹿児島大学	①②③④			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	ホームページや学習管理システム（manaba）において授業形態に関する本学の方針を掲載して周知している。また、学生へのアンケート調査で理解度の状況把握に努めている。		
1045	鹿児島体育大学	①②			①②③			②③④⑤			②大多数が理解	令和2年度後期についてはほとんどの授業において対面で実施しているが特設学生からの不満もないことから問題ないと考えている。また、3密を避ける環境が確保できない等、対面授業を行うにそぐわない状況である場合に限り遠隔で実施することについても、コロナの感染対策の取り組みとして学生の理解が得られると考えている。	オリエンテーションやガイダンス等において学生へ周知するほか、必要に応じてアンケート調査を実施する予定である。	
1046	鹿児島県立短期大学	②④			①②			②④			①ほぼ全員が理解	新年度の授業対応は、昨年度後期からの継続であり、在学生について周知と理解は進んでいると思われる。今後新入生への周知理解が課題である。	新入生に関しては、入学ガイダンス並びに受講登録ガイダンスにおいて、在学生については、受講登録ガイダンス時に周知を図る予定である。	

No.	学校名	遠隔授業の向上 方策	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	学生の理解を得 る取組	その他の具体的内容	特定の学部や学年での 取組	新入生等への配慮	その他の具体的内容	特定の学部等での取組	学生の理解・納得	学生の理解に関する課題の理由	特定の学部等での状況	今後、学生の理解のために取り組む事項
1047	鹿児島国際大学										①ほぼ全員が理解	令和2年度の学生による授業アンケートの結果では、遠隔授業を望む声はほとんどなく直接授業の実施を望む学生の声が多かった。その為、令和3年度も原則として直接授業を実施する方針は、ほぼ全ての学生に理解・納得されていると考える。		
1048	第一工科大学	①②③④		なし	①②③		なし	①②③⑤		なし	②大多数が理解	各学科クラスアドバイザー等を通じて、来年度の授業形態について説明しており、大多数の学生が理解しているものと認識している。納得しているかどうかについては、大多数の学生は現状を要け入れざるを得ない状態であり、本当に納得しているかは、程度の差があるものと考えられる。コロナ禍の状況を勘案しつつ、時間をかけて説明していく所存である。	1 年度当初実施するオリエンテーションでの十分な説明 2 学修管理システムMoodleを活用した学生からの意見の聴取 3 アンケートの実施（前期及び後期）	
1049	志学館大学										②大多数が理解	これまで大学ホームページ等を通じて、入学志願者や保護者等向けに授業の形態等を含め、本学の学活動の方向性に関する学長メッセージをその都度発信し、周知・理解を図っている。これに加え、学生に対しては、学生ポータルサイトへの各種情報発信を行い、全ての学生に迅速かつ確実に行き渡るように留意している。また全ての授業科目のシラバスに授業実施形態を明記し、授業の選択や事前の準備を適切に行えるように配慮している。不安や困難を抱える学生に対しては、指導教員や学生支援室を中心に内容を聞き取り、必要に応じて個別に対応している。困難がある場合、通常授業に対する代替的措置があることも丁寧に周知してきている。		
1050	鹿児島純心女子大学	①②③④			①②③			①②③④			②大多数が理解	学生に実施した遠隔授業に関するアンケート調査で、肯定的な意見が多くあった。	年度当初のオリエンテーションで、授業方法（学修時間の確保）や感染予防について説明をする。	
1051	鹿児島純心女子短期大学										①ほぼ全員が理解	特になし	特になし	特になし
1052	鹿児島女子短期大学										①ほぼ全員が理解	学生には、本学HPやユニバーサルサポートで随時周知している。	特になし	特になし
1053	第一幼児教育短期大学	①②			①			②③⑤			②大多数が理解	今年度、遠隔、対面両方の授業を経験しており、都度説明を行っているため。ただし、感染状況に応じて対面から遠隔に切り替える際の期間が開いていると、対応に困難をきたす学生もいたため。	年度初めにオンライン授業に関する研修、説明会を実施する。	
1054	鹿児島工業高等専門学校										①ほぼ全員が理解	鹿児島県内の感染状況が拡大していないこと、学生からのアンケート結果から、対面授業及び授業サポートについて、概ね対面授業に満足している結果となったため。	本校ではほぼ全ての授業を対面授業で行い、その補助的ツールとしてオンライン授業の手法を活用することとしており、また、学生のアンケートでは、概ね対面授業に満足している結果となったことから、学生の理解や納得を得るための特設の説明会の開催等は予定していない。	
1055	琉球大学	②③④	医学部においてバーチャルチャット（Web経由で顕微鏡画像を観察できるシステム）活用や症例検討を中心としたオンライン実習を実施した。		①③		特になし	①③④⑤		特になし	②大多数が理解	令和2年度前期授業評価アンケートでは授業全体の満足度について71.6%の学生が肯定的な回答を寄せていることから大多数の学生から、理解を得られていると判断した。また、令和3年度は令和2年度に得られた課題もに、更なる学習効果を最大化するための遠隔授業・対面授業のベストミックスを目指していくこととしている。	授業評価アンケートで得られた課題をもとに、FDガイド（遠隔授業編）を作成し、オンデマンド型授業の授業デザインやオンライン授業の留意点、ビデオ会議サービスの比較、シラバスで明記すべき事項、遠隔授業の好事例、成績評価の考え方、障がいを持つ学生への配慮等、様々な情報を集約している。令和3年度の授業実施にあたっては、学生の学習機会の確保と新型コロナウイルス感染症対策の徹底の両立を行い、学生が安心して学習できる機会・環境の確保のため、上記FDガイドに基づく工夫を行いながら、更なる学習効果を最大化するための遠隔授業・対面授業のベストミックスを目指していくこととしている。	
1056	名桜大学	①②			①②③			①②③④⑤			②大多数が理解	学生を対象とした「令和2年度遠隔授業受講に関する実態調査」のアンケート結果を根拠としております。	面接授業と遠隔授業を同時に実施していることについて、4月上旬の対面における新入生ガイダンスや在学生オリエンテーションにおいて、説明指導することとしている。	
1057	沖縄県立芸術大学	②④			①②③			④⑤			②大多数が理解	令和2年度後期から、専門科目で面接授業を行っており、納得は得られているものと理解している。	授業評価アンケートや遠隔授業アンケートを通じて学生の意見を確認し、改善に努めていることとしている。	
1058	沖縄県立看護大学										①ほぼ全員が理解			
1059	沖縄科学技術大学院大学										①ほぼ全員が理解	本回答は昨年初めて遠隔授業を行ったときに実施した調査結果に基づき回答しているため関係する調査を実施していないため回答不可。	今後も実質差が発生した場合はその都度学生に周知し、教育形態についての意見を求めている。	
1060	沖縄国際大学	③			①			①⑤			①ほぼ全員が理解	本学の指針を学内ポータルシステムより全学生へ提示、周知している		
1061	沖縄大学	③④			①			⑤			②大多数が理解	HPやメール等での説明のほか、新入生及び在学生に新年度オリエンテーションを実施しているため。	新型コロナウイルス感染症に関する対応において、特設サイトを設置しているが、今後も随時情報を掲載していく予定。	
1062	沖縄キリスト教学院大学										①ほぼ全員が理解	令和2年度後期の授業方針決定の際、学生の理解を得るために学内及びホームページ等において公表・周知徹底の取り組みを行ったため。	フレッシュマン・セミナー及びゼミ科目等において、授業実施方針の周知と学生から寄せられる相談等に応じて支援内容、体制を検討し、丁寧な説明、情報共有、対応に努める。	
1063	沖縄キリスト教短期大学										①ほぼ全員が理解	令和2年度後期授業方針決定の際、学生の理解を得るために学内及びホームページ等において公表・周知徹底の取り組みを行ったため。	フレッシュマン・セミナー等において、授業実施方針の周知と学生から寄せられる相談等に応じて支援内容、体制を検討し、丁寧な説明、情報共有、対応に努める。	
1064	沖縄女子短期大学	②④			①③			②④⑤			③大多数とは言えない			
1065	沖縄工業高等専門学校										②大多数が理解	令和3年度の本科2年生以上の学生については、令和2年度において、熊鷹自の緊急事態宣言下においても十分な感染対策を講じた上で、面接授業を継続できたことを経緯としており、令和3年度の授業形態について十分な理解・納得が得られているものと考えられている。	本校においては、学科や学年によって、令和3年度の授業の形態への理解・納得の度合いが異なるようなことではないものと認識している。	

令和3年度前期の大学等における授業の実施方針に関する調査 (③施設・部活動・式典の取扱いについて)

No.	学校名	施設の利用可否	図書館の対応	その他の具体的内容	図書館の制限の代替措置	運動部活動の対応	部活動の制限の理由	その他の具体的内容	学生のメンタルケア	その他の具体的内容等	卒業式の実施有無	不実施の理由	入学式の実施有無	不実施の理由	卒業・入学式の工夫	その他の具体的内容
1	北海道大学	②一部利用制限	①②③	電子資料の拡充、オンライン講習等の実施、自宅への図書郵送サービス、窓口のリモート対応システムの導入（R予定）などの取組を行っている。	②一部禁止		②一部禁止 ③一部制限 ④一部制限 ⑤一部制限 ⑥一部制限 ⑦一部制限 ⑧一部制限	「⑧上記に当てはまるもの以外の独自の取組」の具体的内容は次の(Ⅰ)及び(Ⅱ)のとおりである。(Ⅰ)ワークショップやグループの実施 1)【オンラインワークショップ】カウンセラーがコロナ禍における学生の困りごとに即したテーマを取り上げ、全学生対象にオンラインでランチを取りながら参加する方式で実施した。 2)【コミュニケーショングループ】学生同士の交流を促しつつ、コミュニケーション実践の場としてグループカウンセリングを実施し、周りの人とうまくコミュニケーションをとるためのコツについて、グループのメンバーやカウンセラーと一緒に考えた。 3)【サポートグループ】新入留学生を含む学部留学生の相互交流を促進するためのサポートグループによる活動を行った。 4)【リカバリーセッションワークショップ】アクセス可能な情報やサービスが少ない傾向にある英語話者学生向けに、オンラインでのリカバリーセッションワークショップを実施した。(Ⅱ)学生ピアサポーターによるコロナ禍での学生生活「Good Practice」集等の情報発信 (HP掲載・SNS・リーフレット配布等)	①②③④⑤⑥⑦⑧		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
2	北海道教育大学	②一部利用制限	①②③			①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		④入学式や代替措置を実施する予定はない。		①②④	本学の入学式は、北海道内にある各キャンパスから新入生を一同に介し実施しており、移動に伴う感染リスク等も考慮して中止した。なお、学長からの新入生へのメッセージについては、ホームページ等に掲載することとした。
3	室蘭工業大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
4	小樽商科大学	②一部利用制限	①②③	学外からも利用可能な電子書籍の整備やオンラインでの利用者教育、レジャーカード及び学生パスを学外からアクセス可としている。	①対策しつつ全面実施				①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	式典の時間を短縮したり、授受式をDVDで代替した。また、参加者を卒業生・新入生のみに限らず、当日参加できない保護者に対しては式典映像をLive配信した。
5	帯広畜産大学	②一部利用制限	①②③	図書館の予約について遠方において来館できず期限に合わない場合は郵送での返却を認めている。学生が電子ジャーナル及びデータベースを学外からアクセス可としている。	①対策しつつ全面実施				①②③⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
6	北見工業大学	②一部利用制限	①②③			①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥⑦		①卒業式実施		②入学式を延期し実施		①②④	
7	旭川医科大学	①全面利用可能				④その他		①②③⑥		①卒業式実施		③代替措置実施		①②④		
8	北海道公立大学法人 札幌学院大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
9	公立はこだて未来大学	②一部利用制限	①②③⑦	QRコードにより、利用者・利用状況を把握するための措置を講じる	②一部禁止				①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
10	創価立大学	②一部利用制限	③⑦	学外者の利用をお断りしている。		①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	式典は、教職員と卒業生（新入生）のみで実施。卒業式では、参加出来なかった卒業生、保護者を対象にYouTubeの限定Live配信を行った。また、入学式についても、参加が出来ない保護者等に向けてYouTubeのLive配信を行う予定である。
11	名古屋市立大学	②一部利用制限	①②③④			④その他			①②③④		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
12	札幌市立大学	②一部利用制限	①②③			①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		②代替措置実施		①入学式実施		①②④	
13	公立千歳科学技術大学	②一部利用制限	①③			①対策しつつ全面実施			①②⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
14	札幌大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑧		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	混雑を避けるため、分散退場を実施し、記念撮影に用いられる看板を従来より多く設置する。保護者向けに、後日、動画を配信する。
15	札幌学院大学	②一部利用制限	①⑦	日曜・祝日開館は実施しない。		①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
16	函館大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
17	藤女子大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
18	北星学園大学	②一部利用制限	①②③			①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	

No.	学校名	施設の利用可否	図書館の対応	その他の具体的な内容	図書館の創設の代替措置	運動部活動の対応	部活動の創設の理由	その他の具体的な内容	学生のメンタルケア	その他の具体的な内容等	卒業式の実施の有無	不実施の理由	入学式の実施の有無	不実施の理由	卒業・入学式の工夫	その他の具体的な内容
19	北海道大学	②一部利用制限	①②③			①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		③代替措置実施		①②④	
20	北海道科学大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
21	酪農学園大学	②一部利用制限	①			④その他		申請、許可された部活動のみ活動可能。	①②③⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
22	旭川大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
23	北海道医療大学	②一部利用制限	①②③			④その他		新型コロナウイルス感染症対策として非接触型サービスの向上に取り組んでいる。令和2年度より、シラバスに掲載された教科書の在庫は、可能な限り電子ブックを購入する方針とした。電子ブックは、ダウンロードが可能な資料も多く、利便性について周知を図っている。電子コンテンツにかかる講習会や講義室等において不定期に開催しているが、対面式の講習会開催は難しいため、オンライン講習会並びにオンライン配信を行う。受講しやすい環境を整えている。過年度より、学外からのリモートアクセスは整備されており、各種お知らせは図書館ホームページから配信を行っている。また、メール等による各種問合せも受け、返信対応などの工夫を図って適宜対応している。今後も図書館利用に関する各種情報を発信し、非接触型の利用環境を整備していく予定である。	④その他	感染対策を講じた活動計画を提出した部に対して、内容を判断の上、個別に活動を認める予定。	①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
24	北海商科大学	②一部利用制限	①②③			④その他		サークル活動を行う団体は、感染防止策を含めた活動計画を学生支援センター長に提出し、許可を得なければならない。	①②③		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
25	星架坡都大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
26	北海道情報大学	②一部利用制限	①②③			②一部禁止		・学外からでも利用できるデータベース、電子書籍の充実・郵送による貸出：返却（学生は無料）	①②	原部全面禁止の予定だが、大会参加など理由がある場合は、許可制とする予定。	①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
27	札幌国際大学	②一部利用制限	①②③			①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
28	北翔大学	②一部利用制限	①			②一部禁止		部活動において、コロナ感染者が発生したため。	①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
29	北洋大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
30	日本赤十字北海道看護大学	②一部利用制限	①③			③全面禁止		感染リスクを軽減するため。	①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
31	北海道文教大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
32	天徳大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
33	椋内北星学園大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
34	札幌大谷大学	②一部利用制限	①②			①対策しつつ全面実施		特になし	①②③④⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
35	札幌保健医療大学	②一部利用制限	①②③			①対策しつつ全面実施			①③⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
36	日本医療大学	②一部利用制限	①②⑤			③全面禁止			①②③④		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
37	北海道千歳リハビリテーション大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
38	銀路短期大学	②一部利用制限	①②③			②一部禁止		人数が過密となる場合は、使用制限を要する。	①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
39	帯広大谷短期大学	②一部利用制限	①			④その他		各運動サークルで感染予防に配慮した活動計画を提出してもらい、学校で内容を審査の上、活動の可否を判断する。	③		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
40	光塩学園女子短期大学	①全面利用可能				④その他		運動部がないため。	①②③④⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
41	函館大谷短期大学	①全面利用可能				④その他		各サークルの判断に委ねている	①		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
42	函館短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
43	拓殖大学北海道短期大学	②一部利用制限	①③			①対策しつつ全面実施		利用できる座席数を減らしても特に支障がないので、代替措置は行わない。	①②		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
44	北海道武蔵女子短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
45	小牧工業高等専門学校	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
46	函館工業高等専門学校	②一部利用制限	①③⑦			①対策しつつ全面実施		座席の制限と学外者の利用不可だけであるため、学生の学修や研究に影響を与えるものではないと考えている。	①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
47	釧路工業高等専門学校	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑦⑧		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	式典映像の配信
48	旭川工業高等専門学校	②一部利用制限	①③			①対策しつつ全面実施		再び遠隔授業が実施される場合に備えての電子書籍の導入。	①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
49	弘前大学	②一部利用制限	①③			①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	卒業式、入学式のライブ配信を行った。
50	青森公立大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
51	青森県立保健大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②④⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
52	青森大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
53	森田学園大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
54	弘前学院大学	①全面利用可能				②一部禁止		大会等がある部活動以外は当面禁止する。	①②⑥⑧	オフィスアワー、チューター制度の活用や各学部学生相談教員を配置して学生のメンタルヘルスマスクに当たっている。	①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
55	八戸工業大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②④⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	



No.	学校名	施設の利用可否	図書館の対応	その他の具体的な内容	図書館の創刊の代替措置	運動部活動の対応	部活動の創刊の理由	その他の具体的な内容	学生のメンタルケア	その他の具体的な内容等	卒業式の実施有無	不実施の理由	入学式の実施有無	不実施の理由	卒業・入学式の工夫	その他の具体的な内容
56	八戸学院大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
57	青森中央学院大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
58	弘前医療福祉大学	②一部利用制限	①②③		感染者が学内で出た場合の措置で②、③は期間を限定して行う。パソコン・スマホ等で情報検索を行うよう指導する。	②一部禁止	身体接触あるいは密になりやすい環境は、感染収束が予測されない現状では当面禁止する予定。		①②③④		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
59	青森明の星短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
60	青森中央短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
61	八戸工業高等専門学校	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
62	岩手大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥		②代替措置実施		③代替措置実施		①②④	
63	岩手県立大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦⑧	悩みを抱えている学生や不向き傾向の学生、障がいのある学生のための支援員として「学生サポートセンター」を開設しており、常駐している専門員への相談の他、休憩、自習等のために学生が自由に利用できるようになっている。	①卒業式実施		①入学式実施		①②⑤	次第を簡略化し開催時間を短縮して行う。
64	岩手医科大学	②一部利用制限	⑦		・入館時の手拭消毒・館内の注意喚起の掲示（ソーシャルディスタンス保持、マスク着用、換気チェック、会話を慎む、ゴミ放置禁止）・ラウンジのモンスは、席数を減らして使用としている。	④その他	今後の感染状況により、随時検討し、対応していく予定です。		①②③④⑥⑦⑧	①メンタルへする講習会やセミナーの企画、啓発物を送った情報発信②メンタルヘルスネットワークにて把握し、相談室から連絡をとって対応につなげている。	①卒業式実施		②入学式を延期し実施		①②④	
65	富士大学	②一部利用制限	①②③		パソコン等の利用が多いため、可能な時は教務部と連携して他のパソコン教室でも利用できるようにしたいと考えている。座席は3人掛けのソファ座を利用制限としている。他の空いている1人用ソファ座等に移ってもらう。	①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①	
66	盛岡大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
67	岩手保健医療大学	②一部利用制限	①③			②一部禁止			①②④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
68	修紅短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
69	一関工業高等専門学校	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
70	東北大学	②一部利用制限				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥	新生、大学院生を含む全学生を対象に、心身の健康状態や震災の影響に関する調査を行い、大学生活不適応ハイリスク群および円高ハイリスク群に対して個別に連絡をとり、学生相談所の利用等を勧めている。また、学生が自身でメンタルヘルス問題に対応できるように「エンバガーマント」「リーフレット」を作成し、学生に配布している。	①卒業式実施		②入学式を延期し実施		①②	
71	宮城教育大学	②一部利用制限	①		該当なし	②一部禁止	3密回避を理由に屋内科目については、禁止することとしている。		①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
72	宮城大学	②一部利用制限	①②③		・学内者および学外者への文庫閲覧等の遠隔サービスの実施や、学外からのデータベースや電子リソースへのアクセス方法の通知および支援等の実施。・オンラインを活用した学習支援や利用促進事業の実施。	④その他	運動部活動がない。		①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
73	仙台大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	列席者の前線に併い、式の模様をLive配信
74	東北学院大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑧	本学学生相談室において、学生対象として電話・専門医による「こころの健康相談」を実施している。	①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
75	東北工業大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
76	東北福祉大学	①全面利用可能				②一部禁止	大学で許可した活動以外禁止		①②③⑥⑦		①卒業式実施		②入学式を延期し実施		①②④	
77	東北医科大学	②一部利用制限	②③④		電子資料の学外からの利用について、学術認証フェデレーションを利用したりリモートアクセスサービスを導入し、より一層の充実を図る。	④その他	医学部・薬学部の学生委員会で「課外活動再開に向けた基本方針」を策定しており、新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着き次第、当方針に基づき、順次活動の再開を許可する予定である。		①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
78	東北生活文化大学	①全面利用可能				④その他	開い出のあった部について学内で検討し、判断する。		①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
79	宮城学院女子大学	②一部利用制限	①②			①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑧	学生の悩みや不安対策として、メンタルヘルスに関する情報提供をホームページにupし、広く学生に届くよう啓発活動を行っている。	①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	Live配信
80	石巻専修大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
81	仙台白百合女子大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
82	東北文化学園大学	②一部利用制限	①③		学内に自習スペースを確保する。	④その他	感染状況により、本学独自の配分のレベルを判断し、活動を制限する場合はある。		①②③④⑤⑥⑧	全学部学科教員へ「新生人向けメンタル講話」を提案し、学部別の1年生を対象に対面のメンタル講話を実施した。	①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
83	尚絅学院大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		②入学式を延期し実施		①②④⑤	式典のオンライン配信（保護者や参加できなかった卒業生が対象）/体験ワークショップの活用（卒業生は2週間前から検温結果をシートに記録・当日提出）、当日受付での検温/会場・時間を分散して開催/車両での入場を許可
84	宮城誠真短期大学	①全面利用可能				④その他	運動部はない		①②④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
85	聖和学園短期大学	②一部利用制限	①③			①対策しつつ全面実施			①②③⑥	必要に応じて関係職員で情報を共有している	①卒業式実施		①入学式実施		①②	
86	仙台青葉学院短期大学	②一部利用制限	①③			②一部禁止	感染予防のため。		①②③⑤⑥		②代替措置実施		③代替措置実施		①②④	
87	仙台赤門短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
88	仙台高等専門学校	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥⑧	心理教育の授業（グループワーク）	①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
89	秋田大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
90	秋田県立大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	

No.	学校名	施設の利用可否	図書館の対応	その他の具体的な内容	図書館の創設の代替措置	運動部活動の対応	部活動の創設の理由	その他の具体的な内容	学生のメンタルケア	その他の具体的な内容等	卒業式の実施有無	不実施の理由	入学式の実施有無	不実施の理由	卒業・入学式の工夫	その他の具体的な内容
91	国際教養大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
92	秋田公立美術大学	②一部利用制限	①②③		座席不足にならないよう、学外者に ついては利用を禁止した。	④その他		本学に運動部活動はない。(全て サークル)	①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
93	ノースアジア大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①④⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
94	秋田看護福祉大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
95	日本赤十字秋田看護大 学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②④⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
96	秋田栄養短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
97	聖園学園短期大学	①全面利用可能				④その他		運動部活動はコロナ禍以前も実施し ていない。	①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
98	聖童女子短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
99	日本赤十字秋田短期大 学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
100	秋田工業高等専門学校	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
101	山形大学	②一部利用制限	②③			①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		④入学式や代替措置を 実施する予定はない。		①②④⑤	保護者向けに式典の様 子を配信
102	山形県立保健医療大学	②一部利用制限	①			④その他		山形県と山形市の緊急事態宣言中は 原則として活動は自粛。ただし、期 間の最長者の毎週授業の下で行う場 合のみとする。	①②③④⑤		①卒業式実施		④入学式や代替措置を 実施する予定はない。		①②④	
103	山形県立米沢栄養大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②⑥		②代替措置実施		②入学式を延期し実施		①②	
104	山形県立米沢女子短期 大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②⑥		②代替措置実施		②入学式を延期し実施		①②	
105	東北芸術工科大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
106	東北文科大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		④入学式や代替措置を 実施する予定はない。		①②④	
107	東北公益文科大学	②一部利用制限	①			①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		②入学式を延期し実施		①②④	
108	羽陵学園短期大学	②一部利用制限	③			④その他		本学はサークル活動のみで、運動部 活動はありません。	①②⑤		①卒業式実施		①入学式実施		②④	6-3期間 未買なし・時 間短縮等を実施しま す。(コロナ禍以前と 同様ではありません が、選択肢で一善近い ①にしました)
109	鶴岡工業高等専門学校	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④		①卒業式実施		②入学式を延期し実施		①②④	
110	福島大学	①全面利用可能				④その他		活動の再開を希望する場合は、活動 再開申請書の提出が必要となる。当 時申請書には、「福島大学学生生活 ガイドライン2021」の遵守を構成員 全員が確認していることのチェッ ク、及びそれぞれの活動の状況に応 じた感染対策について記載する必要 がある。また、大学の申請書の確 認後、提出内容を総務課員及び構成 員全員に通知することとし、全員が 確認したことが分かる周知結果につ いても提出を求めている。	①②③④⑤⑥⑦⑧		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
111	福島県立医科大学	①全面利用可能				④その他		運動部活動を含めた各団体で新冠コ ロナウイルス感染防止対策を策定さ せ、その内容を大学で確認及び修正 等の取組みし、活動させていく。	①②③④		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
112	会津大学	②一部利用制限	③		2020年度には、リモートアクセス可 能な電子資料の拡充や、その利用促 進を行った。2021年度の取組につ いては検討中。	①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
113	郡山女子大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
114	奥羽大学	①全面利用可能				③全面禁止		感染防止対策を口頭で指導しても、 課外活動である運動部の活動中や部 活動後の食費等を徹底して監督す ることが不可能であること、実業株 の感染が拡大しており感染リスクが高 まってきたことが理由です。	①②③		③実施せず		④実施せず		⑤	卒業式、入学式は実施 しないが、新入生に対 しては来学前から検 査、自覚症状等の健康 管理を実施させる。来学 時に薬学部は医師、歯 学部はクラス担任によ る健康チェックを実施 する予定です。
115	医療創生大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
116	東日本国際大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	

No.	学校名	施設の利用可否	図書館の対応	その他の具体的な内容	図書館の創刊の代替措置	運動部活動の対応	部活動の創刊の理由	その他の具体的な内容	学生のメンタルケア	その他の具体的な内容等	卒業式の実施有無	不実施の理由	入学式の実施有無	不実施の理由	卒業・入学式の工夫	その他の具体的な内容
117	福島学院大学	①全面利用可能				④その他		活動日、活動時間を制限して活動を許可する。	①②③⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
118	桜の聖母短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
119	いわき短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
120	福島工業高等専門学校	②一部利用制限	②③			①対策しつつ全面実施			①②③④		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
121	茨城大学	②一部利用制限	①②③			①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	③について、令和2年9月に令和2年度入学生を教養するせしめニーを実施したため、令和2年度入学生を対象とした入学式は行わない。
122	筑波大学	②一部利用制限	①③	電子ブック・データベース等のリモートアクセスの整備、郵送による図書貸出・文献送付物送付、電子メール・Web、チャットによる質問受付、オンラインによる学習相談の実施、オンライン講習会の実施、講習会等動画の公開		④その他		「感染対策等を示した活動層が提出されている運動部」の活動については、感染対策を講じた上で実施する予定。なお、当該運動部の構成員(学内者)以外の者が参加する活動については、制限する予定。	①②③④⑤⑥⑧	1.メンタルヘルスに関して留意すべき点やQ&Aなど、参考になる情報を学生に周知している。2.学生健康診断の一部として実施されている「こころの健康に関する質問」に新たに新型コロナウイルスに係るこころの状態の変化や生活様式の変化についての項目を加え、診察・検査が必要な学生に対し、保健管理センターの受診を勧めた。3.心理教育・予防活動として、毎年実施している1年生の必修授業(フレッシュマンセミナー)の授業用コンテンツとして、ストレスへの対応の仕方などを含むオンライン教材を作成し、配布した。また、全学年向けに、コロナウイルス対応下で生じる問題や、それらへの対応の仕方に関する心理教育レポートを作成し、大塚研で公開した。4.1年生の必修授業(フレッシュマンセミナー)の中で、オンライン形式で心理状態を把握するためのアンケートを実施した。6月中旬より、アンケートの結果から対応が必要と思われる学生にメールで連絡し、個別に連絡相談を実施した。また、必要に応じて個別相談と連携を行った。5.ピアサポート活動を行っている学生が、ツイッター上の匿名でメッセージを送れるサービスを通じて、新入生や学生からの相談に回答した。6.NEET上に学生が交流できる場「リモでつながろう!ラフタイムカフェ」を開発した。(コロナ禍の学生生活では、学生間の交流が途絶えがらなくなっているため、孤立しがちな学生や先輩や後輩、他の研究科や専攻の学生との交流を促している学生達のために、全国のどこからでも安心して集まれる安全な場として開設された。)10月から定期的に開催したが、参加者が限定的であったため、内容や形式、広報の仕方なども含めて、現在再開に向けた検討を行っている。今後、参加頻度に伴って学生や新入生を対象として活動を再開する予定。7.令和2年8月から保健管理センターに発熱外来(電話診療)を設置し、発熱に悩まされる学生を支援している。また、保健管理センターホームページに新型コロナウイルスに関する最新情報、感染予防について掲載している。	①卒業式実施		①入学式実施	①②④⑤	・配付物の削減及び物販の自粛により削減額を減らす。・写真撮影の制限前夜のため、式場を空室にしない。・出席者に対し、予め、新型コロナウイルス感染症検査アプリ(CODA)の登録を依頼する。	
123	筑波技術大学	②一部利用制限	①②③			④その他		本学に、体育会に属する運動部活動はない。	①②③⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
124	茨城県立医療大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
125	茨城キリスト教大学	②一部利用制限	①②③⑤			①対策しつつ全面実施			①③⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
126	常盤大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		②代替措置実施		①入学式実施		①②④	
127	つくば国際大学	②一部利用制限	①②③			①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
128	筑波学院大学	②一部利用制限				③全面禁止		運動する際のマスク着用は難しく、感染リスクが高まる可能性があるため。また、本学の位置する民間施設において茨城県は他県よりも新規感染者数が多いため、今後の状況により判断予定。	①②③④		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
129	日本ワエルネスポート大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③		②代替措置実施		①入学式実施		②	
130	茨城女子短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①③⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
131	つくば国際短期大学	①全面利用可能				④その他		運動部が存在しない。	①④		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
132	常盤短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		②代替措置実施		①入学式実施		①②④	
133	茨城工業高等専門学校	①全面利用可能				④その他		公式大会への参加等の事情により、学校が承認した部のみ活動を行う。	①②③④		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
134	宇都宮大学	①全面利用可能				②一部禁止		大学の対応方針に基づき、活動の必要性と新型コロナウイルス感染症対策の内容を課外活動団体から提示させ、許可する方針を採っているため。	①②③④⑤⑥⑦⑧	就職活動に関して、留学生を対象としたweb座談会を実施し、日本企業への就活相談を行っている。	①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
135	足利大学	①全面利用可能				②一部禁止		活動許可制を敷いており、特に室内で密となる運動部は許可が出にくい状況である。なお、感染予防対策を講ずることで許可されることもある。	①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
136	白鷲大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
137	作新学院大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
138	国際医療福祉大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
139	宇都宮共和国	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
140	文星芸術大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
141	自治医科大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	謝辞会は中止
142	獨協医科大学	②一部利用制限	①②			④その他		特になし	①②③④⑤⑥	活動の必要性が認められた場合のみ、教員と相談の上感染予防に留意して実施。	①卒業式実施		①入学式実施		①②④	

No.	学校名	施設の利用可否	図書館の対応	その他の具体的な内容	図書館の創刊の代替措置	運動部活動の対応	部活動の創刊の理由	その他の具体的な内容	学生のメンタルケア	その他の具体的な内容等	卒業式の実施有無	不実施の理由	入学式の実施有無	不実施の理由	卒業・入学式の工夫	その他の具体的な内容	
143	佐野日本大学短期大学	①全面利用可能				③全面禁止			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①		
144	宇都宮短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②		
145	國學院大学栃木短期大学	②一部利用制限	①③			③全面禁止	当面の間、活動禁止とする		①②③④		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④		
146	足利短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②		①卒業式実施		①入学式実施		①②		
147	宇都宮文星短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
148	小山工業高等専門学校	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
149	群馬大学	①全面利用可能				④その他		課外活動(学内・学外)の再開を希望する場合には、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を目的とした対策を徹底する団体(限)に認められることとし、事前に総務部・学務部へ団体の感染防止策を十分に相談の上、事前に届け出ることとしている。	①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
150	高崎経済大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
151	前橋工科大学	②一部利用制限	①②③			①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
152	群馬県立女子大学	②一部利用制限	①③		感染症可能人数を減らしているが、利用上支障がないため、特別な取組はない。	④その他		課外活動開始を提出。感染症対策を講じた上で活動し、毎月活動報告を定める。	①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
153	群馬県立県民健康科学大学	①全面利用可能				④その他		具体的な感染症対策等を明示したサークル活動再開を提出したサークルのみ活動を許可する	①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
154	育英大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
155	桐生大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
156	群馬バース大学	②一部利用制限	①②③		電子ジャーナルや電子書籍、学外からのデータベースへのアクセス許可などを継続して利用する。	①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
157	群馬医療福祉大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
158	高崎健康福祉大学	②一部利用制限	①②⑤		特になし	①対策しつつ全面実施			①②③④⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②⑤	参列できない保護者に向けてのyoutube配信を行った。	
159	高崎商科大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
160	上武大学	②一部利用制限	①③			②一部禁止	常時指導者が活動に同行し、感染対策を行える公認クラブのみ活動を認めており、その他サークル等は自粛としている。		①②③⑥		③実施せず	後期試験終了後、家に帰る学生が大半であり、緊急事態宣言地域を理由し大学に在る学生が多いので、感染拡大を防止の観点から卒業式および代替措置を実施しなかった。		①入学式実施		①②④	
161	関東学園大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施	該当なし	該当なし	⑧	ゼミ等の教員が相談窓口となっている。	①卒業式実施	該当なし	①入学式実施	該当なし	①②	特になし	
162	共愛学園前橋国際大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
163	新潟学園短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
164	育英短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
165	群馬工業高等専門学校	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
166	埼玉大学	②一部利用制限	①②③	郵送による図書館資料の貸出、電子書籍を優先的に購入		①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		③代替措置実施		①②④		
167	埼玉医科大学	②一部利用制限	①②③			④その他	本学には体育会に属する運動部はない。		①②③④⑤⑥⑧	担任教員による個別の面談やヒアリング等を実施。	①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	欠席学生や家族等の関係者向けに、オンライン配信を実施。	
168	日本医療科学大学	②一部利用制限	①			①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
169	日本薬科大学	②一部利用制限	①②③⑤⑦	図書館職員が閉館前に消毒するほか、利用者(学生および教職員)に、指定産産の使用・使用後の消毒を徹底させる。	令和4年度以降、データベース及び電子ジャーナルに、学外からリモートアクセスできる設備(VPN回線)を構築する。	①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
170	武蔵野学院大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑧		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
171	浦和大学	①全面利用可能				④その他	本学はサークル活動であり体育会はない。		①②③		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
172	ものつくり大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施		学費の支払いに不安を抱える学生の相談にのっている。	①②③④⑤⑥⑦⑧		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
173	共栄大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
174	埼玉学園大学	②一部利用制限	①②③			④その他	本学には、体育会に属する運動部はない。		①⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
175	尚美学園大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施	(対象外)	(対象外)	①②③④⑤⑥	(対象外)	①卒業式実施	(対象外)	①入学式実施	(対象外)	①②③④	(対象外)	
176	人間総合科学大学	②一部利用制限	③	食堂を自管スペースとして提供。		③全面禁止	ほとんど運動部が少ないが、大学前での活動の管理が難しいため。		①②④⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
177	西武文理大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
178	十文字学園女子大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑧		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
179	平成国際大学	②一部利用制限	①③			①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
180	東京国際大学	①全面利用可能				④その他		個々のクラブから「実行する感染対策」を提出させ、それに応じて活動再開を決定する。対象が十分なクラブの活動は認めない。	①②③④⑤		②代替措置実施		③代替措置実施		④		
181	城西大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②③		
182	東邦音楽大学	①全面利用可能				④その他	運動部活動はありません。		①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
183	獨協大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④		
184	日本工業大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
185	埼玉医科大学	②一部利用制限	①②③		座席数を減らしているが、自管スペースを別に確保している。	③全面禁止		クラスター発生要因となり得るため。	①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
186	埼玉工業大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		

No.	学校名	施設の利用可否	図書館の対応	その他の具体的な内容	図書館の制限の代替措置	運動部活動の対応	部活動の制限の理由	その他の具体的な内容	学生のメンタルケア	その他の具体的な内容等	卒業式の実施有無	不実施の理由	入学式の実施有無	不実施の理由	卒業・入学式の工夫	その他の具体的な内容
187	駿河台大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦⑧	学生支援部健康相談室が窓口となり、学生の相談内容を基にグローバル教育センター、情報処理教育センターと密接な連携を取り、学習の組織的支援を強化している。なお、障がい等のための学習支援が必要な学生への基礎的な学習指導については、健康相談室が中心となり教員・外部指導員と連携して支援を行っている。	①卒業式実施		①入学式実施		①②③④⑤	
188	聖学院大学	②一部利用制限	①②③⑤⑦	アルコール除菌シートの館内設置	郵便貸出及び送料の無償化、ILLの無償化、複写物の郵送無償化、電子書籍・電子ジャーナルの拡充、電子図書検索システムの導入、電子資料の館外貸出（キャンパス内限定）	①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
189	女子栄養大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
190	東都大学	①全面利用可能				④その他		部活動は実施していない	①③④		①卒業式実施		①入学式実施		①	
191	日本保健医療大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
192	文教大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
193	大東文化大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
194	武蔵野短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
195	埼玉純真短期大学	①全面利用可能				④その他		今後の状況を見て判断する予定。	②④⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
196	城西短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②③	
197	国際学院埼玉短期大学	②一部利用制限	①②③		図書館利用時間を見直し、1回の貸出し冊数を増やしたほか、スマートフォンから図書検索や手続きが可能となるなどの対応を講じた。	①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		④入学式や代替措置を実施する予定はない。		①②	新型コロナウイルス感染症の現状を踏まえると、学生及び教職員の安全確保を第一に考えざるを得ないため。
198	秋草学園短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
199	川口短期大学	②一部利用制限	①②③			④その他		本学には体育会に属する運動部はない。	①⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
200	埼玉医科大学短期大学	②一部利用制限	①②③			①対策しつつ全面実施			①②④		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
201	埼玉女子短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
202	山科学園短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
203	武蔵丘短期大学	②一部利用制限	①③⑦	学外者の利用は禁止している	授業数は少なくはしたが、図書館利用については制限していないため、特段の取組は行っていない。	②一部禁止			①②		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
204	埼玉東萌短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
205	千葉大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
206	千葉県立保健医療大学	②一部利用制限	①②③			④その他		該当部活動なし	①②③⑥		②代替措置実施		①入学式実施		②④	
207	流通経済大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
208	明海大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
209	国際武道大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		②代替措置実施		②入学式を延期し実施		①②③④	
210	千葉科学大学	②一部利用制限	①②③		通常は閉館している期間に閉館（お盆、卒業生等）閉館時間の延長（各学期試験期間）	②一部禁止		クラスター等の発生確率を抑えるため。	①②③④⑧		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
211	愛国学園大学	①全面利用可能				④その他		現在、運動部活動がない	①③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	出席者全員に2週間前からの体温、健康状況の記録を願ひし、提出者のみ参加とした。
212	開智国際大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
213	清和大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
214	城西国際大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
215	淑徳大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
216	敬愛大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
217	千葉工業大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②⑤	武器のライブ配信、出席者にてスリ配布、産廃の指示
218	千葉商科大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦⑧	本学では1年生を対象に初年次ゼミを開講し、各クラスに教員が他、職員も担当員として配属している。教職員から日々の声掛けや相談等を行い、新入生の学修や生活の悩みに対応できる環境を整えている。また在学生については、ゼミで10の出席状況を把握し、出席状況が芳しくない学生には職員からヒアリングを行い、必要に応じて支援を行っている。いずれにおいても、メンタルケアの心配がある場合は、教職員からカウンセラーに引継ぎ、早期支援に繋げている。	①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	令和2年度入学生については令和2年度入学開始時に登校日を明け、オリエンテーション等を実施している。
219	中央学院大学	②一部利用制限	①②③⑤		外部データベースを学外からもアクセス可能にする。郵送による希望図書の見直しを実施予定。	④その他		全面的に一律許可とするのではなく、クラブからの活動申請に基づき、感染防止対策等を精査し、適切に対応していく。	①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	スクールの乗車人数制限、またバスの運行本数を増やす。入口にてアルコール消毒液による検温。
220	麗澤大学	①全面利用可能				④その他		各部活動、サークルごとに、感染対策、活動方針を確認した上で、活動	①②③④⑧		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
221	和洋女子大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
222	神田外語大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
223	千葉経済大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②④⑧		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	



No.	学校名	施設の利用可否	図書館の対応	その他の具体的な内容	図書館の創刊の代替措置	運動部活動の対応	部活動の創刊の理由	その他の具体的な内容	学生のメンタルケア	その他の具体的な内容等	卒業式の実施有無	不実施の理由	入学式の実施有無	不実施の理由	卒業・入学式の工夫	その他の具体的な内容
224	秀明大学	②一部利用制限	①②③⑤⑦	図書消毒器の導入。図書を一定時間(24時間以上)隔離状態としウイルスの不活性化をはかる。	学外からアクセスできる電子書籍の導入。	①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦⑧	秀明大学健康サポートホットライン 医師・看護師などが対応する24時間電話健康相談サービス・メンタルヘルスのカウンセリングサービスの利用ができる。	①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
225	川科学園女子大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①④⑥		②代替措置実施		③代替措置実施		①②	
226	東京情報大学	②一部利用制限	①			①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
227	東京基督教大学	②一部利用制限	①②③		貸出図書の郵送	④その他		運動部は無い	①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
228	聖徳大学	②一部利用制限	①			②一部禁止		令和2年度は、活動申請のあった陸上競技部等の屋外の部活動は実施しており、令和3年度も引き続き同様に活動を予定している。その他の部活動も順次対策を行い認めていく予定である。ただし、密接、密集の可能性がありその回避が難しいと判断される部活動については、解決策が見出された時点で認めていく方針である。	①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
229	江戸川大学	②一部利用制限	①②③④		玄関への消毒液設置、図書館ガイドのオンライン化、郵送による図書貸出サービスの実施、郵送によるIIJ「文庫検索」サービスの実施、オンラインでの図書リクエスト受付サービス、VPN活用による電子ジャーナルの利用促進	①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
230	了徳寺大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑧	アドバイザー制とよばれるいわゆるクラス担任制により、よりきめ細かく対応している。	①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
231	橘草学園大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	保護者には卒業式・入学式の参列をご遠慮いただき、ライブ映像の配信を行った。
232	三育学院大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
233	亀田医療大学	②一部利用制限	①③		電子資料(図書・映像配信)の購入	④その他		運動部活動について「三つの密」を徹底的に避ける。「マスクの着用」等の基本的な感染対策ができる範囲内で活動を許可し実施する予定	①②③		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
234	東邦大学	②一部利用制限	①			①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
235	千葉明德短期大学	②一部利用制限	①			③全面禁止	コロナ感染リスクを軽減させるため。		①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
236	昭和学院短期大学	②一部利用制限	①②③		利用制限で利用できなかった学生への代替予約の優先対応。在学資料の貸出しリクエスト受付対応。	①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
237	千葉敬愛短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施			
238	東洋経済短期大学	②一部利用制限	①②③			①対策しつつ全面実施			①③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
239	橘草学園短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	保護者に卒業式の様子をおオンライン配信した。
240	水更津工業高等専門学校	②一部利用制限	①②③⑤			①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
241	東京大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑧	学生生活に悩みや不安を抱える学生に対して、個別に相談の機会を設け、希望者をカウンセラー、医師等の専門家への相談につなげる。また、必要に応じて担当職員や家族と連絡し、学生を支える体制を構築している。コロナ禍の自宅での生活の長期化による懸念リスクの払や運動不足、孤立感などのメンタルヘルスの不調を解消するため、オンラインにより自宅手軽に参加し、継続することが出来る運動プログラムを実施している。	①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
242	東京医科大学	②一部利用制限	①③		インターネットで利用可能な電子書籍をより充実させる。なお、本学図書館においては従来から、電子書籍・電子ジャーナル・学術情報データベース他各種ネットワークツールを導入しており、自宅や研究室から学修・研究を継続できる環境を整えている。	①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④⑤	卒業式、学位授与式については、万が一、万全にCOVID-19に罹患又は濃厚接触者となった場合、卒業生・修了生が4月から居住する病院等への影響が懸念されるため、その点を考慮し、4/14から算定して2週間後期間が空くよう日にちを設定した。(3/16,17に実施)
243	東京外国語大学	②一部利用制限	①②③		・来学困難者を対象とした宅配による資料の貸出 ・学内アクセス図書オンライン資料の、VPN・「学認」を利用した学外からの利用促進 ・シラバス履修資料を中心に、電子書籍等オンライン資料の購入・整備	①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑧	2020年5月に、学生相談室発行し、その中心の確立チェックリスト(UP)をグループフォームで載せ、任意回答とした。得意の高い学生に対しては状況の確認を電話で行いフォローアップした。その他英語、日本語訳付きの講演会を教職員及び学生向けに実施した。学生相談室のHPにストレス対応等の情報を掲載した。	①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
244	東京芸術大学	②一部利用制限	①②③⑤			③全面禁止		【宅配サービス】昨年の4月、全学入構禁止の大学方針に伴い、図書館全面休館を実施したが、休館中の5月から、本学では初めて、学生・教職員への配達による図書貸出サービス(「宅配サービス」)を開始した。その後、利用開始まではあるが、図書館再開後も夜間開館は実施しておらず、また、4月以降も夜間開館は実施しない予定であるから、「宅配サービス」は継続して利用可能とする。【電子ブック購読タイトル拡充】昨年5月から、電子ブックの利用促進のため、購読タイトルを拡充して拡充した。6月以降は、本館内に購入を決定し、購読タイトルを大幅に増やす予定である。【Web相談窓口の設置】従来の速報を利用した相談窓口は、電子メールによる対応を中心としていたが、新たにWeb相談システムを利用した相談窓口を設置する。	①②③⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	

No.	学校名	施設の利用可否	図書館の対応	その他の具体的な内容	図書館の創刊の代替措置	運動部活動の対応	部活動の創刊の理由	その他の具体的な内容	学生のメンタルケア	その他の具体的な内容等	卒業式の実施有無	不実施の理由	入学式の実施有無	不実施の理由	卒業・入学式の工夫	その他の具体的な内容
245	東京工業大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥⑧	バリアフリー相談窓口を備えている。	①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	令和2年度学位記授与式及び令和3年度入学式については、規模を大幅に縮小して、代表学生のみ対面出席とし、参加できない学生・卒業生向けにYouTubeライブ配信を行う形式で実施する。
246	お茶の水女子大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④⑤	・座席位置申告書を提出させ、後者の濃厚接触者の把握に備えた。 ・保護者に向けてオンライン型で式の様子を配信した。
247	東京学芸大学	②一部利用制限	①②③⑦	図書館の授業利用、館内ガイダンス実施規模の縮小	・図書館ウェブサイトからの図書館ガイダンス動画、情報シートの提供 ・遠隔授業における図書館ガイダンス、講習会の実施	①対策しつつ全面実施		回答「①」の補足として、本学では、活動時間、活動人数、活動施設、検閲制を設けており、運動部は当該制限内で課外活動計画を作成し、許可を受けた上で活動している。	①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
248	東京農工大学	②一部利用制限	①②③		・資料（図書・複写物）の郵送サービス ・電子資料の拡充	①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
249	電気通信大学	②一部利用制限	①②③		郵送貸出、電子フックの整備拡充	①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
250	一橋大学	②一部利用制限	①②③		令和3年度は、利用制限が若干残るものの、順次通常利用が可能な状況に近づいていくため、制限の代わりに行う取組は現時点では予定していない。令和2年度中は利用制限も多かったため、貸出冊数、期間、更新回数等の増加、結果した 場合へのアルテの停止、郵送貸サービス等の取組を実施していた。	①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
251	政策研究大学院大学	②一部利用制限	①②③		・図書や図書館資料複写物の郵送サービス ・電子ジャーナル等の電子リソースへの学外アクセスサービス	④その他	学校公認の運動部が存在しない		①②		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	一部の説明を、録画して事前に配信することにより、当日の実施時間を短くする
252	東京海洋大学	②一部利用制限	①②③		オンラインサービスの開始と利用案内、リモートアクセスの取組と利用案内、オンラインでのガイダンス受付、メールとオンラインでの利用相談、郵送での運動の交付、授業支援（授業へのオンデマンド教材の提供）	①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
253	東京都市大学	②一部利用制限	①②③		電子フックの充実	①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
254	東京独立産業技術大学院大学	②一部利用制限	①②③⑤			④その他	部活動を有さない		①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施	⑤	⑤	完全オンラインで開催
255	東京福祉大学	②一部利用制限	①②③			④その他	体育会がないため。		①③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
256	跡見学園女子大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
257	文京学院大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
258	白目大学	②一部利用制限				④その他		体育会に属する運動部はない。特定活動に指定している学ア・リーディングのみ活動実施	①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
259	東京成徳大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
260	東洋学園大学	①全面利用可能				④その他		感染予防対策計画を提出の上、本学が開催する感染予防講習会を受講することで、一部制限はあるが活動を認めている。	①②③④⑤⑥⑧	学生相談室では、入学時、新入生に質問紙調査を行ったのち、希望およびハイリスク者に対して、対面または電話で個別に面談を行っている。面談時の希望に応じて、すぐに個別相談に移行する他、2週間～1か月後にフォローアップを行っている。	①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
261	帝京平成大学	②一部利用制限	①②③⑦	アルコール消毒液の設置と消毒の助行	・ガイダンス動画等の共有 ・電子資料やデータベースへのリモートアクセス ・電子資料の補充・開館時間におけるブックポストの設置	①対策しつつ全面実施			①②③④⑥⑦⑧	・保護者対象就職支援説明会の実施 ・教員対象活指導セミナーの実施 ・08・06との交流会の実施	①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
262	青山学院大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑧	1.ハイフレックス型講演会を実施（デートDV関連講演会） 2.オンラインイベントの実施（トークセッションという対話・オンライン音楽会）	①卒業式実施		①入学式実施		①②③④⑤	会場への入場の際に検温・消毒の実施、YouTubeとSlive配信・式典後一定期間オンデマンド配信
263	上野学園大学	①全面利用可能				④その他	運動部は設置していない。		①②③		①卒業式実施		④入学式や代替措置を実施する予定はない。	募集停止のため。	①②④	
264	大妻女子大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥⑦⑧	メンタルヘルスに不安のある障がい者採用を行った企業に対し、職業センター等の案内を行い、研修やジョブコーチの提案を行った。	①卒業式実施		①入学式実施		①②	
265	学習院大学	②一部利用制限	①②③		郵送貸出サービス、自館資料複写サービス（学術雑誌論文のコピー郵送サービス） 電子コンテンツの学外利用の対応 追加の相談（春先講習等を追加）、シラバス掲載の教科書・参考文献を電子資料にて購入	④その他		基本は全ての運動部の活動を認める予定だが、その条件として活動を希望する学生団体より申請を受け付け、活動内容や感染対策を確認した上で許可している。	①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
266	共立女子大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
267	工学院大学	②一部利用制限	①③		館外からもアクセスできる電子資料の拡充、資料の郵送貸出サービスの実施	①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
268	國學院大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	

No.	学校名	施設の利用可否	図書館の対応	その他の具体的な内容	図書館の創刊の代替措置	運動部活動の対応	部活動の創刊の理由	その他の具体的な内容	学生のメンタルケア	その他の具体的な内容等	卒業式の実施有無	不実施の理由	入学式の実施有無	不実施の理由	卒業・入学式の工夫	その他の具体的な内容
269	国士館大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
270	駒澤大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		②代替措置実施		①入学式実施		③④⑤	令和2年度の卒業式は無観客で実施し、後日録画映像を配信。令和3年度の入学式は令和2年度の入学生も対象として実施し、ライブ配信を行う。
271	実践女子大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
272	芝浦工業大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	会場のキャバの開催で、保護者が来場できず、YouTubeによるライブ配信を実施。
273	順天堂大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
274	上智大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
275	昭和大学	②一部利用制限	①②③④		自宅等から利用可能な検索ツールと電子ジャーナルについて図書館ホームページにて情報を適宜更新している。	④その他		感染症対策に関する事項等を記載した活動計画書を提出し、承認された運動部の活動再開を認める。	①②③④⑤⑥⑦⑧		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
276	昭和女子大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦⑧		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
277	昭和薬科大学	②一部利用制限	①②③		1週間以上の閉鎖期間が生じる場合は、郵送による貸し出し対応を実施予定	①対策しつつ全面実施			①②③④⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④⑤	③令和2年度入学生の入学式は令和2年10月に実施
278	杉野服飾大学	②一部利用制限	③	記述なし。	記述なし。	④その他	記述なし。	本学では、ダンス部、ダンス競技部、バレエ部、バスケット部の4部のみが運動部にあたるが、いずれもサークルであり、現時点では活動を中止している。	①②③⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施	記述なし。	①②④	記述なし。
279	成城大学	②一部利用制限	①②③⑤		図書館の本・資料を学生に無料送付を実施している。 1. 図書館資料郵送貸出(送料大学生負担)の継続。2. 資料複製物の郵送を継続(送料大学生負担)。3. オンライン(留学外からのアクセス保証。4. オンラインによるレファレンス継続。5. 利用券付の準備(貸出希望図書の高率の収集をサポート)	①対策しつつ全面実施			①②③⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
280	聖心女子大学	②一部利用制限	①②③			④その他		運動部の活動計画と感染対策を学生とともに検討し、活動内容を決定している。引き続き学生の活動をきめ細かく支援していく方針である	①②③⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
281	大正大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥⑦		①卒業式実施		②入学式を延期実施		①②④	
282	清泉女子大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
283	聖路加国際大学	①全面利用可能				④その他		本学には現在、運動部はない	①②③④⑤⑥		②代替措置実施		①入学式実施		①②④	
284	高千穂大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
285	拓殖大学	②一部利用制限	①②③		契約データベースの学外アクセス環境拡充、ガイダンス動画の提供。	①対策しつつ全面実施			①②③④⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	卒業(新入)生全員を一つの会場に集わせることによって感染リスクが高まることから、指定した中小規模の教室に集わせ、後援による式典のライブ配信を行った(行う予定)。また、当日式典に参加できない学生や出席を遅延している保護人に対し、学外ライブ配信も併せて行った(行う予定)。
286	多摩美術大学	②一部利用制限	①②		電子書籍など、オンラインコンテンツの拡大	④その他		感染症対策の計画を確保の上、実施の取組を判断する。	①②③		①卒業式実施		①入学式実施		①	
287	中央大学	②一部利用制限	②③⑤		学生の事情により、キャンパスに通うことが困難な場合にも対応すべく、郵送貸し出しや複写サービスを実施している。	①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
288	東京医科大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④		①卒業式実施		①入学式実施		①④	
289	東京家政大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦⑧		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	式典をライブ配信(録画配信)する(入校制限した学生・関係者限定公開)
290	東京家政学院大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	卒業式及び入学式は保護者の列席を控えても行うため、その代替としてYouTubeで式典のライブ配信を行う。
291	東京歯科大学	②一部利用制限	①②③	該当なし	特になし	③全面禁止		視察を極み活動を禁止しているが、今後については感染状況により該当なしを判断する。	①②③	該当なし	①卒業式実施	該当なし	①入学式実施	該当なし	①②④	該当なし
292	東京慈恵会医科大学	②一部利用制限	①②③⑤		事前予約としているが、当日でも空きがあれば利用可能としている	③全面禁止		大学と同じ敷地に病院が併存しているため、学生間の感染を防止し、病院内でのクラスター発生要因にならないようにするため。	①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	

No.	学校名	施設の利用可否	図書館の対応	その他の具体的な内容	図書館の創刊の代替措置	運動部活動の対応	部活動の創刊の理由	その他の具体的な内容	学生のメンタルケア	その他の具体的な内容等	卒業式の実施有無	不実施の理由	入学式の実施有無	不実施の理由	卒業・入学式の工夫	その他の具体的な内容
293	東京女子大学	②一部利用制限	①②③		電子資料の利用促進、オンデマンド型学習コンテンツの提供、オンラインによる学生ピアサポート	④その他			①②③⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施			会場内の座席を学生本人に電子申請させることにより参加者の座席位置を調整できるようにした。入場時間、退場時間を定め、参加者が学内に滞留することを防止した。
294	東京女子医科大学	①全面利用可能				③全面禁止			①②③④⑥⑧		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
295	東京電機大学	②一部利用制限	①③⑤		図書館資料の郵送貸出サービスを実施している。*学外からの電子資料の提供も可能としている。	④その他		新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえ、段階的に課外活動の制限を緩和していることとしている。現在は、学生団体が所属している連帯や大会において、「大会要項(しゅんれんしょう)」で感染対策が定められている。等の条件により、参加することを認めている。	①②③④⑤⑥⑧	新入生に対して、精神健康調査(9028)を実施し、その結果を把握するとともに取組の高い学生に対する学生相談室の利用を促し、カンセリングを実施(令和2年4月初旬、令和3年4月初旬)。災害用の安否確認システムを利用し、コロナ禍における学生の健康状態(オンランを含む)や生活状況を調査し、その結果に基づき、学生に連絡を行い対応した(令和2年4月、9月)。令和3年度新入生を対象に学生団体の加入促進のための「オンライン助成会」を実施した(令和3年3月中旬)。また、令和3年度新入生を対象にZoomを活用した、学生の孤立防止策としての「仲間づくり支援」や学生団体加入促進のための「学生団体紹介」の実施を予定している(令和3年4月初旬)。	①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
296	東京農業大学	②一部利用制限	①②③⑤⑦		在宅学習を許可された学生が図書館の資料を利用したい場合は、図書館○オンラインで利用できる資料の購読にメールで請求し郵送で学生宅に送付入促進。○利用案内の動画や各種のサービスを行う。返却も郵送でマニュアルを添付して、HPでも公開することができる。送料は送部分の学生負担で利用を支援している。	①対策しつつ全面実施			①②③		②代替措置実施		①入学式実施		①②④	
297	東京薬科大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①	
298	東京理科大学	①全面利用可能				④その他		独自に新型コロナウイルス感染症拡大下における課外活動の実施に係るロードマップを制定し、これに基づき課外活動(運動部含む)を行っている。	①②③④⑤⑥⑦⑧	学生から相談のあった内容について、本人の同意を得ることができたものについては、学内Webシステムに入力することで、関係部署との情報の共有及び横断的な支援に活用している。	①卒業式実施		①入学式実施		①②③④⑤	サーモカメラによる来場者の検温の実施。また、就職を希望するご家族等や、事情により参加できなかった者が、自宅からの観覧や参加を可能とするためにインターネットライブ配信を実施。
299	東洋大学	②一部利用制限	①②③⑤		次に示す取組みを行っている。①乗船利用が困難な者に対し、郵送にて博士論文、修士論文及び卒業論文の作成に必要な図書館資料の館内実地サービスや学外文庫複写の資料郵送サービス。②図書館が実施するガイダンス動画の公開。③学習・研究を行ううえで必要な文献や情報の入手に関する相談を受け付けるオンラインレファレンスの実施	④その他		活動を希望する部に活動参加者及び保護者による活動に参加することへの同意書、検温記録や感染防止対策等を提出させたうえで、所管部署である学生支援課で確認後、各学の新型コロナウイルス感染症対策委員会が定めたガイドラインのもと、活動を許可している。ただし、指導者の常駐を条件としている。	①②③④⑤⑥⑦⑧	一部キャンパスでは、メンタルヘルス活動としてストレスチェックを実施している。一部として、白山キャンパスではグループホームを使用したチェックシートを配備し、その回数によっては電話、オンライン又は対面によるフィードバック実施を行っている。また、就職活動に振り組んでいる学生に関しては、白山キャンパスに置かれている学生サポート室の相談員、就職・キャリア支援課の職員及びキャリアカウンセラーを連携して、コロナ禍での就職活動に不安や悩みを抱えている学生情報を共有し、個別相談を行っている。	①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
300	東京音楽大学	②一部利用制限	①②③		本学学生の図書館利用状況から、上記の利用制限措置は学生の学習・研究の継続に大きな影響を与えないと判断する。郵送による図書館資料の貸し出し、文献複写など、事前予約制だが、空室がある場合は当日の申し出で利用可とする。	①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
301	二松学舎大学	②一部利用制限	①②⑤			①対策しつつ全面実施			①②③		②代替措置実施		①入学式実施		①②③④	
302	日本大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦⑧		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	①学生の卒業式及び入学式の参加条件として、就職観望システムへの登録を義務化し、体温と健康状態が良好である学生のみが参加できる仕組みを構築した。②インターネットによる配信を行い、会場までの移動に不安を抱える学生、健康不安を抱える学生(保護者含む)の制限で参加できなかった方への配慮を行った。③全参加者に座席を指定し、入場者の把握を行った。
303	日本医科大学	②一部利用制限	①②③		図書館以外に自習室として、教室内等を自習室として開放している。	④その他		段階を踏んで、活動禁止を解除していく方向で検討しているが、変異株の出現や後遺症の報告の増加、感染機種の多発等があることから、引き続きコロナ禍の状況を逐次ながら判断する。	①②③④⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
304	日本歯科大学	②一部利用制限	⑥		感染状況が良くなり次第、順次、開放する予定だが、それまでは、定員数も含めて感染予防対策がとれている。③全面禁止の室や教室を学内における研修の場として提供する。	③全面禁止	本学は医療機関としての役割もあることから、感染予防に最大限注意を払う必要がある。運動部の活動は全面禁止とする予定である。		①②③④⑤⑧	各学年に学年主任・副主任を割り当て、全学生との一対一面談を行っている。また、学生からの要望により、保護者や副主任との面談を行える体制を維持している。その他、心理カウンセラーとの面談も学生が希望すれば、いつでも行えることを周知している。	①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
305	日本社会事業大学	②一部利用制限	①②③			④その他	本学に体育会は存在しない。		①②③④⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
306	日本女子大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施	特になし	特になし	①②③④⑥	特になし	②代替措置実施	特になし	①入学式実施	特になし	①②④	特になし
307	日本女子体育大学	①全面利用可能				④その他	各部活の状況(大会参加等)にあわせて、活動計画書を提出させて許可制をとっている。また、緊急事態宣言中では練習メニューを絞って活動制限をしている。全スタッフが保護者連名で部活動参加許可書・承諾書を提出させている。	①②③④⑤⑥			①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
308	ルーテル学院大学	②一部利用制限	①②③		電子書籍貸入数の増強、電子リソースの臨時学外アクセスの継続。Zoomや学内ポータルサイトを利した対イギリスや授業支援。事情により貸出できない利用者への送付貸出。メール、電話、Zoomによりレファレンス。	④その他		学内施設の利用を認めない、学外施設の利用については自費を求めるとしている。	①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
309	日本体育大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	

No.	学校名	施設の利用可否	図書館の対応	その他の具体的な内容	図書館の創刊の代替措置	運動部活動の対応	部活動の創刊の理由	その他の具体的な内容	学生のメンタルケア	その他の具体的な内容等	卒業式の実施有無	不実施の理由	入学式の実施有無	不実施の理由	卒業・入学式の工夫	その他の具体的な内容
310	化学園大学	①全面利用可能				④その他			①②③④⑤⑥		②代替措置実施		①入学式実施		①②③④	
311	法政大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
312	星薬科大学	②一部利用制限	①③		構内で他の自習場所の確保等の検討を行っている。	④その他		個人で活動できる場合は例外とする	①③④⑤⑥⑧	メンタルヘルス等の相談を受ける専門業者と契約を行い、相談窓口を設置した。	①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
313	武蔵大学	②一部利用制限	①②③		電子書籍の購入。文献収集の相談サービスをオンラインでも実施。メールアドレスでの取付。文献収集のためのデータベースの使い方の案内動画と資料を公開。	①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
314	東京都市大学	②一部利用制限	①②③		図書館配送サービス：貸出冊数1冊まで、配送料は図書館負担で学生の自宅へ配送する。	④その他		活動可能な条件を設定し、活動内容や感染防止策等を個別に審査し活動可否を判断。	①②③④⑤⑥⑧	■ホームページやメールマガジン等で、学生相談室発着にて「こころの健康を促すために」、「コロナ禍のストレス対応」等を掲載。 ■学生相談室以外にも、クラス担任や事務局などと相談しやすい窓口を選択し、困りごと、悩みを相談を推奨。 ■オンライン授業下における学生の悩みを英語を教員へ情報共有し、授業や研究指導に係る配慮を指示。	①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
315	武蔵野音楽大学	①全面利用可能				④その他		本学には、いわゆる体育会は無く該当しないため。	①②④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
316	明治大学	②一部利用制限	①③		図書館HP上に「自宅からも使える電子資料」および「図書館オンラインがダンス」をまとめたコンテンツを作成し、全学内者が自宅からでも図書館を利用できる案内を行っており、今後も引き続き、変化する需要を随時見直し、また、基礎疾患等の事由により在宅受講特別配慮と認められた学生へ相談支援サービスの対応を行います。なお、今後社会情勢の変化により図書館への入館を制限することとなった場合は、2020年度に引き続き「図書館送付サービス」「所蔵雑誌特送サービス」「11月特送サービス」を実施する予定です。	①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑧	⑧について、心身の健康の保持増進につながるオンラインイベントの実施、学生相談室担当教員によるメッセージ動画等の発信を行っています。⑥について、就職活動に関する個人面談・グループ相談をオンラインにて実施し、併せてライブ配信、企業との交換、O・Oの相談等情報の発信を行っています。	①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
317	明治学院大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
318	明治薬科大学	②一部利用制限	①②③		人数の制限については、一定の期間で交代制をとっている。また、図書貸出送付サービス（往復無料）も変更している。さらに本学では、電子ジャーナルやデータベースについて自宅や業務室等からアクセス可能なりリモートシステムも導入している。	④その他		本学では運動部を含む全部活動について、令和3年度は、1）学生からの利用者の状況と感染対策を具体的に記述した活動申請書の提出、2）各クラブ顧問による申請書の確認とサイン、3）申請書の学生支援課による確認、4）3）の段階で問題がなければ学生厚生委員長の活動許可書をおさえる、5）活動後、申請時と異なる部分が無かったか活動報告書を学生支援課に提出、以上の流れで活動を再開する予定である。	①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
319	立教大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
320	立正大学	②一部利用制限	①②③		1.宅配図書貸出サービス、文献複製送付サービスの継続、2.電子書籍の購入、3.契約データベースの学外からのアクセス拡充（VPN、ID/PW、リファラ認証）、4.電話・メールによるPCサポート対応、5.オンラインレファレンスサービス、6.図書館サービス各種動画作成および、Office365 Stream「図書館」チャンネル	①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
321	早稲田大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
322	国際仏教学大学院大学	①全面利用可能				④その他		サークルも含め運動部は設置していない	①②③④		①卒業式実施		①入学式実施		①③④	
323	学習院女子大学	②一部利用制限	①②③		学外アクセスによる電子書籍の利用や郵送貸出によって、図書館に来なくても図書を利用できるようにする。	②一部禁止		感染再拡大を防止するため、活動的、活動形態、活動場所などの事前確認を行い、感染防止対策上禁止している活動がある。	①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②③	
324	東京国際工科専門職大学	①全面利用可能				④その他		運動部はない	①②③⑤		③実施せず	令和2年度卒業者のため卒業生がいない	①入学式実施		①②	
325	東京保健医療専門職大学	②一部利用制限	①③		開学間もなく学生数が少ないことから、利用に支障が生じていないため、特に代替の数値は必要としない。	④その他		開学間もないため該当する運動部がない。	①③⑤		③実施せず	まだ1年生しか在籍していないため実施せず。	①入学式実施		①②④	
326	情報経営イノベーション専門職大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施	特に無し	特に無し	①②③④⑤	特に無し	③実施せず	まだ1年生しか在籍していないため実施せず。	①入学式実施	特に無し	①②③④	特に無し
327	大学院大学至善館	②一部利用制限	①③			④その他		社会人対象の専門大学院のため運動部は存在しない	⑧	従来から実施しているアカデミックメンター制度や事務局（学務チーム）を通じて個別に相談を受け付けている。	①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
328	富山ブライジビジョン専門職大学	①全面利用可能				④その他		運動部の設置がないため。	②④⑥		③実施せず	卒業年度の学生がいないため。	①入学式実施		①②	
329	駒沢女子大学	②一部利用制限	①			③全面禁止		東京都および全国の新型コロナウイルス感染症の罹患者が増加している状況であるため禁止しているが、今後、感染拡大の状況が減少した場合に活動の再開を検討する。	①②③④⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
330	亜細亜大学	②一部利用制限	①②③⑦	令和2年度同様に図書の郵送貸出を継続する	図書の郵送貸出及び雑誌の複写の郵送を実施	①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④⑤	当日、参加出来ない学生や、当日、入館を制限している保健室に同行、入学式の模様をライブ中継にて配信する
331	桜美林大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
332	国立音楽大学	①全面利用可能				④その他		体育会に属する運動部はない。	①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	



No.	学校名	施設の利用可否	図書館の対応	その他の具体的な内容	図書館の創刊の代替措置	運動部活動の対応	部活動の創刊の理由	その他の具体的な内容	学生のメンタルケア	その他の具体的な内容等	卒業式の実施有無	不実施の理由	入学式の実施有無	不実施の理由	卒業・入学式の工夫	その他の具体的な内容
333	国際基督教大学	②一部利用制限	①②③		図書館の郵送サービス、複写送付サービス、メール、チャット、Zoom等で	①対策しつつ全面実施			①②③⑥⑦⑧	カウンセリングセンターでは対面での個人カウンセリング、オンラインでの個人カウンセリングに加えて、メールマガジンの発行、年おしやべり企画、オンラインおしやべり会、オンラインワークショップを企画し、学生に必要な支援が行き届くように工夫している。	①卒業式実施		①入学式実施			①②③④
334	白百合女子大学	①全面利用可能				④その他		学校の体育会はないが、クラブ活動の運動クラブは、感染対策を講じた上で実施予定。	①②③⑥⑧	新型コロナウイルス感染症の拡大や、通学授業などの対応による不安を解消する一助として、「ウェルネス・サロン」(web配信)を定期的に開催している。	①卒業式実施		①入学式実施			①②③④
335	成蹊大学	①全面利用可能				④その他		新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインを設け、各学生団体から申請があったものについて、大学保健室のアドバイスを取り入れながら審査し、学生部長が適切であると判断したものに 대해서는活動を許可している。	①②③	①卒業式実施		①入学式実施			①②③④	
336	玉川大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施			①②③④
337	津田塾大学	①全面利用可能				④その他		運動部活動はないが、サークル活動については十分感染防止策を講じている。清掃している。	①②③⑥⑦		①卒業式実施		②入学式を延期し実施			①②③④
338	帝京大学	②一部利用制限	①②③		通信教育の延長、オンラインによる講義や面接など受講者向け専用部屋の設置。一部の電子サービス(電子ブック、データベース等)については、学外からも利用可能とする。	④その他		主要なイベントについては、感染対策を講じつつ、すべての運動部の活動を実施する予定であるが、他のキャンパスでは、令和3年度については状況を見て判断するとしている。	①②③④⑤⑥⑦⑧	大学生活が始まり、不安を抱える新入生に対し、面談を通じて安心感を与えるため、全員面談を実施。これにより、早期退学者や留学者を洗い出し、退学者の減少を図る。	①卒業式実施		①入学式実施			①②④
339	東京経済大学	①全面利用可能				④その他		課外活動特別許可申請(団体内における感染予防対策や対策の責任を)を実施する担当者など)による審査により大学が認めた団体は部活動を再開させる。	①②③⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施			①②③④
340	東京女子体育大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施			①②④
341	東京神学大学	①全面利用可能				④その他		学校施設を使用する運動部は存在しません。	①④⑤		①卒業式実施		①入学式実施			①②④
342	東京造形大学	②一部利用制限	①②③			④その他		※本学に体育会運動部はありません。	①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施			①②④
343	桐原学園大学	①全面利用可能				④その他			①②③④⑤		①卒業式実施		①入学式実施			①②④
344	武蔵野大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③		①卒業式実施		①入学式実施			①②③④
345	武蔵野美術大学	②一部利用制限	①②③			②一部禁止	体育施設の一部(更衣室等)において、感染症対策が難しいため		①②③⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施			①②④
346	明星大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施			①②④
347	和光大学	②一部利用制限	①②③	なし	図書の出貸、電子ブックの拡充	④その他		本学に体育会はないが、運動系のサークルについては、許可制とすることを予定。課外活動の実施に関するガイドラインを設け、それにもとづき、許可・不許可を判断する。	①②③④⑦	今年度学生相談センター主催で講師を招いたワークショップや学生生活の改善イベントを開催し、次年度以降も継続していく予定。	②代替措置実施		①入学式実施			①②
348	香林大学	②一部利用制限	①②③④		リモートアクセス(電子サービスの学外からの利用)の利用の促進を行っている。	④その他		クラブの感染対策を含む活動計画書を提出させ、大学が承認した場合のみ活動可能とする。	①②③④⑤⑥⑦		②代替措置実施		①入学式実施			①②④
349	創価大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑧	○自治会、学生会、寮役員等の学生各団体のリーダーを対象に臨床心理士による「メンタルヘルスマネジメント」を開催。個人や不安を抱える学生のメンタルヘルスに対するリーダーの役割について情報を共有し、対応方法や学内の各組織に繋ぎようが提供している。○新入生のうち、寮生を除く自宅通学生、アパート通学生を対象に、「自宅生・アパート生懇談会」を開催。教職員やサポート学生が新入生との距離を縮め、友人づくりをサポートしている。なお、令和3年度は、新入生に加えて、令和2年度に入学した新2年生も対象に合わせた2年度で実施する。	①卒業式実施		①入学式実施			①②③④⑤
350	日本文化大学	②一部利用制限	①②③		学生ラウンジ、教室等、図書館以外に学修、研究の場を提供する。	①対策しつつ全面実施			①③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施			①②④
351	東京工科大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施			①②④
352	日本赤十字看護大学	①全面利用可能				④その他		本学には体育会に属する運動部がなく、全てサークル活動であるため。	①②③⑥⑧	学部生ではないが、大学院生に対してはメンタルヘルスに関する講座を実施した。	①卒業式実施		①入学式実施			①②④
353	恵泉女学園大学	②一部利用制限	①③			①対策しつつ全面実施			①③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施			①②④
354	多摩大学	①全面利用可能				②一部禁止			①②③		①卒業式実施		①入学式実施			①②④
355	東京純心大学	①全面利用可能				④その他		体育会に属する部がない。	①③④		①卒業式実施		①入学式実施			①②④
356	嘉悦大学	②一部利用制限	②③		閲覧席の利用は制限するが、窓口での図書、資料の貸し出しは実施するため学修、研究の継続に与える影響は最小限である。また、資料の郵送サービス等も継続実施するため、この面では学生の利便性は増すと考えている。	①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施			①②③④
357	東京富士大学	②一部利用制限	①②③⑤			①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施			①②④
358	LEO東京リーガルマインド大学	②一部利用制限	①②③			④その他		本学に運動部はございません。	①③		③実施せず	イベントは実施しないが、学長のお祝いメッセージを動画配信した。	④実施せず	④実施しないが、学長のお祝いメッセージを動画配信する予定		学生が来校したことによる密を避けるため、Web上で実施。
359	デジタルハリウッド大学	①全面利用可能				③全面禁止		本学にはe-sports部があるが、現状部員数の問題等で活動休止中。	①②③④⑥	予約制の本学内のメンタルヘルス相談室は、2020年度よりオンライン(Zoom)のみで対応している。2020年度に、より話しやすいボイスチャットによるサービスも導入している。相談者の要望がある場合は、カウンセラーの判断により学生サポートと連携する。外部専門業者の24時間電話サービス(DHUC)と体のサポートセンターを導入しており、誰がどのような相談をしているのかは一切学内に報告されることはない。	①卒業式実施		①入学式実施			①②③④
360	白梅学園大学	②一部利用制限	①②③			②一部禁止		一定条件の元、条件を満たさない活動は認めない予定。	①②③④		①卒業式実施		①入学式実施			①②④

No.	学校名	施設の利用可否	図書館の対応	その他の具体的な内容	図書館の創刊の代替措置	運動部活動の対応	部活動の創刊の理由	その他の具体的な内容	学生のメンタルケア	その他の具体的な内容等	卒業式の実施有無	不実施の理由	入学式の実施有無	不実施の理由	卒業・入学式の工夫	その他の具体的な内容
361	東京医療保健大学	①全面利用可能				②一部禁止		女子バスケットボールにおいては、専任の指導者を配置しており感染拡大防止策を十分に実施できることから、当該指導者の判断により活動を継続している。それ以外の部活動においては、専任の指導者がいないことから、活動計画を作成したうえで学医等の助言を受けて可能な範囲で活動を継続している。	①②④⑥		①卒業式実施		①入学式実施			①②④
362	東京聖栄大学	②一部利用制限	①②			③全面禁止			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施			①②
363	グロービス経営大学院大学	②一部利用制限	①②			④その他		本調査の定義における運動部活動は行っていない	①②③⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施			①②④
364	文化ファッション大学院大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施			①②④
365	大原大学院大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①③		①卒業式実施		①入学式実施			①②④
366	東京未来大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施			①②④
367	ハリウッド大学院大学	①全面利用可能				④その他		特記なし。	①②④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		特記なし。	①②④
368	こども教育宝仙大学	①全面利用可能				④その他		運動部活動は無し。	①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施			①②③④
369	東京有明医療大学	①全面利用可能				③全面禁止		4月の当初は感染状況を見ながら判断をする。	①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施			①②④
370	東京工科大学	②一部利用制限	①③			①対策しつつ全面実施		借りたい書籍を予約すると、大学から自宅に直接配送される「配達員サービス」と、あらかじめ借りたい書籍を取り置きすることで、卒業の際にスムーズに借りられる「自館取り置きサービス」を実施している。	①②③⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施			①②④
371	産業能率大学	①全面利用可能				②一部禁止		強化クラブのみ活動を許可している	①②⑥		①卒業式実施		①入学式実施			①②③④
372	ヤマギキ動物看護大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦⑧		①卒業式実施		①入学式実施			①②④
373	東京医療学院大学	②一部利用制限	⑤			③全面禁止		感染の危険性がなくなるまでは安全のための禁止としている	①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施			①②⑤
374	事業構想大学院大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			⑥		①卒業式実施		①入学式実施			②④
375	社会情報大学院大学	①全面利用可能				④その他		本学は社会人向けの大学院であり、現状クラブ・部活・サークル活動は実施していない。	①③⑤		①卒業式実施		①入学式実施			①②⑤
376	帝京科学大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施			①②④
377	日本獣医生命科学大学	②一部利用制限	②③			①対策しつつ全面実施		登校制限のある学生に対して、図書館での貸出しを予定している。	①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施			①④
378	宝珠大学	②一部利用制限	①②③④⑤			①対策しつつ全面実施		未定です。	①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施			①②③④
379	愛国学院短期大学	①全面利用可能				④その他		いわゆる体育会はないため。	①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施			①④
380	青山学院女子短期大学	①全面利用可能				④その他		学生募集停止に伴い、クラブ等は2020年度をもって解散したため。	①②③		①卒業式実施		①入学式実施			①②④
381	共立女子短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施			①②④
382	国際短期大学	①全面利用可能				④その他		公認運動部が存在しない	①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施			①②④
383	駒沢女子短期大学	②一部利用制限	①			③全面禁止		東京都および全国の新型コロナウイルス感染症の罹患者が増加している状況であるため禁止しているが、今後、感染拡大の状況が減少した場合に活動の再開を検討する。	①②③④⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施			①②④
384	星美学院短期大学	②一部利用制限	①②③⑤			④その他		現在、運動部はない。	①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施			①②④
385	帝京大学短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥⑦⑧		①卒業式実施		①入学式実施			①②④
386	帝京短期大学	①全面利用可能				④その他			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施			①②
387	戸板女子短期大学	②一部利用制限	①②③			①対策しつつ全面実施		特になし	①②③⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施			①②
388	東京交通短期大学	②一部利用制限	①②			①対策しつつ全面実施			②③④⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施			①②⑤
389	東京成徳短期大学	①全面利用可能				④その他		体育会系に属する団体なし	①②③④⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施			①②
390	新渡戸文化短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施			

No.	学校名	施設の利用可否	図書館の対応	その他の具体的な内容	図書館の創刊の代替措置	運動部活動の対応	部活動の創刊の理由	その他の具体的な内容	学生のメンタルケア	その他の具体的な内容等	卒業式の実施の有無	不実施の理由	入学式の実施の有無	不実施の理由	卒業・入学式の工夫	その他の具体的な内容
391	東京立正短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
392	東邦音楽短期大学	①全面利用可能				④その他		運動部活動はありません。	①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
393	創価女子短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑧	新入生のうち、寮生を除く自宅通学生、アパート通学生を対象に、「自宅生・アパート生懸懐新」を開催。教職員やサポート学生が新入生の接遇を担い、夜間立寄りやサポートを行い、①卒業式実施	①卒業式実施		①入学式実施		①②③④⑤	保護者の参加をなくしたため、式典の様子をオンラインで配信した(リアルタイムで一定期間オンデマンド)
394	白梅学園短期大学	②一部利用制限	①②③			②一部禁止	一定条件の元、条件を満たさない活動は認めない予定。		①②③④		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
395	東京女子体育短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
396	フェリス学院短期大学	①全面利用可能				④その他		もともと運動部がありません	①②③⑤⑥⑧	新入生全員必修の授業の中に、クラスごとにまとめる自習の自習の中におこなうアクティビティを設計しており、感染症対策を講じつつ友人作り、担任との交流ができる仕組みをついている。	①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	歌をうたわない、全体の時間短縮(30分以内にする)
397	桐蔭学園芸術短期大学	②一部利用制限	①②③			④その他		体育会の活動はない	①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
398	山野美容芸術短期大学	①全面利用可能				④その他		感染症拡大防止のため、全面的に課外活動を禁止している。	①②④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
399	日本歯科大学東京短期大学	②一部利用制限	①②③			③全面禁止		コロナウイルス感染症の感染状況を考慮しているため	①②③④⑤⑥⑦⑧	クラス主任、副主任を中心として、個人面談の実施やいつでも相談できるような体制を整えている。また、職員のカウンセラーやトランスジェンダー委員と連携し、学生の不安や悩みに対応できるよう努めている。	①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
400	東京歯科大学短期大学	②一部利用制限	①②③	該当なし	特になし	④その他	該当なし	基本的に運動部の活動を可能にしているが、部活動を詳細に記載した企画書を学生課に提出させ、部員間の距離、密にならないなどの状況を把握しているかを確認し、学生部長が活動期間ごとに許可をしている。	①③④	該当なし	①卒業式実施	該当なし	①入学式実施	該当なし	①②④⑤	呼名への返事はなしとして起床のみさせた。国家斉唱、校歌斉唱は普通のみ流して、歌わずに起床対応とした。保護者の列席は一斉旗1名に制限して案内を巡回した。
401	ヤマザキ動物看護専門学校短期大学	②一部利用制限	①③	事前申請があった場合、開館時間を早める対応をとることとした。		④その他		部活は存在していない。	①②③④⑤⑥		③実施せず	平成31年4月開学のため、卒業生は存在しなかった。	①入学式実施		①②④	
402	有明教育芸術短期大学	②一部利用制限	①②③			②一部禁止	密にならないよう産席の制限をしているが、学生の修学に影響を有するものではない	感染症拡大を防ぐため	①③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
403	真狩学園短期大学	①全面利用可能				④その他		運動部はありません。	①②④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
404	東京工業高等専門学校	②一部利用制限	①②③	図書館内のテーブル・机の消毒を行い、感染症対策を講じる。		①対策しつつ全面実施			①②③④		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
405	東京都立産業技術高等専門学校	②一部利用制限	①②	特になし	特になし	①対策しつつ全面実施	特になし	特になし	①②③④⑥	特になし	①卒業式実施	特になし	①入学式実施	特になし	①②④	特になし
406	サレジオ工業高等専門学校	②一部利用制限	①②③			④その他		本校BCPのレベルにもよるが、部活動ごとに申請を行い検温などの条件をクリアした場合に活動を許可している。	①②③④⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
407	横浜国立大学	②一部利用制限	①③			①対策しつつ全面実施		本書の図書館では、産席を制限する予定ですが、それ以外の制限は設けません。産席を制限することで図書館での学修機会を制限することにありますが、資料の貸し出しは制限を設けませんので、特別な代替措置の必要はないと考えています。	①②③④⑤⑥⑦		②代替措置実施		③代替措置実施		①②④	
408	総合研究大学院大学	②一部利用制限	①②③⑤			④その他		電子ジャーナルの学外からのリモートアクセスのサポートや図書館購入の補助を行う。	①②③④⑤⑥⑦	運動部が存在しない。	①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
409	横浜市立大学	②一部利用制限	①②③⑦	複数人で利用するスペースや飲食のスペースの利用を禁止する。		①対策しつつ全面実施		・感染症による図書館貸出や複写物の提供、情報提供ガイダンス資料の公開、オンラインでのレファレンス相談対応	①②③④⑥⑦⑧		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
410	神奈川県立保健福祉大学	②一部利用制限	②			④その他		部活動はない(すべてサークル活動)	①③		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
411	川崎市立看護短期大学	②一部利用制限	①			④その他		該当なし。	①②③		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
412	相模女子大学	②一部利用制限	①②③			①対策しつつ全面実施			①②③⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
413	北里大学	②一部利用制限	①③			①対策しつつ全面実施		三密の状況を防ぐための産席の利用を制限しているが、自習・読書スペースとして、使用していない図書室をできる限り開放している。	①②③④⑥		①卒業式実施		④入学式や代替措置を実施する予定はない。	①②④⑤	①②④⑤	来場者全員に検温を実施した。実際に対象となった卒業生はなかったが、訂正上が測定された者に対しては、別室に案内し、参加の可否について個別に医師が判断することとした。
414	慶應義塾大学	②一部利用制限	①②③⑤			①対策しつつ全面実施		図書館利用については、密になることを避けるための対策をとり、同時入館人数の制限を行うが、そのほかは、通常のサービスを提供する予定である。また、図書館情報サービスのオンライン化をさらに充実させることにより、従来以上に、学生の図書館情報の活用環境を向上させることとしている。このほか、種々の事情によりキャンパスに来ることが困難な学生に対しては、以下の対応を引き続き実施する。 ・郵送による資料の貸出・返却・文献複写物の郵送 ・基学金の免除 ・オンライン(メール、Zoom、Line等)による、レファレンス、セミナー、オリエンテーションの実施 ・学外、自宅から使える電子資料(電子ブック、電子ジャーナル、データベース)の充実、ガイド作成、提供等	①②③④⑤⑥⑧	学生相談室の取り組みとして以下を行っている。 ・「自分で自分の心ケアする手がかりを見つけられるよう、「今すぐ使える心のケア資料集」を作成し、在学生向けウェブサイトで公開している。 ・カウンセラーのファシリテーションのもと、特定のテーマに沿って学生たちがグループワークを行う「学生相談室グループワーク」を別室実施している。2020年度は「ストレスのセルフケア」などをテーマに複数回オンライングループワークを実施し、参加者が実施しているストレスケアのアイデアを、在学生向けウェブサイトで公開している。	①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	感染症の影響で入学式が実施できなかった2020年度の入学生に向けては、ウェブサイト上の特設ページにおいて、学長や学部長、研究科委員長等からの動画メッセージを掲載したが、あらためて2021年度春学期に、2020年度入学生を対象とした対面型の特別イベントを開催する予定である。
415	女子美術大学	②一部利用制限	①②③			④その他		現在、運動部の活動は自粛を要請しているが、制限を設けつつ感染防止策をとったうえで活動を再開させるか感染状況を監視している。	①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	

No.	学校名	施設の利用可否	図書館の対応	その他の具体的な内容	図書館の創設の代替措置	運動部活動の対応	部活動の創設の理由	その他の具体的な内容	学生のメンタルケア	その他の具体的な内容等	卒業式の実施有無	不実施の理由	入学式の実施有無	不実施の理由	卒業・入学式の工夫	その他の具体的な内容
416	専修大学	②一部利用制限	①②③		非来館型サービスの提供（電子リソースの充実（アクセス方法をまとめたサイトの開設、電子ブックのリエクスサービスの開始）・書籍配達貸出サービス・文献複製物の配達サービス・オンラインレファレンス	①対策しつづ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
417	東海大学	①全面利用可能				①対策しつづ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		③入学式実施		①②③④	
418	桐蔭横浜大学	①全面利用可能				④その他		強化指定クラブは、指導者管理のもと実施することとしている。一般クラブは、公認制のあるクラブについては、強化指定部に準じ、それ以外は各名以下の自主トレーニングのみ許可している。	①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
419	神奈川大学	①全面利用可能				②一部禁止	学内施設における新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、一部の運動部活動のみを許可しているため。		①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		③入学式実施		①②③④⑤	事前申込、当日受付システムによる入場者管理を実施。式典内容の整理による時間短縮。資料配布を見直し、QRコード読み取りによるQR印刷票による配布。会場できない学生、保護者向けに式典をライブ配信。
420	関東学院大学	②一部利用制限	①②③		書籍の配達サービス、電子コンテンツの利用、オンラインコンテンツの活用（図書館利用方法、ガイダンス等）	①対策しつづ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		③入学式実施		①②④	
421	鶴見大学	②一部利用制限	①②③		令和2年度から開始した「非来館型サービス」を一部実施させ、継続的な図書館サービスとして位置づけ、従来の「来館型サービス」と並行して実施する。詳細は以下のとおりである。1. 「現物圖書の利用」については、「配達貸出サービス」を実施し、自宅等に於いての利用環境を確保する。なお、送料は往復大学負担である。2. 「学内学術雑誌の利用」については、「論文複製配達サービス」を実施し、自宅等に於いての利用環境を確保する。なお、送料は大学負担である。3. 「電子書籍の利用」については、「VPN接続」、「学認」の導入により、「学館等と同様な通信環境を提供」し、自宅等に於いての電子書籍へのアクセス環境を確保する。4. 「レファレンスの利用」については、メールフォームによる「オンラインレファレンス」を実施し、自宅等に於いても学館等と同様なサービスを提供する。5. ランキングモンスターによる授業の実施については、「撮影・記録システム」を導入し、自宅等に於いても、双方向の学生相互ディスカッションが可能な学習環境を確保する。なお、自身のディスカッションが撮影・記録可能となる事から、振り返り学習による改善等の効果など、より高い教育・学修効果が期待できる。また、YouTubeに記録可能な事から、反復学習、反転学習の実施など、教材作成支援、授業支援にも貢献することが期待できる。6. 「図書館オンライン・エンターテインメント・ガイダンスの実施」については、インターネット上での「利用案内」や「圖書の検索方法」等のガイダンス動画の公開に加え、施設見学を可能とする「3Dビュー」を導入し、臨場感を伴う非来館型の利用者教育を可能とするサービスを提供する。	④その他	具体的な感染対策を講じた上で、顧問と代表学生による活動計画書を提出してもらい、学生支援課で内容を確認し許可する	①②③		③実施せず	一時は、学部・学科別に分散して式典を実施することを検討したが、緊急事態宣言発令が解除されない状況で、式典後、キャンパス内で写真撮影等で密になる状態を避けることを優先した。	③代替措置実施	①②④			
422	フェリス学院大学	①全面利用可能				①対策しつづ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
423	横浜商科大学	①全面利用可能				④その他		感染対策をしつつ活動再開準備を行ない、許可をした団体のみ活動をしている。	①②③④⑤⑥		①卒業式実施		③入学式実施		①②	
424	情報セキュリティ大学 院大学	①全面利用可能				①対策しつづ全面実施			①②③⑤		①卒業式実施		③入学式実施		①②	
425	麻布大学	②一部利用制限	①③		電子ブック収集の強化	①対策しつづ全面実施			①②③④⑤⑥⑦⑧	学生のメンタルヘルスケアのためのセミナーをオンデマンドで配信した。	①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	令和2年度の入学式が実施できなかったことを踏まえて、4月の全学科新2年生の在学生ガイダンスにおいて、発表会から挨拶をいただくこととしている。
426	神奈川歯科大学	②一部利用制限	①②③		該当しない（感染対策を講じながら開催しているため）	③全面禁止	他大学の感染状況に鑑み、運動部のリスクが高いため		①②③④⑤⑥		①卒業式実施		③入学式実施		①②④	
427	鎌倉女子大学	①全面利用可能				①対策しつづ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		③入学式実施		①②④	
428	湘南工科大学	②一部利用制限	①②③		特になし。	①対策しつづ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		③入学式実施		①②④	
429	湘南医療大学	①全面利用可能				①対策しつづ全面実施			①②④		①卒業式実施		③代替措置実施		①	

No.	学校名	施設の利用可否	図書館の対応	その他の具体的な内容	図書館の制限の代替措置	運動部活動の対応	部活動の制限の理由	その他の具体的な内容	学生のメンタルケア	その他の具体的な内容等	卒業式の実施有無	不実施の理由	入学式の実施有無	不実施の理由	春・入学式の工夫	その他の具体的な内容
430	洗足学園音楽大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
431	聖マリアンナ医科大学	②一部利用制限	①③			④その他		現在は、オンラインでの活動が中心となっているが、今後の感染状況や社会情勢に応じて、可能な限り活動開始できるように喜ばしい。	①②③④		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
432	神奈川工科大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		②代替措置実施		③代替措置実施		①②④	
433	昭和音楽大学	①全面利用可能				④その他		音楽大学で体育会に属する部活がない。	①②③⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
434	東洋英和女学院大学	②一部利用制限	①②③⑤⑦	・館内各所に手指消毒アルコール、除菌シート、蓋付ゴミ箱を設置 ・感染防止対策について掲示等による注意喚起 ・館内正面による検温 ・オンラインレファレンスサービス等(月/日) ・返却ボックスは常に開けておき、返却のみの利用の人は入館せず に返却できるようにする。	オンラインレファレンスサービス等	①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
435	松蔭大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
436	田園調布学園大学	②一部利用制限	①②③			①対策しつつ全面実施			③		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
437	横浜美術大学	②一部利用制限	①②③⑦	入館時に氏名の記入を求め、郵送 電子図書館を運用する、郵送貸出を 貸出を行う		④その他		本学には登録にある運動部が存在しない(サークルしかない)	①②③⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
438	日本映画大学	①全面利用可能				④その他		本学は運動部が存在しない	①②③④		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
439	横浜創英大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
440	湖南鎌倉医療大学	①全面利用可能				④その他		本学は令和2年度開設の新設校であり、設置回答時点で運動部が存在していない。	①②③④		③実施せず	本学は令和2年度開設の新設校であり、設置回答時点で卒業年度生が在籍していない。	①入学式実施		①②④	
441	和泉短期大学	②一部利用制限	①②			③全面禁止	更衣室やシャワー室の共同利用が ラスタ-発生の原因になると考えら れるため。		①②③④		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
442	横浜女子短期大学	②一部利用制限	②			④その他		活動希望が出されれば、具体的な感 染予防策を講じて実施予定。	①②④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
443	小田原短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
444	洗足こども短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
445	東海大学医療技術短期 大学	②一部利用制限	①②③	複数人で学習を行う場合は、学習計 画を提出することで、空き教室での 学習を可としている。		④その他		運動部自体がない	①②③⑥	指導教員による定期的な面談により、悩みや不 安を抱える学生の把握を行っている。	①卒業式実施		④入学式や代替措置を 実施する予定はない。 学生募集を停止してお り、新入生の入学がない ため	①②④		
446	湖北短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②④⑥		②代替措置実施		①入学式実施		①②	
447	横浜薬科大学	②一部利用制限	①③			③全面禁止	全国的に運動部等でクラスターが発 生しているから		①③⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
448	新潟大学	②一部利用制限	①③	電子書籍の充実、学外からも学認 等でも利用可能なオンライン資料の 充実	①対策しつつ全面実施				①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	卒業式について、式典 の2週間前から式典当 日までの間、本員以外 の地域の住民について 強く自粛を要請。
449	長岡技術科学大学	②一部利用制限				④その他		各サークルに感染対策を盛り込んだ 活動計画を作成させ、十分に対策が なされていると認められたサークル のみ活動を許可している。	①②③④⑤⑥		①卒業式実施		③代替措置実施		①②④	
450	上越教育大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
451	新潟県立看護大学	②一部利用制限	①②⑤			①対策しつつ全面実施			①②③		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
452	新潟県立大学	②一部利用制限	①			④その他		運動部なし	①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
453	長岡造形大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	卒業式等から体調 チェックシートの提出 、欠席者や保護者向け に式のlive配信(終 了後は録画を視聴し必 要)
454	三条市立大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④		③実施せず		②入学式を延期し実施		①②	
455	長岡大学	②一部利用制限	①②③	開始時間の短縮や間隔をあげるため に座席を減らしたが、コロナ禍前と 比べて図書館利用に関して影響を与 えるほどの制限をしたとは考えられ ないが、代わりに行う取組として機 会によってはオンラインによる説明 会や相談を考えている。		①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
456	新潟医療福祉大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤		①卒業式実施		③代替措置実施		①②④	
457	新潟育英大学	②一部利用制限	①②③			④その他	各部落において活動における感染予 防ガイドラインを作成・申請により 活動を認める。		①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
458	新潟工科大学	②一部利用制限	①③⑦	利用資料は、付着している可能性の あるウイルスを不活性化させるた め、一定期間保管記録されている。	・電子書籍を提供し、学外でも資料 を利用できるようにする。 ・リ モートアクセス可能なコンテンツ (データベース、電子ジャーナル 等)の利用サポートを行う。	④その他		・活動を希望する団体毎に感染予防 対策を策定させ、内容を確認して許 可を行う。 ・活動及び感染予防対 策の履行状況により、活動強度や種 目の拡大を認めている。 ・活動場 所の罹患者の発生状況などを勘案し、 活動を制限する場合もある。	①②④⑤⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
459	新潟経営大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
460	新潟国際情報大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①④	
461	敬和学園大学	①全面利用可能				④その他		感染防止の具体的な対応について書 類提出させて、活動の可否を判断す る。	①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
462	新潟薬科大学	②一部利用制限	①②③			①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
463	国際大学	①全面利用可能				④その他		運動部はない。体育施設は学生の自 主的な運用に任せている。	①②③⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
464	新潟産業大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
465	事業創造大学院大学	②一部利用制限	①②⑤		学外からのデータベースへのア ccessを可とする。	④その他		専門職大学院大学であり、運動部は 存在しない。	①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		④	時間短縮の工夫。
466	新潟リハビリシ ョナル学 院大学	①全面利用可能				④その他		本学はサークル活動のみで、運動部 は存在していない。	①②③④⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
467	新潟食料農業大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥		③実施せず		①入学式実施		①②	
468	関志専門職大学	①全面利用可能				④その他		現在運動部はない	①②③④		③実施せず		①入学式実施		①②	



No.	学校名	施設の利用可否	圖書の対応	その他の具体的な内容	圖書館の創設の代替措置	運動部活動の対応	部活動の創設の理由	その他の具体的な内容	学生のメンタルケア	その他の具体的な内容等	卒業式の実施有無	不実施の理由	入学式の実施有無	不実施の理由	卒業・入学式の工夫	その他の具体的な内容	
469	長岡崇徳大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③		③実施せず	学年途中、卒業生は無しのため。	①入学式実施		①②④		
470	新潟工業短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①③⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②		
471	新潟中央短期大学	②一部利用制限	①②③			④その他		本学に運動部が存在しない	①②		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
472	日本歯科大学新潟短期大学	②一部利用制限	②③			③全面禁止		感染症拡大防止の観点から活動を禁止している。	①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
473	明倫短期大学	②一部利用制限	①③			④その他		体育館の個人利用のみ	①②③④⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
474	長岡工業高等専門学校	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
475	富山大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
476	富山県立大学	①全面利用可能				④その他		「校外活動実施基準」を満たすと認められたサークルについては、活動を認めているところであるが、本学にはいかなる体育会に属する運動部活動はない。	①②③④⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
477	高岡法科大学	②一部利用制限	①③			①対策しつつ全面実施		・個々の学生からの問い合わせやニーズに合わせて、随時柔軟に対応、支援する。・学習に役立つデータベースやサイトをホームページ等で紹介する。	①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
478	富山国際大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④		
479	桐朋学園大学院大学	①全面利用可能				④その他		運動部がない	②③		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
480	富山短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④		
481	富山福祉短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
482	富山高専専門学校	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
483	金沢大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑧		留みや不安を抱える学生の把握への取組として、学生本人だけでなく、教職員や家族、その他の相談担当者との連携や、病院主治医との連携を医師、公認心理師が行っている。また、就職相談員等による就職相談もしている。	①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
484	北陸先端科学技術大学院大学	②一部利用制限	①⑦			④その他		4-3、②-⑥に該当するような利用制限は実施しておらず、「⑦その「3密」を避けるため、閲覧席座数を減らす。・サービスカウンターの、閲覧席座数を減らしてきます業務を縮小する(利用者からの質問が、視察したは館内のごく一部の等とは異なる)メール等を活用、かみで、時間制限や混雑(学生センターに職員が常駐せず必要な場合のみ対応する等)。	①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		③代替措置実施		①②④		
485	公立小松大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		③実施せず	2018年度開学のため卒業生がいない。	①入学式実施		①②		
486	石川県立大学	②一部利用制限	②③			④その他		新型コロナウイルス感染症拡大防止のための図書館の閉館時間が短縮されたり、学生が登校禁止になっている期間については、令和2年度新学期より「限定による図書貸し出し」や「図書の貸し出し期間の延長」を継続して実施している。	①②④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
487	金沢美術工芸大学	②一部利用制限	①②③⑤⑦	返却本を3日間留置する。		④その他		令和3年度については検討中。ただし、令和2年度は活動を基本的に認めるが、学内感染拡大防止のため、学内施設の使用は認めていない。	①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	令和3年度入学生とは別に、令和2年度入学生を対象とした履修見直しでの入学式を実施予定。	
488	石川県立看護大学	②一部利用制限	①②③			④その他		運動部に限らず、サークル活動全般の再開について、部室、更衣室を含む施設の使用等の課題を検討中。	①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
489	金沢星稜大学	②一部利用制限	①②③			①対策しつつ全面実施			①②③④⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	リアルタイム中継を導入	
490	金沢工業大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
491	金沢医科大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
492	北陸大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
493	金沢学院大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
494	金沢学院短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
495	金城大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
496	北陸学院大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
497	かなざわ看護マネジメント専門学校	①全面利用可能				④その他		2021年4月開学のため部活動そのものがいないため。	①		③実施せず	2021年4月開学のため、卒業式そのものの実施がいないため。	①入学式実施		①②④		
498	石川工業高等専門学校	②一部利用制限	①⑦			①対策しつつ全面実施		ラーニングコモンズなど学生の密集 Microsoft365のチャット機能などで予想される場所の利用を制限する。学生間、学生-教員間の連絡を密にしている。	①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	卒業式は、保護者向けにライブ配信を行った。令和2年度は、保護者は別室に待機いただき、ライブ配信を見てもらう予定である。	
499	国際高等専門学校	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥⑧		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
500	福井大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
501	福井県立大学	②一部利用制限	①②			①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
502	敦賀市立看護大学	②一部利用制限	①②③			①対策しつつ全面実施			①②③④		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
503	福井工業大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	他県からの式典参加者は1週間前までに福井県に拠点を移していること、また、3週間、後援団体協賛を行い、健康観察表を提出してもらう予定である。	

No.	学校名	施設の利用可否	図書館の対応	その他の具体的な内容	図書館の創刊の代替措置	運動部活動の対応	部活動の創刊の理由	その他の具体的な内容	学生のメンタルケア	その他の具体的な内容等	卒業式の実施有無	不実施の理由	入学式の実施有無	不実施の理由	卒業・入学式の工夫	その他の具体的な内容
504	仁愛大学	①全面利用可能				④その他		事前に活動申請を行い許可された場合において、週1回限り感染防止策を実施したうえで活動を認めている。	①②③⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
505	福井医療大学	②一部利用制限	②③			③全面禁止			①②③④		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
506	仁愛女子短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
507	福井工業高等専門学校	②一部利用制限	①②③			①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
508	山梨大学	①全面利用可能				④その他		感染拡大防止対策に留意したサークル活動申込書を提出し、許可を受け運動部の活動	①②③⑤⑧	・教職員や保護者から学生の対応についての相談を受け、学生を積極的に支援している。・特にケアのニーズが高い学生について、教職員間で情報共有のためのケース会議を行っている。・支援の要請があった学生には個別面談を実施し、修学スキルを高めるための助言等を行っている。・授業上の配慮への要請があった学生には、医師の判断のもと、授業出席扱いを発行して環境調整を行っている。・認知行動療法ワークショップやリラクゼーションに関する実践(ヨガ実技)を行っている。・新型コロナウイルス感染症への対応として、ストレスマネジメントや感情調整法等に関する情報発信を行っている。	①卒業式実施		③代替措置実施		①②⑤	卒業式については、学内の会場で一室に設ける式典は行わず、学内の会場で代表者のみ出席し、オンラインプラットフォームでのライブ配信を実施した。入学式については、全体での入学式は実施しないが、各学科等で実施されるガイダンスの冒頭において、学長式辞及び入学生の言葉動画を配信する等、入学式に替わるイベントを実施するよう対応する。
509	都留文科大	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
510	山梨県立大	②一部利用制限	①②③			④その他		複数のサークルが同一の場面で活動しないよう(=密にならないよう)活動回数を制限	①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
511	大月短期大	①全面利用可能				④その他	運動部活動該当なし		①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
512	山梨学院大	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
513	身延山大	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
514	山梨英和大学	②一部利用制限	①②③	なし	文献貸出やレファレンスの依頼はメール種目で受付しているほか、送での貸出も対応している。	④その他	なし	体育会運動部なし、文化部・サークルあり。2021年度の課外活動方針は感染状況を要しながら緩和予定。現時点では活動申請に基づき感染対策がされていることを確認の上許可。	①②③④⑥⑧	・入学前教育におけるカウンセラーのグループワーク、・初年女子ミミにおける学生相談室とカウンセラーによるグループワーク、・学内「学生相談室」、学外「ハローワーク及び各支援機関」の情報共有、また具体的な支援について連携を図っている。	なし	①入学式実施	なし	①②	なし	
515	健康科学大	①全面利用可能				④その他		活動計画書を作成し、学内審査の上活動を許可された団体のみ活動を再開できるように体制を検討中である。	①③⑥⑧	専任の心理カウンセラーの配置を検討している。	①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
516	山梨学院短期大	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
517	帝京学園短期大	①全面利用可能				④その他			②⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
518	信州大	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
519	公立諏訪東京理科大	②一部利用制限	①②③		自宅からでも使用可能な電子ジャーナル、電子ブック、データベース等の利用方法の告知、利用の促進	④その他		各団体においてどのような感染対策を実施しながら活動を予定しているかを大生に提出させ、これが感染対策として適切ないと判断できた団体に対して活動を許可する	①②③④⑤⑥⑦⑧	学生の保護者も使用可能な24時間体制の相談窓口を外部専門機関に委託。	①卒業式実施		①入学式実施		①②③④⑤	参加できない列席対象者や、列席者制限により参加できない保護者に対して式典の様子をネット配信した。
520	長野県立大	②一部利用制限	①②③⑤			④その他		感染状況を要極め、万計を打って対応している。	①②③④⑤⑥		③実施せず	卒業学年がいなかったため。	②入学式を延期し実施		①②	
521	長野県看護大	②一部利用制限	①③			①対策しつつ全面実施			①②③⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
522	長野大	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
523	松本歯科大	②一部利用制限	①			①対策しつつ全面実施			①②		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
524	松本大	②一部利用制限	①②		利用時間の制限は、影響の少ない範囲で行うことから、代わりに行う組は特に検討していない。	①対策しつつ全面実施			①②		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
525	清泉学院大	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
526	佐久大	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
527	長野県健康医療大	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
528	松本看護大	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①⑥		③実施せず	令和3年度開学のため	①入学式実施		①②④	
529	上田女子短期大	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
530	飯田女子短期大	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
531	長野女子短期大	①全面利用可能				④その他		サークル活動のみである	①④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
532	松本短期大	①全面利用可能				④その他		サークル活動は実施しているが、運動部活動は無し	①②③④⑤⑥⑧	不安状態の学生を把握した後、面談または電話による相談に応じしている。	①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
533	清泉学院短期大	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
534	信州豊南短期大	②一部利用制限	①			①対策しつつ全面実施			①②④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
535	長野工業高等専門学校	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
536	岐阜大	②一部利用制限	①②③		図書館本館では、学生の貸出冊数の上限は通常の2倍(学部学生10冊まで、大学院生14冊まで)や図書の郵送貸出(学生限定)に取り組んでいる。	④その他		現時点では、感染対策を講じつつ、全ての運動部の活動を実施しているが、国・県の指図により全面的に禁止することもある。	①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
537	岐阜薬科大	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
538	岐阜県立看護大	②一部利用制限	①③			④その他		体育会に属する運動部活動は無し。	①②③		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
539	情報科学芸術大学院大	②一部利用制限	②③		郵送貸出の実施	④その他		部そのものがない。	①②③		①卒業式実施		①入学式実施		①④⑤	30分以内に時間短縮した。
540	岐阜市立女子短期大	②一部利用制限	①			①対策しつつ全面実施			①②③⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
541	大垣女子短期大	②一部利用制限	①②③		特になし。	①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑧	学生生活に悩みや不安を抱える学生の把握をした後、UPI(精神的健康度調査)の得点が高い学生や、悩みを記述した学生を個別に呼び出し、カウンセリングしている。	①卒業式実施		①入学式実施		①②④	

No.	学校名	施設の利用可否	図書館の対応	その他の具体的な内容	図書館の創設の代替措置	運動部活動の対応	部活動の創設の理由	その他の具体的な内容	学生のメンタルケア	その他の具体的な内容等	卒業式の実施有無	不実施の理由	入学式の実施有無	不実施の理由	卒業・入学式の工夫	その他の具体的な内容
542	中央学院大学	②一部利用制限	①②③			①対策しつつ全面実施			①②③④⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
543	岐阜協立大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		②代替措置実施		①入学式実施		①②④	
544	岐阜女子大学	①全面利用可能				④その他		クラブ顧問、感染対策指導者(種別)の活動体制を整備されているクラブの活動を申請により認める。	①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
545	朝日大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
546	岐阜聖徳学園大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②④⑥	本学では、保健室で、地域のフードバンク等と連携し、生活に困窮している学生に対して食事の支援を行っている。また同様に相談フォームを開設し、来学できない状況においても相談ができるよう対応している。また学生相談室では、4月末に全学生に対してメンタルヘルスマネジメントを実施し、スコアに応じて相談員がフォローの電話を入れて、ケースによっては継続的にフォローアップをし、相談室への来室を促す等の支援を行った。	①卒業式実施		①入学式実施		①②⑤	卒業式後に予定していた学生主催の閉会式は、自ら中止を判断し実施しなかった。
547	東海学院大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
548	中部学院大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①④	
549	岐阜医療科学大学	②一部利用制限	①②③		特になし	③全面禁止	感染予防のため		①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
550	岐阜保健大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②④		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
551	正徳短期大学	①全面利用可能				④その他		本学では運動部の部活動を行っている。	①③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
552	中日本自動車短期大学	①全面利用可能				④その他		運動部の活動がそもそもない	①④		①卒業式実施		①入学式実施		①④	
553	高山自動車短期大学	②一部利用制限	①③		学生からの問い合わせがあれば状況が許す限りにおいて個別に対応する予定である。	④その他			①③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
554	平成医療短期大学	②一部利用制限	①②		特にありません。	④その他		運動部はありません。	①③		①卒業式実施		③代替措置実施		①②④	
555	岐阜工業高等専門学校	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	令和元年度の卒業生・肄子について、各学科代表のみ出席してもらい、その模様をオンライン配信することによって行われる予定です。
556	静岡大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
557	浜松医科大学	②一部利用制限	①			①対策しつつ全面実施			①②③④		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
558	静岡国立森林環境専門学校	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
559	静岡国立大学	②一部利用制限	①②③			①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
560	静岡文化芸術大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
561	静岡社会健康医学大学院大学	①全面利用可能				④その他		本学は大学院大学であり運動部は存在しないため	①		③実施せず		①入学式実施		①②	本学は令和3年度新設大学院のため、小規模校(博士後期課程のみの大学院大学)で学位取得者がいなかった。
562	光産業創成大学院大学	①全面利用可能				④その他	小規模校(博士後期課程のみの大学院大学)で公設の部活動はない。		②⑤		③実施せず		①入学式実施		①②	
563	静岡福祉大学	②一部利用制限	②③		電子書籍の導入	④その他		運動部なし	①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
564	浜松学院大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
565	静岡英和学院大学	①全面利用可能				④その他		運動部は無し、サークルはあり。	①②③		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
566	常葉大学	②一部利用制限	①②③			④その他		感染対策を講じた上ですべての部活動の活動を認めているが、異変発生や対立騒音などの活動を一部禁止している。	①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
567	静岡理工科大学	②一部利用制限	①③		館外・自宅から利用できる電子資料の充実と利用範囲の拡大を図り、学生の自宅学習を支援する。館外から利用可能な電子ブックや電子ジャーナルの充実を行っている。令和3年度より、学認利用による館からのリモートアクセス利用を準備中。これにより学外からの利用可能な電子資料が増え、利用範囲の拡大となる。	①対策しつつ全面実施			①②③④⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
568	聖隷クリストファー大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑧	複数の窓口を設けることで、学生が相談しやすい体制を強化しています。特に1年に1回は簡易的なスクリーニングを実施することで、早期対応可能な新たな体制作りを着手しています。本学は対人援助職の養成であることから、資格取得を目指す学生にとって実習が不可欠です。一方で実習が学生のメンタルヘルスに多大な影響を及ぼすことから、実習開始前に相談員からメールを発信するなどの対応などについても現在対応中です。	①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
569	静岡産業大学	②一部利用制限	①③⑦		入退館の管理	電子ジャーナル、電子ブック、データベースの学外からのアクセスを限定的に認めている。	①対策しつつ全面実施		①②③④⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
570	沼津工業高等専門学校	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④		①卒業式実施		①入学式実施		①②⑤	③昼後時間を設けず、主に午後中心に実施 ②国歌・校歌は演奏のみ ③呼名等は従来をせず起立のみとする
571	名古屋大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑧	学生生活に悩みや不安を抱える学生の把握後の取り組みとして、学生や担当教員にメール等で個別に連絡をとり、カウンセラーとの面談を行っている。	①卒業式実施	非該当	①入学式実施	非該当	①②③④	非該当
572	名古屋工業大学	②一部利用制限	①②③		特になし	④その他		各部活動が作成・提出し承認を受けた「活動計画書」に基づき、全体練習、公式戦、公式戦に伴う練習試合の実施を許可している。	①②③④⑤⑥⑦⑧	⑧保健センターでは、定期健康診断時に、心や障害に関する調査を行っており、その調査結果に基づき面談が必要な学生に対しては、個別に呼び出して面談を行い、状況によってはカウンセリングやクリニックについている。	①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
573	愛知教育大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
574	豊橋技術科学大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	

No.	学校名	施設の利用可否	図書館の対応	その他の具体的な内容	図書館の創刊の代替措置	運動部活動の対応	部活動の創刊の理由	その他の具体的な内容	学生のメンタルケア	その他の具体的な内容等	卒業式の実施有無	不実施の理由	入学式の実施有無	不実施の理由	卒業・入学式の工夫	その他の具体的な内容
575	名古屋市立大学	②一部利用制限	①②③⑤			①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	式における卒業式時の短縮及びwebでの配信、式のライブ配信。
576	愛知県立芸術大学	②一部利用制限	②③⑤			④その他	申請が必要で、対策金種で許可されれば活動を認める。		①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
577	愛知県立大学	②一部利用制限	①②③			②一部禁止			①②③④⑥		②代替措置実施		③代替措置実施		④	
578	中京大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
579	愛知工科大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②④		①卒業式実施		①入学式実施		①	
580	名古屋産業大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		②	
581	人間環境大学	②一部利用制限	①③		特になし	④その他			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
582	名古屋文理大学	②一部利用制限	①③		アクリル板の設置や換気の換行などの感染対策並びにソーシャルディスタンス確保のための座席数の1/2化のみの対策であり図書館機能は継続運用した。	①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥	学生相談体制を強化している。(心理相談員の設置)	①卒業式実施		①入学式実施		①②	
583	愛知みずほ大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
584	愛知学院大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦⑧		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
585	愛知工業大学	②一部利用制限	③⑦	学外者の利用を禁止している。	一部座席の利用制限であり、大きな支障はないと考えている。	④その他		愛知県の感染レベルに応じて活動を制限する。	①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①④	
586	金城学院大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
587	橋山学園大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
588	大同大学	②一部利用制限	①②③			①対策しつつ全面実施		電子ブック等を積極的に導入するとともに、電子ブック等のデータベースの学外からのアクセス制限を緩和します。	①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
589	同朋大学	②一部利用制限	②③			②一部禁止	事前にコロナ対策を含む活動予定の提出を義務づける。提出のない運動部の活動は認めない。		①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
590	名古屋学院大学	②一部利用制限	①②③		電子図書館システムを導入し、図書館外から一部の図書を学外的に借りられる措置をとった。	①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	式典の参加者を卒業生及び教職員のみとしたため、参加できない保護者等のために、式典のライブ配信を行った。令和3年度入学式も同様にライブ配信を行う予定である。また、4月に実施できなかった令和2年度の入学式は、9月に「新入生歓迎セレモニー」として、学部単位で実施した。
591	名古屋商科大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
592	名古屋女子大学	②一部利用制限	①	座席数の半減、学習室(個室)の使用禁止。		①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
593	南山大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑧		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
594	日本福祉大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
595	名城大学	①全面利用可能				④その他		所属する選抜や協会等のガイドライン等で認められた活動で、感染対策を講じつつ、活動申請があったすべての運動部の活動を実施する予定。	①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②⑤	事前に収録した卒業式・入学式の映像を配信する。
596	名古屋音楽大学	②一部利用制限	①			④その他		部活はありません。	①②③		②代替措置実施		③代替措置実施		①②④	
597	豊田工科大学	②一部利用制限	①②③		郵送貸出の実施、シラバス等にて各授業に指定されている参考書・工業実験参考書のうち電子書籍の調達が可能なものを導入。	②一部禁止			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
598	名古屋外国語大学	②一部利用制限	①②③		電子資料の購入を増やすことで、非接触・遠隔利用の促進を図る。	①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
599	名古屋造形大学	②一部利用制限	③			③全面禁止		感染対策が講じにくい	①②③④		①卒業式実施		②入学式を延期実施		①	
600	愛知産業大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
601	東海学園大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
602	豊橋創造大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①	
603	愛知東邦大学	②一部利用制限	①②③			①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
604	星城大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
605	愛知文教大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
606	桜花学園大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
607	愛知大学	②一部利用制限	①③⑦	大学に通学できない学生に対し、貸し出し、学外からのアクセス環境を確保し、非常態運用サービスを実施させていただきます。		①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④⑤	列席者制限に伴って式典のライブ配信を行いました。
608	愛知学院大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
609	至学館大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	学位記授与式(卒業式)において、式に参加予定の学生全員に対して、約1週間前までにPCR検査を実施し、陽性者がいないことを確認した。

No.	学校名	施設の利用可否	図書館の対応	その他の具体的な内容	図書館の創刊の代替措置	運動部活動の対応	部活動の創刊の理由	その他の具体的な内容	学生のメンタルケア	その他の具体的な内容等	卒業式の実施有無	不実施の理由	入学式の実施有無	不実施の理由	卒業・入学式の工夫	その他の具体的な内容
610	中部大学	②一部利用制限	①②③⑦	返却後の消毒の消毒	オンラインジャーナルへの学外アクセス導入、電子図書への学外アクセスの拡大、圖書の宅配サービス	①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦⑧	全学生に対して自己理解を深める教育的グループワークを行っている。保護者向けに学生対応講演会を配信した。また、学生相談室カウンセラーが新生の授業内で大学生生活応援を行った。	①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
611	藤田医科大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	式典のライブ配信を実施
612	名古屋芸術大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
613	愛知医科大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
614	愛知淑徳大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥		②代替措置実施		③代替措置実施		①②④	
615	名古屋経済大学	②一部利用制限	⑤			①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
616	名古屋学芸大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	オンソク生協の設置によるフェリスの除害に参加できない保護者向けのLIVE配信など
617	日本赤十字豊田看護大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
618	修文大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
619	岡崎女子大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥⑦		②代替措置実施		①入学式実施		①②④	
620	一宮研科大学	②一部利用制限	①②③			①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
621	名古屋柳城女子大学	②一部利用制限	①			④その他		部活動としての運動部はありません。	①③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
622	名古屋国際工科専門職大学	②一部利用制限	①③		電子書籍の整備	④その他		現時点で認めている運動部が存在しない	①③⑤		③実施せず	まだ卒業生が存在しない	①入学式実施		①②	
623	名古屋短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
624	愛知みずほ短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
625	名古屋柳城短期大学	②一部利用制限	①			④その他		部活動としての運動部はありません。	①④⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
626	名古屋文化短期大学	①全面利用可能				④その他		特別な活動がある場合は事前の確認が必要であるが、特になし。各クラブの判断において自粛を継続している。	①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②③	
627	愛知工科大学自動車短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②④		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
628	愛知学泉短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
629	愛知文教女子短期大学	②一部利用制限	①②③⑤			①対策しつつ全面実施			①②		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
630	岡崎女子短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥⑦		②代替措置実施		①入学式実施		①②④	
631	名古屋経営短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		②	
632	愛知江南短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①③⑥		①卒業式実施		④入学式や代替措置を実施する予定はない。	②④		
633	愛知医療学院短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
634	豊田工業高等専門学校	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	入学式後の学科紹介について、例年同じ会場を実施していたが今年度は学生、保護者を別の会場で実施する。
635	三重大学	②一部利用制限	①②③⑤		・所蔵資料等の自宅配送サービスの実施 ・電子ジャーナル、データベース、電子ブック等の電子コンテンツの学外利用の提供	①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑧		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
636	三重県立看護大学	②一部利用制限	①			①対策しつつ全面実施			①②③④		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
637	三重短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
638	四日市大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
639	皇學館大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
640	鈴鹿医療科学大学	②一部利用制限	①②③			④その他		感染対策内容を記した申請書を提出し、許可された部活動の活動を認めています。	①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
641	鈴鹿大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施	特になし		①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
642	四日市看護医療大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②③	
643	高田短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
644	ユマニテク短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
645	鈴鹿工業高等専門学校	②一部利用制限	①②③⑦	外部利用の禁止及び図書館入口での検温機設置		①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
646	鳥羽商船高等専門学校	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	3月実施の卒業式では、式典会場には卒業生及び一部教職員のみが出席した。そのため、保護者及び在校生は、自宅等で式典の様子が見られるよう、ライブ配信（YouTubeライブにて限定公開）を行った。令和3年度の入学式においても、式典会場には入学者及び一部の教職員のみが出席とする予定である。そのため、本校された保護者は、学内の教室（保護者控室）で式典の様子が見られるよう、ライブ配信（Microsoft Teamsを予定）を行う予定である。
647	近畿大学工業高等専門学校	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	



No.	学校名	施設の利用可否	図書館の対応	その他の具体的な内容	図書館の創刊の代替措置	運動部活動の対応	部活動の創刊の理由	その他の具体的な内容	学生のメンタルケア	その他の具体的な内容等	卒業式の実施有無	不実施の理由	入学式の実施有無	不実施の理由	卒業・入学式の工夫	その他の具体的な内容
648	滋賀大学	②一部利用制限	①②③⑤		本館が困難な学生を対象に各種図書・資料を自宅に届ける郵送サービスを実施。電子ジャーナル・データベースの学外アクセス方法の拡充。電子書籍の拡充。	①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
649	滋賀医科大学	②一部利用制限	①②③		従来は休館日であった日曜日に図書館を開館する。	①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
650	滋賀県立大学	②一部利用制限	①			①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
651	びわこびわこバビリーナ・シオン専門学校	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
652	成安造形大学	①全面利用可能				④その他		本学の場合、サークル活動の団体しか存在しない。また、現状、学生の課外活動は原則禁止で、学生からの申請があれば特例的に認める場合がある。	①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
653	聖泉大学	②一部利用制限	①②③④⑤			①対策しつつ全面実施			①②④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
654	長浜バイオ大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
655	びわこ成蹊スポーツ大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	・検温、・座席指定、・短時間、・静聴(発声なし)
656	びわこ学院大学	②一部利用制限	①②③⑤		昨年10月下旬より、図書館内にあるラーニングコモンズに新型コロナウイルス感染症対策として3密を避けるため、座席の利用制限、利用人数の制限、事前利用申込を行っている。配架の工夫をするなど利用者がより利用しやすい環境づくりに努めている。	①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
657	滋賀文教短期大学	②一部利用制限	①②③		検討中	④その他		運動部が無いため立ち上がった段階で検討	①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
658	滋賀短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
659	京都大学	②一部利用制限	①②③④⑤		貸出冊数及び期限延長回数を増やす所蔵資料の文庫複写の無償提供 学部雑誌や利用申請のオンライン交付 部雑誌 郵送貸出を開始 従来行っていなかった雑誌の貸出を開始	④その他		申請のあった運動部のガイドライン・活動計画等を審査し、許可した団体のみ実施している。	①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
660	京都教育大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②④⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
661	京都工芸繊維大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
662	京都市立芸術大学	①全面利用可能				④その他		活動申請のあった運動部活動について 感染対策の報告を求め、大学事務局にて判断を行った後、問題がない場合に活動を許可する。	①②③④⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
663	京都府立大学	①全面利用可能				②一部禁止	許可制としている。		①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
664	京都府立医科大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
665	福知山公立大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
666	京都先端科学大学	②一部利用制限	①			①対策しつつ全面実施			①②③④⑥⑦⑧		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
667	平安女学院大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
668	大谷大学	②一部利用制限	①②③		来館せず使用できるような可能な範囲でデータベースや電子ブックを追加し提供している。(印刷雑誌で学外からもアクセス可) また、全体的にないが来学状況や健康状況によっては図書や複写物郵送にも対応できる。	④その他		本学では課外活動を禁止していないが、行政のガイドラインに基づいて作成した学内独自のガイドラインを課外活動団体に配布し、そのガイドラインに基づいた活動計画及び申請書を個別の承認を得て提出させ、安全を確認できる団体及び活動を認めている。	①②④⑤	学内各部署が障がい学生担当者会議等で定期的に障がい学生(精神面含む)についての情報共有をし、連携して対応できるようにしている。	①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
669	京都外国語大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②	式場への入場を制限したため入れない方々のためにホームページにて、ライブ配信を行った。
670	京都産業大学	②一部利用制限	①②③		2019年に学生に貸し出しを行った図書館資料27,920タイトルの中から、1,732タイトルの電子書籍を2020年度に購入し、データベース等とともに利用を案内した。2021年度からは資料の購入申込時等に電子書籍購入希望有無を確認し、積極的に電子書籍の購入を進める。	①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
671	京都女子大学	②一部利用制限	①③			①対策しつつ全面実施		成績不良者の中に現在いるメンタルヘルス不調者を早期発見・対応するための取組(学修面談タイアップ)、メンタルヘルス不調予防のための教育啓発の取組、学業不安等のメンタルヘルス悪化防止のための取組(自習応援)、孤独感緩和のための取組(お弁当カフェ)	①②③④⑤⑥⑦⑧		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
672	京都薬科大学	②一部利用制限	①②③⑤			①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
673	京都光華女子大学	②一部利用制限	①			④その他		原則①の感染対策を講じつつ、すべての運動部の活動を実施する予定であるが、申込みをさせ、許可制とする。	①③⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
674	種智院大学	②一部利用制限	③			①対策しつつ全面実施			②		①卒業式実施		①入学式実施		①④	
675	京都橘大学	②一部利用制限	①③			①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
676	同志社大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
677	同志社女子大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
678	京大ノートルダム女子大学	②一部利用制限	①②③⑦		・感染の不安から書けできない学生に対し、希望により館内資料の郵送貸出、複写郵送、メールでのレファレンスに対応。(印刷雑誌によるデータベースの学外利用の促進)	①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	・式典時間を短縮した・式の出席を学生教職員限定とし、保護者へYouTube配信を行った。
679	花園大学	②一部利用制限	①②③			①対策しつつ全面実施			①②④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	

No.	学校名	施設の利用可否	図書館の対応	その他の具体的な内容	図書館の創刊の代替措置	運動部活動の対応	部活動の創刊の理由	その他の具体的な内容	学生のメンタルケア	その他の具体的な内容等	卒業式の実施有無	不実施の理由	入学式の実施有無	不実施の理由	卒業・入学式の工夫	その他の具体的な内容
680	佛教大学	②一部利用制限	①②		自習室に備えたWebコンテンツやデータベースを提供	①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
681	立命館大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施	該当なし	①入学式実施	該当なし	①②③④	該当なし
682	龍谷大学	②一部利用制限	①②③		「自習（学習）」から利用できる図書館サービス（各種データベース、ebook）の拡充。 通学できない理由を有する学生に対する送迎の送迎サービスの継続。	①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
683	京都精華大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦⑧		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
684	明治国際医療大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
685	京都芸術大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
686	京都文教大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
687	嵯峨美術大学	①全面利用可能				④その他	各団体に活動内容および感染防止対策の内容等を提出させ、学生支援委員会にて活動の可否を判断する予定。		①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
688	京都情報大学院大学	②一部利用制限	①②		コロナ禍以前より、AMの電子図書館等への加入をしており、学生に案内している。	④その他	大学院大学であるため、該当する運動部はない。		①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施	⑤		オンラインにより、だれもが不安なく参加できるように実施した。終了後には、双方両性も維持しながら、イベントの実施や、グループに分かれて友人や教職員と自由に話せる機会も確保するほか、バーチャルでアカデミックガウンを着用して写真撮影が可能なアプリを開発するなど、思い出しに残る工夫し演出している。
689	京都医療科学大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥	講義内でリラクゼーション講座などを開講している。	①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
690	京都華頂大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
691	京都美術工芸大学	②一部利用制限	①②③		制限中でも制限前と利用状況があまり変わらないため、代わりに行う取組は無い。	②一部禁止	マスク着用、ソーシャルディスタンスの確保が難しく、大声での会話が発生するものについては禁止する。		①②③		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
692	京都看護大学	②一部利用制限	①③		検討中	③全面禁止	運動サークルのみであるため		①②③⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
693	池坊短期大学	①全面利用可能				④その他		本学では運動部の活動を行っていない。	①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
694	京都経済短期大学	②一部利用制限	①			①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
695	華頂短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
696	京都外国語短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②⑤	式場への入場を制限したため入れない方々のためホームページにてライブ配信を行う。
697	京都文教短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
698	京都西山短期大学	②一部利用制限	①③		特に設けていない。	④その他		運動部活動はございません。	①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
699	嵯峨美術短期大学	①全面利用可能				④その他	各団体に活動内容および感染防止対策の内容等を提出させ、学生支援委員会にて活動の可否を判断する予定。		①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
700	舞鶴工業高等専門学校	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
701	大阪大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑧	1. 大阪府との共同事業としてLINEによるチャット形式の心の悩み相談を実施。2. 認知行動療法をベースにした大学休学アプリ「こころし」の活用。3. 対面授業に不安を抱える学生への個別対応。4. ASD大学生生活準備プログラムの実施。5. 留学生ネットワーク会議、フロントスタッフミーティング開催による支援レベルの強化。7. 授業欠席者に直接アプローチし、早期に支援することを計画	①卒業式実施		①入学式実施		①②③④⑤	
702	大阪教育大学	②一部利用制限	①②③		資料の閲覧について、オンライン利用可能な電子ブック等の充実を兼ね、出版元の許諾あるものは自宅等の学外アクセスを案内する。学生グループの学習について、教員同席の場合を許可し、感染防止に努める。	①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
703	大阪市立大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
704	大阪府立大学	②一部利用制限	①②③		閲覧は通常より数を減らして利用に供するが、代替的な取り組みを行う予定はない。	①対策しつつ全面実施			①③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		②④⑤	・会場の換気能力を002測定機により事前調査 ・会場の様子にはオンラインで配信・式典の方式が大幅に変更となったため、2度シミュレーションを実施
705	大阪経済大学	②一部利用制限	①③		座席の利用制限を実施するが、教室の開放や屋外への机・イス等の配置を行い、座席数の確保に努める。また、状況によっては令和2年度中に郵送での図書貸し出しサービスを実施する予定。	①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	③にも関連して、令和2年度入学式に係る入学式は、令和2年度中に感染対策を講じて実施。
706	大阪工業大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
707	大阪府立大学	②一部利用制限	①②③			④その他		現在、全面的に活動禁止中。4月以降も活動再開の目途はたっており、慎重に検討中。	①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
708	相愛大学	②一部利用制限	①②			①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
709	桃山学院大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	

No.	学校名	施設の利用可否	図書館の対応	その他の具体的な内容	図書館の創刊の代替措置	運動部活動の対応	部活動の創刊の理由	その他の具体的な内容	学生のメンタルケア	その他の具体的な内容等	卒業式の実施有無	不実施の理由	入学式の実施有無	不実施の理由	卒業・入学式の工夫	その他の具体的な内容
710	摂南大学	②一部利用制限	①③⑤			①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
711	桃山学院教育大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
712	大阪医科薬科大学	②一部利用制限	①②③		図書資料の貸出期間の延長、電子書籍や各種データベースのリモートアクセスの利用可能措置を講じている。	③全面禁止	現下の感染状況や学生へのアンケート結果を踏まえた決定である。		①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
713	大阪音楽大学	①全面利用可能				④その他		運動部なし	①②③		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
714	大阪学院大学	②一部利用制限				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
715	大阪芸術大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
716	大阪産業大学	②一部利用制限	①③		学生のフリースペースや食堂でPC等を利用できるように、電源コンセントを増設し、自習室の確保に努めています。	①対策しつつ全面実施			①②③⑥⑧	コロナ禍において培った遠隔授業の修学方法について、対応できていない（進んでいない）と感じる学生には、個別に連絡をとり、配慮を行うようにしています。	①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
717	大阪樟蔭女子大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
718	大阪商科大学	②一部利用制限	①②③⑦		図書読架BOXの設置、非接触型温度センサーの設置	①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
719	大阪体育大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
720	大阪電気通信大学	①全面利用可能				④その他		新型コロナウイルス感染症拡大状況を踏まえ、活動制限を設定している			①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
721	大阪大谷大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
722	追手門学院大学	②一部利用制限	①③⑦		出入口に体温測定器・手指の消毒液の設置 電子図書館化拡充	①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
723	関西大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
724	関西医科大学	①全面利用可能				④その他		コロナ対策を協議した申請書を大学に提出させ、許可がおりた部活動のみ実施可能としている。	①②③④		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
725	関西外国語大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
726	近畿大学	②一部利用制限	①③		現在（2021年3月26日時点）は閲覧室の閉鎖し利用をしているが、4月以降の早い時期にブックリッジ設置で、全面利用とする予定。中央図書館3階のメディアルーム（視聴覚資料閲覧室）は、3密回避のため利用中止を継続するが、資料および雑誌用PCの貸出は行っており、支障はない。また、データベース、電子ブックの充実も進めていく予定。	①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
727	四天王寺大学	②一部利用制限	②③⑦		仮に図書館利用者から感染者が発生した場合、その感染者の利用状況を全室と制限をかけていたが、閉鎖期間を短くするために入場時、利用者は利用者が少なくなることをから事前に内容確認を実施している。 閉鎖期間を行っていない。	①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦⑧	オンライン授業についていけない、課題が提出できない、情報の取得、管理が苦手な学生を対象に細やかな関わりができるようサポートデスクを設置し対応を行っている。	①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
728	帝塚山学院大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
729	梅花女子大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
730	阪南大学	①全面利用可能				②一部禁止	部室などの換気対策が不十分な場所で活動を行う部活については禁止している。		①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
731	大阪経済法科大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
732	大阪国際大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
733	関西福祉科学大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
734	太成学院大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
735	常盤学園大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
736	大阪観光大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤		①卒業式実施		①入学式実施		②③④	
737	大阪人間科学大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
738	羽衣国際大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
739	大阪成蹊大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	・座席指定のうえ連絡先名簿も備えた・通称SNSエフェム及びOoooaへの登録を奨励した・移動時のルートの分散化を行った
740	関西医療大学	②一部利用制限	①②③			③全面禁止	現時点の大府府においては新規感染者数は下げ止まり状態であり、今後の感染状況の推移も不透明なことから、授業の実施に影響を及ぼすリスクを含む学生の課外活動については、現時点では全面的に禁止するよう判断している。		①②⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
741	千里金沢大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
742	東大阪大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
743	大阪女学院大学	①全面利用可能				④その他		本学には、いわゆる体育会の活動をしている部活はありません。	①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
744	藍野大学	①全面利用可能				④その他		活動自粛を求めている。	①②⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
745	大阪青山大学	②一部利用制限	①②③⑦		館内の座席については椅子を間引くことで座席を指定し、利用者による館内での3密を回避するとともに、検封中行動管理を行い利用後の消毒を徹底する。	②一部禁止	屋外か屋内、人数、活動内容等によって条件が異なるため。		①②③④⑤⑥⑦⑧	担任、チューターによる個別面談を行っている。	①卒業式実施		①入学式実施		①②④	学科ごとの分散での実施とし、密を避けた。
746	四條学園大学	②一部利用制限	①②③			①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
747	大阪河内くみはり学院大学	②一部利用制限	③			①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
748	大阪総合保育大学	②一部利用制限	①②			③全面禁止			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
749	森ノ宮医療大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	

No.	学校名	施設の利用可否	図書館の対応	その他の具体的な内容	図書館の創刊の代替措置	運動部活動の対応	部活動の創刊の理由	その他の具体的な内容	学生のメンタルケア	その他の具体的な内容等	卒業式の実施有無	不実施の理由	入学式の実施有無	不実施の理由	卒業・入学式の工夫	その他の具体的な内容
750	大阪保健医療大学	①全面利用可能				④その他		体育会に属するクラブ活動はない。	①②④		②代替措置実施		③代替措置実施		①②④	
751	大阪物流大学	②一部利用制限	②④⑤			③全面禁止			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
752	滋慶医療科学大学	②一部利用制限	①②		図書館利用制限の代わりに行う取組は特に予定していない	④その他		現在、研究科のみの学校のため、運動部を設けていない。	①②③④		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
753	大阪府国際医療大学	①全面利用可能				④その他		運動部は存在しない	①②③④		①卒業式実施		①入学式実施		①④	
754	大和大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
755	大阪国際工科専門職大学	①全面利用可能				④その他		運動部を持っていない。	①②③⑤		③実施せず	令和3年度の開学のため。	①入学式実施		①②	
756	大阪キリスト教短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
757	大阪城南女子短期大学	②一部利用制限	①			③全面禁止			①②③⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
758	大阪夕陽丘学園短期大学	②一部利用制限	①③			①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
759	大阪信愛学院短期大学	②一部利用制限	②③⑤			④その他		相談により活動方針を決定して実施予定	①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①④	
760	大阪成蹊短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	産座指定のうえ連絡先名簿も備えた・通辞システム及びzoomの登録を通知した・移動時のルートの分散化を行った。
761	大阪女学院短期大学	①全面利用可能				④その他		本学には、いわゆる体育会の活動をしている部活はありません。	①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
762	常盤会短期大学	②一部利用制限	①②③		今のところ特に支障は出ていないため、特別な取組みをおこなっていない。	①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
763	堺女子短期大学	②一部利用制限	⑦	書籍の閲覧は可、貸出し中止。CD・DVD等は閲覧・貸出し中止。	書籍等、図書館内での閲覧は可能	④その他		現在、本学に運動部活動はない	①⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
764	大阪千代田短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
765	関西女子短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
766	四條緑学園短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥	12~15名のクラス担任制を実施しており、クラス担当教員が学生と親身に相談できる体制をとっています。	①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
767	大阪健康福祉短期大学	①全面利用可能				④その他		現在本学には運動部系のサークルが存在しない。	①②④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
768	大阪府立大学工業高等専門学校	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			②③		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
769	神戸大学	②一部利用制限	①			①対策しつつ全面実施			①②③④⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②③	
770	兵庫教育大学	②一部利用制限	①③		来学の機会が減った学生に対して、図書資料の郵送貸出を行う。	②一部禁止		課外活動については、感染リスクが高いと思われる会館など宿泊を伴う活動については引き締る禁止する予定である。また、対外試合等については、許可範囲等の提出を義務付けており、感染防止対策が講じられていると判断したもものについて許可している。	①②③④⑤⑥⑧	キャリアセンターにおける進路・就職相談などのサービスについて、卒業・修了後も利用可能	①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
771	芸術文化観光専門職大学	②一部利用制限	①			④その他		本学は令和3年4月に開学したため、運動部活動は未実施	①②		③実施せず	本学は令和3年4月に開学したため卒業式は未実施	①入学式実施		①②④	
772	神戸市外国語大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②③	
773	神戸市看護大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
774	兵庫県立大学	①全面利用可能				④その他		課外活動のガイドラインを定め、これをクリアしている感染防止の取組を顕著する部活動等について個別に活動を認める予定	①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	入場禁止とした観覧者向けに式典の様相を本学YouTubeでLIVE配信。
775	甲南大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	令和2年度入学式に發む歓迎イベントを9月に実施済み。
776	甲南女子大学	②一部利用制限	①②③			①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
777	神戸海星女子学院大学	②一部利用制限	①③			①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	入学式が実施できなかった令和2年度入学生を対象に、保護者が出席できる入学感謝ミत्रを挙行予定。
778	神戸学院大学	①全面利用可能				④その他		課外活動(運動部)においては、原則として大学が60レベルに対応した基準を設けて制限しており、各種技術団体が作成しているガイドライン等を遵守したうえで活動を許可する予定である。	①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
779	神戸女子大学	①全面利用可能				④その他		いわゆる「体育会」に該当するクラブは無い	①②③④⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	キャンパス毎、学部ごとの開催
780	神戸薬科大学	①全面利用可能				④その他		感染対策を講じた活動計画書を提出させ学生委員会で審議し、活動を認めている。活動が認められた場合は、毎月の活動届を提出する必要がある。活動した翌日には、活動状況報告書を提出させている。これらを遵守することが、部活動実施のための学内ルールとなっている。	①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
781	神戸松蔭女子学院大学	①全面利用可能				④その他		当面の間は、大衆等が開催される場合に限り感染対策を十分に講じさせた上で、その次出場に向けての活動のみを許可する予定。	①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
782	神戸親和女子大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
783	神戸国際大学	②一部利用制限	①②③			①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
784	兵庫大学	①全面利用可能				②一部禁止		運動種目の特性上、感染症対策が十分に取れない部活動については当面の間、一部禁止する。	①②④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	列席者を制限したため、式の様子をインターネットによるオンライン配信をおこなった。
785	神戸常盤大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
786	宝塚医療大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	

No.	学校名	施設の利用可否	図書館の対応	その他の具体的な内容	図書館の制限の代替措置	運動部活動の対応	部活動の制限の理由	その他の具体的な内容	学生のメンタルケア	その他の具体的な内容等	卒業式の実施有無	不実施の理由	入学式の実施有無	不実施の理由	卒業・入学式の工夫	その他の具体的な内容
787	戸亜大学	②一部利用制限	①②③			①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
788	大手前大学	②一部利用制限	①			①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		②代替措置実施		①入学式実施		①②④	
789	関西学院大学	①全面利用可能				④その他		各団体において活動のためのガイドラインを作成し、大学で認めた団体については、感染対策を講じつつ、大学が認定した範囲内での活動を実施する予定。	①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
790	甲子園大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①	
791	神戸女学院大学	①全面利用可能				④その他		感染状況をみつつ、段階的に使用できる施設などを拡充する方針	①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	学院歌などの一斉斉唱を中止し、学位記をゼミ単位の授与に切り替え。
792	園田学園女子大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
793	武庫川女子大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
794	兵庫医科大学	①全面利用可能				④その他		現在、検討中。	①②③④⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
795	姫路獨協大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
796	流通科学大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
797	神戸芸術工科大学	②一部利用制限	①②③		蔵書の郵送貸出サービスを通常実施し、電子書籍の導入促進。	①対策しつつ全面実施			①②③		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
798	関西福祉大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		②④	
799	関西国際大学	②一部利用制限	①②③			④その他		運動部よりそれぞれ感染症対策を提出してもらい感染症対策委員会と学生センターが認めた運動部のみ活動を認めている。	①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	入学式は2部制にして1部の参加者を少なくした。
800	神戸医療福祉大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
801	神戸情報大学院大学	②一部利用制限	②		特になし	④その他		運動部はない	②		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
802	関西看護医療大学	①全面利用可能				③全面禁止		感染予防の観点から禁止している	①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
803	兵庫医療大学	②一部利用制限	③		令和3年度も郵送貸出サービス、複写物（学内所蔵資料）郵送サービスを継続予定。	①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
804	姫路大学	②一部利用制限	①②③		契約データベース、電子ジャーナル、電子書籍を学外から利用するためのIP、IPの交付、借りたい資料の事前予約、取り置きサービス、借りたい資料の郵送貸出サービス、メールまたはWebフォームからのレファレンス申込・図書館相互利用で取り寄せた文献複写の自宅への郵送、購入希望図書や図書館相互利用のWeb申請（通常時も実施）	②一部禁止		本学が定めている新型コロナウイルス感染拡大防止のための対応指針により、現在のリスクレベルから判断し、原則禁止となっている。各部活動の活動計画を提出してもらい、感染対策が十分確保できている場合に限り活動を認めている。	①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
805	大手中短期大学	②一部利用制限	①			①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		②代替措置実施		①入学式実施		①②④	
806	神戸女子短期大学	①全面利用可能				④その他		該当する活動がない	①②③④⑥⑧		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
807	頤栄短期大学	①全面利用可能				④その他		ダンス部など存在するが、活動をしていない。	①②③④⑥⑧		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
808	豊岡短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②④⑤⑥⑦⑧		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④⑤	国歌、学園歌はピアノ演奏のみとしている。
809	甲子園短期大学	①全面利用可能				④その他		運動部の活動予定なし。	①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
810	神戸教育短期大学	①全面利用可能				④その他		(体育会系) 運動部がない。	①②③		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
811	聖和短期大学	②一部利用制限	①③			①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
812	産業技術短期大学	①全面利用可能				④その他		各部に感染対策を含めた活動方針を提出させたうえで、活動の許可を与える。	①②③		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
813	東洋食品工業短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			②③④⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
814	湊川短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
815	姫路日ノ本短期大学	①全面利用可能				③全面禁止		運動部がないため	①②③④		①卒業式実施		①入学式実施		①④	
816	明石工業高等専門学校	②一部利用制限	①②③		特になし	①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
817	神戸市立工業高等専門学校	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	
818	奈良教育大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
819	奈良女子大学	①全面利用可能				④その他		③学内者のみの活動とし、学外者の活動は禁止。①、②、③より緩和した活動内容の許可を申請する場合は、事前に顧問から理由及び内容等についてメールで申請し、理事（教養・学生担当）がその都度、内容を審査し、結果を連絡する。	①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
820	奈良先端科学技術大学院大学	②一部利用制限	①③⑤		制限は一部のみであり、利用状況から大きな支障はない。	④その他		該当なし	①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	式に出席できない学生や保護者向けに、式の録音のインターネットライブ配信を実施。
821	奈良県立医科大学	②一部利用制限	①③⑦		リモートアクセスの拡充、貸出予約のメール受付	①対策しつつ全面実施			①②		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
822	奈良県立大学	②一部利用制限	①③			①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	



No.	学校名	施設の利用可否	図書館の対応	その他の具体的な内容	図書館の創刊の代替措置	運動部活動の対応	部活動の創刊の理由	その他の具体的な内容	学生のメンタルケア	その他の具体的な内容等	卒業式の実施有無	不実施の理由	入学式の実施有無	不実施の理由	卒業・入学式の工夫	その他の具体的な内容
823	帝塚山大学	②一部利用制限	①			①対策しつっ全面実施			①②③⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	・卒業式及び入学式では、人数だけでなく式典の規模も縮小すること、短時間で実施に取り替えた。 ・卒業は入学式会場の外で課外活動団体による部員総括クラブの導入費への配布を認めていたが、令和3年度は禁止した。その代わり、新入生が興味のあるクラブに連絡できるよう専用カップを設定した。 ・新入生歓迎会場は密を避けるため、2回に分けて実施する。
824	天理大学	②一部利用制限	①③	該当しない	現在制限されている主な事項は、寮館の利用制限（開館を確保）すること、アクティブラーニングエリアでの利用制限である。そのため代替措置は特に講じていない。	①対策しつっ全面実施	該当しない	該当しない	①②③⑥⑦	特に無し	①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
825	奈良大学	①全面利用可能				①対策しつっ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
826	奈良学園大学	①全面利用可能				①対策しつっ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
827	畿央大学	①全面利用可能				①対策しつっ全面実施			①②③④⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
828	天理医療大学	②一部利用制限	①②③⑤			②一部禁止	体育館（講堂）を教室として使用するため。		①②③④⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
829	奈良芸術短期大学	①全面利用可能				①対策しつっ全面実施			①③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	式次第を最低必要限度に定める時間短縮を図った。
830	奈良佐保短期大学	①全面利用可能				①対策しつっ全面実施			①②④		①卒業式実施		①入学式実施		①④	
831	白鳥短期大学	①全面利用可能				①対策しつっ全面実施			①③④		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
832	奈良工業高等専門学校	②一部利用制限	①②③		特に代替の取組は行っていない。	①対策しつっ全面実施			①②③④⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	入学式の実施にあたり、保護者の入場を新入生ごとに1名に制限する。保護者は式典会場とは別の敷地にてライブ映像を視聴する。式典後の卒業担任との懇話等も別会場にて行う予定。
833	和歌山大学	①全面利用可能				①対策しつっ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
834	和歌山県立医科大学	②一部利用制限	①②③		学外リモートアクセスゾーンの導入	①対策しつっ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①③④	
835	高野山大学	①全面利用可能				①対策しつっ全面実施			①②③④⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
836	和歌山信愛大学	②一部利用制限	③			①対策しつっ全面実施			①②③⑥		③実施せず	卒業生がいない為（令和生閉学）	①入学式実施		①②④	
837	和歌山リハビリテーション専門学校	①全面利用可能				④その他	閉学前のため、運動部活動は現在存在しない。		①		③実施せず	閉学前のため、卒業式はない。	①入学式実施		①	
838	和歌山信愛女子短期大学	②一部利用制限	①③			④その他	運動系クラブがない		①④		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
839	和歌山工業高等専門学校	①全面利用可能				①対策しつっ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
840	鳥取大学	①全面利用可能				①対策しつっ全面実施			①②③④⑤⑥⑦⑧		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	全国各地へ移動した卒業生・修了生が、卒業式のために再び鳥取県へ入り、卒業式で授受することがないよう、完全オンライン方式にて卒業式を実施した。
841	公立鳥取環境大学	①全面利用可能				①対策しつっ全面実施			①②③④⑤⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
842	鳥取看護大学	①全面利用可能				④その他	許可制としている（所定の手続きが必要）		①②⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
843	鳥取短期大学	①全面利用可能				①対策しつっ全面実施			①②③④		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
844	米子工業高等専門学校	①全面利用可能				①対策しつっ全面実施			①②③④⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	保護者向けに式典の様子をライブ配信した。
845	鳥根大学	①全面利用可能				①対策しつっ全面実施			①②③④⑤⑥⑦⑧		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	学生の出席者は学部・研究科等の代表者のみとし、式典の様子を誰でも視聴可能な媒体でライブ配信した。
846	鳥根県立大学	①全面利用可能				①対策しつっ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
847	松江工業高等専門学校	①全面利用可能				①対策しつっ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
848	岡山大学	②一部利用制限	①③⑦	学外者の入館制限による学内構成員の移動の制限が出た場合、移動制限は卒業生等への図書館貸出及び種々の郵送送付	・電子ブックの購入 ・電子ジャーナルの利用促進 ・（学生の入場や利用時における衛生と安全の確保措置） ・移動制限地	①対策しつっ全面実施			①②③④⑤⑥⑧		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	出席者を制限して実施するため、来場できない入学式、保護者がオンラインで参加したくなるようにライブ配信を行う。また、入学式終了後も視聴できるようなアーカイブ配信する。
849	岡山県立大学	①全面利用可能				①対策しつっ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
850	新見公立大学	①全面利用可能				①対策しつっ全面実施			①②③⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
851	倉敷市立短期大学	①全面利用可能				③全面禁止	部活動の顧問が感染防止対策を完全に実施できないため。		①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	

No.	学校名	施設の利用可否	図書館の対応	その他の具体的な内容	図書館の制限の代替措置	運動部活動の対応	部活動の制限の理由	その他の具体的な内容	学生のメンタルケア	その他の具体的な内容等	卒業式の実施有無	不実施の理由	入学式の実施有無	不実施の理由	卒業・入学式の工夫	その他の具体的な内容	
852	吉備国際大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	卒業式は学科・研究科単位での分科型実施とし、出席者についても卒業生および教職員のみとしたことから、保護者へのフォローを主な目的として全体の模様を動画配信した。	
853	岡山商科大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
854	岡山理科大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
855	くらしき作陽大学	②一部利用制限	①②③			②一部禁止	全ての部活動での感染対策の徹底が困難であることから、感染対策を講じていると大学が認めたものに限る、活動を許可している。		①②⑥		①卒業式実施		②代替措置実施		①②④		
856	ノートルダム清心女子大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
857	川崎医科大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
858	就実大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②③		
859	川崎医療福祉大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
860	山陽学園大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
861	倉敷芸術科学大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施	現時点では、感染対策を講じつつ全ての運動部の活動を実施する予定であるが、感染状況により活動地域を一部制限することがある。		①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
862	岡山学院大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②④⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②		
863	中国学園大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
864	環太平洋大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④		
865	岡山医療専門職大学	①全面利用可能				④その他	現時点で運動部がないため。		①②④		③実施せず	年次進行中のため、卒業式の実施がないため。	①入学式実施		①②④		
866	美作大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
867	就実短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
868	岡山短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②④⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②		
869	作陽短期大学	②一部利用制限	①②③			②一部禁止	全ての部活動での感染対策の徹底が困難であることから、感染対策を講じていると大学が認めたものに限る、活動を許可している。		①②⑥		①卒業式実施		③代替措置実施		①②④		
870	中国短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施				
871	山陽学園短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
872	川崎医療短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
873	津山工業高等専門学校	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
874	広島化学工業大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
875	広島大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施	該当なし	該当なし	①②③④⑤⑥⑦	該当なし	①卒業式実施	該当なし	①入学式実施	該当なし	①②④	該当なし	
876	県立広島大学	②一部利用制限	①②③			④その他	活動基準のレベルに沿い、感染対策を十分に講じたうえで申請制により、活動を実施している。		①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④		
877	尾道市立大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
878	広島市立大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
879	福山市立大学	②一部利用制限	①③		特になし	①対策しつつ全面実施			①②③④		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
880	敬愛大学	①全面利用可能				④その他	新設大学で部活動は未組織のため、今後検討する。		①②③		③実施せず	新設大学のため卒業生がないことによる。	①入学式実施		①②		
881	エリザベト音楽大学	①全面利用可能				④その他	学内に運動系のサークルが存在していません。		①②⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
882	広島経済大学	①全面利用可能				④その他	一定の条件をクリアできる団体は、活動を再開。		①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④		
883	広島工業大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥		②代替措置実施		③代替措置実施		①④		
884	広島修道大学	②一部利用制限	①③		自宅や他の学内施設のPCからインターネット経由で利用できる電子資料(電子書籍、電子ジャーナル等)の利用の推進	④その他	活動を希望する団体の申請内容をもとに、感染予防対策などを確認したうえで、活動を許可している。		①②③⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④⑤	学歌について、実施をせず、合唱サークルによるリモート演奏を録音し上映した。また、楽器演奏ができなかったため、感染症防止対策をした上で、ダンスサークルによるパフォーマンスを行う。	
885	広島女学院大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④		
886	広島国際学院大学	②一部利用制限	①②③		図書館利用の制限(座席の制限や閉館延長の中止)を行った場合も、学務、学費上、大きな影響は出ておらず、代案案は考えていない。	①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		④入学式や代替措置を実施する予定はない。	学生募集を停止しているため。	①②④		
887	広島文教大学	①全面利用可能				④その他	活動状況把握のため層別制とする予定。		①②③⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②		
888	安田女子大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦⑧	本学運営部にPCRセンターを設置し、主に学外実習先から検査要望があった学生に対し、検査を実施し、安心して実習に臨める教育環境を整備・運用を行った。さらに卒業生中に長期帰省する学生にも要望に応じて、検査を実施し、学生及びご家族の不安軽減に繋げる取り組みを行った。また健康センターでは基礎疾患があり、健康状態に不安を抱える学生もPCR検査対象として相談や申込受付ができる体制を整備し、PCRセンターと連携をとりながらメンタルヘルスマスクが必要な学生の把握に努めていた。		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	

No.	学校名	施設の利用可否	図書館の対応	その他の具体的な内容	図書館の創設の代替措置	運動部活動の対応	部活動の創設の理由	その他の具体的な内容	学生のメンタルケア	その他の具体的な内容	卒業式の実施有無	不実施の理由	入学式の実施有無	不実施の理由	卒業・入学式の工夫	その他の具体的な内容
889	福山大学	②一部利用制限	①②③⑦	・座席利用により、座席使用率の把握、使用回数(1回館内巡回)の消費(1時間に1回館内巡回)	・図書館送迎送付サービス(送料は大学負担) ・返却期限延長措置 ・図書館がイダンス動画制作 ・配機 データベース ・電子ジャーナル ・電子書籍について、学外からの利用(リモートアクセス)可能措置(令和年度学期初段階フェレモン参加) ・電子書籍導入拡大	④その他		全ての運動部に対して「サークルの感染対策」及び「サークル活動再開」の理由をもって申請させた上で承認して実施する予定です。	①②③④⑤⑥⑦⑧	新入生健康調査を実施して、心理・精神的健康状態について把握に努めている。数々ゼミにおいて、福祉面の後い方を詳細に知ってもらうためのガイダンスを行っている。	①卒業式実施		①入学式実施			
890	比治山大学	②一部利用制限	①②③		学外から利用可能な電子書籍及びデータベースの活用	①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		③実施せず	式典は行わなかったが、学科毎に学位記を授与した。	④実施せず	式典は行わないが、学科毎に学長からのメッセージを渡し、入学が許可される。	①②④	
891	福山平成大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②④⑥		①卒業式実施		①入学式実施			
892	広島国際大学	②一部利用制限	①②③	電子データベース、電子ブックについて、学外から利用が可能となるよう、リモートアクセスに対応した。		①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施			
893	日本赤十字広島看護大学	②一部利用制限	①②③		「1. データベースを学外から利用できるようフリーアクセスプランに契約を変更しました。」 「2. 電子ブックを導入します。」 「3. 講義用教材はすべて学生用フォルダで複製しています。」 「4. リモートアクセス等の受付、回答はメールでも対応しています。」	④その他		4月中は現行と同様にサークル活動を禁止しますが、5月までには感染状況を踏まえて見直しを行う予定です。	①②③⑤⑥⑧	本学独自の取組として、「1. 全学年対象にメールで、学生生活の注意点や相談室の案内「カウセラー通信」の配信」「2. 学生生活委員会の活動として、メンタルサポートや性教育の講演会開催、教育に関する情報発信など、学生生活における不安や悩み解消の取り組み」等を行っています。	①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
894	広島都市学園大学	②一部利用制限	⑤			②一部禁止			①③		①卒業式実施		①入学式実施			
895	山陽女子短期大学	①全面利用可能				④その他		該当部なし	①②③④⑦⑧		①卒業式実施		①入学式実施			
896	広島化学工業短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施			
897	安田女子短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦⑧		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
898	呉工業高等専門学校	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
899	広島商船高等専門学校	②一部利用制限	①②③			①対策しつつ全面実施			①②③⑦⑧		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
900	山口大学	②一部利用制限	①③			①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦⑧		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	・式典の内容を縮小した。・特設のサイトを開設した。・会場外からも観覧できるようWebでのライブ配信をした。
901	下関市立大学	②一部利用制限	②③⑤			①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	式典進行の見直しを行い、時間を短縮した。
902	山口県立大学	②一部利用制限	①②		電子ジャーナル並びに電子データベースの充実を図り、学生が図書館外からもアクセスできる環境を整えている。	①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
903	山陽小野田市立山口東理科大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②④		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
904	梅光学院大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
905	徳山大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		②入学式を延期実施		①②④	
906	東亜大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
907	至誠館大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①④	
908	宇部フロンティア大学	①全面利用可能				④その他		感染対策をとった上で再開申出のある部活に対して、学生生活委員会にて審議の上再開する。	①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
909	山口学芸大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
910	山口芸術短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
911	下関短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①		①卒業式実施		①入学式実施		①	
912	山口短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦⑧		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
913	岩国短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
914	徳山工業高等専門学校	②一部利用制限				①対策しつつ全面実施			①②④⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
915	宇部工業高等専門学校	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
916	大島商船高等専門学校	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑧		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
917	徳島大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
918	鳴門教育大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
919	四国大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
920	徳島文理大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
921	徳島工業短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
922	阿南工業高等専門学校	②一部利用制限	①③		一部座席の利用制限を行っているが、その代わりに行っている取組はありません。	①対策しつつ全面実施			①②③④⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	入学式の除像を保護者の別室に遠隔配信する。
923	香川大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
924	香川県立保健医療大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
925	四国学院大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
926	高松大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
927	香川短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	

No.	学校名	施設の利用可否	図書館の対応	その他の具体的な内容	図書館の創設の代替措置	運動部活動の対応	部活動の創設の理由	その他の具体的な内容	学生のメンタルケア	その他の具体的な内容等	卒業式の実施有無	不実施の理由	入学式の実施有無	不実施の理由	卒業・入学式の工夫	その他の具体的な内容
928	高松短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
929	せとうち観光専門職短期大学	②一部利用制限	③			④その他		新設校であるため、まだ運動部は設立されていません。	①②		③実施せず	令和3年度の開学であるため。	①入学式実施		①②	
930	香川高等専門学校	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
931	愛媛大学	②一部利用制限	①②③			④その他		3密防止対策を十分検討し、大学が活動内容・感染防止策を確認した上で活動を許可している。	①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	学生代表者のみ出席とし、式典の様子をLive配信する予定。キャンパス内に記念撮影用のパネルを設置する。
932	愛媛県立医療技術大学	②一部利用制限	①②			②一部禁止			①②④		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
933	松山大学	②一部利用制限	①②③	該当せず		①対策しつつ全面実施	該当せず	該当せず	①②③④⑤⑥⑦	特になし	①卒業式実施	該当せず	①入学式実施	該当せず	①②③④	該当なし
934	聖カタリナ大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
935	松山東雲女子大学	①全面利用可能				④その他		感染状況に応じて、その都度実施の判断を予定する予定。	①②③④⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
936	今治明德短期大学	①全面利用可能				④その他	もともと、運動部は存在していない。		①④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
937	松山東雲短期大学	①全面利用可能				④その他		感染状況に応じて、その都度実施の判断を予定する予定。	①②③④⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
938	松山短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		②④	
939	新居浜工業高等専門学校	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥⑧	・毎月、学生相談室だよりの発行・配布を行っている。・外部の専門家を交えた支援会議を随時行っている。	①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
940	弓削商船高等専門学校	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
941	高知大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④⑤	大学全体の入学式ではなく、各学部等のオンラインセッションを活用し、対面と視覚映像を活用した「オンライン参加型」の入学式を開催する予定である。
942	高知県立大学	②一部利用制限	①②③⑤			①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
943	高知工科大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
944	高知リハビリテーション専門学校	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			②		③実施せず	開学2年目なので、該当学生がいない為実施しなかった。	①入学式実施		①②	
945	高知学園大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
946	高知学園短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
947	高知工業高等専門学校	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	入場者の検温の実施
948	九州工業大学	②一部利用制限	①③⑦	当館の間、学外者は図書館への入館を禁止とし、公共図書館を通じて図のためのリソースを数多く提供し、書籍物の貸出または複写物の提供を行う。		①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	令和2年度入学生を対象とした入学生の歓迎の集いを、令和3年度入学式とは別に開催予定である。
949	福岡教育大学	②一部利用制限	①②③	なし		④その他	なし	・ 新型コロナウイルス感染症の感染状況により、活動の自粛を決定している部活動については、学生の判断を尊重し、活動を停止している。 ・ 活動実施を予定している部活動については、3週間を以てし、事前に期間教員の承認を得た活動計画書及び参加予定者名簿を学生支援課に提出させ、当該部活動等が定めるガイドラインと照合して点検・指導を行い、感染防止対策が講じられた活動であるを確認できたものについて活動許可証を交付し、活動を実施していく予定である。	①②③④	悩みや不安を抱える学生の把握後、その学生に連絡をし、面談を行っている。	①卒業式実施	なし	①入学式実施	なし	①②④	
950	九州大学	②一部利用制限	①③			①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
951	北九州市立大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦⑧	設置団体の北九州市との協働のもと、4月以降全学生に対する「ストレスチェック」を実施する。その結果を踏まえ、新たなメンタルサポート事業が必要と判断されれば、北九州市からの助成を受けて新規対策を講じることが出来る。	①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
952	九州歯科大学	①全面利用可能				②一部禁止	3密の状況や移動による感染が生じないようにするため。		①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
953	福岡女子大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
954	福岡県立大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
955	九州共立大学	②一部利用制限	②③			①対策しつつ全面実施			②④⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
956	九州女子大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
957	九州国際大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	卒業式の模様をYouTubeで限定公開した。
958	福岡歯科大学	②一部利用制限	①②③	自宅での学習奨励。		③全面禁止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため。		①②③④⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
959	九州産業大学	②一部利用制限	①②③			①対策しつつ全面実施			①②③④⑥⑧	健康診断後のフォローアップを電話にて実施。	①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
960	久留米大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	

No.	学校名	施設の利用可否	図書館の対応	その他の具体的な内容	図書館の制限の代替措置	運動部活動の対応	部活動の制限の理由	その他の具体的な内容	学生のメンタルケア	その他の具体的な内容等	卒業式の実施有無	不実施の理由	入学式の実施有無	不実施の理由	卒業・入学式の工夫	その他の具体的な内容
961	西南学院大学	①全面利用可能				④その他		本校独自で設定した感染対策基準を踏まえた活動計画を提出させ、許可した団体に限り活動を認める。	①②③④⑤⑥⑧	アンケート等で学生の悩みや不安の状況を確認後、教職員間で情報共有を行い、また、アンケート結果を踏まえてメンタルヘルスに有効な情報を大学ポータルサイトを通じて学生にフィードバックした。	①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
962	第一薬科大学	②一部利用制限	①			①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
963	中科学園大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	保護者や在学生に向けて、動画(ライブ・ハイクライツ)を配信している。
964	西日本工業大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	令和2年度卒業式は学生及び教職員のみが参加で実施し、式典の様子は保護者の方からスマートフォン等でご覧いただけるようインターネットにてライブ配信及びオンデマンド配信を行う。また、令和3年度入学式も卒業式と同様にライブ配信及びオンデマンド配信を行う予定である。
965	福岡大学	②一部利用制限	②③		・マスク着用の徹底 ・手洗、手指消毒の励行 ・施設内の消毒 ・返却図書消毒	①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑧	⑧に関し、学生向けのポータルサイトを利用して学生にメンタルヘルスに関するアンケートを実施しており、アンケートの結果、所定の要件に合格した学生に対しては、学生相談室のカウンセラーがフォローアップ連絡を行い、必要に応じて相談につなげている。	①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
966	福岡工業大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
967	日本経済大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
968	久留米工業大学	②一部利用制限	①②⑤		電子書籍、データベース利用の充実。郵送による貸出を行っている。	①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	入場制限をかけたがゆえ(保護者の参加不可)記念すべき節目から含えない事は寂しいと思われ式典の様子はオンライン及びオンデマンドで配信する計画を行った。
969	産業医科大学	②一部利用制限	①②③		新型コロナウイルス感染症を受け閉鎖する場合及び利用時間を制限する予定の部局等学生に対して、予約貸出にて貸出希望者には館外で受け取りという「貸出サービス」を引き続き行う。また、通知に関しては、閉館中も館外に置いてあるブックポストを開け、図書館に入ることなく返却が行えるようにしている。	①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
970	筑紫学園大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①③④	
971	福岡学院大学	②一部利用制限	①③		①来館が難しい学生に対し、無料郵送サービス(貸出・文献複製等提供)を行う。②予約取寄せサービス(貸出希望書の取寄せ文庫の複写代行・取寄せ)を行う。③電子リソース(電子ブック・ジャーナル、データベース)の充実。④メール・電話による個別レファレンスサービス⑤通称・ハイブリッドでの図書館ガイダンスの実施	①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	保証人等の参加をご遠慮いただき、式の様子を即時配信した(する予定)。期間短縮のため当日帰校した院長が、卒業生を代表して(する予定)、例年卒業式で貸出しているガウン・チャップを借用することを控え、服装を自由とした。
972	西南学院大学	①全面利用可能				④その他		課外活動の再開を希望する学生団体から申請内容やアタリにより感染防止の取り組みが十分にできると認められた団体に限り、段階的に活動を許可する。	①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
973	九州情報大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
974	九州栄養福祉大学	①全面利用可能				④その他		運動部活動の実施についてはそれぞれ部活ごとに申請してもらい、許可制をとっている。	①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
975	日本赤十字九州国際看護大学	①全面利用可能				④その他		現時点では、まだ控えてだが、今後の行動レベル検討が緩和されれば活動を解禁する予定。	①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
976	聖マリア学院大学	①全面利用可能				④その他		活動再開に向け検討しているが、現時点では①～③の選定が難しい。	①②③④⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
977	福岡女子学院看護大学	②一部利用制限	①②		電子書籍の整備を進め、学外からの閲覧を可能とする。	①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
978	保健医療経営大学	②一部利用制限	②			①対策しつつ全面実施			①②⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	④入学式や代替措置を学生募集停止のため実施する予定はない。学生はいない。
979	純真学園大学	②一部利用制限	①			④その他		「サークル活動は除く」とあるため該当なし。	①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
980	福岡看護大学	②一部利用制限	①②③		学外からも利用可能なデータベースの案内や、電子書籍の追加。	③全面禁止		学園全体の方針として、現在のところ全面的に活動自粛中であり、再開の目途が立たないため。	①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
981	福岡国際医療福祉大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
982	折尾実業短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
983	九州女子短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
984	東京学芸短期大学	①全面利用可能				④その他		運動部活動の実施についてはそれぞれの部活ごとに申請してもらい、許可制をとっている。	①②③④⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
985	福岡女子短期大学	②一部利用制限	①③			①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
986	近畿大学九州短期大学	②一部利用制限	①②③		教員から事前申請があれば、学生は土日祝日に利用することができる。通信教育のスクーリング実施時であれば、土日祝日でも通常通り通学課程の学生も利用できる。	①対策しつつ全面実施			①②③④⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
987	久留米信愛短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
988	香蘭女子短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②④		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	



No.	学校名	施設の利用可否	図書館の対応	その他の具体的な内容	図書館の創刊の代替措置	運動部活動の対応	部活動の創刊の理由	その他の具体的な内容	学生のメンタルケア	その他の具体的な内容等	卒業式の実施有無	不実施の理由	入学式の実施有無	不実施の理由	卒業・入学式の工夫	その他の具体的な内容
989	純真短期大学	①全面利用可能				③全面禁止	現行で実施している感染対策では十分とは考えないため。		①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
990	精華女子短期大学	②一部利用制限	①			①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
991	西日本短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
992	九州大谷短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
993	福岡こども短期大学	②一部利用制限	①②③			①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
994	福岡医療短期大学	①全面利用可能				③全面禁止	感染対策のため		①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
995	久留米工業高等専門学校	②一部利用制限	①②③			①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
996	有明工業高等専門学校	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
997	北九州工業高等専門学校	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
998	佐賀大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施		⑧番号でテーマを決めて「学生支援だより」をメール配信しており、現在、第15号まで配信済みである。	①②③④⑤⑥⑦⑧		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
999	西九州大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②④⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
1000	佐賀女子短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	次新を省略すること、時間を短縮しての実施。
1001	九州龍谷短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
1002	長崎大学	②一部利用制限	①③		電子書籍の充実	①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
1003	長崎県立大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②④⑥		①卒業式実施		③代替措置実施		①②④	
1004	長崎総合科学大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
1005	活水女子大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
1006	長崎純心大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
1007	長崎国際大学	②一部利用制限	①②③			①対策しつつ全面実施		通称授業で実施しないことが増えるなど予想されるため、貸出を絶対禁止は対応予定。・学外からも利用がでる電子ブックの購入の拡大。・データベースの学外アクセスでの利用促進を図り、状況によって契約に伴うアクセス数を増やす。・LLI(複写複製・複製管理)の転送サービスは、入館制限となった場合に復活する予定。(申請での通常サービスとするのは今後検討課題)	①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
1008	長崎外国語大学	①全面利用可能				④その他		本学では全てサークル活動であり、所属体育会に所属する運動部は存在しない。	①②③⑤⑦⑧	学生支援委員会とカウンセラーとの間でカウンセリング委員会を実施し、相談内容の共有とアドバイザーへの情報提供等を行い、指導に役立っている。	①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	卒業パーティーに代えて、バルーンリリースを実施した。新入生一泊研修に代えて感染対策を講じたうえで学充会による交流イベントを実施予定。
1009	鎮西学院大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
1010	長崎女子短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
1011	長崎短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①③		①卒業式実施		①入学式実施		②	
1012	佐賀工業高等専門学校	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦⑧	特別教育支援部会を立ち上げ、研修や情報交換、支援方法の検討を行っている。	①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
1013	熊本大学	②一部利用制限	①②③		電子ブック、電子ジャーナル、オンラインデータベースの拡充、オンライン(Zoom)による資料授業支援・学修相談サービスの実施、通常の利用時間の短縮等による図書館利用を制限した時は、時間外利用時間を延長することにより、学生の学修・研究の継続を支援している。	①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
1014	熊本県立大学	②一部利用制限	①②③⑦	学外の者の入館を制限(原則として禁止)		①対策しつつ全面実施			①②③⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
1015	崇城大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦⑧	リソースルームにて、カウンセラー(臨床心理士)によるグループワークを月1回実施している。就労活動に悩みや不安を抱える学生等の把握後の取組としては、ヤングハローワークと連携し、学生の面談を行う。ヤングハローワークの就職支援コーディネーターが就職活動に関する相談に応じるほか、求人紹介や履歴書・エントリーシートの添削、面接練習を行う。	①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
1016	熊本学園大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
1017	尚絅大学	①全面利用可能				④その他		該当しない(大学に運動部がない)。	①②⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	①学館ごとに規模を縮小し実施予定。
1018	九州ルーテル学院大学	①全面利用可能				④その他		本学は、サークル活動として活動しています。サークル活動の再開については、「活動計画書」を提出させ、許可制とし感染対策を講じつつ活動していきます。	①②③④⑤⑥⑦⑧	全教職員で「学生支援懇談会」を行い、学生の情報共有を行っている。	①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
1019	九州看護福祉大学	②一部利用制限	①③		オンライン資料の図書館外からの利用促進。	④その他		本学独自の行動指針に則り、感染状況に応じて課外活動を制限している。	①②③④⑥⑦		③実施せず		④実施せず		①②④	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。
1020	平成音楽大学	①全面利用可能				④その他		運動部はない。	①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	

No.	学校名	施設の利用可否	図書館の対応	その他の具体的な内容	図書館の創刊の代替措置	運動部活動の対応	部活動の創刊の理由	その他の具体的な内容	学生のメンタルケア	その他の具体的な内容等	卒業式の実施有無	不実施の理由	入学式の実施有無	不実施の理由	卒業・入学式の工夫	その他の具体的な内容
1021	熊本保健科学大学	②一部利用制限	①②③		・貸出圖書の送付サービス ・文献複写の送付サービス ・レファレンスの電話、メール受付 および圖書サービス ・電子ブックやデータベース等の電子リソースの充実	③全面禁止	全学的に病院施設等へ向うての学外実習があるため。		①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
1022	中九州短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
1023	熊本高等専門学校	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
1024	大分大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
1025	大分県立看護科学大学	②一部利用制限	②			①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
1026	大分県立芸術文化短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
1027	日本文理大学	②一部利用制限	①			①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
1028	別府大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
1029	立命館アジア太平洋大学	②一部利用制限	①			②一部禁止	感染者が発生したため。		①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
1030	大分短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①③⑤		①卒業式実施		①入学式実施		①	
1031	東九州短期大学	①全面利用可能				④その他		本学では、現在、運動部が存在しない。	①②③⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
1032	別府清部学園短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
1033	大分工業高等専門学校	②一部利用制限	①②③			①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
1034	宮崎大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
1035	宮崎公立大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
1036	宮崎県立看護大学	②一部利用制限	①②③		コロナ禍のため対面を実施してきた文献検索講座をWEBで配信することとした。なお、三密を避けるための講義の利用制限を行っているが、現在、一般者の利用を全面的に中止しているため、学生の図書館利用に大きな支障は生じていない。	④その他	感染拡大の状況に応じて活動の可否を判断している。活動可能な場合も感染対策計画書の提出を求めている。	①②③④⑤⑥			①卒業式実施		①入学式実施		①②	
1037	南九州大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②④⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
1038	宮崎産業経営大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
1039	宮崎国際大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	卒業式を保護者向けにライブ配信した。
1040	九州保健福祉大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥⑦		②代替措置実施		③代替措置実施		①②④	
1041	南九州短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②④⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
1042	宮崎学園短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
1043	都城工業高等専門学校	①全面利用可能				④その他		活動を希望する部ごとの申請・許可制とする。	①②③④⑤⑥⑧	留みや不安を抱える学生の把握後の取組として、登校できない学生については、必要に応じて家庭訪問を実施している。	①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	・物の受け渡し禁止 ・氏名や居住地、渡航履歴等を記入する、健康状態や発熱の有無の提出 ・検温の実施 ・式典時間の短縮 ・学位記の取り分けについて、卒業式・修了式終了後に各学部等で開催する学位記授与式を行うが、学位記は郵送により送付することとした。
1044	鹿児島大学	②一部利用制限	①③			①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④⑤	
1045	鹿屋体育大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
1046	鹿児島県立短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
1047	鹿児島国際大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
1048	第一工科大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
1049	志摩館大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
1050	鹿児島純心女子大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
1051	鹿児島純心女子短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施	特になし	特になし	①②	特になし	①卒業式実施	特になし	①入学式実施	特になし	①⑤	特になし
1052	鹿児島女子短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
1053	第一幼児教育短期大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			②④⑤⑥		①卒業式実施		②入学式を延期し実施		①②④	
1054	鹿児島工業高等専門学校	②一部利用制限	①②③		現在、土曜日及び日曜日は閉館しているが、試験前のお目当てについて、学習のための臨時開館を行う。	①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
1055	琉球大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑤⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②③④	
1056	名桜大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
1057	沖縄県立芸術大学	①全面利用可能				①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		④	
1058	沖縄県立看護大学	①全面利用可能				②一部禁止	2021年3月時点で地域の感染者が増加しており、状況をみながら判断していきたい。		①②③④		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
1059	沖縄科学技術大学院大学	①全面利用可能				②一部禁止	コロナ感染防止対策のため		①②③④⑤⑥		②代替措置実施		①入学式実施		①②④	
1060	沖縄国際大学	②一部利用制限	①②③⑤		電子ブックやオンラインジャーナルの拡充、オンラインレファレンスの導入や各種オンライン講習会の開催等、非接触型サービスの充実に取り組み中。	①対策しつつ全面実施			①②③④⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②	
1061	沖縄大学	②一部利用制限	①②③⑤		令和2年度は、図書貸出期間の延長を実施したが令和3年度においては検討中。	④その他	それぞれの運動部の申請を受けて許可制にしている。		①②③⑥⑦		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	

No.	学校名	施設の利用可否	図書館の対応	その他の具体的な内容	図書館の制限の代替措置	運動部活動の対応	部活動の制限の理由	その他の具体的な内容	学生のメンタルケア	その他の具体的な内容等	卒業式の実施有無	不実施の理由	入学式の実施有無	不実施の理由	卒業・入学式の工夫	その他の具体的な内容
1062	沖縄キリスト教学院大学	②一部利用制限	①③		電子書籍を利用し、学内外からも閲覧可能とする。また貸出しは、電話やメールにて受付を行い、館外で受け渡すなどの対応も行っていきます。	④その他		運動部はございません。	①②③④⑤⑥⑦⑧	入学と同時に担当教員(アドバイザー)を決定し、学生生活や就学、進路、他校等、気軽に話し合える関係を結ぶことを目的としたアドバイザーグループ制度を設けている。	①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
1063	沖縄キリスト教短期大学	②一部利用制限	①③		電子書籍を利用し、学内外からも閲覧可能としています。また貸出しは、電話やメールにて受付を行い、館外で受け渡すなどの対応も行っていきます。	④その他		運動部はございません。	①②③④⑤⑥⑦⑧	入学と同時に担当教員(アドバイザー)を決定し、学生生活や就学、進路、他校等、気軽に話し合える関係を結ぶことを目的としたアドバイザーグループ制度を設けています。	①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
1064	沖縄女子短期大学	②一部利用制限	①②③				①対策しつつ全面実施		①②④		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	
1065	沖縄工業高等学校	①全面利用可能					①対策しつつ全面実施		①②③④⑤⑥		①卒業式実施		①入学式実施		①②④	